

令和元年度

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書

つくば市



## 目 次

一般会計	1
歳入予算執行状況	9
事業の目的、概要及び成果	
1 議会費	21
2 総務費	22
3 民生費	94
4 衛生費	178
5 労働費	221
6 農林水産業費	223
7 商工費	249
8 土木費	272
9 消防費	311
10 教育費	324
11 災害復旧費	403
12 公債費	403
13 諸支出金	404
14 予備費	412
国民健康保険特別会計	413
下水道事業特別会計	433
後期高齢者医療特別会計	447
作岡財産区特別会計	455
つくば市等公平委員会特別会計	459
介護保険事業特別会計	463
附 表	
基金の状況について	505
常勤特別職員給与関係経費明細	506
職員給与関係経費明細	506
臨時職員・嘱託員経費明細	509



# 一 般 会 計



## 主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和元年度つくば市一般会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和2年8月27日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和元年度つくば市一般会計予算執行の概要について

令和元年度は、つくば市未来構想の実現に向けて、つくば市戦略プランにおける13の基本施策、まち・ひと・しごと総合戦略に掲げた4つの基本目標及びつくば市SDGs未来都市計画に掲げた取組を着実に推進しました。

また、市民第一の市政による「世界のあしたが見えるまち」の実現を目指し、「市長公約事業のロードマップ」に基づいて「徹底した行政改革」「安心の子育て」「頼れる福祉」「便利なインフラ」「活気ある地域」「誇れるまち」の6つの柱を重点的かつ優先的に取り組みました。

予算編成に当たっては、つくばエクスプレス沿線開発の進展と人口増加に伴う個人市民税や固定資産税の増加が続いていることから、歳入面では増額を見込みました。一方、普通交付税は引き続き不交付、さらに、国や県の補助金の確保についても困難な状況が続くと見込みました。歳出面では、これまで取り組んできた保育環境の充実や放課後児童対策、地域包括支援等の福祉事業、防災・防犯体制の強化に加え、児童急増に対応する教育施設の整備や中心市街地の活性化対策など喫緊の課題にも取り組みました。

決算については、歳入が前年度比4,980,192千円増の93,033,636千円、歳出が前年度比3,295,550千円増の88,427,977千円となりました。歳入においては、地方交付税や地方消費税交付金が減少しましたが、市税、国庫支出金や繰入金の増加により前年度を上回り、歳出においても、民生費、教育費などが増加し、前年度を上回る決算規模となりました。

歳入の主な増額要因としては、市税が前年度比1,409,035千円増の46,718,479千円、国庫支出金が保育所等整備交付金等の増加により、前年度比1,803,909千円増の13,816,195千円となったこと、また、市債が小・中学校用地取得事業債等の増加に伴い、前年度比876,387千円増の5,982,132千円となったことなどがあります。

歳出の主な増額要因としては、民生費が児童福祉施設整備費補助金等の増加により、前年度比3,073,236千円増の35,547,980千円となったこと、また、教育費が小・中学校用地取得費や学校給食センター建設工事費等の増加により、前年度比1,271,239千円増の11,758,819千円となったことなどがあります。

収支状況は、実質収支が増加し、単年度収支及び実質単年度収支はともに黒字となりました。また、経常収支比率は前年度から0.3ポイント増加し93.6%となりました。健全化判断比率は、実質公債費比率が6.1%、将来負担比率が58.3%となりました。ともに国の定める早期健全化基準を大きく下回っています。

以上、令和元年度つくば市一般会計決算の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。



令和元年度 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	令和元年度 A	平成30年度 B	差引増減額 A-B	増 減 率
歳 入 総 額 C	93,033,636	88,053,444	4,980,192	5.7
歳 出 総 額 D	88,427,977	85,132,427	3,295,550	3.9
歳入歳出差引額 (C-D) E	4,605,659	2,921,017	1,684,642	57.7
翌年度に繰り越すべき財源 F	897,631	736,825	160,806	21.8
実 質 収 支 (E-F) G	3,708,028	2,184,192	1,523,836	69.8
単 年 度 収 支 H	1,523,836	△ 1,149,003	2,672,839	—
積 立 金 I	1,915,305	1,704,636	210,669	12.4
繰 上 償 還 額 J	0	0	0	0.0
積立金取崩し額 K	2,161,013	211,955	1,949,058	919.6
実質単年度収支 (H+I+J-K) L	1,278,128	343,678	934,450	—

款 別 歳 入 決 算 額 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	収 入 割 合		
						予 算 対	調 定 対	歳 入 計
市 税	R01	46,058,286	48,208,523	46,718,479	660,193	101.4%	96.9%	50.2%
	H30	44,743,061	46,914,394	45,309,444	566,383	101.3%	96.6%	51.5%
地 方 譲 与 税	R01	912,102	936,553	936,553	24,451	102.7%	100.0%	1.0%
	H30	914,626	923,252	923,252	8,626	100.9%	100.0%	1.0%
利 子 割 交 付 金	R01	52,172	31,186	31,186	△ 20,986	59.8%	100.0%	0.1%
	H30	55,139	63,643	63,643	8,504	115.4%	100.0%	0.1%
配 当 割 交 付 金	R01	186,422	173,959	173,959	△ 12,463	93.3%	100.0%	0.2%
	H30	165,590	145,821	145,821	△ 19,769	88.1%	100.0%	0.2%
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	R01	168,034	106,002	106,002	△ 62,032	63.1%	100.0%	0.1%
	H30	168,309	126,434	126,434	△ 41,875	75.1%	100.0%	0.1%
地 方 消 費 税 交 付 金	R01	4,535,065	4,292,953	4,292,953	△ 242,112	94.7%	100.0%	4.6%
	H30	4,296,256	4,439,969	4,439,969	143,713	103.3%	100.0%	5.0%
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	R01	83,861	81,908	81,908	△ 1,953	97.7%	100.0%	0.1%
	H30	86,802	82,390	82,390	△ 4,412	94.9%	100.0%	0.1%
自 動 車 取 得 税 交 付 金	R01	134,074	134,075	134,075	1	100.0%	100.0%	0.1%
	H30	261,319	254,113	254,113	△ 7,206	97.2%	100.0%	0.3%
環 境 性 能 割 交 付 金	R01	44,328	41,207	41,207	△ 3,121	93.0%	100.0%	0.1%
	H30	-	-	-	-	-	-	-
地 方 特 例 交 付 金	R01	752,716	799,707	799,707	46,991	106.2%	100.0%	0.9%
	H30	228,535	228,535	228,535	0	100.0%	100.0%	0.3%
地 方 交 付 税	R01	1,966,777	2,597,155	2,597,155	630,378	132.1%	100.0%	2.8%
	H30	2,998,829	2,955,958	2,955,958	△ 42,871	98.6%	100.0%	3.4%
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	R01	33,798	28,714	28,714	△ 5,084	85.0%	100.0%	0.1%
	H30	33,866	29,797	29,797	△ 4,069	88.0%	100.0%	0.1%
分 担 金 及 び 負 担 金	R01	1,409,094	1,502,179	1,418,130	9,036	100.6%	94.4%	1.5%
	H30	1,769,821	1,829,173	1,735,132	△ 34,689	98.0%	94.9%	1.9%
使 用 料 及 び 手 数 料	R01	1,333,773	1,522,072	1,311,157	△ 22,616	98.3%	86.1%	1.4%
	H30	1,368,764	1,544,322	1,325,718	△ 43,046	96.9%	85.8%	1.5%
国 庫 支 出 金	R01	14,521,615	14,331,110	13,816,195	△ 705,420	95.1%	96.4%	14.9%
	H30	12,608,204	12,386,249	12,012,286	△ 595,918	95.3%	97.0%	13.6%
県 支 出 金	R01	6,458,150	5,975,850	5,600,188	△ 857,962	86.7%	93.7%	6.0%
	H30	5,243,405	4,941,252	4,898,368	△ 345,037	93.4%	99.1%	5.5%
財 産 収 入	R01	143,234	134,905	131,156	△ 12,078	91.6%	97.2%	0.1%
	H30	140,937	162,052	162,052	21,115	115.0%	100.0%	0.2%
寄 附 金	R01	111,656	117,454	117,454	5,798	105.2%	100.0%	0.1%
	H30	67,001	48,554	48,554	△ 18,447	72.5%	100.0%	0.1%
繰 入 金	R01	3,145,174	3,087,570	3,087,570	△ 57,604	98.2%	100.0%	3.3%
	H30	1,462,562	1,408,932	1,408,932	△ 53,630	96.3%	100.0%	1.6%
繰 越 金	R01	3,664,729	3,664,729	3,664,729	0	100.0%	100.0%	4.0%
	H30	4,832,027	4,832,027	4,832,027	0	100.0%	100.0%	5.5%
諸 収 入	R01	2,049,118	2,098,962	1,963,027	△ 86,091	95.8%	93.5%	2.1%
	H30	1,992,031	2,074,666	1,965,274	△ 26,757	98.7%	94.7%	2.2%
市 債	R01	8,174,232	5,982,132	5,982,132	△ 2,192,100	73.2%	100.0%	6.4%
	H30	7,128,245	5,105,745	5,105,745	△ 2,022,500	71.6%	100.0%	5.8%
歳 入 合 計	R01	95,938,410	95,848,905	93,033,636	△ 2,904,774	97.0%	97.1%	100.0%
	H30	90,565,329	90,497,278	88,053,444	△ 2,511,885	97.2%	97.3%	100.0%

## 市 税 収 入 実 績 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年度	区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	徴 収 率
市 民 税	R01	現年課税分	21,473,438	21,983,386	21,781,857	1,148	201,501	99.1%
		滞納繰越分	130,382	628,014	169,932	78,701	379,418	27.1%
		計	21,603,820	22,611,400	21,951,789	79,849	580,919	97.1%
	H30	現年課税分	20,726,949	21,351,795	21,128,732	162	223,913	99.0%
		滞納繰越分	130,648	698,398	199,870	91,072	407,483	28.6%
		計	20,857,597	22,050,193	21,328,602	91,234	631,396	96.7%
固 定 資 産 税	R01	現年課税分	20,516,562	20,972,690	20,717,103	125	256,159	98.8%
		滞納繰越分	175,172	688,993	244,280	60,179	384,579	35.5%
		計	20,691,734	21,661,683	20,961,383	60,304	640,738	96.8%
	H30	現年課税分	20,015,427	20,330,356	20,081,576	18	250,149	98.8%
		滞納繰越分	172,741	744,835	239,537	65,820	439,500	32.2%
		計	20,188,168	21,075,191	20,321,113	65,838	689,649	96.4%
軽自動車税	R01	現年課税分	475,105	495,311	475,410	182	19,750	96.0%
		滞納繰越分	8,014	54,495	9,423	6,115	38,972	17.3%
		計	483,119	549,806	484,833	6,297	58,722	88.2%
	H30	現年課税分	430,309	464,588	445,442	148	19,067	95.9%
		滞納繰越分	7,624	50,402	8,420	5,994	35,996	16.7%
		計	437,933	514,990	453,862	6,142	55,063	88.1%
市たばこ税	R01	現年課税分	1,458,182	1,472,756	1,472,756	0	0	100.0%
		滞納繰越分	0	25	25	0	0	100.0%
		計	1,458,182	1,472,781	1,472,781	0	0	100.0%
	H30	現年課税分	1,473,146	1,425,220	1,425,195	0	25	100.0%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	—
		計	1,473,146	1,425,220	1,425,195	0	25	100.0%
入 湯 税	R01	現年課税分	8,850	10,221	8,520	0	1,701	83.4%
		滞納繰越分	1	3,360	0	243	3,118	0.0%
		計	8,851	13,581	8,520	243	4,819	62.7%
	H30	現年課税分	10,845	11,990	9,877	0	2,113	82.4%
		滞納繰越分	1	1,489	0	242	1,247	0.0%
		計	10,846	13,479	9,877	242	3,360	73.3%
都 市 計 画 税	R01	現年課税分	1,795,873	1,839,175	1,814,926	5	24,244	98.7%
		滞納繰越分	16,707	60,097	24,247	4,694	31,159	40.3%
		計	1,812,580	1,899,272	1,839,173	4,699	55,403	96.8%
	H30	現年課税分	1,757,489	1,775,470	1,751,024	1	24,445	98.6%
		滞納繰越分	17,882	59,851	19,771	4,408	35,674	33.0%
		計	1,775,371	1,835,321	1,770,795	4,409	60,119	96.5%
合 計	R01	現年課税分	45,728,010	46,773,539	46,270,572	1,460	503,355	98.9%
		滞納繰越分	330,276	1,434,984	447,907	149,932	837,246	31.2%
		計	46,058,286	48,208,523	46,718,479	151,392	1,340,601	96.9%
	H30	現年課税分	44,414,165	45,359,419	44,841,846	329	519,712	98.9%
		滞納繰越分	328,896	1,554,975	467,598	167,536	919,900	30.1%
		計	44,743,061	46,914,394	45,309,444	167,865	1,439,612	96.6%

※ 収入済額には、還付未済額 1,947,561円を含む。

内訳 現年課税分：市民税 1,118,680円、固定資産税 695,439円、軽自動車税 30,900円  
 滞納繰越分：市民税 38,742円、固定資産税 45,938円、軽自動車税 14,800円、都市計画税 3,062円

入湯税の充当可能事業の実施状況

(単位:千円)

区分	令和元年度 決算額	財源内訳				充当額	
		特定財源			一般財源		
		国県支出金	市債	その他			
環境衛生施設整備事業	4,041,252	967,262	943,300	183,340	1,947,350	7,426	
消防施設等整備事業	174,409	30,550	0	242	143,617	548	
観光	振興事業	136,410	116	0	2,586	133,708	510
	施設整備事業	9,406	0	0	0	9,406	36
	計	145,816	116	0	2,586	143,114	546
計	4,361,477	997,928	943,300	186,168	2,234,081	8,520	

※入湯税の充当可能事業

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興(観光施設の整備を含む。)に要する費用に充てるものとする。(地方税法第701条)

都市計画税の充当可能事業の実施状況

(単位:千円)

区分	令和元年度 決算額	財源内訳				充当額	
		特定財源			一般財源		
		国県支出金	市債	その他			
下水道	建設事業費	693,884	87,628	501,500	104,756	0	0
	地方債償還金	3,584,151	0	0	1,426,868	2,157,283	1,839,173
	計	4,278,035	87,628	501,500	1,531,624	2,157,283	1,839,173
公園	建設事業費	524,590	192,394	278,000	18,519	35,677	0
	地方債償還金	87,686	0	0	0	87,686	0
	計	612,276	192,394	278,000	18,519	123,363	0
市街地 開発	建設事業費	174,836	0	157,300	9,291	8,245	0
	地方債償還金	883,815	0	0	0	883,815	0
	計	1,058,651	0	157,300	9,291	892,060	0
合計	建設事業費	1,393,310	280,022	936,800	132,566	43,922	0
	地方債償還金	4,555,652	0	0	1,426,868	3,128,784	1,839,173
	計	5,948,962	280,022	936,800	1,559,434	3,172,706	1,839,173

※都市計画税の充当可能事業

都市計画税は、都市計画法に基づいて行う都市計画事業(下水道、公園など)又は土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業に要する費用に充てるものとする。(地方税法第702条)

款 別 歳 出 内 訳

(単位:千円)

区 分	令和元年度 決算額	構成比 (%)	平成30年度 決算額	構成比 (%)	令和元年度と 平成30年度の 増減額	増減比 (%)
議 会 費	392,833	0.4	387,388	0.5	5,445	1.4
総 務 費	6,371,804	7.2	6,458,018	7.6	△ 86,214	△ 1.3
民 生 費	35,547,980	40.2	32,474,744	38.1	3,073,236	9.5
衛 生 費	9,255,349	10.4	10,797,677	12.7	△ 1,542,328	△ 14.3
労 働 費	33,028	0.1	34,771	0.1	△ 1,743	△ 5.0
農林水産業費	1,593,128	1.8	1,648,985	1.9	△ 55,857	△ 3.4
商 工 費	1,154,804	1.3	805,410	0.9	349,394	43.4
土 木 費	10,123,102	11.4	10,175,106	12.0	△ 52,004	△ 0.5
消 防 費	3,905,042	4.4	4,022,379	4.7	△ 117,337	△ 2.9
教 育 費	11,758,819	13.3	10,487,580	12.3	1,271,239	12.1
災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公 債 費	6,224,718	7.0	6,067,670	7.1	157,048	2.6
諸 支 出 金	2,067,370	2.3	1,772,699	2.1	294,671	16.6
予 備 費	0	0	0	0.0	0	0.0
合 計	88,427,977	100.0	85,132,427	100.0	3,295,550	3.9

令和元年度 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 1,651,236千円

(歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 32,082,825千円

(単位:千円)

事業名	事業費	特 定 財 源			一 般 財 源		
		国県支出金	市 債	そ の 他	地方消費税交付金 (社会保障財源分)		
社会 福祉	障害者福祉事業	4,127,537	2,859,032	0	28,375	1,240,130	142,866
	高齢者福祉事業	289,286	2,623	0	3,213	283,450	32,654
	児童福祉事業	16,824,747	9,636,516	66,400	1,544,665	5,577,166	642,503
	生活保護扶助事業	2,250,357	1,658,743	0	31,799	559,815	64,492
	小計	23,491,927	14,156,914	66,400	1,608,052	7,660,561	882,515
社会 保険	介護保険事業	2,023,125	81,590	0	0	1,941,535	223,670
	国民健康保健事業	1,793,698	767,660	0	0	1,026,038	118,202
	小計	3,816,823	849,250	0	0	2,967,573	341,872
保健 衛生	高齢者医療事業	1,874,463	201,642	0	37,165	1,635,656	188,432
	医療福祉事業	1,641,888	646,514	0	107,759	887,615	102,255
	予防接種事業	699,292	9,988	0	0	689,304	79,409
	成人健診事業	252,540	18,774	0	18,585	215,181	24,789
	母子健診事業	305,892	23,942	0	4,494	277,456	31,964
	小計	4,774,075	900,860	0	168,003	3,705,212	426,849
合計	32,082,825	15,907,024	66,400	1,776,055	14,333,346	1,651,236	

※平成26年4月1日からの消費税率引上げに伴い、引上げ分の地方消費税収については、消費税法第1条第2項に規定する経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとする。(地方税法第72条の116第2項)

職 員 数 及 び 人 件 費 の 調

区 分	職 員 数 (人)					職員に要した 人件費(千円)
	一 般 職	単 労 職	教 育 職	医 療 職	計	
議 会 関 係	11 (1)				11 (1)	97,114
総 務 関 係	281 (7)	4		2	287 (7)	3,100,575
税 務 関 係	72 (0)				72 (0)	514,779
民 生 関 係	535 (57)	12		44	591 (57)	4,340,595
衛 生 関 係	64 (7)	3		43	110 (7)	837,363
労 働 関 係	2 (1)				2 (1)	15,450
農 林 関 係	46 (4)				46 (4)	329,355
商 工 関 係	39 (1)				39 (1)	309,657
土 木 関 係	134 (2)				134 (2)	1,267,532
消 防 関 係	330 (0)				330 (0)	3,051,284
教 育 関 係	91 (9)	19	79	8	197 (9)	1,749,362
合 計	1,605 (89)	38	79	97	1,819 (89)	15,613,066

※職員数は、平成31年4月1日現在

※職員数欄の( )内は、再任用職員数を内書き

地 方 債 借 入 先 別 現 在 高 と 償 還 状 況

(単位:千円)

借 入 先	平成30年度末 現在高	令和元年度 発行額	令和元年度償還額		令和元年度末 現在高
			元 金	利 子	
財 政 融 資 資 金	21,914,646	480,900	2,286,228	141,857	20,109,318
旧 郵 政 公 社 資 金	2,945,261	0	506,618	12,544	2,438,643
地方公共団体金融機構	9,125,647	1,602,000	916,581	61,073	9,811,066
ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険	1,086,850	0	103,460	21,905	983,390
市 中 銀 行	10,728,463	1,982,700	867,553	40,495	11,843,610
そ の 他 の 金 融 機 関	1,772,690	0	273,966	20,214	1,498,724
共 済 等	713,438	42,800	83,606	2,172	672,632
そ の 他	5,625,034	1,873,732	886,112	334	6,612,654
合 計	53,912,029	5,982,132	5,924,124	300,594	53,970,037

※財政融資資金には、旧資金運用部資金を含む。

※令和元年度発行額には、財政融資資金起債前貸等借入金を含む。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
			一般	88,040,000	2,478,614	5,419,796	95,938,410	95,848,905	93,033,636	97.0
01			市税	45,848,182		210,104	46,058,286	48,208,523	46,718,479	101.4
	01		市民税	21,343,870		259,950	21,603,820	22,611,400	21,951,789	101.6
		01	個人	17,410,706		259,950	17,670,656	18,354,097	17,733,163	100.4
		01	現年課税分	本年度 17,286,841 前年度 16,788,979 比較 497,862		259,950 153,160 106,790	17,546,791 16,942,139 604,652	17,766,244 17,150,649 615,595	17,573,683 16,941,485 632,198	100.2 100.0
		02	滞納繰越分	本年度 123,865 前年度 125,232 比較 △1,367			123,865 125,232 △1,367	587,853 655,698 △67,845	159,481 187,251 △27,770	128.8 149.5
		02	法人	3,933,164			3,933,164	4,257,303	4,218,626	107.3
		01	現年課税分	本年度 3,926,647 前年度 3,784,810 比較 141,837			3,926,647 3,784,810 141,837	4,217,142 4,201,146 15,996	4,208,174 4,187,247 20,927	107.2 110.6
		02	滞納繰越分	本年度 6,517 前年度 5,416 比較 1,101			6,517 5,416 1,101	40,160 42,700 △2,540	10,452 12,619 △2,167	160.4 233.0
02			固定資産税	20,691,734			20,691,734	21,661,683	20,961,383	101.3
	01		固定資産税	20,571,887			20,571,887	21,541,833	20,841,533	101.3
		01	現年課税分	本年度 20,396,715 前年度 19,882,762 比較 513,953			20,396,715 19,882,762 513,953	20,852,841 20,197,689 655,152	20,597,253 19,948,908 648,345	101.0 100.3
		02	滞納繰越分	本年度 175,172 前年度 172,741 比較 2,431			175,172 172,741 2,431	688,993 744,835 △55,842	244,281 239,537 4,744	139.5 138.7
02			国有資産等所在市町村交付金	119,847			119,847	119,849	119,849	100.0
		01	現年課税分	本年度 119,847 前年度 132,665 比較 △12,818			119,847 132,665 △12,818	119,849 132,667 △12,818	119,849 132,667 △12,818	100.0 100.0
03			軽自動車税	483,119			483,119	549,806	484,832	100.4
	01		軽自動車税	478,428			478,428	544,832	479,859	100.3
		01	現年課税分	本年度 470,414 前年度 430,309 比較 40,105			470,414 430,309 40,105	490,337 464,587 25,750	470,436 445,442 24,994	100.0 103.5
		02	滞納繰越分	本年度 8,014 前年度 7,624 比較 390			8,014 7,624 390	54,494 50,402 4,092	9,423 8,420 1,003	117.6 110.4
		02	環境性能割	4,691			4,691	4,974	4,974	106.0
		01	現年課税分	本年度 4,691 前年度 4,691 比較 4,691			4,691 4,691 4,691	4,974 4,974 4,974	4,974 4,974 4,974	106.0 106.0
04			市たばこ税	1,508,028		△49,846	1,458,182	1,472,781	1,472,781	101.0
	01		市たばこ税	1,508,028		△49,846	1,458,182	1,472,781	1,472,781	101.0
		01	現年課税分	本年度 1,508,028 前年度 1,473,146 比較 34,882		△49,846	1,458,182 1,473,146 △14,964	1,472,756 1,425,220 47,536	1,472,756 1,425,195 47,561	101.0 96.7
		02	滞納繰越分	本年度 前年度 比較				25 25 0	25 25 0	
05			入湯税	8,851			8,851	13,581	8,520	96.3
	01		入湯税	8,851			8,851	13,581	8,520	96.3
		01	現年課税分	本年度 8,850 前年度 10,845 比較 △1,995			8,850 10,845 △1,995	8,520 11,990 △1,769	8,520 9,877 △1,357	96.3 91.1
		02	滞納繰越分	本年度 1 前年度 1 比較			1 1 0	3,361 1,489 1,872		
06			都市計画税	1,812,580			1,812,580	1,899,272	1,839,173	101.5
	01		都市計画税	1,812,580			1,812,580	1,899,272	1,839,173	101.5
		01	現年課税分	本年度 1,795,873 前年度 1,757,489 比較 38,384			1,795,873 1,757,489 38,384	1,839,175 1,775,469 63,706	1,814,926 1,751,024 63,902	101.1 99.6
		02	滞納繰越分	本年度 16,707 前年度 17,882 比較 △1,175			16,707 17,882 △1,175	60,097 59,851 246	24,247 19,771 4,476	145.1 110.6

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
02				地方譲与税	901,002		11,100	912,102	936,553	936,553	102.7
	01			地方揮発油譲与税	259,501			259,501	238,531	238,531	91.9
		01		地方揮発油譲与税	259,501			259,501	238,531	238,531	91.9
			01	地方揮発油譲与税	259,501			259,501	238,531	238,531	91.9
				前年度	258,934			258,934	266,578	266,578	103.0
				比較	567			567	△28,047	△28,047	
	02			自動車重量譲与税	641,501			641,501	686,933	686,933	107.1
		01		自動車重量譲与税	641,501			641,501	686,933	686,933	107.1
			01	自動車重量譲与税	641,501			641,501	686,933	686,933	107.1
				前年度	655,692			655,692	656,674	656,674	100.1
				比較	△14,191			△14,191	30,259	30,259	
	03			森林環境譲与税			11,100	11,100	11,089	11,089	99.9
		01		森林環境譲与税			11,100	11,100	11,089	11,089	99.9
			01	森林環境譲与税			11,100	11,100	11,089	11,089	99.9
				前年度							
				比較			11,100	11,100	11,089	11,089	
03				利子割交付金	52,172			52,172	31,186	31,186	59.8
	01			利子割交付金	52,172			52,172	31,186	31,186	59.8
		01		利子割交付金	52,172			52,172	31,186	31,186	59.8
			01	利子割交付金	52,172			52,172	31,186	31,186	59.8
				前年度	55,139			55,139	63,643	63,643	115.4
				比較	△2,967			△2,967	△32,457	△32,457	
04				配当割交付金	186,422			186,422	173,959	173,959	93.3
	01			配当割交付金	186,422			186,422	173,959	173,959	93.3
		01		配当割交付金	186,422			186,422	173,959	173,959	93.3
			01	配当割交付金	186,422			186,422	173,959	173,959	93.3
				前年度	165,590			165,590	145,821	145,821	88.1
				比較	20,832			20,832	28,138	28,138	
05				株式等譲渡所得割	168,034			168,034	106,002	106,002	63.1
	01			株式等譲渡所得割	168,034			168,034	106,002	106,002	63.1
		01		株式等譲渡所得割	168,034			168,034	106,002	106,002	63.1
			01	株式等譲渡所得割	168,034			168,034	106,002	106,002	63.1
				交付金	168,309			168,309	126,434	126,434	75.1
				前年度	168,309			168,309	126,434	126,434	75.1
				比較	△275			△275	△20,432	△20,432	
06				地方消費税交付金	4,535,065			4,535,065	4,292,953	4,292,953	94.7
	01			地方消費税交付金	4,535,065			4,535,065	4,292,953	4,292,953	94.7
		01		地方消費税交付金	4,535,065			4,535,065	4,292,953	4,292,953	94.7
			01	地方消費税交付金	4,535,065			4,535,065	4,292,953	4,292,953	94.7
				前年度	4,296,256			4,296,256	4,439,969	4,439,969	103.3
				比較	238,809			238,809	△147,016	△147,016	
07				ゴルフ場利用税交	83,861			83,861	81,908	81,908	97.7
	01			ゴルフ場利用税交	83,861			83,861	81,908	81,908	97.7
		01		ゴルフ場利用税交	83,861			83,861	81,908	81,908	97.7
			01	ゴルフ場利用税交	83,861			83,861	81,908	81,908	97.7
				交付金	86,802			86,802	82,390	82,390	94.9
				前年度	86,802			86,802	82,390	82,390	94.9
				比較	△2,941			△2,941	△482	△482	
08				自動車取得税交付	121,046		13,028	134,074	134,075	134,075	100.0
	01			自動車取得税交付	121,046		13,028	134,074	134,075	134,075	100.0
		01		自動車取得税交付	121,046		13,028	134,074	134,075	134,075	100.0
			01	自動車取得税交付	121,046		13,028	134,074	134,075	134,075	100.0
				金	261,319			261,319	254,113	254,113	97.2
				前年度	261,319			261,319	254,113	254,113	97.2
				比較	△140,273		13,028	△127,245	△120,038	△120,038	
09				環境性能割交付金	44,328			44,328	41,207	41,207	93.0
	01			環境性能割交付金	44,328			44,328	41,207	41,207	93.0
		01		環境性能割交付金	44,328			44,328	41,207	41,207	93.0
			01	環境性能割交付金	44,328			44,328	41,207	41,207	93.0
				前年度	44,328			44,328	41,207	41,207	93.0
				比較	44,328			44,328	41,207	41,207	
10				地方特例交付金	268,398		484,318	752,716	799,707	799,707	106.2
	01			地方特例交付金	268,398		21,264	289,662	289,662	289,662	100.0
		01		地方特例交付金	268,398		21,264	289,662	289,662	289,662	100.0
			01	地方特例交付金	268,398		21,264	289,662	289,662	289,662	100.0
				前年度	185,776		42,759	228,535	228,535	228,535	100.0
				比較	82,622		△21,495	61,127	61,127	61,127	

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。



令和元年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
10	02			子ども・子育て支援臨時交付金			463,054	463,054	510,045	510,045	110.1		
		01		子ども・子育て支援臨時交付金			463,054	463,054	510,045	510,045	110.1		
			01		子ども・子育て支援臨時交付金	本年度			463,054	463,054	510,045	510,045	110.1
					前年度								
				比較			463,054	463,054	510,045	510,045			
11	01			地方交付税	1,966,777			1,966,777	2,597,155	2,597,155	132.1		
		01		地方交付税	1,966,777			1,966,777	2,597,155	2,597,155	132.1		
			01		地方交付税	1,966,777			1,966,777	2,597,155	2,597,155	132.1	
					地方交付税	本年度	1,966,777			1,966,777	2,597,155	2,597,155	132.1
				前年度	2,998,829			2,998,829	2,955,958	98.6			
				比較	△1,032,052			△1,032,052	△358,803	△358,803			
12	01			交通安全対策特別交付金	33,798			33,798	28,714	28,714	85.0		
		01		交通安全対策特別交付金	33,798			33,798	28,714	28,714	85.0		
			01		交通安全対策特別交付金	33,798			33,798	28,714	28,714	85.0	
					交通安全対策特別交付金	本年度	33,798			33,798	28,714	28,714	85.0
				前年度	33,866			33,866	29,797	88.0			
				比較	△68			△68	△1,083	△1,083			
13				分担金及び負担金	1,856,545		△447,451	1,409,094	1,502,179	1,418,130	100.6		
	01			分担金	1			1					
		01			農林水産業費分担金	1			1				
				農林水産業費分担金	本年度	1			1				
				前年度	1			1					
				比較									
	02			負担金	1,856,544		△447,451	1,409,093	1,502,179	1,418,130	100.6		
		01			民生費負担金	1,837,031		△447,451	1,389,580	1,482,995	1,398,946	100.7	
				民生費負担金	本年度	29,269			29,269	27,139	27,139	92.7	
				前年度	32,819			32,819	29,350	29,350	89.4		
				比較	△3,550			△3,550	△2,211	△2,211			
					02								
					児童福祉費負担金	1,807,762		△447,451	1,360,311	1,455,856	1,371,807	100.8	
				前年度	1,782,584		△64,321	1,718,263	1,780,973	1,686,944	98.2		
			比較	25,178		△383,130	△357,952	△325,117	△315,137				
				02									
				衛生費負担金	2,726			2,726	2,397	2,397	87.9		
				前年度	2,726			2,726	2,397	2,397	87.9		
			比較	1,780			1,780	2,036	2,024	113.7			
				946			946	361	373				
				03									
				土木費負担金	16,787			16,787	16,787	16,787	100.0		
				前年度	16,787			16,787	16,787	16,787	100.0		
			比較	16,494			16,494	16,494	16,494	100.0			
				293			293	293	293				
				×									
				総務費負担金									
				前年度	382		82	464	321	321	69.2		
			比較	△382		△82	△464	△321	△321				
14	01			使用料及び手数料	1,356,898		△23,125	1,333,773	1,522,072	1,311,157	98.3		
		01		使用料	760,493		△23,125	737,368	905,124	694,209	94.1		
			01		総務使用料	47,838		41	47,879	47,793	47,793	99.8	
				01		公舎使用料	185			185			
						前年度	185			185			
					比較								
						02							
						イノベーション	4,500		41	4,541	2,679	2,679	59.0
						ラザ使用料	4,500			4,500	3,905	3,905	86.8
						比較			41	41	△1,226	△1,226	
						03							
						行政財産使用料	43,153			43,153	45,114	45,114	104.5
						前年度	42,765			42,765	43,340	43,340	101.3
			比較	388			388	1,774	1,774				
			02										
			民生使用料	38,954		315	39,269	31,874	31,822	81.0			
			前年度	1,002			1,002	944	944	94.2			
			比較	990			990	844	844	85.3			
				12			12	100	100				
				02									
			福祉支援センター	3,265			3,265	1,305	1,305	40.0			
			使用料	3,689			3,689	2,382	2,382	64.6			
			比較	△424			△424	△1,077	△1,077				
				03									
			地域交流センター	23,263		215	23,478	18,904	18,904	80.5			
			使用料	24,099			24,099	22,005	22,005	91.3			
			比較	△836		215	△621	△3,101	△3,101				
				04									
			市民ホール使用料	10,977		100	11,077	10,037	10,037	90.6			
			前年度	12,650			12,650	13,750	13,750	108.7			
			比較	△1,673		100	△1,573	△3,713	△3,713				

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率			
14	01	02	05	行政財産使用料	本年度	447		447	684	633	141.6			
				前年度	436		436	520	354	81.2				
				比較	11		11	164	279					
			03	衛生使用料		76,043		4	76,047	62,580	62,580	82.3		
				01	保健衛生使用料	本年度	469		4	473	404	404	85.4	
						前年度	795			795	497	497	62.5	
			比較			△326		4	△322	△93	△93			
			02	メモリアルホール 使用料	本年度	72,996			72,996	59,562	59,562	81.6		
					前年度	72,996			72,996	61,032	61,032	83.6		
					比較					△1,470	△1,470			
			03	行政財産使用料	本年度	2,578			2,578	2,614	2,614	101.4		
					前年度	2,575			2,575	2,580	2,580	100.2		
					比較	3			3	34	34			
			04	労働使用料	本年度	10			10	10	10	100.0		
					01	働く婦人の家使用 料	本年度	10			10	10	10	100.0
							前年度	10			10	10	10	100.0
			比較											
			05	農林水産業使用料	本年度	57,476			57,476	51,829	51,829	90.2		
					01	ゆかりの森施設使 用料	本年度	23,409			23,409	21,844	21,844	93.3
							前年度	21,261			21,261	17,796	17,796	83.7
			比較	2,148					2,148	4,048	4,048			
			02	ふれあいの里施設 使用料	本年度	34,010			34,010	29,828	29,828	87.7		
					前年度	33,235			33,235	31,273	31,273	94.1		
					比較	775			775	△1,445	△1,445			
			03	行政財産使用料	本年度	57			57	158	158	277.2		
					前年度	57			57	149	149	261.4		
					比較					9	9			
			06	商工使用料	本年度	72,122			72,122	58,219	58,219	80.7		
					01	筑波山駐車場使用 料	本年度	45,775			45,775	40,157	40,157	87.7
							前年度	45,775			45,775	44,660	44,660	97.6
			比較							△4,503	△4,503			
			02	おもてなし館使用 料	本年度	117			117	119	119	101.7		
					前年度	118			118	118	118	100.0		
					比較	△1			△1	1	1			
			03	産業振興センター 使用料	本年度	13,140			13,140	8,872	8,872	67.5		
					前年度	10,962		△2,610	8,352	8,352	8,352	100.0		
					比較	2,178		2,610	4,788	520	520			
			04	六斗の森施設使用 料	本年度	12,895			12,895	8,850	8,850	68.6		
					前年度									
					比較	12,895			12,895	8,850	8,850			
			05	行政財産使用料	本年度	195			195	222	222	113.8		
					前年度	181			181	186	186	102.8		
					比較	14			14	36	36			
			07	土木使用料	本年度	403,544		△835	402,709	609,713	398,850	99.0		
					01	公園使用料	本年度	32,545		297	32,842	30,374	30,215	92.0
							前年度	35,099			35,099	29,924	28,956	82.5
			比較	△2,554				297	△2,257	450	1,259			
02	広場使用料	本年度	8,713			8,713	7,052	7,052	80.9					
		前年度	14,426			14,426	15,779	15,779	109.4					
		比較	△5,713			△5,713	△8,727	△8,727						
03	駐車場使用料	本年度	75,694		△1,132	74,562	73,644	73,644	98.8					
		前年度	71,443			71,443	74,825	74,825	104.7					
		比較	4,251		△1,132	3,119	△1,181	△1,181						
04	駅前広場使用料	本年度	10,505			10,505	10,756	10,756	102.4					
		前年度	9,830			9,830	9,971	9,971	101.4					
		比較	675			675	785	785						
05	市営住宅使用料	本年度	169,463			169,463	377,899	167,195	98.7					
		前年度	176,793			176,793	389,520	172,074	97.3					
		比較	△7,330			△7,330	△11,621	△4,879						
06	道路占用使用料	本年度	105,000			105,000	107,486	107,486	102.4					
		前年度	105,000			105,000	109,831	109,831	104.6					
		比較					△2,345	△2,345						
07	行政財産使用料	本年度	1,624			1,624	2,502	2,502	154.1					
		前年度	33			33	84	84	254.5					
		比較	1,591			1,591	2,418	2,418						

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
14	01	08		消防使用料	128			128	128	128	100.0	
			01	行政財産使用料	128			128	128	128	100.0	
				前年度	128		128	128	128	100.0		
				比較								
			09		教育使用料	64,378		△22,650	41,728	42,976	42,976	103.0
				01	幼稚園使用料	42,287		△22,805	19,482	18,509	18,509	95.0
					前年度	43,079		43,079	43,133	43,109	100.1	
					比較	△792		△22,805	△23,597	△24,624	△24,600	
				02	視聴覚使用料	2,430		22	2,452	2,254	2,254	91.9
					前年度	2,509		2,509	2,495	2,495	99.4	
					比較	△79		22	△57	△241	△241	
				03	体育館使用料	13,359		85	13,444	14,711	14,711	109.4
					前年度	12,909		12,909	13,901	13,901	107.7	
					比較	450		85	535	810	810	
				04	テニスコート使用料	3,658		33	3,691	4,235	4,235	114.7
					前年度	3,450		3,450	4,112	4,112	119.2	
					比較	208		33	241	123	123	
				05	野球場使用料	1,418		12	1,430	1,573	1,573	110.0
					前年度	1,522		1,522	1,481	1,481	97.3	
					比較	△104		12	△92	92	92	
				06	ソフトボール場使用料	135		1	136	69	69	50.7
					前年度	145		145	67	67	46.2	
					比較	△10		1	△9	2	2	
07	サッカー場使用料	332			2	334	293	293	87.7			
	前年度	384			384	286	286	74.5				
	比較	△52			2	△50	7	7				
08	行政財産使用料	759				759	1,331	1,331	175.4			
	前年度	544		544	1,248	1,248	229.4					
	比較	215		215	83	83						
02		手数料	596,405			596,405	616,948	616,948	103.4			
	01	総務手数料	91,822			91,822	90,126	90,126	98.2			
		01	戸籍住民登録手数料	50,460			50,460	49,221	49,221	97.5		
			前年度	48,289		48,289	48,755	48,755	101.0			
			比較	2,171		2,171	466	466				
		02	事務手数料	18,620			18,620	18,909	18,909	101.6		
			前年度	19,945		19,945	19,593	19,593	98.2			
			比較	△1,325		△1,325	△684	△684				
		03	徴税手数料	21,272			21,272	20,473	20,473	96.2		
			前年度	23,695		23,695	21,378	21,378	90.2			
			比較	△2,423		△2,423	△905	△905				
		04	自動車臨時運行許可手数料	1,470			1,470	1,522	1,522	103.5		
			前年度	1,575		1,575	1,580	1,580	100.3			
			比較	△105		△105	△58	△58				
		02	民生手数料	640			640	509	509	79.5		
			01	民生手数料	640			640	509	509	79.5	
				前年度	640		640	313	313	48.9		
				比較				196	196			
			03	衛生手数料	475,790			475,790	500,445	500,445	105.2	
				01	廃棄物処理手数料	469,811			469,811	494,543	494,543	105.3
					前年度	486,732		486,732	471,240	471,240	96.8	
					比較	△16,921		△16,921	23,303	23,303		
				02	畜犬登録等事務手数料	5,902			5,902	5,767	5,767	97.7
前年度					5,902		5,902	5,619	5,619	95.2		
比較							148	148				
03	塵芥処理手数料			77			77	135	135	175.3		
	前年度			77		77	205	205	266.2			
	比較						△70	△70				
04	農林水産業手数料			22			22	14	14	63.6		
	01			農林水産業手数料	22			22	14	14	63.6	
				前年度	2		2	2	2	100.0		
				比較	20		20	12	12			
	05			商工手数料	150			150	209	209	139.3	
				01	商工手数料	150			150	209	209	139.3
					前年度	150		150	184	184	122.7	
					比較				25	25		

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
14	02	06		土木手数料	26,331			26,331	22,533	22,533	85.6
		01		土木手数料	25,319			25,319	22,246	22,246	87.9
				前年度	27,364			27,364	22,185	22,185	81.1
				比較	△2,045			△2,045	61	61	
		02		駐車場手数料	1,012			1,012	288	288	28.5
				前年度	754			754	403	403	53.4
				比較	258			258	△115	△115	
		07		消防手数料	1,650			1,650	3,113	3,113	188.7
		01		消防手数料	1,650			1,650	3,113	3,113	188.7
				前年度	1,676			1,676	2,683	2,683	160.1
				比較	△26			△26	430	430	
15				国庫支出金	13,271,966	525,005	724,644	14,521,615	14,331,110	13,816,195	95.1
	01			国庫負担金	8,709,164		940,157	9,649,321	9,806,311	9,806,311	101.6
		01		民生費国庫負担金	8,704,330		940,157	9,644,487	9,800,813	9,800,813	101.6
		01		心身障害者福祉費負担金	1,754,969		139,193	1,894,162	1,849,274	1,849,274	97.6
				前年度	1,544,642		85,425	1,630,067	1,601,369	1,601,369	98.2
				比較	210,327		53,768	264,095	247,905	247,905	
		02		児童福祉費負担金	1,990,251		643,361	2,633,612	2,847,369	2,847,369	108.1
				前年度	1,799,843		91,575	1,891,418	1,929,907	1,929,907	102.0
				比較	190,408		551,786	742,194	917,462	917,462	
		03		生活保護費負担金	1,569,895		59,322	1,629,217	1,630,889	1,630,889	100.1
				前年度	1,551,252		1,314	1,552,566	1,552,565	1,552,565	100.0
				比較	18,643		58,008	76,651	78,324	78,324	
		04		国民健康保険事業費負担金	190,783		5,834	196,617	196,618	196,618	100.0
				前年度	209,897		△11,702	198,195	198,196	198,196	100.0
				比較	△19,114		17,536	△1,578	△1,578	△1,578	
		05		児童扶養手当負担金	227,898		62,175	290,073	287,626	287,626	99.2
				前年度	233,755			233,755	227,706	227,706	97.4
				比較	△5,857		62,175	56,318	59,920	59,920	
		06		児童手当負担金	2,958,853		1,959	2,960,812	2,949,044	2,949,044	99.6
				前年度	2,915,907		21,604	2,937,511	2,938,090	2,938,090	100.0
				比較	42,946		△19,645	23,301	10,954	10,954	
		07		介護保険事業費負担金	11,681		28,313	39,994	39,993	39,993	100.0
				前年度	12,372		△1,117	11,255	11,369	11,369	101.0
				比較	△691		29,430	28,739	28,624	28,624	
		02		衛生費国庫負担金	4,834			4,834	5,498	5,498	113.7
		01		衛生費負担金	4,834			4,834	5,498	5,498	113.7
				前年度	3,796			3,796	3,897	3,897	102.7
				比較	1,038			1,038	1,601	1,601	
	02			国庫補助金	4,499,895	525,005	△215,513	4,809,387	4,464,006	3,949,092	82.1
		01		総務費国庫補助金	71,521		36,321	107,842	80,253	80,253	74.4
		01		総務管理費補助金	34,831		34,614	69,445	50,885	50,885	73.3
				前年度	32,292			32,292	24,478	24,478	75.8
				比較	2,539		34,614	37,153	26,407	26,407	
		02		地域活性化交付金	36,690		1,707	38,397	29,368	29,368	76.5
				前年度	36,730	1,561	△17,900	20,391	18,123	18,123	88.9
				比較	△40	△1,561	19,607	18,006	11,245	11,245	
		02		民生費国庫補助金	1,353,387	151,042	297,402	1,801,831	1,680,792	1,680,792	93.3
		01		社会福祉費補助金	86,934		12,410	99,344	82,453	82,453	83.0
				前年度	77,043		4,355	81,398	66,858	66,858	82.1
				比較	9,891		8,055	17,946	15,595	15,595	
		02		児童福祉費補助金	1,266,453	151,042	261,680	1,679,175	1,579,053	1,579,053	94.0
				前年度	459,937		6,505	466,442	306,824	306,824	65.8
				比較	806,516	151,042	255,175	1,212,733	1,272,229	1,272,229	
		03		老人福祉費補助金			23,312	23,312	19,286	19,286	82.7
				前年度			908	908			
				比較			22,404	22,404	19,286	19,286	
		03		衛生費国庫補助金	1,109,102		△100,719	1,008,383	1,068,004	1,025,244	101.7
		01		保健衛生費補助金	1,109,102		△100,719	1,008,383	1,068,004	1,025,244	101.7
				前年度	1,508,726	159,322	4,715	1,672,763	1,649,988	1,649,988	98.6
				比較	△399,624	△159,322	△105,434	△664,380	△581,984	△624,744	
		04		農林水産業費国庫補助金	27,500		△5,675	21,825	21,825	20,525	94.0
		01		農業費補助金	27,500		△5,675	21,825	21,825	20,525	94.0
				前年度	29,225			29,225	29,200	29,200	99.9
				比較	△1,725		△5,675	△7,400	△7,375	△8,675	

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
15	02	05	土木費国庫補助金		1,596,747	373,963	△716,643	1,254,067	1,254,067	830,822	66.3	
			01	土木費補助金		423,810	162,672	△166,652	419,830	419,830	264,600	63.0
				前年度		469,499	181,818	△180,055	471,262	472,227	309,555	65.7
		比較		△45,689	△19,146	13,403	△51,432	△52,397	△44,955			
		02	都市計画費補助金		400,425	163,364	△65,700	498,089	498,089	358,737	72.0	
			前年度		678,510	158,944	△94,018	743,436	743,036	579,672	78.0	
			比較		△278,085	4,420	28,318	△245,347	△244,947	△220,935		
		03	住宅費補助金		772,512	47,927	△484,291	336,148	336,148	207,485	61.7	
			前年度		560,206	70,536	△423,023	207,719	207,718	159,791	76.9	
			比較		212,306	△22,609	△61,268	128,429	128,430	47,694		
		06	消防費国庫補助金		31,804		△5,486	26,318	30,550	30,550	116.1	
			01	消防費補助金		31,804		△5,486	26,318	30,550	30,550	116.1
				前年度		70,556		△5,386	65,170	65,170	65,170	100.0
		比較		△38,752		△100	△38,852	△34,620	△34,620			
		07	教育費国庫補助金		309,834		279,287	589,121	328,515	280,905	47.7	
	01		小学校費補助金		55,800		186,501	242,301	75,614	53,946	22.3	
			前年度		65,838		△13,186	52,652	43,399	43,399	82.4	
			比較		△10,038		199,687	189,649	32,215	10,547		
	02		中学校費補助金		27,665		112,635	140,300	48,514	27,735	19.8	
			前年度		99,114		△81,677	17,437	7,367	7,367	42.2	
			比較		△71,449		194,312	122,863	41,147	20,368		
	03		幼稚園費補助金		40,310		△9,180	31,130	29,091	23,928	76.9	
			前年度		35,383		1,471	36,854	43,743	43,743	118.7	
			比較		4,927		△10,651	△5,724	△14,652	△19,815		
	04		社会教育費補助金		186,059		△10,669	175,390	175,296	175,296	99.9	
			前年度		161,745		26,030	187,775	187,441	187,441	99.8	
		比較		24,314		△36,699	△12,385	△12,145	△12,145			
	×	保健体育費補助金										
		前年度		151,825		△151,825						
		比較		△151,825		151,825						
	03	委託金		62,907			62,907	60,793	60,793	96.6		
		01	総務費委託金		3,547			3,547	3,403	3,403	95.9	
			01	総務管理費委託金		3,547			3,547	3,403	3,403	95.9
				前年度		2,801			2,801	3,391	3,391	121.1
		比較		746			746	12	12			
		02	民生費委託金		55,953			55,953	53,635	53,635	95.9	
			01	国民年金事務委託金		55,247			55,247	52,924	52,924	95.8
				前年度		56,855		206	57,061	51,204	51,204	89.7
		比較		△1,608		△206	△1,814	1,720	1,720			
		02	児童福祉費委託金		706			706	711	711	100.7	
			前年度		665			665	707	707	106.3	
			比較		41			41	4	4		
	03	土木費委託金		3,407			3,407	3,755	3,755	110.2		
		01	河川費委託金		3,407			3,407	3,755	3,755	110.2	
			前年度		3,390			3,390	2,277	2,277	67.2	
比較			17			17	1,478	1,478				
16	県支出金		5,719,204	42,884	696,062	6,458,150	5,975,850	5,600,188	86.7			
	01	県負担金		3,363,280		405,063	3,768,343	3,526,158	3,526,158	93.6		
		01	民生費県負担金		3,360,863		405,063	3,765,926	3,524,340	3,524,340	93.6	
			01	社会福祉費負担金		1,009			1,009			
				前年度		1,000			1,000	639	639	63.9
		比較		9			9	△639	△639			
		02	児童福祉費負担金		1,067,884		323,837	1,391,721	1,175,557	1,175,557	84.5	
			前年度		970,216		49,109	1,019,325	915,738	915,738	89.8	
			比較		97,668		274,728	372,396	259,819	259,819		
		03	生活保護費負担金		27,907			27,907	24,390	24,390	87.4	
			前年度		39,041			39,041	28,062	28,062	71.9	
			比較		△11,134			△11,134	△3,672	△3,672		
		04	国民健康保険事業費負担金		552,898		18,144	571,042	571,042	571,042	100.0	
			前年度		564,873		9,506	574,379	574,380	574,380	100.0	
			比較		△11,975		8,638	△3,337	△3,338	△3,338		
05	障害福祉費負担金		858,476		61,253	919,729	900,125	900,125	97.9			
	前年度		754,007		42,654	796,661	795,034	795,034	99.8			
	比較		104,469		18,599	123,068	105,091	105,091				
06	後期高齢者医療事業費負担金		213,968		△12,327	201,641	201,642	201,642	100.0			
	前年度		207,511		6,457	213,968	213,968	213,968	100.0			
	比較		6,457		△18,784	△12,327	△12,326	△12,326				

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率											
16	01	01	07	児童手当負担金	本年度	632,881		632,881	631,587	631,587	99.8											
				前年度	621,202		626,717	626,328	626,328	99.9												
				比較	11,679		△5,515	6,164	5,259	5,259												
				08	介護保険事業費負担金	本年度	5,840		14,156	19,996	19,997	19,997	100.0									
					前年度	6,186		△559	5,627	5,684	5,684	101.0										
					比較	△346		14,715	14,369	14,313	14,313											
				02	01	衛生費県負担金	本年度	2,417			2,417	1,818	1,818	75.2								
						前年度	2,417			2,417	1,818	1,818	75.2									
				比較	1,898			1,898	1,902	1,902	100.2											
				比較	519			519	△84	△84												
				02		県補助金		1,847,719	42,884	290,402	2,181,005	1,959,338	1,583,676	72.6								
				02	01	01	01	総務費県補助金		1,054	14,036	269,576	284,666	189,583	144,823	50.9						
								01	統計調査費補助金	本年度	54			54	59	59	109.3					
									前年度	35			35	45	45	128.6						
									比較	19			19	14	14							
								03	地域活性化補助金	本年度		14,036	264,577	278,613	188,669	143,909	51.7					
									前年度		14,036	14,036	14,036	14,036								
									比較		14,036	250,541	264,577	174,633	143,909							
								04	01	総務管理費補助金	本年度	1,000		4,999	5,999	855	855	14.3				
										前年度			4,999	5,999	855	855						
								比較	1,000		4,999	5,999	855	855								
								02		民生費県補助金		1,369,085		85,755	1,454,840	1,376,053	1,071,413	73.6				
								02	01	01	01	社会福祉費補助金	本年度	40,146		40,146	36,298	36,298	90.4			
												前年度	37,520		1,772	39,292	33,870	33,870	86.2			
												比較	2,626		△1,772	854	2,428	2,428				
												02	01	老人福祉費補助金	本年度	298,967		8,230	307,197	307,057	2,417	0.8
														前年度	4,957		△2,350	2,607	2,371	2,371	90.9	
比較	294,010		10,580									304,590	304,686	46								
03	01	心身障害者福祉費補助金	本年度									2,163			2,163	1,840	1,840	85.1				
		前年度	2,454											2,454	1,845	1,845	75.2					
比較	△291											△291	△5	△5								
04	01	医療福祉費補助金	本年度									614,701		31,786	646,487	646,487	646,487	100.0				
		前年度	598,078										2,830	600,908	599,549	599,549	99.8					
比較	16,623		28,956									45,579	46,938	46,938								
05	01	児童福祉費補助金	本年度									413,062		45,739	458,801	384,328	384,328	83.8				
		前年度	319,322										310	319,632	274,984	274,984	86.0					
比較	93,740		45,429									139,169	109,344	109,344								
06	01	災害救助費補助金	本年度									46			46	42	42	91.3				
		前年度	218			218	81					81	37.2									
比較	△172			△172	△39	△39																
03	01	衛生費県補助金	本年度	37,721		1,000	38,721					33,273	33,273	85.9								
		前年度	37,721		1,000	38,721	33,273					33,273	85.9									
比較	41,176			41,176	35,637	35,637	86.5															
比較	△3,455		1,000	△2,455	△2,364	△2,364																
04	01	農林水産業費県補助金	本年度	336,719	28,848	△55,376	310,191					273,773	247,511	79.8								
		前年度	325,477	28,848	△55,376	298,949	264,475					238,213	79.7									
比較	385,254	29,262	△18,420	396,096	306,027	277,179	70.0															
比較	△59,777	△414	△36,956	△97,147	△41,552	△38,966																
02	01	畜産費補助金	本年度	6			6					3	3	50.0								
		前年度	8			8	3	3	37.5													
比較	△2			△2																		
03	01	林業費補助金	本年度	11,236			11,236	9,295	9,295	82.7												
		前年度	22,250		△250	22,000	12,664	12,664	57.6													
比較	△11,014		250	△10,764	△3,369	△3,369																
05	01	商工費県補助金	本年度	841			841	229	229	27.2												
		前年度	841			841	229	229	27.2													
比較	631			631	457	457	72.4															
比較	210			210	△228	△228																
06	01	土木費県補助金	本年度	7,400		△360	7,040	7,294	7,294	103.6												
		前年度	7,000			7,000	6,950	6,950	99.3													
比較	7,000			7,000	6,950	6,950	99.3															
比較	400		△360	40	40	344	344															
02	01	住宅費補助金	本年度	400		△227	173	173	173	100.0												
		前年度	400		△133	173	173	173	100.0													
比較	400		△133	173	173	173	100.0															

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率			
16	02	07		教育費県補助金	94,899		△10,193	84,706	79,084	79,084	93.4			
				01	小学校費補助金	本年度	1,359			1,359	1,171	1,171	86.2	
						前年度	5,383		603	5,986	991	991	16.6	
						比較	△4,024		△603	△4,627	180	180		
				02	中学校費補助金	本年度	5,231			5,231	1,968	1,968	37.6	
		前年度	2,537				△338	2,199	626	626	28.5			
		比較	2,694		338	3,032	1,342	1,342						
		03	社会教育費補助金	本年度	8,900			8,900	6,728	6,728	75.6			
				前年度	6,237			6,237	4,492	4,492	72.0			
		比較	2,663			2,663	2,236	2,236						
		04	保健体育費補助金	本年度	79,409		△10,193	69,216	69,216	69,216	100.0			
				前年度	45,348		△15,607	29,741	24,730	24,730	83.2			
	比較	34,061		5,414	39,475	44,486	44,486							
	08	01	消防費補助金	本年度					50	50				
				前年度	50			50	50	50	100.0			
	比較	△50			△50									
	03				委託金	508,205		597	508,802	490,354	490,354	96.4		
					01	総務費委託金	本年度	499,895		△23	499,872	479,791	479,791	96.0
							前年度	16,758			16,758	18,569	18,569	110.8
					比較	△563			△563	1,810	1,810			
					02	徴税费委託金	本年度	373,440			373,440	372,734	372,734	99.8
							前年度	363,065			363,065	367,381	367,381	101.2
					比較	10,375			10,375	5,353	5,353			
					03	戸籍住民登録費委託金	本年度	221			221	211	211	95.5
							前年度	216			216	212	212	98.1
					比較	5			5	△1	△1			
					04	選挙費委託金	本年度	88,630			88,630	69,768	69,768	78.7
							前年度	72,619			72,619	56,661	56,661	78.0
					比較	16,011			16,011	13,107	13,107			
05					統計調査費委託金	本年度	20,846		△23	20,823	18,509	18,509	88.9	
						前年度	9,971		△113	9,858	8,431	8,431	85.5	
比較					10,875		90	10,965	10,078	10,078				
02					01	社会福祉費委託金	本年度	8,165		620	8,785	10,416	10,416	118.6
							前年度	4			4	28	28	700.0
比較									28	28				
02					心身障害者福祉費委託金	本年度	8,160		620	8,780	8,900	8,900	101.4	
						前年度	8,640			8,640	8,130	8,130	94.1	
比較					△480		620	140	770	770				
03					01	児童福祉費委託金	本年度	1			1	3	3	300.0
							前年度	1			1	3	3	300.0
比較														
05					01	災害救助費委託金	本年度					1,486	1,486	
							前年度	1,623			1,623	1,536	1,536	94.6
比較					△1,623			△1,623	△50	△50				
03					01	商工費委託金	本年度	115			115	116	116	100.9
	前年度	111					111	111	111	100.0				
比較	4			4	5	5								
04	01	教育費委託金	本年度	30			30	30	30	100.0				
			前年度	30			30	30	30	100.0				
比較	852			852	710	710	83.3							
比較	△822			△822	△680	△680								
17	01			財産収入	142,364		870	143,234	134,906	131,156	91.6			
				財産運用収入	59,986		870	60,856	57,702	57,702	94.8			
				01	財産貸付収入	本年度	58,192			58,192	55,071	55,071	94.6	
						前年度	59,115			59,115	57,281	57,281	96.9	
				比較	△923			△923	△2,210	△2,210				
				02	01	利子及び配当金	本年度	1,794		870	2,664	2,630	2,630	98.7
							前年度	1,794		870	2,664	2,630	2,630	98.7
				比較	1,643		1,133	2,776	2,878	2,878	103.7			
				比較	151		△263	△112	△248	△248				

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
17	02	財産売払収入			82,378			82,378	77,204	73,454	89.2
		01	不動産売払収入			3,001			3,001	6,037	6,037
	01		土地売払収入	本年度	3,001			3,001	6,037	6,037	201.2
		前年度		1,001			1,001	10,032	10,032	1002.2	
	比較			2,000			2,000	△3,995	△3,995		
	02	物品売払収入			79,377			79,377	71,167	67,418	84.9
		01	物品売払収入	本年度	79,377			79,377	71,167	67,418	84.9
	前年度			78,045			78,045	91,862	91,862	117.7	
	比較			1,332			1,332	△20,695	△24,444		
	18	寄附金			54,862		56,794	111,656	117,454	117,454	105.2
01		寄附金			54,862		56,794	111,656	117,454	117,454	105.2
		01	一般寄附金	本年度	1		10	11	10	10	90.9
前年度				1		10	11	10	10	90.9	
比較			1		1,000	1,001	1,000	1,000	99.9		
比較					△990	△990	△990	△990			
02		アイラブつくばまちづくり寄附金			47,861		55,184	103,045	107,455	107,455	104.3
		01	アイラブつくばまちづくり寄附金	本年度	47,861		55,184	103,045	107,455	107,455	104.3
前年度				64,000		2,000	66,000	47,554	47,554	72.1	
比較			△16,139		53,184	37,045	59,901	59,901			
03		つくばこどもの青い羽根寄附金			7,000		1,600	8,600	8,781	8,781	102.1
		01	つくばこどもの青い羽根寄附金	本年度	7,000		1,600	8,600	8,781	8,781	102.1
前年度											
比較			7,000		1,600	8,600	8,781	8,781			
04	災害復旧費寄附金							1,208	1,208		
	01	災害復旧費寄附金	本年度					1,208	1,208		
前年度											
比較							1,208	1,208			
19	繰入金			2,768,133		377,041	3,145,174	3,087,570	3,087,570	98.2	
	01	基金繰入金			2,768,130		176,745	2,944,875	2,887,272	2,887,272	98.0
		01	基金繰入金	本年度	2,768,130		176,745	2,944,875	2,887,272	2,887,272	98.0
	前年度			766,957		219,955	986,912	933,283	933,283	94.6	
	比較			2,001,173		△43,210	1,957,963	1,953,989	1,953,989		
	02	特別会計繰入金			3		200,296	200,299	200,298	200,298	100.0
		01	国民健康保険特別会計繰入金	本年度	1		121,648	121,649	121,648	121,648	100.0
	前年度			1		385,949	385,950	385,950	385,950	100.0	
	比較					△264,301	△264,301	△264,302	△264,302		
	02	後期高齢者医療特別会計繰入金			1		11,752	11,753	11,753	11,753	100.0
		01	後期高齢者医療特別会計繰入金	本年度	1		11,752	11,753	11,753	11,753	100.0
	前年度			1		8,396	8,397	8,397	8,397	100.0	
	比較					3,356	3,356	3,356	3,356		
	03	介護保険事業特別会計繰入金			1		66,896	66,897	66,897	66,897	100.0
01		介護保険事業特別会計繰入金	本年度	1		66,896	66,897	66,897	66,897	100.0	
	前年度		1		81,302	81,303	81,302	81,302	100.0		
比較					△14,406	△14,406	△14,405	△14,405			
20	繰越金			1,500,000	736,825	1,427,904	3,664,729	3,664,729	3,664,729	100.0	
	01	繰越金			1,500,000	736,825	1,427,904	3,664,729	3,664,729	3,664,729	100.0
		01	繰越金	本年度	1,500,000	736,825	1,427,904	3,664,729	3,664,729	3,664,729	100.0
	前年度			1,500,000	1,498,832	1,833,195	4,832,027	4,832,027	4,832,027	100.0	
	比較				△762,007	△405,291	△1,167,298	△1,167,298	△1,167,298		
	繰越金										
21	諸収入			1,966,943		82,175	2,049,118	2,098,962	1,963,027	95.8	
	01	延滞金、加算金及び過料			64,396			64,396	67,371	67,089	104.2
		01	延滞金	本年度	64,391			64,391	67,089	67,089	104.2
	前年度			62,701			62,701	84,074	84,074	134.1	
	比較			1,690			1,690	△16,985	△16,985		
	02	加算金及び過料			5			5	282		
		01	加算金及び過料	本年度	5			5	282		
	前年度			5			5	682			
	比較							△400			
	02	市預金利子			257			257	932	932	362.6
01		市預金利子	本年度	257			257	932	932	362.6	
	前年度		151			151	577	577	382.1		
比較			106			106	355	355			

注)本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。



令和元年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
21	03	01		貸付金元利収入	61,118			61,118	83,841	57,534	94.1		
				民生費貸付金元利収入	4,118			4,118	29,841	3,534	85.8		
		01		住宅新築資金等貸付金元利収入	本年度	483			483	26,680	524	108.5	
					前年度	426			426	26,732	531	124.6	
					比較	57			57	△52	△7		
		02		災害援護資金貸付金元利収入	本年度	3,635			3,635	3,161	3,009	82.8	
					前年度	2,729			2,729	2,411	2,128	78.0	
					比較	906			906	750	881		
		02	01		商工費貸付金元利収入	57,000			57,000	54,000	54,000	94.7	
					自治金融預託金元利収入	本年度	54,000			54,000	54,000	54,000	100.0
	02	02		コンベンション開催資金貸付金元利収入	本年度	3,000			3,000				
				前年度	3,000			3,000					
	04	01			受託事業収入	79,472		2,912	82,384	81,727	81,727	99.2	
					後期高齢者医療制度健診実施受託事業収入	本年度	41,921			41,921	43,280	43,280	103.2
					前年度	35,515			35,515	40,175	40,175	113.1	
					比較	6,406			6,406	3,105	3,105		
					県給食受託事業収入	本年度	19,621			19,621	18,409	18,409	93.8
					前年度	19,017			19,017	18,563	18,563	97.6	
					比較	604			604	△154	△154		
					学びの広場サポートプラン事業受託事業収入	本年度	3,291			3,291	1,939	1,939	58.9
					前年度	3,252		△601	2,651	2,525	2,525	95.2	
比較					39		601	640	△586	△586			
スマートIC用地事務受託事業収入					本年度	7,639			7,639	8,403	8,403	110.0	
前年度							494	494	178	178	36.0		
比較					7,639		△494	7,145	8,225	8,225			
関係人口創出事業受託事業収入					本年度	7,000		2,000	9,000	8,808	8,808	97.9	
前年度													
比較	7,000		2,000	9,000	8,808	8,808							
オリンピック・パラリンピック教育推進事業受託事業収入	本年度			600	600	531	531	88.5					
前年度				450	450	326	326	72.4					
比較				150	150	205	205						
スクールライフサポーター配置事業受託事業収入	本年度			312	312	312	312	100.0					
前年度													
比較				312	312	312	312						
学校給食研究推進校事業受託事業収入	本年度					45	45						
前年度													
比較						45	45						
×	×	×	×	流域貯留浸透施設整備受託事業収入	本年度								
前年度				70,000	53,938	△15,473	108,465	108,465	108,465	100.0			
比較				△70,000	△53,938	15,473	△108,465	△108,465	△108,465				
05	01			雑入	1,761,700		79,263	1,840,963	1,865,090	1,755,745	95.4		
				総務費雑入	本年度	63,535		185	63,720	71,502	71,275	111.9	
				前年度	64,976			64,976	64,351	64,326	99.0		
				比較	△1,441		185	△1,256	7,151	6,949			
				民生費雑入	本年度	210,985		28,691	239,676	335,163	260,080	108.5	
				前年度	213,254		24,733	237,987	302,406	240,436	101.0		
				比較	△2,269		3,958	1,689	32,757	19,644			
				衛生費雑入	本年度	192,872		1,807	194,679	182,039	167,917	86.3	
				前年度	153,445			153,445	131,097	130,630	85.1		
				比較	39,427		1,807	41,234	50,942	37,287			
				労働費雑入	本年度	215			215	186	186	86.5	
				前年度	191			191	179	179	93.7		
				比較	24			24	7	7			
				農林水産業費雑入	本年度	12,226		1,071	13,297	10,474	10,474	78.8	
				前年度	9,907		894	10,801	8,443	8,443	78.2		
比較	2,319		177	2,496	2,031	2,031							
商工費雑入	本年度	3,705		436	4,141	6,447	6,447	155.7					
前年度	3,493			3,493	3,913	3,883	111.2						
比較	212		436	648	2,534	2,564							
土木費雑入	本年度	3,800		800	4,600	9,933	9,933	215.9					
前年度	4,449		996	5,445	7,344	6,452	118.5						
比較	△649		△196	△845	2,589	3,481							

注)本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
21	05	01	08	消防費雑入	本年度	42,484			42,484	40,337	40,318	94.9	
				前年度	43,482			34,258	32,487	32,487	94.8		
				比較	△998		9,224	8,226	7,850	7,831			
			09	教育費雑入	本年度	57,517		49,700	107,217	105,589	105,588	98.5	
				前年度	46,062			46,062	46,372	46,370	100.7		
				比較	11,455		49,700	61,155	59,217	59,218			
			10	学校給食費	本年度	1,174,361		△3,427	1,170,934	1,103,418	1,083,525	92.5	
				前年度	1,144,769			1,144,769	1,138,364	1,119,524	97.8		
				比較	29,592		△3,427	26,165	△34,946	△35,999			
22	01	01	市債		5,194,000	1,173,900	1,806,332	8,174,232	5,982,132	5,982,132	73.2		
			市債		5,194,000	1,173,900	1,806,332	8,174,232	5,982,132	5,982,132	73.2		
			民生債		124,600	15,200		139,800	79,400	79,400	56.8		
			01	社会福祉事業債	本年度	122,900	15,200		138,100	79,400	79,400	57.5	
				前年度	46,600	7,200		53,800	24,700	24,700	45.9		
				比較	76,300	8,000		84,300	54,700	54,700			
			02	災害救助事業債	本年度	1,700			1,700				
				前年度	1,700			1,700					
			02	衛生債		726,200	380,400	△89,500	1,017,100	956,400	956,400	94.0	
				01	廃棄物処理事業債	本年度	690,600	380,400	△67,000	1,004,000	943,300	943,300	94.0
					前年度	623,300	246,800		870,100	438,000	438,000	50.3	
			比較		67,300	133,600	△67,000	133,900	505,300	505,300			
			03	環境衛生事業債	本年度	35,600		△22,500	13,100	13,100	13,100	100.0	
				前年度									
			×	メモリアルホール事業債	本年度	21,000			21,000				
			前年度										
			比較	△21,000				△21,000					
			03	農林水産業債		45,600		△5,000	40,600	30,700	30,700	75.6	
				01	農林水産業債	本年度	45,600		△5,000	40,600	30,700	30,700	75.6
					前年度	36,700			36,700	34,400	34,400	93.7	
			比較		8,900		△5,000	3,900	△3,700	△3,700			
			04	商工債		6,700	45,500		52,200	46,600	46,600	89.3	
				01	商工業振興債	本年度	6,700	45,500		52,200	46,600	46,600	89.3
					前年度	64,900			64,900	600	600	0.9	
			比較		△58,200	45,500		△12,700	46,000	46,000			
			×	観光債	本年度	41,900		△6,700	35,200	35,200	35,200	100.0	
			前年度				6,700	△35,200	△35,200	△35,200			
			比較	△41,900									
			05	土木債		2,727,800	732,800	△350,000	3,110,600	1,787,600	1,787,600	57.5	
				01	道路事業債	本年度	1,515,500	417,700	△102,700	1,830,500	1,010,000	1,010,000	55.2
					前年度	1,668,700	598,200	△124,200	2,142,700	1,173,000	1,173,000	54.7	
					比較	△153,200	△180,500	21,500	△312,200	△163,000	△163,000		
				02	都市計画事業債	本年度	1,010,900	284,600	△176,000	1,119,500	692,900	692,900	61.9
前年度	1,266,300	196,000			△122,100	1,340,200	962,200	962,200	71.8				
比較	△255,400	88,600		△53,900	△220,700	△269,300	△269,300						
03	住宅事業債	本年度		118,400		△53,100	63,300	63,300	63,300	100.0			
	前年度	188,200			△90,700	97,500	64,500	64,500	66.2				
比較	△69,800			35,600	△34,200	△1,200	△1,200						
04	河川事業債	本年度		83,000	30,500	△16,200	97,300	21,400	21,400	22.0			
	前年度	85,600		13,200		98,800	51,100	51,100	51.7				
比較	△2,600	17,300		△16,200	△1,500	△29,700	△29,700						
06	消防債			62,000			62,000	53,700	53,700	86.6			
	01	消防債		本年度	62,000			62,000	53,700	53,700	86.6		
前年度		276,400		24,800	△12,000	289,200	268,200	268,200	92.7				
比較	△214,400	△24,800	12,000	△227,200	△214,500	△214,500							
07	教育債		1,501,100		2,250,832	3,751,932	3,027,732	3,027,732	80.7				
	01	学校建設事業債	本年度	235,900		2,252,532	2,488,432	1,764,232	1,764,232	70.9			
		前年度	1,048,345	28,700	△5,000	1,072,045	1,071,845	1,071,845	100.0				
		比較	△812,445	△28,700	2,257,532	1,416,387	692,387	692,387					
	02	社会教育事業債	本年度	34,700		△1,700	33,000	33,000	33,000	100.0			
		前年度	29,000			29,000	29,000	29,000	100.0				
	比較	5,700		△1,700	4,000	4,000	4,000						
03	保健体育事業債	本年度	1,230,500			1,230,500	1,230,500	1,230,500	100.0				
	前年度	958,900	36,400	△19,900	975,400	953,000	953,000	97.7					
比較	271,600	△36,400	19,900	255,100	277,500	277,500							

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

事業名：議員報酬等に要する経費

議会事務局 議会総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	01	本年	260,422		△ 65		260,357		259,509	99.7
				前年	261,691		△ 65		261,626		260,610	99.6
				比較	△ 1,269				△ 1,269		△ 1,101	-
【参考】前々年度					262,513		663		263,176		262,262	99.7

目的	議会運営を円滑に進めるため。(議員報酬、議会等への出席に対する経費)											
概要及び成果	1 定例会(6、9、12、3月)、臨時会、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会等の開催。議員定数28名。 【成果】 議会活動状況(平成31年4月～令和2年3月)											
								請願				
					左のうち			件数		5 件		
					可決	否決	継続	採択	2 件			
	定例会				4 回	23 日	170 件	168 件	2 件	一部採択		
	臨時会				0 回	0 日				趣旨採択	2 件	
	議運・常任委員会				38 回	38 日				不採択	1 件	
	特別委員会				38 回	38 日				継続審査		
	全員協議会				7 回	7 日				撤回		
	その他の会議				14 回	14 日				審議未了		
合計				101 回	120 日	170 件	168 件	2 件	陳情受付件数 5 件			

事業名：議会運営に要する経費

議会事務局 議会総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	47,033		△ 4,135		42,898		36,210	84.4
				前年	45,664		△ 7,150		38,514		34,159	88.7
				比較	1,369		3,015		4,384		2,051	-
【参考】前々年度					44,842		△ 3,950		40,892		34,862	85.3

目的	議会運営を円滑に進め、議会活動の周知と議会に対する市民意識の向上を図るため。											
概要及び成果	1 市民へ議会活動を周知するため、「市議会だより」を定例会ごとに発行して、議案等の審議状況、議決結果及び一般質問内容等を広報している。配布は、ポスティングによる各戸配布を行っている。 また、視覚障害者の方向けに点字版・朗読版を作成して、希望者に配布し、中央図書館と議会事務局に配置している。											
	【成果】 ポスティングにより、全世帯に「市議会だより」が配布したことで、より一層議会活動の周知が図れた。発行部数は、100,500部(うち約98,500部をポスティング配布、その他公的施設等に配置)。点字版4部、朗読版7部。											
	2 定例会及び各委員会の会議録を作成するとともに、市ホームページに掲載し公開した。											
	【成果】 定例会会議録 55部(うち4部中央図書館、3部交流センター図書室、1部市政情報コーナーに設置公開) 各委員会 2部											
	3 開かれた議会を目指すため、本会議の様を生中継及び録画映像によるインターネット配信を行った。											
	【成果】 映像で配信したことにより、傍聴に来られない方にも議会での審議内容が伝えられた。録画配信は、生中継の翌日から起算して3日後(休日を除く。)に配信することで、迅速な情報提供が行えた。											
			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度					
	生中継アクセス数		7,615 件	6,903 件	7,725 件	15,142 件	7,190 件					
	録画配信アクセス数		23,571 件	18,105 件	26,387 件	9,330 件	5,112 件					

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	16,770		△ 2,022	△ 481	14,267		12,251	85.9
				前年	4,972			253	5,225		5,054	96.7
				比較	11,798		△ 2,022	△ 734	9,042		7,197	-
【参考】前々年度				4,741		400	1,450	6,591		6,279	95.3	

目的

文書事務を適切かつ正確に行うため。

概要及び成果

1 歴史公文書評価選別

【成果】

歴史公文書評価選別基準(平成30年度策定)に基づく評価選別を実施し、歴史公文書として市長へ移管した。

- (1) 歴史公文書評価選別基準の運用初年度に当たり、担当職員へ説明会を実施(令和元年6月)
- (2) 平成30年度文書について、評価選別を実施(令和元年6月～9月)
- (3) 評価選別内容について有識者の意見を伺うため、つくば市公文書管理推進会議を2回開催(令和元年11月、令和2年1月)
- (4) 選別後の移管文書について市長報告(令和2年3月)

2 文書事務の指導及び改善

【成果】

各種研修及び日頃の文書事務の指導を通して、收受、起案、文書ファイリングなどの事務技術の維持向上を図った。

研修名	受講者数				
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新任職員研修	92人	154人	86人	58人	51人
文書管理主任研修	71人	208人	78人	60人	44人
文書取扱研修	260人	180人			

※文書管理主任研修の受講者の減少理由

平成30年度は、公文書管理指針の運用を開始したため、対象者を「未受講者」から「文書管理主任全員」に変更。令和元年度は従来通り未受講者のみとしたため。

※文書取扱研修 職層ごと(主事級、主任級、主査級、主任主査級、係長級)に実施

3 文書の整理、保管、保存、引継ぎ及び廃棄

【成果】

過年度文書保存について、令和元年10月から、5年間の契約で民間委託を開始。これまで旧豊里庁舎に保管していた保存文書を、委託先の外部倉庫に移管。

各課のファイリング文書及び外部倉庫に保管している保存文書のうち、保存期間が満了する文書について確認作業を行い、溶解処理により適正に文書を廃棄。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
引継文書(箱数)	1,963	1,400	1,417	1,415	1,358
廃棄文書(箱数)	1,609	1,269	1,252	1,165	1,157

※令和元年度の委託開始に伴い、出先機関の文書も外部倉庫への引継対象としたため、件数増加

4 ファイリング維持管理実地指導の実施

【成果】

12の課等(出先機関を含む。)に対し、文書ファイリング維持管理指導を実施

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実地指導の実施課等数	12	12	12	16	15

## 事業名：通信運搬に要する経費

総務部 すぐ対応室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	12	本年	15,145				15,145		14,426	95.3
				前年	14,106				14,106		12,767	90.5
				比較	1,039				1,039		1,659	-
【参考】前々年度					15,266		1,235		16,501		14,525	88.0

## 目的

迅速かつ的確な文書の集配業務及び郵便料金の経費削減を実施するため。

## 1 文書の收受

## 【成果】

郵送により市に到達した文書の受領及び各課等への仕分けの実施。書留等の受領及び配布。

取扱件数	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
書留	13,034 件	12,402 件	14,326 件	12,711 件	11,702 件
金券(定額小為替等)	145 件	199 件	235 件	247 件	228 件
受領文書	336,280 通	288,950 通	320,657 通	346,275 通	295,066 通

## 2 文書の集配

## 【成果】

各窓口センター及び旧春日庁舎(4月)を巡回し、集配業務を実施(毎日)。

## 3 郵便料金(後納料金)の管理

## 【成果】

(1) すぐ対応室で一括予算計上することにより、支出集計時間の短縮を図った。

(2) 区内特別の割引制度を利用し、経費削減に努めた。

一般会計		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
すぐ対応室	通数	28,342 通	26,879 通	29,832 通	31,135 通	39,090 通
	割引額	323,812 円	268,790 円	298,320 円	335,555 円	586,350 円
(参考) 全体	通数	68,289 通	74,926 通	97,141 通	107,413 通	113,957 通
	割引額	780,886 円	749,260 円	971,410 円	1,172,145 円	1,709,355 円

## 概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	13	本年	7,204				7,204		7,063	98.0
				前年	7,219				7,219		6,916	95.8
				比較	△ 15				△ 15		147	-
【参考】前々年度					7,048		195		7,243		6,937	95.8

目的 市政活動の根拠である条例等を整備することにより、法に基づく行政の執行に寄与するため。また、市が当事者となる争訟に対処するための法的な助言・指導を行うことにより、リスクコントロールを図るため。

1 条例、規則、告示、訓令等の制定改廃に係る審査並びに指導及び助言

【成果】

法令審査の件数(告示については、要綱に限る。)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
条例	85 件	52 件	45 件	51 件	69 件
規則	140 件	80 件	113 件	81 件	115 件
告示	54 件	34 件	45 件	46 件	44 件
訓令	60 件	51 件	37 件	23 件	20 件
基準等	72 件	6 件	22 件	50 件	18 件
合計	411 件	223 件	262 件	251 件	266 件

2 訴訟に係る事務処理

【成果】

訴訟の係属件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
民事訴訟	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件
行政訴訟	0 件	1 件	1 件	2 件	2 件
住民訴訟	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

3 つくば市例規集の編集

【成果】

つくば市例規集の加除例規数

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
240 件	279 件	183 件	225 件	227 件

4 公告式の手続

【成果】

つくば市公告式掲示場への掲示件数

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
1,255 件	1,658 件	1,599 件	1,640 件	2,068 件

内訳

- 条例 71件      ○訓令 19件
- 規則 104件      ○外部からの掲示依頼 92件
- 告示 969件

5 顧問弁護士への法律相談

【成果】

顧問弁護士への法律相談件数

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
10 件	20 件	9 件	11 件	22 件

概要及び成果

事業名：総合賠償保険に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	14	本年	4,359				4,359		4,302	98.7
				前年	4,296			△ 16	4,280		4,233	98.9
				比較	63			16	79		69	-
【参考】前々年度					4,239				4,239		4,173	98.5

目的

市が、利用者に対し施設の瑕疵や業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を保険金により補填し、市からの一時的及び多額な損害賠償金支払いを防ぎ、財政の安定性に寄与するため。

概要及び成果

- 1 保険の内容
- (1) 保険の種類
- 賠償責任保険  
市が管理する施設の瑕疵や、市が行う業務上の過失に起因する事故について、市に法律上の賠償責任が生じることによって被る損害を補填する。
- 補償保険  
市が主催する行事又は市が依頼したボランティア活動に参加している住民の偶発的な事故について、市の法律上の賠償責任の有無に関係なく、市が支払う補償金を補填する。
- (2) 保険期間：平成31年4月1日から令和2年3月31日までの1年間
- (3) 市の業務：加入業務、事故発生時の保険会社への連絡、事故報告書等の必要書類作成、示談等の手続

【成果】

支払実績

	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
賠償責任保険	件数	2件	6件	5件	3件	1件
	金額	572,196円	950,056円	1,311,570円	613,638円	178,730円
補償保険	件数	1件	2件	4件	2件	0件
	金額	5,000円	35,000円	75,000円	20,000円	0円
合計	件数	3件	8件	9件	5件	1件
	金額	577,196円	985,056円	1,386,570円	633,638円	178,730円

事業名：総務事務に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	15	本年	449			104	553		252	45.6
				前年	337		△ 190	116	263		214	81.3
				比較	112		190	△ 12	290		38	-
【参考】前々年度					357				357		62	17.4

目的

市議会定例会、臨時会、くらしの困りごと相談会における対応などを円滑に実施するため。

概要及び成果

- 議会定例会及び臨時会  
【成果】 定例会 4回
- 行政不服審査会  
【成果】 行政不服審査会 0回
- くらしの困りごと相談会(主催者:総務省)における相談対応  
【成果】 国、県、市の各機関、弁護士、司法書士、税理士等が一同に集まり市民からの相談に応じるもの。市に対する相談を受けるため、関係各課も出席している。

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
114件	104件	120件	76件	91件

事業名：情報公開等に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	16	本年	863				863		614	71.1
				前年	1,091		△ 336	△ 253	502		337	67.1
				比較	△ 228		336	253	361		277	-
【参考】前々年度					867				867		290	33.5

目的

情報公開条例及び個人情報保護条例に基づいた適正な開示手続を行うため。

概要及び成果

- 情報公開  
【成果】  
(1) 情報公開請求書の受付件数  

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
請求書受付件数	85件	148件	123件	140件	174件

  
(2) 情報公開請求に対する処理内容及び件数  

処理内容	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開示	77件	105件	152件	110件	131件
部分開示	31件	60件	68件	75件	64件
不開示	32件	94件	90件	51件	47件
合計	140件	259件	310件	236件	242件

※受付件数と処理件数が一致しないのは、1件の請求書に対し、複数の決定処理を行うことがあるため。



概要及び成果	2 個人情報保護 【成果】																														
	(1) 個人情報開示請求書の受付件数																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求書受付件数</td> <td>46 件</td> <td>22 件</td> <td>33 件</td> <td>27 件</td> <td>32 件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	請求書受付件数	46 件	22 件	33 件	27 件	32 件																		
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
	請求書受付件数	46 件	22 件	33 件	27 件	32 件																									
	(2) 個人情報開示請求に対する処理内容及び件数																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>処理内容</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開示</td> <td>34 件</td> <td>15 件</td> <td>16 件</td> <td>23 件</td> <td>12 件</td> </tr> <tr> <td>部分開示</td> <td>4 件</td> <td>5 件</td> <td>12 件</td> <td>5 件</td> <td>12 件</td> </tr> <tr> <td>不開示</td> <td>15 件</td> <td>4 件</td> <td>7 件</td> <td>11 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>53 件</td> <td>24 件</td> <td>35 件</td> <td>39 件</td> <td>26 件</td> </tr> </tbody> </table>	処理内容	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	開示	34 件	15 件	16 件	23 件	12 件	部分開示	4 件	5 件	12 件	5 件	12 件	不開示	15 件	4 件	7 件	11 件	2 件	合計	53 件	24 件	35 件	39 件	26 件
	処理内容	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
	開示	34 件	15 件	16 件	23 件	12 件																									
	部分開示	4 件	5 件	12 件	5 件	12 件																									
不開示	15 件	4 件	7 件	11 件	2 件																										
合計	53 件	24 件	35 件	39 件	26 件																										
※受付件数と処理件数が一致しないのは、1件の請求書に対し、複数の決定処理を行うことがあるため。																															
3 情報公開・個人情報保護審査会 【成果】																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査会の開催回数</td> <td>5 回</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> <td>3 回</td> <td>5 回</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	審査会の開催回数	5 回	1 回	1 回	3 回	5 回																			
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																										
審査会の開催回数	5 回	1 回	1 回	3 回	5 回																										
※令和元年度開催案件 審査請求2回 特定個人情報保護評価(PIA)3回																															

事業名：公平委員会共同設置に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	17	本年	544			544		544	100.0
				前年	511			511		511	100.0
				比較	33			33		33	-
【参考】前々年度					502		237	739		738	99.9

目的	地方公務員法第7条第4項の規定により共同設置したつくば市等公平委員会の経費を負担するため。
概要及び成果	<p>1 つくば市、かすみがうら市、つくばみらい市及び新治地方広域事務組合の計4団体により共同設置された、つくば市等公平委員会の経費負担</p> <p>【成果】</p> <p>負担金:職員数×300円(職員数割額)+10,000円(均等割額)</p> <p>均等割額 1団体:10,000円</p> <p>職員数割額 各団体職員数×300円</p>

事業名：すぐ対応室に要する経費

総務部 すぐ対応室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	18	本年	7,055		△ 1,822		5,233		5,161	98.6
				前年	7,384		△ 3,059		4,325		3,864	89.3
				比較	△ 329		1,237		908		1,297	-
【参考】前々年度					6,736				6,736		5,980	88.8

目的

ハチの巣を駆除することにより、市民の安心安全(アナフィラキシーショックの防止、抑止等)を確保し、生活環境の向上に寄与するため。

概要及び成果

【成果】

令和元年度、ハチの駆除件数は、499件あり、ハチの駆除等について、電話やメール等による市民の要望に迅速に対応した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ハチ駆除件数	499件	438件	969件	551件	717件

事業名：政治倫理審査会に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	19	本年	356				356		174	48.8
				前年	355				355		182	51.4
				比較	1				1		△ 8	-
【参考】前々年度					350				350		260	74.3

目的

条例に基づく資産等報告書の審査、市民の審査請求に係る調査等を行うことにより、政治倫理の確立に資するため。

概要及び成果

1 会議の開催

【成果】

政治倫理審査会(委員7名)を3回開催

2 資産等報告書の審査及びその結果の報告

【成果】

(1) 資産等報告書の審査件数

議会議員	市長	副市長	教育長	計
28件	1件	2件	1件	32件

(2) 市長等の資産等報告書の閲覧件数 0件

事業名：私学振興に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	20	本年	2,229			9	2,238		1,694	75.7
				前年	2,242		△ 1,256		986		881	89.4
				比較	△ 13		1,256	9	1,252		813	-
【参考】前々年度					215				215		123	57.0

目的	株式会社立の学校の認可、評価及び学校運営に関する指導を行うため。																							
概要及び成果	1 つくば市教育特区学校審議会の運営 【成果】 つくば市教育特区学校審議会を開催し、「東豊学園つくば松実高等学校」の教育内容、管理状況、経営状況の把握及び評価を行った。																							
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審議会開催回数</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	審議会開催回数	3回	2回	2回	2回	2回
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																		
審議会開催回数	3回	2回	2回	2回	2回																			
2 通信制高等学校指導員の配置 【成果】 指導員を配置して、学校における教育の質の確保及び向上を図るための指導助言等を行った。																								
3 東豊学園つくば松実高等学校の廃止認可 【成果】 令和元年12月27日に学校の廃止を認可し、令和2年3月31日に閉校した。在籍する145名の生徒については、市がセーフティネットを締結している学校等への転学をあっせんするなど、必要な措置を講じた(転学69名、卒業63名、その他13名)。																								

事業名：総合教育会議に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	21	本年	648			368	1,016		962	94.7
				前年			1,754		1,754		931	53.1
				比較	648		△ 1,754	368	△ 738		31	-
【参考】前々年度												

目的	つくば市の教育の目標や施策の根本的な方針として、大綱を策定するため。											
概要及び成果	1 総合教育会議の開催 【成果】 市長、教育長、教育委員で構成する総合教育会議を計6回開催し、教育大綱の内容等について協議を重ね、令和2年3月1日に「つくば市教育大綱」を策定した。											

事業名：特別職報酬等審議会運営に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	11	本年	100				100			
				前年	100				100			
				比較							-	
【参考】前々年度					100				100			
目的		議員報酬及び政務活動費の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の適正な額を維持するため。										
概要及び成果		1 特別職報酬等審議会 審議会の開催なし										

事業名：職員研修に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
02	01	02	12	本年	20,120				20,120		14,976	74.4																		
				前年	29,510		△ 3,790	△ 100	25,620		24,427	95.3																		
				比較	△ 9,390		3,790	100	△ 5,500		△ 9,451	-																		
【参考】前々年度					19,890			△ 12	19,878		19,260	96.9																		
目的		市民全体の奉仕者としてふさわしい人格、教養を養うとともに、業務遂行上、必要な知識及び技能の修得を図り、時代に即応できる資質を備えた職員を育成するため。																												
概要及び成果	1 基本研修 11課程(職層ごとに共通した知識及び技能の習得) 【成果】 修了人数、修了率																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修了人数</td> <td>497人</td> <td>631人</td> <td>541人</td> <td>485人</td> <td>367人</td> </tr> <tr> <td>修了率</td> <td>91.0%</td> <td>98.6%</td> <td>95.6%</td> <td>96.4%</td> <td>93.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>人事評価の評価項目で比重の高い項目の能力と意識を向上させるための教科を学び、それぞれの職層に求められる能力の育成を行った。</p>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	修了人数	497人	631人	541人	485人	367人	修了率	91.0%	98.6%	95.6%	96.4%	93.4%
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																								
修了人数	497人	631人	541人	485人	367人																									
修了率	91.0%	98.6%	95.6%	96.4%	93.4%																									
2 特別研修 21課程(特定の課題を解決するために必要な知識及び技能の習得) 【成果】 修了人数、修了率																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修了人数</td> <td>1,376人</td> <td>2,428人</td> <td>2,231人</td> <td>941人</td> <td>756人</td> </tr> <tr> <td>修了率</td> <td>94.7%</td> <td>93.8%</td> <td>95.5%</td> <td>95.9%</td> <td>95.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ハラスメント研修や契約実務研修などを特別研修から基本研修へ組替えた。</p>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	修了人数	1,376人	2,428人	2,231人	941人	756人	修了率	94.7%	93.8%	95.5%	95.9%	95.2%	
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
修了人数	1,376人	2,428人	2,231人	941人	756人																									
修了率	94.7%	93.8%	95.5%	95.9%	95.2%																									
3 専門研修 6課程(専門的な知識・技能の習得) 【成果】 修了人数、修了率																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修了人数</td> <td>1,110人</td> <td>1,349人</td> <td>357人</td> <td>323人</td> <td>465人</td> </tr> <tr> <td>修了率</td> <td>93.4%</td> <td>94.1%</td> <td>95.7%</td> <td>94.4%</td> <td>94.1%</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	修了人数	1,110人	1,349人	357人	323人	465人	修了率	93.4%	94.1%	95.7%	94.4%	94.1%	
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
修了人数	1,110人	1,349人	357人	323人	465人																									
修了率	93.4%	94.1%	95.7%	94.4%	94.1%																									

## 4 派遣研修

## (1) 国等への派遣(長期)研修

4課程 (厚生労働省、茨城県、茨城県土地開発公社、一般財団法人つくば都市交通センター)

## (2) 外部セミナー等派遣(短期)研修

34課程(茨城県自治研修所、日本経営協会ほか)

## 【成果】

修了人数、修了率

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
修了人数	52人	69人	70人	56人	67人
修了率	100%	100%	100%	100%	100%

## 5 自己啓発支援

通信教育受講支援 1人、資格取得支援 13人

## 【成果】

修了人数、修了率

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
修了人数	14人	16人	28人	14人	12人
修了率	100%	100%	100%	100%	100%

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	13	本年	296,919				296,919		277,839	93.6
				前年	257,510		△ 7,389		250,121		235,638	94.2
				比較	39,409		7,389		46,798		42,201	-
【参考】前々年度					247,372			△ 356	247,016		227,539	92.1

目的 給与事務及び社会保険等の手続きや健康診断等の福利厚生に関する事務を実施することで、職員の公務能率の増進、さらには市民サービスの向上を図るため。

概要及び成果

1 外部委託の導入  
 例月給与、期末・勤勉手当、児童手当及び給与の引上げに伴う差額の支給、社会保険料等の各種控除事務、年末調整、マイナンバーの収集・保管・管理及び福利厚生に関する事務の外部委託を導入。平成30年10月に委託契約を締結し、平成31年1月から本稼働。

【成果】  
 社会保険・雇用保険の資格取得及び喪失の処理件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
処理件数	934件	1,083件	1,120件	1,123件	915件

- 社会保険は常時勤務の4分の3以上(週29時間以上)、雇用保険は週20時間以上勤務する臨時職員等が対象

2 定期健康診断の実施  
 労働安全衛生法に定められた定期健康診断を実施(令和2年1月に実施)

(1) 正規職員

【成果】  
 健康診断受診状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
健康診断受診率	96.9%	98.5%	98.8%	98.1%	99.0%
未受診者数	40人	29人	21人	23人	17人

- 未受診者は主に育児休業取得者や退職者
- 定期的な受診勧奨や未受診者へ個別に受診の催促を行った。
- 健康診断の結果、所見がある職員については、産業医や保健師による定期的な体調確認などを行った。

(2) 非正規職員(常時勤務の4分の3以上(週29時間以上)勤務する臨時職員等)

【成果】  
 健康診断受診状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受診人数	532人	523人	527人	484人	427人

- 健康診断の申込時に、受診漏れがないように受診勧奨に努めた。

3 ストレスチェックの実施

【成果】  
 ストレスチェック受検人数(実施期間 令和元年8月7日～9月6日、令和元年7月1日勤務者対象)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
対象者数	2,582人	2,528人	2,433人	2,308人	/
受検者数	2,366人	2,437人	2,300人	2,210人	
受検率	92.0%	96.4%	94.5%	95.7%	
高ストレス者率	11.0%	9.6%	11.0%	10.0%	

※上記の人数は、正職員と臨時職員の合計

- 受検対象者の92.0%が実施し、受検者が自らのストレスの状況を気づく機会を与え、メンタルヘルス不調の一次予防につなげた。
- 高ストレス者のうち面談希望者に対して産業医による面談を実施し、高ストレス者に対するフォローを行った。また、11月に職場環境改善講座を所属長に対して実施し、集団分析結果の活用を図った(対象者93人)。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	14	本年	63,856				63,856		50,202	78.6
				前年	73,927		△ 1,714		72,213		44,248	61.3
				比較	△ 10,071		1,714		△ 8,357		5,954	-
【参考】前々年度					66,880		21,528	356	88,764		74,034	83.4

目的 職員の任用、分限及び懲戒、人事評価その他公務能率の向上のための施策を実施し、適切な人事管理を行うため。

1 職員の採用試験

【成果】

(1) 令和2年4月1日採用

一次試験 6月2日 場所:本庁舎、筑波大学

二次試験 7月8日～12日 場所:本庁舎

最終試験 7月29日～8月2日、6日、7日、19日、20日、22日 場所:本庁舎

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
採用者数	60人	84人	95人	58人	67人
応募者数	1,300人	1,097人	1,148人	1,169人	1,293人

(2) 令和元年10月1日採用

一次試験 6月2日 場所:本庁舎、筑波大学

二次試験 7月8日～12日 場所:本庁舎

最終試験 7月29日～8月2日、6日、7日 場所:本庁舎

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
採用者数	8人	53人	46人	22人	-
応募者数	156人	830人	852人	127人	-

(参考)退職者数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
退職者数	79人	106人	88人	83人	79人
うち定年退職者数	41人	78人	61人	60人	50人

概要及び成果

2 人事異動

【成果】

異動概要

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
異動者数	253人	258人	361人	367人	395人
異動率	19.4%	19.7%	28.9%	33.2%	35.7%

3 職員の分限処分及び懲戒処分

【成果】

(1) 分限処分を受けた職員数

処分の種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
休職	26人	25人	20人	23人	27人

(2) 懲戒処分を受けた職員数

処分の種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
免職	-	2人	-	1人	-
停職	2人	4人	-	1人	-
減給	-	1人	-	-	-
戒告	-	1人	-	-	-

## 4 人事評価

## 【成果】

## (1) 課長級以上

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
特に優秀	12.9%	4.7%	2.7%	0.7%	—
優秀	22.1%	17.4%	17.4%	16.8%	16.5%
普通	65.0%	77.2%	79.2%	82.5%	83.5%
劣る	—	0.7%	0.7%	—	—
特に劣る	—	—	—	—	—

## (2) 課長補佐以下

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
特に優秀	0.3%	0.2%	—	—	0.1%
優秀	16.0%	14.7%	14.8%	15.6%	15.3%
普通	81.1%	81.4%	84.1%	83.0%	83.3%
劣る	2.6%	3.3%	1.1%	1.4%	1.2%
特に劣る	—	0.4%	—	—	0.1%

## 5 人事交流

## 【成果】

区分	派遣先／派遣元	派遣職員数	受入職員数
国	文部科学省	—	2人
	厚生労働省	1人	1人
	経済産業省	1人	—
	国土交通省	—	1人
県	茨城県／茨城県教育委員会	2人	4人
公益的法人等	つくば文化振興財団その他の公的法人等	13人	1人
その他	民間企業	—	2人



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	15	本年	1,347		1,231		2,578		2,022	78.4
				前年	1,410		△ 358		1,052		1,016	96.6
				比較	△ 63		1,589		1,526		1,006	-
【参考】前々年度						4,104	12	4,116		4,009	97.4	

目的

長時間労働の是正等を促進し、職員の労働生産性の向上及び健康保持・増進を図り、全ての職員が持てる能力を最大限発揮できる環境を整え、ワークライフバランスを実現することで、より良い施策、行政サービスを市民に提供することにつなげるため。

概要及び成果

1 職員のワークライフバランス推進に向けた取組

- (1) つくば市職員のワークライフバランス推進プランを策定(令和2年3月)
- (2) ワークライフバランス推進強化月間の設定(12月)
- (3) 時差出勤制度の試行実施(4~3月、12パターン勤務時間から選択可能、延べ2,931人利用)
- (4) モデル部署3課への業務改善支援
- (5) 職員向けの業務改善イベントをネット配信等により開催(4回)
- (6) 職場復帰面談シートを活用し、育児休業から復帰する職員と所属長の面談を実施するよう周知
- (7) 介護のための制度や利用例について周知

【成果】

時間外勤務実施状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
総時間数	154,778時間	152,575時間	153,906時間	157,004時間

年次休暇の取得状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
平均取得日数	13.8日	13.6日	13.4日	13.1日

ノー残業デー達成状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
達成率	92.2%	93.6%	93.1%	88.9%

2 育児休業等の取得促進

(1) 男性職員の積極的な育児休業の取得促進

- ・年度中に子どもが産まれる男性職員とその所属長に対し、個別説明を随時実施し、育児休業取得を推奨
- ・市長とパパ職員が育児・家事について、ランチしながら意見交換をする「パパ'sランチ」を開催(12月)

【成果】

男性職員の育児休業取得状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
対象者数	31人	38人	32人	37人
取得者数	13人	11人	4人	2人
取得率	41.9%	28.9%	12.5%	5.4%

出産補助休暇取得状況(男性職員のみ対象。2日間の特別休暇)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
対象者数	31人	38人	31人	37人
取得者数	26人	33人	26人	29人
取得率	83.9%	86.8%	83.9%	78.4%

育児参加のための休暇取得状況(男性職員のみ対象。5日間の特別休暇)

	令和元年度	平成30年度
対象者数	31人	38人
取得者数	18人	22人
取得率	58.1%	57.9%

(平成30年4月新設)

概要及び 成果	3 AI-OCR活用による業務効率化
	平成30年度に実証実験を行い、業務効率化につながる効果が認められたため、6月補正で予算計上し、令和元年12月より本格運用を開始した。(3月末導入部署:4課)

事業名：秘書業務に要する経費

市長公室 秘書課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	03	11	本年	9,812				9,812		6,873	70.0
				前年	10,095				10,095		7,571	75.0
				比較	△ 283				△ 283		△ 698	-
【参考】前々年度					9,654				9,654		6,654	68.9

概要及び 成果	目的	市長等のスケジュール調整、事業報告等の事前調査や会議の設定を行うことや、市民生活と文化の向上等に特に功績のあった方を讃えること、後援名義の承認などを通して市民の福祉の増進と市政の発展に資するため。										
	1 市長・副市長の秘書業務	【成果】 関係部署との円滑な調整に基づく市政運営を行った。										
	2 交際に関すること	【成果】 市長等が、円滑な市政運営を図るため、関係する個人又は団体との交際に係る支出を行った。 令和元年度実績 39件 345,828円 平成30年度実績 48件 536,794円										
	3 市長会に関すること	【成果】 茨城県市長会 会議出席 1 日										
	4 叙勲・一般表彰等に関すること	【成果】										
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	死亡叙勲	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件						
	高齢者叙勲	0 件	0 件	0 件	2 件	1 件						
	春の叙勲	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件						
	秋の叙勲	0 件	1 件	1 件	0 件	1 件						
	叙位	0 件	3 件	0 件	2 件	0 件						
	つくば市長賞承認	6 件	9 件	14 件	8 件	9 件						
	後援名義承認	221 件	215 件	228 件	184 件	169 件						

事業名：広報広聴活動に要する経費

市長公室 広報戦略課／広聴室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	11	本年	54,220				54,220		46,535	85.8
				前年	49,641				49,641		46,333	93.3
				比較	4,579				4,579		202	-
【参考】前々年度					68,173		△ 6,475		61,698		57,303	92.9

目的  
広報活動については、各種広報媒体を活用した広報活動を通じ、行政情報を迅速かつ正確に提供するため。広聴活動については、市民の意見やニーズを的確に把握し、市政に生かしていくとともに、より良いまちづくりに向けた市民の参画意識が進展するよう働きかけるため。

概要及び成果

1 広報事業

印刷物や放送メディアを活用し、市政情報を提供した。

(1)「広報つくば」の発行  
毎月1回発行し、ポスティングにより一般家庭や事業所へ配布するとともに、公的施設等へ設置した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
月毎発行部数	約103,900部	約103,600部	約103,500部	約102,500部	約100,700部
月毎配布部数	約102,100部	約100,900部	約100,000部	約99,000部	約96,700部

- 原稿提出の電子申請化(令和元年7月～)
- 紙面デザインのリニューアル、ユニバーサルデザイン(カラー、フォント、ピクトグラム等)の導入(令和元年8月号～)
- 点訳及び録音版を作成し、視覚障害者へ配付(毎月点字版4部、朗読版8部、年間144部)

(2)「市民べんり帳」の発行  
民間事業者との協働により、行政情報、生活情報、地域情報を掲載した利便性の高い情報誌を年1回作成し、ポスティングによって一般家庭へ配布するとともに、公的施設等へ設置した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
発行部数	119,000部	118,000部	118,000部	120,000部	115,000部

- 電子書籍化し、パソコン、スマートフォンによる閲覧にも対応(H30年度より)

(3)「マイシティつくば」の発行  
行政情報と市内の地図や施設案内等を掲載し、つくば市を紹介するガイドとして作成。庁舎等の窓口に設置するとともに転入者等に配布した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
発行部数	10,000部 (増刷)	30,000部 (改訂)	14,000部 (増刷)	30,000部 (改訂)	20,000部 (増刷)

(4) ケーブルテレビ広報番組「つくば市広報タイム」の放送  
ACCSを利用し、市からのお知らせ、市内で行われたイベントの様子、週末の休日緊急病院の案内などを伝える広報番組を、14分番組で毎日5回、年間365日放送した。

(5) FMラジオ広報番組「つくば市広報ステーション」の放送  
コミュニティラジオFM「ラヂオつくば」を利用し、市民のライフスタイルに密着し日常生活に必要な最新の市政情報やイベント情報を伝える広報番組を、15分番組で毎週月曜から金曜まで、1日1回、年間262日放送した。番組には、市の職員や関係団体の職員等も出演した。

(6) 行政情報提供スペース(庁舎1階、イーアスつくば4階、BiViつくば2階)への刊行物設置  
各課、市内研究機関等のチラシやポスターの設置及び管理を行った。

(7) 記者会との連絡調整  
定例記者会見(毎月1回)、臨時記者会見(年5回)、市政情報のプレスリリース(年312回)などの情報提供を実施した。

(8) ホームページ管理運營業務  
ホームページの管理者として、アクセシビリティ、文書校正、リンクのチェック等の2次承認作業を毎日実施。令和元年度末時点で約3,600ページを公開中である。  
また、トップページや機能などについて順次改善を行い、特に、トップページのカラーセルは、最新のイベントやトピックスを紹介するため、随時変更を行った。また、令和元年台風19号の対応に当たっては、災害モードで運用した。

## 2 広聴事業

## (1) 市長へのたより・メール等広聴事業

## 【成果】

意見・要望等への対応状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
一般要望	49 件	52 件	59 件	78 件	117 件
市長へのたより (専用はがき 等)	169 件	230 件	196 件	148 件	112 件
Eメール(市長 へのメール等)	534 件	520 件	566 件	447 件	436 件
相談カード・その他	341 件	313 件	110 件	99 件	144 件
合計	1,093 件	1,115 件	931 件	772 件	809 件

①「市長へのたより」「市長へのメール」のほか、封書、要望書、電話、直接訪問による相談等、様々な形で市政に対する市民の要望・意見・提案等を聴取し、関係部署と情報共有・調整の上、回答が必要なものに対しては回答を作成して送付している。

②内訳としては、Eメールによるものが最も多い(令和元年度は全体の約49%)。

## (2) 市長と住民の意見交換会事業(タウンミーティング、学生懇談会)

## 【成果】

懇談会事業の開催回数・合計参加者数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
タウンミーティング	9 回 302 人	8 回 301 人	6 回 269 人	1 回 120 人	0 回 0 人
学生懇談会	1 回 33 人	1 回 30 人	1 回 17 人	1 回 39 人	1 回 28 人

市民と市長が直接意見交換できる機会を設けることにより、市民に市政を身近なものとして感じてもらうとともに、市民の意見を市政に生かし、市政に対する市民の理解・協力・参画意識の向上を図った。

令和元年度は以下の事業を実施。

## ①タウンミーティング

- ・地区別：市内6地区(筑波・谷田部・桜・大穂・豊里・荃崎)で各1回(計6回)開催
- ・市内全域向け：地区を限定しない形式で開催(1回)
- ・中高生向け：参加者を中学生・高校生に限定して開催(1回)※未来構想キャラバンと連携開催
- ・商業施設版：イーアスつくば内のパブリックスペースで開催(1回)※未来構想キャラバンと連携開催

## ②第7回つくば市長と筑波大学学生との懇談会

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	12	本年	9,039			292	9,331		7,857	84.2
				前年	11,562		2,000		13,562		11,167	82.3
				比較	△ 2,523		△ 2,000	292	△ 4,231		△ 3,310	-
【参考】前々年度					13,490				13,490		13,184	97.7

目的

つくば市の魅力を戦略的かつ効果的に発信して、一層のイメージアップを図るため。

【概要】

- ・市内外に対し市の認知度向上を図るため市の魅力等の情報発信を行うとともに、市への愛着心の醸成を図る企画を実施する。
- ・職員向けのプロモーションセミナーの開催を行い、プロモーション意識の醸成とスキルアップを図る。

【成果】

- 1 市内外に対し市の認知度向上を図るため市の魅力等の情報発信  
SNSを活用した直接的な情報発信を実施した。

SNSを活用した情報発信

SNSの種類	指標	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
フェイスブック	投稿数	591	587	470	471	472
	いいね数	9,608	8,911	7,392	5,133	3,900
ツイッター	投稿数	935	1,197	1,786	1,647	2,192
インスタグラム	フォロワー数	2,667	1,642	892	—	—

インスタグラム:平成29年(2018年)4月開始

- 2 市への愛着心の醸成を図る企画

対外的なPR、市への愛着心の醸成、将来の関係人口の構築を図るため、インスタグラム等を活用した市民協働事業を実施した。

- ・インスタフォトコンテストの実施(テーマに沿った写真の投稿を募る)

4月:「#つくばの4月」参加数272件

3月:「#tsukubae」参加数922件

- ・「つくジェニックMAP(市内インスタ映えスポットの紹介)」を筑波大学・同大学学園祭実行委員会と制作・印刷・配布 15,000部

- ・「つくばスタイル縁日パンフレット」をつくばスタイル縁日実行委員会と制作・印刷・配布 25,000部

- 3 市のブランドイメージの統一性向上に向けた取組

①各部署に「広報担当者」を配置し、プロモーション力養成講座を開催。政策や事業をより効果的に発信するとともに、広報デザイン等に関するスキルアップを図った。

プロモーション力養成講座(全4回 参加者161人)

内 容	講 師	参加人数
広報担当者設置の趣旨について/ワークショップ	参事補 酒井 謙介	32人
パッと伝わる 公務員のデザインの極意	埼玉県三芳町秘書広報室 佐久間智之氏	62人
「ゆるさ」が変えるこれからのまちづくり	世界ゆるスポーツ協会 代表理事 澤田 智洋氏	49人
情報発信について	まちづくりアドバイザー 大瀬良亮	18人
計		161人

- ② 各課等からの広報物デザイン等の確認実績 240件

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	13	本年	22,272				22,272		21,426	96.2
				前年	22,272				22,272		21,086	94.7
				比較						340	-	
【参考】前々年度					19,630				19,630		19,516	99.4

目的

知的好奇心を満たす様々なイベントや市政、筑波研究学園都市等、様々な情報発信を通して、つくば市のイメージアップにつなげるとともに、交流の場を提供し、つくばセンター地区の賑わい創出に寄与するため。

【概要】

大学や研究機関、市内事業者等と連携してセミナーやイベント、展示会等を開催する。また、チラシ、パンフレット、書籍の設置、PR画像の放映などを活用し、様々な情報発信を行うとともに、市民が交流できる場を提供する。

【成果】

1 交流サロン利用状況(平成27年9月オープン)

① 来館者数

年間357日開館し、市民等が気軽に集まり交流できる場を提供。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
計	40,265人	41,478人	39,106人	29,379人

② 催事開催状況

「科学のまち」の魅力発信につながり、市民の知的好奇心を満たす催事を実施。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
催事実施回数	161回	201回	199回	182回
参加人数	11,374人	12,272人	11,275人	5,383人

※令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大対策のため、2月中旬よりイベント開催の自粛をお願いしたため、平成30年度に比べ催事回数・参加人数が減少している。

2 主な催事内容

① (市主催事業)

- ・「親子で科学実験工作」 全10回開催、延べ162人参加(当課主催)  
つくばエキスポセンターに運営を委託し、小学生が楽しめる科学実験や工作の講座を実施
- ・「親子でペーパークラフト講座」全8回開催、延べ164人参加(当課主催)  
小学生が楽しめる芸術作品(ペーパークラフト)の製作講座を実施
- ・「つくばちびっこ博士」7/20～8/31開催、延べ7,542人参加
- ・「筑ジオカフェ」 全2回、延べ36人参加  
筑波山地域ジオパークを多くの方に知っていただくため、筑波山の地域の見どころや専門的な話題を提供
- ・「オレンジカフェ in きずな」 全10回、延べ215人参加  
認知症の方とその家族、地域の方々などがどなたでも気軽に参加出来る交流の場を提供

② (共催事業)

- ・「つくばメディカル塾」 全6回を交流サロンにて開催、延べ189人参加  
中学生以上を対象に、医療人の技を体験できる講座を実施
- ・「KEKサイエンスカフェ」 全25回開催、延べ643人参加  
若手研究者による最先端の研究成果や研究の面白さ等を、参加者と一緒に議論・雑談出来る場を提供
- ・「世界お茶のみ話」 全8回、延べ410人参加  
ゲストを迎え、母国の歴史、文化、現状と課題、つくばとの関わりなどを紹介し、参加者で話し合う場を提供

3 イベント利用者専用Wi-fi環境の整備

利用者の利便性の向上を図るため、イベント利用者専用のWi-fi環境を整備した。

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	14	本年	13,213		6,666	△ 292	19,588		11,101	56.7
				前年	10,909				10,909		10,499	96.2
				比較	2,304		6,666	△ 292	8,679		602	-
【参考】前々年度					6,871				6,871		6,866	99.9

目的 「つくば市人口ビジョン」が目指す東京圏からの人口の流入や、関係人口の創出・拡大を図るため、各種プロモーション活動を実施し、移住先としての認知度向上を図るため。

概要及び成果

【概要】

市の生活環境等の情報提供及び魅力あるイベントを実施し、東京圏からの人口流入や、関係人口の創出・拡大を図る。

【成果】

- 「TSUKUBA TOMORROW LABO」やSNSによる情報発信  
市の先駆的な取組を周知するプロモーションサイト「TSUKUBA TOMORROW LABO」を活用し、さまざまなイベントの告知を行い、参加者を募ることができた。またSNSを活用し、効果的なプロモーションを実施することができた。  
  - ・「Tsukuba STEAM Building」ランディングページ制作・記事作成・動画配信 (TSUKUBA TOMORROW LABO)
  - ・市の魅力発信、移住フェア (県と連携) の告知など (Facebook、Instagram)
  - ・移住促進動画「TSUKUBA LIFE」を配信 (YouTube)
- 関係人口創出・拡大事業 「Tsukuba STEAM Building」 (総務省委託事業「関係人口創出・拡大事業」)  
関係人口の創出・拡大を図るため、「Tsukuba STEAM Building」を開催。都内の大学生や高校生もスタッフとして参加し、地域の有志約40名とともに、科学、つくばの歴史・文化の要素を取り入れた「ご当地スポーツ」を創作するなど、約20名の関係人口を創出することができた。  
  - ・令和元年12月12日 「第1回アイデアソン」参加者30名 (※関係人口2名、地元小学生1名が参加)
  - ・令和2年1月18日 「第2回アイデアソン」参加者30名 (※関係人口12名、地元小学生1名が参加)
  - ・令和2年2月2日 「ご当地スポーツ体験会」  
参加者約300名、運営スタッフ約50名 (※関係人口22名、地元小学生1名を含む)
- わくわく茨城生活実現事業 (移住支援金) の整備  
移住に伴う経済負担の軽減と、県内中小企業への就業を促進するため、移住支援金を整備した。  
※茨城県と県内市町村が共同で実施。(補助率 国1/2、県1/4、市1/4)  
  - ・令和元年7月1日 市交付要項 (単年度) 施行。チラシ、HP等で周知。
  - ・令和2年2月10日 申請受付終了
  - ・申請件数0件 (令和元年度の県内での実績は1件のみ)
- 移住定住促進パンフレットの印刷・配布  
移住・定住先としての認知度の向上を図るため、パンフレットの印刷・配布を行った。  
  - ・わくわく移住支援金PRパンフレット印刷 2,000部
- 「つくばSDGs やさしさのものさし」の普及・啓発  
市民や企業など多様なステークホルダーに「つくばSDGs やさしさのものさし」の普及・啓発を図るため、デザインコンセプトに基づき、啓発用ツールを制作し、掲示・配布等を実施した。  
  - ・つくばSDGsパンフレット 5,000部
  - ・街路灯バナーフラッグ (センター広場・研究学園駅周辺) 68枚
  - ・インタビュー用バックボート 1台
  - ・市庁舎2階横断幕 1枚
  - ・職員ネックストラップ 3,000個
  - ・職員名刺及びプレゼンテーション用背景 (パワーポイント) デザイン
  - ・つくバスラッピングデザイン (施工は総合交通政策課)

事業名： 予算事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	05	11	本年	627				627		627	100.0
				前年	664				664		636	95.8
				比較	△ 37				△ 37		△ 9	-
【参考】前々年度					677				677		659	97.4

目的

「徹底した行政改革」「安心の子育て」「頼れる福祉」「便利なインフラ」「活気ある地域」「誇れるまち」の6つの柱を重点的に取り組み、かつ「選択と集中」の観点に立って最小の経費で最大の効果を挙げることを基本とした予算を編成するため。

概要及び成果

1 各会計(一般会計及び6特別会計)について予算編成を行う。

- (1) 次年度当初予算の編成を行う。
- (2) 現年度予算について、補正予算の編成を行う。

【成果】

- (1) 令和2年度の当初予算編成においては、前年度に引き続き個別査定方式を採用した。歳入では市税を的確に見込んで財源を確保するとともに、歳出では、人口増加に伴う医療・障害福祉や高齢化対策など、様々な行政需要に対する必要な経費を予算化することができた。

当初予算編成スケジュール

時 期	区 分	概 要
10月中旬	予算編成説明会	予算編成方針、要求方法等を説明
11月上旬	各部局予算調整	各課等で必要な予算を部局内で調整し、財務部長へ提出
12月上旬	財務部ヒアリング	提出された事業内容等をヒアリングし、財務部内で調整
12月下旬	予算編成状況の公表	予算要求の状況(要求額)を市ホームページで公表
	市長・副市長説明	財務部調整後の予算案を説明
2月上旬	予算案概要公表	予算案を内示会で説明し、記者に公表
	予算編成状況の公表	予算編成の状況(最終予算案)を市ホームページで公表
3月下旬	予算成立	3月定例議会において可決

- (2) 令和元年度予算について、制度変更や緊急性の高い事業に対応するため、補正予算を編成した。

補正予算実施回数

会 計 区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
一 般 会 計	7回	7回	8回	5回	6回
特 別 会 計	国民健康保険	3回	3回	3回	3回
	下水道事業	3回	3回	3回	3回
	後期高齢者医療	3回	3回	2回	3回
	公平委員会	1回	1回	2回	1回
	介護保険事業	4回	3回	4回	4回
計	-	-	-	-	-

2 予算概要や財政見通しについて、市民への情報提供を実施する。

【成果】

市ホームページを活用して、当初予算書、補正予算書、基金の増減及び残高一覧、中長期財政見通しに関する資料等を公開し、市民への情報提供に努めた。また、庁内情報システムに予算書データを掲示することで、予算書印刷部数を節減した。



事業名：決算事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	05	12	本年	563				563		512	90.9
				前年	687				687		487	70.9
				比較	△ 124				△ 124		25	-
【参考】前々年度					5,008			△ 93	4,915		4,403	89.6

目的	地方自治法第233条第3項及び5項の規定により、決算の概要とその資料及び主要な施策の成果を説明する資料を作成し、議会及び市民への説明責任を果たすため。						
概要及び成果	<p>1 地方自治法第233条第5項の規定により「主要施策の成果及び予算執行の実績報告書」を調製する。会計管理者の調製する決算書と合わせて、監査委員の決算審査に付し、議会での決算認定に係る一連の事務を行う。</p> <p><b>【成果】</b> 平成30年度の全事業の実績について、「主要施策の成果及び予算執行の実績報告書」として取りまとめ、平成30年度歳入歳出決算における主要な施策の成果を説明する書類として9月議会に提出し、認定を受けた。また、市民への情報開示として、「主要施策の成果及び予算執行の実績報告書」をPDF化し、市ホームページに掲載した。</p>						
	<p>2 地方財政状況調査や財政健全化判断比率の算定を行い、財政状況に関する資料を作成する。</p> <p><b>【成果】</b> 県及び国に地方財政状況調査表や健全化判断比率算定資料を作成・提出することにより、指標や各数値を前年度と比較分析すると共に、国で作成した資料を基に他団体と比較分析することで財政運営の健全化に努めた。また、それらの資料概要を公表することで財政運営の透明性と市民による市政への理解の充実に努めた。</p>						
	<p>3 統一的な基準による財務書類を作成し、公表する。</p> <p><b>【成果】</b> (1) 財務書類の補助簿である固定資産台帳を更新するため、資産を所有する関係各課に対して資産調査を実施し、増減や変更の処理を行った。</p> <p>固定資産台帳登録件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72,894件</td> <td>71,085件</td> <td>68,470件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 固定資産台帳との突合を図りながら、歳入・歳出データ等から複式簿記に準じた仕訳を作成し、統一的な基準による財務書類を作成した。</p> <p>(3) 作成した財務書類を市ホームページで公表した。また、財務書類の内容をよりわかりやすく提供することを目指し、一般会計等財務書類を要約した『つくば市の財務書類をチェック！』を作成し、市ホームページに掲載した。</p>	令和元年度	平成30年度	平成29年度	72,894件	71,085件	68,470件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度				
72,894件	71,085件	68,470件					
<p>4 市の財政事情を家計に例えた台所事情を作成し、公表する。</p> <p><b>【成果】</b> 市の財政事情の実態を家計に例え、簡単にわかりやすく説明した台所事情を作成して市ホームページで公表し、財政事情に関する市民理解が深まるように努めた。</p>							

事業名：理財事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	05	13	本年	170				170		158	93.0
				前年	249				249		186	74.6
				比較	△ 79				△ 79		△ 28	-
【参考】前々年度					176				176		151	86.0

目的 市債、地方交付税、基金及び各種交付金など歳入の確保と資金調整に関連する事務処理を通して、財源の計画的な確保を図るため。

概要及び成果

1 市債の借入、償還事務の執行

【成果】

市債(一般会計債)の借入額(前年度繰越分を含む)

借入先	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
政府資金、銀行等	4,108,400千円	4,429,500千円	7,621,140千円	5,527,435千円	3,156,692千円
茨城県	1,873,732千円	676,245千円	4,200千円	-	10,400千円
借入額合計	5,982,132千円	5,105,745千円	7,625,340千円	5,527,435千円	3,167,092千円

(1) 茨城県からの借入額は、前年度比1,197,487千円の増となった。増額要因としては、(仮称)研究学園小・中学校用地取得事業債(1,323,592千円)、(仮称)新谷田部学校給食センター建設事業債(291,500千円)及び葛城小学校校舎増築用地取得事業債(258,640千円)等の借入が発生したことが挙げられる。

(2) その他、銀行から(仮称)新谷田部学校給食センター建設事業債(939,000千円)を借入れた。

2 地方交付税(普通交付税、特別交付税)の算定

【成果】

地方交付税の交付額

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
普通交付税	-	-	71,677千円	453,181千円	995,061千円
特別交付税	317,424千円	266,060千円	269,168千円	267,899千円	381,846千円
震災復興特別交付税	2,279,731千円	2,689,898千円	2,345,981千円	200,887千円	105,978千円

3 基金の総合調整

【成果】

健全な財政運営の観点から基金の適正管理に努めた。

4 債務負担行為の管理

【成果】

債務負担行為の内容について、担当部署に確認し、台帳を更新した。

事業名： 出納事務に要する経費

会計事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	06	11	本年	9,788				9,788		9,614	98.2
				前年	10,303				10,303		9,397	91.2
				比較	△ 515				△ 515		217	-
【参考】前々年度					11,192			78	11,270		11,172	99.1

目的

出納事務をとおして、予算の適正な執行を図るため。

概要及び成果

- 1 会計事務の検査及び指導を行うとともに、現金の出納と保管、公金預金の厳正な管理を行う。

【成果】

歳入事務については、正確に遅滞なく処理するとともに、支出事務においては、法令に基づき審査し適正な支払いを行った。

歳入・歳出伝票件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
歳入伝票(調定票は含まない)	52,275件	52,399件	52,187件	49,723件	48,330件
歳入伝票(調定票)	5,028件	4,422件	3,894件	3,668件	3,606件
支出伝票(支出負担行為票は含まない)	90,456件	89,300件	91,768件	90,278件	88,431件
支出伝票(支出負担行為票)	40,854件	38,509件	39,637件	38,643件	38,345件

事業名： 決算調製に要する経費

会計事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	06	12	本年	323				323		309	95.8
				前年	323				323		298	92.3
				比較							11	-
【参考】前々年度					323				323		294	90.9

目的

歳入歳出予算の執行状況を正確に把握し、決算を調製して行財政運営の資料とするため。

概要及び成果

- 1 地方自治法第233条第1項に定めるところにより、決算を調製し附属書類と併せて市長に提出する。

【成果】

令和元年度の歳入歳出から決算を調製した。また、各部署から必要となる資料を徴し、財産に関する調書及び基金運用状況報告書を作成し併せて市長に提出した。

令和元年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について9月定例議会に提出し、認定を受けた。

作成部数	平成30年度決算書	320部	325頁
	平成29年度決算書	300部	327頁
	平成28年度決算書	280部	328頁

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	06	13	本年	12,408			976	13,384		13,384	100.0
				前年	12,095				12,095		11,270	93.2
				比較	313			976	1,289		2,114	-
【参考】前々年度					12,563			△ 78	12,485		11,286	90.4

目的	共同物品(コピー用紙、封筒等)について、一括購入し、在庫と使用の一括管理とコスト削減を図るため。											
概要及び成果	1 共同物品の発注、保管及び頒布の一元化											
	【成果】											
	発注、保管及び頒布を一元的に行うことにより経費削減と事務の効率化を図ることができた。											
	購入枚数											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	コピー用紙 (A3、A4、B4、B5)	17,297,500枚	18,032,500枚	16,350,000枚	15,365,000枚	15,580,000枚						
	封筒 (角0、角1、角2、長3)	402,000枚	349,000枚	412,000枚	434,000枚	463,000枚						
	購入金額											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	コピー用紙 (A3、A4、B4、B5)	10,367千円	8,368千円	7,663千円	7,674千円	8,581千円						
封筒 (角0、角1、角2、長3)	2,614千円	2,549千円	3,245千円	3,615千円	3,966千円							

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	11	本年	538,035	39,952		△ 3,088	574,900		550,940	95.8
				前年	454,661		62,130	6,610	523,401	39,952	435,458	90.8
				比較	83,374	39,952	△ 62,130	△ 9,698	51,499	△ 39,952	115,482	-
【参考】前々年度					423,539		1,620	5,408	430,567		414,675	96.3

目的 庁舎の保全と施設等の適正な維持管理を図り、庁舎内の秩序維持を保つため。また、コミュニティ棟1階の利用者に対し、安全・安心な生涯学習及びコミュニティの場を提供するべく、適切な維持管理と整備を行うため。

1 庁舎の維持管理及び建物・設備等の修繕

空調設備保守点検業務、清掃業務、警備業務、冷暖房運転業務、消防設備点検業務、空気環境測定業務、エレベーター保守点検業務、受水槽・高架水槽清掃業務他

【成果】

庁舎の建物・設備等を保守・修繕することで適正な維持管理が図られた。

主要な委託業務を複数年契約にすることで業務の安定化が図られた(平成24年度から)。

清掃及び警備委託 2年間(平成30～令和元年度)

総合案内及び電話交換業務委託 3年間(平成30～令和2年度)

設備運転・管理業務委託 3年間(平成30～令和2年度)

大穂庁舎(交流センター・保健センター)清掃業務委託 2年間(平成30～令和元年度)

大穂庁舎(交流センター・保健センター)総合設備・警備等委託 2年間(平成30～令和元年度)

高濃度PCB廃棄物の処分を一部完了した。(水銀灯安定器:10台、蛍光灯安定器:140台)

コミュニティ棟の設置により、一時、春日庁舎に移転していた経済部と、本庁舎の総務部・政策イノベーション部が移転し、執務環境の改善及び事務の効率化を図ることができた。

(1) 主な委託

本庁舎	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
清掃 ※	30,591 千円	30,311 千円	62,002 千円	62,023 千円	51,147 千円
警備 ※	35,137 千円	34,976 千円			
総合案内 ※	10,486 千円	10,390 千円	23,588 千円	23,588 千円	20,477 千円
電話交換 ※	8,214 千円	11,718 千円			
設備運転・管理	48,056 千円	39,076 千円	37,516 千円	37,632 千円	37,540 千円
植栽維持管理委託料(旧庁舎含む)	5,063 千円	5,994 千円	4,724 千円	4,080 千円	5,614 千円

※平成30年度から清掃と警備、総合案内と電話交換は分割して委託

大穂庁舎等	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
大穂庁舎外清掃業務委託 ※	8,160 千円	8,085 千円	5,184 千円	5,184 千円	13,163 千円
大穂庁舎外総合設備・警備等委託 ※	11,852 千円	11,743 千円	11,036 千円	11,036 千円	
電気保安業務委託料(大穂、旧桜庁舎)	487 千円	461 千円	461 千円	812 千円	812 千円

※平成28年度から分割して委託

(2) 庁舎等の修繕

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	81 件	73 件	43 件	61 件	66 件
施設修繕料・工事費	18,983 千円	14,928 千円	9,239 千円	13,410 千円	14,614 千円

概要及び成果

## 2 コミュニティ棟1階の維持管理

## 【成果】

令和元年5月にオープンした施設の適正な管理運営を図るため、必要な業務委託と備品等の整備を行った。

経費内訳	令和元年度
窓口受付案内・電話受付業務委託 (委託料)	8,305千円
キッズスペース内シューズボックス (備品購入費)	145千円
看板代 (消耗品費)	72千円

利用実績(会議室・オープンスペース・キッズスペース)

	令和元年度
利用件数	1,316 件
利用人数	33,357 人

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	12	本年	7,752				7,752		5,613	72.4
				前年	110,419		△ 8,600	△ 654	101,165		99,325	98.2
				比較	△ 102,667		8,600	654	△ 93,413		△ 93,712	-
【参考】前々年度				7,868	8,835			16,703		13,646	81.7	

目的	公有財産(普通財産)を良好な状態に維持管理し、生活環境を保全するため。																							
概要及び成果	<p>1 公有財産管理委員会の開催</p> <p>【成果】</p> <p>開催数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>4 回</td> <td>1 回</td> <td>5 回</td> <td>2 回</td> <td>4 回</td> </tr> <tr> <td>案件</td> <td>8 件</td> <td>2 件</td> <td>8 件</td> <td>5 件</td> <td>4 件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	回数	4 回	1 回	5 回	2 回	4 回	案件	8 件	2 件	8 件	5 件	4 件					
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																		
	回数	4 回	1 回	5 回	2 回	4 回																		
	案件	8 件	2 件	8 件	5 件	4 件																		
	<p>2 普通財産(土地)の管理(除草等)及び処分(払下げ)</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 市有土地の除草作業を行うことにより土地の荒廃を防止し、周辺住民の生活環境が図られた。 合計41か所、約24,200㎡、2回実施</p> <p>(2) 土地の貸付や売払い処分を行い、市有土地の有効活用を図った。</p> <p>売払い件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>筆数</td> <td>9 筆</td> <td>18 筆</td> <td>6 筆</td> <td>8 筆</td> <td>1 筆</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>633.38 ㎡</td> <td>960.12 ㎡</td> <td>3,134.87 ㎡</td> <td>402.24 ㎡</td> <td>85.54 ㎡</td> </tr> <tr> <td>売買価格</td> <td>5,309,246 円</td> <td>10,756,369 円</td> <td>10,820,363 円</td> <td>3,301,803 円</td> <td>4,264,400 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 旧上郷高等学校跡地の除草及び樹木剪定を行い、適切な維持管理が図れた。 5回実施</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	筆数	9 筆	18 筆	6 筆	8 筆	1 筆	面積	633.38 ㎡	960.12 ㎡	3,134.87 ㎡	402.24 ㎡	85.54 ㎡	売買価格	5,309,246 円	10,756,369 円	10,820,363 円	3,301,803 円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
筆数	9 筆	18 筆	6 筆	8 筆	1 筆																			
面積	633.38 ㎡	960.12 ㎡	3,134.87 ㎡	402.24 ㎡	85.54 ㎡																			
売買価格	5,309,246 円	10,756,369 円	10,820,363 円	3,301,803 円	4,264,400 円																			
<p>3 普通財産(建物)の維持管理</p> <p>【成果】</p> <p>施設利用者等に支障のないよう、適正に管理を行った。</p>																								
<p>4 土地境界立会</p> <p>【成果】</p> <p>隣接地権者の依頼により、境界確定に立ち会い、適切な財産管理を行った。 立会件数:3件</p>																								

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	13	本年	128,444				128,444		111,003	86.4
				前年	125,219				125,219		118,740	94.8
				比較	3,225				3,225		△ 7,737	-
【参考】前々年度					129,191				129,191		118,904	92.0

目的

公用自動車の維持管理を適正かつ効率的に行うため。

1 車両管理

- (1) 公用自動車の修理及び車検整備並びに老朽化の車両の廃車
- (2) 公用自動車のリース及び購入

【成果】

公用自動車の修理及び整備、リース車の導入により、事務事業が効率的かつスムーズに遂行できた。

(1) 公用自動車の修理及び車検整備

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
公用車修理	件数	66 件	116 件	109 件	96 件	115 件
	費用	3,606 千円	6,596 千円	7,788 千円	6,391 千円	4,832 千円
公用車車検	件数	29 件	36 件	39 件	33 件	52 件
	費用	3,138 千円	4,467 千円	4,631 千円	3,864 千円	5,080 千円

※車検については、リース車を除く。

(2) 公用自動車のリース及び購入

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
公用車購入	台数	0 台	0 台	0 台	3 台	0 台
	費用	0 千円	0 千円	0 千円	4,335 千円	0 千円
公用車リース	台数	34 台	44 台	66 台	74 台	71 台
公用車廃車	台数	29 台	18 台	8 台	32 台	50 台

※平成27年度からリース件数には再リース契約を含み、廃車件数にはリースアップを含む。

※平成27年度車両寄付:1台(道路維持課)

※令和元年度車両寄付:1台(障害福祉課)

(3) 公用自動車の台数 (年度末時点)

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
市全体の 車両数	リース	268 台	260 台	262 台	258 台	241 台
	買取	177 台	185 台	187 台	198 台	216 台
	合計	445 台	445 台	449 台	456 台	457 台
うち管財課 予算計上の 車両数	リース	242 台	238 台	238 台	230 台	209 台
	買取	42 台	49 台	51 台	62 台	77 台
	合計	284 台	287 台	289 台	292 台	286 台

概要及び成果



事業名：事務機器管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	14	本年	23,494			2,112	25,606		25,383	99.1
				前年	20,472		3,413	654	24,539		24,537	100.0
				比較	3,022		△ 3,413	1,458	1,067		846	-
【参考】前々年度					22,036				22,036		20,021	90.9
目的		事務機器を適正に管理し、各部署の事務事業が効率的に遂行できるようにするため。										
概要及び成果		<p>1 事務機器の管理：複合機(コピー・プリンタ兼用) 31台、印刷機(カラー2台・モノクロ2台)、シュレッダー 14台</p> <p><b>【成果】</b>  事務機器の適正配置及び管理することにより、効率的な事務事業の遂行に寄与した。  庁舎コミュニティ棟の供用開始に伴い、カラー印刷機1台、シュレッダー2台を追加導入した。  カラー印刷機の適切な運用により、イベントチラシ等の視認性の向上が図れた。</p>										

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	15	本年	9,758				9,758		9,228	94.6
				前年	6,438				6,438		5,558	86.3
				比較	3,320				3,320		3,670	-
【参考】前々年度					7,506		△ 672	△ 74	6,760		6,330	93.6

目的	公共調達の入札及び契約の事務手続を公正かつ円滑に執行し、競争性、透明性、適正な契約による品質の確保等を図るため。																														
概要及び成果	<p>1 入札制度</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札制度運用方針 地元企業の受注機会の確保、育成及び入札不調等を極力回避できるような仕組みづくりを基本方針とする、入札制度運用方針を策定し、平成30年10月1日から運用中。</li> <li>・最低制限価格を決定する際の無作為(ランダム)係数 同一価格での入札及びくじ引きによる落札候補者決定の減少を図るため、入札制度運用方針の運用に併せて導入中。</li> </ul>																														
	<p>2 入札参加資格審査の申請受付、資格審査、名簿への登録及び管理</p> <p><b>【成果】</b> 入札参加資格審査申請受付件数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> </tr> <tr> <th>2年2月 (定期)</th> <th>元年9月 (追加)</th> <th>31年2月 (追加)</th> <th>30年9月 (追加)</th> <th>30年2月 (定期)</th> <th>29年9月 (追加)</th> <th>29年2月 (追加)</th> <th>28年9月 (追加)</th> <th>28年2月 (定期)</th> <th>27年9月 (追加)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,044者</td> <td>88者</td> <td>226者</td> <td>193者</td> <td>3,185者</td> <td>60者</td> <td>297者</td> <td>145者</td> <td>3,273者</td> <td>81者</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度は業者管理システムを改修し、入札参加資格審査の紙申請に加え電子申請を行えるようにした。令和2年2月の定期受付から運用を開始し、電子申請による申請は3,044者のうち、1,730者(57%)だった。</p>	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		2年2月 (定期)	元年9月 (追加)	31年2月 (追加)	30年9月 (追加)	30年2月 (定期)	29年9月 (追加)	29年2月 (追加)	28年9月 (追加)	28年2月 (定期)	27年9月 (追加)	3,044者	88者	226者	193者	3,185者	60者	297者	145者	3,273者	81者
	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度																						
	2年2月 (定期)	元年9月 (追加)	31年2月 (追加)	30年9月 (追加)	30年2月 (定期)	29年9月 (追加)	29年2月 (追加)	28年9月 (追加)	28年2月 (定期)	27年9月 (追加)																					
	3,044者	88者	226者	193者	3,185者	60者	297者	145者	3,273者	81者																					
	<p>3 入札審査委員会の開催</p> <p><b>【成果】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17回</td> <td>13回 (臨時1回含む。)</td> <td>12回 (臨時1回含む。)</td> <td>12回 (臨時1回含む。)</td> <td>11回</td> </tr> </tbody> </table>	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	17回	13回 (臨時1回含む。)	12回 (臨時1回含む。)	12回 (臨時1回含む。)	11回																				
令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																											
17回	13回 (臨時1回含む。)	12回 (臨時1回含む。)	12回 (臨時1回含む。)	11回																											
<p>4 入札の実施</p> <p><b>【成果】</b> 入札実施(件数には、水道事業会計分を含む。)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般競争入札</td> <td>793件</td> <td>786件</td> <td>792件</td> <td>800件</td> <td>806件</td> </tr> <tr> <td>指名競争入札</td> <td>9件</td> <td>19件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>総合評価方式</td> <td>13件</td> <td>5件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	方法	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	一般競争入札	793件	786件	792件	800件	806件	指名競争入札	9件	19件	0件	0件	19件	総合評価方式	13件	5件	0件	0件	0件							
方法	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																										
一般競争入札	793件	786件	792件	800件	806件																										
指名競争入札	9件	19件	0件	0件	19件																										
総合評価方式	13件	5件	0件	0件	0件																										
<p>5 入札監視委員会の開催</p> <p><b>【成果】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年2回 2年1月・元年7月</td> <td>年2回 31年1月・30年7月</td> <td>年2回 30年2月・29年7月</td> <td>年3回 29年1月・28年8月、9月</td> <td>年2回 28年1月・27年7月</td> </tr> </tbody> </table>	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	年2回 2年1月・元年7月	年2回 31年1月・30年7月	年2回 30年2月・29年7月	年3回 29年1月・28年8月、9月	年2回 28年1月・27年7月																					
令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																											
年2回 2年1月・元年7月	年2回 31年1月・30年7月	年2回 30年2月・29年7月	年3回 29年1月・28年8月、9月	年2回 28年1月・27年7月																											
<p>6 いばらき電子入札共同利用システムの運営委託(工事、測量・建設コンサルタント業務)</p> <p><b>【成果】</b> 電子入札実施件数(件数には、水道事業会計分を含む。)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般競争入札</td> <td>362件</td> <td>372件</td> <td>363件</td> <td>413件</td> <td>403件</td> </tr> <tr> <td>指名競争入札</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>総合評価方式</td> <td>13件</td> <td>5件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	方法	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	一般競争入札	362件	372件	363件	413件	403件	指名競争入札	0件	0件	0件	0件	0件	総合評価方式	13件	5件	0件	0件	0件							
方法	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																										
一般競争入札	362件	372件	363件	413件	403件																										
指名競争入札	0件	0件	0件	0件	0件																										
総合評価方式	13件	5件	0件	0件	0件																										

概要及び成果	7 茨城県電子調達システムの利用(物品、役務、印刷、リース)					
	【成果】 電子入札実施件数(件数には、水道事業会計分を含む。)					
	方法	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	一般競争入札	431件	414件	429件	387件	403件
	指名競争入札	9件	19件	0件	0件	19件
	8 業者管理システムの保守管理委託					
	【成果】					
	業者管理システムを活用して、入札・契約関係書類の作成事務、事業担当課による業者選定及び入札参加条件の設定に係る事務等の効率化が図られた。					

事業名：業務検査に要する経費

総務部 契約検査課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	16	本年	789				789		705	89.3
				前年	785				785		671	85.4
				比較	4				4		34	-
【参考】前々年度					644			74	718		560	78.0

目的

市が発注する建設工事及びこれに附随する設計の適正な履行を確認するとともに、優れた成績で完成させた建設業者の事績をたたえ、もって建設業の健全な振興と市政の発展に資するため。

- 1 工事請負契約約款、業務委託契約約款及びつくば市工事等検査規程等に基づいた検査を実施する。  
契約金額が1件130万円以上の建設工事及びこれに附随する設計についての検査(完成・完了検査、出来高検査及び中間検査)等を行う。

【成果】

建設工事等の検査を全て実施した結果、適正な履行の確認ができた。なお、検査実施件数は、以下のとおり。

種別	検査の種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
建設工事	完成検査	222 件	246 件	235 件	231 件	236 件
	中間検査	76 件	102 件	84 件	65 件	69 件
	出来高検査	0 件	1 件	2 件	2 件	0 件
	手直し検査	0 件	0 件	0 件	1 件	0 件
	計	298 件	349 件	321 件	299 件	305 件
設計 委託業務	完了検査	98 件	92 件	68 件	68 件	88 件
	中間検査	4 件	2 件	5 件	6 件	3 件
	出来高検査	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	手直し検査	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	計	103 件	94 件	73 件	74 件	91 件
工事・設計 合計	完成・完了検査	320 件	338 件	303 件	299 件	324 件
	中間検査	80 件	104 件	89 件	71 件	72 件
	出来高検査	0 件	1 件	2 件	2 件	0 件
	手直し検査	1 件	0 件	0 件	1 件	0 件
	計	401 件	443 件	394 件	373 件	396 件

- 2 つくば市建設業者褒賞要綱に基づき、優れた建設業者を表彰する。

【成果】

建設業者の優れた功績をたたえ表彰することにより、建設工事受注者に対し、公共工事の品質向上に関する意識付けが図られた。なお、表彰者数は、以下のとおり。

優良工事建設業者の 表彰者数	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	12 者	18 者	21 者	11 者	11 者
特別褒賞の表彰者数	3 者	- 者	- 者	- 者	- 者

※令和元年度より特別褒賞(優良工事建設業者褒賞を5回、10回、15回表彰を受けた者)を新設し、3者を表彰した。

概要及び成果

事業名： 駐車場維持管理に要する経費

財務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	17	本年	11,393				11,393		8,161	71.6
				前年	12,023			△ 1,460	10,563		2,918	27.6
				比較	△ 630			1,460	830		5,243	-
【参考】前々年度					14,634			△ 5,408	9,226		3,952	42.8

目的 つくば市庁舎駐車場条例及びつくば市職員等の駐車場の使用について(伺定)に基づき、駐車場の適正な管理を行うため。

1 来庁者駐車場・職員駐車場の維持管理及び駐車料金の徴収

【成果】

庁舎駐車場の修繕等を実施し、適正な管理を図った。  
職員駐車場2について、土・日・祝日に一般開放を実施し、市民サービスの向上を図った。  
公用車駐車場に車止めを設置し、一般車両の駐車抑制及び車両の盗難防止を図った。

(1) 駐車場の維持管理(平成22年度から料金徴収開始)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
駐車場用消耗品購入	2,315 千円	1,265 千円	1,051 千円	1,861 千円	2,632 千円
駐車場修繕料	231 千円	892 千円	540 千円	903 千円	1,679 千円
駐車場工事請負費	1268 千円	303 千円	0 千円	10,667 千円	9,921 千円
駐車場修繕・工事件数	4 件	11 件	4 件	6 件	19 件

(2) 駐車場使用料金の徴収(平成22年度から料金徴収開始)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
来庁者駐車場分	2,022 千円	2,245 千円	2,730 千円	3,031 千円	4,242 千円
職員駐車場分 (庁舎及び出先施設)	39,621 千円	37,304 千円	37,085 千円	36,733 千円	36,537 千円

※平成27年度から土・日・祝日に職員駐車場2の一般開放を開始(料金は来庁者駐車場に計上)

概要及び成果

事業名：公共施設マネジメントに要する経費

財務部 公共施設マネジメント推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	07	18	本年	848				848		693	81.7
				前年	833				833		710	85.2
				比較	15				15		△ 17	-
【参考】前々年度					717				717		657	91.6

目的	公共施設の最適化による経営の効率化を図るとともに、市民にとって快適・魅力的な施設の実現のため。
概要及び成果	<p>1 公共施設マネジメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～」に基づき、長期的な視点を持って公共施設を効率的かつ効果的に維持管理・修繕し長寿命化を行うことにより財政負担の軽減・平準化を図ることや、保有する公共施設を資産として有効活用することなど公共施設マネジメントを推進する。</li> <li>・「つくば市公共施設白書～つくば市の公共施設の現状～」を公表することで、市民と公共施設に係わる情報の共有を図る。</li> <li>・公共施設のデータベースを庁内で共有し、効率的な維持管理に活用する。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内推進組織を活用し、全庁的な視点で公共施設等総合管理計画に基づく取組の進捗管理等を行い、公共施設マネジメントを推進した(公共施設マネジメント推進会議1回、施設管理会議1回)。</li> <li>・公共施設自主点検マニュアル運用開始に伴い、従来の事後保全から予防保全への転換していく考え方に於いて庁内の意識付けに繋がった。(施設所管課及び施設管理者向けにマニュアル講習会を1回実施。不具合項目の調査報告を活用して、次年度改修実施に向けて予算化の協議を財政課と実施。)</li> <li>・施設調査を実施し、一般公共施設データベースを更新するとともに、公共施設に関する情報の整理・集計を行い、「つくば市公共施設白書(令和元年度版)」として作成した。 一般公共施設:686施設、1,339棟、総延床面積約68万㎡、総敷地面積約528万㎡、 インフラ施設:道路3,386km、橋りょう615橋、上水道管1,405km、下水道雨水管455km、污水管1,526km</li> <li>・ホームページで公共施設等総合管理計画、公共施設白書、公共施設カルテの周知を図ることにより、市民への情報提供を行った。</li> <li>・各施設の長寿命化や再編再配置等の保全に関する具体的な対応方針を定める個別施設計画の策定を推進するに当たり、各課等が策定する計画の内容に統一性をもたせることを目的として、個別施設計画策定ガイドラインを作成した。</li> <li>・公共施設マネジメントを取り巻く現状・取組、他市の先進事例紹介などをテーマとした研修の開催、情報提供を行い、職員の意識啓発を図った(公共施設マネジメントセミナー1回、公共施設マネジメント通信5回)。</li> <li>・講習会への参加により情報収集を行い、担当職員の専門知識と能力の向上に寄与した(講習会等17回参加)。</li> </ul>

事業名：企画調整に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課／市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	11	本年	10,031			△ 1,200	8,831		7,505	85.0
				前年	12,481		1,567	1,000	15,048		12,198	81.1
				比較	△ 2,450		△ 1,567	△ 2,200	△ 6,217		△ 4,693	-
【参考】前々年度					6,005		1,735		7,740		6,121	79.1

目的

市政に関する各種重要施策の調整等を行い、市政の円滑な運営と推進を図るため。

概要及び成果

1 市長公約事業のロードマップ(企画経営課)  
市長選挙に掲げた公約を事業化し、実施時期と工程を明らかにしたロードマップを策定することで、公約事業の着実な実施を図る。6本の柱82事業の実施時期と工程等を各個票に落とし込み、進捗管理や評価を実施し、毎年1回公表する。  
【成果】  
令和元年6月に「市長公約事業のロードマップ2019改訂版」として、平成30年度の実績や進捗評価等を各個票に加えた冊子を作成し、公表した。

2 国・県に対する予算等要望(企画経営課)  
茨城県市長会を通して、本地域で広域的な対応が必要になっている施策について、県政要望を実施する。また、本市が必要とする重要施策について、本市単独で茨城県予算編成等要望を実施する。  
【成果】  
県政要望を通して、広域的な課題への対応を求めるとともに、県予算編成要望を通して、本市が特に対応してもらいたい課題について、直接副知事と面会し、その状況を説明することで一定の理解を得ることができた。  
令和元年6月 茨城県市長会へ県政要望を提出  
令和元年10月 茨城県知事へ県予算編成要望を提出(台風災害対応のため、副知事が代理)

3 市民意識調査(企画経営課)  
つくば市の現状やまちづくりの取組に関する評価や満足度、市民が重要と感じている施策及び社会情勢や持続可能なまちづくりの観点から重点的な取組が必要な課題について、市民の意向などを把握する。  
【成果】  
令和元年8月に調査を実施し、市の現状や課題、まちづくりの満足度等を把握し、今後の市政運営の参考とした。

	令和元年度	平成29年度	平成27年度	平成25年度	平成23年度
回収率(発送数)	49.4%(3,000通)	44.9%(3,000通)	51.4%(2,400通)	54.9%(2,400通)	58.0%(2,400通)
住み心地の満足度	80.1%	81.6%	81.5%	78.1%	77.5%

※隔年実施

4 つくば市OB人材活動支援事業(企画経営課)  
つくばイノベーションプラザに設置しているOB人材活動支援デスクにおいて、高度な知識や専門技術を持つシニア世代の方々を「つくば市シニア・エキスパート」として登録し、講師等の派遣を希望する一般市民、団体、企業等からの依頼に応じて活動の場を確保、調整する。  
【成果】  
(1)「つくば市シニア・エキスパート便覧」第17版(令和元年6月)を発行し、市内公共施設、県内全自治体、民間企業及びカルチャースクール等に配布した。  
(2) 大学や研究機関等を訪問し、事業の広報活動を行うとともに、退職者説明会等においてパンフレットを配布し、登録者の募集を行った。

登録者数(令和2年4月現在)及び講師等派遣回数実績

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
現登録者数	242名	236名	225名	205名	193名
講師等派遣回数	延べ634回	延べ686回	延べ649回	延べ561回	延べ513回

概要及び成果	<p>5 鹿島アントラーズフレンドリータウンデイズ「つくばの日」の開催(スポーツ振興課) 市民等を鹿島アントラーズのホームゲームに招待・優待するとともに、スタジアム内特設ステージ等において、市の観光や特産品などのPRを実施した。(7月20日(土)開催)</p> <p>【成果】 観客数:25,117人(うち、つくば市招待・優待者1,439名) ※昨年度観客数:19,119人(うち、つくば市招待・優待者2,350名)…8月5日(日)開催</p>
	<p>6 つくば市まちづくりアドバイザー(企画経営課) 全米で住みたいまちナンバー1にも選ばれたポートランドでの先進的なまちづくりに携わった経験がある山崎満広氏をまちづくりアドバイザーとして迎え、中心市街地・周辺市街地のまちづくり、SDGsの推進など幅広い分野で、計画の策定や事業推進における課題に対するアドバイスをもらった。(担当部署:企画経営課、持続可能都市戦略室、学園地区市街地振興室、周辺市街地振興室)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R8地域活性化プランコンペティション審査員[令和元年7月27日、周辺市街地振興室]</li> <li>・未来構想キャラバン市長対談[令和元年10月20日、企画経営課]</li> <li>・SDGsTRYワークショップにおける講演「SDGsとポートランド」[令和元年10月27日、持続可能都市戦略室]</li> <li>・SDGs職員研修会「エシカル消費」対談[令和元年11月12日、持続可能都市戦略室]</li> <li>・ファンドレイジング勉強会[令和2年1月28日、持続可能都市戦略室]</li> </ul>

事業名：アイラブつくばまちづくりに要する経費

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	12	本年	19,951		25,882	6,811	52,644		52,446	99.6
				前年	35,291		432		35,723		15,263	42.7
				比較	△ 15,340		25,450	6,811	16,921		37,183	-
【参考】前々年度					98,722		△ 71,287		27,435		12,947	47.2

目的

市の発展を願う方々からの寄附金を、市の事業や地域貢献に取り組む方々への支援に役立てるとともに、寄附金の活用状況の公表や関係者の表彰などを通して、つくばを思う方々の輪を広げていくため。

概要及び成果

高額寄附者等への表彰や広報紙等を活用したPR活動を通じて「アイラブつくばまちづくりキャンペーン」の周知を図る。また、ふるさと納税における寄附者への御礼品の贈呈を通して、地元特産品の販売促進や観光PRなどの地域振興にも繋げ、本市を応援していただける方を増やしていく。

【成果】

令和元年9月に、市民部市民活動課と共同で「アイラブつくばまちづくりキャンペーン表彰式・フォーラム」を開催し、個人2名、企業等7団体の寄附者表彰を行った。寄附金の受領額については、表彰式において公表するとともに、市ホームページに掲載した。

平成29年2月1日より、ふるさと納税寄附者への御礼品贈呈を開始。

寄附実績

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
件数	7,978件	2,117件	1,421件	248件	63件	59件
寄附金額	107,454,609円	47,553,855円	51,475,193円	14,859,339円	7,496,795円	15,092,774円



事業名：行政経営に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	13	本年	13,911	6,172		△ 1,426	18,657		17,624	94.5
				前年	17,324		246		17,570	6,172	9,864	91.3
				比較	△ 3,413	6,172	△ 246	△ 1,426	1,087	△ 6,172	7,760	-
【参考】前々年度					6,304		△ 300	△ 271	5,733		5,130	89.5

目的	効果的、効率的で質の高い行政サービスを目指し、「P(計画)・D(実施)・C(評価)・A(改善)」というマネジメントサイクルを適切に運用するするとともに、中長期的な視点から総合的かつ計画的な行政の運営を図るため。																																			
概要及び成果	1 未来構想・戦略プラン策定業務 【成果】 社会・経済等の情勢変化に的確に対応し、諸課題を克服しながら次の世代に継承・発展させていく「持続可能都市」を目指し、「つくば市未来構想」を改定、「第2期つくば市戦略プラン」を策定した。つくば市が目指すべき未来として「まちづくりの理念」と「目指すまちの姿」を掲げ、「2030年の未来像」の実現に向けて、必要な施策を策定した。 策定に当たっては、市議会議員、有識者、市民等で構成する「つくば市未来構想等審議会」(6回開催)、庁内部長級による「策定委員会」(6回開催)、職員によるワーキングチーム(22回開催)、市民を対象とした未来構想キャラバン(10回)、パブリックコメントの実施、市議会全員協議会の開催(2回)により市民・議会意見の積極的な聴取を進めることができた。																																			
	2 行政評価の実施 【成果】 平成30年度事務事業(927事業)に関して、事業所管課による自己評価を実施した。事務事業の改善、見直しを行うことで、効果的・効率的で質の高い行政サービスの提供に寄与した。 また、戦略プランの策定に伴い、行政評価システムを使用した事務事業マネジメントシートの様式変更を行ったことにより、戦略プラン実施計画と事務事業評価との連動が進められた。																																			
	3 パブリックコメントの実施 【成果】 市民から寄せられた意見を条例、計画等に反映させた。																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施案件数</td> <td>13案件</td> <td>12案件</td> <td>12案件</td> <td>9案件</td> <td>18案件</td> </tr> <tr> <td>意見提出案件数</td> <td>13案件 (延べ125人、341意見)</td> <td>11案件 (延べ95人、386意見)</td> <td>12案件 (延べ41人、178意見)</td> <td>8案件 (延べ48人、216意見)</td> <td>14案件 (延べ85人、361意見)</td> </tr> <tr> <td>修正した案件数</td> <td>9案件(82か所修正)</td> <td>6案件(79か所修正)</td> <td>4案件(12か所修正)</td> <td>7案件(29か所修正)</td> <td>11案件(49か所修正)</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施案件数	13案件	12案件	12案件	9案件	18案件	意見提出案件数	13案件 (延べ125人、341意見)	11案件 (延べ95人、386意見)	12案件 (延べ41人、178意見)	8案件 (延べ48人、216意見)	14案件 (延べ85人、361意見)	修正した案件数	9案件(82か所修正)	6案件(79か所修正)	4案件(12か所修正)	7案件(29か所修正)	11案件(49か所修正)
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																														
	実施案件数	13案件	12案件	12案件	9案件	18案件																														
意見提出案件数	13案件 (延べ125人、341意見)	11案件 (延べ95人、386意見)	12案件 (延べ41人、178意見)	8案件 (延べ48人、216意見)	14案件 (延べ85人、361意見)																															
修正した案件数	9案件(82か所修正)	6案件(79か所修正)	4案件(12か所修正)	7案件(29か所修正)	11案件(49か所修正)																															
4 指定管理者制度運用事業 【成果】 「実施要領」等の改正を行い、議会否決時の対応手続きを明確にしたことで効率的に運用できるようにした。つくば市行政経営懇談会(令和元年6月～令和2年2月:計5回)を開催し、指定管理者制度のより効果的・効率的な運用について検討を行い、提言を受けた。																																				
5 大規模事業評価制度運用事業 【成果】 「つくば市大規模事業の進め方に関する基本方針」に基づき、大規模事業評価制度について、制度の庁内周知と評価のため、実施の照会による評価候補・予定案件の事前把握や相談対応等を行った。 また、制度の適用除外となる2件について調整を行い、市HPで評価対象適用除外事業調書を公表した。																																				
6 市民参加推進事業 【成果】 市長公約事業のロードマップにおけるKPI「要綱に基づき、市民委員の任命、選任を実施している附属機関及び懇談会のうち、実際に市民委員を募集した附属機関及び懇談会等の割合を100%にする」を達成した。 また、市民委員意見交換会を開催することで、市民参加推進や審議会等への市民委員の参加に関する良い点や課題、改善点について参加者から意見や提案をいただくとともに、つくば市の市民参加の現状について周知ができた。																																				

事業名：情報化推進に要する経費

政策イノベーション部 情報政策課／総務部 ワークライフバランス推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	14	本年	32,043	535	△ 700		31,878		31,520	98.9
				前年	26,111		3,524		29,635	535	27,763	95.5
				比較	5,932	535	△ 4,224		2,243	△ 535	3,757	-
【参考】前々年度					36,177		△ 3,728		32,449		31,223	96.2

目的

情報化推進計画で定める取組により、行政手続の効率化、行政サービスの品質向上を図り、自治体経営の効率化及び市民の利便性の向上を実現するため。

## 1 電子申請・届出の推進

いばらき電子申請・届出サービスの運営を適正に行う。

## 【成果】

電子申請を推進し、市民サービスの向上及び業務効率化を図った。

## ■届出種類および申請・届出件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
手続種類(恒常的)	10手続	7手続	6手続	6手続	6手続
手続種類(一時的)	574手続	347手続	164手続	111手続	138手続
申請・届出件数(合計)	29,601件	22,794件	14,785件	14,913件	6,412件

## 2 GISの整備

## 【成果】

茨城県域統合型GISについて、各課での利用支援を行うとともに操作研修を実施し、利用の促進を図った。

## ■行政用GISへの庁内からのログイン件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
庁内からのログイン件数	8,271件	6,957件	4,982件	5,022件	4,001件

## 3 職員研修等の実施

## 【成果】

情報セキュリティ及びデータ利活用研修、庁内への情報提供等を通じて、職員の情報リテラシー(情報活用力)及び情報セキュリティ向上を図った。

(1) 情報セキュリティ研修 職員を対象に研修を実施した。

(新任職員研修:92人、臨時職員研修99人、情報責任者研修184人)

(2) 庁内グループウェアを活用し、随時、情報セキュリティに関する啓発を行った。

(3) データ利活用研修を職層ごとに実施した。

(研修Ⅰ(主事及び主任級):134人、研修Ⅱ(主査級):28人、研修Ⅲ(課長補佐及び課長級):29人)

## 4 デジタルシティ TSUKUBA 2019(データ利活用を推進するためのシンポジウム)の開催

## 【成果】

2019年6月に「G20貿易・デジタル経済大臣会合」がつくばで開催されることを機に、今後の地域におけるデータ利活用を推進するためのシンポジウムを開催した。

(1) 開催日時 令和元年5月17日 午後1時から午後5時まで

(2) 参加者数 226名

## 5 RPA活用による業務効率化 ※本業務は令和元年度から総務部ワークライフバランス推進課に移管

## 【成果】

既に導入済みの部署への定着を図ると共に、保健福祉部を中心に試作シナリオを作るなどして利用を促進し、業務効率化を図った。

(1) 調達ライセンス フル機能版(実行+シナリオ作成):10(うちシナリオ共有サイトライセンス付き3)

(2) 利用状況(3月末時点) 19課

概要及び成果

事業名：情報通信ネットワークシステム運用に要する経費

政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	15	本年	78,091		△ 2,201		75,890		74,781	98.5
				前年	82,603		589		83,192		81,875	98.4
				比較	△ 4,512		△ 2,790		△ 7,302		△ 7,094	-
【参考】前々年度					92,001				92,001		87,644	95.3

目的	<p>市民等への情報発信の基盤となる情報ネットワークシステムを運営し、情報発信に関する事業を推進するため。また、庁舎及び出先機関における情報化を進めるための基盤ネットワークの維持管理を行い、円滑な事務執行及び事務の効率化を図るため。</p>
概要及び成果	<p>1 本庁舎を中心として、市内に点在する約200施設を広域ネットワークで結び構築した全庁ネットワークの保守及び管理運営を行う。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1) ネットワークトラブル(メンテナンス等の計画停止を除く)による市民サービスへの影響(サービス停止)を発生させることなく、サービスを提供することができた。</p> <p>(2) 耐用年数を迎えた出先施設のネットワーク機器(5台)及び消防庁舎の無線アクセスポイントの更新を行い、安定運用に寄与した。</p> <p>(3) 必要な修正プログラムの適用を実施し、セキュリティ及び安定運用を確保した。</p> <p>(4) コミュニティ棟の運用開始に合わせてネットワーク構築を行い、職員の事務執行に寄与した。</p>
	<p>2 市インターネットサービスのネットワーク運用・管理を行う。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>業務ネットワークシステム(総合行政ネットワーク・図書館・粗大ごみ収集受付・メールシステム等)の安定的な運用により、市民サービス及び庁内業務サービスの向上を図ることができた。</p>
	<p>3 外部ネットワークから市ネットワークへのアクセスに対し、セキュリティシステムにより監視を行う。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>令和元年度において、インターネット上からつくば市のネットワークへの不正侵入・攻撃等を試された件数は約5万3千件であったが、これらに対しセキュリティシステムが有効に機能し、円滑に事務を執行することができた。</p>

事業名：科学技術振興に要する経費

政策イノベーション部 科学技術振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	16	本年	16,491			△ 880	15,611		14,091	90.3
				前年	23,432		△ 5,000		18,432		16,112	87.4
				比較	△ 6,941		5,000	△ 880	△ 2,821	△ 2,021	-	
【参考】前々年度					16,207	3,173		3,632	23,011		20,582	89.4

目的	<p>「つくば市科学技術振興指針(第2期)」に基づき、研究機関等との連携を戦略的に進め、イノベーション創出の基盤を構築することで、多種多様な技術シーズの事業化・産業化による地域振興や、科学技術を活用した地域課題の解決を図るため。</p>									
概要及び成果	<p>1 つくば国際戦略総合特区の推進及び科学技術・イノベーション創出拠点の形成</p> <p><b>【概要】</b> 組織の垣根を超えた新しい産学官連携の核となる組織(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構(TGI)と連携し、特区プロジェクト等を創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。</p> <p><b>【成果】</b> ・茨城県、TGIと連携し、定期的に9つの特区プロジェクトの進捗管理を行うことで、課題等を把握できた。また、特区プロジェクト主体に対して会議運営・広報支援や、特区制度の活用提案等を行った。 ・TGIに設置された技術相談窓口にて、市内企業及び研究者等への案内を行うとともに、約120件の相談対応を行い、10件以上の企業と研究機関とのマッチング等を実現した。 ・つくば市の有望な技術シーズについて事業化支援を行った。 事業化プロジェクト:3件 / 次世代プロジェクト発掘や人材育成のための基盤構築プロジェクト:7件 ・世界各国のイノベーションエコシステムとのネットワーク強化のためスウェーデンで行われたハイレベルフォーラムの参加にすることで、市の国際的プレゼンス向上に寄与した。</p>									
	<p>2 つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業</p> <p><b>【概要】</b> IoTやAIなどの最先端技術による先進的なフィールド実験を全国から公募し、実験場の提供やモニターの確保、費用補助等の支援を行う。</p> <p><b>【成果】</b> ・全国各地への事業周知により、昨年を上回る提案23件のもと5件を採択、1件辞退により、以下4件を支援した。 ・昨年度の実証実験主体者に成果発表の場を用意し、企業等とのマッチングの機会を提供した。 ・昨年度に引き続き、最終審査にてインターネット投票を実施、新たに顔認証技術を導入し、市民が最先端技術を体験できる機会を提供した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">案件名</th> <th style="width: 30%;">提案者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～すべての人が安心できる空の道をつくり、ドローンシティ先進社会としてのつくばを世界に発信する～スマートシティに向けた、ドローン配送の社会実装プロジェクト</td> <td>株式会社トルビズオン</td> </tr> <tr> <td>異国にいても安心して医療が受けられる社会にするために</td> <td>Ambii合同会社</td> </tr> <tr> <td>新たなモビリティサービスによる移動利便性向上・地域活性化</td> <td>株式会社Doog</td> </tr> <tr> <td>つくばで開催 脳の運動会「bスポーツ」！～年齢や身体の障害の有無に関わらず 脳だけで戦う 新競技～</td> <td>国立研究開発法人 産業技術総合研究所</td> </tr> </tbody> </table>	案件名	提案者	～すべての人が安心できる空の道をつくり、ドローンシティ先進社会としてのつくばを世界に発信する～スマートシティに向けた、ドローン配送の社会実装プロジェクト	株式会社トルビズオン	異国にいても安心して医療が受けられる社会にするために	Ambii合同会社	新たなモビリティサービスによる移動利便性向上・地域活性化	株式会社Doog	つくばで開催 脳の運動会「bスポーツ」！～年齢や身体の障害の有無に関わらず 脳だけで戦う 新競技～
案件名	提案者									
～すべての人が安心できる空の道をつくり、ドローンシティ先進社会としてのつくばを世界に発信する～スマートシティに向けた、ドローン配送の社会実装プロジェクト	株式会社トルビズオン									
異国にいても安心して医療が受けられる社会にするために	Ambii合同会社									
新たなモビリティサービスによる移動利便性向上・地域活性化	株式会社Doog									
つくばで開催 脳の運動会「bスポーツ」！～年齢や身体の障害の有無に関わらず 脳だけで戦う 新競技～	国立研究開発法人 産業技術総合研究所									

事業名：つくばイノベーションプラザに要する経費

政策イノベーション部 つくばイノベーションプラザ

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	17	本年	29,030				29,030		26,602	91.6
				前年	28,786				28,786		25,569	88.8
				比較	244				244		1,033	-
【参考】前々年度					66,961			81	67,042		61,842	92.2

目的

会議室やイノベーションサロンなど施設の適切な維持管理・整備を実施し、新たな産学官連携システムの構築に要する中核拠点として、イノベーション創出を施設面から支援するため。

概要及び成果

1 設備の維持管理

【成果】

経費内訳	事業概要	経費
修繕料	照明設備修繕	99千円
備品購入費	管理用備品購入	150千円

2 利用実績(施設の利用及び収入)

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
会議室利用件数	989件	1,043件	944件	992件	879件
会議室利用人数	19,502人	23,592人	20,844人	22,925人	24,279人
会議室利用料金	2,678千円	3,904千円	3,560千円	4,457千円	4,207千円

※平成27年度は「つくばサイエンス・インフォメーションセンター」の実績

事業名：まち・ひと・しごと創生事業に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	18	本年	913			△ 183	730		517	70.9
				前年	2,026				2,026		622	30.7
				比較	△ 1,113			△ 183	△ 1,296		△ 105	-
【参考】前々年度					2,057			1,288	3,345		3,022	90.3

目的

国の地方創生に関する交付金を活用し、つくば市人口ビジョン及びつくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略に定めた各種施策を実施し、つくば市まち・ひと・しごと創生を推進するため。

概要及び成果

## 1 まち・ひと・しごと創生有識者会議の開催

人口減少に歯止めをかけ、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある本市を維持する。国交付金等を活用し、つくば市まち・ひと・しごと創生に関する事業を実施することで、つくば市における「しごとづくり」、「ひとづくり」、「まちづくり」に寄与する。また、つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理のため、つくば市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催する。令和2年度からつくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、つくば市戦略プランに統合されることとなった。

## 【成果】

つくば市まち・ひと・しごと創生有識者会議において、創生総合戦略を令和2年度から、つくば市戦略プランに統合することについて説明し、意見を聞いた。また年度評価についても、各施策の進捗状況を有識者会議で報告し、評価を実施し、その結果を公表することができた。

項目	概要
会議の名称	令和元年度第1回つくば市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	令和元年10月1日(火)
開催場所	つくば市役所 5階庁議室
開催内容	(1)第2期つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略(次期戦略プラン)の策定に当たって (2)第2期つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略(次期戦略プラン)について (3)その他
出席委員	27名
報酬支払	1回10,000円×23名(支払対象者)=230,000円

項目	概要
会議の名称	令和元年度第2回つくば市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	令和2年3月17日(火)
開催場所	つくば市役所 5階庁議室
開催内容	(1)令和元年度まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について (2)地方創生推進交付金事業の進捗状況について (3)第2期つくば市戦略プランについて (4)その他
出席委員	25名
報酬支払	1回10,000円×23名(支払対象者)=230,000円

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	19	本年	25,087			747	25,834		24,303	94.1
				前年	31,187		△ 9,185		22,002		17,959	81.6
				比較	△ 6,100		9,185	747	3,832		6,344	-
【参考】前々年度					19,556		△ 100	△ 1,017	18,439		16,177	87.7

目的	大学・研究機関等が集積する本市が、イノベーションを創出する基盤の構築を支援することで、つくばの成長と発展に資するため。
概要及び成果	1 市内大学・研究機関等との連携事業 <b>【概要】</b> 筑波研究学園都市の一層の発展に向けた機能強化を図る。市内各大学・研究機関等との連携を戦略的に進めることにより、技術成果・実証や社会的課題の解決に専門的知見を活用した行政体制の構築、防災体制の強化等に資する。  <b>【成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(通年)筑協事務局従事(週2回1名)</li> <li>・市内研究機関等との防災連絡網作成(台風や新型コロナ関連の情報共有を行った)</li> <li>・研究機関のアウトリーチ活動の広報支援(住民向け研究機関ポスター展示及び市内施設でのチラシ設置、市報・市ウェブサイト等掲載)</li> <li>・産総研、民間事業者への下水道不明水対策検証協力</li> <li>・市内緩急機関等の情報一元化を目指した「つくばSTEAMコンパスポータルサイト」開設準備</li> <li>・農研機構と共催でサイエンスカフェ実施</li> <li>・国土地理院との基本協定締結にむけた協議</li> <li>・国土地理院との地理空間情報活用促進に係る協定締結にむけた協議</li> <li>・JAXAとの基本協定締結に向けた協議</li> </ul>
	2 次代を担う人材育成と科学技術の理解の醸成事業(科学教育推進事業) <b>【概要】</b> 大学・研究機関等の集積を活かし、科学関連イベントの招致・開催等を通じて、次代を担う人材育成や一般市民への科学技術の理解の醸成を図る。  <b>【成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回科学の甲子園ジュニア全国大会共催(都道府県47チーム、合計282名の中学1・2年生が参加)</li> <li>・第19回日本情報オリンピック本選共催(83名参加)</li> <li>・国際情報オリンピック(国内初開催)の開催支援及び小学3年生～中学3年生を対象としたプログラミングイベントの開催(約120名参加)</li> <li>・つくばサイエンスコラボにて科学教育マイスターによる科学教育講座実施(約160名参加)</li> <li>・体験型科学教育事業学内イベント実施(竹園西小学校5年生と谷田部小学校5年生が授業の一環として参加)</li> <li>・体験型科学教育事業「つくばこどもクエスチョン」開催(57名参加)</li> <li>・教育関係者を対象とした、つくばの未来を考えるワークショップ「TSUKUBA COMPASS For The FUTURE」開催</li> <li>・体験型科学教育事業「つくばこどもクエスチョンオンライン」開催</li> <li>・市内緩急機関等の情報一元化を目指した「つくばSTEAMコンパスポータルサイト」開設準備</li> <li>・つくば奨励賞へ負担金を交付し、研究活動の推進に貢献</li> </ul>
	3 国際科学技術都市「つくば」の推進事業 <b>【概要】</b> 市内の大学・研究機関等の連携の強化を図ることにより、その集積効果を最大限に高め、イノベーションを創出し、社会的課題の解決や産業の国際競争力の強化等に貢献する。  <b>【成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方情報誌で「つくばで輝く研究者」紹介(10名。6月～3月まで毎月1名)</li> <li>・つくば女性研究者支援協議会参加(2回/年)</li> <li>・筑波大学、茨城県主催のリケジョインボジウムへの協力とブース出展</li> <li>・国際会議「筑波会議」への参加と協力(サブセッション実施とネットワーキングセッション開催)</li> <li>・ポーfum市と連携協定締結</li> <li>・フランス・グルノーブル市主催の国際会議「ハイレベルフォーラム」への参加</li> <li>・フランス・グルノーブル都市共同体と具体的な連携に係る調整</li> <li>・随時 海外企業、政府関係者の視察受け入れ(香港大学)</li> </ul>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	20	本年	10,313		△ 580	△ 299	9,434		7,980	84.6
				前年	12,473		△ 2,000		10,473		9,390	89.7
				比較	△ 2,160		1,420	△ 299	△ 1,039		△ 1,410	-
【参考】前々年度					24,510			△ 3,713	20,797		17,489	84.1

目的	<p>市内の公道をロボットの実証フィールドとして開放すること等を通じて、その実用化の促進や人材育成を図り、超高齢社会への対応、低炭素社会の実現、観光等の地域活性化に資するとともに、「ロボットの街つくば」のプロモーションに資するため。</p>
概要及び成果	<p>1 モビリティロボット等の公道実証の推進</p> <p><b>【概要】</b>                      搭乗型移動支援ロボットに関する実証実験を通じた国への規制緩和を要望や、国のMaaSの取組との連携や他自治体、大学、民間事業者等との新たな連携により、モビリティロボットの実利用環境の構築及び社会実装を推進する。</p> <p><b>【成果】</b>                      (1)つくばモビリティロボット実証実験推進協議会                      セグウェイシティツアー等、モビリティロボットの社会的な有効性や歩行者等との親和性、社会受容性等について検証するための実証実験を実施した。                      ・令和元年度 延べ実験日数 66日、延べ走行距離 1,015km、延べ搭乗者数 230人                      (うち、セグウェイシティツアー 延べ日数12日、搭乗者68人)                      ・実証実験団体(つくばモビリティロボット実証実験推進協議会 正会員):13団体(平成30年度比:-1)                      ・実証実験機種:3機種</p> <p>(2)モビリティロボットの周辺市街地活性化への活用                      モビリティロボット活用事例調査を谷田部地区、小田地区を対象に実施し、モビリティロボットの周辺市街地振興への活用に向けた取組を拡大した。既成市街地の道路環境における安全性や歩行者との親和性が確認され、周辺市街地活性化に対するモビリティロボット活用の有効性が認められた。</p> <p>(3)電動車いすの公道での自動走行実証実験                      警察庁や茨城県警と協議し、電動車いすの公道での自動運転に関する道路交通法上の取扱いを明らかにした上で、産業技術総合研究所と共同で、国内で初めて公道での自動走行実証実験を実施した。</p> <p>(4)国土交通省スマートシティ事業への採択                      国土交通省の「スマートシティモデル事業」及び「新モビリティサービス推進事業」への採択を受け、スマートシティ化に向けた第一弾として移動に焦点をあてた取組を開始した。「つくばスマートシティ協議会」を設立し、スマートシティ推進のための産学官民による連携体制が構築された。</p> <p>2 つくばチャレンジ</p> <p><b>【概要】</b>                      市内外のロボットに係る研究者・技術者が集い、市内の歩道等の実環境で移動ロボットに自律走行させる公開技術チャレンジ。</p> <p><b>【成果】</b>                      ロボットに係る研究者等のネットワークの構築や人材育成、移動ロボットの自律走行技術の発展に貢献した。                      実験走行:7回                      本走行:令和元年11月10日(日)                      会場:市役所敷地内と研究学園駅前公園内、及びそれらを連結する公道                      エントリー:65チーム66台                      マイルストーン3(課題コースを通した自律走行)達成:3台</p>



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	21	本年	5,231			△ 583	4,648		4,648	100.0
				前年			53,404		53,404		53,397	100.0
				比較	5,231		△ 53,404	△ 583	△ 48,756		△ 48,749	-
【参考】前々年度												

目的	「G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」の開催を一過性のものとして終わらせず、開催を契機とした未来につながるレガシーを創出するため。
概要及び成果	<p>1 G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合の開催</p> <p><b>【概要】</b> 「G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」の成功を期するため、産学官金による「G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合推進協議会」に市として参画するもの。これにより、会合の円滑な実施、開催機運の醸成や、開催を契機としたシティプロモーションなどを効果的に行う。</p> <p><b>【成果】</b> 2019年6月8日・9日の会合開催に向けて以下の取組を行い、会合の成功に貢献した。                  ・開催支援:警備・救急医療・災害対応体制の検討・構築、歓迎機運の醸成、推進会議事務局運営など                  ・おもてなし:歓迎行事等の企画・実施、エクスカージョンの企画・実施、土産品贈呈など                  ・情報発信:市HP等を通じた市民への開催情報の共有、海外メディア向けツアーの実施、海外媒体への広告出稿、経済波及効果等の効果測定、記録集の作成など</p>
	<p>2 G20貿易・デジタル経済大臣会合関連事業</p> <p><b>【概要】</b> G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合開催の普及・啓発事業の一環として、市内在勤の研究者とクリエイターの共創作業による作品制作事業「つくばサイエンスハッカソン」を実施する。このことにより、最先端科学技術の開発及び独創的な研究の礎となる研究者の感性を触発するとともに、異業種異分野連携や新事業創出のプラットフォームとなるコミュニティ形成を促し、ビジネス展開へ誘発する。また、次代を担う子どもたちに対し会合の開催意義等について理解を深める機会を提供することにより、国際感覚を養うとともに、開催機運の醸成を図るため、生徒参加型のワークショップを開催した。</p> <p><b>【成果】</b>                  (1) つくばサイエンスハッカソンの開催                  市内在勤の4人の若手研究者の研究内容からインスピレーションを受けた4組のアーティストが研究者と一緒に、3日間のハッカソンをとおして制作した作品を本会合会場内及び市施設で展示し、筑波研究学園都市の創造性や多様性、文化的成熟といった都市の魅力を国内外に発信した。                  ① 会場内展示                  場所:つくば国際会議場 2階コンコース                  展示期間:令和元年6月7日から9日                  ② 市施設での展示                  場所:さくら民家園                  展示期間:令和元年5月10日から19日                  (2) G20大臣会合開催記念ゼミ「世界の経済を考える」の開催                  G20大臣会合の主要議題である「貿易」について、生徒参加型のワークショップ形式での授業を行った。                   日時:令和元年5月15日 10時40分から11時30分(3時限目)                  開催校:高山学園つくば市立高山中学校                  参加者:9年生(中学3年生)</p>

事業名：SDGs推進に要する経費

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	01	08	22	本年	4,421			△ 3,138	1,283		1,086	84.6	
				前年									
				比較	4,421			△ 3,138	1,283		1,086	-	
【参考】前々年度													

目的	<p>つくば市は平成30年6月に国からSDGs未来都市に選定された。SDGs未来都市として、社会・経済・環境の3側面が相乗的に発展する持続可能都市を実現し、「世界のあしたが見えるまち。」を目指すため。</p>
概要及び成果	<p>1 SDGsの推進</p> <p>持続可能都市の実現に向け、現在の社会全体の意識を変え、企業や個人等を巻き込み、各々が行動を変えていく仕組みづくりを構築していくため、国連が2030年までに達成すべき目標として定めたSDGsを市政に反映する取組を推進している。</p> <p>平成31年4月 つくばSDGsパートナーズ設立          令和元年5月～令和2年1月 つくばSDGsパートナー講座(全5回)          令和元年10月 社会課題解決型ワークショップ「つくばSDGsTRY」第1回(ワークショップ)          令和2年1月 社会課題解決型ワークショップ「つくばSDGsTRY」第2回          (講演会・現地見学会及びワークショップ)</p> <p>令和2年3月 SDGsの理念を取り入れ、つくば市未来構想を改定          持続可能都市宣言</p> <p>【成果】</p> <p>つくば市SDGs未来都市計画における重点事業の一つであるつくばSDGsパートナーズについて、個人会員約100名で、4月に設立することができた。その後、5月、7月、9月、11月、1月の年度内全5回の講座を開催し、個人会員は、234名まで増やすことができた。また団体会員も42団体となった。</p> <p>会員対象で募集した社会課題解決型ワークショップ「つくばSDGsTRY」は、29人が参加し、市民が自ら地域の課題を解決していくためのワークショップや講演会・現地見学会など2回を実施することができた。</p> <p>3月には、つくば市未来構想の改定に際し、SDGsの理念を取り入れることにより、市全体で持続可能都市の実現を目指すこととなった。また、それを受け、改めてつくば市が一丸となって持続可能都市を目指していくことを内外へ示すため、持続可能都市宣言を発表した。</p>

事業名：オリンピック・パラリンピックに要する経費 政策イノベーション部 オリンピック・パラリンピック推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	01	08	23	本年	3,648				3,648		2,044	56.0	
				前年									
				比較	3,648				3,648		2,044	-	
【参考】前々年度													
目的				<p>スイスオリンピック協会、筑波大学、茨城県、つくば市の4者で締結した、事前キャンプの誘致に関する覚書に基づき、事前キャンプに向けて、4者で連携・調整し、来日する選手の移動・通訳・宿泊などの準備を適切に行うため。</p> <p>また、スイスのホストタウンとして、スポーツを中心に食や教育など幅広い分野での交流を進め、大会の機運醸成を図り、グローバル化推進、スポーツ振興を進めていくため。</p>									
概要及び成果				<p>1 スイスオリンピック協会事前キャンプ</p> <p>スイス選手団の事前キャンプについて、選手が万全の状態で開催2020大会に臨めるよう支援するとともに、市民との交流を行う。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>令和元年5月 陸上女子リレーチーム事前キャンプ(5月3日～9日)、公開練習による市民交流の実施 フェンシングチームコーチ視察対応(筑波大学)</p> <p>令和元年7月 トライアスロンチーム事前キャンプ(7月29日～8月13日)、市民交流(小中学生を対象とした昼食配膳ボランティア・子ども記者クラブ、ウェルカムパーティー、公開練習)</p> <p>令和元年8月 事前キャンプ4者打合せ(練習施設、宿泊施設の視察を含む)</p> <p>令和2年2月 同上</p>									
				<p>2 スイスホストタウン</p> <p>内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局のホストタウンに登録し、イベントなどでのオリンピック・パラリンピックのPR及びスイスの紹介などを通して、スポーツ、文化、経済などの多様な分野で交流を進め、大会への機運醸成を図るとともに、大会後も続くレガシーの創出を目指す。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>令和元年5月 つくばフェスティバル会場にPRブース出展(ラクレット販売、ボッチャ体験等)</p> <p>令和元年8月 県主催の東京2020大会1年前イベント会場にPRブース出展(スイスPR、缶バッジ製作等) まつりつくば会場にPRブース出展(スイスPR等)</p> <p>令和元年9月 国体自転車ロードレース会場にPRブース出展(スイスPR、オリパラPR等)</p> <p>令和元年12月 スイス大使館職員による国際理解講座(小学生対象、2校で実施)</p> <p>令和2年2月 健康マラソン会場にPRブース出展(スイスPR、缶バッジ製作等) 筑波大学・平岡拓晃氏による柔道教室～ロンドンオリンピック銀メダリストに学ぶ～を開催 つくパラ2020会場にPRブース出展(スイスPR、オリパラPR等)</p>									
				<p>3 東京2020オリンピック聖火リレー</p> <p>聖火リレー及びセレブレーション(聖火到着式)を安全かつ確実に実施できるよう、東京2020大会組織委員会や聖火リレー茨城県実行委員会に協力するとともに、聖火リレーの実施が未来に向けての希望となるよう、市民と一緒に盛り上げる。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>令和元年6月 聖火リレールート公表(6月1日)</p> <p>令和元年10月 セレブレーション実施についての意見交換会(茨城県、水戸市、つくば市)</p> <p>令和元年11月 聖火リレー通過市町担当者会議</p> <p>令和元年12月 聖火リレー詳細ルート公表(12月17日)、デイカウンター除幕式(12月19日)</p> <p>令和2年2月 聖火リレーイベント視察</p>									

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	09	11	本年	164,043		△ 1,906		162,137		161,720	99.7
				前年	150,816		△ 1,403		149,413		148,756	99.6
				比較	13,227		△ 503		12,724		12,964	-
【参考】前々年度					134,945				134,945		134,188	99.4

目的	本庁舎及び出先機関における情報化を進めるとともに、本庁舎のICT環境を活用し事務の効率化を図るため。																																																																																										
概要及び成果	<p>1 庁内グループウェアの導入により、約200施設をネットワークで結び、約30のシステム(掲示板、スケジュール、行事予定表、予約、個人・課メール、職員名簿、電子書庫、文書管理システム、電子決裁、休暇等請求・時間外申請、出退勤入退庁管理等)の円滑な運用・管理を行う。</p> <p><b>【成果】</b>                  (1) 庁内グループウェアの安定した管理、運用を行い、庁内の事務が停滞することなく行えた。</p>																																																																																										
	<p>2 庁舎内及び出先施設で使用しているLGWAN接続系パソコン約1,500台、インターネット接続系パソコン230台及びシステムの運用・管理を行う。</p> <p><b>【成果】</b>                  (1) 職員増加に伴い、LGWAN接続系パソコン(60台)を追加調達し、事務の円滑な推進に貢献できた。                  (2) 耐用年数の経過に伴い、施設予約システム用パソコン(30台)を更新し、安定運用を図るとともに市民サービスの向上に寄与した。                  (3) 脆弱性のうち対象となるものについて修正プログラムの適用を実施し、セキュリティを確保した。                  (4) パソコン等の不具合に対して迅速に対応し、事務が停滞することなく行えた。</p>																																																																																										
	<p>3 ペーパーレス会議システムの運用・管理を行い、事務の効率化や紙資源消費の抑制を図る。</p> <p><b>【成果】</b>                  (1) 庁議等をペーパーレス会議システムで実施し、事務の効率化を図った。また、A4サイズ173,451枚相当の資料電子化により、紙資源消費の抑制を図り、環境保全に寄与することができた。</p> <p>・ペーパーレス化した会議の開催回数及び紙資源消費抑制枚数(平成28年度から実施)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>抑制枚数</th> <th>回数</th> <th>抑制枚数</th> <th>回数</th> <th>抑制枚数</th> <th>回数</th> <th>抑制枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庁議</td> <td>10回</td> <td>125,167枚</td> <td>13回</td> <td>98,800枚</td> <td>16回</td> <td>77,313枚</td> <td>15回</td> <td>127,380枚</td> </tr> <tr> <td>庁議幹事会議</td> <td>一回</td> <td>一枚</td> <td>一回</td> <td>一枚</td> <td>一回</td> <td>一枚</td> <td>9回</td> <td>43,744枚</td> </tr> <tr> <td>部長等連絡会議</td> <td>一回</td> <td>一枚</td> <td>2回</td> <td>1,107枚</td> <td>11回</td> <td>10,665枚</td> <td>12回</td> <td>12,662枚</td> </tr> <tr> <td>次長等連絡会議</td> <td>7回</td> <td>8,056枚</td> <td>8回</td> <td>6,791枚</td> <td>1回</td> <td>432枚</td> <td>3回</td> <td>1,750枚</td> </tr> <tr> <td>企画監会議</td> <td>一回</td> <td>一枚</td> <td>一回</td> <td>一枚</td> <td>一回</td> <td>一枚</td> <td>9回</td> <td>15,380枚</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>47回</td> <td>40,228枚</td> <td>33回</td> <td>89,253枚</td> <td>19回</td> <td>36,258枚</td> <td>4回</td> <td>6,813枚</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64回</td> <td>173,451枚</td> <td>56回</td> <td>195,951枚</td> <td>47回</td> <td>124,668枚</td> <td>52回</td> <td>207,729枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>※庁議幹事会議及び企画監会議は、平成29年度以降は実施していないため「一」とした。                  ※部長等連絡会議は、令和元年度は実施していないため「一」とした。</p>													令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		回数	抑制枚数	回数	抑制枚数	回数	抑制枚数	回数	抑制枚数	庁議	10回	125,167枚	13回	98,800枚	16回	77,313枚	15回	127,380枚	庁議幹事会議	一回	一枚	一回	一枚	一回	一枚	9回	43,744枚	部長等連絡会議	一回	一枚	2回	1,107枚	11回	10,665枚	12回	12,662枚	次長等連絡会議	7回	8,056枚	8回	6,791枚	1回	432枚	3回	1,750枚	企画監会議	一回	一枚	一回	一枚	一回	一枚	9回	15,380枚	その他	47回	40,228枚	33回	89,253枚	19回	36,258枚	4回	6,813枚	合計	64回	173,451枚	56回	195,951枚	47回	124,668枚	52回
	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度																																																																																				
	回数	抑制枚数	回数	抑制枚数	回数	抑制枚数	回数	抑制枚数																																																																																			
庁議	10回	125,167枚	13回	98,800枚	16回	77,313枚	15回	127,380枚																																																																																			
庁議幹事会議	一回	一枚	一回	一枚	一回	一枚	9回	43,744枚																																																																																			
部長等連絡会議	一回	一枚	2回	1,107枚	11回	10,665枚	12回	12,662枚																																																																																			
次長等連絡会議	7回	8,056枚	8回	6,791枚	1回	432枚	3回	1,750枚																																																																																			
企画監会議	一回	一枚	一回	一枚	一回	一枚	9回	15,380枚																																																																																			
その他	47回	40,228枚	33回	89,253枚	19回	36,258枚	4回	6,813枚																																																																																			
合計	64回	173,451枚	56回	195,951枚	47回	124,668枚	52回	207,729枚																																																																																			

事業名：基幹電算業務の運営に要する経費

政策イノベーション部 情報政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	10	11	本年	342,799		△ 6,269		336,530		336,115	99.9
				前年	333,011		△ 2,905		330,106		329,427	99.8
				比較	9,788		△ 3,364		6,424		6,688	-
【参考】前々年度				328,424		△ 8,665		319,759		317,766	99.4	
目的		市民サービスの基盤となる基幹業務システムの整備を行い、庁舎及び窓口センターにおける事務効率化を図り、その安定したシステムの運用によってサービスの向上を図るため。										
概要及び成果		<p>1 基幹業務システム(住民記録システム、税務システム、保健福祉システム等)の総合管理として、主に業務の日程管理、委託事務の管理、基幹業務用端末(540台)及びサーバ機等の保守委託の管理等を行う。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1) 耐用年数を迎えた基幹業務用端末(495台)及び生体認証機器の更新を行い、安定運用に寄与した。</p> <p>(2) 一年間を通して、大きなトラブルなく基幹業務システムを運用することができた。また、制度等の改正に対して、機能追加やカスタマイズ等を行うことで、安定した市民サービスの提供に貢献することができた。</p> <p>(3) 基幹業務用端末及びシステムを利用する際の生体認証を徹底し、ユーザの権限を必要最低限とすることで、データの保護に寄与することができた。</p>										

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	10	12	本年	18,410		△ 300		18,110		17,076	94.3
				前年	14,741				14,741		13,779	93.5
				比較	3,669		△ 300		3,369		3,297	-
【参考】前々年度					16,936		1,556		18,492		17,881	96.7

目的	<p>行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)が施行され、平成28年1月からマイナンバーの利用が開始されたが、それ以降のマイナンバー法の改正及びマイナンバー制度の様々な変更等に対し迅速に対応することにより、適正なマイナンバー制度の運用を行い、市民サービスの向上を図る。また、官民データ活用推進基本法及びデジタル・ガバメント実行計画に基づき電子行政を推進するとともに、つくば市情報化推進計画における各施策を総合的かつ全庁横断的に推進するため。</p>
概要及び成果	<p>1 デジタル・ガバメントの推進のため、庁内推進体制の総合調整を図る。</p> <p><b>【成果】</b> つくば市デジタル・ガバメント推進本部における各種取組を効率的かつ効果的に推進するとともに、デジタル・ガバメントを推進する上での情報連携基盤であるマイナンバー制度において、地方公共団体が実施すべき事項に関し適切に対応できた。</p> <p>(1) デジタル・ガバメント推進本部会議(CIO:副市長)の開催:1回                  (2) デジタル・ガバメント推進会議(会長:政策イノベーション部次長)の開催:1回                  (3) 専門WGリーダー会議:1回                  (4) 事務局検討会議の実施:7回                  (5) 特定個人情報情報の適正な取扱いに係る職員研修実施:5回、参加人数:428人                  (6) 特定個人情報保護評価書の再実施                      20事務(基礎項目評価13事務、重点項目評価6事務、全項目評価1事務)                      ※重点項目評価及び全項目評価については、審査会を実施                  (7) 庁内データ活用ヒアリング及び意見交換会:2回                  (8) 業務改善の取組(イノベーションスイッチ):3事業</p> <p>2 マイナンバー制度における他団体との情報連携環境を整備する。</p> <p><b>【成果】</b> 情報提供ネットワークシステムを利用した他団体との情報連携に必要となる、自治体中間サーバー及び中間サーバー連携システムを適切に運用し、年間を通して、トラブルなく情報連携を実施することができた。</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	11	11	本年	2,353				2,353		2,213	94.1
				前年	2,430				2,430		2,266	93.2
				比較	△ 77				△ 77		△ 53	-
【参考】前々年度					2,450				2,450		2,268	92.6

目的

市民等の市政に関する苦情を公平公正な立場で処理することにより、市民等の権利と利益の保護を図るとともに、市政に対する市民等の理解と信頼を高め、より開かれた市民参加の市政の推進を図るため。

概要及び成果

1 オンブズマン2名の担当制による相談日の苦情等の対応

(相談日:毎月第1週は水曜日、第2週～第4週は金曜日の午後1時から午後5時まで)

- (1) オンブズマンが、苦情申立人に代わって苦情の内容を調査し、必要な場合は市の機関に対して、サービスの内容を改善・是正するよう勧告や提言を行う。
- (2) 調査結果や是正措置等を、苦情申立人に通知する。

【成果】

苦情申立、相談の受付、処理状況

- (1) 受付件数 16件(前年度繰越分・翌年度への繰越共に無し)

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
苦情申立書によるもの	0件	2件	10件	4件	3件(1件)
苦情申立書によらないオンブズマン相談	3件	4件	4件	4件	4件
事務局への相談	13件	7件	10件	14件	18件
合 計	16件	13件	24件	22件	25件(1件)

( )は、前年からの繰り越しである。

(2) 主な内容

みどりの駅周辺路上喫煙について  
避難所(万博記念公園駅周辺)について

(3) 苦情申立書によるものの処理結果

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
1 処理したもの	0件	2件	8件	4件	2件
①改善するよう勧告・提言したもの	0件	1件	2件	3件	1件(1件)
②改善に向けて意見をしたもの	0件	0件	3件	1件	0件
③申立を棄却したもの	0件	1件	1件	1件	1件
④申立を却下したもの	0件	0件	2件	0件	0件
2 取り下げられたもの	0件	0件	2件	0件	1件
3 次年度へ繰り越したのもの	0件	0件	0件	0件	0件
合 計	0件	2件	10件	4件	3件(1件)

※「勧告・提言」、「意見」が重複したものがある。( )は、前年からの繰り越しである。

(4) 改善された主なもの

苦情申立書に係る処理がなかったため勧告や提言に基づく改善は無し。相談された案件について、担当部署との協議を速やかに行い、迅速に処理できるように努めた。

2 活動状況の報告・公表

令和元年度活動報告書を作成し、市長、議会に報告。また、市民への公表を行う。

【成果】

- (1) 市長への報告 オンブズマンから市長に報告
- (2) 議会への報告 オンブズマンから議長に報告。活動状況報告書を6月定例会時に各議員へ配付
- (3) 公表
  - ・地域交流センター等の公共施設に閲覧用として配布
  - ・つくば市ホームページに掲載

## 事業名：自衛官募集事務に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	12	11	本年	197				197		197	99.9
				前年	195				195		189	96.8
				比較	2				2		8	-
【参考】前々年度					102			93	195		188	96.5
目的				自衛官募集に関して関係機関との連絡・調整及び情報提供、募集相談員等への協力依頼に関する事など 地方自治法第2条第9項第1号の法定受託事務として実施するため。								
概要及び成果				法定受託事務として自衛官募集に関する広報活動を実施する。また、自衛官募集相談員、自衛隊協力会に関する事務を行う。  【成果】 (1)市広報紙への自衛官募集案内の掲載4回(令和元年7月号、8月号、9月号、令和2年2月号) (2)自衛隊協力会役員会及び総会(6月24日)の実施 (3)まつりつくば2019での自衛官募集の広報活動(8月24日) (4)自衛官募集の横断幕設置 (市内歩道橋4か所7月1日～9月6日)								



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	13	11	本年	19,192			152	19,344		1,619	8.4
				前年	8,574				8,574		4,692	54.7
				比較	10,618			152	10,770		△ 3,073	-
【参考】前々年度					8,571				8,571		4,573	53.4

目的

生活支援ロボットの効果を体験できる機会を提供することにより、生活支援ロボットの普及促進を図り、市民生活の向上及び地域経済の活性化、つくば国際戦略総合特別区域計画に係る取組及びロボットの街づくばの推進に寄与するため。  
AI、IoTや自動運転等の近未来技術や科学技術研究の成果等、最新の知見等を活用した製品・サービスの社会実装、試用機会を提供することにより、健康寿命の延伸や、移動革命の実現等、様々な社会課題の解決及び地域活性化に資するため。

概要及び成果

1 生活支援ロボット普及促進事業

【概要】

各ロボット企業と市の共同事業により、ロボットの導入を検討している市内事業者に対し、効果の体験や一定期間の試用及び導入効果を検証する機会を提供することで、市内への生活支援ロボットの普及を促進する。

【成果】

対象ロボット	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	試用者数	台数	試用者数	台数	試用者数	台数	試用者数	台数
HAL	2	3	7	10	8	12	6	9
パロ	0	0	1	1	2	2	0	0
RT.1	2	2	0	0	0	0	0	0

2 近未来技術等社会実装加速化推進事業

【概要】

市内事業所等に近未来技術等社会実装事業、Society 5.0支援事業等の取組により市場投入された製品・サービスへのPR支援・体験イベントの開催及び導入支援を行い、市内への近未来技術等の社会実装の加速化を推進する。

【成果】

対象サービス	令和元年度
	試用者数
HALFIT	6
LEBER	2

【1・2共通成果】

事業PRとして、広報紙やHPへの掲載や各協定締結企業等とともに関係機関へ周知活動を行うことで、市内事業者や市民等に各製品やサービスの試用機会を提供した。また、ニーズ調査により、各製品等の導入のための課題や近未来技術等に意識の高い事業者を発掘することができ、今後の事業運営の参考となるデータを取得できた。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	13	12	本年	9,350				9,350		9,334	99.8
				前年	4,320				4,320		4,234	98.0
				比較	5,030				5,030		5,100	-
【参考】前々年度					4,320				4,320		4,130	95.6

目的

就職支援と創業支援を併せ、一体的に事業展開することで、若者の地域定着化と企業の雇用安定化を促進するため。

概要及び成果

1 就職準備セミナーの開催(※平成30年度まではつくばライフスタイルセミナー)

(1)就職活動に対する心構えなど、就職活動前の学生向けに就職意欲促進セミナーを開催した。

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施日	12月21日	12月15日(2開催)	8月18日	12月21日、1月12日	3月1日
実施場所	つくば市役所	つくば市役所	オークラフロンティアホテル	東京事務所、筑波大学	オークラフロンティアホテル
参加者数	54名	42名	47名	16名	39名

(2)企業が面接会等において効果的なPRを実施するために、採用力向上セミナーを実施した。

【成果】

	令和元年度	平成30年度
実施日	12月21日	12月15日
参加企業数	65社	記録なし
参加者数	82名	54名

2 合同就職面接会の実施

市内大学出身者や市出身者の地域定着化を図り、市内企業への若者の就職を促進する面接会を実施した。

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施日	12月21日	12月15日	9月23日	1月25日	1月21日
参加企業数	39社	50社	35社	36社	36社
参加学生数	83人	75人	72人	46人	39人
マッチング数	220件	174件	186件	107件	170件
内定者数	1人	8人	17人	10人	5人

3 チャレンジショップの運営

35歳以下を対象に、本格創業に向けた販路開拓支援および初期費用がかかることへの創業のハードルを下げるため、備品や出店場所を提供し、試行的に創業希望者が店舗運営を実施した。

【成果】

	令和元年度
出店数	2店舗
期間	2週間

※2店舗の業種は「ハンドメイド雑貨とアパレル等の販売」と「輸入抱っこ紐の体験」

事業名：固定資産評価審査委員会に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																
02	02	01	11	本年	962				962		287	29.8																
				前年	1,523				1,523		271	17.8																
				比較	△ 561				△ 561		16	-																
【参考】前々年度					584			1	585		562	96.0																
目的		固定資産課税台帳に登録された価格に対する審査申出について、審査・決定する行政委員会を運営するため。																										
概要及び成果		1 固定資産評価審査委員会総会の開催 【成果】 1回開催																										
		2 審査・決定する審査会(合議体)の開催 【成果】																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査申出</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>審査会開催</td> <td>7回</td> <td>6回</td> <td>17回</td> <td>0回</td> <td>11回</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	審査申出	2件	1件	3件	0件	3件	審査会開催	7回	6回	17回
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																							
審査申出	2件	1件	3件	0件	3件																							
審査会開催	7回	6回	17回	0回	11回																							

事業名：税務事務に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	01	12	本年	863				863		780	90.4
				前年	857				857		759	88.6
				比較	6				6		21	-
【参考】前々年度					854				854		564	66.0
目的		税務関係機関との連携や調整を図るとともに、税務証明申請や収税事務に必要な図書等を確保することにより納税事務の円滑な運営に資するため。										
概要及び成果		1 土浦税務署管内納税貯蓄組合連合会負担金 【成果】 土浦税務署管内納税貯蓄組合連合会総会(1名出席) 租税教育(管内中学生「税について」作文表彰・作品集発刊) ・応募校数 42校(内つくば市立中学校16校) ・応募作品数 4,689作品(内つくば市立中学校16校からの応募 1,362作品)										
		2 税証明申請書及び税関係図書等の整備 【成果】 税証明申請書印刷 95,000 枚 税関係図書購入 ・令和元年改正地方税制詳解 ・一目で分かる登記嘱託書の作り方 ・市(町村)税条例(例)令和元年度 他										

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	02	11	本年	126,646	1			126,647	1	125,198	98.9
				前年	89,526	1	△ 2,369	1,376	88,534	1	85,730	96.8
				比較	37,120		2,369	△ 1,376	38,113		39,468	-
【参考】前々年度					103,893	2	△ 832	323	103,386	1	101,887	98.6

概要及び成果	目的	固定資産税・都市計画税の適正かつ公平な課税、財源の安定確保に努めるため。										
	1 固定資産評価・地図情報システム業務	【成果】 固定資産評価に係る各種データの更新や評価額設定の補助について、専門知識を有する業者に委託し、正確かつ効率的な事務を執行した。										
	2 不動産鑑定評価業務	【成果】 令和元年7月1日の適正な価格を令和2年度の評価額に反映させるため、標準宅地(833か所)の鑑定を行い、下落率を求めて時点修正に活用した。 令和3年度評価替えの価格基準日である令和2年度1月1日の価格を求めるため、標準宅地(837か所)の鑑定を行った。										
	3 土地課税台帳の異動処理	【成果】 法務局からの通知…約19,200件、農地法関係…約2,200件、区画整理地の台帳整備…約400件 現況調査…約500件										
	4 新築家屋の評価等	【成果】 建築確認申請概要書及び市内巡回確認により家屋調査台帳を作成し、新築家屋の調査を実施し、データを投入した。										

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
処理件数	約 22,300 件	約 25,600 件	約 22,570 件	約 29,700 件	約 27,800 件

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新築家屋の評価	2,020 件	2,142 件	2,145 件	1,780 件	1,876 件
課税漏れ家屋の調査	48 件	70 件	42 件	78 件	54 件
現況調査	60 件	98 件	70 件	97 件	69 件

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
申告件数	7,489 件	7,473 件	7,008 件	6,596 件	6,389 件
実地調査件数	218 件	226 件	198 件	181 件	274 件

## 6 都市計画税の賦課業務

## 【成果】

(1) 市街化調整区域において、新たに下水道処理区域となる地区の対象物件を精査した。

## (2) 新規賦課区域

赤塚、北中島、松野木、稲岡、手代木、上横場の各地域の一部及び令和元年中に個別に下水道が供用開始となった区域。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
納税義務者数	70,294 人	68,421 人	66,338 人	64,527 人	62,515 人

## 7 事務補助員の雇用

## 【成果】

事務補助員3名を雇用し、課税事務、証明事務、納税義務者の管理及び死亡者課税の回避が円滑に執行することができた。

## 8 茨城県市町村課、県税事務所及び(一財)資産評価システム研究センター等の全国組織との連絡及び調整並びに研修会への参加

## 【成果】

## (1)主催者及び研修内容

主催者	研修内容
茨城県市町村課	新任税務職員研修会
茨城県土浦県税事務所	家屋評価研修会
資産評価システム研究センター	償却資産実地調査等研修会、土地評価実務研修会(ほか)
東京税務協会	固定資産賦課研修会、家屋評価研修会
日本経営協会	固定資産税の評価と課税の基本
MIA協議会	固定資産評価全国実務研修会

## (2) 参加状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受講人数	20 人	22 人	29 人	26 人	20 人

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	02	12	本年	55,827				55,827		50,114	89.8
				前年	55,847				55,847		49,510	88.7
				比較	△ 20				△ 20		604	-
【参考】前々年度					63,021			△ 508	62,513		58,192	93.1

目的 市財源の安定的確保のため、適正かつ公平な賦課事務に努めるため。また、税務関係機関との連絡調整を円滑に進めるとともに、税務事務の一層の充実を図るため。

1 収集した課税資料に基づく個人住民税の賦課  
**【成果】** 給与支払報告書や確定申告書など課税資料の収集を行い、適正・公平な個人住民税の賦課ができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
給与・公的年金支払報告書の受付件数	266,865件	235,769件	229,740件	225,696件	219,433件
内、eLTAXでのデータ受信件数	160,284件	156,346件	149,799件	141,490件	125,381件
期間前申告相談(2/3~2/14)	1,266件	1,223件	1,329件	1,383件	1,532件
申告相談(2/17~3/16)	7,666件	9,787件	9,635件	10,868件	11,693件
確定申告自主作成(PC)コーナー	1,741件	2,445件	2,784件	2,353件	2,046件
確定申告自主作成(預かり分)	2,966件	3,909件	3,965件	4,309件	4,000件
未申告相談受付	74件	204件	259件	271件	316件
扶養控除の是正事務(控除是正対象者)	981件	1,023件	993件	1,255件	1,028件

概要及び成果

2 公的年金から個人住民税の特別徴収(天引き)

**【成果】** 日本年金機構等の特別徴収事業所が、公的年金からの住民税特別徴収を実施。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
公的年金特別徴収対象者数	41,525人	40,635人	39,279人	38,014人	36,567人
内、公的年金からの徴収者数	12,883人	12,432人	11,988人	11,244人	10,597人

3 給与からの個人住民税の特別徴収(天引き)

**【成果】** 給与支払者(会社など)を特別徴収事業所に指定し、給与からの住民税特別徴収を実施。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指定事業所数	16,284社	15,760社	15,308社	14,803社	14,232社
特別徴収対象者数	85,816人	83,128人	80,673人	78,455人	75,849人

4 軽自動車等課税客体の適正な把握

**【成果】** 申告・届出によるバイクや軽自動車等の所有状況を把握し、適正・公平な軽自動車税の賦課ができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
軽自動車等の登録台数	71,669台	70,153台	68,992台	69,247台	68,539台
新規・廃車及び名義変更等届出数	28,387件	28,209件	27,448件	30,072件	32,061件

5 登録法人の申告による法人市民税の賦課

**【成果】** 法人が提出する税申告書の内容審査、申告指導や現地調査により、適正・公平な法人市民税の賦課ができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
法人市民税申告書の受付件数	10,663件	10,451件	10,136件	9,951件	9,524件
内、eLTAXでの電子申告件数	7,601件	7,147件	6,513件	5,965件	5,334件

## 6 各協議会等の役員会(幹事会)、総会、研修会等への出席

【成果】 税務に関する情報の収集、意見交換や申告相談実務研修に参加。

協議会区分	参加延べ人数
土浦地区税務協議会(総会・役員会・研修会)	42人
茨城県都市税務協会(総会・研修会)	5人
土浦税務署管内租税教育推進協議会(総会・委員会・租税教室)	43人
茨城県個人住民税特別徴収推進会議(意見交換会)	2人

## 7 課税実務研修会への参加

【成果】 (一社)日本経営協会が主催する税務セミナーにおいて、個人住民税・法人市民税の賦課実務を習得。  
参加者 3人

## 8 租税教育推進のための租税教室

【成果】 租税教育推進協議会の事業による租税教室を市内の小学校(6年生を対象)で実施。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
校数	8校	7校	6校	6校	6校
実施学校名	桜南小学校	桜南小学校	桜南小学校	作岡小学校	筑波小学校
	手代木南小学校	松代小学校	小田小学校	谷田部南小学校	柳橋小学校
	谷田部小学校	谷田部小学校	菅間小学校	北条小学校	小田小学校
	谷田部南小学校	谷田部南小学校	谷田部南小学校	大曾根小学校	九重小学校
	島名小学校	島名小学校	田井小学校	田井小学校	沼崎小学校
	東小学校	東小学校	北条小学校	松代小学校	谷田部小学校
	栗原小学校	柳橋小学校			
	荃崎第二小学校				

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	03	11	本年	261,515				261,515		222,095	84.9
				前年	256,923				256,923		202,533	78.8
				比較	4,592				4,592		19,562	-
【参考】前々年度					259,241	110,715	908	22,161	393,025		376,420	95.8

目的 市歳入の根幹をなす市税の納付の利便性を図るとともに、市税滞納者の徴収を実施することにより、税負担の公平性の原則を維持し、納税者の税に対する信頼を確保するため。

1 新規滞納者対策、累積滞納者対策

【成果】

新規滞納者及び累積滞納者への催告 (単位:回、件)

項目	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	回数	延べ件数	回数	延べ件数	回数	延べ件数	回数	延べ件数	回数	延べ件数
一斉催告	9	91,776	10	101,324	10	99,263	10	97,970	10	90,669
随時催告	35	2,022	43	1,589	75	1,664	89	1,471	99	1,552
合計	44	93,798	53	102,913	85	100,927	99	99,441	109	92,221

2 滞納処分対策

【成果】

差押

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
差押	447件	402件	437件	699件	626件
参加差押	27件	27件	12件	20件	22件
合計	474件	429件	449件	719件	648件

公売(売却件数)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
売却件数	7件	11件	6件	5件	13件
動産	0件	10件	0件	0件	0件

概要及び成果

3 茨城租税債権管理機構への移管

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
移管件数	73件	70件	70件	77件	77件
移管額	163,450千円	124,420千円	194,084千円	237,858千円	242,383千円
徴収金	59,394千円	66,718千円	187,068千円	119,721千円	84,653千円
市負担金	27,871千円	24,110千円	19,087千円	26,824千円	19,631千円

※移管額及び徴収金は本税のみの金額

4 口座振替制度への加入促進

【成果】

口座振替新規登録件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新規登録件数	2,674件	2,922件	2,927件	2,920件	3,482件

5 円滑な市税の還付金歳出業務

【成果】

市税還付金歳出予算執行額 157,173千円 (1,942件) [前年度] 142,049千円 (1,983件)



事業名：戸籍住民基本台帳事務に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	11	本年	76,145		34,634		110,779		79,561	71.8
				前年	75,995				75,995		65,121	85.7
				比較	150		34,634		34,784		14,440	-
【参考】前々年度					134,163	16,563			150,726		110,330	73.2

目的

住民基本台帳や戸籍など、基礎自治体の根幹となる事務、印鑑登録証明やマイナンバーカードなどの市民生活に不可欠な行政サービスに係る事務を、行政事務の効率化を図りながら執行することにより、住民の利便性を増進させ、社会活動を円滑化させるため。

概要及び成果

- 1 住民票の写しなどの交付や住民異動届の受付等による居住関係の記録の公証に係る事務を執行する。
- 2 戸籍届出の受理と戸籍の記載事務、関係市町村への通知業務、人口動態統計事務、相続税法第58条事務及び戸籍関係証明書の交付事務を執行する。
- 3 印鑑の登録・廃止申請の受付及び印鑑登録証明書の交付に関する事務を執行する。
- 4 コンビニエンスストア等で、マイナンバーカード等を利用した住民票の写し及び印鑑登録証明書等の取得ができるサービスに係る事務を執行する。
- 5 個人番号の指定と通知事務、マイナンバーカードの交付事務を執行する。
- 6 木曜延長窓口事務、土日開庁窓口事務、6か所の窓口センター、5か所の出張所の運営などにより、良質な住民サービスを提供する。

【成果】

- ・窓口センター6か所にタブレットを配置し、マイナンバーカードの申請補助を開始(令和元年12月～) 359件
- ・本庁舎内に証明書交付マルチコピー機を設置(令和2年1月～)
- ・発券機を更新し、待ち状況のWEB発信と順番お知らせメールサービスを導入(令和2年1月～)
- ・土浦市と合同でマイナンバーカード出張申請イベントの実施:イオン土浦(令和2年2月15日) 47件

項目	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
住民票の写し等交付件数(※)	144,454件	141,513件	155,043件	144,065件	158,499件
住民異動届出件数(本庁分)	29,881件	31,685件	29,769件	28,865件	29,627件
戸籍証明書等交付件数	61,570件	49,082件	50,819件	53,667件	53,866件
戸籍届出事件数	10,193件	9,834件	10,051件	9,902件	9,999件
人口動態統計処理件数	5,916件	5,720件	5,769件	5,721件	5,820件
印鑑登録証明書交付件数(※)	72,886件	72,698件	78,959件	81,506件	79,237件
印鑑登録件数	11,384件	10,814件	10,937件	11,847件	11,681件
コンビニエンスストアでの証明書交付件数	17,069件	12,805件	10,271件	7,959件	5,323件
本庁舎内マルチコピー機での証明書交付件数	788件	-	-	-	-
マイナンバーカード交付件数	9,691件	6,588件	8,481件	18,697件	2,562件
マイナンバーカード出張申請補助受付件数(庁舎外)	687件	-	-	-	-
臨時運行許可件数(仮ナンバー)	2,027件	1,986件	2,023件	2,124件	1,928件
木曜延長窓口取扱事務件数	6,395件	6,302件	6,463件	6,124件	7,393件
土・日曜開庁窓口取扱事務件数	22,072件	22,100件	22,454件	22,291件	23,392件

※ 平成29年度まではコンビニエンスストアでの証明書交付件数を含む。

事業名：住居表示に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	12	本年	88				88		79	89.8
				前年	713				713		660	92.6
				比較	△ 625				△ 625		△ 581	-
【参考】前々年度					3,516				3,516		3,001	85.4

目的 住所の周知と道案内の機能を併せ持つ街区案内板の維持管理や「住所の表示の変更証明書」の交付を行うことで、住所の表示の複雑さを緩和し、日常生活の利便性を高めるため。

概要及び成果 市内82カ所に設置している街区案内板の維持管理と住所の表示の変更証明書の交付を行う。

【成果】

- ・街区案内板の記載内容と現況の差異に伴う案内板の撤去、破損による撤去(並木2丁目地内、並木3丁目地内、春日4丁目地内)

項目		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
街区案内板 の維持管理	修繕件数	0件	0件	13件	8件	0件
	設置件数	0件	0件	5件	0件	3件
	点検件数	82件	84件	79件	82件	83件
	清掃件数	82件	55件	32件	20件	11件
	撤去件数	3件	2件	0件	2件	3件
住所の表示の変更証明書交付件数(市民窓口課分)		187件	731件	299件	3,287件	483件

事業名：旅券事務に要する経費

市民部 市民窓口課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	13	本年	8,564				8,564		6,379	74.5
				前年	8,232				8,232		6,907	83.9
				比較	332				332		△ 528	-
【参考】前々年度					7,975				7,975		7,096	89.0

目的 旅券法に基づき、パスポートの発給申請等の受付及び交付を行うことにより、住民の利便性を高めるため。

概要及び成果 発給申請、変更申請、増補申請、紛失届等を受付・審査し、茨城県に送付するとともに、作成されたパスポートを交付する。

【成果】

申請等件数

項目	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
10年用パスポート発給申請	6,049 件	6,358 件	5,785 件	5,800 件	4,845 件
5年用パスポート発給申請	2,828 件	2,876 件	2,836 件	2,712 件	2,533 件
子供(12歳未満)パスポート発給申請	1,135 件	1,174 件	1,059 件	1,036 件	945 件
記載事項変更申請	276 件	315 件	315 件	259 件	280 件
増補申請	41 件	55 件	60 件	43 件	56 件
申請件数合計	10,329 件	10,778 件	10,055 件	9,850 件	8,659 件
紛失届出	91 件	99 件	114 件	101 件	76 件

事業名：委員会運営に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	01	11	本年	1,281				1,281		886	69.1
				前年	1,035				1,035		612	59.2
				比較	246				246		274	-
【参考】前々年度					1,035				1,035		791	76.4

目的

地方公共団体が処理する選挙に関する事務を行うため。

概要及び成果

1 委員会の開催

【成果】

(1) 定例の委員会の開催(6月、9月、12月、3月における選挙人名簿登録抹消等)

選挙人名簿登録者数 (人)				在外選挙人名簿登録者数 (人)			
月	男	女	計	月	男	女	計
6月	92,511	90,648	183,159	6月	136	146	282
9月	92,993	91,123	184,116	9月	132	144	276
12月	93,293	91,435	184,728	12月	130	141	271
3月	93,584	91,657	185,241	3月	134	146	280

選挙人名簿及び在外選挙人名簿への登録抹消の適正な処理を行った。

(2) 臨時の委員会の開催(4回)

参議院議員通常選挙、裁判員候補者予定者名簿の決定等に係わる委員会を開催した。

事業名：選挙啓発に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	02	11	本年	910				910		883	97.0
				前年	895				895		600	67.1
				比較	15				15		283	-
【参考】前々年度					895				895		634	70.8

目的

啓発活動を通し、選挙を正しく理解し、大切な一票を有効に生かしていくことにより、選挙への意識向上を図るため。

概要及び成果

1 市内小中学生への選挙啓発ポスターの募集

【成果】

選挙を身近に感じ、有権者となったときに投票への関心を高める機会として、小中学生から選挙啓発ポスターを募集した。代表作品6点(小中学生各3点)を茨城県選挙管理委員会へ進達した。  
応募数 小学校:11校 33点 中学校:10校 133点

2 選挙メッセージ葉書「18歳のわたしへ」の募集

【成果】

有権者となったときに投票への関心を高める機会として、中学校9年生から募集した。集まったものは茨城県選挙管理委員会に進達した。  
応募数 中学校:6校 637点

3 選挙啓発広報紙「白ばら」の発行

【成果】

令和2年3月に選挙啓発広報紙「白ばら」を発行し、投票制度をより多くの市民に周知し選挙の啓発に努めた。  
発行部数 65,000部

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	04	03	11	本年	88,530				88,530		69,664	78.7	
				前年									
				比較	88,530				88,530		69,664	-	
【参考】前々年度													

目的	参議院議員の任期満了に伴い、投票・開票事務を厳正かつ迅速に執行するため。																				
概要及び成果	<p>1 参議院議員通常選挙</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>令和元年7月21日執行 参議院議員通常選挙                  参議院茨城県選挙区立候補者5人、定数2人                  参議院比例代表名簿届出政党数13政党、立候補者数155人、定数50人                  投票状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名簿登録者数</td> <td>93,671 人</td> <td>91,671 人</td> <td>185,342 人</td> </tr> <tr> <td>当日有権者数</td> <td>92,514 人</td> <td>90,773 人</td> <td>183,287 人</td> </tr> <tr> <td>投票者数</td> <td>44,319 人</td> <td>42,097 人</td> <td>86,416 人</td> </tr> <tr> <td>投票率</td> <td>47.90 %</td> <td>46.37 %</td> <td>47.15 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>公営ポスター掲示場設置場所:460箇所                  投票所数:75投票区                  投票時間:7時から19時                  開票状況:開票開始20時30分(2時32分確定)                  投票・開票事務を厳正かつ迅速に行なった。</p>		男	女	計	名簿登録者数	93,671 人	91,671 人	185,342 人	当日有権者数	92,514 人	90,773 人	183,287 人	投票者数	44,319 人	42,097 人	86,416 人	投票率	47.90 %	46.37 %	47.15 %
	男	女	計																		
名簿登録者数	93,671 人	91,671 人	185,342 人																		
当日有権者数	92,514 人	90,773 人	183,287 人																		
投票者数	44,319 人	42,097 人	86,416 人																		
投票率	47.90 %	46.37 %	47.15 %																		

事業名：統計調査員に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	01	11	本年	6,107				6,107		5,286	86.6
				前年	4,544		△ 514		4,030		3,247	80.6
				比較	1,563		514		2,077		2,039	-
【参考】前々年度					5,211		△ 1,344		3,867		3,183	82.3

目的	統計調査の啓発及び普及に寄与し、各種統計調査を円滑に実施できるよう統計業務の管理を行うとともに、統計調査員の資質の向上を図るため。										
概要及び成果	<p>1 つくば市統計調査員連絡協議会業務</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>本協議会正副会長会議において総会に提出する事業計画等の議案を決定し、総会に諮った。主な事業として、統計調査への啓発と調査員の資質向上を図るため研修会を開催した。</p> <p>(1) つくば市統計調査員連絡協議会正副会長会議 平成31年4月17日(水) 開催</p> <p>(2) つくば市統計調査員連絡協議会総会 令和元年5月15日(水) 開催</p> <p>(3) つくば市統計調査員連絡協議会研修会 令和元年11月30日(土) 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修テーマ             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 農林業センサスの結果とその活用事例について</li> <li>② マナー研修「接遇・話し方について」</li> </ul> </li> <li>・ 研修会参加者数</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95名</td> <td>147名</td> <td>170名</td> <td>150名</td> <td>159名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 感謝状授与規定の策定、及び感謝状授与式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年11月30日(土) 開催(研修会と合同)</li> <li>・ 調査員及び指導員の従事歴が12回以上になった方へ感謝状を授与</li> <li>・ 令和元年度 対象者2名</li> </ul>	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	95名	147名	170名	150名	159名
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
95名	147名	170名	150名	159名							
<p>2 統計つくばの作成</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>市勢に関する統計資料をまとめた「統計つくば」を作成し、利用を希望する市民や、庁内外関係機関に提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページに掲載</li> <li>・ 32部作成(中央図書館等に配布、希望者に販売)</li> </ul>											

事業名：経済センサス調査区管理に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	02	11	本年	23		△ 23					
				前年	10		△ 10					
				比較	13		△ 13				-	
【参考】前々年度					10		△ 10					

目的	国の基幹統計調査である経済センサス-基礎調査及び活動調査の調査区について、事業所の急激な増減や住所地の区割り変更等の対応として、地図や名簿の整理を行うため。
概要及び成果	<p>1 経済センサス調査区管理</p> <p>令和元年度は経済センサス-基礎調査が実施されているため、調査区管理は業務として地図や名簿の整理は行わなかった。</p>

事業名：工業統計調査に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	02	12	本年	544				544		400	73.5
				前年	525		△ 133		392		389	99.2
				比較	19		133		152		11	-
【参考】前々年度					521		△ 165		356		353	99.0

目的	製造業を営む事業所を対象に製造品出荷等活動の状況を調査し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種経済指標へデータを提供することを目的とした、国の基幹統計調査である工業統計調査を実施するため。
概要及び成果	<p>1 2019年工業統計調査</p> <p><b>【調査対象】</b> 製造業を営むすべての事業所</p> <p><b>【調査方法】</b> 調査員調査:調査員が事業所に調査票を配布し、インターネットによる回答又は、記入済みの調査票を回収する調査方法 国担当調査:経済産業省が対象企業・事業所に調査票を一括配布し、インターネットによる回答又は、記入済みの調査票を回収する調査方法</p> <p><b>【調査概要】</b> 調査周期:毎年 調査基準日:令和元年6月1日 調査員数:10名 指導員数:1名 調査区:151調査区 事業所数:311件 県への報告:令和元年7月25日</p> <p><b>【調査結果の公表時期】</b> 速報:令和2年2月28日公表 確報:令和2年8月公表予定 産業別調査事項:令和2年5月から順次公表予定</p>

事業名：経済センサスに要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	02	13	本年	2,758				2,758		2,281	82.7
				前年	28				28		18	63.6
				比較	2,730				2,730		2,263	-
【参考】前々年度												

目的	概要及び成果
我が国の全ての産業分野における事業所の活動状態等の基本的構造を全国及び地域的に明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的とする国の基幹統計調査である、経済センサス-基礎調査を実施するため。	<p>1 経済センサス-基礎調査(2019年度) 甲調査</p> <p><b>【調査対象】</b> 全ての民営事業所を対象。</p> <p><b>【調査方法】</b> 6月から3月まで5期に分けて実施。 調査員によるタブレットを用いた現地調査及び調査票配布</p> <p><b>【調査概要】</b> 調査周期:5年に1度 調査員数:のべ26名 調査区:320調査区 事業所数:約12,000件 県への最終報告:令和2年3月24日</p> <p><b>【調査結果の公表時期】</b> 速報:令和2年7月公表予定 確報:令和2年12月公表予定</p> <p>2 経済センサス-基礎調査(2019年度) 乙調査</p> <p><b>【調査対象】</b> 国及び地方公共団体の事業所を対象</p> <p><b>【調査概要】</b> 調査周期:5年に1度(令和2年度から毎年実施) 事業所数:224件 県への報告:令和2年7月10日</p> <p><b>【調査結果の公表時期】</b> 速報:令和2年7月公表予定 確報:令和2年12月公表予定</p>

事業名：農林業センサスに要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	05	02	14	本年	10,372				10,372		9,442	91.0	
				前年									
				比較	10,372				10,372		9,442	-	
【参考】前々年度													

目的	農林業の生産構造や就業構造の実態を明らかにすることを目的とする、国の基幹統計調査である農林業センサスを実施するため。
概要及び成果	<p>1 2020年農林業センサス 農林業経営体調査</p> <p><b>【調査対象】</b> 全ての営利を目的とする農林産物の生産または委託を受けて農林業作業を行う世帯や組織</p> <p><b>【調査方法】</b> 調査員調査:調査員が事業所に調査票を配布し、インターネットによる回答又は、記入済みの調査票を回収する。</p> <p><b>【調査概要】</b> 調査周期:5年に1度 調査基準日:令和2年2月1日 調査員数:346名 指導員数:22名 調査区:401調査区 調査対象数:約8,800件 県への報告:令和2年2月27日</p> <p><b>【調査結果の公表時期】</b> 概数値:令和2年11月末公表予定 確定値:令和3年3月末公表予定</p>



事業名：国勢調査調査区設定に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
02	05	02	15	本年	1,342				1,342		1,066	79.5	
				前年									
				比較	1,342				1,342		1,066	-	
【参考】前々年度													
目的				2020年国勢調査の実施に当たり、調査員の担当区域を明確にし、調査の重複・脱漏を防ぎ、調査の正確性を期するとともに、調査結果の集計及び各種統計調査の実施の基礎資料得ることを目的とする、国勢調査調査区設定を実施するため。									
概要及び成果				1 2020年国勢調査 調査区設定 2020年国勢調査の実施に向け、調査区地図の整備を行った。  <b>【成果】</b> 調査区設定日:令和元年10月1日現在 調査区地図枚数:62枚 調査区数:1,862調査区									

事業名：全国消費実態調査に要する経費

政策イノベーション部 企画経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	02	16	本年	5,309				5,309		4,218	79.5
				前年								
				比較	5,309				5,309		4,218	-
【参考】前々年度												
目的				家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする、国の基幹統計調査である全国家計構造調査を実施するため。								
概要及び成果				1 2019年全国家計構造調査 令和元年度から全国消費実態調査が全面的に見直され全国家計構造調査となっている。  <b>【調査対象】</b> 全国の約1,000市町村において無作為に選ばれた約90,000世帯  <b>【調査方法】</b> 調査員調査:調査員が調査対象に調査票を配布し、インターネットによる回答又は、記入済みの調査票を回収する調査方法  <b>【調査概要】</b> 調査周期:5年に1度 調査期間:令和元年10月から11月 調査員数:簡易調査9名、基本調査9名 指導員数:6名 調査区:18調査区 つくば市調査対象世帯:基本調査108件、簡易調査108件 県への最終報告:令和元年12月17日  <b>【調査結果の公表時期】</b> 令和2年11月から順次公表予定								

事業名： 監査委員に要する経費

監査委員事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	06	01	11	本年	4,018				4,018		3,930	97.8
				前年	4,055				4,055		3,957	97.6
				比較	△ 37				△ 37		△ 27	-
【参考】前々年度					3,959				3,959		3,897	98.4

概要及び成果	目的	行財政が公正かつ効率的・効果的に運営されているかどうか地方自治法に基づき監査し、業務改善や不祥事の未然防止を図るため。																																																									
	1	地方自治法及び地方公営企業法並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、監査委員が監査、検査及び審査を実施する。																																																									
		【成果】 監査等の種類と実施日数及び部署数																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>監査等の種類</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 例月現金出納検査 一般会計等及び水道事業会計の出納について検査を実施</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> </tr> <tr> <td>(2) 定期監査 市の財務に関する事務の執行などについて監査を実施</td> <td>7日 (68部署)</td> <td>7日 (76部署)</td> <td>7日 (66部署)</td> <td>7日 (81部署)</td> <td>7日 (73部署)</td> </tr> <tr> <td>(3) 工事監査 工事事務及び施工等について監査を実施</td> <td>2日 (建築・土木 工事)</td> <td>2日 (建築・土木 工事)</td> <td>2日 (建築・土木 工事)</td> <td>2日 (建築・土木 工事)</td> <td>1日 (土木工事)</td> </tr> <tr> <td>(4) 決算審査及び財政健全化審査 市長が議会に付す決算について審査を実施</td> <td>4日</td> <td>4日</td> <td>4日</td> <td>8日</td> <td>9日</td> </tr> <tr> <td>(5) 財政援助団体等監査 市が財政援助を行っている団体等について監査を実施</td> <td>4日 (6団体)</td> <td>3日 (6団体)</td> <td>3日 (6団体)</td> <td>3日 (6団体)</td> <td>2日 (4団体)</td> </tr> <tr> <td>(6) 住民監査請求 住民の要求に基づいて監査を実施</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(7) 職員の賠償責任に関する監査 市長の要求に基づいて監査を実施</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2日</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>											監査等の種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	(1) 例月現金出納検査 一般会計等及び水道事業会計の出納について検査を実施	12日	12日	12日	12日	12日	(2) 定期監査 市の財務に関する事務の執行などについて監査を実施	7日 (68部署)	7日 (76部署)	7日 (66部署)	7日 (81部署)	7日 (73部署)	(3) 工事監査 工事事務及び施工等について監査を実施	2日 (建築・土木 工事)	2日 (建築・土木 工事)	2日 (建築・土木 工事)	2日 (建築・土木 工事)	1日 (土木工事)	(4) 決算審査及び財政健全化審査 市長が議会に付す決算について審査を実施	4日	4日	4日	8日	9日	(5) 財政援助団体等監査 市が財政援助を行っている団体等について監査を実施	4日 (6団体)	3日 (6団体)	3日 (6団体)	3日 (6団体)	2日 (4団体)	(6) 住民監査請求 住民の要求に基づいて監査を実施	—	—	—	—	—	(7) 職員の賠償責任に関する監査 市長の要求に基づいて監査を実施	—	—	2日	—
監査等の種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																						
(1) 例月現金出納検査 一般会計等及び水道事業会計の出納について検査を実施	12日	12日	12日	12日	12日																																																						
(2) 定期監査 市の財務に関する事務の執行などについて監査を実施	7日 (68部署)	7日 (76部署)	7日 (66部署)	7日 (81部署)	7日 (73部署)																																																						
(3) 工事監査 工事事務及び施工等について監査を実施	2日 (建築・土木 工事)	2日 (建築・土木 工事)	2日 (建築・土木 工事)	2日 (建築・土木 工事)	1日 (土木工事)																																																						
(4) 決算審査及び財政健全化審査 市長が議会に付す決算について審査を実施	4日	4日	4日	8日	9日																																																						
(5) 財政援助団体等監査 市が財政援助を行っている団体等について監査を実施	4日 (6団体)	3日 (6団体)	3日 (6団体)	3日 (6団体)	2日 (4団体)																																																						
(6) 住民監査請求 住民の要求に基づいて監査を実施	—	—	—	—	—																																																						
(7) 職員の賠償責任に関する監査 市長の要求に基づいて監査を実施	—	—	2日	—	—																																																						
2	協議会の開催 【成果】 協議会の種類と実施日数																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>協議会の種類</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 定例協議会</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>12日</td> </tr> <tr> <td>(2) 臨時協議会</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1日</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>											協議会の種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	(1) 定例協議会	12日	12日	12日	12日	12日	(2) 臨時協議会	—	—	—	1日	—																														
協議会の種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																						
(1) 定例協議会	12日	12日	12日	12日	12日																																																						
(2) 臨時協議会	—	—	—	1日	—																																																						
3	各種監査委員会への参加 【成果】 (1) 全国都市監査委員会総会・研修会 8月29日・30日(長野市) (2) 関東都市監査委員会総会・研修会 8月1日(宇都宮市) (3) 茨城県都市監査委員会総会・研修会 7月5日(水戸市)																																																										
4	監査結果の報告・事業報告 【成果】 (1) 市長への平成30年度監査結果の報告 4月5日 (2) 市長への決算審査に係る結果報告 8月19日 (3) 議会への決算審査に係る結果報告 9月3日																																																										

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	06	01	12	本年	1,441				1,441		1,338	92.8
				前年	1,448				1,448		1,402	96.8
				比較	△ 7				△ 7		△ 64	-
【参考】前々年度					1,544				1,544		1,501	97.2

目的

監査委員を補助し、年間監査計画に基づき効率的かつ効果的に監査を実施するため。

概要及び成果

1 年間監査計画に基づき事務局が行う予備調査等の実施

【成果】

予備調査等の種類と実施日数

予備調査等の種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
(1)例月現金出納検査	36日	36日	36日	34日	35日
(2)定期監査	14日	15日	15日	17日	16日
(3)決算審査※	18日	17日	15日	19日	20日
(4)決算審査(公営企業事業会計)	1日	1日	1日	1日	3日
(5)財政援助団体等監査	5日	6日	6日	6日	4日
(6)住民監査請求※	—	—	—	—	—
(7)職員の賠償責任に関する監査※	—	—	19日	—	—

※決算審査、住民監査請求及び職員の賠償責任に関する監査については、予備的調査を行った実日数とした。

監査等の結果については、つくば市監査委員条例に基づき報告・公表を行った。

また、予備調査等を行うことにより、監査等を円滑に実施することができた。

2 決算審査意見書作成

【成果】

- (1)つくば市決算審査意見書(一般会計及び特別会計決算、基金運用状況、水道事業会計)160部作成
- (2)つくば市健全化判断比率及び資金不足比率審査意見書 160部作成

3 各種監査委員会、研修会等への参加

【成果】

各種監査委員会総会等の種類と延参加人数

各種総会・研修会等の種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
(1)都市監査委員会総会への参加	9人	9人	9人	8人	8人
(2)各種監査委員会研修への参加	14人	16人	19人	8人	10人
(3)日本経営協会主催研修への参加	6人	6人	11人	6人	8人

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	173,060			△ 10	173,050		168,365	97.3
				前年	174,994			△ 12	174,982		169,149	96.7
				比較	△ 1,934			2	△ 1,932		△ 784	-
【参考】前々年度					179,234			△ 89	179,145		169,661	94.7

概要及び成果

目的	<p>つくば市地域福祉計画に基づき、住み慣れた地域で安心した暮らしを続けられるよう、福祉関係事業者・団体と協力し地域社会の課題解決に取り組み、地域福祉の増進を図るため。</p>																																																																																																																								
	<p>1 つくば市地域福祉計画に基づく事業</p> <p>(1) 地域福祉推進事業(ボランティア育成・支援・研修事業、住民参加型福祉サービス拡大事業、福祉相談事業)</p> <p>(2) 財政基盤の安定を図るため、地域福祉推進の中核を担うつくば市社会福祉協議会及び自殺防止を目的とする茨城いのちの電話への補助金交付</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 地域福祉推進事業(ボランティア育成・支援・研修事業、住民参加型福祉サービス拡大事業、福祉相談事業)を実施することにより、小地域単位での支え合いシステムの構築支援、ボランティア活動の支援、市民の自発的参加・協力による在宅支援を行い、地域福祉の増進を図ることができた。</p> <p>①ボランティア育成・支援研修事業</p> <p>ボランティア登録団体数及び登録人数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録団体数</td> <td>186 団体</td> <td>188 団体</td> <td>183 団体</td> <td>176 団体</td> <td>170 団体</td> </tr> <tr> <td>登録人数</td> <td>7,043 人</td> <td>6,740 人</td> <td>7,094 人</td> <td>6,199 人</td> <td>6,976 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②住民参加型福祉サービス拡大事業(さわやかサービス事業)</p> <p>事業会員及び利用状況実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力会員数</td> <td>49 人</td> <td>46 人</td> <td>42 人</td> <td>34 人</td> <td>23 人</td> </tr> <tr> <td>利用会員数</td> <td>58 人</td> <td>49 人</td> <td>50 人</td> <td>45 人</td> <td>49 人</td> </tr> <tr> <td>利用回数</td> <td>1,205 回</td> <td>1,295 回</td> <td>1,252 回</td> <td>1,131 回</td> <td>1,118 回</td> </tr> <tr> <td>利用時間数</td> <td>1,705 時間</td> <td>1,784 時間</td> <td>1,830 時間</td> <td>1,470 時間</td> <td>1,426 時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>③福祉相談事業</p> <p>相談開催件数及び相談件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">相談種別／相談員</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> </tr> <tr> <th>開催</th> <th>相談件数</th> <th>開催</th> <th>相談件数</th> <th>開催</th> <th>相談件数</th> <th>開催</th> <th>相談件数</th> <th>開催</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財産・相続相談／司法書士</td> <td>12回</td> <td>29件</td> <td>12回</td> <td>35件</td> <td>12回</td> <td>46件</td> <td>12回</td> <td>42件</td> <td>11回</td> <td>43件</td> </tr> <tr> <td>福祉法律相談／弁護士</td> <td>36回</td> <td>152件</td> <td>36回</td> <td>137件</td> <td>35回</td> <td>140件</td> <td>36回</td> <td>136件</td> <td>36回</td> <td>149件</td> </tr> <tr> <td>子育て・子どもの悩みごと相談／学識経験者</td> <td>18回</td> <td>30件</td> <td>25回</td> <td>39件</td> <td>23回</td> <td>37件</td> <td>18回</td> <td>31件</td> <td>27回</td> <td>49件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 社会福祉団体への助成による地域福祉の増進</p> <p>社会福祉団体補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉協議会</td> <td>154,502,647 円</td> <td>159,146,479 円</td> <td>159,716,479 円</td> <td>160,578,348 円</td> <td>145,849,089 円</td> </tr> <tr> <td>茨城いのちの電話</td> <td>100,000 円</td> <td>100,000 円</td> <td>100,000 円</td> <td>100,000 円</td> <td>100,000 円</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	登録団体数	186 団体	188 団体	183 団体	176 団体	170 団体	登録人数	7,043 人	6,740 人	7,094 人	6,199 人	6,976 人		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	協力会員数	49 人	46 人	42 人	34 人	23 人	利用会員数	58 人	49 人	50 人	45 人	49 人	利用回数	1,205 回	1,295 回	1,252 回	1,131 回	1,118 回	利用時間数	1,705 時間	1,784 時間	1,830 時間	1,470 時間	1,426 時間	相談種別／相談員	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		開催	相談件数	開催	相談件数	開催	相談件数	開催	相談件数	開催	相談件数	財産・相続相談／司法書士	12回	29件	12回	35件	12回	46件	12回	42件	11回	43件	福祉法律相談／弁護士	36回	152件	36回	137件	35回	140件	36回	136件	36回	149件	子育て・子どもの悩みごと相談／学識経験者	18回	30件	25回	39件	23回	37件	18回	31件	27回	49件		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	社会福祉協議会	154,502,647 円	159,146,479 円	159,716,479 円	160,578,348 円	145,849,089 円	茨城いのちの電話	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																																																																				
登録団体数	186 団体	188 団体	183 団体	176 団体	170 団体																																																																																																																				
登録人数	7,043 人	6,740 人	7,094 人	6,199 人	6,976 人																																																																																																																				
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																																																																				
協力会員数	49 人	46 人	42 人	34 人	23 人																																																																																																																				
利用会員数	58 人	49 人	50 人	45 人	49 人																																																																																																																				
利用回数	1,205 回	1,295 回	1,252 回	1,131 回	1,118 回																																																																																																																				
利用時間数	1,705 時間	1,784 時間	1,830 時間	1,470 時間	1,426 時間																																																																																																																				
相談種別／相談員	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度																																																																																																																
	開催	相談件数	開催	相談件数	開催	相談件数	開催	相談件数	開催	相談件数																																																																																																															
財産・相続相談／司法書士	12回	29件	12回	35件	12回	46件	12回	42件	11回	43件																																																																																																															
福祉法律相談／弁護士	36回	152件	36回	137件	35回	140件	36回	136件	36回	149件																																																																																																															
子育て・子どもの悩みごと相談／学識経験者	18回	30件	25回	39件	23回	37件	18回	31件	27回	49件																																																																																																															
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																																																																				
社会福祉協議会	154,502,647 円	159,146,479 円	159,716,479 円	160,578,348 円	145,849,089 円																																																																																																																				
茨城いのちの電話	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円																																																																																																																				

概要及び成果	2 援護を求めてきた者に対し、交通費や弁当代を支給する。 【成果】 法外援護費を支給し、生活困窮者等の人道的支援に努めた。						
	法外援護費支給実績						
	年 度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	交通費	件数	3件	2件	2件	3件	3件
		支給金額	13,470円	1,870円	4,670円	33,680円	10,000円
	弁当代	件数	1件	1件	1件	2件	3件
		支給金額	500円	500円	500円	1,000円	1,500円
	3 中国残留邦人等支援法(「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律」平成19年法律第127号)に基づく生活相談、生活支援等						
	【成果】 現在、中国残留邦人の該当者はいない。						

事業名：民生委員推薦会に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
03	01	01	12	本年	401				401		155	38.6
				前年	201			54	255		255	100.0
				比較	200			△ 54	146		△ 100	-
【参考】前々年度					201				201		146	72.4

目的	民生委員法第5条第2項の規定に基づき、多様化する福祉ニーズや急速に進む高齢化社会、児童問題等に対応できる民生委員児童委員候補者の推薦を行うため。											
概要及び成果	【概要】 つくば市民生委員推薦会委員は、民生委員法第8条第2項に基づき、市議会議員、民生委員、社会福祉事業の実施に関係のある者、社会福祉関係団体の代表者、教育に関係のある者、関係行政機関の職員並びに学識経験者から2名ずつ計14名で構成されている。  任期途中での欠員補充及び3年に1度の一斉改選のため候補者を推薦する。											
	【成果】											
			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度					
推薦会開催数		2回	3回	2回	2回	2回						

事業名：民生委員活動に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)											
03	01	01	13	本年	30,134			37	30,171		30,170	100.0											
				前年	30,146				30,146		30,133	100.0											
				比較	△ 12			37	25		37	-											
【参考】前々年度					30,146				30,146		30,133	100.0											
目的				民生委員児童委員の活動を援助し、資質の向上を図ることによって、多様化する福祉ニーズに的確に対応した相談、指導、援助等の民生委員活動が円滑に行えるようにするため。																			
概要及び成果				1 地区民生委員児童委員協議会の活動を支援し、民生委員児童委員の資質向上を図り、多様化する福祉ニーズに的確に対応する。																			
				【成果】 各地区協議会とも事業計画に基づき、月1回の定例会、事項別研修等を実施し、民生委員児童委員活動が円滑に行われた。																			
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生委員児童委員の地域における相談件数</td> <td>6,490件</td> <td>7,528件</td> <td>6,778件</td> <td>5,640件</td> <td>5,406件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	民生委員児童委員の地域における相談件数	6,490件	7,528件	6,778件	5,640件	5,406件		
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																		
民生委員児童委員の地域における相談件数	6,490件	7,528件	6,778件	5,640件	5,406件																		
概要及び成果				2 各地区の会長、副会長等で構成するつくば市民生委員児童委員連絡協議会を開催し、各地区協議会の情報交換を行い連携を緊密にし、各地区協議会活動及び主任児童委員活動の向上を図る。																			
				【成果】 つくば市民生委員児童委員連絡協議会においても、事業計画に基づき、理事会、全体研修会等を開催し、民生委員活動の向上を図った。																			
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生委員・児童委員数</td> <td>271人</td> <td>270人</td> <td>270人</td> <td>270人</td> <td>256人</td> </tr> <tr> <td>市民生委員連絡協議会補助金</td> <td>30,126,664円</td> <td>30,090,000円</td> <td>30,090,000円</td> <td>30,090,000円</td> <td>28,550,000円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	民生委員・児童委員数	271人	270人	270人	270人	256人	市民生委員連絡協議会補助金	30,126,664円
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																		
民生委員・児童委員数	271人	270人	270人	270人	256人																		
市民生委員連絡協議会補助金	30,126,664円	30,090,000円	30,090,000円	30,090,000円	28,550,000円																		

事業名：行旅死病人取扱いに要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)					
03	01	01	14	本年	1,020				1,020		759	74.4					
				前年	1,010				1,010		668	66.2					
				比較	10				10		91	-					
【参考】前々年度					868			121	989		957	96.8					
目的				行旅病人及行旅死亡人取扱法の規定に基づき、行旅病人の救護及び行旅死亡人の埋火葬を行うため。また、墓地、埋葬等に関する法律第9条の規定に基づき、埋火葬を行う者がいない死亡者の埋火葬を行うため。													
概要及び成果				【概要】 行旅病人、行旅死亡人が発生した場合、行旅病人及行旅死亡人取扱法の規定に基づき、速やかに所要の手続きを行い、行旅病人の救護又は行旅死亡人の埋火葬を行う。また、死体の埋火葬を行うものがないとき、又は判明しないときは、墓地、埋葬等に関する法律第9条の規定に基づき、死体の埋火葬を行う。													
				【成果】 行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律の規定に基づき、4件の火葬を行った。													
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火葬件数</td> <td>4件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	火葬件数	4件
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度												
火葬件数	4件	3件	4件	1件	4件												

事業名：遺族等援護に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	15	本年	2,922			△ 37	2,885		2,661	92.2
				前年	2,928				2,928		2,626	89.7
				比較	△ 6			△ 37	△ 43	35	-	
【参考】前々年度					2,928			△ 32	2,896		2,677	92.4

目的	<p>戦傷病者、戦没者遺族等に対する援護活動を通じて、戦没者等への追悼の意を表すとともに、恒久平和を祈念するため。また、国の給付金に係る請求受付事務、遺族連合会が行う戦没者慰霊事業への助成を通じて、戦没者遺族等の福祉の増進を図るため。</p>																	
概要及び成果	<p>1 戦傷病者戦没者遺族等援護法等に基づき、戦傷病者、戦没者遺族等の援護事務(戦没者遺族等に対する特別弔慰金や特別給付金の請求受付事務、戦傷病者特別援護法に基づく請求書等及び戦傷病者乗車券類引換証交付請求書の受付事務等)を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>戦傷病者、戦没者遺族等の援護事務を適正に行い、戦傷病者、戦没者遺族等の福祉増進を図った。</p> <p>(1) 第十回戦没者等に対する特別弔慰金請求受付:0件</p> <p>(2) 第二十二回戦没者等の妻に対する特別給付金交付:0件</p> <p>(3) 戦傷病者JR乗車券申請受付・交付:1件</p>																	
	<p>2 遺族連合会が行っている戦没者慰霊事業に対し、補助金を交付する。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)遺族連合会が行った戦没者慰霊事業に補助金を交付し、戦没遺族の福祉増進を図った。</p> <p>つくば市戦没者慰霊事業補助金 1,000,000円</p>																	
	<p>3 戦没者追悼式の開催</p> <p>【成果】</p> <p>10月17日に市民ホールやたべで開催し、先の大戦において尊い犠牲となられた戦没者に対し、追悼の意を表すとともに、遺族の労苦に対し深い敬意を表し、不戦の誓いを新たにすることができた。</p> <p>戦没者追悼式参列者実績 ※来賓関係者含む</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参列者数</td> <td>433人</td> <td>416人</td> <td>418人</td> <td>466人</td> <td>435人</td> </tr> <tr> <td>前年度比較</td> <td>104.08%</td> <td>99.52%</td> <td>89.70%</td> <td>107.12%</td> <td>86.14%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参列者数	433人	416人	418人	466人	435人	前年度比較	104.08%	99.52%	89.70%	107.12%
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度													
参列者数	433人	416人	418人	466人	435人													
前年度比較	104.08%	99.52%	89.70%	107.12%	86.14%													

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	16	本年	1,784,937		9,141		1,794,078		1,793,699	100.0
				前年	1,934,290		116,499		2,050,789		2,050,590	100.0
				比較	△ 149,353		△ 107,358		△ 256,711		△ 256,891	-
【参考】前々年度				1,931,283	3,179	25,472		1,959,934		1,958,842	99.9	

目的

一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出すことにより、国民健康保険財政の基盤安定を図るため。

概要及び成果

1 国民健康保険特別会計への繰出金

【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	
国民健康保険特別会計繰出金	1,793,698,513円	2,050,201,875円	1,956,754,520円	2,055,486,805円	2,081,805,311円	
内 訳	保険基盤安定繰出	1,023,546,513円	1,030,100,875円	1,138,888,520円	1,138,482,805円	1,097,904,311円
	職員給与費等分	131,881,000円	126,218,000円	122,441,000円	126,852,000円	119,906,000円
	事務費分	96,129,000円	88,582,000円	95,464,000円	90,337,000円	92,121,000円
	出産育児一時金分	64,865,000円	75,344,000円	83,850,000円	89,386,000円	89,386,000円
	財政安定化支援分	8,128,000円	10,158,000円	10,158,000円	13,129,000円	10,290,000円
	臨時財源補てん分	469,149,000円	719,799,000円	505,953,000円	597,300,000円	672,198,000円

国民健康保険財政の安定化が図られた。

2 還付金

【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	
還付金	0円	388,300円	2,087,000円	301,800円	3,510,626円	
内 訳	過誤納還付金	0円	259,900円	1,455,800円	218,100円	0円
	過誤納還付加算金	0円	128,400円	631,200円	83,700円	0円
	高額介護合算療養費返還金	0円	0円	0円	0円	2,848,106円
	高額療養費返還金	0円	0円	0円	0円	662,520円

過誤納還付金(小規模住宅用地の適用漏れによる国民健康保険税資産割変更による還付)

過誤納還付加算金(過誤納還付金に係る加算金)

令和元年度の還付金は、なし



事業名：福祉監査に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	17	本年	195			△ 18	177		177	100.0
				前年	195				195		176	90.3
				比較				△ 18	△ 18		1	-
【参考】前々年度					2,097				2,097		1,943	92.6

目的

つくば市が所管する社会福祉法人等に対する指導監査を実施し、法令、通知等を遵守し、入所者等に対する適切な処遇並びに適正な法人、施設及び事業所運営を行っているか否かについて個別的に明らかにするとともに、積極的に助言又は指導を行い、入所者等の支援の向上及び運営の適正化を図るため。

概要及び成果

1 【概要】

社会福祉法及び関係法令等の規定、市指導監査方針及び実施計画に基づき、法人に検査調書等の提出を求め、実地による指導監査を行う。

【成果】

指導監査の実施により、法令等遵守による、入所者等の支援の向上及び運営の適正化を図ることができた。

区 分	根拠法令	監査実施頻度	市所管の 監査対象 法人等		指導監査実施件数									
					令和元年度	30年度	29年度	28年度	27年度					
社会福祉法人	社会福祉法第56条	3年に1回以上	24	法人	10	法人	10	法人	8	法人	14	法人	16	法人
特別養護老人ホーム	老人福祉法第18条	3年に1回以上	10	施設	4	施設	5	施設	3	施設	6	施設	6	施設
公立保育所	児童福祉法第46条	毎年	22	施設	22	施設	22	施設	23	施設	23	施設	23	施設
特定地域型保育施設	子ども・子育て支援法第50条第1項	毎年	5	施設	8	施設	5	施設	3	施設	-	施設	-	施設
認可外保育所	児童福祉法第59条第1項	毎年	29	施設	31	施設	27	施設	22	施設	23	施設	23	施設
認可外保育所(事業所内)	児童福祉法第59条第1項	2年に1回以上	21	施設	16	施設	11	施設	6	施設	8	施設	5	施設
介護保険施設	介護保険法第24条	6年に1回以上	211	施設	26	施設	55	施設	38	施設	27	施設	44	施設
介護保険施設(地域密着型)	介護保険法第78条の7	6年に1回以上	41	施設	9	施設	5	施設	4	施設	6	施設	6	施設
障害者支援施設	障害者総合支援法第51条の27	3年に1回以上	15	施設	9	施設	2	施設	2	施設	3	施設	2	施設
有料老人ホーム	老人福祉法第29条第1項	6年に1回以上	10	施設	2	施設	2	施設	4	施設	2	施設	-	施設
サービス付き高齢者向け住宅	高齢者の居住の安定確保に関する法律第24条第1項	6年に1回以上	8	施設	5	施設	-	施設	-	施設	-	施設	-	施設
合 計			396	法人・施設	142	法人・施設	144	法人・施設	113	法人・施設	112	法人・施設	125	法人・施設

※監査対象法人等数は平成31年4月1日現在

事業名：医療・介護連携推進に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	18	本年	330				330		330	100.0
				前年								
				比較	330				330		330	-
【参考】前々年度												

目的

医療・介護に関するデータを集約し、エビデンスに基づく合理的な医療・介護施策の推進を図るため。

概要及び成果

1 医療・介護に関する名寄せデータの作成

【成果】

国民健康保険、後期高齢者医療保険及び介護保険の被保険者に関するレセプト・健診・介護データ(過去5年間:平成26年度～平成30年度)を集約し、各データの名寄せ業務を委託しデータ作成を行った。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	32,085				32,085		29,704	92.6
				前年	29,660				29,660		26,433	89.1
				比較	2,425				2,425		3,271	-
【参考】前々年度					28,651			3	28,654		28,162	98.3

目的 在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯に対して在宅福祉サービスを提供することで、自立した生活を支援するため。

1 布団丸洗い乾燥事業

掛布団・敷布団・毛布の丸洗い乾燥を行う。

対象者：65歳以上のひとり暮らしの方、65歳以上の高齢者だけでお住まいの方・・・年1回  
65歳以上で、寝たきり状態等の方（要介護4・5認定者等）・・・・・・最大年2回

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付者数	1,637 人	1,559 人	1,457 人	1,229 人	1,223 人
実施数	掛布団	1,329 枚	1,262 枚	1,137 枚	961 枚
	敷布団	1,305 枚	1,247 枚	1,087 枚	934 枚
	毛布	1,262 枚	1,222 枚	1,064 枚	876 枚
金額	12,124,872 円	11,336,627 円	10,137,912 円	7,510,644 円	8,575,740 円

※平成27年度までは、全対象者年2回実施

2 高齢者日常生活支援事業

日常生活を送る上で、自ら行うことが困難な部屋掃除、草取り等の作業をシルバー人材センターに依頼・実施する費用の一部を助成する。(助成券×5枚)

対象者：75歳以上のひとり暮らしの方、75歳以上の高齢者だけでお住まいの方

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付者数	925 人	837 人	801 人	695 人	677 人
実績額	2,596,396 円	2,251,970 円	2,116,002 円	1,825,856 円	1,839,210 円

3 あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術費助成事業

あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術を受ける際の費用の一部を助成する。(年間最大1,000円券×8枚)

対象者：70歳以上の方

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付者数	1,320 人	1,069 人	975 人	769 人	767 人
実績額	2,733,000 円	2,397,000 円	2,147,000 円	1,767,000 円	1,783,000 円

4 ねたきり高齢者理美容料助成事業

ねたきり状態の高齢者に対し、居宅において受ける理美容料の一部を助成する。(4,000円券×2枚)

対象者：65歳以上で要介護4・5認定者またはねたきり状態の方

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付者数	144 人	154 人	151 人	152 人	150 人
実績額	556,000 円	580,000 円	568,000 円	512,000 円	532,000 円

概要及び成果

概要及び成果	<p>5 高齢者タクシー助成事業</p> <p>外出するときに利用するタクシーの初乗運賃を助成する。(500円券×18枚)</p> <p>対象者:65歳以上のひとり暮らしの方、70歳以上の高齢者だけでお住まいの方、70歳以上で市民税非課税世帯の方</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付者数</td> <td>1,888 人</td> <td>1,741 人</td> <td>1,698 人</td> <td>1,527 人</td> <td>1,546 人</td> </tr> <tr> <td>実績額</td> <td>7,881,030 円</td> <td>6,604,430 円</td> <td>6,428,040 円</td> <td>6,160,020 円</td> <td>6,074,780 円</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	交付者数	1,888 人	1,741 人	1,698 人	1,527 人	1,546 人	実績額	7,881,030 円	6,604,430 円	6,428,040 円	6,160,020 円	6,074,780 円
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度													
交付者数	1,888 人	1,741 人	1,698 人	1,527 人	1,546 人														
実績額	7,881,030 円	6,604,430 円	6,428,040 円	6,160,020 円	6,074,780 円														
<p>6 福祉有償運送事業補助金</p> <p>道路運送法第79条の登録を受けて福祉有償運送を行う特定非営利活動法人等に対し、補助金を交付する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付団体数</td> <td>3団体</td> <td>3団体</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>696,000円</td> <td>693,000円</td> </tr> <tr> <td>延利用人数</td> <td>2,693人</td> <td>2,846人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	交付団体数	3団体	3団体	交付額	696,000円	693,000円	延利用人数	2,693人	2,846人							
	令和元年度	平成30年度																	
交付団体数	3団体	3団体																	
交付額	696,000円	693,000円																	
延利用人数	2,693人	2,846人																	

事業名：老人ホーム入所措置に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	12	本年	7,840				7,840		5,874	74.9
				前年	7,857				7,857		5,884	74.9
				比較	△ 17				△ 17		△ 10	-
【参考】前々年度					9,051				9,051		6,267	69.2

目的

環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者の心身の健康保持及び生活の安定を確保するため。

概要及び成果

- 1 老人ホーム入所措置
- (1) 入所者負担分費用徴収
  - (2) 入所者の市負担分入所措置費の負担
  - (3) 入所各施設を訪問し、状況調査実施

【成果】

養護老人ホーム入所者数(平成28年度に1名退所)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
継続入所者	3 名	3 名	3 名	3 名	4 名

事業名：ひとり暮らし等老人福祉に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	13	本年	16,031		△ 1,568		14,463		14,144	97.8
				前年	17,344		△ 3,098		14,246		13,555	95.1
				比較	△ 1,313		1,530		217		589	-
【参考】前々年度					15,982				15,982		13,888	86.9

目的	概要及び成果																		
ひとり暮らしの高齢者等に対し緊急通報装置を設置することにより、病気やその他の緊急時の際の不安を解消するため。また、乳製品、夕食を定期的に配達することにより、ひとり暮らし高齢者等の見守り・安否確認・孤独感の解消及び高齢者の健康の保持を図るため。	<p>1 緊急通報システム事業</p> <p>ペンダント型無線発信機や緊急通報装置を貸与し、業者に業務を委託して、24時間体制で通報を受ける。 対象者:65歳以上で病弱または重度の身体障害のあるひとり暮らしの方、75歳以上のひとり暮らしの方</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延設置台数</td> <td>179 台</td> <td>193 台</td> <td>201 台</td> <td>213 台</td> <td>228 台</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	延設置台数	179 台	193 台	201 台	213 台	228 台						
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
延設置台数	179 台	193 台	201 台	213 台	228 台														
	<p>2 愛の定期便事業</p> <p>安否確認・健康保持・孤独感の解消を図るため、乳製品を週に3回まで配布する。 対象者:見守りを必要とする70歳以上のひとり暮らしの方 ※宅配食事サービス利用者は利用不可</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>41 人</td> <td>48 人</td> <td>45 人</td> <td>50 人</td> <td>45 人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	41 人	48 人	45 人	50 人	45 人						
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
利用者数	41 人	48 人	45 人	50 人	45 人														
	<p>3 宅配食事サービス事業</p> <p>高齢者向け配食サービス事業所で調理した栄養バランスの取れた夕食を配食し、安否確認を行う。 対象者:心身の障害等の理由で調理や買い物が困難な65歳以上のひとり暮らしの方または高齢者だけでお住まいの方</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>145 人</td> <td>119 人</td> <td>134 人</td> <td>140 人</td> <td>124 人</td> </tr> <tr> <td>延配食数</td> <td>23,884 食</td> <td>21,440 食</td> <td>24,602 食</td> <td>23,881 食</td> <td>23,126 食</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	145 人	119 人	134 人	140 人	124 人	延配食数	23,884 食	21,440 食	24,602 食	23,881 食	23,126 食
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
利用者数	145 人	119 人	134 人	140 人	124 人														
延配食数	23,884 食	21,440 食	24,602 食	23,881 食	23,126 食														

事業名：老人生きがい対策に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	14	本年	45,907				45,907		44,183	96.2
				前年	43,449				43,449		42,343	97.5
				比較	2,458				2,458		1,840	-
【参考】前々年度					42,742				42,742		42,165	98.6

目的

各種の学習活動や講座及びスポーツなど、生きがいの場所と活動を提供することや、シルバークラブの活動に補助金を出すことで、高齢者の心身の健康保持と身体の状態を高めるため。また、就労の場を提供することで社会参加を推進するため。

概要及び成果

1 いばらきねりんスポーツ大会(4種目:ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、輪投げ)

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加者数	593 人	592 人	567 人	560 人	579 人

6月4日:荃崎運動公園でつくば市大会開催

10月23日:那珂総合公園で茨城県大会実施

2 高齢者生きがい活動支援事業(社会参加活動、生きがいと健康保持のための支援事業)

【成果】

(1)シルバークラブ大会(役員やクラブの顕彰、講演会)

7月4日:市民ホールやたべ

600人参加

(2)シルバークラブ育成支援事業

シルバークラブ事務局をつくば市社会福祉協議会に委託

1,225人参加

3 おひさまサンサン生き生きまつり

【成果】

高齢者や障害者(児)などによるスポーツ大会、レクリエーション等

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
会場	桜総合体育館	研究学園駅前公園	つくばカピオ	つくばカピオ	つくばカピオ
参加者数	1,225 人	1,605 人	1,800 人	1,950 人	1,950 人

4 高齢者いきいきサロン事業

老人福祉センターなどを会場として市内4か所にて、高齢者が自由に参加できる講座を開催する。また、会場へ出向くことができない高齢者に対しては、出前講座を実施する。

【成果】

市内の老人福祉センターなどで開催

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加者数	2,541 人	2,424 人	2,569 人	2,670 人	2,327 人

5 シルバー人材センター補助(高年齢者労働能力活用事業補助金)

【成果】

補助額 11,000,000円

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
契約件数	4,390 件	4,609 件	4,962 件	5,009 件	5,058 件
会員数	679 人	643 人	634 人	605 人	632 人

6 シルバークラブ連合会補助金 連合会事業に必要な経費の一部を補助する。

【成果】

シルバークラブ連合会補助金 3,000,000円

7 単位シルバークラブ補助金 単位シルバークラブ活動に必要な経費の一部を補助する。

1シルバークラブ当たり補助単価

令和元年度以降

① 会員100名以上	67,600円	⑤ 会員90名以上	97,200円
② 会員50名以上100名未満	62,600円	⑥ 会員70名以上90名未満	81,200円
③ 会員30名以上50名未満	57,600円	⑦ 会員50名以上70名未満	65,200円
④ 会員30名未満	20,000円	⑧ 会員30名以上50名未満	57,600円
		⑨ 会員30名未満	33,200円

【成果】

補助 単価	令和元年度		補助 単価	平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	クラブ数	補助金計		クラブ数	補助金計	クラブ数	補助金計	クラブ数	補助金計	クラブ数	補助金計
⑤	4	364,500円	①	2	119,505円	3	202,800円	2	135,200円	2	135,200円
⑥	11	893,200円	②	68	4,256,800円	72	4,507,200円	68	4,256,800円	74	4,632,400円
⑦	56	3,651,200円	③	59	3,398,400円	55	3,158,700円	57	3,240,663円	55	3,168,000円
⑧	58	3,340,800円	④	5	100,000円	7	140,000円	4	80,000円	3	60,000円
⑨	8	265,600円									
計	137	8,515,300円	計	134	7,874,705円	137	8,008,700円	131	7,712,663円	134	7,995,600円

事業名：敬老事業に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	15	本年	105,194		△ 2,182	△ 1,541	101,471		98,813	97.4
				前年	101,311			△ 2,666	98,645		95,950	97.3
				比較	3,883		△ 2,182	1,125	2,826		2,863	-
【参考】前々年度					95,802			△ 1,478	94,324		90,138	95.6

目的

高齢者の長寿を祝福し、敬老の意を表するため。

概要及び成果

1 敬老福祉大会

【成果】

対象者 市内に居住し、敬老の日において、満70歳以上の方

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
会 場	つくばカピオ	つくばカピオ	つくばカピオ	つくばカピオ	つくばカピオ
	市民ホール くきざき	市民ホール くきざき			
対象者数	33,450 人	31,890 人	30,101 人	28,533 人	28,009 人
参加者数	4,381 人	4,374 人	4,192 人	3,794 人	3,485 人

2 敬老祝金の給付

【成果】

対象者 8月1日現在で市内に住民登録が1年以上あり、居住している方で、年度内に下記の年齢を迎える方

対象者	内容	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
75歳以上	3,000 円	21,244 人	20,688 人	19,613 人	19,741 人	18,963 人
88歳	10,000 円	772 人	702 人	726 人	712 人	698 人
100歳	30,000 円	47 人	33 人	29 人	31 人	34 人
101歳以上	20,000 円	61 人	61 人	64 人	67 人	59 人

3 長寿をたたえる事業

【成果】

対象者 8月1日現在で市内に住民登録が1年以上あり、居住している方で、年度内に100歳を迎える方に、ほう状及び記念品を贈呈する。

対象者	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
100歳	47 人	33 人	30 人	33 人	34 人

事業名：ふれあい元気広場管理に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
03	01	02	16	本年	1,089			89	1,178		1,071	90.9												
				前年	1,168				1,168		1,019	87.3												
				比較	△ 79			89	10	52	-													
【参考】前々年度					1,233				1,233		1,097	88.9												
目的		グラウンド・ゴルフやその他のニュースポーツを通して、高齢者の相互交流の促進を図ることにより、高齢者の健康を増進し生きがい意欲を高めるため。																						
概要及び成果		1 ふれあい元気広場の管理運営 【成果】 (1) 施設の維持管理 芝刈り、除草、樹木剪定等の実施 (2) グラウンド・ゴルフ大会(年2回)																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用団体数</td> <td>558 団体</td> <td>512 団体</td> <td>501 団体</td> <td>453 団体</td> <td>363 団体</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	延利用団体数	558 団体	512 団体	501 団体	453 団体	363 団体
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
延利用団体数	558 団体	512 団体	501 団体	453 団体	363 団体																			

事業名：介護保険事業特別会計（介護保険）に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																						
03	01	02	17	本年	1,852,069		67,474		1,919,543		1,919,542	100.0																																																						
				前年	1,818,179		△ 1,832		1,816,347		1,816,347	100.0																																																						
				比較	33,890		69,306		103,196		103,195	-																																																						
【参考】前々年度																																																																		
目的		平成12年度から実施している介護保険制度に係る事務を円滑に執り行うため。																																																																
概要及び成果		1 一般会計から介護保険事業特別会計への介護給付費、職員給与等、事務費及び地域支援事業費の繰出しを行う。 市町村の一般会計における負担割合は、介護保険法第124条により、介護給付及び予防給付に要する経費等の12.5%、包括的支援事業に要する経費の19.25%と定められている。 【成果】 事業の安定運営を図るため、以下のとおり繰出した。																																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護給付費 (介護給付費の12.5%)</td> <td>1,559,608千円</td> <td>1,517,471千円</td> <td>1,505,005千円</td> <td>1,477,574千円</td> <td>1,417,231千円</td> </tr> <tr> <td>職員給与費等 (職員給与繰入分)</td> <td>117,100千円</td> <td>113,795千円</td> <td>111,117千円</td> <td>108,672千円</td> <td>107,807千円</td> </tr> <tr> <td>事務費 (事務費繰入金)</td> <td>130,006千円</td> <td>130,307千円</td> <td>125,000千円</td> <td>123,898千円</td> <td>120,708千円</td> </tr> <tr> <td>指定介護予防支援 職員関係経費</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6,634千円</td> <td>5,714千円</td> <td>6,560千円</td> </tr> <tr> <td>介護予防・日常生活支援 総合事業</td> <td>31,595千円</td> <td>31,085千円</td> <td>21,761千円</td> <td>7,454千円</td> <td>4,995千円</td> </tr> <tr> <td>包括的支援事業・ 任意事業</td> <td>1,239千円</td> <td>1,175千円</td> <td>55,029千円</td> <td>48,998千円</td> <td>56,182千円</td> </tr> <tr> <td>災害臨時特例給付</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>157千円</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>低所得者保険料軽減分</td> <td>79,986千円</td> <td>22,511千円</td> <td>22,358千円</td> <td>22,100千円</td> <td>20,808千円</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	介護給付費 (介護給付費の12.5%)	1,559,608千円	1,517,471千円	1,505,005千円	1,477,574千円	1,417,231千円	職員給与費等 (職員給与繰入分)	117,100千円	113,795千円	111,117千円	108,672千円	107,807千円	事務費 (事務費繰入金)	130,006千円	130,307千円	125,000千円	123,898千円	120,708千円	指定介護予防支援 職員関係経費	-	-	6,634千円	5,714千円	6,560千円	介護予防・日常生活支援 総合事業	31,595千円	31,085千円	21,761千円	7,454千円	4,995千円	包括的支援事業・ 任意事業	1,239千円	1,175千円	55,029千円	48,998千円	56,182千円	災害臨時特例給付	-	-	-	157千円	-	低所得者保険料軽減分	79,986千円	22,511千円	22,358千円	22,100千円	20,808千円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																													
介護給付費 (介護給付費の12.5%)	1,559,608千円	1,517,471千円	1,505,005千円	1,477,574千円	1,417,231千円																																																													
職員給与費等 (職員給与繰入分)	117,100千円	113,795千円	111,117千円	108,672千円	107,807千円																																																													
事務費 (事務費繰入金)	130,006千円	130,307千円	125,000千円	123,898千円	120,708千円																																																													
指定介護予防支援 職員関係経費	-	-	6,634千円	5,714千円	6,560千円																																																													
介護予防・日常生活支援 総合事業	31,595千円	31,085千円	21,761千円	7,454千円	4,995千円																																																													
包括的支援事業・ 任意事業	1,239千円	1,175千円	55,029千円	48,998千円	56,182千円																																																													
災害臨時特例給付	-	-	-	157千円	-																																																													
低所得者保険料軽減分	79,986千円	22,511千円	22,358千円	22,100千円	20,808千円																																																													
		※平成29年度まで介護保険課で一括計上していた繰出金を、平成30年度から各担当課で計上																																																																



事業名：介護保険事業特別会計（高齢福祉）に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	18	本年	10,065		322	10,387		10,387	100.0
			前年	9,999		140	10,139		10,139	100.0	
			比較	66		182	248		248	-	
【参考】前々年度											

目的	平成12年度から実施している介護保険制度に係る事務を円滑に執り行うため。																		
概要及び成果	1 一般会計から介護保険事業特別会計への地域支援事業費の繰出しを行う。																		
	市町村の一般会計における負担割合は、介護保険法第124条により、介護給付及び予防給付に要する経費等の12.5%、包括的支援事業に要する経費の19.25%と定められている。																		
	<b>【成果】</b> 事業の安定運営を図るため、以下のとおり繰出した。																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防・日常生活支援総合事業</td> <td style="text-align: center;">1,109千円</td> <td style="text-align: center;">1,045千円</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>包括的支援事業・任意事業</td> <td style="text-align: center;">9,278千円</td> <td style="text-align: center;">9,094千円</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	介護予防・日常生活支援総合事業	1,109千円	1,045千円	-	-	-	包括的支援事業・任意事業	9,278千円	9,094千円	-	-	-
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度													
介護予防・日常生活支援総合事業	1,109千円	1,045千円	-	-	-														
包括的支援事業・任意事業	9,278千円	9,094千円	-	-	-														
<p>※介護予防・日常生活支援総合事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者地域ふれあいサロン事業</li> <li>・ICT高齢者いきいき健康アップ事業</li> </ul> <p>※包括的支援事業・任意事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はいかい高齢者家族支援サービス事業</li> <li>・在宅要介護高齢者等紙おむつ購入費助成事業</li> </ul> <p>※平成29年度まで介護保険課で一括計上していた繰出金を、平成30年度から各担当課で計上</p>																			

事業名：介護保険事業特別会計（地域支援）に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
03	01	02	19	本年	65,354			64,741		64,741	100.0																								
			前年	59,958			57,826		57,826	100.0																									
			比較	5,396			6,915		6,915	-																									
【参考】前々年度																																			
目的		平成12年度から実施している介護保険制度に係る事務を円滑に執り行うため。																																	
概要及び成果		<p>1 一般会計から介護保険事業特別会計への地域支援事業費の繰出しを行う。</p> <p>市町村の一般会計における負担割合は、介護保険法第124条により、介護給付及び予防給付に要する経費等の12.5%、包括的支援事業に要する経費の19.25%と定められている。</p> <p>【成果】 事業の安定運営を図るため、以下のとおり繰出した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定介護予防支援 職員関係経費</td> <td>8,991千円</td> <td>10,805千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>介護予防・日常生活支援 総合事業</td> <td>1,176千円</td> <td>1,721千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>包括的支援事業・ 任意事業</td> <td>54,574千円</td> <td>45,300千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度まで介護保険課で一括計上していた繰出金を、平成30年度から各担当課で計上</p>											令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	指定介護予防支援 職員関係経費	8,991千円	10,805千円	-	-	-	介護予防・日常生活支援 総合事業	1,176千円	1,721千円	-	-	-	包括的支援事業・ 任意事業	54,574千円	45,300千円	-	-	-
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																														
指定介護予防支援 職員関係経費	8,991千円	10,805千円	-	-	-																														
介護予防・日常生活支援 総合事業	1,176千円	1,721千円	-	-	-																														
包括的支援事業・ 任意事業	54,574千円	45,300千円	-	-	-																														

事業名：介護保険事業特別会計（健康増進）に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
03	01	02	20	本年	3,317			3,317		3,317	100.0												
			前年	2,948			2,948		2,948	100.0													
			比較	369			369		369	-													
【参考】前々年度																							
目的		平成12年度から実施している介護保険制度に係る事務を円滑に執り行うため。																					
概要及び成果		<p>1 一般会計から介護保険事業特別会計へ地域支援事業費を繰り出す。</p> <p>市町村の一般会計における負担割合は、介護保険法第124条により、介護給付及び予防給付に要する経費等の12.5%と定められている。</p> <p>【成果】 事業の安定運営を図るため、以下のとおり繰り出した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防・日常生活支援 総合事業</td> <td>3,317千円</td> <td>2,948千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度まで介護保険課で一括計上していた繰出金を、平成30年度から各担当課で計上</p>											令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	介護予防・日常生活支援 総合事業	3,317千円	2,948千円	-	-	-
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																		
介護予防・日常生活支援 総合事業	3,317千円	2,948千円	-	-	-																		

事業名：介護保険低所得者負担対策に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	21	本年	101				101			
				前年	101				101			
				比較								-
【参考】前々年度					101				101			
目的				社会福祉法人が、その社会的役割の下に行う利用者負担額の軽減制度に対し、助成金を交付することにより介護保険サービスの利用促進を図るため。								
概要及び成果				1 国の特別対策 介護サービスの提供を行う社会福祉法人が、低所得者で特に生計が困難であるものに対して、利用者負担金を減免する場合の支援措置 <b>【成果】</b> 利用者負担額軽減制度助成金の請求はなかった。								

事業名：高齢者福祉計画の策定に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	22	本年	5,853		△ 89		5,764	1	5,406	93.8
				前年	1,665	1			1,666		1,230	73.8
				比較	4,188	△ 1	△ 89		4,098	1	4,176	-
【参考】前々年度					3,982	1			3,983	1	3,735	93.8
目的				つくば市高齢者福祉計画を策定し、高齢者福祉事業(ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援や認知症地域支援等)及び介護保険事業(介護保険サービスや介護予防・日常生活支援事業等)の計画的な推進を図るため。								
概要及び成果				1 高齢者福祉計画の策定のための会議の開催及びアンケート調査の実施 <b>【成果】</b> 第8期つくば市高齢者福祉計画の策定に向けて、高齢者福祉推進会議を開き、第7期計画の進捗状況評価の報告及びアンケート調査案の協議を行った。 アンケートは、自課の他に福祉関係部署で策定するつくば市地域福祉計画、つくば市自殺対策計画、つくば市在宅医療・介護連携推進事業意識調査業務などにも活用できるよう整理し、実施した。  9月 第1回高齢者福祉推進会議を開催 (第7期進捗状況評価の報告及びアンケート案の協議) 12月 アンケート調査内容の最終確認 1月 アンケート調査の実施 3月 アンケートの回収及びアンケート結果の集計								

事業名：老人福祉施設整備に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	23	本年	294,951		33,892		328,843	304,640	19,733	98.6
				前年	1,029		908		1,937		565	29.2
				比較	293,922		32,984		326,906	304,640	19,168	-
【参考】前々年度					2,759	12,718			15,477		12,306	79.5

目的

地域密着型サービスの施設整備を進めることにより、高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、認知症ケアの充実を図り、地域に開かれた良質なサービスの提供を確保し、また、在宅介護が困難な要介護者のために必要な介護保険施設の整備を図るため。

概要及び成果

施設整備事業

地域密着型サービスの施設整備を進めることにより、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で安全で安心して、尊厳ある生活ができるようにするためのサービス提供を確保する。また、在宅介護が困難な要介護者のために必要な介護保険施設の計画的な整備を図る。

【成果】

(1) 公募により選定された事業所により、谷田部東圏域及び桜圏域で地域密着型特別養護老人ホームを1施設ずつ整備するため、補助金の内示を行い、工事入札・契約・着工した。年度内に完成しなかったため、県へ繰越の申請をし、市の予算も繰り越した。

- 5月 県から内示
- 6月 事業所へ内示
- 10月 工事入札・契約・着工
- 1月 県へ繰越申請

(2) 地域密着型サービス運営委員会を2回開催した。

第1回	令和元年10月23日	事業所の指定	1件
		地域密着型通所介護の指定状況についての報告	5件
第2回	令和2年3月11日	事業所の指定	4件
		地域密着型通所介護の指定状況についての報告	1件

事業名：地域包括ケアシステム推進事業に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	24	本年	3,525		△ 3,525					
				前年	3,525		△ 3,525					
				比較								-
【参考】前々年度					3,525		△ 3,525					

目的

在宅医療サービスの取組拡充のため、訪問看護事業所、在宅療養支援診療所及び訪問リハビリテーション事業所が行う在宅医療に必要な機器整備等を支援することにより、在宅における療養環境の向上と地域包括ケアの推進を図るため。

概要及び成果

1 地域包括ケアシステム推進基盤整備事業

在宅医療サービスの基盤整備の充実を図るため、事業所が行う新規開設又は取組拡充に伴う機器整備として、在宅診療等で使用する医療機器の購入又はリースに係る経費(470万円を超える場合は470万円を上限とする。)に対し、県が4分の2、市町村が4分の1を助成する。

【成果】

新規開設や拡充する訪問看護事業所、在宅療養支援診療所及び訪問リハビリテーション事業所がなかった。

事業名：介護施設支援に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	25	本年	5,309				5,309		3,296	62.1
				前年	4,412				4,412		2,023	45.9
				比較	897				897		1,273	-
【参考】前々年度					7,300				7,300		410	5.6
目的		つくば市高齢者福祉計画に基づき、高齢化率及び高齢者数の増加に対し、市内介護従業者の確保・定着を促進し、介護サービスの安定した供給及びサービスレベルの向上を図るため。										
概要 及び 成果	1 つくば市介護職員就労スタートアップフォロー事業 介護業界未経験者の方で、市内介護事業所に新規に就労する方に対し、一時金を助成する。 【成果】											
			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度						
	助成件数		30 件	19 件	9 件	12 件						
2 つくば市介護職員キャリアアップ費用助成事業 市内介護事業所に6か月以上就労している方で、介護職員初任者研修または実務者研修を修了した者に対し、研修費用の一部助成を行う。 【成果】												
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度							
助成件数		5 件	14 件	0 件	1 件							
3 生活支援サポーター養成研修事業 外部事業者に委託して市の独自研修(旧ヘルパー3級)を実施する。 【成果】												
		令和元年度	平成30年度									
研修回数		1 回	2 回									
研修修了者数		11 人	23 人									

事業名：成年後見制度推進事業に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	26	本年	4,744				4,744		4,744	100.0
				前年	3,108				3,108		3,108	100.0
				比較	1,636				1,636		1,636	-
【参考】前々年度												
目的		認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、社会福祉法人等が成年後見人、保佐人または補助人となることにより、それらの人の財産管理や身上監護を行い、その権利を擁護するため。										
概要 及び 成果		つくば成年後見センターの設置 つくば成年後見センターの設置をしたことで、相談体制や後見人支援等の支援体制を強化することができ、つくば市における成年後見制度利用促進に向けた体制を整備した。										

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	11	本年	5,237			61	5,298		5,158	97.4
				前年	6,197				6,197		5,947	96.0
				比較	△ 960			61	△ 899		△ 789	-
【参考】前々年度					6,168				6,168		5,802	94.1

目的

身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳の交付により、一定の身体・精神障害の状態にある方に対して、公的な福祉サービスを受けやすくし、当事者や介護をする方の負担軽減を図るため。  
また、手帳交付者を援助し、自立と社会参加の促進・福祉の増進を図るため。

概要及び成果

1 受けることのできるサービスなど

身体及び精神の障害の種類及び程度・等級によって受けられるサービスが異なるが、主なものは以下のとおり。

- ① 医療費の助成(自立支援医療、医療福祉制度(マル福))
- ② 障害福祉サービス、補装具給付
- ③ 手当、公共料金の割引(NHK・水道)
- ④ 税金の控除・免除、交通費割引

【成果】

《身体障害者手帳交付者》

(つくば市交付)

つくば市内	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新規	333名	316名	343名	349名	328名
総数	5,054名	5,039名	4,950名	4,929名	4,918名

《療育手帳交付者》

(茨城県交付)

つくば市内	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
総数	1,293名	1,231名	1,194名	1,178名	1,124名

《精神障害者保健福祉手帳交付者》

(茨城県交付)

つくば市内	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
総数	1,365名	1,195名	1,122名	1,049名	928名

《手帳交付に伴う制度利用》

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
有料道路割引	931名	941名	895名	979名	909名
特別駐車券交付	525名	504名	351名	485名	514名
住宅リフォーム補助	0件	1件	1件	3件	2件

2 診断書料補助

- ① 身体障害者手帳交付申請時の診断書料の補助を行い、手帳取得時の負担の軽減を図っている。  
(原則として半額補助、補助上限額は3,500円。1障害区分について1度のみ対象。)
- ② 精神障害者保健福祉手帳取得時の診断書料の補助を行い、手帳取得時の負担の軽減を図っている。  
(原則として半額補助、補助上限額は3,500円。平成31年4月より初回申請のみ対象。)

【成果】

《補助実績》

区分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
身体	人数	361名	383名	398名	401名	403名
	公費負担額	1,227,700円	1,306,195円	1,340,440円	1,372,110円	1,363,725円
精神	人数	200名	465名	399名	400名	349名
	公費負担額	533,215円	1,266,155円	1,086,125円	1,112,895円	958,921円

事業名：補装具の援助に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	12	本年	35,534		10,041	△ 566	45,009		43,635	96.9
				前年	40,388		3,784	△ 3,278	40,894		38,444	94.0
				比較	△ 4,854		6,257	2,712	4,115		5,191	-
【参考】前々年度					40,136		5,920	27	46,083		34,484	74.8

目的

身体に障害のある方の失われた身体機能を補うための、補装具(義足、車いす等)費の給付を行うことにより、日常生活や社会生活(職業生活)の便宜を図るため。

概要及び成果

1 身体障害者(児)補装具費支給事業

1) 対象者

身体障害者手帳所持者、難病患者等

2) 支給内容

① 肢体不自由

義肢、装具、車椅子、電動車椅子、座位保持装置、歩行補助杖、重度障害者用意思伝達装置

② 視覚障害

盲人安全つえ、義眼、眼鏡

③ 聴覚障害

補聴器

④ 身体障害児

座位保持椅子、起立保持具、頭部保持具

※ 介護保険により貸与が受けられる場合は、介護保険による給付が優先(車椅子、歩行器、歩行補助杖)

【成果】

《支給実績》

(交付・修理)

区分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	肢体不自由	247件	224件	233件	223件	249件
	視覚障害	14件	16件	15件	13件	22件
	聴覚障害	77件	75件	75件	66件	94件
	計	338件	315件	323件	302件	365件
公費負担額		42,130,287円	34,378,732円	31,841,551円	35,282,420円	31,948,610円

2 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助

身体障害者手帳の交付の対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器及びイヤモールドの購入に必要な費用の一部を補助し、当該難聴児の言語の習得及び健全な発達を支援する。

【成果】

《支給実績》

区分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数		10件	6件	12件	10件	8件
公費負担額		304,000円	188,000円	687,000円	364,000円	261,000円

事業名：日常生活の援助に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	13	本年	41,980			△ 1,257	40,723		36,792	90.3
				前年	34,522		4,034	△ 1,220	37,336		36,338	97.3
				比較	7,458		△ 4,034	△ 37	3,387		454	-
【参考】前々年度					34,558			2,219	36,777		34,467	93.7

目的

在宅の身体及び知的障害のある方に対し、日常生活用具として、介護訓練支援用具、自立生活支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、居宅活動補助用具等を給付し、日常生活の利便を図るため。本事業は障害者総合支援法第77条に基づく地域生活支援事業であり、市町村の必須事業となっている。

概要及び成果

1 日常生活用具給付

1) 事業内容

在宅の身体及び知的・精神に障害のある方に対し、日常生活に必要な用具を給付する。  
(一部入院もしくは入所中においても給付が認められる用具も存在する)

2) 支給対象

身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を所持している在宅の方。難病患者のうち、意見書によりその用具が必要と認められる在宅の方。

3) 支給内容

- ① 肢体不自由 特殊寝台、特殊マット、移動用リフト、入浴補助用具、T字杖
- ② 視覚障害 盲人用時計、盲人用体温計、拡大読書器
- ③ 聴覚障害 聴覚障害者用屋内信号装置
- ④ 呼吸器機能障害 ネブライザー(吸入器)、電気式たん吸引器
- ⑤ 音声・言語・そしゃく機能障害 人工喉頭
- ⑥ ぼうこう機能障害、直腸機能障害 ストマ用装具

【成果】

《支給実績》

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	3,868件	3,605件	3,463件	3,310件	3,295件
公費負担額	36,679,189円	36,011,261円	34,155,408円	32,526,093円	32,140,452円

2 重度障害者(児)住宅リフォーム助成

1) 事業内容

住宅における移動を容易にするための工事に対し助成する。  
例) 扉の変更(開戸から引戸)、扉の幅の変更、便器の変更(和式から洋式)等。  
※助成額は対象工事費の3/4で、上限262,000円である。自己負担額はそれを除いた額。

2) 支給対象

身体障害者手帳の下肢、体幹又は移動機能障害1、2級の方(手帳の旅客鉄道株式会社旅行運賃減額欄に第1種の記載がある者に限る)、療育手帳④をお持ちの方で、改造が必要と認められる方、もしくはその方と同居する扶養義務者。

【成果】

《支給実績》

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	0件	1件	1件	3件	2件
公費負担額	0円	262,000円	262,000円	727,415円	430,527円



## 事業名：社会参加の促進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	14	本年	15,865				15,865		10,936	68.9
				前年	16,278			398	16,676		14,519	87.1
				比較	△ 413			△ 398	△ 811		△ 3,583	-
【参考】前々年度					13,866				13,866		12,666	91.3

目的	概要及び成果																																																																														
<p>在宅の障害のある方が、スポーツやレクリエーション及び各種事業に参加することにより、自らの生きがい高めると共に、社会参加の意欲を促進するため。 また、施設整備において、人にやさしいまちづくりを推進するため。</p>	<p>1 《おひさまサンサン生き生きまつり》 平成13年度から「身体障害者のスポーツ大会」と「福祉のまちフェスティバル」を統合し開催。平成18年度からは「高齢者いきいきまつり」との共同事業として実施。 【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加・来場者数(延べ)</td> <td>1,225人</td> <td>1,605人</td> <td>1,800人</td> <td>1,950人</td> <td>1,950人</td> </tr> <tr> <td>(内)障害者関係参加者数(延べ)</td> <td>478人</td> <td>706人</td> <td>651人</td> <td>670人</td> <td>636人</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>桜総合体育館</td> <td>研究学園駅前公園</td> <td>つくばカピオ</td> <td>つくばカピオ</td> <td>つくばカピオ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度は悪天候のため、桜総合体育館での実施</p> <p>2 《チャレンジアートフェスティバル》 作品の展示(つくば美術館)と演劇等の舞台発表(つくばカピオ)をとおして、生きがい高め、自立と社会参加を促進するとともに、市民の障害に対する理解を深めることを目的に実施。 【成果】 (出展者・出演者含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加・来場者数(延べ)</td> <td>1,556人</td> <td>4,502人</td> <td>4,570人</td> <td>4,457人</td> <td>4,073人</td> </tr> <tr> <td>(内)来場者数(延べ)</td> <td>746人</td> <td>3,316人</td> <td>3,100人</td> <td>2,947人</td> <td>2,659人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため作品展示のみの実施</p> <p>3 《体験乗馬療法》 乗馬を通して動物とふれあう心を養い、騎乗することで障害のある方の身体や心の機能回復を支援することを目的に実施。平成19年度からは「まつりつくば」において実施。 【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数(延べ)</td> <td>418人</td> <td>403人</td> <td>409人</td> <td>194人</td> <td>462人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 《障害児スポーツ教室》 スポーツをとおして、障害のある子の体力の増強、他者との交流の促進、余暇の充実等を図ることを目的に実施。また、集団活動を行うことにより、社会生活の基盤を築き、自立と社会参加の促進を図る。 【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数(延べ)</td> <td>192人</td> <td>176人</td> <td>145人</td> <td>152人</td> <td>123人</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 《奉仕員等養成研修》 手話、点字、朗読及び要約筆記の技術習得のため、講座形式により、奉仕員を養成する。 【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修了者数</td> <td>47人</td> <td>44人</td> <td>50人</td> <td>56人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 《音声誘導装置・いす式階段昇降機の定期的な保守点検》 茨城県「ひとにやさしいまちづくり条例」の推進の観点から実施。お年寄りや身体の不自由な方が、いすに座ったまま階段を昇り降りできる階段昇降機の保守点検。 【成果】 市内7か所に設置してある「音声誘導装置」、及び市内公共施設4か所に設置してある「いす式階段昇降機」について、定期的な保守点検を実施。</p>	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加・来場者数(延べ)	1,225人	1,605人	1,800人	1,950人	1,950人	(内)障害者関係参加者数(延べ)	478人	706人	651人	670人	636人	会場	桜総合体育館	研究学園駅前公園	つくばカピオ	つくばカピオ	つくばカピオ	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加・来場者数(延べ)	1,556人	4,502人	4,570人	4,457人	4,073人	(内)来場者数(延べ)	746人	3,316人	3,100人	2,947人	2,659人	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加者数(延べ)	418人	403人	409人	194人	462人	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加者数(延べ)	192人	176人	145人	152人	123人	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	修了者数	47人	44人	50人	56人	36人
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																										
参加・来場者数(延べ)	1,225人	1,605人	1,800人	1,950人	1,950人																																																																										
(内)障害者関係参加者数(延べ)	478人	706人	651人	670人	636人																																																																										
会場	桜総合体育館	研究学園駅前公園	つくばカピオ	つくばカピオ	つくばカピオ																																																																										
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																										
参加・来場者数(延べ)	1,556人	4,502人	4,570人	4,457人	4,073人																																																																										
(内)来場者数(延べ)	746人	3,316人	3,100人	2,947人	2,659人																																																																										
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																										
参加者数(延べ)	418人	403人	409人	194人	462人																																																																										
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																										
参加者数(延べ)	192人	176人	145人	152人	123人																																																																										
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																										
修了者数	47人	44人	50人	56人	36人																																																																										

事業名：特別障害者手当等支給に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	15	本年	119,543				119,543		114,759	96.0
				前年	117,898		21		117,919		111,128	94.2
				比較	1,645		△ 21		1,624		3,631	-
【参考】前々年度					111,961				111,961		107,814	96.3

目的

在宅で身体又は精神に重度の障害を有する方、及び父母などの養育者に手当を支給することにより、日常生活における介護の負担を軽減し、障害者福祉の増進を図るため。  
また、つくば市独自の制度として、茨城県から指定難病特定医療費受給の認定を受けている難病のある方に対して、「難病患者福祉金」を支給している。

概要及び成果

- 1 特別障害者手当  
精神又は身体に著しく重度の障害が重複又は最重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の20歳以上の方に支給。
- 2 障害児福祉手当  
精神又は身体に重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の方に支給。  
① 療育手帳の判定がマルA又は同程度の障害  
② 身体障害者手帳1級又は同程度の障害
- 3 経過的福祉手当  
昭和61年3月31日において20歳以上で、従来の福祉手当の受給者のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、障害基礎年金も支給されない重度障害者に支給。
- 4 在宅障害児福祉手当  
次のいずれかに該当する20歳未満の障害のある方を養育している保護者(同居者)に支給。  
① 療育手帳の判定がマルA、A、B程度の知的障害、又は同程度の精神障害  
② 身体障害者手帳1級～3級程度の障害(内部疾患を含む)。下肢は4級の一部
- 5 特別児童扶養手当  
次のいずれかに該当する20歳未満の障害のある方を養育している保護者(監護している父母又は養育者)に支給。  
① 療育手帳の判定がマルA、A、B程度の知的障害、又は同程度の精神障害  
② 身体障害者手帳1級～3級程度の障害(内部疾患を含む)。下肢は4級の一部
- 6 難病患者福祉金  
茨城県が認定する『指定難病特定医療』、又は『一般特定疾患医療』の受給者に対し支給。令和元年7月から医療費助成の対象疾患が約333疾患に拡大された。
- 7 認定等各種処理及び手当の支給

(1) 特別障害者手当	月額 27,200円	支給月	2、5、8、11月
(2) 障害児福祉手当	月額 14,790円	支給月	2、5、8、11月
(3) 経過的福祉手当	月額 14,790円	支給月	2、5、8、11月
(4) 在宅障害児福祉手当	月額 5,000円	支給月	4、8、12月
(5) 特別児童扶養手当	月額(1級) 52,200円	支給月	4、8、11月
	月額(2級) 34,770円	支給月	
(6) 難病患者福祉金	月額 3,000円	支給月	9、3月

手当区分	支給対象者				
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
特別障害者手当	84名	85名	80名	80名	77名
障害児福祉手当	124名	140名	125名	135名	124名
経過的福祉手当	4名	4名	5名	5名	5名
在宅障害児福祉手当	362名	349名	342名	347名	314名
特別児童扶養手当	408名	405名	387名	379名	357名
難病患者福祉金	1,355名	1,268名	1,292名	1,250名	1,115名

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	16	本年	3,249,559		223,192		3,472,751		3,464,451	99.8
				前年	2,826,060		210,301	19,928	3,056,289		3,055,328	100.0
				比較	423,499		12,891	△ 19,928	416,462		409,123	-
【参考】前々年度					2,553,705		256,451		2,810,156		2,749,690	97.8

目的 障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために、障害の種別(身体・知的・精神)にかかわらず、必要なサービスを利用することができるように支援を行い、障害のある方の福祉の増進を図るため。

1 障害支援区分認定審査会

- 1) 1合議体6名の委員で構成し、4合議体を設置する。
- 2) 障害福祉サービスの支給申請書と認定調査、医師意見書を基に障害支援区分の認定審査を行う。
- 3) 障害支援区分1から区分6までの判定を行い、障害福祉サービスの支給量を併せて決定する。

【成果】

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催回数	12回	12回	12回	12回	12回
審査判定件数	291件	302件	251件	229件	262件

2 障害福祉サービスの支給状況

市から支給の決定を受けると、利用者はサービス事業所を選択し、利用に関する契約を事業所と結ぶ。サービスを利用後は、サービスに係る経費の原則1割を利用者が負担する。ただし、利用者の所得に応じて負担上限額が決められており、負担が重くなりすぎないように配慮されている。

【成果】

区分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	
障害者総合支援法	介護給付	居宅介護	166件	147件	152件	141件	141件
		重度訪問介護	23件	21件	18件	14件	14件
		行動援護	9件	0件	8件	7件	9件
		同行援護	20件	9件	23件	26件	22件
		重度障害者等包括支援	0件	0件	0件	0件	0件
		療養介護	9件	10件	10件	9件	13件
		生活介護	300件	282件	260件	252件	253件
	訓練等給付	短期入所	462件	436件	411件	390件	409件
		施設入所支援	144件	140件	144件	146件	152件
		自立訓練(宿泊)	4件	6件	4件	1件	2件
		自立訓練(機能)	19件	19件	15件	9件	1件
		自立訓練(生活)	35件	28件	26件	27件	28件
		就労移行支援	80件	69件	68件	62件	86件
		就労継続支援(A型)	61件	82件	82件	79件	66件
就労継続支援(B型)	366件	338件	294件	257件	234件		
就労定着支援	15件	4件	-	-	-		
自立生活援助	0件	0件	-	-	-		
共同生活援助	156件	135件	130件	113件	114件		
計画相談支援	1,010件	946件	883件	821件	790件		
地域移行支援	0件	0件	0件	2件	0件		
地域定着支援	2件	3件	1件	2件	0件		
児童福祉法	児童発達支援	388件	351件	227件	262件	192件	
	放課後等デイサービス	545件	478件	457件	296件	225件	
	保育所等訪問支援	3件	2件	2件	0件	0件	
	居宅訪問型児童発達支援	0件	0件	-	-	-	
	障害児相談支援	144件	103件	88件	48件	27件	
合計		3,961件	3,609件	3,303件	2,962件	2,778件	

※件数は年度末

概要及び成果

## 事業名：心身障害者扶養共済に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	17	本年	8,160		620	120	8,900		8,900	100.0
				前年	8,640				8,640		8,310	96.2
				比較	△ 480		620	120	260		590	-
【参考】前々年度					8,880			190	9,070		8,890	98.0

## 目的

相互扶助の精神に基づき、保護者が生存中に一定額の掛金を納付することにより、保護者に万一のこと(死亡・重度障害)があったときに、障害のある方に終身一定額の年金を支給し、生活の安定と福祉の増進に資するとともに、障害のある方の将来に対して保護者の抱く不安の軽減を図るため。

## 概要及び成果

## 1 加入要件

《保護者》

障害のある方を扶養している保護者(父母、配偶者、兄弟姉妹、祖父母、その他の親族など)であって、次のすべての要件を満たしている方。

- ① 加入時の4月1日時点の年齢が満65歳未満であること。
- ② 特別の疾病又は障害がなく、生命保険契約の対象となる健康状態であること。
- ③ 障害のある方1人に対して、加入できる保護者は1人であること。

《対象者》

下記のいずれかに該当する方で、将来独立自活することが困難であると認められる方。

※年齢は問わない

- ① 療育手帳の所持者。
- ② 身体障害者手帳を所持し、その障害が1級から3級までに該当する方。
- ③ 精神又は身体に永続的な障害のある方で、障害の程度が①または②と同程度と認められる方。

## 2 掛金

所定の期間、掛金を滞納したときは、加入者としての地位を失うことになる。なお、掛金の額、加入時(口数追加の場合は口数追加時)の年度の4月1日時点の加入者の年齢に応じて決まる。

加入時の年度の 4月1日時点の年齢	一口あたり 掛金月額
35歳未満	9,300円
35歳以上40歳未満	11,400円
40歳以上45歳未満	14,300円
45歳以上50歳未満	17,300円
50歳以上55歳未満	18,800円
55歳以上60歳未満	20,700円
60歳以上65歳未満	23,300円

※掛金は、下記「要件1」「要件2」の両方に該当するまで払込む。両方の要件に該当した後は、掛金の払込みは不要となる。

(要件1) 加入日から20年経過

(要件2) 加入日から加入者が4月1日時点で満65歳である年度の加入応当日の前日までの期間

## 3 年金給付

加入者が障害のある方の生存中にお亡くなりになられたとき、又は加入日以後の疾病又は災害を原因として、重度障害状態にあると認められたときは、その月の分から終身にわたり、障害のある方に年金が支給される。

1口加入の方 月額2万円(年額24万円)      2口加入の方 月額4万円(年額48万円)

【成果】

区分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加入者		57人	58人	59人	58人	54人
年金	受給者	28人	28人	28人	30人	27人
	支給額	8,900,000円	8,310,000円	8,890,000円	8,520,000円	7,200,000円

※数値は年度末

## 4 弔慰金の支給

1年以上加入した後、加入者の生存中に障害のある方がお亡くなりになられたときは、加入期間に応じて、加入者に弔慰金が支給される。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	18	本年	107,978		287	△ 284	107,981		102,597	95.0
				前年	95,341		6,550	△ 298	101,593		92,284	90.8
				比較	12,637		△ 6,263	14	6,388		10,313	-
【参考】前々年度					94,745		1,353	△ 190	95,908		92,622	96.6

目的

障害者総合支援法第77条に基づき、地域の特性や本人の状況に応じた柔軟な形態により、障害のある方が自立した日常・社会生活を営むことができるようにするため。

概要及び成果

- 《重度身体障害者訪問入浴サービス利用費助成金支給事業》  
 家庭において介護なしでは入浴することが困難な重度身体障害者が、訪問入浴サービスを利用した際に要する費用の助成を行うもの。

【成果】

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
支給決定者	22人	22人	22人	24人	22人
延べ実施回数	1,329回	1,305回	1,336回	1,348回	1,046回
- 《移動支援サービス利用費助成金支給事業》  
 障害のある方の外出に際して、ヘルパーが付添介護をした際に要する費用の助成を行うもの。

【成果】

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
支給決定者	91人	83人	79人	78人	79人
延べ実施回数	547回	585回	586回	580回	698回
- 《日中一時預かりサービス利用費助成金支給支援事業》  
 障害のある方を介護する家族が、施設等において、障害のある方を一時的(宿泊を伴わない)に預けるサービスを利用した際に要する費用の助成を行うもの。

【成果】

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
支給決定者	510人	553人	484人	433人	411人
延べ実施回数	20,327回	18,887回	15,494回	14,595回	11,358回
- 《意思疎通支援事業》  
 障害のために意思疎通に支障のある方に、手話通訳者又は要約筆記者の派遣を行うもの。

【成果】

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
手話通訳者派遣件数	385件	375件	341件	295件	244件
要約筆記者派遣件数	43件	18件	20件	32件	21件
- 《障害者福祉タクシー利用料金助成事業》  
 助成要件に該当する障害のある方に、タクシー利用助成券を交付するもの。

【成果】

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付冊数	735冊	609冊	560冊	515冊	543冊
利用枚数	10,544枚	5,417枚	4,881枚	5,166枚	4,902枚

※平成30年度までは初乗り運賃(24枚綴り)の助成、令和元年度からは500円券(1回2枚まで使用可:36枚綴り)に変更。
- 《地域活動支援センター事業》  
 地域において自立した日常・社会生活を営むことができるように、通所にて創作的活動や生産活動の機会を提供、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行う事業。

【成果】

区分	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	I型	Ⅲ型	I型	Ⅲ型	I型	Ⅲ型	I型	Ⅲ型	I型	Ⅲ型
一日当たり利用者数	24人	17人	27人	19人	29人	20人	26人	20人	25人	23人
年間延べ利用者数	6,405人	4,234人	7,335人	4,581人	7,650人	4,734人	6,997人	4,803人	6,786人	5,797人

※委託先 I型:(福)創志会ライフサポートセンターみどりの (相談支援除く)  
 Ⅲ型:(福)ゆっくら地域活動支援センターわかば

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	19	本年	163,001		17,307	1,762	182,070		181,938	99.9
				前年	163,223		667	4,498	168,388		168,258	99.9
				比較	△ 222		16,640	△ 2,736	13,682		13,680	-
【参考】前々年度					152,466		9,689		162,155		160,433	98.9

目的

身体に障害のある方が、障害を除いたり、軽減したりするための医療を受けた場合の、医療費総額の自己負担分3割のうち2割(生活保護者は全額)を公費で助成することにより、障害のある方の自立した日常・社会生活を促進するため。

1 《更生医療》

身体障害者手帳の交付を受けている18歳以上の方が対象。身体障害者手帳に記載されている障害原因と因果関係があり、医療を行うことにより、その障害が改善・機能の維持・回復を図ることができる方に対して、指定医療機関で受けた手術等の医療費を助成する。

- ① 聴覚障害 人工内耳埋込術
- ② 肢体不自由 人工関節置換術
- ③ 内部障害 人工透析、腎移植術後の抗免疫療法
- ④ 免疫機能障害 抗HIV療法等

【成果】

《給付実績》

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	166件	69件	66件	58件	43件
公費負担額	178,070,803円	163,760,190円	155,171,601円	152,422,327円	105,198,191円

2 《育成医療》

18歳未満の障害を有する児童や、現存する疾患を放置すると将来において障害を残すと認められる児童が対象。身体障害を除去・軽減する手術などの治療によって「確実に効果が期待できる者」に対して、指定医療機関で受けた手術等の医療費を助成する。

- ① 聴覚障害 人工内耳埋込術
- ② 音声・言語障害 口蓋裂形成術・歯科矯正治療・言語訓練
- ③ 肢体不自由 脊柱側弯症の補装具治療
- ④ 内部障害 体肺動脈短絡術・心室中隔欠損閉鎖術・グレン術

【成果】

《給付実績》

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	22件	27件	24件	26件	28件
公費負担額	2,412,207円	2,139,059円	1,686,764円	2,727,128円	1,972,275円

3 《精神通院医療》

自立支援医療受給者証の交付を受けている、統合失調症などの精神疾患により、「通院」を継続的にを行っている方に対して、指定医療機関で受けた医療等の医療費を助成する。

○統合失調症、うつ病・躁うつ病などの気分障害、不安障害、アルコール・薬物などの精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害、てんかんなど。

【成果】

《自立支援医療受給者証交付実績》

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	2,731件	2,507件	2,090件	2,128件	1,950件

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	20	本年	28,447				28,447		25,999	91.4
				前年	22,318			△ 320	21,998		20,790	94.5
				比較	6,129			320	6,449		5,209	-
【参考】前々年度					20,915				20,915		20,122	96.2

目的	概要及び成果																																																																																																																	
<p>窓口における面談、電話、訪問、メールなどによって、福祉に関する相談を受け、相談者の主訴を聴き取り、相談内容に適した担当窓口につながるよう調整を行うため。 障害者総合支援法に基づく、「障害者相談支援事業」、「発達障害相談事業」、「障害者虐待防止事業」、「自立支援協議会の運営」、「成年後見制度利用支援事業」などを行い、障害のある方の地域生活をサポートするため。</p>	<p>1 《障害者相談支援事業》 民生委員や児童委員・各種相談員・各分野の有識者、関係機関などと連携し、障害福祉に関する相談等について横断的に対応する。又、業務の一部を民間事業所に委託し、地域移行・定着を推進する。 【成果】 《窓口相談、訪問相談件数》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> </tr> <tr> <th>直営</th> <th>民間委託</th> <th>直営</th> <th>民間委託</th> <th>直営</th> <th>民間委託</th> <th>直営</th> <th>民間委託</th> <th>直営</th> <th>民間委託</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来庁</td> <td>63件</td> <td>406件</td> <td>68件</td> <td>435件</td> <td>71件</td> <td>433件</td> <td>38件</td> <td>214件</td> <td>53件</td> <td>185件</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>200件</td> <td>3,194件</td> <td>163件</td> <td>2,892件</td> <td>149件</td> <td>4,044件</td> <td>274件</td> <td>1,835件</td> <td>370件</td> <td>2,147件</td> </tr> <tr> <td>訪問</td> <td>29件</td> <td>2,116件</td> <td>31件</td> <td>1,840件</td> <td>29件</td> <td>1,058件</td> <td>16件</td> <td>513件</td> <td>17件</td> <td>563件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>292件</td> <td>5,716件</td> <td>262件</td> <td>5,167件</td> <td>249件</td> <td>5,535件</td> <td>328件</td> <td>2,562件</td> <td>440件</td> <td>2,895件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成19年度から2事業所に業務委託。24年度、29年度に1事業所ずつ追加し、市内4事業所に業務委託している。</p> <p>2 《発達障害相談事業》 臨床心理士等4名により、個別相談の他、関係施設(福祉支援センター、子育て支援センター等)における巡回相談を実施し、発達障害児の早期発見・早期療育を推進する。 【成果】 《発達障害巡回相談件数》 ※延べ件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別相談(来庁・電話)</td> <td>327件</td> <td>382件</td> <td>448件</td> <td>212件</td> <td>118件</td> </tr> <tr> <td>巡回相談</td> <td>826件</td> <td>906件</td> <td>973件</td> <td>814件</td> <td>770件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,153件</td> <td>1,288件</td> <td>1,421件</td> <td>1,026件</td> <td>888件</td> </tr> <tr> <td>(うち発達検査・知能検査数)</td> <td>217件</td> <td>284件</td> <td>213件</td> <td>190件</td> <td>135件</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 《障害者虐待防止事業》 地域における関係機関等の協力体制の整備・充実を図るとともに、家庭訪問等個別支援事業、普及啓発事業により、障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応及びその後の適切な支援を行う。 【成果】 《障害者虐待防止センター通報実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>9件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>(うち虐待であった件数)</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 《つくば市障害者自立支援協議会》 障害のある方が地域において自立した生活を営むことができるよう、相談支援体制や障害者福祉に関するシステム等について協議を行う場として設置している。〔29～31年度18名の委員で構成〕</p> <p>5 《成年後見制度利用支援事業》 判断能力の不十分な者(知的・精神障害者)を、法律面や生活面で保護支援する制度。親族等による成年後見の申立てができない場合には、市長が家庭裁判所に申立てを行い、その費用を助成する。</p>	区分	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		直営	民間委託	直営	民間委託	直営	民間委託	直営	民間委託	直営	民間委託	来庁	63件	406件	68件	435件	71件	433件	38件	214件	53件	185件	電話	200件	3,194件	163件	2,892件	149件	4,044件	274件	1,835件	370件	2,147件	訪問	29件	2,116件	31件	1,840件	29件	1,058件	16件	513件	17件	563件	計	292件	5,716件	262件	5,167件	249件	5,535件	328件	2,562件	440件	2,895件	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	個別相談(来庁・電話)	327件	382件	448件	212件	118件	巡回相談	826件	906件	973件	814件	770件	計	1,153件	1,288件	1,421件	1,026件	888件	(うち発達検査・知能検査数)	217件	284件	213件	190件	135件	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	件数	6件	5件	5件	9件	12件	(うち虐待であった件数)	1件	0件	1件	1件	1件
区分	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度																																																																																																									
	直営	民間委託	直営	民間委託	直営	民間委託	直営	民間委託	直営	民間委託																																																																																																								
来庁	63件	406件	68件	435件	71件	433件	38件	214件	53件	185件																																																																																																								
電話	200件	3,194件	163件	2,892件	149件	4,044件	274件	1,835件	370件	2,147件																																																																																																								
訪問	29件	2,116件	31件	1,840件	29件	1,058件	16件	513件	17件	563件																																																																																																								
計	292件	5,716件	262件	5,167件	249件	5,535件	328件	2,562件	440件	2,895件																																																																																																								
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																																																													
個別相談(来庁・電話)	327件	382件	448件	212件	118件																																																																																																													
巡回相談	826件	906件	973件	814件	770件																																																																																																													
計	1,153件	1,288件	1,421件	1,026件	888件																																																																																																													
(うち発達検査・知能検査数)	217件	284件	213件	190件	135件																																																																																																													
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																																																													
件数	6件	5件	5件	9件	12件																																																																																																													
(うち虐待であった件数)	1件	0件	1件	1件	1件																																																																																																													

事業名：児童発達支援センターに要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	03	21	本年	504				504		48	9.5
				前年	673				673		232	34.5
				比較	△ 169				△ 169		△ 184	-
【参考】前々年度												
目的		障害児の療育支援体制の充実を図るため、つくば市障害福祉計画(第5期)・つくば市障害児福祉計画(第1期)の中で、児童発達支援センターを設ける目標を掲げ、設置検討を進めているため。										
概要及び成果		<p>【概要】 障害児に対する療育訓練と保護者への支援を包括的に実施する上で、中核的役割をもつ児童発達支援センターを新設する。</p> <p>【成果】 ・平成30年度から実施してきたつくば市における児童発達支援センターの在り方に関する検討会から、児童発達支援センターの機能、期待される役割を担うための機能の在り方をまとめた提言が出され、今後の施設整備の方針とすることができた。 ・設置場所については、中央消防庁舎跡地の賛成意見が多かった。その後、同跡地の利活用について筑波大学から提案があり、今後、事業実施に向け相互に連携していくための覚書を交わした。</p>										



事業名：後期高齢者医療に要する経費

保健福祉部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	04	11	本年	1,944,672		△ 12,095		1,932,577		1,917,743	99.2
				前年	1,887,750		12,459		1,900,209		1,894,693	99.7
				比較	56,922		△ 24,554		32,368		23,050	-
【参考】前々年度					1,829,146		6,373		1,835,519		1,824,635	99.4

目的

後期高齢者の健康保持と適切な医療の確保を図るため。

概要及び成果

- 1 後期高齢者医療特別会計への繰出金の支出及び茨城県後期高齢者医療広域連合への負担金の支出  
【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
特別会計への繰出金	337,648千円	351,278千円	338,431千円	335,394千円	329,749千円
広域連合への負担金	1,511,165千円	1,481,842千円	1,430,958千円	1,380,113千円	1,337,444千円
被保険者数	21,882人	21,221人	20,337人	19,599人	18,812人

- (1) 特別会計への繰出金は、主に保険基盤安定繰出分の減額により、前年比13,630千円の減であった。  
(2) 広域連合への負担金は、主に療養給付費が増加したことにより、前年比29,323千円の増であった。

- 2 保健事業

- (1) 高齢者健康診査受診率

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
市受診率	32.27%	31.36%	29.87%	27.93%	26.96%

- (2) 人間ドック等助成

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
人間ドック	350人	343人	306人	235人	208人
脳ドック	15人	19人	14人	10人	13人
総合ドック	49人	45人	22人	34人	30人

- (3) 高齢者の低栄養防止のための食生活改善教室

	令和元年度	
	谷田部	荃崎
参加人数	34人	32人

平成30年度健診結果よりBMI20以下を対象者として抽出し、管理栄養士による個別指導等を実施。

事業名：医療福祉費支給に要する経費

保健福祉部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	05	11	本年	1,660,347		64,801		1,725,148		1,685,441	97.7
				前年	1,633,149		11,062		1,644,211		1,641,693	99.8
				比較	27,198		53,739		80,937		43,748	-
【参考】前々年度					1,625,491		3,104		1,628,595		1,613,849	99.1

目的 医療費の一部を助成することにより、対象者の健康の保持増進を図り、生活の安定と福祉の向上に寄与するため。

1 医療費助成

- (1) 小児(外来:小学6年生まで・入院:高校3年生まで)・ひとり親家庭・妊産婦・重度心身障害者などが、医療保険で医療機関を受診した場合の一部負担金相当額について、茨城県制度により助成(所得制限有り)している。
- (2) 小児(中学3年生まで)で、所得制限により県制度が非該当の方と、中学生の外来については、つくば市独自により助成している。
- (3) 医療機関から請求されるレセプト(診療報酬明細書)の審査及び医療福祉費の支払い事務を県国保連合会及び社会保険診療報酬支払基金に委託し、それに伴う手数料の支払いをしている。

【成果】 ※受給者数は各年度末

県制度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受給者数	42,625人	42,487人	38,420人	38,236人	28,393人
医療費助成額	1,375,979千円	1,346,950千円	1,342,507千円	1,217,859千円	1,171,929千円
審査支払手数料	29,858千円	30,320千円	30,797千円	29,208千円	26,147千円

市独自制度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受給者数	11,444人 ※1	10,996人 ※2	10,640人 ※3	10,213人 ※4	17,404人 ※5
医療費助成額	260,001千円	239,492千円	211,372千円	293,929千円	332,771千円
審査支払手数料	7,200千円	7,092千円	7,106千円	12,544千円	14,760千円

※1 令和元年度市独自制度受給者数のうち4,334人は県制度との重複受給者

※2 平成30年度市独自制度受給者数のうち4,302人は県制度との重複受給者

※3 平成29年度市独自制度受給者数のうち4,329人は県制度との重複受給者

※4 平成28年度市独自制度受給者数のうち4,350人は県制度との重複受給者

※5 平成27年度市独自制度受給者数のうち2,572人は県制度との重複受給者

・平成28年10月1日に県制度による小児と妊産婦の所得制限額が拡大した。

・平成29年10月1日に市独自制度によるひとり親家庭への外来自己負担金の助成を開始した。

・平成30年10月1日に県制度において高校3年生相当までの入院が新たに対象となった。

・平成31年4月1日に県制度において精神障害者保健福祉手帳1級所持者が新たに対象となった。

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	06	11	本年	7,256				7,256		6,539	90.1
				前年	7,309		206		7,515		6,555	87.2
				比較	△ 53		△ 206		△ 259		△ 16	-
【参考】前々年度					6,915		172		7,087		6,392	90.2

目的

国民年金制度への信頼確保及び理解と関心を高め、社会保障制度の適正運用を図るため。

概要及び成果

1 国民年金被保険者関係届出事務

法定受託事務である、国民年金第1号被保険者・任意加入被保険者の資格取得・喪失、死亡、氏名変更、住所変更等被保険者に関する届出書の受付及び年金事務所への進達

【成果】 (受付及び進達件数)

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
6,683件	7,058件	8,026件	8,676件	8,842件

2 裁定請求受付事務

法定受託事務である老齢基礎年金等基礎年金給付請求書の受付及び年金事務所への進達

【成果】 (受付及び進達件数)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
老齢基礎年金	30件	35件	36件	35件	49件
障害基礎年金	86件	83件	85件	86件	74件
遺族基礎年金	3件	1件	4件	0件	1件
寡婦年金	1件	1件	2件	0件	0件
死亡一時金	13件	18件	19件	15件	21件
合計	133件	138件	146件	136件	145件

3 申請免除事務

経済的に保険料を納めることが困難な国民年金第1号被保険者が、申請により保険料の全額又は一部が免除又は猶予される制度(所得制限あり)の申請書の受付及び年金事務所への進達

【成果】 (受付及び進達件数)

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
5,425件	5,753件	5,526件	6,127件	5,249件

4 学生納付特例申請事務

学生等で経済的に保険料を納めることが困難な国民年金第1号被保険者が、申請により在学中の保険料の納付が猶予される制度(所得制限あり)の申請書の受付及び年金事務所への進達

【成果】 (受付及び進達件数)

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
4,477件	5,564件	4,317件	3,898件	3,916件

事業名：民間団体活動に要する経費

市民部 地域改善対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	07	11	本年	4,150				4,150		4,150	100.0
				前年	4,150				4,150		4,150	100.0
				比較							-	
【参考】前々年度					4,150				4,150		4,150	100.0

目的	部落の完全解放と基本的人権の確立のために同和問題の正しい理解と認識を深める啓発活動を展開する民間運動団体に対し支援を行い、人権・同和問題の早期解決(差別意識の解消等)に寄与するため。										
概要及び成果	<p>1 民間運動団体(茨城県対応団体)が実施する啓発活動等に対する支援</p> <p>【成果】</p> <p>民間運動団体活動補助</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>運動団体(支部)名</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部落解放愛する会茨城県連合会 つくば支部</td> <td>2,150,000円</td> </tr> <tr> <td>全日本同和会茨城県連合会 谷田部支部</td> <td>900,000円</td> </tr> <tr> <td>全日本同和会茨城県連合会 桜支部</td> <td>900,000円</td> </tr> <tr> <td>茨城県地域人権運動連合会 つくば支部</td> <td>200,000円</td> </tr> </tbody> </table>	運動団体(支部)名	補助金額	部落解放愛する会茨城県連合会 つくば支部	2,150,000円	全日本同和会茨城県連合会 谷田部支部	900,000円	全日本同和会茨城県連合会 桜支部	900,000円	茨城県地域人権運動連合会 つくば支部	200,000円
運動団体(支部)名	補助金額										
部落解放愛する会茨城県連合会 つくば支部	2,150,000円										
全日本同和会茨城県連合会 谷田部支部	900,000円										
全日本同和会茨城県連合会 桜支部	900,000円										
茨城県地域人権運動連合会 つくば支部	200,000円										

事業名：地域改善対策に要する経費

市民部 地域改善対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	07	12	本年	2,535				2,535		2,394	94.4
				前年	2,540				2,540		2,328	91.6
				比較	△ 5				△ 5		66	-
【参考】前々年度					2,200				2,200		2,086	94.8

目的	人権・同和問題の早期解決(差別意識の解消等)を図り、差別のない明るい社会を創出するため。また、市職員等の人権意識の醸成と高揚を図り、もって人権・同和問題の早期解決に寄与するため。
概要及び成果	<p>1 啓発活動</p> <p>人権・同和問題の早期解決を図る啓発活動を推進</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 人権・同和問題研修会 市職員研修 112名</p> <p>(2) 同和問題に関する相談 生活・人権相談所開設 相談件数 109件</p> <p>(3) 人権啓発用品の作成及び配布 ウエットティッシュ 1,500個 ボールペン 400本</p> <p>(4) 人権啓発ポスター掲示</p> <p>(5) 同和問題啓発リーフレット、えせ同和行為対応冊子の配布</p> <p>2 職員等の積極的な研修参加による人権・同和問題に対する理解・認識の向上</p> <p>【成果】</p> <p>人権・同和問題の早期解決(差別意識の解消等)に向けて、以下の研修会等へ参加</p> <p>(1) 部落解放愛する会主催 6回 50名</p> <p>(2) 全国人権連(茨城県地域人権運動連合会)主催 2回 13名</p> <p>(3) 全日本同和会主催 3回 6名</p> <p>(4) 部落解放同盟全国連合会主催 1回 2名</p> <p>(5) その他 国・地方自治体主催 研修会・講演会へ参加 12回 23名</p>

事業名：桜老人福祉センター運営に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	11	本年	23,614				23,614		22,177	93.9
				前年	20,174				20,174		18,753	93.0
				比較	3,440				3,440		3,424	-
【参考】前々年度					19,267				19,267		18,038	93.6

目的	高齢者の健康増進、教養の向上、レクリエーション活動及び利用者同士のコミュニケーションを図る場を提供するとともに、施設を良好な状態に維持し、利用者の利便性の向上と効率的な運営を図るため。												
概要及び成果	1 老人福祉センター施設の管理運営、各種活動団体への施設貸出し 【成果】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用者数</td> <td>24,111人</td> <td>29,215人</td> <td>26,137人</td> <td>24,410人</td> <td>24,519人</td> </tr> </tbody> </table> ※ 令和元年度は、浴槽修繕により6月下旬から8月上旬まで風呂利用を休止したため、利用数が減少した。		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	延利用者数	24,111人	29,215人	26,137人	24,410人	24,519人
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
延利用者数	24,111人	29,215人	26,137人	24,410人	24,519人								
2 施設設備等の改修・修繕 経年劣化により改修を必要とする設備等の修繕を行い、安全で快適な環境の整備及び維持に努めた。 【成果】 <table style="margin-left: 20px;"> <tbody> <tr> <td>(1) 浴槽タイル修繕工事 洋風呂浴槽タイルの張替修繕</td> <td style="text-align: right;">1,053,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 非常誘導灯・高圧受電設備修繕工事 高圧受電設備(キュービクル)内ブレーカーの交換修繕</td> <td style="text-align: right;">1,026,000円</td> </tr> <tr> <td>(3) 玄関床張替修繕工事 玄関ホール全面にあるタイルカーペットの張替修繕</td> <td style="text-align: right;">1,004,400円</td> </tr> <tr> <td>(4) 風呂用ポンプ修繕・浴室混合栓修繕 浴場施設の不具合による修繕</td> <td style="text-align: right;">732,700円</td> </tr> <tr> <td>(5) 照明器具LED交換修繕 廊下照明のLED化</td> <td style="text-align: right;">407,000円</td> </tr> </tbody> </table>	(1) 浴槽タイル修繕工事 洋風呂浴槽タイルの張替修繕	1,053,000円	(2) 非常誘導灯・高圧受電設備修繕工事 高圧受電設備(キュービクル)内ブレーカーの交換修繕	1,026,000円	(3) 玄関床張替修繕工事 玄関ホール全面にあるタイルカーペットの張替修繕	1,004,400円	(4) 風呂用ポンプ修繕・浴室混合栓修繕 浴場施設の不具合による修繕	732,700円	(5) 照明器具LED交換修繕 廊下照明のLED化	407,000円			
(1) 浴槽タイル修繕工事 洋風呂浴槽タイルの張替修繕	1,053,000円												
(2) 非常誘導灯・高圧受電設備修繕工事 高圧受電設備(キュービクル)内ブレーカーの交換修繕	1,026,000円												
(3) 玄関床張替修繕工事 玄関ホール全面にあるタイルカーペットの張替修繕	1,004,400円												
(4) 風呂用ポンプ修繕・浴室混合栓修繕 浴場施設の不具合による修繕	732,700円												
(5) 照明器具LED交換修繕 廊下照明のLED化	407,000円												

事業名：谷田部老人福祉センター運営に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	12	本年	35,110			154	35,264		34,480	97.8
				前年	35,557			852	36,409		34,234	94.0
				比較	△ 447			△ 698	△ 1,145		246	-
【参考】前々年度					77,757			913	78,670		73,787	93.8

目的	高齢者の健康増進、教養の向上、レクリエーション活動及び利用者同士のコミュニケーションを図る場を提供するとともに、施設を良好な状態に維持し、利用者の利便性の向上と効率的な運営を図るため。											
概要及び成果	1 老人福祉センターの管理運営、各種活動等への施設貸出し											
	【成果】											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	延利用者数	59,370人	54,191人	61,823人	66,607人	68,418人						
	2 身体にやさしいヨガ教室(全8回)                      2教室開設                      受講者60名											
	3 施設及び設備の維持 老朽化した施設・設備の改修、修繕(事後保全)を行い、適切な維持管理・合理化を図る。											
	【成果】											
	(1) 貯湯槽減圧弁修繕	491,400 円										
	(2) 法面修繕工事	324,000 円										
	(3) 駐車場照明設備修繕	280,800 円										
	ほか											

事業名：茎崎憩いの家管理に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	13	本年	11,712				11,712		10,991	93.8
				前年	5,603			999	6,602		6,081	92.1
				比較	6,109			△ 999	5,110		4,910	-
【参考】前々年度					4,634				4,634		4,350	93.9

目的	高齢者の健康増進、教養向上、レクリエーション活動等への場を提供し、かつ、利便性の向上と利用の拡大を図るため。											
概要及び成果	1 茎崎憩いの家管理運営 憩いの家の管理運営、憩いの家貸出業務											
	【成果】											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	延利用者数	1,215人	1,368人	1,472人	1,538人	1,328人						
	2 施設及び設備の維持											
	【成果】											
	(1) 雨樋修繕	75,600円										
	(2) 空調設備機器更新工事	1,274,400円										
	(3) 井戸設備圧力タンク修繕工事	638,000円										

事業名： 荃崎老人福祉センター運営に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	08	14	本年	19,513			1,298	20,811		19,807	95.2
				前年	32,279			1,667	33,946		32,656	96.2
				比較	△ 12,766			△ 369	△ 13,135		△ 12,849	-
【参考】前々年度				19,508			562	20,070		19,402	96.7	

目的	高齢者の健康増進、教養の向上、レクリエーション活動及び利用者同士のコミュニケーションを図る場を提供するとともに、施設を良好な状態に維持し、利用者の利便性の向上と効率的な運営を図るため。												
概要及び成果	<p>1 荃崎老人福祉センター管理運営 荃崎老人福祉センター及び荃崎農村高齢者交流センターの管理運営、部屋の貸出し</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用者数</td> <td>15,668人</td> <td>18,978人</td> <td>21,066人</td> <td>22,434人</td> <td>19,396人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ただし、福祉支援センターくさぎき通所者、社会福祉協議会事業等の利用者を含む。</p>	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	延利用者数	15,668人	18,978人	21,066人	22,434人	19,396人
	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
延利用者数	15,668人	18,978人	21,066人	22,434人	19,396人								
<p>2 施設及び設備の維持 施設の老朽化及び経年劣化に伴う施設建物・設備・機器の欠損又は故障に係る修繕工事。</p> <p>【成果】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(1) 加圧給水ポンプ及び冷温水配管漏水修繕工事</td> <td style="text-align: right;">671,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 空調用膨張タンク修繕工事</td> <td style="text-align: right;">605,000円</td> </tr> </table>	(1) 加圧給水ポンプ及び冷温水配管漏水修繕工事	671,000円	(2) 空調用膨張タンク修繕工事	605,000円									
(1) 加圧給水ポンプ及び冷温水配管漏水修繕工事	671,000円												
(2) 空調用膨張タンク修繕工事	605,000円												

## 事業名：福祉支援センターさくら運営に要する経費

保健福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	11	本年	64,085			164	64,249		51,904	80.8
				前年	24,413		1,296	△ 300	25,409		24,032	94.6
				比較	39,672		△ 1,296	464	38,840		27,872	-
【参考】前々年度					65,900				65,900		58,888	89.4

## 目的

障害者総合支援法に規定される、地域活動支援センターⅡ型の位置づけにより、在宅の身体・知的障害のある方に対し、市町村の必須事業である「地域活動支援サービス」を提供し、障害のある方の福祉の増進を図るため。  
また、障害のある就学前児童に対し、「児童発達支援サービス」を提供し、障害のある就学前児童並びにその保護者の福祉の増進を図るため。

## 概要及び成果

## 1 地域活動支援サービス

在宅の身体・知的障害のある方に対し、創作活動又は生産活動の機会を提供、社会との交流その他の便宜を供与することにより、障害のある方の生きがいづくりを支援し、福祉の増進を図る。

- (1) 事業実施日数 232日  
 (2) 1日当たり利用者定員 30名  
 (3) 利用登録者数 32名 (身体) 16名 (知的) 16名  
 (4) 送迎バス台数 3台  
 (5) 送迎バス利用登録者数 31名

## 【成果】

区分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
サービス利用者数		3,698人	3,945人	4,107人	4,161人	4,351人
(内訳)	(身体障害者)	(1,173人)	(1,373人)	(1,401人)	(1,600人)	(1,904人)
	(知的障害者)	(2,525人)	(2,572人)	(2,706人)	(2,561人)	(2,447人)
送迎バス利用		3,718人	4,283人	4,214人	4,204人	4,380人
(内訳)	(身体障害者)	(1,670人)	(2,246人)	(2,075人)	(2,017人)	(2,406人)
	(知的障害者)	(2,048人)	(2,037人)	(2,139人)	(2,187人)	(1,974人)

※延べ人数

## 2 児童発達支援事業

児童福祉法に規定される、児童発達支援の事業所指定を受け、発達の遅れがみられる就学前児童に対し療育に観点を置き、保護者同伴通所により「集団指導」と「個別指導」を実施し、障害のある就学前児童並びにその保護者の福祉の増進を図る。

- (1) 事業実施日数 226日  
 (2) 1日当たり利用者定員 20名  
 (3) 利用登録者数 60名

## 【成果】

区分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
サービス利用者数		1,699人	2,139人	2,064人	2,471人	2,493人

※延べ人数

## 3 施設維持管理

福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。

## 【成果】

- (1) 身体棟トイレ改修工事(修繕工事) 1,274,400円  
 (2) 高圧引込電柱改修工事(修繕工事) 1,287,000円  
 (3) 自動ドア修繕(修繕料) 486,400円  
 (4) 児童棟漏水修繕(修繕料) 352,000円



## 事業名：福祉支援センターやたべ運営に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	12	本年	18,404				18,404		17,887	97.2
				前年	6,218				6,218		6,042	97.2
				比較	12,186				12,186		11,845	-
【参考】前々年度					25,772				25,772		23,905	92.8

## 目的

障害者総合支援法に規定される、地域活動支援センターⅡ型の位置づけにより、在宅の身体・知的障害のある方に対し、市町村の必須事業である「地域活動支援サービス」を提供し、障害のある方の福祉の増進を図るため。

## 概要及び成果

## 1 地域活動支援サービス

在宅の身体・知的障害のある方に対し、創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流その他の便宜を供与することにより、障害のある方の生きがいを支援し、福祉の増進を図るため。

- 1) 事業実施日数 232日
- 2) 1日当たり利用者定員 20名
- 3) 利用登録者数 12名 (身体) 6名 (知的) 6名
- 4) 送迎バス台数 2台
- 5) 送迎バス利用登録者数 10名

## 【成果】

区分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
サービス利用者数		1,552人	1,683人	2,106人	2,067人	2,135人
(内訳)	(身体障害者)	(395人)	(486人)	(688人)	(648人)	(650人)
	(知的障害者)	(1,157人)	(1,197人)	(1,418人)	(1,419人)	(1,485人)
送迎バス利用		1,734人	2,072人	2,855人	2,398人	2,320人
(内訳)	(身体障害者)	(685人)	(845人)	(1,214人)	(1,077人)	(961人)
	(知的障害者)	(1,049人)	(1,227人)	(1,641人)	(1,321人)	(1,359人)

※延べ人数

## 2 施設維持管理

福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。

## 【成果】

- (1) トイレ・洗面台修繕 118,550円
- (2) 送迎バスタイヤ交換 99,800円

## 事業名：福祉支援センターとよさと運営に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	13	本年	42,145				42,145		32,640	77.4
				前年	16,687				16,687		15,297	91.7
				比較	25,458				25,458		17,343	-
【参考】前々年度					41,430			△ 2,246	39,184		36,650	93.5

目的	概要及び成果																																																																		
<p>障害者総合支援法に規定される、地域活動支援センターⅡ型の位置づけにより、在宅の身体・知的障害のある方に対し、市町村の必須事業である「地域活動支援サービス」を提供し、障害のある方の福祉の増進を図るため。</p> <p>また、障害のある就学前児童に対し、「児童発達支援サービス」を提供し、障害のある就学前児童並びにその保護者の福祉の増進を図るため。</p>	<p>1 地域活動支援サービス</p> <p>在宅の身体・知的障害のある方に対し、創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流その他の便宜を供与することにより、障害のある方の生きがいを支援し、福祉の増進を図るため。</p> <p>1) 事業実施日数 232日 2) 1日当たり利用者定員 20名 3) 利用登録者数 21名 (身体) 10名 (知的) 11名 4) 送迎バス台数 3台 5) 送迎バス利用登録者数 19名</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス利用者数</td> <td>2,081人</td> <td>2,399人</td> <td>2,472人</td> <td>2,381人</td> <td>2,686人</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  (身体障害者)</td> <td>(1,024人)</td> <td>(1,487人)</td> <td>(1,194人)</td> <td>(1,132人)</td> <td>(1,174人)</td> </tr> <tr> <td>  (知的障害者)</td> <td>(1,057人)</td> <td>(912人)</td> <td>(1,278人)</td> <td>(1,249人)</td> <td>(1,512人)</td> </tr> <tr> <td>送迎バス利用</td> <td>3,070人</td> <td>3,676人</td> <td>3,945人</td> <td>3,711人</td> <td>4,125人</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  (身体障害者)</td> <td>(1,850人)</td> <td>(1,918人)</td> <td>(2,085人)</td> <td>(1,949人)</td> <td>(1,907人)</td> </tr> <tr> <td>  (知的障害者)</td> <td>(1,220人)</td> <td>(1,758人)</td> <td>(1,860人)</td> <td>(1,762人)</td> <td>(2,218人)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※延べ人数</p> <p>2 児童発達支援事業</p> <p>児童福祉法に規定される、児童発達支援の事業所指定を受け、発達の遅れがみられる就学前児童に対し、療育に観点を置き、保護者同伴通所による「集団指導」と「個別指導」を実施し、障害のある就学前児童並びにその保護者の福祉の増進を図る。</p> <p>1) 事業実施日数 226日 2) 1日当たり利用者定員 20名 3) 利用登録者数 35名</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス利用者数</td> <td>1,226人</td> <td>1,376人</td> <td>1,744人</td> <td>1,835人</td> <td>2,074人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※延べ人数</p> <p>3 施設維持管理</p> <p>福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 非常灯修繕 97,900円 経年劣化のため、部品交換等を実施。</p>	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	サービス利用者数	2,081人	2,399人	2,472人	2,381人	2,686人	(内訳)						(身体障害者)	(1,024人)	(1,487人)	(1,194人)	(1,132人)	(1,174人)	(知的障害者)	(1,057人)	(912人)	(1,278人)	(1,249人)	(1,512人)	送迎バス利用	3,070人	3,676人	3,945人	3,711人	4,125人	(内訳)						(身体障害者)	(1,850人)	(1,918人)	(2,085人)	(1,949人)	(1,907人)	(知的障害者)	(1,220人)	(1,758人)	(1,860人)	(1,762人)	(2,218人)	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	サービス利用者数	1,226人	1,376人	1,744人	1,835人	2,074人
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																														
サービス利用者数	2,081人	2,399人	2,472人	2,381人	2,686人																																																														
(内訳)																																																																			
(身体障害者)	(1,024人)	(1,487人)	(1,194人)	(1,132人)	(1,174人)																																																														
(知的障害者)	(1,057人)	(912人)	(1,278人)	(1,249人)	(1,512人)																																																														
送迎バス利用	3,070人	3,676人	3,945人	3,711人	4,125人																																																														
(内訳)																																																																			
(身体障害者)	(1,850人)	(1,918人)	(2,085人)	(1,949人)	(1,907人)																																																														
(知的障害者)	(1,220人)	(1,758人)	(1,860人)	(1,762人)	(2,218人)																																																														
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																														
サービス利用者数	1,226人	1,376人	1,744人	1,835人	2,074人																																																														

## 事業名：福祉支援センターくまざき運営に要する経費

保健福祉部 障害者地域支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	09	14	本年	37,241				37,241		31,554	84.7
				前年	12,263			300	12,563		12,197	97.1
				比較	24,978			△ 300	24,678		19,357	-
【参考】前々年度					40,668				40,668		33,872	83.3

## 目的

障害者総合支援法に規定される、地域活動支援センターⅡ型の位置づけにより、在宅の身体・知的障害のある方に対し、市町村の必須事業である「地域活動支援サービス」を提供し、障害のある方の福祉の増進を図るため。  
また、障害のある就学前児童に対し、「児童発達支援サービス」を提供し、障害のある就学前児童並びにその保護者の福祉の増進を図るため。

## 概要及び成果

## 1 地域活動支援サービス

在宅の身体・知的障害のある方に対し、創作活動又は生産活動の機会を提供、社会との交流その他の便宜を供与することにより、障害のある方の生きがいをづくりを支援し、福祉の増進を図る。

- 1) 事業実施日数 232日
- 2) 1日当たり利用者定員 20名
- 3) 利用登録者数 18名 (身体) 6名 (知的) 12名
- 4) 送迎バス台数 3台
- 5) 送迎バス利用登録者数 16名
- 6) 入浴サービス登録者数 3名

## 【成果】

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
サービス利用者数	3,064人	3,407人	3,741人	3,952人	3,779人
(内訳)					
(身体障害者)	(720人)	(870人)	(999人)	(1,163人)	(1,216人)
(知的障害者)	(2,344人)	(2,537人)	(2,742人)	(2,789人)	(2,563人)
送迎バス利用	5,563人	6,246人	6,951人	7,396人	6,817人
(内訳)					
(身体障害者)	(1,238人)	(1,498人)	(1,841人)	(2,182人)	(2,304人)
(知的障害者)	(4,325人)	(4,748人)	(5,110人)	(5,214人)	(4,513人)
入浴サービス(身体のみ)	166人	194人	289人	340人	373人

※延べ人数

## 2 児童発達支援事業

児童福祉法に規定される、児童発達支援の事業所指定を受け、発達の遅れがみられる就学前児童に対し、療育に観点を置き、保護者同伴通所により「集団指導」と「個別指導」を実施し、障害のある就学前児童並びにその保護者の福祉の増進を図る。

- 1) 事業実施日数 226日
- 2) 1日当たり利用者定員 10名
- 3) 利用登録者数 35名

## 【成果】

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
サービス利用者数	1,049人	1,163人	1,118人	1,252人	1,191人

※延べ人数

## 3 施設維持管理

福祉支援センターの適切な維持管理と、利用者にとって快適な施設環境を確保するために行う。

## 【成果】

- (1) 介護浴槽の修繕 179,679円  
温度等の表示不良のためにメインパネル、衛生管理のためにろ過フィルターの修繕を行った。
- (2) 照明器具及びブラインド等の交換 176,808円  
経年劣化による不具合のため、交換を行った。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	11	本年	11,514				11,514		10,977	95.3
				前年	11,846				11,846		11,381	96.1
				比較	△ 332				△ 332		△ 404	-
【参考】前々年度					11,754				11,754		11,404	97.0

目的 年々多様化・複雑化する消費者問題に対し、相談体制の強化及び消費者教育・啓発活動を推進することにより、消費者被害の未然防止等を図り、消費者の安全・安心の確保に寄与するため。

1 消費生活相談  
 消費者の安全で安心な消費生活の実現に資するため、専門の知識を有する消費生活相談員(4名)による、消費生活相談や多重債務相談を実施する。  
 また、年々多様化・複雑化する消費者問題に対し適切かつ迅速に対応するため、消費生活相談員が相談現場に直結する情報や知識を習得できる研修機会を確保する。

【成果】  
 (1)市内に在住・在勤・在学する消費者からの苦情相談等に対し、助言やあっせん等を行い、消費者トラブルの解決に寄与することができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
相談件数	1,686件	1,799件	1,577件	1,479件	1,705件
助言	1,290件	1,389件	1,123件	1,223件	1,260件
あっせん	106件	125件	110件	84件	123件
その他	290件	285件	344件	172件	322件

(2)消費生活相談員の積極的な研修等(専門・事例講座等:11回、相談員スキルアップ研修等:6回)の受講により、相談対応、問題解決へのレベルアップを図ることができた。  
 (3)9月に関係部局との多重債務者対策ネットワーク会議を開催し、相互の連携と情報を共有することができた。

概要及び成果

2 消費者教育・啓発  
 (1)消費者教育  
 消費者被害の未然防止やトラブルに対応できる消費者力をつけるための出前講座を実施する。  
 (2)消費者啓発  
 消費生活に関する悪質商法やトラブルの多い相談事例などの啓発用チラシや小冊子の作成・配布を行う。  
 また、街頭啓発やパネル展及びホームページ、広報紙などによる啓発活動を実施する。  
 (3)製品安全4法及び家庭用品品質表示法に基づく立入検査  
 該当製品を販売する事業者に対し立入検査を実施し、法律の見識向上や違反製品の販売防止を図る。

【成果】  
 (1)消費者教育  
 ①出前講座  
 高齢者セミナーや大学、高校、交流センター講座などで出前講座を実施し、消費者被害の未然防止及び安全・安心の確保に寄与することができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催回数	37回	30回	54回	30回	47回
参加人数	2,477人	2,132人	3,251人	2,330人	2,456人

②消費者教育用小冊子の配布  
 市立中学校の2年生全員に対し、消費者教育用の副読本として配布し、若者の消費者教育に寄与することができた。

## (2) 消費者啓発

街頭やパネル展、ホームページ等で幅広い年代層に向けた啓発活動を行い、消費者被害の未然防止及び安全・安心の確保に寄与することができた。

## ① 啓発チラシの配布

啓発用チラシを作成し、市内約98,200世帯に全戸配布した。また、まつりつくばや筑波学院大学KVA祭、スーパーの店頭で街頭啓発を行った。

## ② ホームページ、広報紙による啓発

ホームページに全国的に急増している相談事例や悪質商法に対する注意喚起情報を掲載(15回)した。また、広報つくばには、多重債務や高齢者向け、若者向けの相談案内を掲載(6回)した。

## ③ 消費生活パネル展

11月(8日間)に市役所1階フロア、1月(15日間)にBiViつくば交流サロンにおいて、消費生活に関するパネル、ポスター等を展示した。

## ④ 茨城県市町村消費者行政推進協議会

茨城県及び県内全市町村で組織する協議会に出席し、会員相互の連携と情報の共有を図った。また、各種啓発キャンペーンに参加し、消費者啓発の推進に貢献することができた。

## (3) 製品安全4法及び家庭用品品質表示法に基づく立入検査

7店舗の立入検査を実施し、213点を検査した。PSマークの表示なし製品の販売やその他の表示義務違反等はなく、消費者保護の一助となった。

事業名：コミュニティ推進に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	12	本年	11,266		△ 2,500	△ 100	8,666		8,345	96.3
				前年	11,313		△ 2,500		8,813		7,904	89.7
				比較	△ 47			△ 100	△ 147		441	-
【参考】前々年度					11,236		△ 2,300	△ 499	8,437		7,996	94.8

目的

つくば市内の各種市民活動(花と緑の市民参加事業、コミュニティ助成事業、チャレンジいばらき県民運動)を、市民や市民活動団体との協働体制を構築しながら推進するため。

概要及び成果

1 花と緑の市民参加事業(ウェルカムフラワーCityつくば事業)

つくば市を美しく、楽しく、温かみのあるまちにするため、市民を中心とした企業、NPO、ボランティアと行政が協働し、花の苗植え、その維持管理等、環境美化活動を展開する。(TX4駅の花壇、広場、道路、公園、観光地、公共施設の花壇など)

【成果】

センター広場やTX駅前周辺、市内各地区の花壇づくりを市民が行うことで、環境美化意識の向上を図ることができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加団体数	118団体	125団体	129団体	119団体	115団体
花壇管理委託費	3,191千円	2,784千円	3,020千円	3,503千円	3,651千円
花苗数	21,353本	22,750本	23,750本	23,800本	21,950本
花苗代	2,264千円	2,141千円	2,115千円	2,101千円	1,813千円

2 コミュニティ助成事業

つくば市の区会活動の支援及び発展に寄与するため、コミュニティ活動に直接必要な設備等の整備に対して補助を行う「つくば市コミュニティ活動支援補助金」を交付している。補助金の財源は、(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業の助成金であり、自治総合センターによる助成の決定により交付される。

【成果】

自主財源を必要としない補助金制度であることから、地域の負担なく、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
採択数	1件	1件	1件	1件	1件
区会	内坂区会	新田区会	宝陽台区会	吉瀬区会	神谷森区会
助成金総額	2,500千円	2,500千円	2,500千円	2,500千円	2,500千円

3 チャレンジいばらき県民運動

県内各地域で行われている青少年育成、福祉、生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動である。市はネットワーク(県民運動推進員)を推薦し、運動を支援する。

【成果】

市内28名のネットワーク(県民運動推進員)が、以下の事業に参加することにより、ネットワーク全体での情報交換並びに連携が強化され、県民運動の推進が図られた。

- 5月18日 春のセンター地区花壇づくりに参加
- 8月24日 まつりつくばでの啓発活動
- 2月9日 「スポパラ・2020」に常磐大学と協働参加
- 2月21日 令和元年度ネットワーク活動推進大会(筑西市)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	13	本年	1,402				1,402		1,299	92.6
				前年	1,586				1,586		1,364	86.0
				比較	△ 184				△ 184		△ 65	-
【参考】前々年度					1,797				1,797		1,670	92.9

目的	人権擁護委員法に基づき、市町村長が推薦して法務大臣が委嘱する人権擁護委員を中心とした諸活動によって、人権尊重思想の普及拡大を図るため。 また、人権擁護キャンペーンや特設人権相談所の開設などを通じ、市民の人権を守り差別のない明るい社会の実現を目指すため。																												
概要及び成果	1 特設人権相談所の開設 日常生活での人権侵害など、人権問題での困りごとについて、つくば市の人権擁護委員15名が相談を行う。 <b>【成果】</b> 人権相談実績(6月4日、5日及び12月4日、5日)																												
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>16件</td> <td>19件</td> <td>25件</td> <td>19件</td> <td>19件</td> </tr> </tbody> </table> 特設人権相談所では、財産に絡む問題や家庭内の問題など様々な相談に対し、必要な情報の提供及び関係機関の紹介を行い、相談者の問題解決につなげられるよう支援できた。													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	件数	16件	19件	25件	19件	19件					
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																							
	件数	16件	19件	25件	19件	19件																							
	2 人権擁護キャンペーン <b>【成果】</b> 8月4日にイーアスつくばで開催した、第69回社会を明るくする運動つくば市大会に合わせて、啓発キャンペーンを行い、再犯防止と罪を犯した人などの立ち直りについての理解が図られた。(48名参加)																												
3 人権教室 人権擁護委員が講師となり、DVDや人権作文を教材として、小中学校の児童・生徒といじめ問題について話し合う。 <b>【成果】</b>																													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催小学校数</td> <td>22校</td> <td>20校</td> <td>24校</td> <td>16校</td> <td>14校</td> </tr> <tr> <td>開催中学校数</td> <td>7校</td> <td>7校</td> <td>9校</td> <td>7校</td> <td>8校</td> </tr> </tbody> </table> 人権問題は小中学校でも重要な問題であり、いじめや不登校などの問題を未然に防ぐため、学校の希望日程を調整し、人権教室を継続して開催した。平成30年度から、市内の県立・私立学校まで広げ、県立2校の参加があり、人権意識の醸成が図られた。													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	開催小学校数	22校	20校	24校	16校	14校	開催中学校数	7校	7校	9校	7校	8校
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																								
開催小学校数	22校	20校	24校	16校	14校																								
開催中学校数	7校	7校	9校	7校	8校																								
4 人権作文 市内各中学校に、水戸地方務局及び茨城県人権擁護委員連合会が主催する、「全国中学生人権作文コンテスト」茨城県大会への応募を募る。また、最優秀作品は、「全国中学生人権作文コンテスト」中央大会に推薦される。 <b>【成果】</b>																													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加中学校数</td> <td>18校</td> <td>17校</td> <td>16校</td> <td>16校</td> <td>15校</td> </tr> </tbody> </table> 令和元年度は、948作品の応募があり、中学生の人権意識の向上に寄与できた。													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加中学校数	18校	17校	16校	16校	15校						
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																								
参加中学校数	18校	17校	16校	16校	15校																								
5 人権啓発イベント 12月7日に、つくば市役所にて、講師に鈴木ひとみ氏(元パラリンピック射撃選手)を迎え、「スポーツを通して『人権』を考える」と題した講演会を実施した。 <b>【成果】</b>																													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>82名</td> <td>21名</td> <td>46名</td> </tr> </tbody> </table> 人権の大切さ、命の大切さ、差別のない明るい社会の実現を考えるきっかけをつくることができた。 ※平成29年度及び平成30年度は、障害者サッカー体験教室を実施。													令和元年度	平成30年度	平成29年度	参加者数	82名	21名	46名										
	令和元年度	平成30年度	平成29年度																										
参加者数	82名	21名	46名																										

事業名：更生保護に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	14	本年	1,664				1,664		1,638	98.4
				前年	1,580				1,580		1,564	99.0
				比較	84				84		74	-
【参考】前々年度					1,326				1,326		1,259	94.9

目的	<p>保護司と更生保護女性会が連携を図り、罪を犯した人たちの更生を助けるとともに、犯罪の未然防止や青少年の健全育成に努め、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため。</p>												
概要及び成果	<p>1 更生保護活動 保護司(38名)や更生保護女性会(79名)が中心となり、行政と連携しながら犯罪や非行のない明るい社会づくり活動を展開する。</p> <p><b>【成果】</b> 平成26年度から市民ホールやたべ内に設置した、「つくば地区更生保護サポートセンター」を拠点として活動している。犯罪や非行の防止に努めるとともに、犯罪や非行をした人の立ち直りの支援に寄与できた。</p>												
	<p>2 社会を明るくする運動つくば市大会 社会を明るくする運動つくば市大会推進委員会を組織し、積極的な啓発活動等を実施する。</p> <p><b>【成果】</b> 8月4日に、イーアスつくばにて、「第69回社会を明るくする運動つくば市大会」を開催し、家田 荘子氏を講師として、「取材現場から」～私の出逢った人たち～、と題した講演及び啓発キャンペーンを実施し、犯罪や非行のない明るい社会のために一人ひとりが考えるきっかけをつくることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>118名</td> <td>95名</td> <td>61名</td> <td>80名</td> <td>77名</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成29年度までの参加者は、保護司会、更生保護女性会、茨城県功労保護司の会つくば支部、人権擁護委員、青少年相談員、青少年を育てるつくば市民の会、民生委員・児童委員であるが、平成30年度からは市民にも講演の参加募集を行い、運動の周知に努めている。</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加者数	118名	95名	61名	80名	77名
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
参加者数	118名	95名	61名	80名	77名								
<p>3 各種研修及び大会への参加・協力</p> <p><b>【成果】</b> 研修及び大会に参加することで、他団体との情報交換等を行うことで参加者の人権意識の向上が図られた。</p> <p>10月18日 茨城県更生保護女性連盟県南ブロック研修会(茨城県霞ヶ浦環境科学センター) 11月14日 第58回茨城県更生保護大会(ザ・ヒロサワ・シティ会館) 2月19日 県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会(阿見町本郷ふれあいセンター) 3月4日 茨城県更生保護女性のつどい(ザ・ヒロサワ・シティ会館)※中止</p>													



事業名：文化行政に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	15	本年	57,079				57,079		55,766	97.7
				前年	56,909	5,400	154	300	62,763		61,702	98.3
				比較	170	△ 5,400	△ 154	△ 300	△ 5,684		△ 5,936	-
【参考】前々年度					61,992				61,992	5,400	54,112	96.0

目的	<p>市民が優れた文化芸術作品等に接する機会の拡充を図り、創造性豊かなゆとりと潤いを実感できる街づくりに寄与するため。</p> <p>また、公益財団法人として多彩な芸術文化公演事業を行う(公財)つくば文化振興財団や、つくば市文化協会に対し財政負担等を行い、市民が優れた芸術作品に接する機会の拡充を図るため。</p>																		
概要及び成果	<p>1 つくば市芸術文化公演事業</p> <p>芸術文化事業について実績とノウハウのある(公財)つくば文化振興財団との共催で、音楽・演劇・美術等幅広い芸術文化事業を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>幅広いジャンルの芸術文化公演を行った結果、質の高いコンサート・舞台芸術作品等を紹介することができた。 ※新型コロナウイルス予防対策のため、3月開催の3事業が中止となった。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入場者数</td> <td>17,521人</td> <td>23,817人</td> <td>20,108人</td> <td>16,394人</td> <td>20,164人</td> </tr> <tr> <td>公演数</td> <td>26公演</td> <td>26公演</td> <td>20公演</td> <td>24公演</td> <td>23公演</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	入場者数	17,521人	23,817人	20,108人	16,394人	20,164人	公演数	26公演	26公演	20公演	24公演	23公演
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度													
	入場者数	17,521人	23,817人	20,108人	16,394人	20,164人													
	公演数	26公演	26公演	20公演	24公演	23公演													
<p>2 (公財)つくば文化振興財団支援事業</p> <p>芸術文化の振興活動の支援等を充実させるため、同財団に行政補完的補助金を交付するとともに、つくば市から職員2名を派遣した。</p> <p>【成果】</p> <p>財団に蓄積するノウハウを駆使して、市民の芸術文化に関する理解を深めるとともに、愛好者の裾野の拡大をすすめることができた。</p>																			
<p>3 つくば市文化協会支援事業</p> <p>つくば市文化協会が行う文化・芸術活動を支援するため、同協会に補助金を交付した。</p> <p>【成果】</p> <p>協会の活動を通して、市民の芸術文化に接する機会の拡充を図ることができた。</p>																			
<p>4 つくば市文化芸術推進基本計画推進業務</p> <p>平成31年3月に策定した「つくば市文化芸術基本計画」の実現に向け、施策の企画立案と、実施検討を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>つくば市文化芸術審議会を開催し、委員から専門的な意見を収集したうえで、文化芸術プラットフォームの構築に向けた諸施策について、企画案を作成した。</p>																			

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	16	本年	1,331			100	1,431		1,388	97.0
				前年	1,659				1,659		1,082	65.2
				比較	△ 328			100	△ 228		306	-
【参考】前々年度					1,800				1,800		1,192	66.2

目的

平成2年のつくば市非核平和都市宣言に基づいた非核平和に関する啓発事業等を通じ、市民の平和擁護に対する意識の醸成及び高揚を図るため。

概要及び成果

1 平和体験教室

市内小学校5、6年生を対象とし、埼玉ピースミュージアム(埼玉県平和資料館)において平和学習を実施している。

【成果】

平和体験教室に参加者した小学生が、平和の大切さ・命の尊さについて考え、理解を深めることができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加者数	35名	30名	48名	36名	43名

2 青少年ピースフォーラム

長崎市が全国の中学生を中心に実施している平和に関する研修「青少年ピースフォーラム」事業に、市内中学校から生徒を募り、つくば市の代表(平和大使)として派遣し、派遣後は、所属校及び地域において平和啓発活動を行う。

【成果】

8月8日～8月10日の期間、中学校3校(桜中学校、並木中学校、高崎中学校、)から、つくば市平和大使として6名の生徒と教師3名を派遣した。派遣後は、平和について学んだことを学校文化祭等で自校の生徒や市民に伝えることができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加校	桜中学校	谷田部東中学校	※台風接近による悪天候のため派遣を中止。	筑波東中学校	豊里中学校
	並木中学校	手代木中学校		谷田部中学校	筑波西中学校
	高崎中学校	荃崎中学校		高山中学校	春日中学校
委託料	1,210千円	972千円	405千円	1,366千円	1,134千円

3 平和パネル資料展

市民文化祭期間につくばカピオで、平和に関する写真パネルの展示を行い、広く市民に対する平和啓発活動を実施する。

【成果】

つくば市非核平和都市宣言に基づいた非核平和に関する写真パネル展を行うことで、平和意識の醸成に寄与することができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
来場者数	16,932 名	15,367 名	15,086 名	14,364 名	10,271 名

※カピオのロビー展示のため、市民文化祭中央会場の来場者数を計上している。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	17	本年	152,082	8,689		△ 288	160,483		158,394	98.7
				前年	151,642				151,642	8,689	141,309	98.9
				比較	440	8,689		△ 288	8,841	△ 8,689	17,085	-
【参考】前々年度					151,827		△ 1,759	499	150,567		149,447	99.3

目的	住み良いまちづくりを進める中心的な役割を担い、大規模災害時等においても互助組織として期待される区会に対して、活発な地域コミュニティ活動ができるように支援を行うため。																	
概要及び成果	1 つくば市区会連合会及び各地区(6地区)区会連合会総会の企画運営に対する連絡調整及び総会の開催 <b>【成果】</b> 正副会長会議や役員会などを通して綿密に連絡調整したことで、つくば市区会連合会及び各地区区会連合会が自立した運営ができた。また、区会間の交流・連携が行われ、地域の活性化が図られた。 区会等業務委託料(事務員及び使送含む)																	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>125,338 千円</td> <td>125,414 千円</td> <td>123,487 千円</td> <td>122,672 千円</td> <td>118,954 千円</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	委託料	125,338 千円	125,414 千円	123,487 千円	122,672 千円	118,954 千円					
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度												
	委託料	125,338 千円	125,414 千円	123,487 千円	122,672 千円	118,954 千円												
	2 地区リーダー勉強会の開催 地域社会のリーダーである区長へ向けた勉強会(講演会)を実施することで、各地域のコミュニティ活動の活性化を図る。 <b>【成果】</b>																	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>70名</td> </tr> </tbody> </table> 11月17日に、つくば市役所にて、講師に水津陽子氏(行政書士、経営コンサルタント)を迎え、「今、求められる自治会運営～現代の自治会の課題とその解決策～」と題した講演会を実施した。区会の加入率減少、後継者不足、業務負担の増加など自治会の課題を解決する方法を支援することができた。		令和元年度	参加者数	70名													
	令和元年度																	
参加者数	70名																	
3 市長・区長サミットの開催 地域住民の抱える課題とつくば市の考えるまちづくりに関して、地域の代表者である区長と自治体の代表者である市長が懇談を行う。 <b>【成果】</b> 2月12日に、つくば市役所にて、「持続可能な自治会運営」をテーマに2地区の代表者が事例を発表するとともに、市長と各地区の代表区長等30名が懇談を行い、活発な意見が交わされ、地域コミュニティの重要性に対する意識の醸成が図られた。																		
4 地域コミュニティの活動拠点となる集会所等の修繕等に補助金を交付 補助率1/2、上限額：新築・改築1,000万円、増築・修繕350万円 <b>【成果】</b>																		
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>53 件</td> <td>24 件</td> <td>48 件</td> <td>31 件</td> <td>33 件</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>32,029 千円</td> <td>14,913 千円</td> <td>24,433 千円</td> <td>26,798 千円</td> <td>25,000 千円</td> </tr> </tbody> </table> 集会所の修繕等に対して、地域コミュニティの活性化に寄与できた。 内訳：改築2件、修繕51件 改築1件は前年度からの繰越分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	件数	53 件	24 件	48 件	31 件	33 件	交付額	32,029 千円	14,913 千円	24,433 千円	26,798 千円	25,000 千円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度													
件数	53 件	24 件	48 件	31 件	33 件													
交付額	32,029 千円	14,913 千円	24,433 千円	26,798 千円	25,000 千円													
5 地区案内板の撤去 <b>【成果】</b>																		
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去箇所数</td> <td>1 箇所</td> <td>1 箇所</td> <td>6 箇所</td> <td>0 箇所</td> <td>5 箇所</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>70 千円</td> <td>76 千円</td> <td>162 千円</td> <td>0 千円</td> <td>150 千円</td> </tr> </tbody> </table> 地域と連携して老朽化した案内板を迅速かつ計画的に撤去することで、歩行者の安全確保及び地域景観の向上が図られた。		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	撤去箇所数	1 箇所	1 箇所	6 箇所	0 箇所	5 箇所	委託料	70 千円	76 千円	162 千円	0 千円	150 千円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度													
撤去箇所数	1 箇所	1 箇所	6 箇所	0 箇所	5 箇所													
委託料	70 千円	76 千円	162 千円	0 千円	150 千円													
6 回覧・配布等で行政に関する情報を区会へ周知 <b>【成果】</b> 区会への回覧・配布等を年間21回行い、地域コミュニティの活性化と市政運営の理解が図られた。																		

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	18	本年	9,330				9,330		8,516	91.3
				前年	9,398				9,398		8,473	90.2
				比較	△ 68				△ 68		43	-
【参考】前々年度					12,219	1			12,220		11,319	92.6

目的	男女が、互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて、総合的な施策の推進を図るため。																																																
概要及び成果	<p>1 男女共同参画推進基本計画の進行管理</p> <p>【成果】 つくば市男女共同参画審議会を開催し、つくば市男女共同参画推進基本計画(2018~2022)の前年度評価及び実施計画等について審議を行った。審議会を通して評価基準の改正や、施策の展開の仕方について意見交換したことで、男女共同参画の施策の推進を図ることができた。</p>																																																
	<p>2 つくば市男女共同参画フォーラム「つくばミンナのつどい2019」の開催</p> <p>男女共同参画意識の幅広い啓発と市民の交流促進を図るため、つくば市男女共同参画フォーラムを開催する。開催に当たっては、市民活動団体と市の関係課職員等で構成した実行委員会を立ち上げ、協働して準備を進める。</p> <p>【成果】 207人の参加があった本フォーラムを通して、市民や団体(パネル展示参加団体19団体を含む)、事業者など参加者相互の情報交流が図られ、男女共同参画についての理解が深まった。</p> <p>(1) 日時 令和元年12月14日(土)10:00~13:00</p> <p>(2) 場所 つくばカピオ</p> <p>(3) 内容 基調講演(『未来を拓く主役は私~女性活躍社会実現のために~』木場弘子氏(フリーキャスター・千葉大学客員教授)、第14回つくば市男女共同参画推進標語「愛ことば」展示・表彰式(応募総数697作品)、男女共同参画推進団体による活動状況紹介、パネル展示 ほか</p>																																																
	<p>3 男女共同参画セミナーの開催</p> <p>男女共同参画に関する意識の向上を図り、能力や行動力を高めるため、女性活躍や男性の家事育児促進、ワーク・ライフ・バランスなどをテーマに開催する。</p> <p>【成果】 年間13回開催し、延べ422人(うち男性100人 23.7%)が受講した。また、11講座を託児付きとし、合計33人の保育を行い、誰もが参加しやすく、男女共同参画について学べる機会を提供した。セミナーを通して男女共同参画に関する更なる理解や関心を深めることができた。</p>																																																
	<p>4 相談事業</p> <p>(1) 女性のための相談室</p> <p>様々な悩みを抱える女性を対象に、問題解決に必要な情報を提供し、女性が主体的に思考・行動できるよう相談・支援を行う。</p> <p>【成果】 夫婦や親子の問題、生き方、人間関係、DVなど、女性特有の悩みについて相談に応じた。相談者からの様々な相談に対し、相談者が主体的に考え行動に移すことができるよう、ニーズに即した傾聴・情報提供等の対応をすることにより、問題解決の一助となった。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>形態</th> <th>相談員</th> <th>R元年度</th> <th>H30年度</th> <th>H29年度</th> <th>H28年度</th> <th>H27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話相談</td> <td>電話</td> <td>女性のための相談員</td> <td>144件</td> <td>158件</td> <td>169件</td> <td>182件</td> <td>189件</td> </tr> <tr> <td>一般相談</td> <td>面接</td> <td>女性のための相談員</td> <td>177件</td> <td>188件</td> <td>134件</td> <td>143件</td> <td>122件</td> </tr> <tr> <td>心と生き方相談</td> <td>面接</td> <td>カウンセラー</td> <td>139件</td> <td>159件</td> <td>158件</td> <td>168件</td> <td>167件</td> </tr> <tr> <td>法律相談</td> <td>面接</td> <td>弁護士</td> <td>53件</td> <td>64件</td> <td>65件</td> <td>50件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>513件</td> <td>569件</td> <td>526件</td> <td>543件</td> <td>517件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度から一般相談日を増設</p>	内容	形態	相談員	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	電話相談	電話	女性のための相談員	144件	158件	169件	182件	189件	一般相談	面接	女性のための相談員	177件	188件	134件	143件	122件	心と生き方相談	面接	カウンセラー	139件	159件	158件	168件	167件	法律相談	面接	弁護士	53件	64件	65件	50件	39件	合計			513件	569件	526件	543件	517件
	内容	形態	相談員	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度																																									
電話相談	電話	女性のための相談員	144件	158件	169件	182件	189件																																										
一般相談	面接	女性のための相談員	177件	188件	134件	143件	122件																																										
心と生き方相談	面接	カウンセラー	139件	159件	158件	168件	167件																																										
法律相談	面接	弁護士	53件	64件	65件	50件	39件																																										
合計			513件	569件	526件	543件	517件																																										
<p>(2) 男性のための電話相談</p> <p>社会的性別や性別役割分担等により、問題や悩みを抱えている男性に対し、相談・支援を行う。</p> <p>【成果】 悩みを抱える男性を対象として電話相談を6回実施し、合わせて14件の相談があった。</p>																																																	
<p>5 男女共同参画室だよりの発行</p> <p>男女共同参画の取組みや様々な考え方、生き方などの紹介を通じて啓発活動を行うため、男女共同参画室だよりを発行する。</p> <p>【成果】 男女共同参画セミナーやミンナのつどい、ワークライフバランスを推進している事業所の紹介、その他啓発記事をまとめた男女共同参画室だよりを年4回作成し、公共施設に設置したほかホームページに掲載したり、工業団地企業連絡協議会や商工会へも配布し、普及啓発に努めた。</p>																																																	

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	19	本年	52,427		837	288	53,552		47,602	88.9
				前年	48,587				48,587		45,414	93.5
				比較	3,840		837	288	4,965		2,188	-
【参考】前々年度					51,195		△ 2,867		48,328		47,089	97.4

目的

国際交流員及び留学生交流員を委嘱し、外国語広報紙やホームページで情報発信を行う等、多言語での行政サービスの充実に加え、外国人相談窓口を設置し、外国人の生活を支援するため。各種国際交流イベントを開催することで、多文化共生社会の形成を推進するため。また、姉妹・友好都市等との交流を通じて国際理解や経済交流を促進するとともに、一般財団法人つくば市国際交流協会と連携し、国際化を図るため。

1 国際交流員の配置

【概要】

英語及び中国語各1名の国際交流員の配置に加え、外国人相談窓口の設置に伴い、通訳アプリを導入したことで10言語(R1年9月1日現在)での窓口対応が可能となった。各種手続きや相談のため来庁する外国人の通訳や、市が発信する情報を翻訳し多言語化する。

【成果】

通訳・翻訳等の対応件数の推移

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
相談・通訳	英語	559件	696件	649件	479件	412件
	中国語	111件	80件	85件	92件	105件
	その他 ※	41件				
翻訳	英語	127件	72件	60件	72件	76件
	中国語	17件	13件	7件	15件	22件

※その他言語＝ポルトガル語2件、スペイン語2件、ベトナム語9件、日本語11件、インドネシア語1件、フランス語4件、ロシア語3件、不明9件

2 留学生交流員事業

【概要】

各言語の編集に2名の留学生交流員を委嘱し、外国人に必要な情報や日本文化に関する話題を掲載した外国語広報紙を発行する。各関係機関の協力を得て、教育・研究機関等に在籍する外国人には直接配布する。全8言語、年4回の発行とする。

また、青少年の国際感覚の醸成のため、市内小中学生を対象に国際理解講座を開催する。

【成果】

(1)外国語広報紙発行部数の推移

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
英語	4,380部	4,405部	7,141部	7,194部	6,973部
中国語	2,175部	2,026部	3,069部	3,096部	3,112部
韓国語	1,034部	992部	1,648部	1,728部	1,950部
タイ語	701部	638部	957部	918部	1,084部
ポルトガル語	1,087部	1,102部	1,622部	1,524部	1,550部
スペイン語	761部	748部	1,109部	1,110部	1,287部
ベトナム語	1,073部	1,392部			
インドネシア語	543部	531部			
合計	11,762部	11,834部	15,546部	15,570部	15,956部

(2)国際理解講座受講者の推移

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受講者数	11校/1069名	10校/948名	13校/1100名	12校/1914名	10校/1030名

概要及び成果

3 姉妹・友好都市等との交流

【成果】

米国	仏国グルノーブル市	中国深圳市	韓国大田広域市
<ケンブリッジ市> ・ケンブリッジ・リンジ・アンド・ラテン・スクール高校の生徒・教員(21名)来市(6月) ・市長表敬訪問及び姉妹都市協定再締結(11月) <アーバイン市> ・市長表敬訪問(11月)	・同市短編映画祭でつくっぺグランプリ作品上映(7月)	・スマートシティフォーラム出席(5月) ・副市長来市(5月) ・ハイテクフェア視察(11月) ・市職員4名来市(1月) ・マスク1万枚寄贈(1月)	・教育庁(職員・教員27名)来市(5月) ・教育庁(職員・教員27名)来市(7月)

4 一般財団法人 つくば市国際交流協会への補助金交付

【概要】

一般財団法人化後7年が経過するものの、依然不安定な財政状況である当該協会に、市が補助金(34,000千円)を交付することによって、協会の安定運営に寄与する。

【成果】

平成26年度から継続しているつくば市から当協会への職員派遣により、市との連携・協力体制をより強化し、国際交流フェア、医療通訳ボランティア派遣事業、英語観光ガイドボランティア講座等、既存事業の円滑な運営を図るとともに、メディカル英会話講座、BiViつくばの交流サロンを活用した交流事業などを実施し、ニーズに合った事業を展開することができた。また、新規に「日本語プラットフォーム」を立ち上げる等、外国につながる児童生徒の支援拡充を図った。

5 つくばワールドフットサル2019の開催

【概要】

フットサルを通して、国籍を越えた交流を図る。

【成果】

大会参加者の推移

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加者数	315人	321人	492人	443人	431人
うち外国人／出身国数	61人／23か国	56人／24か国	144人／21か国	86人／19か国	84人／28か国
外国人参加率	19.4%	17.4%	29.3%	19.4%	19.5%

6 国際基準の教育プログラムへの補助金交付

【概要】

国際基準の教育プログラムの認定を受けている市内の各種学校に補助金(4,000千円)を交付し、支援することより、有能な外国人研究員等がつくば市に赴任・在住しやすい環境を整備し、国際的に活躍できる人材育成の推進を図る。

【成果】

補助対象校(つくばインターナショナルスクール)における生徒数の推移 ※各年5月1日現在

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
生徒数	263人	239人	194人	161人	143人

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	20	本年	19,991				19,991		19,148	95.8
				前年	19,010				19,010		18,625	98.0
				比較	981				981		523	-
【参考】前々年度					19,648		2,156		21,804		20,718	95.0

目的	市民協働を推進し、魅力と活力ある地域社会の発展を目指すため、社会貢献活動を行う法人や団体等に委託や補助金交付等の支援を行い、魅力と活力ある地域社会づくりのための事業を効果的・効率的に展開するため。																																																				
概要及び成果	1 市民協働まちづくり活動支援 行政が行う事業を法人や団体等に委託・補助等を行うことで、より効果的・効率的な事業を展開する。 <b>【成果】</b> 行政と市民団体等が連携・協働を図りながら、少子高齢化対策、環境美化、地域コミュニケーション、安全・安心なまちづくり等の事業を実施することで、協働による魅力と活力ある地域社会づくりのための事業を展開することができた。																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協働事業数</td> <td>151 事業</td> <td>138 事業</td> <td>142 事業</td> <td>130 事業</td> <td>101 事業</td> </tr> </tbody> </table>							令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	協働事業数	151 事業	138 事業	142 事業	130 事業	101 事業																																			
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																															
	協働事業数	151 事業	138 事業	142 事業	130 事業	101 事業																																															
	2 アイラブつくばまちづくり支援事業 アイラブつくばまちづくり寄附基金を活用し、市民と行政がそれぞれの特性をいかしながら知恵と労力・資金を出し合い、個性豊かで活力あるまちづくりに自主的かつ自発的に取り組む公益的な活動を支援する。 <b>【成果】</b> アイラブつくばまちづくり補助金を有効活用することで、公益的な市民活動支援を図ることができた。																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請数</td> <td>34 事業</td> <td>35 事業</td> <td>32 事業</td> <td>26 事業</td> <td>22 事業</td> </tr> <tr> <td>採択数</td> <td>30 事業</td> <td>31 事業</td> <td>30 事業</td> <td>26 事業</td> <td>21 事業</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>3,687千円</td> <td>3,921千円</td> <td>3,319千円</td> <td>2,616千円</td> <td>1,340千円</td> </tr> </tbody> </table>							令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	申請数	34 事業	35 事業	32 事業	26 事業	22 事業	採択数	30 事業	31 事業	30 事業	26 事業	21 事業	補助金交付額	3,687千円	3,921千円	3,319千円	2,616千円	1,340千円	平成30年度アイラブつくばまちづくり活動事例集を400部作成し、ボランティアに興味がある人が集まるイベント時に配布することで、市民活動の意欲促進に寄与することができた。																						
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																															
	申請数	34 事業	35 事業	32 事業	26 事業	22 事業																																															
	採択数	30 事業	31 事業	30 事業	26 事業	21 事業																																															
	補助金交付額	3,687千円	3,921千円	3,319千円	2,616千円	1,340千円																																															
3 市民活動センターの管理運営 つくば市におけるボランティア活動その他の社会貢献活動を支援し、公益の増進を図ることを設置目的としている。 平成19年度に指定管理者制度を導入し、平成30年度～令和2年度は、NPO法人スマイル・ステーションが指定管理者として管理運営を行う。(指定管理料 12,340千円)																																																					
<b>【成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度に基づいた事業計画書のスケジュールに沿って、講座・事業等が適切に運営され、市民協働の推進に寄与することができた。特に相談業務では、企業や個人からのボランティア・マッチング相談など、ニーズにあわせた成果を上げることができた。</li> <li>指定管理者独自の管理運営委員会や利用者懇談会を開催し、利用者等からも適切な運営がされていると評価された。</li> <li>市民活動団体の団体登録情報を更新することで、団体の最新状況を確認することができた。(145 団体)</li> <li>「市民活動フェスタ&amp;こむせん市」「一本からのクリスマス」などのイベントを実施することで、社会貢献活動を支援することができた。</li> </ul>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来館者総数</td> <td>13,795人</td> <td>12,697人</td> <td>13,604人</td> <td>13,297人</td> <td>13,154人</td> </tr> <tr> <td>会議室利用件数</td> <td>377件</td> <td>437件</td> <td>351件</td> <td>304件</td> <td>355件</td> </tr> <tr> <td>会議室利用人数</td> <td>2,567人</td> <td>3,178人</td> <td>2,906人</td> <td>3,244人</td> <td>3,085人</td> </tr> <tr> <td>講座等開催回数</td> <td>30回</td> <td>37回</td> <td>40回</td> <td>41回</td> <td>37回</td> </tr> <tr> <td>講座等参加人数</td> <td>5,979人</td> <td>5,746人</td> <td>9,194人</td> <td>8,970人</td> <td>7,027人</td> </tr> <tr> <td>相談事業</td> <td>211件</td> <td>235件</td> <td>254件</td> <td>171件</td> <td>181件</td> </tr> </tbody> </table>							令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	来館者総数	13,795人	12,697人	13,604人	13,297人	13,154人	会議室利用件数	377件	437件	351件	304件	355件	会議室利用人数	2,567人	3,178人	2,906人	3,244人	3,085人	講座等開催回数	30回	37回	40回	41回	37回	講座等参加人数	5,979人	5,746人	9,194人	8,970人	7,027人	相談事業	211件	235件	254件	171件	181件						
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																
来館者総数	13,795人	12,697人	13,604人	13,297人	13,154人																																																
会議室利用件数	377件	437件	351件	304件	355件																																																
会議室利用人数	2,567人	3,178人	2,906人	3,244人	3,085人																																																
講座等開催回数	30回	37回	40回	41回	37回																																																
講座等参加人数	5,979人	5,746人	9,194人	8,970人	7,027人																																																
相談事業	211件	235件	254件	171件	181件																																																

事業名：市民文化祭開催に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	21	本年	11,330				11,330		10,666	94.1
				前年	11,129		△ 784		10,345		10,203	98.6
				比較	201		784		985		463	-
【参考】前々年度					11,310		△ 1,175		10,135		10,041	99.1

目的

文化芸術活動を行っている個人及び団体に発表の機会を提供することにより、自主的な活動を促すとともに、市民が文化芸術への興味をさらに高め、創造力を育み豊かな人間性を養うため。

概要及び成果

1 絵画・写真及び工芸・手芸品などの作品展示並びに舞踊及び歌謡などのステージ発表のほか、生活文化(茶会)や国民娯楽(囲碁・将棋)を通じた市民交流、各種文化活動の紹介、小中学校芸術展、ノバホール音楽会などを開催した。

【成果】

- (1) 開催は11月2日、3日(荃崎会場のみ、10月29日～11月4日、ノバホール音楽会は11月7日、8日)にわたり、市内7会場(筑波・大穂・豊里・谷田部・桜・荃崎・中央)で実施した。
- (2) 文化グループや個人での発表会等は1年を通して市内各所で行われているが、市民が一堂に会して各地区会場で作品展示、芸能発表等を行い交流を深める機会となった。また、まとまった活動発表を鑑賞できることで、秋の恒例イベントとして広く市民に定着した。
- (3) 参加者は、市民文化祭での出展または発表に向けて地域交流センター等で自主的に活動を展開し、達成感や満足感を味わうことができ、今後の活動意欲の向上、愛好者の裾野の拡大にもつながった。
- (4) 参加団体数は前年並みであった。「くさぎき夢まつり」等との同時開催により、来場者数は昨年度より増加した。
- (5) 小中学生が夏休みに取り組んだ絵画や書写の中から優秀作品を展示する「小中学校芸術展」を、中央会場であるつくばカピオにおいて開催し、多くの親子連れの来場者でにぎわった。昨年に続き、市長賞・教育長賞を各学年ごとに設け、優秀作品を選定し展示することで、同展への関心を高めることができた。  
ノバホール音楽会は、開催日を1週間後ろ倒して実施し、参加者、来場者ともに増加した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
来場者数	35,503人	30,458人	28,084人	27,780人	24,117人
参加団体数(人)	358(4,856人)	379(4,879人)	377(4,961人)	358(4,837人)	375(4,380人)



事業名：メディア芸術振興に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	22	本年	1,274				1,274		694	54.4
				前年	5,521				5,521		5,189	94.0
				比較	△ 4,247				△ 4,247		△ 4,495	-
【参考】前々年度					692				692		605	87.4

目的	
<p>メディア芸術は、科学技術を利用して芸術作品を表現する新しい手法で、注目される分野である。科学技術と芸術作品が融合することで、科学技術が身近になるとともに、つくば市の文化芸術としてメディア芸術をアピールし、全国的にもつくば市の存在感を示していくため。</p>	
概要及び成果	<p>1 つくばメディアアートフェスティバル2020に向けた準備</p> <p>「つくばメディアアートフェスティバル」事業は、科学のまちつくばから新たな文化を発信することを目的として、筑波大学工学・芸術連携リサーチユニットと協働で開催。第5回目となる令和2年度開催に向けて、招待作家や特別企画の決定を行った。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>展示会やイベントは、令和2年7月下旬から8月上旬にかけて、つくば美術館、中央図書館中庭、つくば駅南北自由通路等で開催を予定し、関係機関と企画内容等の協議を行った。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を令和3年度に延期することを決定している。</p>
	<p>2 つくばショートムービーコンペティション2019(実施第7回目)</p> <p>10分以内の短編映像作品を募集し、コンテストを実施した。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1) つくば市民文化祭にて上映ブースを設定し、過去入賞作品の上映を行ったほか、応募作品や市民審査員を募集した。</p> <p>(2) 令和元年9月1日～令和2年1月19日まで作品募集を行い、審査会を令和2年2月29日につくば文化会館アルスホールにて実施した。</p> <p>(3) 応募総数165作品(自由部門86作品・つくば部門19作品・ショート部門60作品)</p> <p>(4) 映像作品の応募総数が、昨年より増加した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、上映会・表彰式は中止となった。</p> <p>(5) 第7回グランプリ作品は、仏・グルノーブル市で開催される「第43回グルノーブル短編映画祭」(令和2年7月上旬)の上映を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で映画祭が縮小開催となったため、上映は延期となった。</p>
	<p>3 つくばサイエンスハッカソン(G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合)</p> <p>筑波研究学園都市の創造性や多様性、文化的成熟といった都市の魅力を国内外に発信するため、つくば市にゆかりのある研究者とアーティストがチームとなり、「共生」をテーマに研究者の研究成果をデジタルテクノロジーを駆使したアートで表現する取り組みを実施した。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1) 令和元年5月10日から19日に、さくら民家園にて全5組の作品の展示会を実施した。</p> <p>(2) 令和元年6月7日、8日の大臣会場でハッカソンの作品を展示したほか、プレスセンターとなったつくばカピオには市内文化団体の制作した作品を展示した。</p>

事業名：地区相談に要する経費

市民部 地区相談課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	10	23	本年	4,340				4,340		4,265	98.3
				前年	4,693				4,693		4,363	93.0
				比較	△ 353				△ 353		△ 98	-
【参考】前々年度							6,906		6,906		6,839	99.0

目的

地域の課題や意見・要望に対応し、市民の理解を得るとともに信頼関係を深め、地域の振興を図るため。

概要及び成果

地区の振興に係る市民の要望、意見を受け、関係部署と連携・協力し、問題解決に向け相談対応業務を行った。  
6地区相談センター及び地区相談課は、積極的に地域に出向き、市民から聞き取りを行い、地域の抱える問題等の把握に努めた。

【成果】

相談者数及び相談件数

部 署		令和元年度	平成30年度	平成29年度
相 談 者 数	大穂相談センター	139 人	104 人	126 人
	豊里相談センター	81 人	123 人	103 人
	谷田部相談センター	162 人	239 人	204 人
	桜相談センター	163 人	265 人	148 人
	筑波相談センター	137 人	84 人	130 人
	茎崎相談センター	114 人	133 人	172 人
	地区相談課	43 人	68 人	92 人
	計	839 人	1,016 人	975 人
相 談 件 数	大穂相談センター	165 件	131 件	148 件
	豊里相談センター	86 件	142 件	120 件
	谷田部相談センター	213 件	249 件	215 件
	桜相談センター	234 件	330 件	218 件
	筑波相談センター	154 件	84 件	189 件
	茎崎相談センター	177 件	162 件	300 件
	地区相談課	64 件	85 件	125 件
	計	1,093 件	1,183 件	1,315 件

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	11	11	本年	24,742				24,742		23,755	96.0
				前年	23,590				23,590		21,459	91.0
				比較	1,152				1,152		2,296	-
【参考】前々年度					25,711			749	26,460		26,009	98.3

目的	市民が安全で安心して暮らせる交通安全環境を確保するには、交通事故を減少させるため、交通安全マナー遵守の徹底等、総合的な交通対策が重要である。市においては、地域の実情や要望に応じた交通安全運動・各種交通安全教室等を展開し、市民の交通安全意識の高揚及び交通事故防止の推進を図るため。																																																																																																																							
概要及び成果	1 交通安全キャンペーン <b>【成果】</b> 交通安全運動期間(春・夏・秋・年末)に、交通安全関係団体と協働で、つくば中央警察署・つくば北警察署各管内においてキャンペーンを実施し、交通事故防止を呼びかけた。																																																																																																																							
	2 交通安全教室の開催 <b>【成果】</b> 交通安全教育指導員が、交通安全教室を開催し交通安全意識の高揚を図った。 (回数及び人数は延べ)																																																																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園</td> <td>126回</td> <td>7,600人</td> <td>149回</td> <td>9,238人</td> <td>131回</td> <td>8,212人</td> <td>145回</td> <td>8,456人</td> <td>141回</td> <td>8,228人</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>124回</td> <td>12,640人</td> <td>137回</td> <td>11,275人</td> <td>149回</td> <td>11,205人</td> <td>158回</td> <td>12,612人</td> <td>150回</td> <td>11,926人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>16回</td> <td>2,182人</td> <td>17回</td> <td>2,147人</td> <td>15回</td> <td>2,591人</td> <td>15回</td> <td>2,423人</td> <td>14回</td> <td>2,605人</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>0回</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>0人</td> <td>1回</td> <td>960人</td> <td>0回</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>成人</td> <td>4回</td> <td>726人</td> <td>13回</td> <td>1,159人</td> <td>21回</td> <td>894人</td> <td>12回</td> <td>722人</td> <td>12回</td> <td>422人</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>57回</td> <td>1,276人</td> <td>72回</td> <td>1,149人</td> <td>103回</td> <td>3,052人</td> <td>110回</td> <td>3,614人</td> <td>129回</td> <td>3,229人</td> </tr> <tr> <td>児童館</td> <td>7回</td> <td>390人</td> <td>8回</td> <td>450人</td> <td>10回</td> <td>333人</td> <td>4回</td> <td>184人</td> <td>4回</td> <td>116人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>334回</td> <td>24,814人</td> <td>396回</td> <td>25,418人</td> <td>430回</td> <td>27,247人</td> <td>444回</td> <td>28,011人</td> <td>450回</td> <td>26,526人</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	幼稚園	126回	7,600人	149回	9,238人	131回	8,212人	145回	8,456人	141回	8,228人	小学校	124回	12,640人	137回	11,275人	149回	11,205人	158回	12,612人	150回	11,926人	中学校	16回	2,182人	17回	2,147人	15回	2,591人	15回	2,423人	14回	2,605人	高校	0回	0人	0回	0人	1回	960人	0回	0人	0回	0人	成人	4回	726人	13回	1,159人	21回	894人	12回	722人	12回	422人	高齢者	57回	1,276人	72回	1,149人	103回	3,052人	110回	3,614人	129回	3,229人	児童館	7回	390人	8回	450人	10回	333人	4回	184人	4回	116人	合計	334回	24,814人	396回	25,418人	430回	27,247人	444回	28,011人	450回	26,526人
		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度																																																																																																														
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数																																																																																																													
	幼稚園	126回	7,600人	149回	9,238人	131回	8,212人	145回	8,456人	141回	8,228人																																																																																																													
	小学校	124回	12,640人	137回	11,275人	149回	11,205人	158回	12,612人	150回	11,926人																																																																																																													
	中学校	16回	2,182人	17回	2,147人	15回	2,591人	15回	2,423人	14回	2,605人																																																																																																													
	高校	0回	0人	0回	0人	1回	960人	0回	0人	0回	0人																																																																																																													
	成人	4回	726人	13回	1,159人	21回	894人	12回	722人	12回	422人																																																																																																													
高齢者	57回	1,276人	72回	1,149人	103回	3,052人	110回	3,614人	129回	3,229人																																																																																																														
児童館	7回	390人	8回	450人	10回	333人	4回	184人	4回	116人																																																																																																														
合計	334回	24,814人	396回	25,418人	430回	27,247人	444回	28,011人	450回	26,526人																																																																																																														
※幼稚園に、保育園・保育所を含む。																																																																																																																								
3 高齢者運転免許自主返納支援 <b>【成果】</b> 高齢者による交通事故防止対策として、65歳以上の高齢者が、自主的に運転免許の全部を返納した場合に、「つくバス」・「つくタク」の乗車券などを進呈し、運転免許返納の推進を図った。																																																																																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>返納者数</td> <td>493人</td> <td>255人</td> <td>295人</td> <td>223人</td> <td>149人</td> </tr> </tbody> </table>											年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	返納者数	493人	255人	295人	223人	149人																																																																																																		
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																																																																			
返納者数	493人	255人	295人	223人	149人																																																																																																																			
4 県民交通災害共済事務の実施 <b>【成果】</b> 県民交通災害共済加入者数 3,642人 見舞金請求者 48件 交通事故により災害を受けた場合の救済を目的とし、交通安全に対する意識を高めるとともに、生活の安定と福祉の増進を図った。																																																																																																																								

事業名：施設整備に要する経費

建設部 防犯交通安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	11	12	本年	22,212				22,212		21,773	98.0
				前年	17,797				17,797		17,381	97.7
				比較	4,415				4,415		4,392	-
【参考】前々年度					16,335				16,335		15,547	95.2

目的	交通事故を未然に防止し、市民の安全を確保するために、交通安全施設の整備を図るため。												
概要及び成果	1 交通安全施設の新設・修繕												
	【成果】												
	区会や学校・PTAからの要望により交通安全施設の整備を行った。												
		年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	カーブミラー	新設	113基	78基	111基	60基	78基						
	修繕	225基	136基	115基	246基	248基							
回転灯	新設	1基	2基	2基	1基	1基							
	修繕	13基	10基	16基	21基	11基							
路面標示	新設	2箇所	8箇所	8箇所	5箇所	5箇所							
	再塗装	6箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所							

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	12	11	本年	148,146		△ 1,328		146,818		141,294	96.2
				前年	139,238				139,238		134,873	96.9
				比較	8,908		△ 1,328		7,580		6,421	-
【参考】前々年度					155,076			△ 749	154,327		117,985	76.5

目的	地域住民、警察及び防犯協会と連携し、防犯サポーターの活動や自警団の活動を支援し、防犯パトロールなどによる地域の治安維持を推進し、また、防犯灯や防犯カメラの整備充実を図り、「安全・安心なまちづくり」を推進するため。																																																									
概要及び成果	1 防犯運動の推進 <b>【成果】</b> 安全安心なまちづくりコンサートの開催(来場者数 約1,000名) 警察署及び防犯協会とのキャンペーンの実施(中央、北地区ともに年3回実施)																																																									
	2 防犯・環境美化サポーターが18名9班体制で、7時から24時まで市内巡回パトロール、広報活動を実施する。 <b>【成果】</b> 防犯サポーター活動 (箇所数及び回数はいずれも延べ)																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">パト 活 動 ロ ー ル</td> <td>金融機関</td> <td>7,311箇所</td> <td>7,889箇所</td> <td>7,725箇所</td> <td>8,479箇所</td> <td>7,059箇所</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td>10,638箇所</td> <td>11,219箇所</td> <td>9,002箇所</td> <td>8,260箇所</td> <td>7,871箇所</td> </tr> <tr> <td>コンビニ</td> <td>14,616箇所</td> <td>13,999箇所</td> <td>12,882箇所</td> <td>11,983箇所</td> <td>10,979箇所</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td>10,731箇所</td> <td>11,061箇所</td> <td>10,899箇所</td> <td>11,290箇所</td> <td>14,402箇所</td> </tr> <tr> <td>他事業所</td> <td>3,503箇所</td> <td>3,407箇所</td> <td>3,017箇所</td> <td>3,190箇所</td> <td>3,587箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">車両広報</td> <td>29,915回</td> <td>31,208回</td> <td>25,723回</td> <td>26,350回</td> <td>23,243回</td> </tr> </tbody> </table>													年度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	パト 活 動 ロ ー ル	金融機関	7,311箇所	7,889箇所	7,725箇所	8,479箇所	7,059箇所	学校	10,638箇所	11,219箇所	9,002箇所	8,260箇所	7,871箇所	コンビニ	14,616箇所	13,999箇所	12,882箇所	11,983箇所	10,979箇所	駐車場	10,731箇所	11,061箇所	10,899箇所	11,290箇所	14,402箇所	他事業所	3,503箇所	3,407箇所	3,017箇所	3,190箇所	3,587箇所	車両広報		29,915回	31,208回	25,723回	26,350回	23,243回
	年度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																			
	パト 活 動 ロ ー ル	金融機関	7,311箇所	7,889箇所	7,725箇所	8,479箇所	7,059箇所																																																			
学校		10,638箇所	11,219箇所	9,002箇所	8,260箇所	7,871箇所																																																				
コンビニ		14,616箇所	13,999箇所	12,882箇所	11,983箇所	10,979箇所																																																				
駐車場		10,731箇所	11,061箇所	10,899箇所	11,290箇所	14,402箇所																																																				
他事業所		3,503箇所	3,407箇所	3,017箇所	3,190箇所	3,587箇所																																																				
車両広報		29,915回	31,208回	25,723回	26,350回	23,243回																																																				
3 自警団等への活動支援 <b>【成果】</b> 防犯パトロール用ベストの支給 8団体に対し71枚支給 (累計191団体) ジョギングパトロール用ビブスの支給 (令和元年度新規登録者30枚支給) 登録者総数757名																																																										
4 防犯灯の新規設置及び維持管理 <b>【成果】</b> 防犯灯新設設置																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置数</td> <td>328基</td> <td>421基</td> <td>477基</td> <td>331基</td> <td>455基</td> </tr> </tbody> </table>													年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	設置数	328基	421基	477基	331基	455基																																		
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																					
設置数	328基	421基	477基	331基	455基																																																					
5 防犯カメラの新規設置 <b>【成果】</b> 防犯カメラを1基新設及び既設防犯カメラの更新工事を実施し合計114基設置している。																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設数</td> <td>1基</td> <td>10基</td> <td>18基</td> <td>23基</td> <td>25基</td> </tr> </tbody> </table>													年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	新設数	1基	10基	18基	23基	25基																																		
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																					
新設数	1基	10基	18基	23基	25基																																																					

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	12	12	本年	4,194				4,194		615	14.7
				前年	3,370				3,370		892	26.5
				比較	824				824		△ 277	-
【参考】前々年度					11,547		△ 1,252		10,295		7,666	74.5

目的 「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び「つくば市空き家等適正管理条例」に基づき、管理不全な空家の所有者に対して行政指導等を行うことにより空家の荒廃を防ぎ市民の安全で安心な生活環境を守る。また、空家の有効活用を推進し定住の促進及び地域の活性化を図るため。

1 空家等の適正管理

情報提供(相談)件数及び対応状況

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
情報提供(相談)件数	86件	70件	71件	72件	54件
うち管理不全件数	76件	63件	50件	66件	43件

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
対応完了件数	58件	52件	55件	60件	51件
うち家屋の解体	12件	6件	4件	3件	6件
うち樹木の伐採、雑草の除草、危険箇所の改善等	46件	46件	51件	57件	45件

2 空家等無料相談会 (平成26年度事業開始)

空家所有者等を対象に空家の利活用や処分方法等について、茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部、茨城司法書士会、茨城県建築士会の協力を得て相談会を実施した。

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催数	4回	4回	3回	3回	3回
参加者数	43組	39組	36組	35組	30組

3 空家バンク制度 (平成28年2月より制度の運用を開始)

空家を有効活用し定住促進及び地域の活性化を図るため、空家の貸し手(売り手)と借り手(買い手)のマッチングを図る。なお、利用者の希望に応じて茨城県宅地建物取引業協会または全日本不動産協会に対し、交渉等の媒介を依頼することができる。

全国版空家バンクへ登録、民間企業との協定による空家啓発パンフレットを作成し、空家所有者等に配布し、周知した。

【成果】

	令和2年3月末現在
空家バンク制度登録件数(物件数)	3件 (累計27件)
空家バンク制度利用登録件数	77件 (累計118件)
成約実績	5件

概要及び成果

事業名：ノバホール維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	13	11	本年	87,770			4,471	92,241		88,886	96.4
				前年	88,494			△ 300	88,194		83,594	94.8
				比較	△ 724			4,771	4,047		5,292	-
【参考】前々年度					89,361				89,361		88,322	98.8

目的 市の芸術文化の中核施設であるノバホールについて、指定管理者制度を導入し適正な運営を図るとともに、継続的に整備(修繕)を行うことにより施設の持つ機能を維持し、利用者の利便性向上と安全を確保するため。

1 ノバホール維持管理事業(ノバホール指定管理事業)

ノバホールの施設管理は、平成18年度から指定管理者制度を導入して、管理運営を行っている。平成29年度に5回目の指定管理者の選定を行った。(指定管理期間:H30~R4)

【成果】

- (1) 利用率・利用者数は新型コロナウイルスの影響で前年度を下回ったが、アンケート結果は利用者の満足度が高いとの評価であった。市民の芸術文化活動の拠点として中心的な役割を果たし、市民生活の向上に寄与している。
- (2) ホールの利用者拡大に繋げるため、例年自主事業を行っているが、令和元年度は新型コロナウイルスの影響により中止になってしまったが、施設全体で支出を前年度より抑え、収支状況は黒字となった。
- (3) 設備の法定点検や保守点検、清掃などを計画的に実施した。

ノバホール貸出実績

	利 用 率				
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ホール	79.56%	84.02%	80.77%	78.69%	83.10%
小ホール	60.79%	64.98%	59.73%	58.28%	59.02%

	利 用 者 数				
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ホール	88,181人	97,837人	90,628人	90,464人	88,733人
小ホール	14,007人	16,526人	11,817人	12,614人	13,705人

2 ノバホール施設整備事業

ノバホール内の各種設備や施設の修繕について、計画的に整備を実施した。

【成果】

令和元年度修繕実績(4,625千円)

「空調設備修繕工事」「客席修繕工事」「照明卓無停電電源装置修繕工事」「照明機器ピンスポット修繕」「音響機器修繕」

概要及び成果

事業名：つくばカピオ維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	14	11	本年	283,249	21,030			304,279		300,733	98.8
				前年	276,876				276,876	21,030	255,759	100.0
				比較	6,373	21,030			27,403	△ 21,030	44,974	-
【参考】前々年度					278,136				278,136		276,667	99.5

目的

文化・スポーツ活動等に活用されるつくばカピオに指定管理者制度を導入し適正な運営を図るとともに、継続的に整備(修繕)を行うことにより、施設機能の維持をはじめ、利用者の利便性向上と安全を確保するため。

概要及び成果

1 つくばカピオ維持管理事業(つくばカピオ指定管理事業)  
つくばカピオの施設管理は、平成18年度から指定管理者制度を導入して、管理運営を行っている。平成29年度に5回目の指定管理者の選定を行った。(指定管理期間:H30～R4)

【成果】

- (1) 利用率・利用者数は新型コロナウイルスの影響もあったが、前年度と同様に推移した。アンケート結果も利用者の満足度が高いとの評価であり、文化・スポーツ活動の拠点として中心的な役割を果たし、市民生活の向上に寄与している。
- (2) 施設の利用者拡大に繋げるため、例年自主事業を行っているが、令和元年度は新型コロナウイルスの影響により中止になってしまったが、施設全体で支出を前年度より抑え、収支状況は黒字となった。
- (3) 設備の法定点検や保守点検、清掃などを計画的に実施した。

カピオ貸出実績

	利 用 率				
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
アリーナ	100.00%	99.41%	99.70%	95.93%	99.33%
ホール	72.10%	69.60%	74.23%	66.37%	71.93%
中会議室	93.24%	95.73%	97.75%	94.38%	96.41%
会議室(3室平均)	94.27%	94.23%	96.43%	95.60%	97.49%
リフレッシュルーム	98.59%	98.87%	99.15%	95.76%	98.69%
リハーサル室(2室平均)	97.88%	98.30%	97.74%	95.20%	95.89%
和室(2室平均)	89.58%	90.25%	86.30%	85.45%	85.41%

	利 用 者 数				
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
アリーナ	112,848人	111,383人	109,606人	112,353人	120,865人
ホール	40,698人	36,730人	49,120人	35,465人	32,108人
中会議室	7,438人	8,075人	8,752人	9,746人	8,299人
会議室(3室平均)	3,688人	3,783人	4,318人	5,574人	4,951人
リフレッシュルーム	10,558人	10,536人	13,126人	9,811人	8,576人
リハーサル室(2室平均)	7,034人	8,356人	8,455人	8,123人	7,605人
和室(2室平均)	1,677人	1,866人	2,234人	2,334人	2,465人

2 つくばカピオ施設整備事業

経年劣化に伴う施設の不具合やシステムの古さが顕著化しているため、設備や施設について、計画的・継続的に修繕等の整備を実施した。

【成果】

令和元年度修繕実績(53,652千円)

「屋根修繕工事」「トイレ改修工事」「畜電池修繕工事」「ホール及び電気室雨漏り修繕工事」「消防設備修繕工事」「トイレブース修繕工事」「受変電設備非常用発電機自動切替回路修繕工事」「広場柱他塗装修繕」「共同溝水中ポンプ修繕」「自動ドア修繕」「玄関ドア修繕」「煙探知器修繕」



事業名：地域交流センター維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	15	11	本年	210,467		3,795	6,824	221,086	4,620	201,259	93.1
				前年	252,927	20,510	△ 7,085	332	266,684	259,358	97.3	
				比較	△ 42,460	△ 20,510	10,880	6,492	△ 45,598	4,620	△ 58,099	-
【参考】前々年度					249,476		△ 1,372	949	249,053	20,510	219,786	96.5

目的

地域交流センターの利用者に対し、安全・安心な生涯学習の場を提供するべく、適切な維持管理と整備を行うため。

1 地域交流センター所長会議及び担当者会議の開催

【成果】

地域交流センター17施設の所長が、施設の管理運営に関し、共通の認識に基づき管理運営ができるよう、相互協力や情報交換の場となる所長会議を定期的で開催した。また、交流センターの円滑な運営を図るため、定期的に担当者会議を開催した。このことにより、効率的・効果的な地域交流センターの管理運営を行うことができた。

- (1) 令和元年度地域交流センター所長会議開催回数 4回
- (2) 令和元年度地域交流センター担当者会議開催回数 2回

2 地域交流センター17施設の維持管理

【成果】

経費内訳	事業概要	経費
施設整備費	栗原交流センター運動室床修繕工事	1,296 千円
	小野川交流センター受水槽給水ポンプ交換工事	627 千円
	小野川交流センター屋根修繕工事	11,605 千円
	島名交流センター上水用給水ユニット修繕工事	897 千円
	17地域交流センターの修繕工事費	7,340 千円

経費内訳	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
燃料費(17地域交流センターのガソリン、灯油、重油代等)	1,165千円	1,114千円	1,067千円	603千円	953千円
光熱水費(17地域交流センターの電気、ガス、上下水道代等)	40,822千円	43,310千円	41,872千円	38,944千円	42,637千円
施設修繕(17地域交流センターの修繕料)	14,923千円	14,884千円	22,779千円	19,831千円	14,860千円
施設管理委託(17地域交流センターの業務委託料)	92,540千円	89,741千円	86,480千円	82,649千円	82,081千円

利用実績

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
利用件数	41,511 団体	42,670 団体	43,162 団体	38,821 団体	40,577 団体
利用人数	506,845 人	492,958 人	503,721 人	472,858 人	483,229 人

概要及び成果

事業名：地域交流センター行事に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
03	01	15	12	本年	6,149			△ 1,471	4,678		4,161	89.0
				前年	6,637			△ 885	5,752		4,590	79.8
				比較	△ 488			△ 586	△ 1,074		△ 429	-
【参考】前々年度					6,693			△ 1,142	5,551		5,315	95.7

目的 地域交流センター講座等を企画・開設し、市民の学習機会を創出することにより、教養の向上と健康増進を図るとともに、生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与するため。

1 地域交流センター17施設が自主的に企画した講座の開催

【成果】

講座対象		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
小中学生	講座数	2 講座	3 講座	3 講座	10 講座	6 講座
	延回数	2 回	3 回	3 回	16 回	7 回
	延受講者数	14 人	40 人	30 人	178 人	77 人
一 般	講座数	111 講座	107 講座	116 講座	132 講座	120 講座
	延回数	349 回	348 回	425 回	434 回	461 回
	延受講者数	4,410 人	4,934 人	6,154 人	6,478 人	6,330 人
高 齢 者	講座数	5 講座	6 講座	5 講座	9 講座	11 講座
	延回数	24 回	32 回	31 回	50 回	50 回
	延受講者数	1,245 人	1,550 人	1,510 人	1,915 人	2,062 人
そ の 他	講座数	12 講座	15 講座	18 講座	27 講座	28 講座
	延回数	16 回	34 回	40 回	59 回	62 回
	延受講者数	262 人	531 人	536 人	768 人	976 人
合 計	講座数	130 講座	131 講座	142 講座	178 講座	165 講座
	延回数	391 回	417 回	499 回	559 回	580 回
	延受講者数	5,931 人	7,055 人	8,230 人	9,339 人	9,445 人

事業名：市民ホール管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	16	11	本年	117,060		△ 3,795	△ 9,824	103,441		95,530	92.4
				前年	101,561			553	102,114		99,882	97.8
				比較	15,499		△ 3,795	△ 10,377	1,327		△ 4,352	-
【参考】前々年度					99,306			192	99,498		95,517	96.0

目的

市内4か所に設置された市民ホールの適切な維持管理・施設整備を実施して機能を維持することにより、多様な市民活動の拠点として、安心安全な場を提供し、生活文化の振興と健康増進に寄与するため。

1 市民ホール4施設の維持管理

【成果】

経費内訳	事業概要	経費
施設整備費	市民ホールとよさと地下オイルタンク改修工事	1,921 千円
	市民ホールつくばね消防設備修繕工事	1,045 千円
	市民ホールやたべトイレ改修工事	18,106 千円
	その他修繕工事	2,765 千円
備品購入費	4市民ホールの管理用備品等	1,111 千円

概要及び成果

経費内訳	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
燃料費(4市民ホールの灯油、重油代等)	1,941千円	1,728千円	1,917千円	1,754千円	1,434千円
光熱水費(4市民ホールの電気、ガス、上下水道代等)	12,763千円	15,714千円	13,781千円	12,585千円	14,240千円
施設修繕(4市民ホールの修繕料)	3,109千円	3,858千円	6,779千円	7,599千円	6,788千円
施設管理委託(4市民ホールの業務委託料)	48,269千円	62,182千円	63,092千円	58,296千円	57,603千円
使用料・賃借料(4市民ホールの土地賃借料等)	689千円	689千円	689千円	689千円	689千円

利用実績

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
利用件数	2,100 件	1,827 件	1,565 件	1,708 件	1,665 件
利用人数	110,948 人	125,158 人	113,989 人	117,312 人	123,014 人

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	25,340		△ 1,754		23,586		20,370	86.4
				前年	10,381		2,132		12,513		9,950	79.5
				比較	14,959		△ 3,886		11,073		10,420	-
【参考】前々年度					29,131		△ 3,529		25,602		23,135	90.4

目的

母子、妊産婦及びひとり親家庭等の生活安定や自立促進を図るため。

1 入所措置事業

【成果】

利用件数	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
助産施設	1 件	0 件	0 件	1 件	0 件
母子生活支援施設	0 件	0 件	1 件	1 件	0 件

(1)助産施設

経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦が入所し、出産することができる。

(2)母子生活支援施設

様々な困難を抱える母子世帯を母子生活支援施設に保護し、自立促進のための生活を支援する。

2 高等職業訓練促進給付金等支給事業

【成果】

利用件数	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
高等職業訓練促進給付金	16 件	11 件	9 件	11 件	6 件
高等職業訓練修業者支援給付金	3 件	- 件	- 件	- 件	- 件

高等職業訓練促進給付金 支給年数内訳	1年目	2年目	3年目
	10 人	5 人	1 人

就業資格内訳	看護師	准看護師	保育士	美容師	社会福祉士	精神保健福祉士
	4 人	2 人	1 人	3 人	5 人	1 人

(1)高等職業訓練促進給付金

ひとり親家庭の父又は母が、就職に有利な資格を取得するために、養成機関で1年以上修学する場合に給付金を支給する。

<支給額> 住民税非課税世帯:月額 100,000円、住民税課税世帯:月額 70,500円  
※修了月を含む最後の12月については4万円加算

<支給期間> 上限4年

(2)高等職業訓練修業者支援給付金 ※令和元年度新設

高等職業訓練促進給付金の支給決定を受けており、市内に引き続き1年以上住所を有し、かつ、居住している者、また、養成機関修了後、資格を取得した日から1年以内市内において、取得した資格を必要とする業務に就労が見込まれる者に支給。

<支給額> 月額 40,000円

<支給期間> 修了月を含む最後の12月を除く期間(上限3年)

概要及び成果

事業名：児童扶養手当支給に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	12	本年	685,065		181,084		866,149		861,595	99.5
				前年	702,440			△ 1,790	700,650		684,046	97.6
				比較	△ 17,375		181,084	1,790	165,499		177,549	-
【参考】前々年度					701,466				701,466		685,597	97.7

目的

父母の離婚などにより父又は母と生計を同じくしていない児童を育成する家庭、未婚のひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図るため。

1 児童扶養手当の支給

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
支給対象者	1,399 人	1,375 人	1,414 人	1,520 人	1,532 人
支給停止者	281 人	262 人	265 人	246 人	240 人
支給額	858,532 千円	683,204 千円	684,846 千円	682,164 千円	661,963 千円

(1) 対象児童

国内に住所を有する、18歳に達する日以後、最初の3月31日(18歳の年度末)までにある児童で、父又は母と生計を同じくしている児童。また、心身におおむね中度以上の障がいがある場合は20歳未満まで。

(2) 支給月(2019年11月から年6回、奇数月に支給)

4月	8月	11月	1月	3月
12月～3月分	4月～7月分	8月～10月分	11月～12月分	1月～2月分

(3) 支払額

<2018年12月～2019年3月分>

全部支給 児童1人 42,500円、児童2人 52,540円、児童3人 58,560円

一部支給 42,490円～10,030円

<2019年4月～2020年2月分>

全部支給 児童1人 42,910円、児童2人 53,050円、児童3人 59,130円

一部支給 42,900円～10,120円

2 未婚の児童扶養手当受給者臨時・特別給付金の支給(令和元年度のみ実施)

【成果】

支給対象者	支給額	総支給額	支給月
90人	17,500円	1,575,000円	1月

○支給対象者(①②の要件をすべて満たす者)

① 2019年11月分の児童扶養手当を受給する父又は母

② 基準日(2019年10月31日)において、これまでに婚姻(法律婚)をしたことがない者、事実婚をしていない者又は事実婚の相手方の生死が明らかでない者

概要及び成果

事業名：子どもの遊び場設置に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	02	01	13	本年	600				600		49	8.2	
				前年	600				600				
				比較							49	-	
【参考】前々年度					600				600		164	27.3	

目的	子どもに安全な遊び場を与え、心身の健全な発達に資するため。																		
概要及び成果	<p>1 区会等が管理している遊び場の遊具の修繕及び遊具の設置に対して、事業費の2分の1を補助する。 補助限度額 修繕5万円 設置50万円</p> <p>【成果】</p> <p>件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>設置</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>昨年度同様に周知に力を入れ、広報つくば(8月号と12月号)、ホームページ、区会ハンドブック等で事業案内を行った。結果、臼井区会からブランコ修繕の申請があり、内容を審査の上、補助金を交付した。また、それ以外にも7件の相談を受けた。</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	修繕	1件	0件	4件	1件	1件	設置	0件	0件	0件	0件	0件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
修繕	1件	0件	4件	1件	1件														
設置	0件	0件	0件	0件	0件														

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	14	本年	10,570				10,570		9,713	91.9
				前年	9,866		1,051		10,917		9,722	89.1
				比較	704		△ 1,051		△ 347		△ 9	-
【参考】前々年度					8,120		925		9,045		8,269	91.4

目的

家庭児童相談の充実と、関係機関の連携による要保護児童への適切な支援をするため。

概要及び成果

- 1 家庭児童相談室に家庭相談員を5人配置し、児童に関する様々な問題について相談指導を行う。

【成果】

家庭児童相談における受付相談件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新規	733件	543件	459件	374件	359件
延べ	5,773件	4,668件	2,955件	2,225件	2,109件

年々多様化する家庭児童相談に、関係機関と連携を取りながら、効果的な支援が行えるように対応した。

- 2 福祉、保健医療、教育、警察関係者から構成される「つくば市要保護児童対策地域協議会」を設置し、効果的な運営を行うことにより、要保護児童の早期発見と適切な支援を図る。

【成果】

つくば市要保護児童対策地域協議会の開催件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
代表者会議	1回	1回	1回	1回	1回
実務者会議	3回	3回	3回	3回	1回
個別ケース検討会議	25回	16回	16回	10回	11回

定期的また必要に応じて会議を開催することにより、関係機関の連携を深めて、適切な支援を図った。

- 3 一時的に保護者が養育できない児童を、児童養護施設で養育する「子育て支援短期養育事業」を実施する。(社会福祉法人同仁会、社会福祉法人茨城県道心園、社会福祉法人筑波会、社会福祉法人窓愛園及び日本赤十字社茨城県支部乳児院に委託)

【成果】

一時的に保護者が養育できない児童を児童養護施設で養育することにより、児童の安全な生活環境を整えることができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
利用延べ人数	43人	32人	26人	24人	28人
利用延べ日数	109日	116日	67日	60日	132日

事業名：子ども・子育て支援に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	15	本年	15,732	980	22,147		38,859		35,666	91.8
				前年	17,538		31,444		48,982	980	47,024	98.0
				比較	△ 1,806	980	△ 9,297		△ 10,123	△ 980	△ 11,358	-
【参考】前々年度					11,647		22,562		34,209		33,917	99.1

目的	急速な少子化の進行等を踏まえ、次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ子育てしやすいまちづくりに対する機運の醸成及び環境の整備を図るため。											
概要及び成果	1 「第2期つくば市子ども・子育て支援プラン」の策定 令和2年度から5年間の子ども・子育て支援施策を計画的に推進していくため、「第2期つくば市子ども・子育て支援プラン」を策定する。 <b>【成果】</b> 「つくば市子ども・子育て会議」において審議するとともに、平成30年度にニーズ調査、令和元年度にパブリックコメントの実施により、子育て家庭を始め、広く市民の意見を反映させたプランを策定することができた。											
	2 地域における子育ての相互援助活動である「子育てサポートサービス事業」を実施する。(つくば市社会福祉協議会に委託) <b>【成果】</b> 子育て家庭を支える相互扶助のサービスとして、預かり保育や送迎等の援助を実施した。											
			令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	会員数		1,399人		1,447人		1,414人		1,405人		1,406人	
	活動回数		3,385回		3,794回		2,978回		2,448回		2,569回	
	3 幼児2人同乗用自転車の購入者に対して2万円を限度に補助を行う。 <b>【成果】</b> 子育て家庭の経済的負担の軽減及び交通の安全確保を図った。											
		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		
補助件数		24件		37件		49件		44件		37件		
4 大穂地区子育て応援「くすのき会」の活動支援 <b>【成果】</b> 交流会等の様々な活動を通して、小学生と中学生、地域の方々、学校の枠を越えた保護者の交流、団体間の交流などが図られ、「子育て支援」を核に地域をつなぐことの一助となった。												
5 つくば市あかちゃんの駅事業の実施 <b>【成果】</b> 事業者と行政が協力して、子育て家庭が外出中に授乳やオムツ替えて立ち寄ることができる施設を「あかちゃんの駅」として登録することにより、子育て家庭が外出しやすい環境を整えた。												
		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		
登録施設数		65箇所		55箇所		52箇所		52箇所		52箇所		
6 子どもや子育てに関する情報の発信 <b>【成果】</b> 「つくば子育てべんり帳」を作成、配布するとともに、「つくば市子育て支援情報システム」を「子育てナビ」としてリニューアルし情報発信を行った。多くの子育て家庭に対して、子育てサービスに関する情報提供をすることができ、子育て環境の整備の一助となった。												



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	16	本年	93,528			51	93,579		93,042	99.4
				前年	92,844				92,844		92,820	100.0
				比較	684			51	735		222	-
【参考】前々年度					84,650				84,650		83,827	99.0

目的 地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するため。

1 地域子育て支援拠点の開設

子育て親子の交流促進、相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、講習等の実施

【成果】

- (1) 9箇所(子育て総合支援センター、かつらぎ保育園、さくら学園保育園、認定こども園みのり、わかば保育園分園、NPO法人ままとーん、つくばこどもの森保育園、島名杉の子保育園、にじいろ保育園)で、地域子育て支援拠点を開設した。
- (2) 拠点担当者による定期的な連絡会を開催して、連携を深めながら事業に取り組むとともに、共同で「つくば子育てフェスティバル」を実施した。身近な地域において、子育て親子への支援を図ることができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
地域子育て支援拠点利用者数(※)	127,014人	151,976人	140,214人
つくば子育てフェスティバル来場者数	945人	923人	1,016人
(※) 令和元年・平成30年度は9箇所、平成29・28年度は8箇所、平成27・26年度は7箇所の合計	平成28年度 129,513人	平成27年度 110,805人	
	982人	765人	

2 子育て総合支援センターの運営管理

平成23年4月1日開館。シダックス大新東ヒューマンサービス(株)に運営管理を指定管理委託し、地域子育て支援拠点事業(つどいの広場)、人材の養成及び活用に関する事業、一時預かり事業、貸し室の提供等を行った。

【成果】

多くの子育て親子が利用し、子育て支援サービスの充実が図られた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
つどいの広場利用者数	38,850人	46,342人	47,781人	47,270人	43,551人
出張子育て広場利用者数	2,145人	2,763人	2,759人	2,402人	2,457人
サークル支援利用者数	197人	227人	237人	59人	57人
一時預かり事業利用者数	1,920人	2,186人	2,045人	2,191人	1,931人
貸し室利用者数	498人	1,470人	1,517人	853人	665人

概要及び成果

事業名：こどもの未来支援に要する経費

保健福祉部 こども未来室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	17	本年	28,774				28,774		26,313	91.4
				前年			2,392		2,392		2,209	92.4
				比較	28,774		△ 2,392		26,382		24,104	-
【参考】前々年度												

目的

子どもの貧困の連鎖を断ち切るため、無料の学習支援や居場所を提供することにより、学習意欲向上や学習の習慣化、基礎学力を向上させ、自ら学ぶ力を養うとともに、日常生活習慣、社会性及び自己肯定感を育むため。

概要及び成果

1 子どもの未来支援事業

学習支援事業や居場所づくりの実施、支援団体への補助や運営マニュアルによる研修、新規開設及び活動促進、学習塾代助成による全体の学力の底上げ、要支援の子どもを早期に発見し必要な支援につなげるための関係部局・機関からの情報集約と支援体制整備等を行う。

【成果】

(1) つくばこどもの青い羽根学習会

生活保護受給世帯及び就学援助受給世帯の子どもに対して、学習支援や安心できる居場所の提供等を行う。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施箇所数	13箇所	3箇所	2箇所
利用児童・生徒数	236人	80人	35人
事業費	25,070千円	8,318千円	2,424千円

※平成29年10月事業開始

(2) 子どもの学習塾代助成

市内の中学校・義務教育学校に在籍する9年生のうち生活保護や就学援助受給世帯の生徒に対し学習塾の利用にかかる経費の助成を行う。

	令和元年度
利用生徒数	14人
交付額	575千円

※令和元年度事業開始

(3) 子ども食堂支援事業補助金の交付(4団体、交付額300,000円)

(4) すべての子どもの支援に庁内が一体的に取り組むための庁内連携・情報共有を行う。

①つくば市こども未来懇話会の開催 2回(8/9、2/4)

②こども未来庁内連携会議の開催 3回(4/26、10/28、3/9)

③支援担当者会議の開催 4回(6/26、7/29、9/18、12/19)

④庁内の支援情報を集約した支援状況一覧を作成

(5) 学習支援・居場所づくりボランティア登録説明会 2回開催(5/26、1/11)

(6) 学習支援マニュアル研修会・意見交換会 4回開催(5/22、8/18、10/16、3/19)

事業名：つくばこどもの青い羽根事業に要する経費

保健福祉部 こども未来室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)						
03	02	01	18	本年	2,290				2,290		1,010	44.1						
				前年														
				比較	2,290				2,290		1,010	-						
【参考】前々年度																		
目的				子どもの未来支援のために寄付された寄付金を子どもの未来支援事業に充当することにより、貧困や格差の世代を超えた連鎖を断ち切るとともに、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう支援するため。														
概要及び成果				<p>1 子どもの未来支援のための寄付金を募り、学習支援や学習塾代助成、みんなの食堂(つくば市版こども食堂)、居場所づくり支援事業等に活用する。</p> <p>(1)市内外に対し、つくばこどもの青い羽根基金の認知度向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報つくばへの毎月掲載やホームページ・SNSへの掲載</li> <li>・区会への啓発チラシ配布依頼</li> <li>・市内事業者への啓発チラシ郵送</li> <li>・つくばフェスティバル、まつりつくば、賀詞交歓会での広報活動</li> <li>・クレジット決済導入</li> </ul> <p>【成果】寄付金額</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>目標額</td> <td>7,000,000円</td> </tr> <tr> <td>実績額</td> <td>8,781,446円</td> </tr> </table>										令和元年度	目標額	7,000,000円	実績額	8,781,446円
	令和元年度																	
目標額	7,000,000円																	
実績額	8,781,446円																	

事業名：児童手当支給に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
03	02	02	11	本年	4,229,419				4,229,419		4,220,783	99.8																								
				前年	4,163,023		22,875	1,790	4,187,688		4,187,164	100.0																								
				比較	66,396		△ 22,875	△ 1,790	41,731		33,619	-																								
【参考】前々年度				4,133,609		17,305		4,150,914		4,143,329	99.8																									
目的				児童を養育している家庭の生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資するため。																																
概要及び成果				<p>1 児童手当の支給</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>平成30年度</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>児童手当・特例 給付支給者数</td> <td>21,457 人</td> <td>21,227 人</td> <td>20,863 人</td> <td>20,428 人</td> <td>20,166 人</td> </tr> <tr> <td>児童手当・特例 給付支給額</td> <td>4,216,625 千円</td> <td>4,182,965 千円</td> <td>4,137,995 千円</td> <td>4,086,755 千円</td> <td>4,063,065 千円</td> </tr> </table> <p>(1)支給対象者 児童を養育する父母</p> <p>(2)支給対象児童 0才から中学校修了までの児童</p> <p>(3)支給額(児童1人当たりの月額)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満:一律 15,000円</li> <li>・3歳以上小学校修了前:10,000円(第3子以降は15,000円)</li> <li>・中学生:一律 10,000円</li> <li>・特例給付(所得制限額限度額以上の場合):一律 5,000円</li> </ul> <p>(4)定期支払時期 年3回</p> <table border="1"> <tr> <td>6月</td> <td>10月</td> <td>2月</td> </tr> <tr> <td>2月～5月分</td> <td>6月～9月分</td> <td>10月～1月分</td> </tr> </table>										令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	児童手当・特例 給付支給者数	21,457 人	21,227 人	20,863 人	20,428 人	20,166 人	児童手当・特例 給付支給額	4,216,625 千円	4,182,965 千円	4,137,995 千円	4,086,755 千円	4,063,065 千円	6月	10月	2月	2月～5月分	6月～9月分	10月～1月分
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
児童手当・特例 給付支給者数	21,457 人	21,227 人	20,863 人	20,428 人	20,166 人																															
児童手当・特例 給付支給額	4,216,625 千円	4,182,965 千円	4,137,995 千円	4,086,755 千円	4,063,065 千円																															
6月	10月	2月																																		
2月～5月分	6月～9月分	10月～1月分																																		

事業名：ひとり親家庭等児童福祉金支給に要する経費

こども部 こども政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	03	11	本年	98,292		19,645		117,937		114,589	97.2
				前年	127,721		746		128,467		117,305	91.3
				比較	△ 29,429		18,899		△ 10,530		△ 2,716	-
【参考】前々年度					71,471				71,471		69,259	96.9

目的

父母の離婚などにより両親またはその一方に養育されず、かつ生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭及び児童の養育者に対し、福祉金を支給し経済的支援を図るため。

概要及び成果

1 ひとり親家庭等児童福祉金の支給

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
支給対象者	1,765 人	1,793 人	1,821 人	1,815 人	1,817 人
支給額	114,168 千円	116,750 千円	69,243 千円	69,670 千円	69,193 千円

(1)対象児童:市内に住所を有する義務教育終了前(15歳)までの児童

(2)支給額:対象児童1人あたり年額 30,000円(年度途中の申請者は月額 2,500円)

※児童扶養手当支給対象児童は1人あたり年額 30,000円(月額 2,500円)増額

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
03	02	04	11	本年	318,201		78,179	701	397,081		368,907	92.9
				前年	312,717			475	313,192		303,201	96.8
				比較	5,484		78,179	226	83,889		65,706	-
【参考】前々年度					830,625		22,387	△ 4,169	848,843		820,040	96.6

目的

施設運営を円滑に進め、要保育児童の福祉の向上を図るため。

1 児童・乳児の一人ひとりに応じた保育を公立22保育所において実施するための運営費

【成果】

(1) 公立保育所児童数(3月末現在)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
児童数	1,721人	1,721人	1,764人	1,751人	1,807人
管外児童数	13人	9人	12人	29人	21人
合 計	1,734人	1,730人	1,776人	1,780人	1,828人

※平成30年度から1園休園(北条保育所)

(2) 保育コンシェルジュ相談

保育を必要とする児童の保育所等の円滑な利用を図るため、平成29年度から保育コンシェルジュを1名設置した。相談件数の増加により令和元年度は2名体制とした。保育所入所の相談など保育に関する様々なニーズに応えた。

相談内容	令和元年度	平成30年度	平成29年度
保育所入所	1,155件	749件	490件
こども園入所	51件	72件	67件
幼稚園入園	143件	107件	47件
認可外利用	79件	36件	39件
転園・希望変更	49件	38件	29件
広域入所	85件	37件	22件
一時・病児利用	92件	66件	51件
その他	78件	30件	35件
合 計	1,732件	1,135件	780件

(3) 保育料徴収

現年度の保育料に関しては、口座振替を奨励することで、例年どおり高い徴収率を確保できた。また、滞納繰越となった保育料については、電話による催告や分納相談等を行い徴収に努めた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
現年度収納額	1,264,132千円	1,594,752千円	1,530,426千円	1,402,389千円	1,345,808千円
収納率	99.3%	99.0%	99.0%	99.1%	98.7%
滞納繰越収納額	14,591千円	16,910千円	16,529千円	17,869千円	16,358千円
収納率	16.5%	17.8%	16.3%	16.3%	14.1%

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	04	12	本年	7,602,141	188,481	737,346	△ 752	8,527,216	161,412	7,792,078	93.3
				前年	6,449,242		146,397	△ 475	6,595,164	188,481	6,073,771	95.0
				比較	1,152,899	188,481	590,949	△ 277	1,932,052	△ 27,069	1,718,307	-
【参考】前々年度					6,405,474		570,828	4,169	6,980,471		6,569,568	94.1

目的 民間保育所等における運営委託及び助成を行い、施設運営を円滑に進め、要保育児童の福祉の向上を図るため。

- 1 子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援等、安心して子育てができる環境作りを総合的に推進するために、市内民間保育園(37園)、認定こども園(8園)、小規模保育事業者(8園)、私立幼稚園(1園)へ保育業務を委託し、各種事業補助として事業の円滑な実施を図るために補助金を交付する。

【成果】

- (1) 市内民間保育所3月末現在入所児童数4,129人(うち市外からの受託児童数44人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
3月末入所児童数	4,129人	3,853人	3,687人	3,423人	3,204人

- (2) 市外保育所への3月末現在委託保育所は103施設で、児童数150人

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
保育所数	103箇所	96箇所	75箇所	76箇所	64箇所
児童数	150人	145人	131人	117人	103人

- (3) 認可保育所5園新設、小規模保育施設5園新設、利用定員646名分増

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
認可保育所新設数(分園含)	5園	2園	2園	4園	2園
認定こども園新設数	0園	0園	2園	0園	1園
小規模保育事業所新設	5園	2園	1園	3園	0園
増加利用定員	646人分	240人分	332人分	465人分	110人分

※ 2号・3号定員の設定がある施設に限る。

- (4) 延長保育事業・一時預かり事業・病児保育事業等各種事業を実施する保育所に対し補助金を交付し、事業の円滑な実施および保育サービスの充実を図ることができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助金総額	235,344千円	215,107千円	190,520千円	171,634千円	136,560千円

- (5) 保育士の安定的な確保及び離職防止につなげるため、民間認可保育所に勤務する常勤保育士に対し、月額3万円の処遇改善助成金を交付した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
交付決定者数	707人	643人	566人
交付額	228,690千円	211,440千円	186,570千円

- (6) 認可外保育施設を利用する保護者に対し、利用料の一部を給付することで保護者の負担を軽減することができた。

	令和元年度
給付額	24,223千円
対象者数	183人
施設数	29園

※市外利用を含む

概要及び成果

事業名： 保育所管理に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	04	13	本年	358,391		5,500		363,891	21,298	324,633	95.1
				前年	250,762				250,762		234,188	93.4
				比較	107,629		5,500		113,129	21,298	90,445	-
【参考】前々年度					246,258		4,231		250,489		247,502	98.8

目的

入所する児童が安全・安心に利用できるように施設の維持管理をするため。

概要及び成果

1 市内23保育所の施設修繕及び業務委託

【成果】

充実した保育活動のための適切な施設維持管理ができた。

(主な施設修繕)

松代保育所屋根及び外壁改修工事	15,933,610円
二の宮保育所屋根及び外壁改修工事	18,018,000円
城山保育所駐車場修繕工事	1,285,200円
稲岡保育所空調機改修工事	1,274,400円
松代保育所ホール床修繕工事	1,265,000円
沼田保育所雨樋及びテラス床修繕工事	1,210,000円
二の宮保育所沐浴設備修繕工事	1,009,800円

(主な業務委託)

保育所機械警備委託	183,120円×23保育所	4,211,760円
上横場保育所他11か所消防設備点検委託		347,460円
北条保育所他10か所消防設備点検委託		322,580円
上郷保育所・今鹿島保育所除草及び樹木剪定業務委託		496,800円
作岡保育所高木剪定業務委託		297,000円
吾妻第二保育所用地除草委託		345,600円

(設計業務委託)

北条保育所駐車場整備工事設計業務委託	1,231,200円
今鹿島保育所屋根及び外壁改修工事設計業務委託	792,000円
上郷保育所屋根及び外壁改修工事設計業務委託	792,000円

(建築工事)

北条保育所建築工事	94,080,000円
-----------	-------------

(土木工事)

旧北条小学校プール解体及び駐車場整備工事	20,240,000円
----------------------	-------------

事業名：児童館運営に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	05	11	本年	46,464			428	46,892		44,914	95.8
				前年	50,929			△ 269	50,660		44,177	87.2
				比較	△ 4,465			697	△ 3,768		737	-
【参考】前々年度					98,184				98,184		91,197	92.9

目的 地域児童の遊びの拠点となり、健全育成に資すること及び地域組織活動等の子育て支援団体の育成助長を図るため。

- 1 市内18児童館(うち大曾根児童館は指定管理者)において、児童の遊びの指導及び子育て支援事業等の実施をするほか、地域組織活動の子育て支援団体を助長し、児童の健全育成を図る。

【成果】 児童の健全育成及び地域組織活動の育成助長が図られた。

(1) 地域活動組織(母親クラブ)17団体

(2) 総来館者数 405,097人 (1日平均 1,616人)

児童館名	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	来館者数	平均/日	来館者数	平均/日	来館者数	平均/日	来館者数	平均/日
栄	17,194人	69人	18,940人	74人	20,074人	77人	19,548人	76人
九重	13,286人	53人	12,744人	50人	15,908人	62人	17,439人	68人
荃崎	8,372人	34人	8,101人	32人	10,120人	39人	12,714人	49人
松代	24,519人	100人	37,347人	146人	43,357人	165人	40,536人	155人
吾妻西	31,456人	123人	34,553人	137人	36,939人	144人	41,454人	162人
吾妻東	13,307人	54人	13,132人	52人	12,192人	47人	13,670人	53人
手代木南	18,208人	73人	19,975人	78人	16,567人	64人	15,916人	62人
二の宮	39,241人	154人	45,367人	178人	46,427人	181人	45,757人	179人
谷田部	42,800人	168人	44,525人	174人	64,019人	250人	54,945人	215人
上郷	16,525人	66人	18,178人	72人	19,695人	76人	17,682人	69人
吉沼	17,192人	72人	19,262人	77人	19,417人	75人	15,969人	62人
竹園西	30,373人	122人	28,462人	113人	25,079人	97人	26,875人	105人
竹園東	17,132人	68人	22,026人	87人	22,899人	89人	23,811人	93人
並木	29,634人	118人	34,086人	133人	40,181人	154人	38,930人	151人
東	32,522人	129人	32,757人	129人	30,498人	119人	29,937人	117人
桜南	21,686人	87人	24,829人	97人	23,420人	91人	22,375人	87人
小田	3,696人	15人	2,958人	12人	4,938人	19人	4,742人	18人
大曾根	27,954人	114人	26,390人	104人	34,799人	135人	36,813人	144人
計	405,097人	1,616人	443,632人	1,745人	486,529人	1,884人	479,113人	1,865人

概要及び成果



事業名：放課後児童対策に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	05	12	本年	967,062		59,964	△ 428	1,026,598	50,951	848,967	87.7
				前年	446,662			△ 49	446,613		430,055	96.3
				比較	520,400		59,964	△ 379	579,985	50,951	418,912	-
【参考】前々年度					733,120		26,103		759,223		715,227	94.2

目的

保護者の就労等により、放課後に保護者から保育が受けられない児童に対し、安全で安心な遊び及び生活の場を提出し、児童の健全育成を図るため。

1 放課後児童対策

(1) 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

①公営児童クラブ 児童館内の児童クラブ、サテライト方式(※)により児童館が運営する児童クラブ、学校敷地内・隣接地の専用施設で児童クラブ長が運営する児童クラブがある。

※ サテライト方式により児童館が運営する児童クラブとは、従来、市からの運営委託により保護者会が運営していた児童クラブを公営化し、最寄り若しくは指定された児童館が統括管理を行う児童クラブである。

②民営児童クラブ 市からの運営委託により、学校の余裕教室等の公共施設を利用して保護者会が運営する児童クラブ、指定管理者が運営する児童クラブ、民間事業者が自らの施設で運営する児童クラブがある。

(2)放課後児童クラブ施設の整備

【成果】

- ①公営児童クラブ：学園の森児童クラブ(2クラブ)の新設  
44クラブ みどりの学園児童クラブ(2クラブ)の新設  
(10クラブの増) 秀峰筑波児童クラブ(1クラブ)の新設  
葛城小学校児童クラブ(1クラブ)の公営化  
沼崎小学校児童クラブ(3クラブ)の公営化  
要小学校児童クラブ(1クラブ)の公営化
- ②民営児童クラブ：保護者会児童クラブが公営化により4クラブの減  
60クラブ 民設民営児童クラブが10クラブの増  
(6クラブの増)

※1クラブ＝概ね定員40名

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
①公営児童クラブ	2,091 人	1,696 人	1,055 人	984 人	934 人
②民営児童クラブ	2,221 人	2,105 人	2,035 人	1,859 人	1,672 人
合計	4,312 人	3,801 人	3,090 人	2,843 人	2,606 人

放課後児童クラブ施設の整備

- ・ 児童館併設児童クラブのうち、竹園西、谷田部、栄児童館の児童クラブ室の増築を行い、新たに児童240名分の受入れ準備を整えた。なお、吉沼児童館についても、児童クラブ室の増築工事に着手し(80名分)、令和2年度9月頃の完成を予定している。
- ・ 面積要件を超過して児童を受け入れている児童クラブ室のうち、茎崎第一小学校児童クラブ、柳橋小学校児童クラブについて、児童クラブ室の増築に向けての実施設計を完了し、面積超過の解消に向けて次年度の建築準備を整えることができた。

概要及び成果

事業名：児童館管理に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	05	13	本年	91,010				91,010		84,220	92.5
				前年	90,827			319	91,146		91,037	99.9
				比較	183			△ 319	△ 136		△ 6,817	-
【参考】前々年度					82,565				82,565		81,317	98.5

目的	利用する児童等が安全・安心に利用できるよう施設の維持管理をするため。											
概要 及 び 成 果	1 市内18児童館の施設修繕及び業務委託											
	【成果】											
	充実した児童健全育成活動のための適切な施設維持管理ができた。											
	(主な施設修繕)											
	竹園東児童館屋根及び外壁改修工事											25,399,000円
	九重児童館屋根及び外壁改修工事											14,388,000円
	吉沼児童館ほか8か所トイレ改修工事											4,587,100円
	栄児童館ほか3か所空調機設置等工事											3,188,160円
	竹園東児童館ほか2か所ホールカーペット修繕工事											1,518,000円
	(主な業務委託)											
	児童館機械警備委託 183,120円×17児童館											3,113,040円
	竹園東児童館ほか16か所消防設備点検委託											579,080円
	竹園西児童館屋根及び外壁改修設計業務委託											726,000円
	吾妻東児童館屋根及び外壁改修設計業務委託											715,000円
	二の宮児童館外2児童館プレイルーム空調設備設計業務委託											979,000円
上郷児童館濾材交換											172,800円	
並木児童館電気保安業務委託											141,656円	

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	11	本年	2,099,291		133,707	19,587	2,252,585		2,245,713	99.7
				前年	2,073,573		155,454		2,229,027		2,188,841	98.2
				比較	25,718		△ 21,747	19,587	23,558		56,872	-
【参考】前々年度					2,033,581		181,544	248	2,215,373		2,040,814	92.1

目的

生活困窮者に対し、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長するため。

1 生活困窮者からの相談→生活保護申請→開始若しくは却下・取り下げ→開始の場合必要な援助及び指導  
【成果】

(1) 生活保護の動向

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
申請件数	180 件	148 件	170 件	150 件	147 件
却下件数	6 件	3 件	3 件	7 件	1 件
取下件数	10 件	12 件	11 件	13 件	12 件
開始件数	164 件	133 件	156 件	130 件	134 件
廃止件数	143 件	116 件	117 件	112 件	116 件
被保護世帯※	927 世帯	906 世帯	889 世帯	850 世帯	832 世帯
被保護人員※	1,124 人	1,101 人	1,073 人	1,050 人	1,014 人
保護率※	4.7 %	4.6 %	4.6 %	4.6 %	4.5 %

※「被保護世帯」、「被保護人員」、「保護率」は、年度末現在の数値

(2) 生活保護費の動向

(単位:千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
生活扶助費	575,663	555,527	566,952	575,612	555,805
住宅扶助費	266,530	258,247	248,003	244,644	236,921
教育扶助費	3,267	3,951	3,764	4,794	4,876
医療扶助費	1,216,981	1,104,119	1,068,421	1,050,995	1,036,685
介護扶助費	86,704	81,947	91,414	85,650	89,327
出産扶助費	469	0	367	341	391
生業扶助費	1,864	2,248	3,020	2,081	1,418
葬祭扶助費	7,108	3,992	3,279	4,119	4,380
施設事務費	6,226	9,384	8,607	8,538	8,323
就労自立給付金	85	215	239	152	248
進学準備給付金	200	0	-	-	-
合計	2,165,092	2,019,630	1,994,066	1,976,926	1,938,374

※進学準備給付金は平成30年6月に創設

概要及び成果

事業名：生活困窮者自立支援事業に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	12	本年	7,738		758	△ 342	8,154		7,374	90.4
				前年	17,121		1,054		18,175		14,326	78.8
				比較	△ 9,383		△ 296	△ 342	△ 10,021		△ 6,952	-
【参考】前々年度					7,320		4,247	3,500	15,067		13,548	89.9

目的	生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援事業と住居確保給付金事業を実施することにより、生活困窮者の自立促進を図るため。																																				
概要及び成果	<p>1 生活困窮者自立相談支援事業</p> <p>生活困窮者に対する専門の相談窓口を設置し、具体的な支援プランを作成し自立に向けた支援を実施する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談受付件数</td> <td>70 件</td> <td>73 件</td> <td>114 件</td> <td>76 件</td> <td>162 件</td> </tr> <tr> <td>新規支援プラン作成件数</td> <td>20 件</td> <td>15 件</td> <td>22 件</td> <td>18 件</td> <td>18 件</td> </tr> <tr> <td>就労支援対象者数(A)</td> <td>20 人</td> <td>20 人</td> <td>21 人</td> <td>18 人</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>就労者数(B)</td> <td>11 人</td> <td>14 人</td> <td>16 人</td> <td>11 人</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>就労率((B)／(A))</td> <td>55 %</td> <td>70 %</td> <td>76.1 %</td> <td>61.1 %</td> <td>23.5 %</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	新規相談受付件数	70 件	73 件	114 件	76 件	162 件	新規支援プラン作成件数	20 件	15 件	22 件	18 件	18 件	就労支援対象者数(A)	20 人	20 人	21 人	18 人	17 人	就労者数(B)	11 人	14 人	16 人	11 人	4 人	就労率((B)／(A))	55 %	70 %	76.1 %	61.1 %	23.5 %
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
	新規相談受付件数	70 件	73 件	114 件	76 件	162 件																															
	新規支援プラン作成件数	20 件	15 件	22 件	18 件	18 件																															
	就労支援対象者数(A)	20 人	20 人	21 人	18 人	17 人																															
	就労者数(B)	11 人	14 人	16 人	11 人	4 人																															
	就労率((B)／(A))	55 %	70 %	76.1 %	61.1 %	23.5 %																															
	<p>2 住居確保給付金支給事業</p> <p>離職により住居を失った者又は失うおそれが高い者に対して、有期で家賃相当額(生活保護の住宅扶助と同額)を支給すると共に就労支援を行う。</p> <p>支給限度額 単身世帯34,000円 2人世帯41,000円 3～5人世帯44,000円 6人世帯48,000円 7人以上世帯53,000円</p> <p>支給期間限度 3か月間(延長可 最大9か月)</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給対象世帯件数</td> <td>21 件</td> <td>20 件</td> <td>32 件</td> <td>23 件</td> <td>11 件</td> </tr> <tr> <td>支給総額</td> <td>2,363,000 円</td> <td>2,150,000 円</td> <td>3,636,000 円</td> <td>3,081,800 円</td> <td>981,900 円</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給対象世帯件数	21 件	20 件	32 件	23 件	11 件	支給総額	2,363,000 円	2,150,000 円	3,636,000 円	3,081,800 円	981,900 円																		
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
	支給対象世帯件数	21 件	20 件	32 件	23 件	11 件																															
支給総額	2,363,000 円	2,150,000 円	3,636,000 円	3,081,800 円	981,900 円																																

事業名：災害救助に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)																
03	04	01	11	本年	6,139			△ 9	6,130		2,105	34.3																
				前年	4,785				4,785		1,863	38.9																
				比較	1,354			△ 9	1,345		242	-																
【参考】前々年度					5,439				5,439		3,064	56.3																
目的		災害(火災・自然災害)を受けた市民又はその遺族に対し、見舞金又は弔慰金を支給することにより、被災者の自立の助長を図るため。																										
概要及び成果		1 災害(火災・自然災害)により被害を受けた市民又は遺族に対する見舞金等の支給 災害(火災・自然災害)の程度や世帯員数により見舞金等を支給する。 <b>【成果】</b> 火災による被災者に対する見舞金支給実績																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>3件</td> <td>5件</td> <td>8件</td> <td>4件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>支給金額</td> <td>120,000円</td> <td>140,000円</td> <td>220,000円</td> <td>190,000円</td> <td>90,000円</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給件数	3件	5件	8件	4件	2件	支給金額	120,000円	140,000円	220,000円	190,000円	90,000円			
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																							
支給件数	3件	5件	8件	4件	2件																							
支給金額	120,000円	140,000円	220,000円	190,000円	90,000円																							
概要及び成果		2 東日本大震災による被災住宅復旧資金借入利子補給金の支給 被災した住宅の復旧に要する資金を金融機関等から借り入れた者に対して、当該借入れに係る利子の一部を補給する。 <b>【成果】</b>																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補給金額</td> <td>966,700円</td> <td>1,013,000円</td> <td>1,218,800円</td> <td>1,364,000円</td> <td>1,420,100円</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	補給金額	966,700円	1,013,000円	1,218,800円	1,364,000円	1,420,100円									
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																							
補給金額	966,700円	1,013,000円	1,218,800円	1,364,000円	1,420,100円																							

事業名：竜巻災害救助に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)										
03	04	01	12	本年	460				460		351	76.3										
				前年	489				489		441	90.2										
				比較	△ 29				△ 29		△ 90	-										
【参考】前々年度					493				493		488	99.1										
目的		竜巻により被災した市民の安全確保及び救助を行うため。																				
概要及び成果		1 被災住宅復旧資金借入利子補給金の支給 被災した住宅の復旧に要する資金を金融機関等から借り入れた者に対して、当該借入れに係る利子の一部を補給する。 <b>【成果】</b>																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補給金額</td> <td>350,900円</td> <td>440,900円</td> <td>488,400円</td> <td>492,300円</td> <td>499,700円</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	補給金額	350,900円	440,900円	488,400円	492,300円	499,700円			
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																	
補給金額	350,900円	440,900円	488,400円	492,300円	499,700円																	

事業名： 原発避難者等救助に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	04	01	13	本年				9	9		9	100.0
				前年	1,623				1,623		1,536	94.6
				比較	△ 1,623			9	△ 1,614		△ 1,527	-
【参考】前々年度					1,623				1,623		1,623	100.0

目的	東日本大震災及び福島第一原発事故による避難者の支援を行うため。											
概要及び成果	<p>1 避難者支援</p> <p>避難者に対し、支援情報の提供を行った。さらに、NPO法人やボランティアの避難者支援活動の支援及び避難者同士の交流を図るための交流会等の支援を行った。</p>											
	<p>2 民間借り上げ住宅賃貸借</p> <p>南相馬市からの避難者に対する民間借り上げによる応急仮設住宅供与が平成31年3月末で終了したことから、入居時に2年間契約で加入していた火災保険の返戻金を茨城県に返還した。</p> <p>【成果】</p> <p>民間借り上げ仮設住宅戸数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸数</td> <td>0戸</td> <td>2戸</td> <td>2戸</td> <td>7戸</td> <td>12戸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※県外からの避難者で、平成23年度から応急仮設住宅の入居を継続していた戸数</p>	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	戸数	0戸	2戸	2戸	7戸
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
戸数	0戸	2戸	2戸	7戸	12戸							

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
03	04	01	14	本年				1,526	1,526		1,425	93.4	
				前年									
				比較				1,526	1,526		1,425	-	
【参考】前々年度													

目的	令和元年台風第19号における避難者支援のため。																																										
概要及び成果	<p>【概要】</p> <p>10月12日に上陸した令和元年台風第19号による避難者支援を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>避難者数 1,112人</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>開設日時</th> <th>最大避難者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>働く婦人の家</td> <td>10/12 9:00 ~10/13 18:00</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>市民研修センター</td> <td>10/12 9:00 ~10/13 18:00</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>豊里交流センター</td> <td>10/12 9:00 ~10/13 18:00</td> <td>224人</td> </tr> <tr> <td>桜老人福祉センター</td> <td>10/12 9:00 ~10/13 11:00</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>桜中学校</td> <td>10/12 9:00 ~10/13 18:00</td> <td>207人</td> </tr> <tr> <td>真瀬小学校</td> <td>10/12 9:00 ~10/13 17:00</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>荃崎交流センター</td> <td>10/12 9:00 ~10/13 17:00</td> <td>139人</td> </tr> <tr> <td>(旧)田水山小学校</td> <td>10/12 12:00 ~10/13 18:00</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>荃崎中学校</td> <td>10/12 15:00 ~10/13 17:00</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>(旧)田井小学校</td> <td>10/12 17:00 ~10/13 18:00</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>総合教育研究所</td> <td>10/12 17:00 ~10/13 18:00</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>大穂交流センター</td> <td>10/12 19:30 ~10/13 11:00</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,112人</td> </tr> </tbody> </table> <p>避難者への食料品の供給 延べ1,800人</p>	施設名	開設日時	最大避難者数	働く婦人の家	10/12 9:00 ~10/13 18:00	105人	市民研修センター	10/12 9:00 ~10/13 18:00	76人	豊里交流センター	10/12 9:00 ~10/13 18:00	224人	桜老人福祉センター	10/12 9:00 ~10/13 11:00	94人	桜中学校	10/12 9:00 ~10/13 18:00	207人	真瀬小学校	10/12 9:00 ~10/13 17:00	35人	荃崎交流センター	10/12 9:00 ~10/13 17:00	139人	(旧)田水山小学校	10/12 12:00 ~10/13 18:00	133人	荃崎中学校	10/12 15:00 ~10/13 17:00	15人	(旧)田井小学校	10/12 17:00 ~10/13 18:00	20人	総合教育研究所	10/12 17:00 ~10/13 18:00	4人	大穂交流センター	10/12 19:30 ~10/13 11:00	60人	計		1,112人
	施設名	開設日時	最大避難者数																																								
	働く婦人の家	10/12 9:00 ~10/13 18:00	105人																																								
	市民研修センター	10/12 9:00 ~10/13 18:00	76人																																								
	豊里交流センター	10/12 9:00 ~10/13 18:00	224人																																								
	桜老人福祉センター	10/12 9:00 ~10/13 11:00	94人																																								
	桜中学校	10/12 9:00 ~10/13 18:00	207人																																								
	真瀬小学校	10/12 9:00 ~10/13 17:00	35人																																								
	荃崎交流センター	10/12 9:00 ~10/13 17:00	139人																																								
	(旧)田水山小学校	10/12 12:00 ~10/13 18:00	133人																																								
	荃崎中学校	10/12 15:00 ~10/13 17:00	15人																																								
	(旧)田井小学校	10/12 17:00 ~10/13 18:00	20人																																								
	総合教育研究所	10/12 17:00 ~10/13 18:00	4人																																								
	大穂交流センター	10/12 19:30 ~10/13 11:00	60人																																								
	計		1,112人																																								

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	766				766		485	63.4
				前年	766			140	906		904	99.7
				比較				△ 140	△ 140		△ 419	-
【参考】前々年度					766				766		344	44.9

目的	市内研究機関・企業・学校等への依頼による献血の推進及び献血の普及啓発活動に努めるとともに、骨髄移植提供者への助成の推進及び骨髄ドナー登録の普及啓発を図るため。																														
概要及び成果	<p>1 献血推進事務</p> <p>(1) 市内研究機関・企業・学校等を訪問し、移動採血車による献血の協力依頼</p> <p>(2) 献血協力団体等への表彰推薦に係る事務</p> <p>(3) 献血への普及啓発、キャンペーンの実施</p> <p>【成果】</p> <p>献血実績</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間実施日数</td> <td>91 日</td> <td>92 日</td> <td>92 日</td> <td>80 日</td> <td>83 日</td> </tr> <tr> <td>献血者数 (200ml)</td> <td>119 人</td> <td>155 人</td> <td>271 人</td> <td>320 人</td> <td>557 人</td> </tr> <tr> <td>献血者数 (400ml)</td> <td>3,534 人</td> <td>4,056 人</td> <td>4,159 人</td> <td>4,110 人</td> <td>3,718 人</td> </tr> <tr> <td>献血者数 合計</td> <td>3,653 人</td> <td>4,211 人</td> <td>4,430 人</td> <td>4,430 人</td> <td>4,275 人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	年間実施日数	91 日	92 日	92 日	80 日	83 日	献血者数 (200ml)	119 人	155 人	271 人	320 人	557 人	献血者数 (400ml)	3,534 人	4,056 人	4,159 人	4,110 人	3,718 人	献血者数 合計	3,653 人	4,211 人	4,430 人	4,430 人	4,275 人
	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
	年間実施日数	91 日	92 日	92 日	80 日	83 日																									
	献血者数 (200ml)	119 人	155 人	271 人	320 人	557 人																									
献血者数 (400ml)	3,534 人	4,056 人	4,159 人	4,110 人	3,718 人																										
献血者数 合計	3,653 人	4,211 人	4,430 人	4,430 人	4,275 人																										
<p>2 骨髄移植提供者(骨髄ドナー)に係る事務</p> <p>(1) 骨髄移植提供者(骨髄ドナー)への助成事業(1日当たり20,000円×最大7日まで)</p> <p>(2) 骨髄ドナー登録の普及啓発</p> <p>【成果】</p> <p>骨髄移植提供者(骨髄ドナー)への助成実績</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間実施人数</td> <td>1 人</td> <td>4 人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和元年度	平成30年度	年間実施人数	1 人	4 人																									
年度	令和元年度	平成30年度																													
年間実施人数	1 人	4 人																													



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	12	本年	36,134				36,134		36,065	99.8
				前年	35,536				35,536		35,535	100.0
				比較	598				598		530	-
【参考】前々年度					35,387				35,387		35,329	99.8

目的

休日及び夜間における地域住民の医療サービスを確保するため。

1 休日緊急診療事業

休日緊急診療業務をつくば市医師会に委託し在宅当番医により休日緊急診療を実施

【成果】

(1) 休日緊急診療

① 一般内科

年 度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
当番日数		76日	73日	72日	72日	72日
診療患者数		6,197人	5,882人	5,431人	5,475人	5,161人
診療内訳	内科	3,796人	3,641人	3,379人	3,328人	2,818人
	外科	359人	370人	271人	357人	420人
	小児科	1,244人	1,365人	1,304人	1,420人	1,590人
	その他	798人	506人	477人	370人	333人
医療機関数(延)		149	151	148	149	149

② 歯科

年 度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
当番日数		6日	6日	6日	6日	6日
診療患者数		130人	105人	147人	145人	85人
医療機関数(延)		12	12	12	12	12

(2) 病院群輪番制

① 患者内訳

年度	令和元年度			平成30年度			平成29年度		
	患者延数			患者延数			患者延数		
区分	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
計	1,404人	9,294人	10,698人	1,661人	10,759人	12,420人	1,613人	10,553人	12,166人
内科	325人	1,144人	1,469人	355人	1,256人	1,611人	318人	1,365人	1,683人
小児科	164人	3,295人	3,459人	197人	3,837人	4,034人	186人	3,752人	3,938人
外科	98人	397人	495人	108人	435人	543人	164人	435人	599人
整形外科	49人	417人	466人	45人	448人	493人	39人	316人	355人
その他	768人	4,041人	4,809人	956人	4,783人	5,739人	906人	4,685人	5,591人
年度	平成28年度			平成27年度					
区分	患者延数			患者延数					
	入院	外来	計	入院	外来	計			
計	2,258人	11,276人	13,534人	1,369人	10,946人	12,315人			
内科	594人	1,225人	1,819人	350人	1,512人	1,862人			
小児科	224人	3,765人	3,989人	195人	3,990人	4,185人			
外科	423人	517人	940人	103人	370人	473人			
整形外科	46人	487人	533人	28人	351人	379人			
その他	971人	5,282人	6,253人	693人	4,723人	5,416人			

概要及び成果

②来院・方法別内訳

年度		令和元年度			平成30年度			平成29年度			
区分		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	
初期救急 医療施設 からの転送	救急車	127人	23人	150人	138人	37人	175人	97人	24人	121人	
	その他	111人	197人	308人	148人	173人	321人	105人	149人	254人	
	計	238人	220人	458人	286人	210人	496人	202人	173人	375人	
その他	救急車	560人	876人	1,436人	702人	1,002人	1,704人	700人	964人	1,664人	
	その他	596人	7,898人	8,494人	669人	9,551人	10,220人	664人	9,463人	10,127人	
	計	1,156人	8,774人	9,930人	1,371人	10,553人	11,924人	1,364人	10,427人	11,791人	
計		1,394人	8,994人	10,388人	1,657人	10,763人	12,420人	1,566人	10,600人	12,166人	
年度		平成28年度			平成27年度						
区分		入院	外来	計	入院	外来	計				
初期救急 医療施設 からの転送	救急車	136人	31人	167人	85人	23人	108人				
	その他	146人	218人	364人	72人	137人	209人				
	計	282人	249人	531人	157人	160人	317人				
その他	救急車	747人	985人	1,732人	578人	809人	1,387人				
	その他	1,151人	9,987人	11,138人	573人	9,443人	10,016人				
	計	1,898人	10,972人	12,870人	1,151人	10,252人	11,403人				
計		2,180人	11,221人	13,401人	1,308人	10,412人	11,720人				

事業名：健康増進に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	13	本年	11,895		△ 218	285	11,962	1	10,507	87.8
				前年	6,834			△ 140	6,694		6,368	95.1
				比較	5,061		△ 218	425	5,268	1	4,139	-
【参考】前々年度					19,735				19,735		17,965	91.0

目的	健康増進計画「健康つくば21」を推進するとともに、健康づくり推進協議会を開催し、保健衛生・健康増進事業の充実を図るため。																								
概要及び成果	<p>1 健康増進計画「健康つくば21」策定・推進事業</p> <p>7分野(①栄養・食生活、②身体活動・運動、③休養・こころの健康、④喫煙・飲酒、⑤歯と口腔の健康・歯周病、⑥健康管理、⑦医療等の提供)について事業を実施し、健康づくりを推進する。また、イベント等で啓発活動を行う。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期健康増進計画の策定に向けて、市民アンケート調査を妊婦、乳児・幼児の保護者、小・中・高校生、20歳以上の市民に対して実施した。アンケート用紙を6,532人に配布し、4,056人から回答があり、回収率は62.1%、前回比で5.2%(623人)増加した。</li> <li>・つくばフェスティバル、健康フェスタ等での啓発活動 チラシ・パンフレットの配布数</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チラシ等配布数</td> <td>約2,200部</td> <td>約2,100部</td> <td>約2,000部</td> <td>約2,000部</td> <td>約1,000部</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業年間予定表「ライフプランすこやか」での普及広報</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布数</td> <td>66,000部</td> <td>約67,000部</td> <td>約67,000部</td> <td>約67,000部</td> <td>約67,000部</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	チラシ等配布数	約2,200部	約2,100部	約2,000部	約2,000部	約1,000部	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	配布数	66,000部	約67,000部	約67,000部	約67,000部	約67,000部
	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
	チラシ等配布数	約2,200部	約2,100部	約2,000部	約2,000部	約1,000部																			
	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
配布数	66,000部	約67,000部	約67,000部	約67,000部	約67,000部																				
<p>2 新型インフルエンザ等対策事業</p> <p>新型インフルエンザ等の発生に備えて、職員向けの講習会、実務訓練等を行い、各部署の役割を確認し、市の体制を整える。また、防護服等の備蓄を行うとともに、医師会等の関係機関と連携し、まん延防止の対策を講じていく。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員76名に対して防護服着脱訓練等の講習会を実施し、各部署の役割を確認するとともに、基本的な感染予防について理解を深めた。</li> <li>・保健福祉部、危機管理課、広報戦略課、各企画監との初動体制の実務訓練を行い、基本事項を再確認した。</li> <li>・医師会等の関係機関と住民接種に関して課題と今後の検討事項を協議し、継続して取り組むことを確認できた。また、市内医療機関(156か所)に対して住民接種に関する意向調査を実施した。</li> <li>・防護服、消毒薬、手袋等の備蓄管理を行った。</li> </ul>																									
<p>3 放射線検査費用助成事業(扶助費)</p> <p>東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質に関して、子どもたちや妊婦の健康不安の軽減を図るために、甲状腺エコー検査またはホールボディカウンター検査の費用の一部を助成する。</p> <p>【成果】検査費用の一部を助成することで、市民の経済的負担を軽減した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成者数</td> <td>2人</td> <td>7人</td> <td>38人</td> <td>13人</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td>6千円</td> <td>21千円</td> <td>114千円</td> <td>39千円</td> <td>138千円</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	助成者数	2人	7人	38人	13人	46人	助成額	6千円	21千円	114千円	39千円	138千円							
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																				
助成者数	2人	7人	38人	13人	46人																				
助成額	6千円	21千円	114千円	39千円	138千円																				
<p>4 在宅血液透析患者助成金支給事業(新規)</p> <p>在宅で血液透析を1月につきおおむね10回以上行った場合に、その月の電気料及び水道料金に対して10,000円/月を助成する。</p> <p>【成果】在宅血液透析に係る費用の一部を助成することで、市民の経済的負担を軽減した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成者数</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td>240千円</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和元年度	助成者数	2人	助成額	240千円																			
年度	令和元年度																								
助成者数	2人																								
助成額	240千円																								

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	14	本年	92,179				92,179		42,077	45.6
				前年	94,070				94,070		43,863	46.6
				比較	△ 1,891				△ 1,891		△ 1,786	-
【参考】前々年度					42,240				42,240		42,033	99.5

目的  
つくば市の周産期医療体制の充実を図り、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため。

概要及び成果

1 つくば市寄附講座(総合周産期医学)及びつくば市バースセンターの設置

平成25年3月29日、筑波大学との「寄附講座の設置に関する協定」に基づき、平成25年9月に筑波大学附属病院内につくば市寄附講座(総合周産期医学)及びつくば市バースセンターを開設し、市民の出産環境の向上に努めている。

平成30年4月、再び筑波大学附属病院つくば市バースセンターの運営及び寄附講座の設置に関する覚書と寄附講座の設置に関する協定書を締結した。

【成果】

(1)産婦人科施設開設支援事業助成金について茨城県産婦人科医会へ事業説明を実施し、医会ホームページに事業内容について掲載依頼し、広くPRすることができた。

(2)令和2年2月20日にバースセンターに関する報告会を開催し、寄附講座の概要・実績報告、バースセンター実績及び成果を確認した。

(3)分娩数 (1月～12月実績)

	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
分娩数	112 人	111 人	119 人	114 人	119 人

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	02	11	本年	694,277		29,866		724,143		699,292	96.6
				前年	617,145	13,526	41,959	3,190	675,820	662,244	98.0	
				比較	77,132	△ 13,526	△ 12,093	△ 3,190	48,323	37,048	-	
【参考】前々年度					614,813		41,347		656,160	13,526	642,861	100.0

目的

予防接種法に基づき、定期の予防接種を実施するとともに、任意の予防接種についても助成を行い、感染症の予防を図るため。

1 定期の予防接種

(1)個別接種:つくば市医師会の協力医療機関及び契約医療機関等で実施

(2)要注意者紹介制度:接種する上で注意を要する方に、専門的な医療機関を紹介し、より安全に実施する。

A類疾病(集団予防を目的とする感染症)

【成果】

対象者に対象月年齢になる前に個人通知を送付することで、適切な時期での接種機会を情報提供することができた。また、予防接種の効果及び副反応等の正しい情報を提供することができた。

接種者数

予防接種	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ヒブ	9,122 人	9,313 人	9,195 人	9,440 人	9,200 人
小児肺炎球菌	9,379 人	9,339 人	9,210 人	9,436 人	9,268 人
四種混合	9,404 人	9,402 人	9,292 人	9,536 人	9,221 人
三種混合	1 人	1 人	0 人	1 人	8 人
BCG	2,350 人	2,297 人	2,288 人	2,389 人	2,293 人
B型肝炎	6,944 人	6,878 人	6,834 人	3,833 人	人
麻しん風しん	4,781 人	4,838 人	4,668 人	4,691 人	4,602 人
水痘	4,630 人	4,670 人	4,677 人	4,578 人	4,806 人
日本脳炎	11,523 人	12,192 人	10,666 人	9,705 人	9,395 人
二種混合	2,284 人	2,259 人	2,083 人	2,014 人	2,095 人
ヒトパピローマウイルス	189 人	54 人	26 人	21 人	23 人
不活化ポリオ	8 人	53 人	124 人	228 人	322 人
大人の風しん第5期	745 人	人	人	人	人

B類疾病(個人予防を目的とする感染症)

【成果】

接種者数

予防接種		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
高齢者 インフル エンザ	対象者	46,622 人	45,638 人	44,687 人	43,664 人	42,257 人
	接種者数	25,017 人	23,329 人	21,780 人	22,272 人	21,664 人
	接種率	53.7 %	51.1 %	48.7 %	51 %	51.3 %
高齢者 肺炎球 菌	対象者	7,028 人	9,149 人	9,349 人	9,027 人	8,253 人
	接種者数	1,776 人	3,694 人	4,226 人	3,986 人	3,442 人
	接種率	25.3 %	40.4 %	45.2 %	44.2 %	41.7 %

※肺炎球菌予防接種の未接種者対策として、2月に65歳相当の方に漏れ者通知を実施した。

※令和元年度から高齢者肺炎球菌予防接種対象者は、65歳及び65歳以上で5歳刻みの未接種者となる。

概要及び成果

大人の風しん抗体検査

【成果】

抗体検査	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
検査者数	3,160 人	人	人	人	人

※大人の風しん抗体検査及び予防接種は、令和元年度から3年の補助事業としてスタートした。

2 任意の予防接種(小児インフルエンザ・B型肝炎・おたふくかぜ・大人の風しん)

【成果】

小児インフルエンザ	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
接種者数(延)	37,102 人	33,691 人	29,266 人	32,183 人	31,502 人

※小児のインフルエンザ予防接種は、重症化と蔓延防止を目的に、予防接種費用の一部助成を行っている。

B型肝炎	平成30年度	平成29年度
接種者数(延)	738 人	781 人

※助成期間:平成29年10月1日～平成31年3月31日まで

B型肝炎定期接種の対象にならなかった児を対象に、B型肝炎任意予防接種費用の助成を期間限定で実施をした。当初助成期間を平成30年9月30日としていたが、平成31年3月31日まで助成期間を延長した。延長したことで、受け漏れ者延べ146名に助成することができた。

おたふくかぜ	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
接種者数	2,744 人	人	人	人	人

※1歳に予診票を送付しているため、1歳代の接種者が多い。

大人の風しん	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
接種者数	97 人	人	人	人	人

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	11	本年	259,883		4,248	1,742	265,873		262,560	98.8
				前年	252,426		1,871	△ 3,190	251,107		249,494	99.4
				比較	7,457		2,377	4,932	14,766		13,066	-
【参考】前々年度					248,581		4,777	△ 538	252,820		249,438	98.7

目的

妊婦の健康管理と乳幼児期の身体的・精神的発育、発達を確認し、疾病の早期発見と母子共に健康な生活が送れるように支援するとともに、育児についての不安を軽減し、安心して楽しく子育てできるよう支援するため。

1 医療機関委託健康診査(茨城県医師会・つくば市歯科医師会との委託契約)

- (1) 妊婦一般健康診査 (妊娠中最大14回の健診費用の一部助成)
- (2) 産婦健康診査 (産後2週間頃、産後4週間頃の最大2回助成)
- (3) 乳児一般健康診査 (生後3～7か月未満及び9～12か月未満に各1回の健診費用を助成)
- (4) 2歳歯科検診 (2歳～2歳7か月未満の間に検診費用を1回助成)

【成果】

(1) 妊婦一般健康診査

母子健康手帳交付時に配布する受診票は、妊婦の経済的負担軽減と定期的な受診に繋がっている。受診結果や医療機関との連携により妊婦の健康管理の支援につながった。

受診状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受診票配布数	35,440 枚	33,884 枚	34,315 枚	34,654 枚	35,698 枚
受診者数(延)	26,730 人	25,705 人	26,430 人	27,160 人	27,770 人

(2) 産婦健康診査

出産後間もない時期に産婦に対する健康診査を導入することで、産後の初期段階における母子支援を強化することができた。

受診状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受診票配布数	5,218 枚	6,963 枚	枚	枚	枚
受診者数(延)	3,834 人	3,409 人	人	人	人

(3) 乳児一般健康診査

疾病の早期発見や健康管理につなげることができた。加えて、家庭訪問や電話相談により母親の育児負担を軽減した。

受診状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受診票配布数	4,772 枚	4,800 枚	4,707 枚	4,096 枚	4,649 枚
受診者数(延)	4,220 人	4,248 人	4,094 人	3,749 人	4,093 人

(4) 2歳歯科検診

次年度事業終了となるため、受診者全員に受診勧奨通知を送付し、受診者が増加した。

次年度から2歳歯科検診は、1歳6か月歯科検診に移行する。

令和元年度対象者は、経過措置対象者を含むため多い。

受診状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
対象者数	3,062 人	2,439 人	2,462 人	2,436 人	2,309 人
受診者数	2,033 人	1,571 人	1,274 人	1,295 人	1,297 人
受診率	66.4 %	64.4 %	51.7 %	53.1 %	56.2 %

概要及び成果

## 2 保健センターでの集団健康診査

1歳6か月健康診査及び3歳健康診査(桜・谷田部保健センターで実施)

## 【成果】

## (1) 1歳6か月健康診査

コロナ対策で3月は縮小実施したため受診率が低下した。

事後フォロー:354回(電話:287回 訪問:8回 健康相談:10回 のびのび子育て教室等:49回)

## 受診状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
対象者数	2,413 人	2,380 人	2,411 人	2,427 人	2,298 人
受診者数	2,236 人	2,316 人	2,311 人	2,334 人	2,188 人
受診率	92.7 %	97.3 %	95.9 %	96.2 %	95.2 %

## (2) 3歳健康診査

コロナ対策で3月は縮小実施したため受診率が低下した。

平成30年度に対象月齢を変更したことから、平成30年度対象者数が減っている。

事後フォロー:297回(電話:234回 訪問:4回 発達相談:24回 健康相談等:35回)

## 受診状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
対象者数	2,541 人	1,643 人	2,491 人	2,392 人	2,368 人
受診者数	2,299 人	1,662 人	2,395 人	2,287 人	2,249 人
受診率	90.5 %	101.2 %	96.1 %	95.6 %	95.0 %



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	12	本年	15,760		11,953	△ 750	26,963		25,686	95.3
				前年	17,066		7,560	△ 247	24,379		15,016	61.6
				比較	△ 1,306		4,393	△ 503	2,584		10,670	-
【参考】前々年度					10,090				10,090		7,942	78.7

目的 各種健康教室・相談・訪問事業を実施することで、妊婦・産婦・乳幼児及びその保護者の健康の保持増進を図るとともに、乳幼児の保護者への子育て支援により育児不安を軽減し、子どもの健やかな成長を促すため。

- 1 母子健康手帳の交付  
妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理・保健指導に活用するために交付。

【成果】

母子健康手帳の交付状況(再交付等含む)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
母子健康手帳交付数	2,454冊	2,507冊	2,516冊	2,539冊	2,598冊

- 2 母子保健相談支援事業(母子健康包括支援センター)  
妊娠期から子育て期の育児に関する様々な悩み等に保健師等が相談に対応する。

【成果】

実施状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
妊娠届出時面接相談者数	2,317 人	2,507 人	2,342 人
うち要支援妊婦数	213 人	211 人	202 人
電話相談該当者数	1,357 人	1,081 人	930 人

※妊娠届出時に専門職が面接し支援が必要な妊婦に対し早期からサポートすることができた。また、平成29年度からは初妊婦・要支援妊婦に対し妊娠10か月に電話相談を開始している。あかちゃん訪問時のアンケートの結果においても高い満足度が得られた。

- 3 マタニティサロン  
妊娠から子育てにかけての期間を心身共に充実して過ごすことができるよう支援する。

【成果】

参加者数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
妊婦編	134 人	159 人	139 人	152 人	147 人
育児編	823 人	736 人	656 人	626 人	576 人
マタニティ講演会	117 人	138 人	133 人	154 人	140 人
合計	1074 人	1033 人	928 人	932 人	863 人

※妊娠・出産に関する正しい知識の普及が図られたと同時に、仲間づくりの場として参加者から高い満足度が得られた。

- 4 子育て教室

【成果】

(1) あかちゃんランド:生後5～6か月児と両親のための子育て教室(離乳食教室)

実施状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
回数	33 回	36 回	36 回	36 回	36 回
参加者	521 人	571 人	604 人	654 人	618 人

※離乳食を学ぶだけでなく、保護者同士の交流の場にもなっており、参加者アンケートでは教室内容にほぼ全員が満足していると答えている。

概要及び成果

(2) のびのび子育て教室:健診事後フォロー教室

実施状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
回数	48回	48回	48回	48回	48回
参加実人数	52人	56人	49人	61人	58人
参加延人数	316人	489人	484人	516人	480人

※健診事後教室として、参加者に対し関係各機関と連携をしながら、発達を支援することができた。

(3) 出前講座:各団体からの要望により講座等を実施。

実施状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施回数	34回	26回	34回	19回	19回
参加者(乳幼児・学童)	456人	349人	357人	192人	181人
参加者(保護者)	450人	323人	411人	222人	198人
参加者(その他)	79人	54人	16人	44人	26人

※市民のニーズに沿った講座を実施し、児及び保護者に育児支援ができた。

5 訪問事業

妊産婦・あかちゃん(新生児・低出生体重児・乳児)・幼児等を訪問し、個々に応じた相談・支援を行う。特に子育てに困難等を抱えている家庭を対象に養育支援訪問を実施する。

【成果】

(1) あかちゃん訪問実施状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
訪問実施数	2,302人	2,277人	2,258人	2,257人	2,326人
実施率	98.0%	98.0%	98.3%	98.0%	98.1%

※概ね2か月までに訪問することができ、母親等の育児不安の軽減を図ることができた。

(2) 養育支援訪問実施状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施延人数	578人	276人	126人	144人	161人

※妊娠期から出産後子育て期に必要な支援を実施できた。(平成29年度までは、非常勤養育支援訪問者による訪問件数を計上。平成30年度から、非常勤養育支援訪問者と常勤保健師による訪問件数を計上。)

6 相談事業

乳幼児を持つ保護者(妊産婦含)の相談を行い、健やかに成長することを支援するとともに、子育ての不安を軽減する。発達相談では、精神発達面の心配な児についての相談を行う。

【成果】

(1) 発達相談実施状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
回数	98回	82回	48回	48回	54回
相談延人数	184人	188人	209人	191人	200人

※臨床心理士等の専門職による個別相談を実施し児の発達を支援できた。

(2) すこやか健康相談実施状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
相談延人数	1,840人	1,737人	1,794人	1,659人	1,526人

※乳幼児の発育・発達の他、保護者自身の悩みに対しても相談できる場としても利用された。

事業名：不妊治療助成に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	13	本年	13,685				13,685		13,200	96.5
				前年	12,785		1,739		14,524		13,949	96.0
				比較	900		△ 1,739		△ 839		△ 749	-
【参考】前々年度					12,464			△ 93	12,371		12,315	99.5

目的	特定不妊治療を受けている夫婦に対し、費用の一部を助成することで経済的な負担の軽減を図るため。																								
概要及び成果	1 不妊治療助成 保険適用外の特定不妊治療(体外受精・顕微授精)を受けた夫婦で、茨城県不妊治療助成事業の交付決定を受けた方に対して、治療費用の一部を助成する。 助成の額は、治療に要した費用から茨城県不妊治療助成事業の補助金を控除した額と5万円を比較して、いずれか低いほうの額とする。																								
	【成果】 (1)助成対象治療件数272件のうち90件が妊娠に至り、妊娠率は33.0%であった。 (2)助成事業実施状況																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請者数</td> <td>179人</td> <td>190人</td> <td>180人</td> <td>176人</td> <td>196人</td> </tr> <tr> <td>うち男性不妊の申請者数</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>助成対象治療件数</td> <td>272件</td> <td>284件</td> <td>254件</td> <td>298件</td> <td>296件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	申請者数	179人	190人	180人	176人	196人	うち男性不妊の申請者数	2件	1件	0件	2件	1件	助成対象治療件数	272件	284件	254件	298件	296件
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
	申請者数	179人	190人	180人	176人	196人																			
うち男性不妊の申請者数	2件	1件	0件	2件	1件																				
助成対象治療件数	272件	284件	254件	298件	296件																				

事業名：養育医療給付に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	14	本年	12,407				12,407		9,662	77.9
				前年	9,383			247	9,630		9,624	99.9
				比較	3,024			△ 247	2,777		38	-
【参考】前々年度					11,074			631	11,705		11,698	99.9

目的	身体の発育が未熟のまま出生した乳児に対して、速やかに必要な医療給付を行い、保護者の経済的負担を軽減するため。																																															
概要及び成果	母子保健法第20条に基づき、身体の発育が未熟な状態で生まれ入院養育が必要と医師が認めた乳児に対して、指定医療機関における医療費を公費負担する。																																															
	【成果】 養育医療券を交付することで、保護者の経済的負担を軽減し、児に対して必要な医療を提供することができた。																																															
	(1)養育医療券交付状況																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>31人</td> <td>34人</td> <td>36人</td> <td>43人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>対象児の入院月数(延べ)</td> <td>77月</td> <td>81月</td> <td>86月</td> <td>118月</td> <td>83月</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	人数	31人	34人	36人	43人	38人	対象児の入院月数(延べ)	77月	81月	86月	118月	83月																													
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																										
人数	31人	34人	36人	43人	38人																																											
対象児の入院月数(延べ)	77月	81月	86月	118月	83月																																											
(2)出生時の体重別状況																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,000g以下</td> <td>1人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>9人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>1,001g～1,500g以下</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>1,501g～1,800g以下</td> <td>11人</td> <td>6人</td> <td>7人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>1,801g～2,000g以下</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>12人</td> <td>6人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>2,001g～2,300g以下</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>2,301g～2,500g以下</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>2,501g～</td> <td>1人</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	1,000g以下	1人	5人	5人	9人	5人	1,001g～1,500g以下	4人	4人	8人	7人	4人	1,501g～1,800g以下	11人	6人	7人	11人	8人	1,801g～2,000g以下	10人	10人	12人	6人	16人	2,001g～2,300g以下	1人	2人	0人	3人	3人	2,301g～2,500g以下	3人	1人	1人	4人	0人	2,501g～	1人	6人	3人	3人	2人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																											
1,000g以下	1人	5人	5人	9人	5人																																											
1,001g～1,500g以下	4人	4人	8人	7人	4人																																											
1,501g～1,800g以下	11人	6人	7人	11人	8人																																											
1,801g～2,000g以下	10人	10人	12人	6人	16人																																											
2,001g～2,300g以下	1人	2人	0人	3人	3人																																											
2,301g～2,500g以下	3人	1人	1人	4人	0人																																											
2,501g～	1人	6人	3人	3人	2人																																											

事業名：健診事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	04	11	本年	281,954			△ 1,069	280,885		245,732	87.5
				前年	267,152				267,152		244,576	91.5
				比較	14,802			△ 1,069	13,733		1,156	-
【参考】前々年度					255,288				255,288		239,681	93.9

目的

20歳から39歳の者を対象に基本健康診査を実施。40歳以上の者を対象に各種がん検診(女性は20歳から)を実施し、生活習慣病の予防及びがん等の早期発見・早期治療を図るため。

1 健診事業

- (1) 集団検診 大穂・谷田部・桜・荻崎保健センター・豊里交流センター・市民ホールつくばね・市役所において、各種がん検診と特定健診を同日に実施。
- (2) 医療機関検診 6月1日から2月末日の期間で実施。受診券を対象者あてに通知。子宮がん検診・乳がん検診の集団・個別の自己負担額を見直し、受診者が受診方法を選択しやすくした。また、乳がん検診実施指針の変更により対象者を見直した。

【成果】

(1)平成26年度から実施している対象者への通知及び医療機関でがん検診等の実施により、受診者の利便性が向上したため、ほとんどのがん検診等で受診者数が増加した。受診機会を選択できるよう集団・個別の受診しやすさの差をなくした。

(単位:人)

事業	受診方法	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
肺がん検診	集団	10,374	10,008	9,864	9,924	9,735
胃がん検診	集団・医療機関	4,554	4,430	4,710	5,090	5,345
胃がんリスク検診	医療機関	482	-	-	-	-
大腸がん検診	集団・医療機関	11,613	11,458	10,991	10,847	11,217
前立腺がん検診	集団・医療機関	5,934	5,707	5,298	5,278	5,260
結核検診	集団・医療機関	12,641	12,318	11,590	11,234	10,855
肝炎ウイルス検診	集団・医療機関	1,685	1,648	1,650	1,822	2,318
成人歯科検診	医療機関	802	716	578	405	360
生活習慣病健診	集団・医療機関	86	64	73	65	54
基本健康診査	集団	2,536	2,569	2,743	2,808	2,613
子宮がん検診	集団・医療機関	10,303	10,856	10,432	10,318	10,050
無料クーポン利用者	集団・医療機関	49	67	50	651	1,329
乳がん検診※	集団・医療機関	6,002	11,065	10,648	10,181	9,046
無料クーポン利用者	集団・医療機関	365	367	359	611	938
骨粗しょう症検診	集団	641	412	831	794	949

※乳がんの受診者減は、対象区分の見直しにより、対象者がH30年度に比べ半分以上となったことによるもの。

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	04	12	本年	6,366				6,366		4,966	78.0
				前年	5,768				5,768		4,636	80.4
				比較	598				598		330	-
【参考】前々年度					5,489				5,489		4,326	78.8

目的		健康に関する自己管理能力を獲得することができるように支援するとともに、疾病予防及び重症化予防を図るため。 また、心身の健康に関して個別の健康相談に応じ、必要な助言及び指導を行うことにより、生活習慣病の予防に寄与し、市民の「いきいきとした生活」を支援するため。																																																																				
概要及び成果	1 健康アップ教室:生活習慣病予防のための教室。医師による講話(令和元年度は糖尿病)保健師・管理栄養士の健康相談を実施する。 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申込人数</td> <td>58人</td> <td>156人</td> <td>254人</td> <td>323人</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>43人</td> <td>130人</td> <td>225人</td> <td>268人</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>2回</td> <td>17回</td> <td>17回</td> <td>17回</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table> 専門医の講話を実施することで、住民に対し、生活習慣改善に対する啓発を強化することができた。また、健診結果から検査高値、生活習慣改善レベル、糖尿病性腎症重症化予防事業対象者に参加勧奨を行ったことで、継続支援につなげることができた。												年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	申込人数	58人	156人	254人	323人	161人	参加人数	43人	130人	225人	268人	126人	実施回数	2回	17回	17回	17回	7回																																		
	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																
	申込人数	58人	156人	254人	323人	161人																																																																
	参加人数	43人	130人	225人	268人	126人																																																																
実施回数	2回	17回	17回	17回	7回																																																																	
2 普及啓発事業:乳がん・禁煙・骨粗しょう症・歯周病の予防啓発を健診会場や出前教室時に実施する。 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">乳がん予防</td> <td>実施回数</td> <td>70回</td> <td>61回</td> <td>67回</td> <td>64回</td> <td>57回</td> </tr> <tr> <td>実施人数</td> <td>4,897人</td> <td>5,379人</td> <td>6,026人</td> <td>5,718人</td> <td>5,962人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">禁煙啓発</td> <td>実施回数</td> <td>238回</td> <td>207回</td> <td>201回</td> <td>178回</td> <td>71回</td> </tr> <tr> <td>実施人数</td> <td>40,238人</td> <td>28,433人</td> <td>28,517人</td> <td>28,979人</td> <td>14,351人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">骨粗しょう症 予防</td> <td>実施回数</td> <td>24回</td> <td>18回</td> <td>28回</td> <td>18回</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>実施人数</td> <td>641人</td> <td>412人</td> <td>831人</td> <td>794人</td> <td>949人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歯周病予防</td> <td>実施回数</td> <td>249回</td> <td>405回</td> <td>137回</td> <td>135回</td> <td>149回</td> </tr> <tr> <td>実施人数</td> <td>28,272人</td> <td>45,852人</td> <td>23,983人</td> <td>16,415人</td> <td>14,763人</td> </tr> </tbody> </table> 対象者に合わせた内容で啓発を実施することで、疾病予防の知識をより深めるとともに、定期的な健診受診や生活習慣の行動変容を促すきっかけづくりを行うことができた。												年 度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	乳がん予防	実施回数	70回	61回	67回	64回	57回	実施人数	4,897人	5,379人	6,026人	5,718人	5,962人	禁煙啓発	実施回数	238回	207回	201回	178回	71回	実施人数	40,238人	28,433人	28,517人	28,979人	14,351人	骨粗しょう症 予防	実施回数	24回	18回	28回	18回	15回	実施人数	641人	412人	831人	794人	949人	歯周病予防	実施回数	249回	405回	137回	135回	149回	実施人数	28,272人	45,852人	23,983人	16,415人	14,763人
年 度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																
乳がん予防	実施回数	70回	61回	67回	64回	57回																																																																
	実施人数	4,897人	5,379人	6,026人	5,718人	5,962人																																																																
禁煙啓発	実施回数	238回	207回	201回	178回	71回																																																																
	実施人数	40,238人	28,433人	28,517人	28,979人	14,351人																																																																
骨粗しょう症 予防	実施回数	24回	18回	28回	18回	15回																																																																
	実施人数	641人	412人	831人	794人	949人																																																																
歯周病予防	実施回数	249回	405回	137回	135回	149回																																																																
	実施人数	28,272人	45,852人	23,983人	16,415人	14,763人																																																																
3 つくば健康マイレージ事業:自らの健康づくりに積極的に取り組み、健康意識の向上のきっかけづくりとして、ポイントを貯めることにより、楽しみながら健康づくりへの習慣と関心を高めていく。 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募人数</td> <td>1,236人</td> <td>1,002人</td> <td>655人</td> <td>429人</td> <td>1,792人</td> </tr> </tbody> </table> 昨年度に比べ、応募人数の増加がみられ、その中でWeb申込者も増加した。親子で取り組めるように、小学生以上を対象者に変更し、40歳代の応募人数が増加した。												年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	応募人数	1,236人	1,002人	655人	429人	1,792人																																															
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																	
応募人数	1,236人	1,002人	655人	429人	1,792人																																																																	
4 市民健康講座:生活習慣病予防講演会(つくば市医師会と協力) <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>192人</td> <td>158人</td> <td>45人</td> <td>150人</td> <td>55人</td> </tr> </tbody> </table> 糖尿病の重症化予防・合併症対策をテーマに講演会を行い、前年度より参加者が増加した。												年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加人数	192人	158人	45人	150人	55人																																															
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																																	
参加人数	192人	158人	45人	150人	55人																																																																	

## 5 基本健診時健康相談:健診時における健診結果や日常生活についての健康相談

## 【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施回数	12 回	12 回	12 回	12 回	12 回
相談人数	2,381 人	2,381 人	2,639 人	2,686 人	2,534 人

重点指導者(血圧高値者、BMI25以上の者、35歳以上の男性)に対し効果的な健康相談を実施することができた。

## 6 生活習慣改善レベル者の保健指導:基本健診を受診した結果、生活習慣改善が必要な方への保健指導

## 【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
通知数	1,195 人	953 人	- 人	- 人	- 人
指導人数	174 人	- 人	- 人	- 人	- 人

保健指導対象者に、リーフレット及び保健事業案内を送付し、情報提供、保健指導を実施できた。また、健診データを活用し、健康教室(健康アップ教室、ヘルシー教室)の利用勧奨を実施した。

## 7 検査高値者の受診勧奨:基本健診を受診した結果、医療機関への受診が必要な方への受診勧奨

## 【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
通知数	115 人	445 人	434 人	101 人	185 人
受診人数	42 人	162 人	151 人	- 人	- 人

受診状況把握のため、通知に返信用はがきを同封。返信がない場合、電話、家庭訪問で受診状況を確認した。また、健診データを活用し、健康教室(健康アップ教室、ヘルシー教室)の利用勧奨を実施した。

## 8 成人健康相談:保健師・栄養士による個別健康相談(面接及び電話相談)

## 【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指導人数	916 人	949 人	601 人	495 人	1,065 人

食事や運動、休養などの日常生活面の振り返りを行うことで、生活習慣を見直すきっかけづくりができた。

## 9 家庭訪問による相談:保健師・栄養士による個別相談

## 【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指導人数	256 人	291 人	207 人	116 人	173 人

がん検診要精密検査者の対象を拡大し、新たに糖尿病治療中断者の訪問を実施した。保健指導を受けた方には、自分の生活を見直すきっかけとなり、また必要な受診につなげるなどの効果がみられた。

## 10 健康手帳の交付:主に40歳以上の方に健康手帳、女性には女性健康手帳を交付

## 【成果】 ※ 窓口での発行件数

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
健康手帳交付数	151 冊	70 冊	422 冊	652 冊	884 冊
女性の健康手帳交付数	476 冊	116 冊	170 冊	111 冊	478 冊

健康手帳は、手帳を利用し自分自身の健康づくりに役立ててもらおう希望者へ交付する。また、平成29年度から厚労省HPからダウンロードすることでも取得可。

事業名：精神保健に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	04	13	本年	1,790			77	1,867		1,842	98.7
				前年	1,403				1,403		1,366	97.4
				比較	387			77	464		476	-
【参考】前々年度					1,473				1,473		1,435	97.4

目的

精神障害者及び精神保健上問題のある方で本人及び家族等に対して、適切な指導をし、社会復帰及びその自立と、社会生活を営む上での支援を行うため。また、自殺予防対策として茨城県地域自殺対策強化交付金事業費補助金事業を活用し、普及啓発事業の強化を図るため。

1 こころの健康相談:こころの病に関して、身近な所で気軽に相談できる場の提供

【成果】

大穂保健センターにおいて年間12回実施した。事前の電話相談で相談内容の振り分けをし、医療や適切な相談機関・サービス等を紹介することができた。

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施数	12 回	13 回	17 回	18 回	12 回
相談数	20 人	21 人	27 人	31 人	15 人

2 精神保健指導:電話・面接・訪問等での相談

【成果】

相談内容によって、傾聴、医療機関についての情報提供を行うなど、相談者への支援を行い、必要時関係機関との連携を図った。

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
相談数	196 人	264 人	306 人	246 人	202 人

3 精神障害者の当事者団体である精神保健福祉会組織の育成及び相談

【成果】

つくば精神保健福祉会例会(やすらぎの会)の運営支援を行った。

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施数	11 回	11 回	11 回	11 回	11 回
会員数	64 人	64 人	64 人	60 人	132 人

(※平成26・27年度はつくばみらい市民会)

4 自殺予防対策事業:

(1) ゲートキーパー養成講座の実施

(2) 自殺予防週間街頭キャンペーンの実施

(3) つくばフェスティバル・健康フェスタ等において、チラシや啓発グッズの配布による啓発活動

(4) 「こころの体温計」システムの実施

【成果】

人材育成として、食生活改善推進員・運動普及推進員・ふれあい相談員等を対象に講座を実施した。また、大型ショッピングセンターにおいて自殺予防街頭キャンペーンを実施した。啓発事業実施後について、こころの体温計アクセス数が増加するなどの成果がみられた。

事業名等	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ゲートキーパー養成講座 (自殺予防講話含)	実施 25 回 580 人	実施 9 回 259 人	実施 11 回 168 人	実施 5 回 169 人	実施 7 回 173 人
自殺予防街頭キャンペーン	実施 1 回 1,600 人	実施 1 回 1,600 人	実施 1 回 1,600 人	実施 1 回 1,600 人	実施 1 回 1,600 人
こころの体温計	アクセス件数 40,744 件	アクセス件数 68,150 件	アクセス件数 53,162 件	アクセス件数 79,143 件	アクセス件数 65,657 件

概要及び成果

事業名：運動推進に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	05	11	本年	2,745				2,745		1,873	68.2
				前年	2,063				2,063		1,113	54.0
				比較	682				682		760	-
【参考】前々年度					5,298				5,298		3,714	70.1

目的

市民が運動習慣を身につけることにより、運動能力を高め、身体機能の改善、生活習慣病、転倒予防ができるようにするため。

概要及び成果

- 1 アクティブ運動教室(40歳から64歳対象)  
(2コース・月曜コース年間30回・金曜コース年間43回、健康運動指導士等による運動指導・健康相談・栄養士相談・体力測定等)

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施回数	73 回	43 回	- 回	- 回	- 回
実人数	65 人	52 人	- 人	- 人	- 人
参加者延人数	1,778 人	1,464 人	- 人	- 人	- 人

- (1) 運動教室を1コース増やしたことで、参加者が増えた。  
(2) 参加者募集のため、区会チラシ回覧、市報掲載、市交流センターチラシ配置

- 2 運動普及推進員活動  
運動に関する普及啓発及び市事業への協力

【成果】

- (1) 協力事業への活動

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施回数	357 回	352 回	454 回	478 回	249 回
協力者延人数	1,273 人	1,091 人	1,541 人	1,612 人	1,024 人

- (2) つくばウォークの日事業(主に毎月第一日曜日にウォーキングを実施)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施回数	9 回	10 回	14 回	16 回	13 回
参加者延人数	818 人	431 人	1,509 人	1,835 人	2,097 人

※事業への協力により安全性の確保と円滑な事業推進がなされた。



事業名：健康増進施設いきいきプラザ管理に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	05	12	本年	6,339				6,339		5,000	78.9
				前年	6,773				6,773		5,287	78.1
				比較	△ 434				△ 434		△ 287	-
【参考】前々年度					7,985				7,985		6,956	87.1

目的	施設を適正に維持管理するとともに、施設利用者の安全を確保するため。
概要及び成果	<p>1 健康増進施設いきいきプラザの施設管理業務</p> <p>(1) 施設管理委託の項目</p> <p>① 清掃業務委託(日常清掃及び定期清掃の実施)</p> <p>② 機械警備委託(夜間・土・日祝日の警備の実施)</p> <p>③ 電気保安管理業務委託(電気工作物の保守・点検の実施)</p> <p>④ 消防設備点検業務委託(火災報知器等消防設備点検の実施)</p> <p>⑤ 空調機器保守点検業務委託(エアコンの定期点検及び清掃等の実施)</p> <p>⑥ 施設管理業務委託(土・日・平日夜間時のアリーナ貸出に係わる施設管理業務の実施)</p> <p>(2) その他</p> <p>軽微な修繕(非常口設備交換・ブラインド交換・屋根雨漏り修繕等)</p> <p>【成果】</p> <p>日常の適正な施設の管理により、事故もなく運動教室等各種事業を円滑に実施することができた。</p>

事業名：健康長寿推進に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	05	13	本年	11,379				11,379		9,868	86.7
				前年	12,779				12,779		9,115	71.3
				比較	△ 1,400				△ 1,400		753	-
【参考】前々年度					16,523		3,347		19,870		18,571	93.5

目的	若い世代から生活習慣病予防等に取り組み、健康でいきいきした生活を送ることができるようにするとともに、子どもから高齢者まで世代間交流を通じて地域コミュニティの活性化を図るため。																																																
概要及び成果	<p>1 多世代交流出前教室(すべての年代対象)</p> <p>全ての世代の市民を対象とし、地域に出向き介護予防のための健康講話や運動を中心とした健康づくり教室を展開する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>50 団体</td> <td>46 団体</td> <td>65 団体</td> <td>57 団体</td> <td>- 団体</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>405 回</td> <td>358 回</td> <td>621 回</td> <td>460 回</td> <td>- 回</td> </tr> <tr> <td>参加者延人数</td> <td>3,564 人</td> <td>3,447 人</td> <td>6,118 人</td> <td>6,483 人</td> <td>- 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 健康運動指導士・リハビリ専門職・歯科衛生士・管理栄養士等による講話や運動指導等を実施。</p> <p>(2) 地区活動により、9つの新規団体獲得につながった。</p> <p>(3) 3月は新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小して実施した。</p> <p>2 企画・企業連携教室</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>- 団体</td> <td>- 団体</td> <td>- 団体</td> <td>22 団体</td> <td>- 団体</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>- 回</td> <td>- 回</td> <td>- 回</td> <td>136 回</td> <td>- 回</td> </tr> <tr> <td>参加者延人数</td> <td>- 人</td> <td>- 人</td> <td>- 人</td> <td>2,060 人</td> <td>- 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度以降は国民健康保険特別会計参照</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	団体数	50 団体	46 団体	65 団体	57 団体	- 団体	実施回数	405 回	358 回	621 回	460 回	- 回	参加者延人数	3,564 人	3,447 人	6,118 人	6,483 人	- 人		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	団体数	- 団体	- 団体	- 団体	22 団体	- 団体	実施回数	- 回	- 回	- 回	136 回	- 回	参加者延人数	- 人	- 人	- 人	2,060 人	- 人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																												
団体数	50 団体	46 団体	65 団体	57 団体	- 団体																																												
実施回数	405 回	358 回	621 回	460 回	- 回																																												
参加者延人数	3,564 人	3,447 人	6,118 人	6,483 人	- 人																																												
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																												
団体数	- 団体	- 団体	- 団体	22 団体	- 団体																																												
実施回数	- 回	- 回	- 回	136 回	- 回																																												
参加者延人数	- 人	- 人	- 人	2,060 人	- 人																																												

事業名：栄養改善に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	05	14	本年	2,255				2,255		2,076	92.1
				前年	2,242				2,242		2,108	94.0
				比較	13				13		△ 32	-
【参考】前々年度					8,270				8,270		5,921	71.6

目的 生活習慣病の予防を目的とした食事指導を行い、地域住民の健康の維持・増進を図るとともに、食育に対する市民の関心を高め、正しい食生活の普及を図るため。

1 食育普及事業:テーマ別食育講話・調理実習(食育普及講座)、食育講演会の実施

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
食育普及講座回数	19回	6回	9回	6回	22回
参加延人数	215人	115人	155人	92人	509人
食育講演会参加者数	台風で中止	143人	463人	138人	113人

食育講座を開催し、市民の食育への関心を高めることができた。  
高齢者の低栄養予防に力を入れ、食事のポイントを広めることができた。

2 地区組織養成:食生活改善推進員養成講習会実施し、新規会員の増加を図る。

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新規入会者数	8人	12人	14人	17人	25人

養成講習会を開催したことで、新規食生活改善推進員が増加し、活動を活性化できた。

3 食生活改善推進事業

- ・食生活改善推進員への中央研修会(必要な知識の普及)
- ・地区伝達講習会(学習した内容等を市民に伝達する。)
- ・その他の活動(つくばフェスティバル・つくば健康フェスタへの出展)

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
会員研修会回数	30回	34回	23回	36回	42回
参加延人数	572人	717人	498人	821人	960人
地区講習会回数	210回	232回	199回	240回	262回
参加延人数	8,321人	6,661人	6,724人	9,165人	9,900人
つくばフェスティバル参加数	500人	500人	500人	500人	500人
健康フェスタ参加数	370人	500人	300人	770人	700人

地域の食生活改善推進員が、住民に対し、食に関する講話・調理実習・試食提供を実施し、正しい食習慣の知識を普及することができた。  
また、活動のための会員研修(嚙下・防災・糖尿病重症化予防・腸活予防・親子料理)を実施することで、食生活改善推進員の知識が向上した。

概要及び成果

事業名：保健センター管理に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	06	11	本年	25,774			△ 285	25,489		23,403	91.8
				前年	51,788		1,145		52,933		50,441	95.3
				比較	△ 26,014		△ 1,145	△ 285	△ 27,444		△ 27,038	-
【参考】前々年度					25,065				25,065		22,071	88.1

目的	市民の疾病予防事業及び健康保持・増進事業推進のための拠点施設である保健センターを適正に管理運営するため。
概要及び成果	<p>1 5保健センターの維持管理・修繕</p> <p>(1) 維持管理委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 清掃委託</li> <li>② 警備業務委託</li> <li>③ 電気保安業務委託</li> <li>④ 消防設備点検委託</li> <li>⑤ 空調機器保守点検委託</li> <li>⑥ 植栽維持管理委託</li> <li>⑦ 自動ドア保守管理委託</li> <li>⑧ 飲料水用機器保守業務委託</li> <li>⑨ 施設定期点検業務委託</li> </ul> <p>(2) 修繕工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 谷田部保健センター防火シャッター修繕工事</li> <li>② その他軽微な修繕</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>保健センターにおいて、施設の維持管理委託や修繕工事等の適正な施設管理を図ることで、各種健診や健康教室等、市民の疾病予防事業及び健康保持・増進事業の推進に寄与した。</p>

事業名：環境政策に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	11	本年	7,264	2,220	△ 1,383		8,101		7,720	95.3
				前年	3,291			118	3,409	2,220	638	83.8
				比較	3,973	2,220	△ 1,383	△ 118	4,692	△ 2,220	7,082	-
【参考】前々年度					821				821		291	35.4

目的	「つくば市環境基本計画」に基づく施策を推進することにより、市域の環境改善を図るため。また、環境白書を作成・公表し、各施策の実施状況及び市域における環境の現状を広く周知するため。
概要及び成果	<p>1 「つくば市環境基本計画」の進行管理、次期計画の策定</p> <p>【成果】</p> <p>「つくば市環境基本計画」の取組状況を半期ごとに確認するとともに、次長等で組織する環境管理委員会において進行管理を行い、施策の改善を図った。</p> <p>また、第2次計画が令和元年度をもって計画期間満了となるため、つくば市環境審議会を5回開催し、計画改定の方針及び目標・取組に関する審議や、1月から2月に実施したパブリックコメントによる市民意見に関する審議等を行い、市長への答申を経て、3月に第3次つくば市環境基本計画(期間10年)を策定した。</p> <p>2 平成30年度版「環境白書」の作成</p> <p>【成果】</p> <p>「つくば市環境基本条例」の規定により、市の環境に関する調査結果及び環境関連の施策の進捗状況等を盛り込んだ「環境白書」を作成し、これをホームページで公表することにより、市の環境の現状を周知するとともに、市民の環境への意識啓発を図った。</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	12	本年	2,658				2,658		2,240	84.3
				前年	2,518				2,518		1,989	79.0
				比較	140				140		251	-
【参考】前々年度					4,532				4,532		3,994	88.1

目的	多くの市民が参加できる環境教育事業を実施し、環境問題への関心を深めるとともに意識の高揚を図るため。																																				
概要及び成果	<p>1 エコクッキング事業</p> <p>【成果】</p> <p>「作りすぎない、捨てない、流さない」をキーワードにエコクッキングを実施し、自らできる環境に配慮した生活習慣の認識を深めることができた。</p> <p>小学校対象</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施校数</td> <td>9校</td> <td>8校</td> <td>11校</td> <td>9校</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>体験者数</td> <td>398人</td> <td>446人</td> <td>625人</td> <td>415人</td> <td>908人</td> </tr> </tbody> </table> <p>サポーターズ対象</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>体験者数</td> <td>38人</td> <td>48人</td> <td>48人</td> <td>44人</td> <td>47人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施校数	9校	8校	11校	9校	16校	体験者数	398人	446人	625人	415人	908人		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施回数	2回	2回	2回	2回	2回	体験者数	38人	48人	48人	44人	47人
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
	実施校数	9校	8校	11校	9校	16校																															
	体験者数	398人	446人	625人	415人	908人																															
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
実施回数	2回	2回	2回	2回	2回																																
体験者数	38人	48人	48人	44人	47人																																
<p>2 筑波山自然環境教育事業</p> <p>【成果】</p> <p>筑波山の豊かな自然環境を体験する機会を提供し、環境保全の大切さへの認識を深めることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>114人</td> <td>107人</td> <td>129人</td> <td>126人</td> <td>126人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施回数	4回	4回	4回	4回	4回	参加者数	114人	107人	129人	126人	126人																			
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
実施回数	4回	4回	4回	4回	4回																																
参加者数	114人	107人	129人	126人	126人																																
<p>3 環境マイスター育成事業</p> <p>【成果】</p> <p>筑波大学と連携したマイスター事業を実施し、環境に関する指導者の人材の育成を図ることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>マイスター認定者数</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成30年度より認定制度を改正し、段階級を廃止した。 平成29年度までの累計認定者数は、1級24人、2級32人、3級48人である。</p>		令和元年度	平成30年度	受講者数	1人	3人	マイスター認定者数	1人	3人																												
	令和元年度	平成30年度																																			
受講者数	1人	3人																																			
マイスター認定者数	1人	3人																																			
<p>4 環境ポスターコンクール</p> <p>【成果】</p> <p>小学生を対象として、環境をテーマとするポスターコンクールを実施することにより、児童の環境に対する意識や関心の向上を図ることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募者数</td> <td>187人</td> <td>268人</td> <td>359人</td> <td>261人</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	応募者数	187人	268人	359人	261人	61人																									
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
応募者数	187人	268人	359人	261人	61人																																
<p>5 つくば省エネ大使</p> <p>【成果】</p> <p>小学4年生を対象として、家庭の省エネ大使を任命し、夏休みを活用して家庭でできる省エネの取組を推進することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>任命者数</td> <td>1,748人</td> <td>1,699人</td> <td>1,646人</td> <td>1,387人</td> <td>1,385人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	任命者数	1,748人	1,699人	1,646人	1,387人	1,385人																									
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
任命者数	1,748人	1,699人	1,646人	1,387人	1,385人																																

事業名：環境改善に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	13	本年	2,400				2,400		2,318	96.6
				前年	3,341				3,341		3,115	93.2
				比較	△ 941				△ 941		△ 797	-
【参考】前々年度					2,022				2,022		1,917	94.8

目的	環境負荷軽減に向けた環境に与える影響改善について、市が率先して取り組み、これを公表することにより、市民や事業者の環境意識の高揚を図るため。
概要及び成果	<p>1 つくば市役所(本庁舎)を対象として、環境に関する国際規格であるISO14001の認証を維持するための取組を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>ISO14001つくば市役所環境管理システムについての取組について、ISO14001の認証機関による更新審査を受審した結果、適正に運営していることが認められた。</p> <p>① 職員研修の実施(環境管理責任者6月、環境管理委員6月、推進責任者4月、新規採用職員10月)</p> <p>② 内部環境監査の実施(2月)</p> <p>③ マネジメントレビュー(当該システムの見直し7月)</p> <p>④ つくば市環境管理委員会の開催(6月、11月)</p> <p>⑤ 外部審査の受審(定期審査1月)</p>
	<p>2 つくば市役所(出先機関含む)におけるグリーン購入を推進する。</p> <p>【成果】</p> <p>つくば市役所における物品等のグリーン購入を推進した結果、調達割合は全体で92.8%となった。</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	14	本年	97,930	7,524	△ 59,413		46,041	11	44,980	97.7
				前年	67,205		9,411	△ 118	76,498	7,524	64,198	93.8
				比較	30,725	7,524	△ 68,824	118	△ 30,457	△ 7,513	△ 19,218	-
【参考】前々年度					107,399		△ 13,392		94,007		73,076	77.7

目的

環境モデル都市として、つくば環境スタイル“SMILe”の取組を推進し、低炭素社会づくりのモデルを市内外に示すとともに、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、市役所及び市域の温室効果ガス排出量を削減するため。  
また、地球温暖化対策の一環として、各種環境関連事業の啓発活動及び新エネルギー導入等の普及促進を行うことで、市民の環境意識の高揚及び地球温暖化の要因となっている温室効果ガス排出量の削減を図るため。

概要及び成果

1 環境モデル都市アクションプラン進行管理事業

【成果】

つくば環境スタイル“SMILe”(つくば市環境モデル都市行動計画)に掲げられた32施策全ての進捗状況や実績を把握し、平成30年度取組結果評価については、国(内閣府地方創生推進室)への報告を行い、有識者WGのヒアリングでは、環境教育推進についての高い評価とともに、市域の再生可能エネルギー活用について期待する旨の意見を受けた。

・環境モデル都市アクションプラン進捗管理懇話会:1回

2 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)推進事業

【成果】

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、つくば市域から排出される温室効果ガスの削減に取り組み、茨城県や民間事業者等と連携し、宅配ロッカー設置推進事業等の実施やエネルギー対策実施計画書制度導入の協議を行った。

また、令和2年度から施行する新たな地球温暖化対策実行計画を策定した。策定に当たり有識者や市民意見を反映するため、策定懇話会を5回開催するとともにパブリックコメントを実施して広く意見を聴取した。

なお、新計画の策定において、電力やガスの自由化により、温室効果ガス排出量の推計手法の変更を要したため、策定懇話会の中でWGを開催して新たな推計手法を構築した。

(t-CO<sub>2</sub>/人)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
市民一人当たりの排出量	8.9	9.3	9.6	9.5	10.1

※上記排出量は、つくば環境スタイルSMILeの算定手法を用いて推計した数値

3 つくば市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)推進事業

【成果】

計画に基づきつくば市役所から排出される温室効果ガス削減を図るため、大穂庁舎(敷地内複数施設含む)及び谷田部交流センターを対象とした省エネ改修業務の契約を締結し、照明のLED化を実施した。LED化や運用改善によるCO<sub>2</sub>削減効果は57.5t-CO<sub>2</sub>/年を見込んでいる。

なお、改修に当たっては、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(補助率1/2)を活用し、財源の圧縮を図った。

また、設備改修を伴わない削減策として、電力の環境配慮契約を高圧施設を対象に導入し、価格と発電量当たりのCO<sub>2</sub>排出量を考慮した入札を実施することで、現状と比較し温室効果ガス排出量約665t-CO<sub>2</sub>/年の削減、電気代約60,000千円/年の削減を見込むことができた。

なお、令和元年度のつくば市役所の温室効果ガス排出量は、58,293t-CO<sub>2</sub>で、基準年度である2013年度と比較し7,800t-CO<sub>2</sub>増加した。

	令和元年度	平成30年度 (計画改定年度)	平成25年度 (基準年度)
つくば市役所の排出量	58,293t-CO <sub>2</sub>	58,179t-CO <sub>2</sub>	50,439t-CO <sub>2</sub>

事業名：つくば環境フェスティバル開催に要する経費

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
04	01	07	15	本年	3,423				3,423		3,340	97.6												
				前年	3,423				3,423		2,847	83.2												
				比較							493	-												
【参考】前々年度					3,423				3,423		3,078	89.9												
目的		市民団体、研究機関、行政等が行っている様々な環境に関わる取組に触れるイベントを開催し、市民等の来場者が、楽しみながら環境に優しいライフスタイルの大切さを認識することで、一人一人の自ら行動する意欲を高めるため。																						
概要及び成果		1 つくば環境フェスティバル事業 【成果】 環境に配慮した取組を公開することにより、市民の環境意欲の向上が図れた。																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>約17,000人</td> <td>約15,000人</td> <td>約12,000人</td> <td>約16,500人</td> <td>約18,000人</td> </tr> </tbody> </table>											区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	来場者数	約17,000人	約15,000人	約12,000人	約16,500人	約18,000人
区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
来場者数	約17,000人	約15,000人	約12,000人	約16,500人	約18,000人																			

事業名：動物愛護に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
04	01	07	16	本年	5,651				5,651		5,356	94.8																		
				前年	5,643				5,643		5,064	89.7																		
				比較	8				8		292	-																		
【参考】前々年度					7,099				7,099		6,769	95.4																		
目的		狂犬病の発生を予防し、そのまん延の防止及び撲滅する事により、公衆衛生の向上及び公共福祉を推進し、動物による危害を防止するとともに、広く動物愛護の精神を高めるため。																												
概要及び成果		1 犬の登録台帳の管理(新規登録・抹消等)及び異動報告 【成果】 飼い犬登録件数																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録件数</td> <td>14,850件</td> <td>14,942件</td> <td>11,695件</td> <td>11,588件</td> <td>11,842件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	登録件数	14,850件	14,942件	11,695件	11,588件	11,842件						
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
登録件数	14,850件	14,942件	11,695件	11,588件	11,842件																									
		2 狂犬病予防注射済票交付 【成果】 交付件数																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td>9,603件</td> <td>9,034件</td> <td>9,868件</td> <td>9,609件</td> <td>9,678件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	交付件数	9,603件	9,034件	9,868件	9,609件	9,678件						
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
交付件数	9,603件	9,034件	9,868件	9,609件	9,678件																									
		3 つくば市実施の狂犬病予防集合注射 【成果】 集合注射実績																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施場所数</td> <td>48箇所</td> <td>48箇所</td> <td>48箇所</td> <td>48箇所</td> <td>48箇所</td> </tr> <tr> <td>実施頭数</td> <td>1,713頭</td> <td>1,793頭</td> <td>1,829頭</td> <td>1,851頭</td> <td>1,950頭</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施場所数	48箇所	48箇所	48箇所	48箇所	48箇所	実施頭数	1,713頭	1,793頭	1,829頭	1,851頭	1,950頭
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
実施場所数	48箇所	48箇所	48箇所	48箇所	48箇所																									
実施頭数	1,713頭	1,793頭	1,829頭	1,851頭	1,950頭																									
		4 犬及び猫の避妊手術費並びに去勢手術費補助金の実施 【成果】 補助金交付実績																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避妊手術件数</td> <td>328件</td> <td>318件</td> <td>315件</td> <td>271件</td> <td>305件</td> </tr> <tr> <td>去勢手術件数</td> <td>272件</td> <td>246件</td> <td>231件</td> <td>230件</td> <td>190件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	避妊手術件数	328件	318件	315件	271件	305件	去勢手術件数	272件	246件	231件	230件	190件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
避妊手術件数	328件	318件	315件	271件	305件																									
去勢手術件数	272件	246件	231件	230件	190件																									

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	17	本年	9,379				9,379	6,692	71.3
			前年	8,537			530	9,067	6,910	76.2	
			比較	842			△ 530	312	△ 218	-	
【参考】前々年度				4,508		200	1,540	6,248	5,342	85.5	

目的

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化を図り、野生鳥獣の保護繁殖及び有害鳥獣捕獲を行うため。また、国定公園等の優れた自然の風景地を保護するとともに、休養の場としての利用を促進し、自然保護や環境保全を推進するため。墓地等の新規、拡張、廃止などの許可申請事務、その他、関連事務を行うため。

概要及び成果

1 有害鳥獣駆除のための捕獲委託

【成果】

鳥獣を保護することにより野生の生態系を確保し、また、有害鳥獣の捕獲を行なうことにより生活環境、農作物等への被害を未然に防止することができた。

イノシシ有害鳥獣捕獲許可件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
許可件数	4件	5件	5件	19件	6件
捕獲頭数	398頭	500頭	284頭	112頭	125頭

2 イノシシ被害予防資材購入費補助

【成果】

イノシシ被害予防資材購入費補助件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助件数	31件	30件	39件	14件	17件

3 銃猟禁止区域の拡大更新

【成果】

拡大要望なし。

4 水郷筑波国定公園地域内の自然保護

【成果】

水郷筑波国定公園特別地域内における動物の捕獲や建物の新築・改築等に関して、茨城県に意見書を提出した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
提出件数	26件	19件	24件	14件	19件

5 水郷筑波国定公園内の「筑波山不動峠休憩所」の除草事業

【成果】

8月及び11月に除草作業を実施した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施回数	2回	2回	2回	2回	2回

6 墓地台帳管理及び霊園墓地・寺院墓地などの新規、拡張、廃止などの許可申請事務、その他墓地に関すること

【成果】

墓地の許可及び変更届等

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
許可件数	1件	1件	1件	2件	2件
変更届件数	14件	17件	21件	18件	15件



事業名：合併浄化槽設置に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	18	本年	62,689				62,689		50,748	81.0
				前年	62,688				62,688		53,810	85.8
				比較	1				1		△ 3,062	-
【参考】前々年度					62,709				62,709		49,122	78.3
目的		高度処理型合併処理浄化槽を設置する者に対し、市が設置費用の一部を負担することで、浄化槽の普及促進を図り、公共用水域の水質汚濁を防止し、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与するため。										
概要 及び 成果	1 一般家庭において下水道事業認可区域外に高度処理型合併処理浄化槽を設置する者に対し、設置費用の一部を助成。 【成果】 高度処理型合併処理浄化槽設置補助基数											
			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度					
			82 基	86 基	80 基	88 基	85 基					
2 単独浄化槽から高度処理浄化槽に切り換える場合、その撤去費の一部についても補助を行う。 【成果】 単独処理浄化槽撤去補助基数												
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
		14 基	21 基	20 基	26 基	23 基						
3 補助事業概要及び維持管理の啓発活動を行う。 【成果】 ・ 広報紙ならびホームページによる補助金制度の周知 ・ イベント等での補助金制度のチラシの配布												

事業名：水質保全に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	19	本年	2,471				2,471		2,314	93.7
				前年	6,312		△ 2,370		3,942		3,684	93.5
				比較	△ 3,841		2,370		△ 1,471		△ 1,370	-
【参考】前々年度					2,584				2,584		2,244	86.8
目的		つくば市環境基本計画に基づき、霞ヶ浦や牛久沼及びこれらの湖沼に流入している河川の水質を浄化するために、つくば市水質浄化対策推進協議会を推進母体に、茨城県をはじめ流域市町村や関係団体等と連携しつつ水質浄化意識啓発のための諸対策を推進するため。また、霞ヶ浦の水質の改善及び水質浄化に対する地域住民の意識の高揚を図るため。										
概要 及び 成果	1 水質浄化推進 (1) つくば市水質浄化対策推進協議会(水質浄化活動の実施) (2) つくば市水質監視員活動(24名):巡回監視の実施 (3) 霞ヶ浦問題協議会関連事業への参加 (4) 牛久沼流域水質浄化対策協議会関連事業への参加 【成果】 市内河川24ポイントでの河川巡視を毎月実施し、水質に顕著な変化がないことを確認した。 水質浄化対策の推進及び水質浄化意識の高揚を図ることができた。 流入河川の水質浄化向上を図ることができた。											

事業名：水質浄化施設の維持管理に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	20	本年	8,056				8,056		7,700	95.6
				前年	8,096			△ 530	7,566		6,399	84.6
				比較	△ 40			530	490		1,301	-
【参考】前々年度					7,791				7,791		5,582	71.7
目的		水環境施策として水辺環境の保全及び生活排水対策を重要な課題と位置づけ、当面下水道の整備が望めない市内3箇所(佐・上菅間・仕出)に生活排水路浄化施設を設置した。これら施設の維持管理を行い公共水域の水質の改善を図るとともに、地域住民の水環境に関する意識を高めるため。										
概要及び成果		<p>1 生活排水路浄化施設の維持管理</p> <p>(1) 佐地区及び上菅間地区に設置した生活排水路浄化施設の運転管理及び水質検査</p> <p>(2) 生活排水路浄化施設場内管理 年間【2回×3箇所(佐・上菅間・仕出) 施設場内の草刈・花卉植栽等】</p> <p>【成果】 生活排水の水質汚濁物質を除去し、河川の汚濁防止に努めた。 施設の維持管理を通して、地域の水質浄化意識を高めた。</p>										

事業名：簡易水道事務に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																				
04	01	07	21	本年	8,703				8,703		6,769	77.8																																				
				前年	7,147				7,147		6,256	87.5																																				
				比較	1,556				1,556		513	-																																				
【参考】前々年度					7,025				7,025		5,963	84.9																																				
目的		非公営水道施設が円滑に運営できるよう助成し、安定した安全な水の供給及び上水道へ切り替え可能な組合に対しては切替促進をするため。																																														
概要及び成果		<p>1 各地区の116水道組合で共同給水組合連絡協議会を組織し、総会、役員会及び研修会等を開催した。</p> <p>【成果】 共同給水組合の適正な運営と安心・安全な水の供給を図ることができた。 簡易水道施設へつくば保健所との合同立入り(谷田部・豊里地区15カ所)</p> <p>2 各地区水道組合への補助金交付</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水質検査補助</td> <td>116 組合</td> <td>115 組合</td> <td>117 組合</td> <td>120 組合</td> <td>123 組合</td> </tr> <tr> <td>給水組合老朽化対策補助</td> <td>13 組合</td> <td>4 組合</td> <td>10 組合</td> <td>2 組合</td> <td>6 組合</td> </tr> <tr> <td>消毒液購入補助</td> <td>91 組合</td> <td>94 組合</td> <td>91 組合</td> <td>93 組合</td> <td>93 組合</td> </tr> <tr> <td>水中ポンプ取替え補助</td> <td>4 組合</td> <td>4 組合</td> <td>1 組合</td> <td>2 組合</td> <td>3 組合</td> </tr> <tr> <td>給水井戸掘削補助</td> <td>0 組合</td> <td>0 組合</td> <td>0 組合</td> <td>0 組合</td> <td>0 組合</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	水質検査補助	116 組合	115 組合	117 組合	120 組合	123 組合	給水組合老朽化対策補助	13 組合	4 組合	10 組合	2 組合	6 組合	消毒液購入補助	91 組合	94 組合	91 組合	93 組合	93 組合	水中ポンプ取替え補助	4 組合	4 組合	1 組合	2 組合	3 組合	給水井戸掘削補助	0 組合	0 組合	0 組合	0 組合	0 組合
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																											
水質検査補助	116 組合	115 組合	117 組合	120 組合	123 組合																																											
給水組合老朽化対策補助	13 組合	4 組合	10 組合	2 組合	6 組合																																											
消毒液購入補助	91 組合	94 組合	91 組合	93 組合	93 組合																																											
水中ポンプ取替え補助	4 組合	4 組合	1 組合	2 組合	3 組合																																											
給水井戸掘削補助	0 組合	0 組合	0 組合	0 組合	0 組合																																											

事業名：除草事業に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	22	本年	1,578				1,578		1,451	92.0
				前年	1,469				1,469		1,238	84.3
				比較	109				109		213	-
【参考】前々年度					3,176				3,176		3,024	95.2

目的	つくば市空き地除草条例に基づき、空き地及びその周辺地域の環境を保全し、市民の安全及び健康の維持を図るため。											
概要及び成果	1 空き地の適正な管理に関する啓発、指導											
	【成果】											
	空き地の適正管理通知件数											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
		2,219 件	2,036 件	1,911 件	2,428 件	2,843 件						
	2 除草あっせん業務											
	【成果】											
	指定業者へのあっせん実績											
			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度					
		実施面積	352,224 m <sup>2</sup>	319,141 m <sup>2</sup>	313,872 m <sup>2</sup>	227,807 m <sup>2</sup>	223,301 m <sup>2</sup>					
	筆数	1,541 筆	946 筆	943 筆	978 筆	1,012 筆						
3 空き地除草に関する苦情対応												
【成果】												
苦情対応件数												
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
	848 件	520 件	697 件	854 件	480 件							

事業名：環境美化推進に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	23	本年	8,502				8,502		7,456	87.7
				前年	5,428				5,428		4,258	78.4
				比較	3,074				3,074		3,198	-
【参考】前々年度					6,011				6,011		5,688	94.6

目的	<p>ごみのポイ捨て、ペットのふん放置、落書きなどマナーの低下や市内の環境美化への意識低下が懸念されていることから、「きれいなまちづくり条例」や「きれいなまちづくり行動計画」に基づき、市・市民・事業者が協働して清潔できれいなまちを目指すため。</p>																					
概要及び成果	<p>1 「きれいなまちづくり第4次行動計画」に基づき、以下の基本方針に基づいた事業を展開した。</p> <p>(1) きれいなまちづくりのための活動の推進                  (2) きれいなまちづくりのための意識の啓発                  (3) 市民、事業者及び市の相互の連携                  (4) 自発的できれいなまちづくりのための活動に関する支援</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1) 環境美化推進会議(5月開催)、きれいなまちづくり活動実施計画書(7月・10月・1月報告)                  きれいなまちづくり第4次行動計画に基づく事業の進捗確認                  第5次つくば市きれいなまちづくり行動計画の策定</p> <p>(2) ボランティア支援</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">参加者 (延べ数)</th> <th colspan="3">物品等配布数</th> </tr> <tr> <th>ごみ袋</th> <th>軍手</th> <th>火ばさみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,799人</td> <td>10,476枚</td> <td>2,068双</td> <td>181本</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 啓発事業                  まつりつくば等イベント時のチラシ・啓発物品配布</p> <p>(4) きれいなまちづくり実行委員会での環境美化(落書き対策・啓発事業含む)活動                  きれいきれい大作戦等の実施9回</p> <p>2 「つくば市路上喫煙による被害の防止に関する条例」に基づき、路上喫煙の取締りを実施した。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>防犯・環境美化サポーターによる指導件数(過料処分者含む) ※指導体制や実施時間帯は年度により異なる</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>474人</td> <td>293人</td> <td>578人</td> <td>923人</td> <td>1,568人</td> </tr> </tbody> </table>	参加者 (延べ数)	物品等配布数			ごみ袋	軍手	火ばさみ	9,799人	10,476枚	2,068双	181本	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	474人	293人	578人	923人	1,568人
参加者 (延べ数)	物品等配布数																					
	ごみ袋	軍手	火ばさみ																			
9,799人	10,476枚	2,068双	181本																			
令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																		
474人	293人	578人	923人	1,568人																		

事業名：水道事業に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	07	24	本年	403,869				403,869		403,868	100.0
				前年	361,310		△ 156,493		204,817		198,689	97.0
				比較	42,559		156,493		199,052		205,179	-
【参考】前々年度					397,552				397,552		397,552	100.0

目的	上水道整備事業に対し、一般会計から財源を繰り出すことで、水道会計の健全な財政運営を支援するため。			
概要 及び 成果	1 上水道事業への整備事業費の負担			
	【成果】			
	上水道の早期整備及び普及推進につながる。			
		平成29年度	平成28年度	平成27年度
	事業負担額	397,552 千円	397,552 千円	397,552 千円
	令和元年度	平成30年度		
補助金	1,374 千円	1,554 千円		
出資金	402,494 千円	197,591 千円		

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
04	01	07	25	本年	42,072				42,072		37,429	89.0	
				前年									
				比較	42,072				42,072		37,429	-	
【参考】前々年度													

目的

低炭素な街づくりに向け、クリーンエネルギー機器、電気自動車・水素自動車、「低炭素(建物・街区)ガイドライン」に基づく認定住宅等の普及、及び新エネルギーや省エネ等に対する意識の醸成を促進することにより、市域の温室効果ガス排出量削減を図るため。

1 クリーンエネルギー機器設置及び自動車購入補助

【成果】

クリーンエネルギーの導入・普及に向け、各種機器等の設置購入に対する補助金を交付することで、民生部門における温室効果ガス排出量の削減を図った。

補助メニュー	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
太陽光発電システム	-	65件	63件	58件	478件
太陽光発電システム出力合計	538.3kW	546.7kW	546.2kW	662.8kW	3,006.2kW
温室効果ガス排出削減量	約246.8t-CO2	約250.7t-CO2	約250.4t-CO2	約303.8t-CO2	約1,378.1t-CO2
蓄電池	113件	95件	83件	74件	39件
燃料電池(エネファーム)	95件	97件	98件	52件	34件
太陽熱温水器・給湯器	0件	9件	9件	10件	9件
空気式ソーラーシステム	-	-	-	-	3件
パッケージ(太陽光+蓄電池+燃料電池+HEMS)	-	52件	53件	48件	62件
LCCM住宅	-	-	0件	0件	2件
電気自動車(EV)	16件	26件	40件	31件	20件
プラグインハイブリット車(PHV)	-	-	-	-	19件
ミニカー	-	0件	0件	0件	0件
燃料電池自動車(FCV)	0件	0件	1件	1件	-

概要及び成果

- 平成25年度の太陽光発電システム出力合計は、太陽光発電システム単体のみの集計値である。
- 平成26・27年度の出力合計は、太陽光発電システム単体とパッケージ(太陽光+蓄電池+燃料電池+HEMS)の集計値である。
- 平成28・29・30年度の太陽光発電システム補助件数は、(太陽光発電システム+蓄電池)の補助件数とする。
- 平成28・29・30年度の出力合計は、太陽光発電システム(太陽光+蓄電池)とパッケージ(太陽光+蓄電池+燃料電池+HEMS)の集計値である。
- 平成28・29・30年度の蓄電池補助件数は、(太陽光発電システム+蓄電池)と蓄電池単体の補助件数の合計である。
- 令和元年度の太陽光発電システム出力合計は、蓄電池に連係された太陽光発電システム出力合計である。

\* 温室効果ガス排出削減量

平成25年度 温室効果ガス削減量 = 年間発電量 × 排出係数 ÷ 1,000  
 (年間発電量 = 太陽光発電出力 × 1,051.2kWh・年/kW)  
 (排出係数 平成24年度・・・0.463 平成25年度・・・0.406)

平成26年度～令和元年度 温室効果ガス削減量 = 年間発電量 × 排出係数 ÷ 1,000  
 (年間発電量 = 太陽光発電出力 × 988kWh・年/kW)  
 (排出係数 平成26年度～令和元年度・・・0.464)  
 (kW当たりの太陽光発電設備年間発電量は、平成26年度より“SMILE”の数値を適用。)

## 2 つくば環境スタイルサポーターズ事業

## 【成果】

サポーターズ会員数の拡大に取り組むとともに、環境配慮に関する意識を高めていくため、地球温暖化防止及び環境関連情報の提供及び手軽に実践できる活動の啓発を図った。

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
個人会員	9,553人	9,282人	8,961人	8,706人	8,277人
事業所会員	317事業所	305事業所	294事業所	284事業所	268事業所

## 3 グリーンカーテン推進事業

## 【成果】

グリーンカーテンの普及啓発を行うことにより、省エネ等の効果を認識していただき、地球温暖化防止に関する身近な取組の推進を図った。

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
個人	418箇所	400箇所	400箇所	877箇所	980箇所
事業所	80箇所	84箇所	77箇所	64箇所	59箇所
計	498箇所	484箇所	477箇所	941箇所	1,039箇所

## 4 エコエネ施設見学事業

## 【成果】

新エネルギー施設等の最先端技術を見学することにより、省エネ知識の向上に寄与した。

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
回数	2回	2回	2回	2回	2回
参加人数	76人	70人	84人	65人	64人

## 5 EV等普及促進事業

## 【成果】

市内3か所(市役所・筑波交流センター・茎崎交流センター)に設置している急速充電器の適切な運用により、電気自動車(EV)の利用者に利便性を提供することができた。

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
急速充電器のべ利用人数	7,636人	5,783人	4,878人

## 6 つくば市低炭素(建物・街区)ガイドライン運用事業

## 【成果】

研究学園地区の建物・設備の更新やつくばエクスプレス沿線開発、国家公務員宿舎跡地売却等により、新たな開発や建築が見込まれる中、建物の建築や街区の整備等をより効果的に進めるため、目指すべき低炭素対策の方向性をガイドラインに示し、市民、事業者、行政が連携・協働しながら、持続可能な低炭素社会の実現に取り組んだ。

つくば市低炭素ガイドラインに基づく認定

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
戸建住宅	40件	27件	0件
集合住宅	0件	0件	1件

つくばSMILe街区認定

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
認定件数	0件	1件	1件

## 7 コミュニティ型低炭素モデル街区整備事業

## 【成果】

市が保持しているエネルギーデータを省エネ等の研究活動に生かし、設備機器の効率的かつ効果的な運用に資する。

- ・芝浦工業大学に、C43街区のエネルギーデータを提供

事業名：公害対策に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	08	11	本年	15,892		△ 948	1,452	16,396		14,927	91.0
				前年	13,807		△ 1,244		12,563		11,488	91.4
				比較	2,085		296	1,452	3,833		3,439	-
【参考】前々年度					15,161			△ 1,540	13,621		12,304	90.3

目的

公害法令に基づき、各種規制、状況把握及び対策措置を実施し、現在及び将来における市民の健康を保護するとともに生活環境の保全を図るため。

1 公害法令の施行

【概要】

- (1) 所管法令に基づく届出審査・受理、立入検査(排水分析)、行政指導・処分の実施
- (2) 所管法令に基づく環境調査の実施(河川・地下水の水質調査、沿道住居の自動車騒音調査)
- (3) 水質事故、地下水汚染及び公害苦情等の対応

【成果】

所管法令に基づく届出等処理件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
水質	274 件	372 件	278 件	361 件	348 件
土壌	174 件	165 件	156 件	167 件	171 件
騒音・振動	126 件	119 件	124 件	143 件	133 件
大気・悪臭等	12 件	12 件	6 件	8 件	7 件

所管法令に基づく立入検査件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
書類検査	22 件	34 件	46 件	52 件	41 件
水質検査・臭気検査	16 件	12 件	11 件	17 件	17 件

水質事故、公害苦情等の対応件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
公害苦情	119 件	86 件	72 件	99 件	68 件
水質事故・地下水汚染	3 件	1 件	1 件	2 件	1 件

法令事務を適切に施行することにより、公害の発生及び市民の健康被害を防止することができた。  
また、環境調査結果を環境白書等にて市民に公表することにより、市内環境の現況を周知し、環境問題・環境汚染に対する啓発、意識高揚を図れた。

2 公害防止の推進

【概要】

- (1) 公害防止協定書・確認書の運用(計画調整・事前協議・自己監視測定状況確認等)
- (2) 各実験安全委員会等の調整

【成果】

公害防止の推進事業を適切に実施することにより、公害の発生及び市民の健康被害を防止することができた。

概要及び成果



事業名：放射線対策に要する経費

生活環境部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	08	12	本年	3,272			150	3,422		3,215	94.0
				前年	3,274				3,274		2,514	76.8
				比較	△2			150	148		701	-
【参考】前々年度					3,381				3,381		2,425	71.7

目的	つくば市内の空間放射線量及び食品中の放射能の測定を行うことで、市民の放射線への不安払拭と安心確保に努めるため。
概要及び成果	<p>1 空間放射線量率調査</p> <p>○ 公共施設の空間放射線量率調査(定置点測定)の実施</p> <p>① 除染実施区域内(小中学校3、保育所2):2ヶ月に1回測定 測定の結果、市内の空間放射線量率は最大でも0.10 μ Sv/hであり、国の除染の目安値:0.23 μ Sv/hを下回ることを確認した。</p> <p>② 除染実施区域内(公園・スポーツ施設4):2ヶ月に1回測定 測定の結果、市内の空間放射線量率は最大でも0.12 μ Sv/hであり、国の除染の目安値:0.23 μ Sv/hを下回ることを確認した。</p> <p>③ 除染実施区域外(31小学校):6ヶ月に1回測定 測定の結果、市内の空間放射線量率は最大でも0.11 μ Sv/hであり、国の除染の目安値:0.23 μ Sv/hを下回ることを確認した。</p>
	<p>2 放射性物質測定(内部被ばく対策)</p> <p>(1) 食品測定(毎日) 学校給食等の測定(主:健康教育課、従:環境保全課) :すべて基準値未満 ※基準値:100Bq/kg 市内で栽培された農作物の測定(主:農業政策課、従:環境保全課) :基準値超過なし</p> <p>(2) 地下水測定 市民からの測定依頼分・水道監視センター依頼分 :市民依頼 0件 :水道 4件すべて不検出</p>
	<p>3 水・土壌の放射性物質濃度測定</p> <p>(1) 地下水の調査 3月2日～3日採取(採水地:市内7施設) :不検出</p> <p>(2) 河川の調査 2月14日採取(採取地:市内9地点) : (水質) 不検出 (底質) 不検出～180Bq/kg</p> <p>(3) 土壌放射性物質濃度測定 2月17日採取(採取地:市内6施設) : 45.2Bq/kg～529.5Bq/kg</p>
	<p>4 除去土壌埋設場所(仮保管場所)のモニタリング実施</p> <p>(1) 実施方法 小・中学校及び幼稚園・保育所で仮保管している、除染にともない発生した除去土壌の埋設地点について、空間放射線量率測定を実施した。</p> <p>(2) 測定期間、地点 11月19日～12月5日 小学校:31地点、中学校:8地点、 幼稚園:8地点、保育所14地点</p> <p>(3) 結果 すべての地点において0.23 μ Sv/h以下の放射線量であった。</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	09	11	本年	204,396			△ 1,602	202,794		165,329	81.5
				前年	184,856				184,856		172,189	93.1
				比較	19,540			△ 1,602	17,938		△ 6,860	-
【参考】前々年度					166,655		△ 540		166,115		157,421	94.8

目的	墓地、埋葬等に関する法律に基づき、公衆衛生の向上を図り市民の福祉の増進に寄与するため。																																																
概要及び成果	<p>1 適切な斎場運営を行うため、施設管理業務の一部委託及び施設・機器の修繕工事等を行い、施設利用者への安定したサービス提供に努めた。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 施設利用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火 葬</td> <td>1,717 件</td> <td>1,703 件</td> <td>1,687 件</td> <td>1,682 件</td> <td>1,716 件</td> </tr> <tr> <td>待合室利用</td> <td>1,413 件</td> <td>1,445 件</td> <td>1,416 件</td> <td>1,460 件</td> <td>1,488 件</td> </tr> <tr> <td>通夜利用</td> <td>160 件</td> <td>184 件</td> <td>201 件</td> <td>242 件</td> <td>286 件</td> </tr> <tr> <td>仮眠利用</td> <td>84 件</td> <td>103 件</td> <td>118 件</td> <td>141 件</td> <td>197 件</td> </tr> <tr> <td>式場利用</td> <td>940 件</td> <td>955 件</td> <td>939 件</td> <td>966 件</td> <td>1,026 件</td> </tr> <tr> <td>霊安利用</td> <td>177 件</td> <td>157 件</td> <td>163 件</td> <td>177 件</td> <td>153 件</td> </tr> <tr> <td>法要利用</td> <td>42 件</td> <td>56 件</td> <td>37 件</td> <td>48 件</td> <td>57 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 主な委託業務・工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火葬業務委託</li> <li>・ 清掃業務委託</li> <li>・ 空調機器保守点検委託</li> <li>・ 式場棟トイレ改修工事</li> <li>・ 火葬炉設備保守業務委託</li> <li>・ 植栽維持管理委託</li> <li>・ 消防設備点検委託</li> <li>・ 待合室改修工事</li> </ul> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接遇研修の実施</li> <li>・ 葬祭業者との意見交換会の実施</li> </ul>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	火 葬	1,717 件	1,703 件	1,687 件	1,682 件	1,716 件	待合室利用	1,413 件	1,445 件	1,416 件	1,460 件	1,488 件	通夜利用	160 件	184 件	201 件	242 件	286 件	仮眠利用	84 件	103 件	118 件	141 件	197 件	式場利用	940 件	955 件	939 件	966 件	1,026 件	霊安利用	177 件	157 件	163 件	177 件	153 件	法要利用	42 件	56 件	37 件	48 件	57 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																												
火 葬	1,717 件	1,703 件	1,687 件	1,682 件	1,716 件																																												
待合室利用	1,413 件	1,445 件	1,416 件	1,460 件	1,488 件																																												
通夜利用	160 件	184 件	201 件	242 件	286 件																																												
仮眠利用	84 件	103 件	118 件	141 件	197 件																																												
式場利用	940 件	955 件	939 件	966 件	1,026 件																																												
霊安利用	177 件	157 件	163 件	177 件	153 件																																												
法要利用	42 件	56 件	37 件	48 件	57 件																																												

事業名：清掃に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	01	11	本年	589				589		575	97.6
				前年	587				587		585	99.7
				比較	2				2		△ 10	-
【参考】前々年度					654			167	821		750	91.4
目的		<p>清掃事業に携わる職員の知識の向上を図り、市の清掃事業に反映させるため。 旧最終処分場付近等で水質検査を行い市民の安全・安心を確保するため。</p>										
概要及び成果		<p>1 茨城県清掃協議会の研修会等へ参加 【成果】 茨城県清掃協議会主催研修会(茨城県水戸市・栃木県小山市) 清掃協議会の研修に参加し、他自治体の職員と意見交換したことにより見識が高められた。</p> <p>2 旧最終処分場跡地付近の水質検査の実施 【成果】 市内5ヶ所の地下水等水質検査の実施 旧最終処分場跡地付近等の地下水水質検査を実施し、結果は全て環境基準値以下であった。 (上境、葛城、上郷、安食2カ所) 葛城の地下水質検査及びダイオキシンの調査を年2回実施し、結果は全て環境基準値以下であった。</p>										

事業名：管路輸送施設の管理に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	11	本年	5,244				5,244		4,832	92.2
				前年	4,501				4,501		4,242	94.2
				比較	743				743		590	-
【参考】前々年度					6,256			△ 167	6,089		5,835	95.8
目的		<p>事業廃止となった管路輸送施設を、適正に管理するため。</p>										
概要及び成果		<p>1 管路輸送センターの警備、消防設備点検、植栽管理、施設管理の実施。 【成果】 警備及び植栽管理を実施した。 消防設備点検を総合点検年1回、機器点検を年2回実施した。 施設の点検清掃を年5回実施した。</p> <p>2 管路輸送施設維持管理 【成果】 管路輸送施設を適正に管理することにより、安全性の確保や周辺環境を良好な状態に保つことができた。</p>										

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	12	本年	676,352				676,352		674,228	99.7
				前年	598,937				598,937		598,251	99.9
				比較	77,415				77,415		75,977	-
【参考】前々年度					597,480			△ 994	596,486		595,709	99.9

目的

一般家庭及び公共施設から分別排出される一般廃棄物について、適正に収集運搬し処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため。

概要及び成果

1 家庭ごみ集積所及び公共施設等からの一般廃棄物の収集・運搬

【成果】

一般廃棄物収集運搬量

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
可燃ごみ	46,990トン	47,309トン	46,108トン	45,565トン	44,740トン
不燃ごみ	1,930トン	2,008トン	1,979トン	2,014トン	2,100トン
粗大ごみ	316トン	303トン	291トン	267トン	281トン
資源ごみ	5,527トン	4,945トン	4,830トン	4,873トン	4,906トン
計	54,763トン	54,565トン	53,208トン	52,719トン	52,027トン

2 家庭系有害ごみ回収拠点からの収集・運搬

【成果】

有害ごみ収集運搬量

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
蛍光管・乾電池 計	48トン	46トン	44トン	44トン	46トン

3 家庭系粗大ごみの有料戸別収集の受付

【成果】

粗大ごみ予約受付件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
電話受付	8,263件	7,948件	7,693件	7,118件	7,274件
インターネット受付	3,746件	3,066件	2,845件	2,530件	2,349件
計	12,009件	11,014件	10,538件	9,648件	9,623件

4 道路敷等の犬・猫等の死骸回収処分

【成果】

回収処分数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
犬	14体	16体	17体	16体	27体
猫	462体	535体	497体	482体	455体
その他	559体	562体	499体	505体	433体
計	1,035体	1,113体	1,013体	1,003体	915体

5 区会等に対するごみ集積所の設置補助(補助対象経費の2分の1、限度額5万円)

【成果】

ごみ集積所設置補助金交付

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助金交付件数	24件	35件	29件	31件	41件
補助金交付金額	1,232千円	1,998千円	1,884千円	1,618千円	1,795千円

良好な生活環境を保持するとともに、資源ごみについては、有効に再利用することができた。

事業名：可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	13	本年	1,037,543	4,500	16,912		1,058,955		1,037,734	98.0
				前年	1,011,856				1,011,856	4,500	958,901	95.2
				比較	25,687	4,500	16,912		47,099	△ 4,500	78,833	-
【参考】前々年度					1,023,999		△ 16,000		1,007,999		970,058	96.2

目的 平成9年に竣工した可燃ごみ焼却処理施設の維持管理を行い、市民から排出された家庭系及び事業系の一般廃棄物を安定して処理するため。

- 1 可燃ごみ焼却処理施設の適切な維持管理  
施設規模 375トン (125トン×3系統)

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ごみ処理量 可燃ごみ	72,305トン	72,029トン	71,312トン	71,253トン	71,428トン
最終処分量(不燃残渣含)	12,454トン	10,924トン	11,089トン	11,636トン	11,622トン
	335,079千円	288,406千円	292,675千円	307,525千円	307,093千円
包括的運営管理委託料	636,669千円	630,828千円	630,828千円	517,293千円	543,897千円
売電量	16,198kwh	11,179kwh	13,604kwh	16,224kwh	16,513kwh
	146,587千円	98,997千円	120,481千円	186,544千円	189,930千円

※ 平成30年度における売電量の減については、発電タービン更新工事(平成30年4月1日～6月25日)によるもの。

事業名：粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	14	本年	327,692				327,692	15,778	288,827	93.0
				前年	194,318		6,502		200,820		187,130	93.2
				比較	133,374		△ 6,502		126,872	15,778	101,697	-
【参考】前々年度					211,700		3,366		215,066		210,132	97.7

目的 市民から排出された粗大・不燃ごみ・資源ごみ等の適正処理と、再資源化を図るため。

- 1 粗大・不燃ごみ処理施設の適切な維持管理  
処理能力 粗大・不燃ごみ 5.63トン/H、かん類 1.08トン/H、びん類 2.52トン/H  
ペットボトル 0.90トン/H、有害ごみ 0.2トン/H、プラスチック製容器包装 4.00トン/H

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ごみ処理量 粗大・不燃ごみ	5,029トン	4,806トン	4,653トン	4,660トン	5,074トン
ごみ処理量 資源ごみ	5,898トン	5,048トン	5,031トン	5,133トン	5,142トン
ごみ処理量 有害ごみ	48トン	48トン	44トン	44トン	46トン
運転委託料	232,170千円	163,047千円	163,049千円	122,040千円	122,040千円
施設修繕工事費	1,921千円	1,148千円	15,001千円	16,632千円	23,311千円
有価物売却収入	4,199トン	3,822トン	3,482トン	3,333トン	3,504トン
	79,153千円	98,348千円	79,122千円	62,648千円	74,727千円

※ 令和元年度における運転委託料の増額は、新施設の竣工により、光熱費等必要経費が増加したことによる。

事業名：不法投棄・土砂等の盛土対策に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	15	本年	7,719				7,719		6,972	90.3
				前年	7,305				7,305		6,845	93.7
				比較	414				414		127	-
【参考】前々年度					5,317				5,317		4,249	79.9

目的	不法投棄の防止と土砂等による土地の埋立て等の行為に必要な規制を行うことで、災害を防止し良好な生活環境を確保するため。																		
概要 及び 成果	<p>1 防犯・環境美化サポーターにより、夜間を含む市内巡回監視活動及び道路等市有地の不法投棄ごみ処理の実施 【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不法投棄発生件数</td> <td>319 件</td> <td>310 件</td> <td>326 件</td> <td>357 件</td> <td>344 件</td> </tr> <tr> <td>サポーターによる回収量</td> <td>17,300 kg</td> <td>18,720 kg</td> <td>21,380 kg</td> <td>25,764 kg</td> <td>24,005 kg</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	不法投棄発生件数	319 件	310 件	326 件	357 件	344 件	サポーターによる回収量	17,300 kg	18,720 kg	21,380 kg	25,764 kg	24,005 kg
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度													
	不法投棄発生件数	319 件	310 件	326 件	357 件	344 件													
	サポーターによる回収量	17,300 kg	18,720 kg	21,380 kg	25,764 kg	24,005 kg													
	<p>2 市内一斉清掃の実施 【成果】 市内一斉清掃の実施 2回 市内一斉清掃によるごみ回収量 23,330kg</p>																		
	<p>3 一般廃棄物不法投棄の啓発・周知活動 【成果】 不法投棄多発地に不法投棄防止看板の提供 300枚</p>																		
	<p>4 県が所管する産業廃棄物不適正管理案件の指導協力 【成果】 県からの協力要請件数 1件</p>																		
<p>5 土砂等による土地の埋立て・盛土及び堆積行為の受付並びに許可事務 【成果】 土砂等による土地の埋立て許可件数3件</p>																			
<p>6 不適正な残土行為に対する監視及び指導 【成果】 無許可で土砂等の埋立て等を行う行為に対し、茨城県及び警察と連携し、指導を行った。</p>																			

事業名：ごみ減量に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	16	本年	24,703	6,102			30,805		27,779	90.2
				前年	23,212				23,212	6,102	15,898	94.8
				比較	1,491	6,102			7,593	△ 6,102	11,881	-
【参考】前々年度					15,498				15,498		15,151	97.8
目的				つくば市一般廃棄物処理基本計画に基づき、リサイクルを推進し持続可能な循環型社会を目指すため。								
概要及び成果				1 ごみの出し方カレンダーの作成及び配布 【成果】 ごみの出し方カレンダーを15万5千部作成し、ポスティングにより全戸配布した。								
				2 「つくば市一般廃棄物処理基本計画」の策定 【成果】 ごみ及び生活排水の発生から最終処分に至るまでの適正な処理を進め、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に資するための基本的な方向性を定めることができた。								
				3 ごみ分別アプリの導入 【成果】 市民の利便性向上と、若者世代へのごみ分別の周知拡大を図ることができた。								

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	17	本年	8,840				8,840		7,937	89.8
				前年	9,181				9,181		8,508	92.7
				比較	△ 341				△ 341		△ 571	-
【参考】前々年度					9,237				9,237		8,349	90.4

目的

つくば市一般廃棄物処理基本計画に基づき、資源ごみを有効活用することでごみ減量を図るため。

1 資源物集団回収奨励金の交付(1団体につき、限度額40,000円を補助)

【成果】

資源物集団回収奨励金の交付

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
回収団体数	122 団体	119 団体	136 団体	139 団体	134 団体
資源物回収量	1,129 トン	1,185 トン	1,271 トン	1,374 トン	1,338 トン
奨励金額	3,235 千円	3,371 千円	3,645 千円	3,666 千円	3,661 千円

2 生ごみ処理容器等購入費の補助(容器等購入費の2分の1の額を補助、限度額は20,000円)

【成果】

生ごみ処理容器等購入費の補助

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
コンポスト式	95 基	95 基	60 基	58 基	80 基
電気式生ごみ処理機	55 基	68 基	35 基	38 基	50 基
補助金額	1,264 千円	1,460 千円	728 千円	732 千円	991 千円

3 環境教育・環境学習の実施

【成果】

牛乳パック回収(2,600kg)

4 市民向け啓発事業

【成果】

「3Rニュース」を年2回発行し、市民のリサイクルに対する意識向上のため、ごみに関する情報を発信した。

5 家庭用廃食用油リサイクル事業

【成果】

家庭用廃食用油からバイオディーゼル燃料の精製を行い、公用車等で軽油の代替燃料として使用している。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
精製量	1,620 リットル	2,700 リットル	2,700 リットル	2,540 リットル	2,700 リットル
回収量	10,713 リットル	11,425 リットル	11,761 リットル	10,406 リットル	10,070 リットル

概要及び成果



事業名：可燃ごみ焼却処理施設設備改良事業に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)															
04	02	02	18	本年	3,433,784	514,379			3,948,163		3,948,120	100.0															
				前年	2,620,077	194,049			2,814,126	514,379	2,299,726	100.0															
				比較	813,707	320,330			1,134,037	△ 514,379	1,648,394	-															
【参考】前々年度					1,730,637	21,654			1,752,291	194,049	1,558,105	100.0															
目的		平成9年に竣工した可燃ごみ焼却処理施設を安定的に稼働させるため、長寿命化計画に基づき、設備・機器の改良工事を行うとともに、低炭素化社会の実現に向けCO2削減を図るため。																									
概要及び成果		<p>1 可燃ごみ焼却処理施設の設備改良事業 施設規模 375トン (125トン×3系統)</p> <p>【事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹的設備改良工事</li> <li>・ 基幹的設備改良工事設計審査・管理業務委託</li> </ul> <p>【成果】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">事業費</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基幹的設備改良工事</td> <td>3,941,489 千円</td> <td>2,293,270 千円</td> <td>1,551,555 千円</td> </tr> <tr> <td>基幹的設備改良工事設計審査・管理業務委託</td> <td>6,491 千円</td> <td>6,372 千円</td> <td>6,372 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和元年度の事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 焼却炉(1号炉)の燃焼装置及び灰出し系機器、計装機器の更新等</li> <li>・ 工事の設計審査業務、管理業務</li> </ul>												事業費			令和元年度	平成30年度	平成29年度	基幹的設備改良工事	3,941,489 千円	2,293,270 千円	1,551,555 千円	基幹的設備改良工事設計審査・管理業務委託	6,491 千円	6,372 千円	6,372 千円
	事業費																										
	令和元年度	平成30年度	平成29年度																								
基幹的設備改良工事	3,941,489 千円	2,293,270 千円	1,551,555 千円																								
基幹的設備改良工事設計審査・管理業務委託	6,491 千円	6,372 千円	6,372 千円																								

事業名：リサイクルセンター建設に要する経費

生活環境部 環境衛生課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	02	19	本年	295,038	151,610	△ 289		446,359	351,312	94,885	100.0
				前年	2,544,436	1,437,380			3,981,816	151,610	3,827,941	99.9
				比較	△ 2,249,398	△ 1,285,770	△ 289		△ 3,535,457	199,702	△ 3,733,056	-
【参考】前々年度					2,538,115		△ 179,863	994	2,359,246	1,437,380	921,682	100.0
目的		効率よくリサイクルを行うことで循環型社会の構築に資するとともに、3R推進の拠点としてリサイクルセンターを整備するため。										
概要及び成果		<p>1 資源化施設建設</p> <p>【成果】</p> <p>地中障害物を撤去するため、工期及び契約額の変更を行った。 地中埋設物を撤去し、3月末で杭打設工事を完了した。建築工事については、次年度に実施する。</p>										

事業名：し尿処理施設管理に要する経費

生活環境部 サステナスクエア管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	02	03	11	本年	105,529				105,529		91,694	86.9
				前年	103,889				103,889		95,447	91.9
				比較	1,640				1,640		△ 3,753	-
【参考】前々年度					110,735				110,735		99,051	89.4

目的	し尿処理施設で、し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため。											
概要及び成果	1 し尿処理施設(サステナスクエア・南分所)の維持管理											
			処理能力	処 理 方 式								
		サステナスクエア	50kl/日	好気性消化処理方式								
		南分所	70kl/日	好気性消化処理方式								
	【成果】											
	し尿及び浄化槽汚泥処理量 <span style="float: right;">単位:kl</span>											
				令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度				
	サステナスクエア	し尿		972.1	896.9	1,057.5	1,508.1	1,849.3				
		浄化槽汚泥		9,945.9	9,511.3	9,736.3	9,113.9	9,107.9				
		計		10,918.0	10,408.2	10,793.8	10,622.0	10,957.2				
南分所	し尿		706.2	694.9	614.8	643.5	1,305.8					
	浄化槽汚泥		8,910.7	8,982.0	9,395.0	9,063.5	9,173.4					
	計		9,616.9	9,676.9	10,009.8	9,707.0	10,479.2					
合計	し尿		1,678.3	1,591.8	1,672.3	2,151.6	3,155.1					
	浄化槽汚泥		18,856.6	18,493.3	19,131.3	18,177.4	18,281.3					
	計		20,534.9	20,085.1	20,803.6	20,329.0	21,436.4					

事業名：働く婦人の家施設管理運営に要する経費

市民部 働く婦人の家

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	01	11	本年	9,732				9,732		9,582	98.5
				前年	6,203				6,203		6,087	98.1
				比較	3,529				3,529		3,495	-
【参考】前々年度					8,049		368		8,417		8,093	96.2

目的

女性勤労者及び勤労者家庭の主婦等の福祉の増進を図り、職業生活と家庭生活に必要な指導・実習等を行い、教養・知識の向上と休養及びレクリエーションの場と機会を提供するため。

概要及び成果

1 女性勤労者の仕事と家庭生活の両立による、充実した職業生活を送れるような機会を提供する講座を開設し、その後サークル活動団体へと育成し、充実した生活を送れるようにする。

【成果】

勤労者向けに夜間・土・日曜日など参加しやすい講座や女性向けに魅力ある講座を企画した。  
また、趣味や運動を通し交流する機会の場を提供し、女性勤労者等の福祉向上を図ることが出来た。

延べ受講者数と開催講座数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
延べ受講者数	607 人	594 人	653 人	419 人	398 人
主催講座回数	70 回	75 回	70 回	54 回	57 回
平日実施講座	39 回	54 回	58 回	47 回	56 回
土曜日・休日実施講座回数	31 回	21 回	12 回	7 回	1 回
夜間実施講座回数	14 回	16 回	6 回	0 回	0 回
親子・子供対象講座回数	17 回	10 回	3 回	2 回	2 回

2 団体サークル活動の支援と施設利用者の促進を図る。

【成果】

団体サークル活動の支援及び施設修繕可能な箇所について修繕し、使用者の利便性を図った。

	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	
利用者合計(講座除く)	39	8,042 人	36	8,426 人	39	7,402 人	35	8,122 人	46	8,206 人	
内訳	自主サークル	19	3,039 人	20	3,406 人	22	3,291 人	21	3,270 人	32	4,126 人
	育成サークル	20	3,681 人	16	3,691 人	17	3,001 人	14	2,965 人	12	2,928 人
	その他	-	1,322 人	-	1,329 人	-	1,110 人	-	1,887 人	-	1,152 人

3 働く婦人の家運営委員会を開催する。

【成果】

6月と2月に運営委員会を開催し、働く婦人の家の運営状況、行動方針の決定を行った。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
05	01	02	11	本年	4,709				4,709		3,216	68.3
				前年	4,848			1,996	6,844		5,844	85.4
				比較	△ 139			△ 1,996	△ 2,135		△ 2,628	-
【参考】前々年度					9,353				9,353		7,568	80.9

目的 ハローワーク土浦と連携して職業相談、職業紹介サービスを市内で行い、市民の就職促進及び利便性の向上を図るため。

概要及び成果	1 職業相談・職業紹介の実施																																																					
	【成果】																																																					
	①つくば市ふるさとハローワーク(吾妻2-5-6)の共同運営																																																					
	運営体制: 国相談員3名、市補助員3名																																																					
	運営時間: 平日9時から16時30分(祝日及び年末年始を除く)																																																					
	業務内容: 職業相談・紹介、検索機等による求人情報の提供、支援制度の周知等																																																					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>6,344件</td> <td>8,053件</td> <td>9,429件</td> <td>9,636件</td> <td>9,356件</td> </tr> <tr> <td>来所者数</td> <td>10,950人</td> <td>13,978人</td> <td>16,226件</td> <td>17,588件</td> <td>17,254人</td> </tr> <tr> <td>1日平均来所者数</td> <td>46人</td> <td>57人</td> <td>66人</td> <td>72人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>紹介件数</td> <td>3,603件</td> <td>4,574件</td> <td>5,255件</td> <td>5,959件</td> <td>5,846件</td> </tr> <tr> <td>紹介人数</td> <td>2,681人</td> <td>3,370人</td> <td>3,838人</td> <td>4,404人</td> <td>4,338人</td> </tr> <tr> <td>就職者数</td> <td>719人</td> <td>878人</td> <td>986人</td> <td>1,019人</td> <td>981人</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	相談件数	6,344件	8,053件	9,429件	9,636件	9,356件	来所者数	10,950人	13,978人	16,226件	17,588件	17,254人	1日平均来所者数	46人	57人	66人	72人	71人	紹介件数	3,603件	4,574件	5,255件	5,959件	5,846件	紹介人数	2,681人	3,370人	3,838人	4,404人	4,338人	就職者数	719人	878人	986人	1,019人	981人
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																
	相談件数	6,344件	8,053件	9,429件	9,636件	9,356件																																																
	来所者数	10,950人	13,978人	16,226件	17,588件	17,254人																																																
1日平均来所者数	46人	57人	66人	72人	71人																																																	
紹介件数	3,603件	4,574件	5,255件	5,959件	5,846件																																																	
紹介人数	2,681人	3,370人	3,838人	4,404人	4,338人																																																	
就職者数	719人	878人	986人	1,019人	981人																																																	
②市内認定こども園・保育所見学ツアーの実績 5施設見学し、17人参加、採用1人																																																						
③保育士就職フェアの実績 13施設参加し、12人参加、採用2人																																																						
2 県主催の就職面接会への協力(会場提供、広報宣伝)																																																						
【成果】																																																						
①元気いばらき就職面接会の実績																																																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加企業数</td> <td>25社</td> <td>26社</td> <td>26社</td> <td>27社</td> <td>25社</td> </tr> <tr> <td>参加求職者数</td> <td>28人</td> <td>43人</td> <td>40人</td> <td>40人</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>採用者数</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加企業数	25社	26社	26社	27社	25社	参加求職者数	28人	43人	40人	40人	53人	採用者数	0人	2人	0人	3人	2人																			
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																	
参加企業数	25社	26社	26社	27社	25社																																																	
参加求職者数	28人	43人	40人	40人	53人																																																	
採用者数	0人	2人	0人	3人	2人																																																	
②50歳以上の方とシニアのための就職セミナーの実績 37人参加																																																						

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	11	本年	59,943		△ 14,863		45,080		42,800	94.9
				前年	35,086		22,147		57,233		31,323	54.7
				比較	24,857		△ 37,010		△ 12,153		11,477	-
【参考】前々年度					26,352		180		26,532		25,192	94.9

目的

農業・農業者を代表する行政機関である農業委員会組織の適切な運営を図るため。

概要及び成果

- 1 農業委員会委員 24人  
農地利用最適化推進委員 28人（大穂地区4人、豊里地区3人、谷田部地区7人、桜地区4人、筑波地区7人、荃崎地区3人）

- (1) 現地調査会（毎月実施）  
(2) 総会及び運営委員会（毎月実施）  
(3) 専門委員会及び特別委員会（随時実施）

【成果】

農地法第3条、第4条、第5条等の許可及び届出案件等について、適正に遅滞なく審議することができた。

- (1) 各地区ごとに現地調査会を実施した。（6地区×12回）  
(2) 総会を12回、運営委員会を13回開催した。  
(3) 専門委員会を19回開催した。

- 内訳 農業担い手対策専門委員会（3回）  
遊休農地対策専門委員会（5回）  
情報提供専門委員会（4回）  
農業政策専門委員会（7回）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
許可申請等件数	1,009件	2,081件	1,016件	1,380件	1,312件
届出等件数	714件	722件	699件	748件	705件

- 2 農地再生チャレンジ事業

農業委員及び農地利用最適化推進委員が中心となり、JA等の関係機関と連携して、市内の遊休農地を再生し、農地の有効活用を図る。また、市民に農業の楽しさ及び農地の大切さを再認識してもらうため、再生農地で収穫祭を開催する。

【成果】

今鹿島地内の遊休農地3,033㎡を再生し、農業担い手に引き継ぐことができた。また、市民約400人を対象にジャガイモ収穫祭を実施し、農業の楽しさ及び農地の大切さを実感してもらうことができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
遊休農地解消面積	3,033㎡	4,774㎡	7,343㎡	6,776㎡	7,070㎡

- 3 行政機関への意見書提出

農業委員会は、その所掌事務の遂行を通じて得られた知見に基づき、関係行政機関等に対し意見要望等を提出する。

【成果】

農業委員及び農地利用最適化推進委員からの意見要望等を「農地等利用最適化推進施策に関する意見書」として取りまとめ、国・県・市へ提出することができた。

（主な要望内容）

小規模農地の区画整理に対する補助拡充、農地中間管理機構を活用した基盤整備の推進、新規就農に必要な支援の充実など

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	12	本年	13,264				13,264		10,812	81.5
				前年	8,324				8,324		7,618	91.5
				比較	4,940				4,940		3,194	-
【参考】前々年度					6,726				6,726		6,610	98.3

概要及び成果

目的

農業委員会が法令に基づき行う農地等の利用関係調整や農地利用の最適化等の所掌事務を適正かつ円滑に実施するため。

1 農業行政システムによる農地情報の適切な管理

【成果】

農地情報を常に最新の状態に維持管理し、円滑かつ効率的に法定事務等を執行することができた。

2 農業委員会広報紙「農委だよりつくば」の発行（年2回）

【成果】

広報紙の発行により、農業委員会の活動や農政情報を農家に周知することができた。

「農委だよりつくば」の発行 11,000部×2回(7月・1月)

3 農地パトロール

市内全農地の利用状況調査を行い、遊休農地の実態把握と利用意向を確認し、農地の有効利用を図る。

【成果】

市内全農地を調査することにより、遊休農地の実態把握ができた。また、遊休農地を所有する地権者の今後の利用意向について把握することができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
管内全農地	11,058ha	11,090ha	11,094ha	11,136ha	11,165ha
調査面積	11,058ha	11,090ha	11,094ha	11,136ha	11,165ha
解消面積	103ha	△30ha	△125ha	△2ha	18ha

4 納税猶予事務

相続等に伴う農地の細分化防止と農業後継者の確保を図るとともに、農業経営の健全な発展に資するため、相続税・贈与税の納税猶予の適用を受ける農業者に対し「適格者証明書」の発行を行う。また、3年毎の継続届提出に際しては、「引き続き農業経営を行っている旨の証明書」の発行を行う。

【成果】

相続税及び贈与税の納税猶予者に対し、適正に証明書を交付した。また、特例適用農地の適正な管理を指導した。

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
証明書発行	相続税	8人	6人	7人	7人	6人
	贈与税	5人	1人	0人	6人	3人
農地確認作業日数		15日	15日	15日	10日	50日
個別指導		2人	2人	3人	5人	2人

事業名：農業者年金に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	13	本年	289				289		288	99.7
				前年	285				285		284	99.7
				比較	4				4		4	-
【参考】前々年度					420				420		417	99.4

目的	農業者の老後生活の安定及び福祉の向上を図るとともに農業の担い手確保に資するため、独立行政法人農業者年金基金との業務委託契約に基づく農業者年金制度の適切な執行を図るため。																							
概要及び成果	1 農業者年金受給権者等の届出事務 農業者年金の受給権者等に対する資格取得や現況届等各種届出に関する受理・点検など、JA等と連携して円滑かつ適切な事務処理を行う。 <b>【成果】</b> 独立行政法人農業者年金基金、茨城県農業会議及びJAと連携し、適正な事務執行を図ることができた。(届出処理件数97件)																							
	2 農業者年金の新規加入推進活動 農業者やその後継者に対してパンフレット等による周知活動及び農業委員、JAと連携した戸別訪問による新規加入を推進する。 <b>【成果】</b> 新規加入推進実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入者</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	加入者	6人	3人	3人	4人	2人
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																		
加入者	6人	3人	3人	4人	2人																			
3 農業者年金の受給相談 <b>【成果】</b> 年金の受給対象者に対して、相談及び指導を行った。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>17人</td> <td>10人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	相談件数	17人	10人	5人	3人	5人	
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
相談件数	17人	10人	5人	3人	5人																			

事業名：農業担い手対策に要する経費

農業委員会事務局 農業行政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	14	本年	532				532		473	88.9
				前年	531				531		445	83.8
				比較	1				1		28	-
【参考】前々年度					554				554		434	78.3

目的	農業という職業の特性により男女の出会いが少ない農業後継者の結婚を支援するため。																																																						
概要及び成果	1 市内在住の農業後継者や農業に関心のある男女の出会いの場として、カップリングパーティーを開催する。 <b>【成果】</b> 10月27日に横浜中華街ランチとバイクルーズによるカップリングツアーを実施し、2組のカップルが誕生した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>11人</td> <td>12人</td> <td>16人</td> <td>13人</td> <td>8人</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td colspan="2">2組</td> <td colspan="2">4組</td> <td colspan="2">7組</td> <td colspan="2">3組</td> <td colspan="2">8組</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	参加者	7人	7人	11人	12人	16人	13人	8人	13人	13人	11人	カップル	2組		4組		7組		3組		8組	
		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度																																													
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女																																												
参加者	7人	7人	11人	12人	16人	13人	8人	13人	13人	11人																																													
カップル	2組		4組		7組		3組		8組																																														

事業名：農業推進等に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	02	11	本年	13,925		△ 338		13,587	1	11,363	83.6
				前年	11,500		△ 269	△ 312	10,919		9,570	87.6
				比較	2,425		△ 69	312	2,668	1	1,793	-
【参考】前々年度					12,441		△ 1,575		10,866		9,915	91.2

概要及び成果	目的	農家と行政とのパイプ役となる農業推進委員と連携し、農業振興事業を円滑に推進するため。また、農業近代化資金等の融資を受けた経営体に対し利子助成を行うことにより、農業経営の近代化、改善等における負担軽減を図るため。										
	1	農業推進委員活用による農家との連絡調整 【成果】 ・ 農業推進委員の活用により農家に対し円滑な各種農業施策等の情報提供が図れた。										
	2	認定農業者等が借り入れる農業近代化資金等の融資に対する利子助成 【成果】 ・ 利子助成実績										
	3	パン用小麦「ユメシホウ」の普及拡大に対する支援 【成果】 ・ つくば市農業振興協議会と連携し、農産物フェアやおもてなし館、つくば市物産館等で販売を行い、ユメシホウの普及拡大に努めた。 ・ 学校給食において「ユメシホウ」を使用したパンをつくば市民の日に児童、生徒に提供した。										

資金名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
農業近代化資金	160千円 (6経営体)	225千円 (7経営体)	343千円 (8経営体)	503千円 (11経営体)	660千円 (11経営体)
農業経営基盤強化資金(県1/2助成)	174千円 (5経営体)	216千円 (9経営体)	293千円 (13経営体)	827千円 (24経営体)	1,406千円 (27経営体)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
協議会への負担額	100千円	200千円	200千円	200千円	200千円
作付けした面積	20.0ha	13.7ha	13.7ha	13.9ha	13.9ha



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	03	11	本年	3,492				3,492		2,896	82.9
				前年	1,386				1,386		1,200	86.6
				比較	2,106				2,106		1,696	-
【参考】前々年度					1,629				1,629		1,230	75.5

目的

農業振興地域整備計画について、自然的、経済的、社会的諸条件を考慮した変更を行うため。

概要及び成果

1 農業振興地域整備計画変更申請の受付業務

【成果】

- つくば農業振興地域整備計画に基づき、農用地区域内における農地以外の土地利用を希望する個人等から申請を受け付け、経済的、社会的条件を考慮した計画変更を行い、土地の有効利用を図った。

年度	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
受付	第1回 (R01.6)	第2回 (R01.12)	第1回 (H30.6)	第2回 (H30.12)	第1回 (H29.6)	第2回 (H29.12)	第1回 (H28.6)	第2回 (H28.12)	第1回 (H27.6)	第2回 (H27.12)
件数	16件	14件	23件	23件	12件	16件	16件	10件	25件	17件
編入	-	-	1件	-	-	-	-	-	-	-
除外	16件	-	22件	22件	12件	16件	16件	10件	25件	17件
却下	-	-	-	1件	-	-	-	-	-	-
変更面積	1.0ha	-	8.1ha	2.2ha	1.6ha	1.2ha	1.7ha	0.9ha	1.7ha	1.7ha

※令和元年度第2回は、令和2年度で手続継続中です。

2 農業振興地域整備計画変更申請にかかる現地調査会

【成果】

- 変更申請のあった6地区について令和元年7月に現地調査会を実施した。(第1回)
- 変更申請のあった4地区について令和2年1月に現地調査会を実施した。(第2回)

3 農振農用地区域内外証明交付業務

【成果】

農振農用地区域内外の証明書を発行した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付件数	64件	81件	153件	297件	323件

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	03	12	本年	698		△ 164		534		221	41.4
				前年	1,606		1,500	△ 188	2,918		1,602	54.9
				比較	△ 908		△ 1,664	188	△ 2,384		△ 1,381	-
【参考】前々年度				1,523				1,523		486	31.9	

目的	<p>農業・農村における男女共同参画社会の形成に向けて、担い手として女性が農業経営や関連する活動へ積極的に参画するための支援を行うため。また、商工・観光業をはじめとする地域の異業種との交流の場を作り、女性の技術や知恵と絡めた新たな取り組みを促すとともに、経営向上につながる農産加工などのアグリビジネス分野への進出をサポートするため。</p>																								
概要 及び 成果	<p>1 農業農村男女共同参画行動計画「虹のプラン2015」(推進期間:平成27年～令和元年度)の実行 【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市農業農村男女共同参画社会推進委員会を3回開催し、男女共同参画社会の形成に寄与した。</li> </ul>																								
	<p>2 家族経営協定の締結推進 【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族経営協定を締結し、女性農業者の地位向上に寄与した。</li> </ul> <p>家族経営協定の新規締結及び内見直し件数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>総数</td> <td>206件</td> <td>203件</td> <td>199件</td> <td>193件</td> <td>189件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	新規	3件	4件	6件	4件	6件	見直し	0件	1件	0件	1件	0件	総数	206件	203件	199件	193件	189件
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
	新規	3件	4件	6件	4件	6件																			
	見直し	0件	1件	0件	1件	0件																			
総数	206件	203件	199件	193件	189件																				
<p>3 女性農業者組織への支援 【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における農業女性組織の研修会、交流会などの開催を支援した。</li> </ul> <p>1組織(谷田部地区主婦農業講座)</p>																									
<p>4 農業者が生産する加工品の販路開拓等、6次産業化への取り組みに対する支援 【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化に係る相談を3件受け、総合化事業計画の承認や商品化に向けた提言等により支援した。</li> <li>令和元年11月17日にイーアスつくばのかつらぎロードで行われた「かつらぎマルシェ」に出展し、来場者に対し試飲及びアンケート調査を実施し、つくばのワインの認知度向上を図った。</li> </ul>																									

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	03	13	本年	2,429		△ 1,139		1,290		566	43.9
				前年	2,551				2,551		867	34.0
				比較	△ 122		△ 1,139		△ 1,261		△ 301	-
【参考】前々年度					2,191				2,191		807	36.8

目的	農業体験等を通して、自然や農業に興味を持つ市内外の都市住民と農家との交流を深め、市内の農業や農産物をPRし、農村地域の活性化を図るため。											
概要 及び 成果	1 都市農村交流イベント ・ 農業体験イベントを開催し、市内の農業や農産物の周知を図った。 【成果】											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	農業体験イベント回数	7回	7回	9回	8回	9回						
	農業体験イベント参加数	102人	253人	323人	247人	244人						
	2 農産物オーナー制度 ・ 市内農産物のオーナーを募り、収穫体験等を実施し、生産者との交流を図った。 【成果】											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	オーナー参加数	168口	131口	103口	186口	154口						
	オーナー参加人数	418人	314人	334人	493人	566人						
	3 農業サポーター制度 ・ 農業サポーター(ボランティア)の活用により生産者の負担軽減と相互交流が図れた。 【成果】											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
サポーター登録者数	40人	235人	198人	171人	161人							
受け入れ農園数	15園	17園	41園	14園	17園							
※農業サポーター連絡用システム変更に伴い、再登録を行った結果、農業サポーター登録者数が減少した。												

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	04	11	本年	1,076		3,025		4,101	318	977	31.6
				前年	1,096				1,096		964	87.9
				比較	△ 20		3,025		3,005	318	13	-
【参考】前々年度					1,279				1,279		1,215	95.0

目的 家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染性疾病の発生及び蔓延を予防・防止し、高品質で安全性の高い畜産物を安定供給することにより、畜産の振興及び経営の健全な発展を図るため。

1 家畜伝染性疾病预防の検査

【成果】

- 各種の検査・注射を県南家畜保健衛生所と連携して実施し、伝染性疾病预防を図った。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
蜜蜂ふそ病検査	7件 ・ 278群	8件 ・ 283群	9件 ・ 275群
馬伝染性貧血検査	2件 ・ 3頭	0件 ・ 0頭	2件 ・ 162頭
牛ヨーネ病・牛結核病・牛ブルセラ病	0件 ・ 0頭	0件 ・ 0頭	0件 ・ 0頭
豚熱予防ワクチン接種	13件 ・ 4,160頭	0件 ・ 0頭	0件 ・ 0頭

※豚熱予防ワクチンは令和元年度から実施。初年度は手数料全額免除で茨城県県南家畜保健衛生所が実施。

	平成28年度	平成27年度
蜜蜂ふそ病検査	9件 ・ 332群	9件 ・ 401群
馬伝染性貧血検査	2件 ・ 3頭	3件 ・ 4頭
牛ヨーネ病・牛結核病・牛ブルセラ病	5件 ・ 396頭	0件 ・ 0頭
豚熱予防ワクチン接種	0件 ・ 0頭	0件 ・ 0頭

概要及び成果

2 検査・指導による防疫衛生の徹底

【成果】

- 茨城県県南家畜保健衛生所と連携して畜舎の衛生指導の強化により、家畜伝染病の防疫徹底を図った。

3 畜産共進会事業等への参加

【成果】

- 共進会や共励会へ参加し、畜産農家の生産意欲向上を図った。  
(9月13日開催の種豚共進会に1名10頭、11月21日開催の県南肉用牛枝肉共励会に6名9頭が参加)

4 畜産団体への衛生指導・支援

【成果】

- つくば市畜産協会への支援を通じて、衛生強化による防疫徹底を図った。  
(畜産協会が畜産農家に対して、ハエの発生抑制、衛生害虫駆除、消臭等を目的に薬剤購入費の約1/2を補助)
- アフリカ豚熱の感染拡大予防のため、野生動物侵入防護柵を設置した畜産農家に対して、設置費の1/8を補助した。

対象農場:3農場

※令和2年度に繰越

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	05	11	本年	404,085	66,648	△ 39,963		430,770	49,754	358,946	94.9
				前年	381,594		△ 2,500		379,094	66,648	305,436	98.2
				比較	22,491	66,648	△ 37,463		51,676	△ 16,894	53,510	-
【参考】前々年度					347,634	27,333	△ 73,909		301,058		284,242	94.4

目的	農業生産性の向上や農業経営安定化に向けた生産基盤の整備を図るため。																																			
概要及び成果	1 一般単独排水路整備事業																																			
	<p>地元要望等を受け、土地改良事業区域内の排水路について、一般財源で整備、改修を行った。このことにより、農産物の生産性の向上及び大雨時の水害対策を行った。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>71,955千円</td> <td>25,180千円</td> <td>49,543千円</td> <td>81,817千円</td> <td>76,408千円</td> </tr> <tr> <td>整備延長</td> <td>3,123m</td> <td>586m</td> <td>1,770m</td> <td>1,632m</td> <td>1,745m</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>大舟戸外10地区</td> <td>上岩崎外2地区</td> <td>下平塚外6地区</td> <td>田水山外9地区</td> <td>国松外9地区</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	事業費	71,955千円	25,180千円	49,543千円	81,817千円	76,408千円	整備延長	3,123m	586m	1,770m	1,632m	1,745m	実施場所	大舟戸外10地区	上岩崎外2地区	下平塚外6地区	田水山外9地区	国松外9地区
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																														
	事業費	71,955千円	25,180千円	49,543千円	81,817千円	76,408千円																														
	整備延長	3,123m	586m	1,770m	1,632m	1,745m																														
	実施場所	大舟戸外10地区	上岩崎外2地区	下平塚外6地区	田水山外9地区	国松外9地区																														
	2 農業基盤整備促進事業(排水路整備)																																			
	<p>土水路等で今後も農用地の生産向上に必要な排水路を国の補助金を活用して整備した。このことにより、農産物の生産性の向上及び大雨時の水害対策を行った。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>24,930千円</td> <td>58,664千円</td> <td>30,176千円</td> <td>36,105千円</td> <td>37,443千円</td> </tr> <tr> <td>整備延長</td> <td>649m</td> <td>1,593m</td> <td>694m</td> <td>617m</td> <td>833m</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>上郷外2地区</td> <td>中根外5地区</td> <td>上河原崎外1地区</td> <td>梶内外3地区</td> <td>高田外3地区</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	事業費	24,930千円	58,664千円	30,176千円	36,105千円	37,443千円	整備延長	649m	1,593m	694m	617m	833m	実施場所	上郷外2地区	中根外5地区	上河原崎外1地区	梶内外3地区	高田外3地区
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																														
	事業費	24,930千円	58,664千円	30,176千円	36,105千円	37,443千円																														
	整備延長	649m	1,593m	694m	617m	833m																														
	実施場所	上郷外2地区	中根外5地区	上河原崎外1地区	梶内外3地区	高田外3地区																														
	3 県単ため池整備事業																																			
	<p>県補助事業を活用し、農業用水の安定供給維持のため、ため池の計画的な整備を行った。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>77,689千円</td> <td>55,128千円</td> <td>20,484千円</td> <td>32,324千円</td> <td>13,660千円</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>北条新池</td> <td>沼田堂山池</td> <td>寺具弁天池</td> <td>寺具弁天池外2地区</td> <td>寺具弁天池外2地区</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	事業費	77,689千円	55,128千円	20,484千円	32,324千円	13,660千円	実施場所	北条新池	沼田堂山池	寺具弁天池	寺具弁天池外2地区	寺具弁天池外2地区						
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																														
	事業費	77,689千円	55,128千円	20,484千円	32,324千円	13,660千円																														
	実施場所	北条新池	沼田堂山池	寺具弁天池	寺具弁天池外2地区	寺具弁天池外2地区																														
	4 市単ため池・排水路維持補修事業																																			
	<p>ため池及び排水路機能維持のため、緊急性、必要性の高い箇所から補修工事を行った。</p> <p>【成果】上岩崎区排水路維持補修外41地区</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>39,931千円</td> <td>26,608千円</td> <td>23,721千円</td> <td>19,994千円</td> <td>19,837千円</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	事業費	39,931千円	26,608千円	23,721千円	19,994千円	19,837千円												
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																														
事業費	39,931千円	26,608千円	23,721千円	19,994千円	19,837千円																															
5 県営総合基盤整備事業																																				
<p>下手地区の区画整理工事については完了しており、令和元年度は付帯工事を行った。</p> <p>【成果】付帯工事(畑客土工、水田整地工)一式、確定測量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金</td> <td>6,750千円</td> <td>3,800千円</td> <td>4,200千円</td> <td>12,500千円</td> <td>35,850千円</td> </tr> <tr> <td>整備面積</td> <td>0ha</td> <td>0ha</td> <td>4.7ha</td> <td>16.8ha</td> <td>20.0ha</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	負担金	6,750千円	3,800千円	4,200千円	12,500千円	35,850千円	整備面積	0ha	0ha	4.7ha	16.8ha	20.0ha							
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
負担金	6,750千円	3,800千円	4,200千円	12,500千円	35,850千円																															
整備面積	0ha	0ha	4.7ha	16.8ha	20.0ha																															

## 6 県営土地改良総合整備事業償還金補助

公共性の高い事業について、土地改良区が融資を受けた借入金に対し償還補助を行うことにより、受益者の負担軽減を図った。(令和元年度で完了)

## 【成果】川口地区排水路等整備

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助金	907千円	1,797千円	3,077千円	5,980千円	15,184千円

## 7 かんがい排水整備事業償還金補助

市が実施した排水路整備について、受益者が融資を受けた借入金に対し償還補助を行うことにより、受益者の負担軽減を図った。

## 【成果】真瀬地区排水路整備外9件

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助金	68,283千円	83,142千円	99,406千円	123,695千円	150,117千円

事業名：霞ヶ浦用水建設に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	05	12	本年	96,409		△ 2,199		94,210		94,173	100.0
				前年	98,427				98,427		96,808	98.4
				比較	△ 2,018		△ 2,199		△ 4,217		△ 2,635	-
【参考】前々年度					85,677				85,677		84,334	98.4

目的 霞ヶ浦から用水を取水し、茨城県西南地域の関係13市町を対象として農業用水を安定的に供給する体制を確立し、豊かな地域づくりを推進するとともに、農業基盤の充実を図るため。

1 霞ヶ浦用水建設事業に対する建設負担金

【成果】霞ヶ浦から安定的に農業用水を供給することで、慢性的な水不足が解消され、農作物の生産性の向上を図った。

市内受益面積 3,106ha (田 2,045ha 畑 1,061ha)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
霞ヶ浦農業用水推進協議会運営負担金	1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円
霞ヶ浦用水県営かんがい排水事業負担金	6,177千円	7,325千円	6,686千円	6,300千円	6,187千円
霞ヶ浦用水団体営かんがい排水事業負担金	6,783千円	6,248千円	5,637千円	5,103千円	4,590千円
霞ヶ浦用水水資源機構営事業負担金	—	2,205千円	6,266千円	12,136千円	17,979千円
霞ヶ浦用水国営事業負担金	79,561千円	79,832千円	64,545千円	80,571千円	93,140千円

※水資源機構営事業は平成30年度で完了

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	05	13	本年	185,448		△ 8,328		177,120	4,140	172,842	99.9
				前年	172,152		△ 5,742		166,410		164,490	98.8
				比較	13,296		△ 2,586		10,710	4,140	8,352	-
【参考】前々年度					158,736		△ 3,881		154,855		154,053	99.5

目的

土地改良事業で造成された施設の維持管理や、老朽化した施設の整備等に対して補助を行うことにより、生産基盤の確立と農業用施設の多面的機能の維持・発揮を図るため。

1 施設管理委託

公共性の高い土地改良施設の維持管理を行い、施設の機能向上や良好な景観形成に努めた。

【成果】植栽維持管理委託 大曾根池外5箇所

北条地区排水路清掃委託

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
委託費	2,985千円	2,333千円	2,495千円	2,268千円	2,739千円

2 湛水防除施設管理負担金

台風及び大雨時に排水ポンプを運転し、冠水被害の防止に努めた。

【成果】真瀬地区排水機場外2地区・桜川地区運営協議会外1地区

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
負担金	5,370千円	5,370千円	5,370千円	5,370千円	5,370千円

3 多面的機能支払事業

農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持など、農村の活動組織が行う農村環境保全活動の支援を行った。

【成果】多面的機能支払交付金 作谷外38組織

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付金	98,254千円	102,567千円	101,293千円	102,005千円	102,450千円

4 霞ヶ浦用水国営造成施設管理体制整備促進事業補助

国や県が整備した水路等農業水利施設を管理するつくば市筑波土地改良区、南筑波土地改良区及び霞ヶ浦用水土地改良区の管理体制の整備に対して支援を行った。

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助金	30,600千円	30,746千円	32,100千円	37,140千円	35,510千円
負担金	3,417千円	1,603千円	1,488千円	1,487千円	1,496千円

5 土地改良区施設更新・修繕工事補助金

土地改良区が主体となって実施する、揚水機場等の土地改良施設の整備補修に対し、補助を行うことにより、施設の機能の維持、向上を図った。

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助金(下記合計)	30,983千円	20,933千円	10,230千円	19,053千円	23,675千円
維持管理適正化事業	3件	6件	1件	3件	4件
県単土地改良事業	11件	9件	4件	9件	10件
農業基盤整備促進事業	—	1件	1件	1件	2件

※農業基盤整備促進事業は令和元年度は改良区から申請がなかった。

概要及び成果



事業名：農業用廃プラスチック処理対策に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	06	11	本年	923			19	942		935	99.3
				前年	910				910		834	91.7
				比較	13			19	32		101	-
【参考】前々年度					835				835		792	94.8

目的	農家から排出される使用済プラスチックの適正な処理の推進と農村環境の保全を図るため。											
概要 及び 成果	1 農業用廃プラスチックの適正処理に関する啓発、指導 【成果】 農業者に対し、使用済プラスチックの適正処理について、チラシ・ホームページ等により啓発指導を行い、環境等への意識の向上が図られた。											
	2 農業用使用済ビニール・ポリエチレンの回収 【成果】 農業用使用済ビニール・ポリエチレンを回収し適正に処理することにより、農家の産業廃棄物処理費の負担軽減と農村環境の保全に寄与した。											
					令和元年度			平成30年度		平成29年度		
使用済ビニール回収実績					12,280kg			16,170kg		13,010kg		
使用済ポリエチレン回収実績					50,900kg			37,100kg		37,810kg		
登録人数					170名			142名		145名		
					平成28年度			平成27年度				
使用済ビニール回収実績					14,070kg			25,080kg				
使用済ポリエチレン回収実績					26,070kg			45,720kg				
登録人数					96名			136名				

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	06	12	本年	3,938				3,938		3,094	78.6
				前年	15,486		12,357		27,843		26,003	93.4
				比較	△ 11,548		△ 12,357		△ 23,905		△ 22,909	-
【参考】前々年度					15,482	4,784	4,127		24,393		21,727	89.1

目的

農業経営の安定と活性化を目指し、生産・経営技術の高度化を支援するとともに、消費者ニーズに対応する環境保全型農業の普及拡大を図るため。

概要及び成果

1 果樹振興

【成果】

- ブルーベリーやワイン用ぶどうを生産する新規就農者等に対し、苗木購入の補助を行った。  
果樹園の面積拡大に対する補助(苗木・資材代等)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助した件数	3件	2件	1件	0件	2件
補助した面積	83a	62a	41a	0a	81a
補助額	861千円	871千円	137千円	0千円	886千円

※平成30年度から、ブルーベリーに加えワイン用ぶどうも補助対象とした。

2 つくば芝振興

【成果】

- 関係団体等と連携し、市を代表する4品種(つくばグリーン、つくば姫、つくば太郎、つくば輝)の原種管理を徹底するなど品質の向上に努めた。
- 関係団体等と連携し、農産物フェアへの出店、チラシの配布、HPでの紹介など販路拡大の活動を支援した。

3 特別栽培の推進

【成果】

- 認証シールの交付により、市内で生産される特別栽培農産物の付加価値を高めることができた。  
市の推奨シール及び県の認証シール発行枚数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
推奨・認証シール発行枚数	20,000枚	24,900枚	32,600枚
特別栽培取組面積	369ha	362ha	365ha
推奨・認証シール発行経営体数	5 団体・2名	2団体・4名	6団体・4名

	平成28年度	平成27年度
推奨・認証シール発行枚数	46,400枚	46,410枚
特別栽培取組面積	354ha	192ha
推奨・認証シール発行経営体数	4団体・6名	5団体・7名

4 遺伝子組換え作物栽培連絡会の開催

【成果】

- 遺伝子組換え作物栽培連絡会における遺伝子組換え作物の栽培実験計画の公表(市HP)により、市民の不安や混乱を未然に防ぎ、情報の共有化及び相互理解の促進を図った。
- 遺伝子組換え作物栽培連絡会を6/26に、ほ場見学会を7/29に開催した。

事業名：地産地消推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
06	01	06	13	本年	3,631		3,413		7,044		6,188	87.8	
				前年									
				比較	3,631		3,413		7,044		6,188	-	
【参考】前々年度													

目的  
 地元農家の振興と地域経済の活性化の好循環により持続可能なまちづくりを目指すとともに、地元農産物のPR、積極的活用、農産物加工品販売支援等により地域活性化を図るため。

概要及び成果  
 1 地産地消レストラン推進事業の実施  
 地元農産物を使用する市内飲食店等を、地産地消レストランとして認定し、付加価値を付けるとともに、PRを実施した。  
**【成果】**  
 地産地消レストラン認定数 41件  
 ※令和元年度新規事業

2 農産物フェアの開催  
**【成果】**  
 (2) 農産物フェア開催(令和元年10月19、20日大清水公園で開催)  
 ・ 農産物フェアを開催し、来場者に対し地元農産物の認知度向上を図った。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加団体数	23団体	20団体	24団体	27団体	27団体
来場者数	約15,500人	約18,000人	約8,000人	約16,000人	約15,000人

事業名：農道整備に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
06	01	07	11	本年	82,871	6,380			89,251	75,738	84.9	
				前年	125,457		8,057		133,514	6,380	123,367	97.2
				比較	△ 42,586	6,380	△ 8,057		△ 44,263	△ 6,380	△ 47,629	-
【参考】前々年度				163,443				163,443	147,412	90.2		

目的

農業生産性の向上や農業経営安定化に向けた生産基盤の整備を図るため。

概要及び成果

1 一般単独農道整備事業

農業生産向上のため、土地改良区及び区長等からの要望に基づき農道整備を行った。このことにより、農業生産の安定及び安全輸送の円滑化を図った。

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
事業費	22,681千円	70,546千円	80,698千円	84,748千円	116,372千円
整備延長	497m	1,334m	2,221m	2,612m	3,442m
実施場所	百家外1地区	酒丸外7地区	土田外7地区	遠東外8地区	野畑外8地区

2 農道維持補修工事

農業生産基盤維持のため、土地改良区及び区長等からの要望や通報に基づき、農道維持補修を行った。

【成果】吉沼地区農道維持補修外13地区

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
事業費	7,709千円	9,172千円	4,137千円	4,320千円	5,750千円

3 県営農道整備事業負担金

つくば市外7市町を結ぶ広域幹線農道(つくば下総広域農道)の整備を推進した。  
(市内路線は、全線開通)

【成果】つくば下総広域農道

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
負担金	2,291千円	2,893千円	2,788千円	2,331千円	6,328千円

4 農道整備事業償還金補助

市が実施した農道整備工事について、受益者が融資を受けた借入金に対し償還補助を行うことにより、受益者の負担軽減を図った。

【成果】高須賀地区農道整備外4件

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助金	21,286千円	29,074千円	38,370千円	48,064千円	64,161千円

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	08	11	本年	120,980	2,113	△ 28,567		94,526	41,088	48,597	94.9
				前年	179,743	29,262	△ 48,826	500	160,679	2,113	83,507	53.3
				比較	△ 58,763	△ 27,149	20,259	△ 500	△ 66,153	38,975	△ 34,910	-
【参考】前々年度					173,403		△ 75,793		97,610	29,262	55,896	87.2

目的 農業従事者の高齢化に伴う担い手不足や耕作放棄地の増加などの課題に対応するため、認定農業者等の担い手確保・育成を図り、グリーンバンク制度等により、意欲ある農業者への農地集積を促進するため。

1 担い手育成総合支援協議会の開催や普及センター等の関係機関と連携した担い手の確保・育成

【成果】

- ・ つくば市担い手育成総合支援協議会を開催し、認定農業者になることを希望する生産者や新規就農者の営農計画を認定した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
協議会の開催回数	3回	4回	3回	4回	4回
認定農業者数	298経営体	275経営体	248経営体	210経営体	217経営体

2 新規就農者に対する支援

【成果】

- ・ 農業次世代人材投資資金(国)や新規就農者経営支援補助金(市単)の交付を行い、経営の安定化を図った。

名称	令和元年度	平成30年度	平成29年度
農業次世代人材投資資金	20名+5組(34,387千円)	24名+5組(46,500千円)	27名+7組(44,135千円)
新規就農者経営支援補助金	1名(600千円)	-	1名(600千円)

名称	平成28年度	平成27年度
農業次世代人材投資資金	25名+8組(45,000千円)	22名+7組(25,125千円)
新規就農者経営支援補助金	1名(600千円)	2名(700千円)

- ・ 令和元年11月15日、人材採用に取り組む農業者を対象としたセミナーを実施した。
- ・ 課題解決力養成講座を実施し、3名の農業者が受講した。

3 利用権設定面積

【成果】

- ・ 農業経営基盤強化促進法に基づき、農地の利用権(耕作権)の設定を行い、農用地等の有効利用を図った。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
面積	47ha	173ha	101ha	125ha	259ha
(うち新規分)	(26ha)	(121ha)	(83ha)	(113ha)	(245ha)
件数	397件	921件	590件	762件	1325件
(うち新規分)	(232件)	(670件)	(480件)	(666件)	(1,223件)

4 グリーンバンク登録及び仲介事務

【成果】

- ・ 市HP等により周知し、耕作放棄地の増加が抑止できた。

	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
貸し手(累計)	625件	163.9ha	593件	155.3ha	553件	149.6ha	468件	123.7ha	415件	106.0ha
借り手(累計)	178件		159件		130件		112件		88件	
契約成立(累計)	182件	48.2ha	162件	44.3ha	146件	41.4ha	114件	34.9ha	89件	28.9ha

概要及び成果

## 5 グリーンバンク契約成立地の土壌改良補助金

## 【成果】

- 市HP等により周知し、耕作放棄地の増加が抑止できた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
面積	0.2ha	0.0ha	0.0ha	0.0ha	0.0ha
交付額	56千円	0千円	0千円	0千円	0千円

## 6 耕作放棄地再生利用交付金

## 【成果】

- 耕作放棄地の再生利用に対し、交付金を交付し農業者の負担を軽減した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
再生面積	-	0.3ha	0.99ha	2.0ha	0.15ha
件数	-	1件	2件	9件	2件
交付金額	-	4,134千円	643千円	2,884千円	113千円

※令和元年度より廃止

## 7 市民ファーマー制度による農地の貸借

## 【成果】

- 市民ファーマー制度の活用により、耕作放棄地の増加が抑止できた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	7件	5件	6件	5件	4件
貸借面積	4,914㎡	3,862㎡	2,292㎡	1,995㎡	2,593㎡

## 8 人・農地プランの作成

## 【成果】

- 市内を、農林業センサス上の旧町村ごと23地区に地区分けし、各地区において今後の地域の中心となる経営体(農業者)の位置づけや、地域農業のあり方等について話し合いを進め、担い手への農地集積が図られた。

平成27年度:23地区プラン見直し

平成28年度:23地区プラン見直し

平成29年度:23地区プラン見直し

平成30年度:23地区プラン見直し

令和元年度:23地区プラン見直し

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	08	12	本年	7,465		2,100		9,565		8,388	87.7
				前年	14,632		5,163		19,795		18,734	94.6
				比較	△ 7,167		△ 3,063		△ 10,230		△ 10,346	-
【参考】前々年度					14,709				14,709		9,760	66.4

目的

農地中間管理機構による担い手への農地集積と集約化を支援し、農業の生産性を高めることにより農業競争力を強化するため。

概要及び成果

1 農地中間管理事業による農地集積面積

【成果】

- 農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、農地が担い手に集積され、農用地の有効利用が図られた。

	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
集積面積(対象)	0.0ha	78.7ha	34.6ha	39.4ha	210.3ha
集積面積(対象外)	39.8ha	33.7ha	17.0ha	44.8ha	3ha
集積面積(計)	39.8ha	112.4ha	51.6ha	84.2ha	213.3ha
対象地区	-	11地区	8地区	13地区	13地区

※1～12月で集計。

2 地域集積協力金の交付

【成果】 農地の集積・集約化を進めた地域に対し、協力金を交付する。令和元年度は、該当地域なし。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付地区数	-	11地区	8地区	7地区	11地区
対象面積	-	78.7ha	29.1ha	28.3ha	181.6ha
協力金	-	10,129千円	3,607千円	3,996千円	40,688千円

3 経営転換協力金の交付

【成果】 経営転換を伴う農地の集積・集約化を進めた土地所有者に対し、協力金を交付した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付件数	34件	29件	14件	20件	45件
対象面積	14.0ha	12.5ha	4.6ha	6.7ha	31.4ha
協力金	2,100千円	4,309千円	1,575千円	6,800千円	18,500千円

4 耕作者集積協力金の交付

【成果】 担い手同士の耕作地の交換等により農地の集約を行った担い手に耕作者集積協力金を交付するもの。(令和元年度より廃止)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付件数	-	32件	13件	20件	0件
対象面積	-	7.9ha	3.1ha	4.9ha	0.0ha
協力金	-	396千円	310千円	494千円	0千円

5 担い手の公募状況

【成果】 農地集積・集約化を進めるため、担い手を公募した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
応募人数	11人	9人	15人	9人	11人

事業名：水田農業構造改革推進に要する経費

経済部 農業政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	09	11	本年	218,705		1,388		220,093		220,080	100.0
				前年	15,500				15,500		14,694	94.8
				比較	203,205		1,388		204,593		205,386	-
【参考】前々年度					15,307				15,307		15,307	100.0

目的	水稻の販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象にその差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保及び食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持することを図るため。また、転作作物の作付による米の生産調整により、水田を有効に活用して食料自給率の向上を図るとともに農家の経営安定を図るため。												
概要及び成果	1 つくば市農業再生協議会への助成 <b>【成果】</b> ・ つくば市農業再生協議会が実施する経営所得安定対策の推進活動や要件確認等に必要となる経費に対して助成したことにより、経営所得安定対策の円滑な推進が図られた。												
	2 営農用機械設備等の整備に対する補助 <b>【成果】</b> ・ 市内営農者が導入する営農用機械の費用に対して1/3を補助する。(新規需要米普及拡大条件整備事業)												
			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	件数		0件	0件	0件	1件	0件						
	助成額		0千円	0千円	0千円	254千円	0千円						
※令和元年度については申請なし													
3 水稻の生産調整の推進 <b>【成果】</b> ・ 生産調整の実施により、水田の有効活用、食料自給率の向上、農業者の経営安定が図られた。													
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
転作配分面積		1,774ha	1,730ha	1,755ha	1,754ha	1,738ha							
転作実施面積		1,603ha	1,620ha	1,665ha	1,669ha	1,646ha							
生産調整達成率		90.4%	93.6%	94.9%	95.2%	94.7%							
4 病虫害防除薬剤購入費補助金 <b>【成果】</b> ・ 環境に配慮した病虫害防除薬剤購入費を補助することにより、イネ縞葉枯病の被害拡大を抑止し農業者の経営安定が図られた。													
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
交付人数		100件	123件	104件	-	-							
薬剤補助実績面積		667ha	602ha	527ha	-	-							
交付額		3,918千円	3,618千円	3,222千円	-	-							
※平成29年度から実施													



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	09	12	本年	13,271		△ 5,131	△ 5	8,135		7,789	95.7
				前年	10,252				10,252		6,446	62.9
				比較	3,019		△ 5,131	△ 5	△ 2,117		1,343	-
【参考】前々年度					10,141				10,141		7,775	76.7

目的 霞ヶ浦富栄養化防止基本計画に基づき、休耕地への被覆植物の作付推進、有機肥料への財政的支援を行い、環境保全型農業の推進を図るため。

概要及び成果 1 カバークロップ(被覆植物)種子の配布  
【成果】 カバークロップ(被覆植物)種子を配布、作付けにより、環境保全型農業の推進が図られた。

	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
エンバク	-	-	-	-	-	-
ハゼリソウ	23.9ha	481kg	18.5ha	370kg	25.3ha	506kg
ヘアリーベッチ	23.8ha	949kg	29.5ha	1,180kg	42.4ha	1,969kg
合計	47.7ha	1,430kg	48.0ha	1,550kg	67.7ha	2,475kg

※平成29年度からエンバクは配布対象外(イネ縞葉枯れ病予防のため)

	平成28年度		平成27年度	
エンバク	44.2ha	3,537kg	44.7ha	3,578kg
ハゼリソウ	17.5ha	351kg	20.9ha	419kg
ヘアリーベッチ	31.2ha	1,247kg	36.1ha	1,445kg
合計	92.9ha	5,135kg	101.7ha	5,442kg

2 有機資材に対する補助

【成果】 茨城県特別栽培農産物の認証作物またはJAS有機に対して、掛かり増し経費の一部を助成することにより環境保全型農業の推進が図られた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	9件	8件	18件	17件	17件
面積	218ha	209ha	230ha	256ha	236ha
助成額	3,312千円	3,163千円	3,514千円	3,958千円	3,661千円

3 環境保全型農業直接支援対策に対する補助

【成果】 化学合成農薬と化学肥料を慣行栽培に対して50%以上削減したうえで、カバークロップや草生栽培等の環境に配慮した栽培を実施した者及び有機農業に取り組む者に対して補助することにより環境保全型農業の推進が図られた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
件数	2件	2件	5件	4件	3件
面積	12ha	13ha	25ha	18ha	7ha
補助額	980千円	1,055千円	1,702千円	1,144千円	572千円

4 葉刈り芝野焼き対策事業

【成果】 葉刈り芝の野焼き対策として、回収事業や堆肥化事業、ストックヤード事業を行い野焼き防止に努めた。

【回収事業】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
回収事業	670kg	7,970kg	3,270kg	4,370kg	2,160kg
ストックヤード事業	41,340kg	4,260kg	-	-	-
回収量	42,010kg	12,230kg	3,270kg	4,370kg	2,160kg

【堆肥化事業】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
申請件数	1件	2件	2件	4件	-

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	10	11	本年	70,034				70,034		65,119	93.0
				前年	51,917		350		52,267		50,523	96.7
				比較	18,117		△ 350		17,767		14,596	-
【参考】前々年度					65,710				65,710		59,514	90.6

目的

筑波山麓の豊かな自然環境の保全や活用を通じて、学童、都市生活者及び市民等に自然と農業に親しむ機会を与え、憩いの場として寄与するため。

概要及び成果

1 憩いの場の整備及び維持管理

【成果】

施設整備

- 1 実習館食堂のエアコン新設工事を行った。
- 2 コテージのWi-Fi新設工事を行った。
- 3 バーベキュー場の浄化槽新設工事を行った。

【施設利用状況】

施設名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実習館(宿泊施設)	3,590人	3,738人	3,518人	3,805人	3,925人
コテージ	3,398人	4,175人	4,424人	4,335人	4,184人
キャンプ場	1,735人	1,914人	1,476人	1,601人	1,545人
伝習施設(そば打ち)	853人	834人	1,121人	1,431人	1,479人
管理施設(草木染め)	748人	749人	843人	807人	1,008人
バーベキュー施設	5,941人	5,886人	6,714人	6,383人	6,669人
研修室	1,206人	1,508人	1,465人	1,568人	1,010人
食堂	1,574人	1,975人	2,861人	2,766人	2,663人
風呂	2,847人	2,990人	3,143人	2,985人	2,970人
合計	21,892人	23,769人	25,565人	25,681人	25,453人

【年度別収入】

内容	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
施設使用料	29,905千円	31,324千円	30,182千円	32,601千円	31,543千円

2 筑波山麓自然学校

開校より18年目を迎えた筑波山麓自然学校は、充実したプログラムを親子や児童に提供し、筑波山麓の自然への理解を深め、自然環境の保全を担う人材の育成や自然資源の有効活用と地域の活性化を目指すことを目的として実施している。

【成果】

内容	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催数	9回	10回	11回	11回	11回
参加者数	380人	522人	547人	587人	504人

事業名：ゆかりの森施設管理運営に要する経費

経済部 豊里ゆかりの森

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	11	11	本年	63,260				63,260		58,405	92.3
				前年	106,032		△ 8,975		97,057		91,252	94.0
				比較	△ 42,772		8,975		△ 33,797		△ 32,847	-
【参考】前々年度					56,666				56,666		54,194	95.6

目的

植物、昆虫、野鳥等とふれあえる豊かな自然環境のなか、体験・宿泊余暇活動の施設として、快適な環境を提供することにより、利用者のやすらぎと自然環境保護思想の普及及び向上に寄与するため。

1 ゆかりの森施設管理運営に要する経費

【概要】

平地林の自然環境保全に努めるとともに、付帯する施設、宿舍あかまつ(60名収容可能な宿泊施設)、昆虫館(約5,000点の標本を常設展示)、バーベキュー場及びキャンプ場、フィールドアスレチック、テニスコートの他、工芸館において、陶芸・そば打ち体験・ガーデニング教室等の開催及び展示の管理運営を行っている。

【成果】

- (1)里山の環境整備として、枯れ木の伐採や枯れ枝の撤去及び平地林の下草刈りを実施した。また、敷地内に残存する赤松に樹幹注入剤を投与して松枯れの防止に努めた。
- (2)主な施設整備としては、管理棟の改修工事やアスレチック遊具の改修工事(1基)、防犯カメラの設置、更に、宿舍あかまつのデッキ修繕を行い、施設の利便性を向上させた。
- (3)夏休み期間(7/20～8/31)は宿泊施設の休館日を無くして受け入れたほか、キャンプ場のテントサイトを12月から2月の冬期も利用可能にするなど、宿泊機会を増やして、サービス推進に寄与した。
- (4)じゃがいもやさつまいも掘り、そば打ち、陶芸など各種体験事業のほか、昆虫の自然史講座などの学習機会を提供し、世代間の交流や伝承の場として、施設の有効利用が図られた。

【施設利用状況】

施設名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
昆虫館	12,150人	12,727人	11,217人	13,289人	12,663人
テニスコート	1,412人	1,548人	1,593人	1,552人	2,089人
キャンプ場	46,339人	37,642人	38,247人	37,206人	35,873人
宿舍あかまつ	8,558人	7,515人	8,264人	8,397人	7,979人
工芸館	6,917人	6,971人	7,309人	6,789人	8,501人
各種イベント	444人	465人	445人	433人	375人
合計	75,820人	66,868人	67,075人	67,666人	67,480人

【年度別収入額】

内容	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
施設使用料等	22,976千円	18,741千円	22,638千円	22,276千円	21,486千円

概要及び成果

## 事業名：林道整備に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	02	01	11	本年	9,517				9,517		7,672	80.6
				前年	9,399				9,399		6,144	65.4
				比較	118				118		1,528	-
【参考】前々年度					9,795			△ 335	9,460		8,360	88.4

目的	森林の適正な保全と森林施業の推進、治山事業の効率的な施行により、森林を有する多面的な公益機能を持続的に発揮させるとともに、年々増加する観光客の安全な通行を確保するため。											
概要 及び 成果	1 筑波山林道4路線及び市有林管理道の維持管理 【成果】 ・ 安全な利用と森林施業の推進、土砂災害の防止を目的に適正な維持管理を行った。 ・ 除草:1回実施、計8,000㎡ ・ 側溝清掃:1回実施、計1,800m ・ 路面清掃:2回実施、計10km											
	2 筑波山林道4路線及び市有林管理道の維持補修 【成果】 ・ 森林の公益的機能の発揮を図るため、森林施業者の安全な通行を確保した。 (穴埋め、グレーチング補修)											
	3 筑波山林道の改良事業 【成果】 ・ 令和元年度は未実施											
	4 林道の台帳整備 【成果】 ・ 令和元年度は改良工事が無かったため、台帳整備の実績なし											
					令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度			
沼田新田酒寄線					-	-	-	-	L=150m			

## 事業名：森林保全に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
06	02	01	12	本年	16,633		735	△ 14	17,354		12,827	73.9
				前年	29,104		894		29,998		16,355	54.5
				比較	△ 12,471		△ 159	△ 14	△ 12,644		△ 3,528	-
【参考】前々年度					42,377		△ 10,000		32,377		28,365	87.6

## 目的

里山や平地林の保全整備を推進し、森林の有する多様な公益的機能を持続的に発揮させ、機能豊かな森林の育成、林業生産活動の活性化を図り、木材需要の拡大と地球環境に対する貢献を高めるため。

## 概要及び成果

## 1 筑波山市有林(生活環境保全林)の保全整備 ※森林面積約40ha

## 【成果】

- ・ 森林ボランティア等により定期的に確認を行ったが、令和元年度は保全整備が必要となる箇所はなかった。

## 2 森林湖沼環境税を活用して、里山・平地林の保全整備

## 【成果】

- ・ 身近なみどり整備推進事業により、荒廃した民有林を健全な状態に回復した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
面 積	9.35ha	9.54ha	7.31ha	13.65ha	14.80ha
整備箇所数	20箇所	27箇所	22箇所	28箇所	61箇所

## 3 森林資源の造成整備を推進

## 【成果】

- ・ 造林事業及び保育事業の実施により、健全な森林の育成を推進し、森林の有する公益的機能を確保することができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
造 林 面 積	0ha	0ha	0.68ha	0.64ha	0.23ha
保 育 面 積	3.16ha	6.13ha	5.58ha	4.67ha	3.70ha

## 4 筑波山市有林で行う市民参加型森林ボランティア活動支援・推進(保全・活用協定)

## 【成果】

- ・ ボランティアによる森林整備を実施し、森林が有する公益的機能を確保することができた。また、初心者でも気軽に活動に参加できる機会を提供することができた。

## ボランティア活動

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
年 間 活 動 回 数	6回	10回	10回	10回	10回
年 間 整 備 面 積	1.7ha	2.5ha	2.4ha	3.2ha	3.0ha

## 5 森林学習や森林愛護活動などの緑化関連に取り組む子供たちへの活動支援

## 【成果】

- ・ 子どもたちの緑を守り育てる心を育み、緑の少年団活動の充実を図ることができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
団 体 数	4団体	4団体	5団体	4団体	4団体
補 助 額	120千円	120千円	150千円	120千円	120千円

事業名：高崎自然の森管理に要する経費

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	02	01	13	本年	14,274	14,442			28,716		26,381	91.9
				前年	44,334				44,334	14,442	22,715	83.8
				比較	△ 30,060	14,442			△ 15,618	△ 14,442	3,666	-
【参考】前々年度					14,116			335	14,451		11,655	80.7

目的

自然環境の保全と緑の育成を図り、人と自然とのふれあいの場を提供するとともに、恵まれた自然環境や森林資源を活用した自然環境教育や森づくり体験、農業体験などにより、市民等が森林が持つ公益機能の理解や自然環境保全の取り組みについて学ぶことができる機会を提供するため。

概要及び成果

## 1 施設の清掃、除草等の維持管理

(供用面積 約17.5ha 管理棟・トイレ・休憩施設・散策路・水辺・花畑・芝生広場などの維持管理)

## 【成果】

- 利用者に快適で良好な自然環境を提供するため、適切な維持管理を行った。

経費名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
年間管理業務委託費	4,642千円	4,373千円	4,205千円	4,204千円	4,228千円

- 利活用状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
使用許可を得たもの	17団体/31回	14団体/31回	13団体/34回	11団体/53回	8団体/86回
一般利用者数	約43,000人	約43,000人	約43,000人	約43,000人	約43,000人

※一般利用者数は自販機利用者数等から推計。なおイベント、森林ボランティア活動参加者数は含まない

## 2 森林ボランティアとの協定による森林の保全整備

## 【成果】

- 良好な森林環境の創出と里山の保全整備により、地球温暖化防止などの環境に対する貢献ができた。
  - 活動森林ボランティア団体 2団体
  - 森林整備面積 約2ha/年(各団体)
  - 年間活動回数

ボランティア団体名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ふれあい筑波	2回	2回	2回	2回	2回
つくば森林クラブ	-	-	-	-	-
つくば樹楽会	6回	3回	5回	6回	4回
フォレストクラブ	-	-	-	-	-

※活動に関する機械燃料、消耗品、飲み物支給 ※フォレストクラブはおぐるくの森で活動

※つくば森林クラブ、フォレストクラブはイベント時に協力活動を実施

## 3 里山の自然環境を活用した農山村体験事業(イベント)

## 【成果】

- 恵まれた自然環境と体験農園を活用して、NPO団体や農業者団体等との協働により、市民や親子等へ様々な農林体験や身近な自然で学習する機会を提供できた。

事業名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	備考
ブルーベリー園事業	8回(308人)	9回(377人)	9回(447人)	摘み取り・剪定体験等
いなか体験事業	-	-	-	栗収穫体験・昔あそび等
自然体験事業	5回/269人	5回/249人	5回/305人	自然観察・環境学習等
体験料収入	-	-	-	各事業合計
事業名	平成28年度	平成27年度	備考	
ブルーベリー園事業	8回(517人)	10回(576人)	摘み取り・剪定体験等	
いなか体験事業	1回(50家族)	1回(59家族)	栗収穫体験・昔あそび等	
自然体験事業	5回/333人	5回/284人	自然観察・環境学習等	
体験料収入	36千円	40千円	各事業合計	

※ブルーベリー園事業は、来場者のうち体験参加者のみ

事業名：商工事務に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	01	11	本年	175				175		106	60.8
				前年	225				225		83	36.7
				比較	△ 50				△ 50		23	-
【参考】前々年度				225				225		99	44.2	

目的	商工行政事務を円滑に進めるため。																																																	
概要及び成果	1 商工会との連絡調整会議の開催																																																	
	【成果】																																																	
	連絡調整会議の開催(10回)																																																	
	2 砂利採取法及び採石法に基づく事務並びに関連する事務																																																	
	【成果】																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 10%;">令和元年度</th> <th style="width: 10%;">平成30年度</th> <th style="width: 10%;">平成29年度</th> <th style="width: 10%;">平成28年度</th> <th style="width: 10%;">平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">砂利採取法及び採石法</td> <td>砂利採取立入検査</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>岩石採取立入検査</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>採石安全パトロール</td> <td>1件</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宝篋山ふるさとの山づくり懇談会</td> <td>植樹祭</td> <td>1回</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>0回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>懇談会</td> <td>1回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>													区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	砂利採取法及び採石法	砂利採取立入検査	2件	2件	2件	1件	2件	岩石採取立入検査	1件	1件	1件	1件	0件	採石安全パトロール	1件	1回	1回	1回	1回	宝篋山ふるさとの山づくり懇談会	植樹祭	1回	0回	1回	0回	1回	懇談会	1回	3回	2回	3回
	区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																												
砂利採取法及び採石法	砂利採取立入検査	2件	2件	2件	1件	2件																																												
	岩石採取立入検査	1件	1件	1件	1件	0件																																												
	採石安全パトロール	1件	1回	1回	1回	1回																																												
宝篋山ふるさとの山づくり懇談会	植樹祭	1回	0回	1回	0回	1回																																												
	懇談会	1回	3回	2回	3回	2回																																												

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	11	本年	54,556		△ 2,007		52,549		50,363	95.8
				前年	40,138		△ 1,950		38,188		37,856	99.1
				比較	14,418		△ 57		14,361		12,507	-
【参考】前々年度					39,140		2,050		41,190		38,188	92.7

目的

地域商工団体の指導的立場であるつくば市商工会との連携を図るため。また、中小企業の経営安定・強化を目指した地域振興を図るため。

1 権限委譲事務の適正管理

【成果】

区分		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
商工会法に規定する事務	事業報告書受理	1件	1件	1件	1件	1件
	定款変更許認可	1件	0件	0件	0件	1件
	指導検査	1件	0件	1件	0件	1件
中小企業等協同組合法に規定する事務	設立認可	0件	1件	0件	0件	1件
	事業報告書受理	5件	4件	4件	2件	2件
	役員変更届出の受理	0件	0件	2件	0件	1件
	解散の届出受理	0件	0件	0件	0件	0件

2 商工団体への補助

【成果】

つくば市商工会事業補助金

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
商工会事業補助金	34,000,000円	35,673,000円	34,967,000円	31,379,000円	29,559,000円

3 既存商店街の活性化への支援

【成果】

(1) 既存商店街等空き店舗活用補助金

区分	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
改装費補助	1件	1,500,000円	0件	0円	1件	1,500,000円
家賃補助	2件	120,000円	2件	610,000円	1件	400,000円

区分	平成28年度		平成27年度	
改装費補助	1件	1,500,000円	0件	0円
家賃補助	1件	200,000円	1件	374,000円

(2) 北条商店街駐車場用地取得

北条22、23番 1042.91㎡ 14,123,000円

4 大規模小売店舗立地法に基づく事務

【成果】

大規模小売店舗立地法に基づく事務

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新規・変更届出に係る意見書提出	14件	7件	23件	5件	14件
県大規模小売店舗立地調整会議	0回	0件	1回	2回	1回

概要及び成果



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	12	本年	150,604		△ 340		150,264		118,545	78.9
				前年	156,730		△ 5,200		151,530		129,929	85.7
				比較	△ 6,126		4,860		△ 1,266		△ 11,384	-
【参考】前々年度					175,680		△ 5,277		170,403		142,755	83.8

目的

中小企業の金融の円滑化及び経営基盤の安定化に資するため。

概要及び成果

1 中小企業事業資金融資あっせん審査会の開催

【成果】

毎月1回開催(計12回)

2 自治金融、振興金融の融資あっせん

【成果】

あっせん制度の利用件数及び金額

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
あっせん件数	204件	288件	284件	294件	383件
あっせん金額	1,091,800千円	1,467,800千円	1,602,700千円	1,628,300千円	2,082,800千円
融資保証残高(3月)	3,718,594千円	4,119,833千円	4,377,835千円	4,689,367千円	4,847,452千円

3 中小企業事業資金信用保証料補助

【成果】

市融資制度利用者への保証料補助の実施(茨城県信用保証協会に間接補助)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助件数	218件	289件	284件	285件	391件
補助金額	31,000千円	37,918千円	39,640千円	42,640千円	55,987千円

4 中小企業経営対策事業融資資金利子補給補助

【成果】

市融資制度利用者への36か月分の利子補助の実施

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助件数	949件	1,049件	1,095件	1,291件	1,280件
補助金額	28,639千円	31,395千円	34,365千円	43,440千円	44,878千円

5 関東・東北豪雨災害緊急対策融資利子補給金、保証料補助金

【成果】

利子補給金・保証料補助金の利用件数及び金額

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
利用件数	4件	7件	7件	5件
利子補給金額	311千円	732千円	839千円	400千円
保証料補助額	116千円	288千円	556千円	283千円

6 災害対策融資(令和元年台風15号・19号災害特例)利子補給金、保証料補助金

【成果】

利子補給金・保証料補助金の利用件数及び金額

利用件数 8件

利子補給金額 45千円

保証料補助額 378千円

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	13	本年	18,857		△ 44		18,813	2,970	8,083	58.8
				前年	186,550		△ 3,853		182,697		52,861	28.9
				比較	△ 167,693		3,809		△ 163,884	2,970	△ 44,778	-
【参考】前々年度					52,418		△ 4,378		48,040		37,667	78.4

目的

産業振興施策および創業支援施策を一体的に展開し、また、研究機関・大学等のシーズを最大限に活用しながら、中小企業等のイノベーション基盤力を強化することで、地域産業の活性化及び産業競争力の強化を図るため。

1 産業創出支援事業

【成果】

市内中小企業等に対して、事業拡大及び販路拡大支援を実施した。

- ① 「つくば産業情報ネットワーク」による産業支援情報等を継続的に発信
- ② ㈱PRTIMESとの業務連携による市内企業等の情報発信を支援(7社、14配信)
- ③ 海外販路拡大へ向けたビジネスマッチング支援を実施(2社)
- ④ 産業創出支援補助金の交付

区 分	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
賃貸型企業立地推進奨励補助金			9 件	2,629千円	17 件	8,496千円
展示会出展支援補助金	11 件	2,545千円	16 件	4,054千円	9 件	1,569千円
経営革新計画承認奨励補助金						
研究開発補助金					2 件	2,000千円
産学官連携交流事業補助金						
中小企業経営力強化促進奨励補助金	3 件	281千円	6 件	600千円		
合 計	14 件	2,826千円	31 件	7,283千円	28 件	12,065千円

区 分	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
賃貸型企業立地推進奨励補助金	25 件	7,140千円	17 件	3,171千円	13 件	3,478千円
展示会出展支援補助金	13 件	4,044千円	12 件	3,567千円	12 件	3,387千円
経営革新計画承認奨励補助金	3 件	830千円	9 件	2,504千円	12 件	3,600千円
研究開発補助金	1 件	473千円	1 件	1,000千円	2 件	1,668千円
産学官連携交流事業補助金	1 件	300千円	1 件	300千円	0 件	0千円
中小企業経営力強化促進奨励補助金						
合 計	43 件	12,787千円	40 件	10,542千円	39 件	12,133千円

概要及び成果

2 創業支援事業

【成果】

- (1) 「創業支援事業計画」に基づき、創業支援事業(創業相談、セミナー等)を実施した。

① 支援件数及び創業者数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
支援件数	360件	347件	295件	228件	203件
創業者数	102人	119人	72人	59人	56人

② 創業啓発イベントの共催(女性のためのはじめて学ぶ起業講座)

- (2) 新規創業促進補助金を交付

区 分	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
設備費等補助							4件	800千円
登録免許税補助	20件	2,120千円	19件	1,380千円	14件	1,005千円		

## 3 技術開発支援プラットフォーム事業

## 【成果】

(1) 本事業の推進母体である「つくば技術開発クラブ」による展示会出展支援、情報発信等を実施した。

## クラブ会員数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
会員数	269	264	260	258	257

(2) 「つくばものづくりオーケストラ技術展示会」への開催支援を行った。

## 開催支援数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
展示会	7件	7件	8件	7件	8件

(3) リンカーズとの業務提携による大手企業とのマッチング支援を実施した。(紹介件数52社、成立件数0件)

(4) 「つくば技術開発クラブ」会員による提携締結・協業成果について情報発信を実施した。(1件)

## 4 中小企業等経営力向上支援事業

## 【成果】

(1) 展示会(東京都産業交流展、筑波銀行ビジネス交流商談会等)へ出展し、市内中小企業等の情報発信を実施した。

(2) ジェトロ茨城と連携し、チャイナハイテクフェアへの出展等を通じて、先端技術を有する市内中小企業等の海外販路拡大を支援する「Tsukuba Global Next」を実施し、つくば市が優秀ブース賞を、支援企業が優秀企業賞を獲得した。

(3) トライアル発注認定制度の課題を踏まえた新しい認定制度の制度設計を実施した。

## トライアル発注認定制度による申請・新規認定・導入件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
申請				8件	16件
事業者認定				2件	12件
商品等認定				3件	12件
試験導入		1件	3件	3件	4件

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	14	本年	881				881		745	84.5
				前年	983				983		846	86.1
				比較	△ 102				△ 102		△ 101	-
【参考】前々年度					988				988		930	94.1

目的	計量法事務を適正に執行することにより、消費者利益を保護し、経済の発展及び文化の向上に寄与するため。																								
概要及び成果	<p>1 特定計量器定期検査</p> <p>計量法により、取引または証明に使用する特定計量器(はかり)は2年に一度の定期検査が義務付けられており、市内を2地区に分け、隔年毎に集合検査方式により実施している。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>6月に3日間、10月に1日間の定期検査を実施し、適正な計量の確保、消費者利益の保護に寄与することができた。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象地区</td> <td>筑波・大穂・桜</td> <td>豊里・谷田部・荃崎</td> <td>筑波・大穂・桜</td> <td>豊里・谷田部・荃崎</td> <td>筑波・大穂・桜</td> </tr> <tr> <td>検査個数</td> <td>351個</td> <td>371個</td> <td>373個</td> <td>372個</td> <td>380個</td> </tr> <tr> <td>内不合格</td> <td>6個</td> <td>15個</td> <td>3個</td> <td>4個</td> <td>4個</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	対象地区	筑波・大穂・桜	豊里・谷田部・荃崎	筑波・大穂・桜	豊里・谷田部・荃崎	筑波・大穂・桜	検査個数	351個	371個	373個	372個	380個	内不合格	6個	15個	3個	4個	4個
	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
	対象地区	筑波・大穂・桜	豊里・谷田部・荃崎	筑波・大穂・桜	豊里・谷田部・荃崎	筑波・大穂・桜																			
	検査個数	351個	371個	373個	372個	380個																			
	内不合格	6個	15個	3個	4個	4個																			
<p>2 商品量目立入検査</p> <p>スーパーなどで計量販売されている特定商品(計量法により定められた食肉、魚介類、野菜等の中の一定の商品)は、量目公差内で計り、その内容量、住所、氏名の表記義務がある。そのため、立入検査により、表記、内容量公差、特定計量器の使用状況等の確認を行う。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>11月に市内(桜地区)のスーパーマーケット6店舗に対し、144個の商品検査、41台の計量器設置状況確認を実施した。全ての店舗において適正に計量されていることを確認し、消費者利益の保護に寄与することができた。</p>																									
<p>3 燃料油メーター立入検査</p> <p>特定計量器である燃料油メーターには、検定の有効期間(自動車等給油メーター:7年、小型車載燃料油メーター5年)があり、立入検査により検定証印、有効期間、設置状況等の確認を行う。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>7月に市内(筑波・大穂・桜地区)のガソリンスタンド8店舗に立入検査を実施し、108個の燃料油メーターを検査した。2個の期限切れメーターがあったが、その後の修理、検定を9月の再検査により確認し、消費者利益の保護に寄与することができた。</p>																									
<p>4 計量に関する啓発</p> <p>計量に関する制度は、経済・社会の最も基本的な制度であり、国民生活のためのあらゆる分野の基盤となっており、正しい計量の重要性や計量意識の醸成と高揚を図るための啓発を行う。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>パネル展示やチラシ、啓発グッズ等の配布による啓発活動を実施し、多くの市民に、正しい計量のあり方を知ってもらおうと共に、計量に対する意識の向上を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月のつくば産業フェアに出展し、計量ゲーム、パネル展示、チラシ配布等を行い、計量に関する啓発活動を実施した。</li> <li>・11月に実施した消費生活パネル展(市役所1階フロア:8日間)に、計量コーナーを設置した。</li> </ul>																									
<p>5 全国計量行政会議・全国特定市計量行政協議会への参加</p> <p>全国の都道府県、特定市等の計量行政機関により協議会を組織し、都市間相互の緊密な連携や知識の交換等により、計量行政の充実を図る。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>2月に東京で開催された全国特定市計量行政協議会全国会議、全国計量行政会議へ参加した。また、年度を通して文書会議等で意見の交換を行い、広範で多くの情報を共有することができた。</p>																									

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	15	本年	53,901		△ 37,878		16,023		15,296	95.5
				前年	18,540				18,540		17,404	93.9
				比較	35,361		△ 37,878		△ 2,517		△ 2,108	-
【参考】前々年度					25,119		△ 599		24,520		23,545	96.0

目的

市内への新たな企業の誘致と既存企業の定着化や事業規模の拡充を促進し、地域経済の活性化と雇用の拡充を図るため。

1 つくば市工業団地企業連絡協議会の運営

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
事業内容	総会、役員会6回、視察研修1回、セミナー1回、交流会2回、市長懇談会1回、賀詞交歓会	総会、役員会6回、視察研修1回、セミナー1回、交流会2回、市長懇談会1回、賀詞交歓会	総会、役員会6回、視察研修1回、セミナー1回、交流会2回、市長懇談会1回、賀詞交歓会	総会、役員会6回、視察研修1回、セミナー1回、交流会2回、市長懇談会1回、賀詞交歓会	総会、役員会5回、視察研修1回、セミナー1回、交流会2回、市長懇談会1回、賀詞交歓会

2 立地ニーズ調査・企業誘致施策の検討を実施

つくば市への立地ニーズを把握するため、市内進出意向調査を実施した。また、調査結果から、市内への立地ニーズを把握するとともに、企業訪問を通して産業用地の紹介や企業誘致施策の検討を行った。

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
調査内容	令和元年度は実施していない(隔年実施または3年に1度など、実施間隔について検討中)	○工場等の生産・立地動向調査(調査対象:19,000社、回答企業:2,119社、回答率:11.15%) つくば市に関心を示した企業 51社	○工場等の生産・立地動向調査(調査対象:16,000社、回答企業:2200社、回答率:13.75%) つくば市に関心を示した企業 51社	○工場等の生産・立地動向調査(調査対象:15,000社、回答企業:2,141社、回答率:14.27%) つくば市に関心を示した企業 49社 ○産業集積基盤強化戦略調査(1)企業アンケート・ヒアリングの実施(2)立地環境の課題整理(3)立地需要の整理(4)産業用地の選定(5)今後の企業誘致施策の検討	○工場等の生産・立地動向調査(調査対象:23,000社、回答企業:3,365社、回答率:14.63%) つくば市に関心を示した企業 61社 ○つくば市への企業立地に関する調査(調査対象:5,000社、回答企業:260社、回収率:5.2%)

概要及び成果

## 3 企業誘致推進・立地企業フォローアップ事業

市内の空き用地や造成地を企業に紹介し、市内への立地を促した。また、市内に立地する企業を訪問し、要望の聞き取りや事業内容の確認を通して、事業活動のフォローアップを実施した。

## 【成果】

## (1) 新規立地及び拡充等企業数

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新規立地企業 (用地取得等含む)	5社	8社	12社	19社	8社
拡充等企業数 (用地取得等含む)	1社	1社	1社	4社	10社

## (2) 市内企業フォローアップ訪問件数

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
訪問企業数	73社	64社	64社	76社	78社

## (3) 空き用地紹介及びPR活動

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
出展による誘致活動	いばらき産業立地セミナー(in東京)、CEATEC 2019	用地情報交換会、いばらき産業立地セミナー(in大阪)、国際物流展	用地情報交換会、いばらき産業立地セミナー(in東京、in大阪)、CEATEC JAPAN	企業立地フェア(東京ビッグサイト)、いばらき外資系企業誘致セミナー、JASIS2016(幕張メッセ)、国際物流展、用地情報交換会、いばらき産業立地セミナーin大阪	企業立地フェア(東京ビッグサイト)、JASIS2015(幕張メッセ)、いばらき産業立地セミナー(in東京、in大阪)、企業誘致フェアinアキバ
視察会による誘致活動	—	—	いばらき産業用地視察会(常陽銀行・圏央道協議会主催)	つくば・圏央道周辺産業立地視察会(圏央道協議会主催)、いばらき産業用地視察会(常陽銀行・圏央道協議会主催)	つくば・圏央道周辺産業立地視察会(圏央道協議会主催)、いばらき産業用地視察会(常陽銀行主催)

## 4 つくば市産業活性化奨励金制度に基づく奨励金の交付及び事業計画の認定

産業活性化と雇用拡大を図るため、市内外の企業が事業所の新設や増設を行う際に、固定資産税相当分を奨励金として交付した。

## 【成果】

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
奨励金交付件数	3件	3件	1件	2件	3件
奨励金交付額	10,578千円	10,817千円	16,625千円	15,923千円	39,283千円
事業計画の認定数	1件	2件	2件	3件	5件

事業名：物産品振興に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	16	本年	1,822				1,822		1,107	60.7
				前年	2,364				2,364		1,518	64.2
				比較	△ 542				△ 542		△ 411	-
【参考】前々年度					2,114				2,114		938	44.4

目的	市内外へつくば市の特産品の普及及び定着を図り、もって本市の宣伝の強化および地域産業の振興に資する。市内の物産品をブランド化することにより、観光の振興、お土産品の販売促進、つくば市のイメージアップを図るため。												
概要及び成果	1 つくば市物産品認証事業												
	【成果】												
	(1) 評価懇話会を開催しつくばコレクションを決定した。(平成31年1月)												
	6申請者9品目の中から、7品目(再認証含)のつくばコレクションを決定												
			コレクション認定	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度					
			新規申請品目数	4品目	8品目	9品目	12品目	10品目					
			更新申請品目数	5品目	11品目	8品目	3品目	6品目					
			新規認証品目数	3品目	3品目	5品目	2品目	4品目					
			更新認証品目数	4品目	7品目	7品目	3品目	5品目					
			認証品目数計	7品目	10品目	12品目	5品目	9品目					
		(累計)認証品目数	29品目	27品目	26品目	23品目	24品目						
(2) PRの実施													
広報紙・ホームページへの掲載、メディアへのプレスリリースパンフレットの作成、各種イベント等への出展													

(経済部 スタートアップ推進室)

事業名：スタートアップ推進に要する経費

政策イノベーション部 スタートアップ推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	17	本年	100,793	121,053			221,846		195,330	88.0
				前年					121,053			
				比較	100,793	121,053			221,846	△ 121,053	195,330	-
【参考】前々年度												

目的	スタートアップの設立から事業化、その後の成長を一貫して支援するため。 また、再整備される産業振興センターを市内スタートアップの活動拠点として運営することで、スタートアップ関係者の交流を促進し、つくばのスタートアップエコシステムの高度化を図るため。												
概要及び成果	1 スタートアップ推進事業 (スタートアップ向け事業コンサルティングの実施、スタートアップに対する補助金の交付等)												
	【成果】												
	補助金交付決定件数												
				令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度					
			スタートアップコンサルティング事業	4件	5件	—	—	—					
			技術系スタートアップ立地推進奨励補助金	5件	3件	—	—	—					
			ビジコン参加支援補助金	2件	—	—	—	—					
	2 産業振興センターの管理・運営事業 (スタートアップ向けの相談事業、イベント開催、施設運営)												
	【成果】												
	産業振興センターの利用者数												
			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
		コワーキングスペース会員利用延べ人数	674人	—	—	—	—						

事業名：プレミアム付商品券事業に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	19	本年		14,036	264,577		278,613		115,849	41.6
				前年			14,036		14,036	14,036		100.0
				比較		14,036	250,541		264,577	△ 14,036	115,849	-
【参考】前々年度												

目的	消費税・地方消費税の10%への引上げが低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費喚起・下支えを図るため。																											
概要及び成果	<p>1 つくば市プレミアム付商品券事業 ※令和元年度のみの単年事業</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>プレミアム付商品券事業は、次のいずれかに該当する方が、4,000円で5,000円分の商品券を購入できる事業。商品券は、1枚500円分の商品券が10枚綴り1セットとなっており、1人当たり最大5セット(20,000円で25,000円分)まで購入可能。</p> <p>(1) 個人住民税が課税されていない者(非課税者)</p> <p>(2) 3歳未満の子が属する世帯の世帯主(子育て世帯)</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1) 申請書の送付(非課税者のみ)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>送付者数</td><td>31,375人</td></tr> <tr><td>申請者数</td><td>9,106人</td></tr> <tr><td>申請率</td><td>29.02%</td></tr> </table> <p>(2) 購入引換券(※)交付数 ※商品券を購入する際に必ず必要な引換券(対象者全員に送付)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>非課税者</td><td>8,520人</td><td rowspan="3">※申請者(9,106人)中、課税者(586人)分を対象外とした。 ※子育て世帯:H28.4.2~R1.9.30間の出生者が属する世帯</td></tr> <tr><td>子育て世帯(世帯主)</td><td>8,404人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>16,924人</td></tr> </table> <p>(3) 商品券購入 ※購入人数は11,526人(非課税者:6,381人、子育て世帯:5,145人)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>購入数</td><td>569,400枚</td><td rowspan="3">※商品券単価(400円/枚)×購入数(569,400枚) ※購入数(569,400枚)÷最大購入数(50枚×16,924人)</td></tr> <tr><td>購入額</td><td>227,760,000円</td></tr> <tr><td>購入率</td><td>67.29%</td></tr> </table> <p>(4) 商品券換金</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>換金枚数</td><td>565,852枚</td><td rowspan="3">※換金枚数(565,852枚)÷購入数(569,400枚)</td></tr> <tr><td>換金額</td><td>282,926,000円</td></tr> <tr><td>換金率</td><td>99.38%</td></tr> </table>	送付者数	31,375人	申請者数	9,106人	申請率	29.02%	非課税者	8,520人	※申請者(9,106人)中、課税者(586人)分を対象外とした。 ※子育て世帯:H28.4.2~R1.9.30間の出生者が属する世帯	子育て世帯(世帯主)	8,404人	合計	16,924人	購入数	569,400枚	※商品券単価(400円/枚)×購入数(569,400枚) ※購入数(569,400枚)÷最大購入数(50枚×16,924人)	購入額	227,760,000円	購入率	67.29%	換金枚数	565,852枚	※換金枚数(565,852枚)÷購入数(569,400枚)	換金額	282,926,000円	換金率	99.38%
送付者数	31,375人																											
申請者数	9,106人																											
申請率	29.02%																											
非課税者	8,520人	※申請者(9,106人)中、課税者(586人)分を対象外とした。 ※子育て世帯:H28.4.2~R1.9.30間の出生者が属する世帯																										
子育て世帯(世帯主)	8,404人																											
合計	16,924人																											
購入数	569,400枚	※商品券単価(400円/枚)×購入数(569,400枚) ※購入数(569,400枚)÷最大購入数(50枚×16,924人)																										
購入額	227,760,000円																											
購入率	67.29%																											
換金枚数	565,852枚	※換金枚数(565,852枚)÷購入数(569,400枚)																										
換金額	282,926,000円																											
換金率	99.38%																											



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	11	本年	19,028			235	19,263		17,842	92.6
				前年	47,517	1,188		4,079	52,784		52,540	99.5
				比較	△ 28,489	△ 1,188		△ 3,844	△ 33,521		△ 34,698	-
【参考】前々年度					33,268		1,750		35,018	1,188	31,482	93.3

目的 筑波山周辺観光整備基本構想及びつくば市観光基本計画に基づき、筑波山観光施設の整備を行うとともに、筑波山周辺の自然・歴史的文化をいかした総合的な観光空間の創出を図るため。

1 筑波山梅林及び周辺観光施設整備

【成果】

(1) 筑波山おもてなし館整備

令和元年度は施設の維持管理のみ実施した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
内容	-	・外部音響設備工事 1式	・木製デッキ整備工 事 整備面積 27㎡	・自然解説パネル作 成 Dサインージ用 パネル作成	・モニター設置工事 Dサインージ 1台 ・造成工事 整地・芝張 92㎡

(2) 筑波山森林体験パーク整備

令和元年度は施設の維持管理のみ実施した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
内容	-	・森林体験パーク コース改修設計 ・備品購入 ハーネス類 74セッ ト	・木製収納庫設置工 事	・パーク内植栽工事 コナラ 6本 ヒノキ 12本	・子供向けコース 2コース増設 コース1 33.66m コース2 69.3m ・フォレストアドベンチャー PRチラシ 20,000部印刷

※令和元年度より観光施設維持管理に要する経費に記載(改修・修繕)

(3) 筑波山観光案内所整備

筑波山の玄関口である筑波山観光案内所のリニューアル整備を行うため測量及び設計を実施し、外国人旅行者の受入体制強化及びサービスの向上を図ることとした。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
内容	・筑波山観光案内所測 量 約1,800㎡ ・筑波山観光案内所設 計 木造平屋(一部RC構 造)/建設面積:約274㎡ (延床面積:296㎡)/公 衆トイレ併設	-	-	-	-

(4) 梅林園路・園地等整備事業

令和元年度は施設の維持管理のみ実施した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
内容	-	・梅林施設整備工事 四阿茅葺屋根ふき 替え 1式(ヤマカヤ 1500束) 菱露台再整備 20.76㎡	・梅林施設整備工事 見返り縁台再整備 29.22㎡ 梅林案内看板設置 1基	・梅林施設整備工事 (おもてなし館周辺 整備) 木製デッキ 1箇所 木製階段 幅2.0m ×42段 石階段 64.39㎡ 遊歩道等舗装 646.09㎡	・梅林園地整備工事 園地整備 369㎡ 木製デッキ 1箇所 植栽工 260㎡ 土工 230㎡

概要及び成果

2 筑波山頂観光施設整備

【成果】

平成30年に実施した観光用水調査結果を踏まえ、令和2年度に配水管の布設替え測量設計を実施する予定。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
内容	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>御幸ヶ原公衆トイレ受水槽設置工事 1基(20t)</li> <li>観光用水調査 1式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光用ライブカメラ設置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>御幸ヶ原 1台</li> <li>女体山 1台</li> <li>その他 3台</li> </ul> </li> <li>御幸ヶ原公衆トイレ受水槽設置設計 1式</li> </ul>	-	-

3 筑波山麓観光施設整備

【成果】

(1)筑波山麓地域整備

筑波山麓地域及び宝篋山に利便施設を整備することで、筑波山麓地域の回遊性を高め、地域の活性化に寄与した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>神郡駐車場用地測量 12,000㎡</li> <li>神郡駐車場整備 収容台数 36台</li> <li>神郡駐車場案内看板整備 1箇所</li> <li>宝篋山登山道注意喚起看板設置(常願寺コース)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神郡駐車場の用地調査 (令和元年度整備予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宝篋山登山道測量 ※詳細は(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宝篋山案内看板整備</li> <li>バイオトイレ付近1基</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宝篋山案内看板整備</li> <li>小田休憩所駐車場 2基</li> <li>極楽寺コース登山道 1基</li> <li>宝篋山バイオトイレ整備(平成26年度から繰越) 延床面積 6.79㎡</li> <li>男子トイレ 小便器 1</li> <li>大便器1</li> <li>女子トイレ 大便器1</li> <li>宝篋山マップ印刷 (発行部数 30,000部)</li> </ul>

(2)宝篋山登山道測量

宝篋山の登山コースの用地を測量し、登山コースを確定することで、コース外への立ち入りの規制・除草などの適正な管理が可能となり、魅力ある宝篋山環境資源の保全が図れた。令和元年度で国有林区域の測量は終了となり、令和2年度に森林管理署へ借り受け面積の変更申請を行う。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口コース(2)用地測量 2.6km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小田城コース用地測量 2.50Km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口コース用地測量 2.59Km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常願寺コース用地測量 2.91Km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常願寺コース用地測量 2.53Km</li> </ul>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	12	本年	137,899			△ 235	137,664		126,868	92.2
				前年	112,858			△ 4,079	108,779		103,749	95.4
				比較	25,041			3,844	28,885		23,119	-
【参考】前々年度					137,277				137,277		130,651	95.2

目的	来訪者に快適で安全な観光施設を提供し、魅力ある観光地形成に寄与するため。																																														
概要及び成果	1 筑波山御幸ヶ原(山頂)観光施設の維持管理 <b>【成果】</b> (1)山頂公衆トイレ及び浄化槽等(2ヶ所) 適正な維持管理と迅速な修繕対応を図り、快適な利用空間を維持した。また、観光地として、常に清潔な状況を心がけ、観光イメージの向上に寄与した。主な修繕として、トイレの詰まり、器具類交換、浄化槽設備等の修繕を実施した。 (2)ケーブルカー山頂駅 山頂駅2階空きスペースを借用し、筑波山の自然展示や休憩スペースに活用した。																																														
	2 つつじヶ丘登山コースの維持管理 <b>【成果】</b> 関係機関との協定に基づき、つつじヶ丘登山コースの除草を実施し、快適で安全な登山道を提供した。また、ベンチなどの附帯施設の目視点検を実施し、利用者の安全を確保した。 (除草面積)																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おたつ石コース</td> <td>6,606㎡</td> <td>4,222㎡</td> <td>7,520㎡</td> <td>6,246㎡</td> <td>4,220㎡</td> </tr> <tr> <td>つつじヶ丘高原</td> <td>7,956㎡</td> <td>8,785㎡</td> <td>6,263㎡</td> <td>-</td> <td>6,250㎡</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	おたつ石コース	6,606㎡	4,222㎡	7,520㎡	6,246㎡	4,220㎡	つつじヶ丘高原	7,956㎡	8,785㎡	6,263㎡	-	6,250㎡																	
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																										
おたつ石コース	6,606㎡	4,222㎡	7,520㎡	6,246㎡	4,220㎡																																										
つつじヶ丘高原	7,956㎡	8,785㎡	6,263㎡	-	6,250㎡																																										
3 市営筑波山及び山麓駐車場、公衆トイレの維持管理 <b>【成果】</b> (1)市営筑波山駐車場 自動料金精算システムにより、適正に駐車料金を徴収し、筑波山観光案内所内の駐車場管制装置及び各駐車場の維持管理を実施した。 (利用台数/使用料)																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>第1・第2・第3・第4</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通車</td> <td>76,166台</td> <td>83,948台</td> <td>84,925台</td> <td>84,850台</td> <td>80,806台</td> </tr> <tr> <td>大型車</td> <td>938台</td> <td>1,242台</td> <td>1,121台</td> <td>1,094台</td> <td>1,278台</td> </tr> <tr> <td>二輪車(第2のみ)</td> <td>1,017台</td> <td>1,102台</td> <td>1,091台</td> <td>1,053台</td> <td>864台</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78,121台</td> <td>86,292台</td> <td>87,137台</td> <td>86,997台</td> <td>82,948台</td> </tr> <tr> <td>駐車場使用料総額(歳入)</td> <td>40,156千円</td> <td>44,660千円</td> <td>44,885千円</td> <td>44,848千円</td> <td>43,124千円</td> </tr> </tbody> </table>												第1・第2・第3・第4	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	普通車	76,166台	83,948台	84,925台	84,850台	80,806台	大型車	938台	1,242台	1,121台	1,094台	1,278台	二輪車(第2のみ)	1,017台	1,102台	1,091台	1,053台	864台	合計	78,121台	86,292台	87,137台	86,997台	82,948台	駐車場使用料総額(歳入)	40,156千円	44,660千円	44,885千円	44,848千円	43,124千円
第1・第2・第3・第4	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																										
普通車	76,166台	83,948台	84,925台	84,850台	80,806台																																										
大型車	938台	1,242台	1,121台	1,094台	1,278台																																										
二輪車(第2のみ)	1,017台	1,102台	1,091台	1,053台	864台																																										
合計	78,121台	86,292台	87,137台	86,997台	82,948台																																										
駐車場使用料総額(歳入)	40,156千円	44,660千円	44,885千円	44,848千円	43,124千円																																										
※令和元年度減少について 新型コロナウイルス感染拡大の影響により梅まつりが中止され、利用台数が減少した。																																															
(2)市営山麓駐車場(小田・平沢・筑波・六所・神郡) 除草等の適正な維持管理を実施し、観光用駐車場の安全かつ公共性を提供した。																																															
(3)筑波山駐車場公衆トイレ及び浄化槽 各施設を適正に管理するとともに、迅速な修繕対応を図ることで、快適な利用空間を提供した。また、観光地として、常に清潔な状況を維持し、観光イメージの向上に寄与した。																																															

4 筑波山梅林の維持管理

【成果】

(1) 梅林の剪定、施肥等

梅林管理共通仕様書に基づき、適正な育成管理を実施し、魅力ある景観を提供した。

(2) 梅林内木道・ベンチ等の修繕等

梅林園路等を適正に管理するとともに、迅速な修繕対応を図ることで、利用者の安全を確保し、魅力ある景観を提供した。(梅林内木道の一部改築を実施)

(3) 梅林内除草管理

年間を通じて梅林内の除草を実施し、魅力ある景観を提供した。

5 宝篋山小田休憩所及び宝篋山観光施設の維持管理

【成果】

年間を通じ、休憩所の維持管理を地元NPOに委託することで、登山者等へ宝篋山や小田地域の歴史的文化資源を紹介し、新たな誘客とリピーターの確保に貢献した。また、休憩場内の美化に努めるなど、休憩所の快適な空間づくりに寄与したほか、宝篋山バイオトイレの維持管理を行い宝篋山登山者等の利便性の向上を図った。

6 筑波山観光案内所・筑波山おもてなし館の観光案内及び維持管理

【成果】

年間を通じ、おもてなしの意識で魅力ある観光空間を提供し、観光客の利便性を確保することができた。また、梅まつりの開催期間中では、筑波山おもてなし館を活用し、筑波山周辺の魅力スポットを紹介した。

	内訳	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
筑波山観光案内所	来館者数	38,037人	45,115人	37,585人	39,560人	32,473人
	(うち外国人)	1,437人	1,188人	-	-	-
	窓口案内数(件)	12,437件	7,416件	7,351件	7,004件	6,545件
筑波山おもてなし館	来館者数	29,126人	35,575人	38,398人	36,326人	34,566人
	(うち外国人)	300人	313人	-	-	-

※筑波山おもてなし館は、平成26年2月21日開館

※来館外国人数は、平成30年7月からの集計値

7 森林体験パークの維持管理

【成果】

パーク運営者と密に情報共有を図ることで、安全かつ魅力的な森林空間を提供した。また、子供向けコースの増設と上級者向けコースを新設し、ファミリー層の観光誘客を促進した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
大人	8,828人	9,873人	11,683人	9,651人	8,547人
子ども	4,451人	4,344人	4,495人	3,025人	2,677人
合計	13,279人	14,217人	16,178人	12,676人	11,224人
施設賃料(歳入)	8,708千円	10,525千円	12,528千円	9,914千円	8,850千円

※令和元年度の減少について

リニューアル工事による休園及び新型コロナウイルスの感染拡大による影響があった。

維持管理に伴う改修及び修繕を実施した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供向けコースの増設 全4コース 27アクティビティ</li> <li>上級者向けコースの新設 全1コース 4アクティビティ</li> <li>パーク内ウッドデッキ修繕</li> </ul>	-	-	-	-

※平成30年度以前は観光施設整備に要する経費に関する経費に記載

※森林体験パークは、平成26年7月27日にオープン

※キャノピーコースを増設(平成27年7月25日から利用開始)

※キャノピーコース増設、エキサイトコースの新設(令和2年2月15日から利用開始)

事業名：観光行事に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	13	本年	40,932		△ 656	△ 4,000	36,276		35,720	98.5
				前年	36,244				36,244		36,226	100.0
				比較	4,688		△ 656	△ 4,000	32		△ 506	-
【参考】前々年度					37,500				37,500		36,439	97.2

目的	各種イベントを主催・共催及び支援することで観光産業や地域経済の活性化を図り、さらなる観光客誘致を促進するため。											
概要及び成果	1 つくば物語2019											
	【成果】											
	本年度については、同時に開催する筑波山麓秋祭りを、より効果的な地域活性化のイベントとするため、本事業の見直しを行い、開催を中止し、筑波山麓秋祭りへの支援を充実することで、筑波山麓周遊の強化を図った。											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	開催日	-	10月28日(日)	10月28日(土)	10月30日(日)	10月31日(土)						
	来場者数	-	約5,000人	約800人	約4,000人	約5,000人						
	2 補助事業（まつりつくば、つくばフェスティバル、くきざき夢まつりへの補助）											
	【成果】											
	各種イベントに補助することで、イベントの内容をより充実させ、観光振興及び地域経済の活性化に寄与した。											
	(1) まつりつくば補助金 29,999,125円											
つくば市最大の夏祭りとしてつくば駅周辺で実施し、市内外から多くの来場者を迎えることができた。												
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
開催日	8月24日(土) ～25日(日)	8月25日(土) ～26日(日)	8月26日(土) ～27日(日)	8月27日(土) ～28日(日)	8月22日(土) ～23日(日)							
開催場所	TXつくば駅周 辺各会場	TXつくば駅周 辺各会場	TXつくば駅周 辺各会場	TXつくば駅周 辺各会場	TXつくば駅周 辺各会場							
来場者数	約47万人	約46万人	約55万人	約44万人	約47万人							
※2日間とも天候に恵まれ、多くの来場者で賑わった。												
(2) つくばフェスティバル補助金 4,299,994円												
「ふれあい、そして国際交流」をテーマに、体験参加型イベントや世界各国の文化に触れる場を提供したことにより、未来の担い手である子ども達等につくばの魅力を感じてもらえることができた。												
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
開催日	5月11日(土) ～12日(日)	5月12日(土) ～13日(日)	5月13日(土) ～14日(日)	6月4日(土) ～5日(日)	5月9日(土) ～10日(日)							
開催場所	つくばセンター 広場・大清水公 園・イノベーション プラザ・BiVi つくば	つくばセンター 広場・大清水公 園・つくばカピ オ	つくばセンター 広場・大清水公 園・つくばカピ オ	つくばセンター 広場・大清水公 園・つくばカピ オ	つくばセンター 広場・大清水公 園・つくばカピ オ							
来場者数	約15万人	約14万人	約7.5万人	約14万人	約14万人							
※2日間とも天候に恵まれ、多くの来場者で賑わった。												
(3) くきざき夢まつり補助金 537,784円												
茎崎地区の各種団体等が一体となり、幅広い年齢層が楽しめるイベント等を実施したことにより、世代間交流の推進及び茎崎地区の活性化が図れた。												
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
開催日	11月3日(日祝)	11月3日(土祝)	11月23日(木祝)	11月20日(日)	11月14日(土)							
来場者数	約8,000人	約7,000人	約2,000人	約10,000人	約2,000人							
※天候に恵まれたこともあり、多くの来場者で賑わった。												

事業名：観光振興に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	14	本年	114,958		89,525	4,000	208,483	45,204	100,347	69.8
				前年	93,919	3,780	471		98,170	90,745	92.4	
				比較	21,039	△ 3,780	89,054	4,000	110,313	45,204	9,602	-
【参考】前々年度					81,267		3,780		85,047	3,780	75,789	93.6

目的 観光振興団体や関係機関と連携を図り、つくば市の観光資源を最大限に活用し、訪日外国人旅行者を含む観光客の誘致強化を行い観光の振興を図るため。

1 つくば観光コンベンション協会運営費補助事業

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
(1)観光宣伝事業	メディア掲載104件、キャンペーン実施17件、関連機関連絡調整事業6件、つくば観光パンフレット作成(「つくばウォッチング」)、電子書籍Ibaraki-ebooks」への掲載	メディア掲載74件、キャンペーン実施18件、関連機関連絡調整事業5件、つくば観光パンフレット作成(「つくばウォッチング」、「みちしるべ」)、電子書籍Ibaraki-ebooks」への掲載	メディア掲載53件、キャンペーン実施5件、関連機関連絡調整事業5件、つくば観光パンフレット作成(「つくばウォッチング」、「みちしるべ」)、電子書籍Ibaraki-ebooks」への掲載	メディア掲載24件、キャンペーン実施7件、関連機関連絡調整事業8件、つくば観光パンフレット作成(「つくばウォッチング」、「みちしるべ」、「ラーメンマップ」)、電子書籍Ibaraki-ebooks」への掲載	メディア掲載19件、キャンペーン実施10件、関連機関連絡調整事業9件、つくば観光マップ「つくばウォッチング」の発行、電子書籍「Ibaraki-ebooks」への掲載
(2)観光客誘致事業	第71回筑波山ガマまつり 第47回筑波山梅まつり 第17回筑波山もみじまつり 第19回筑波山頂カタクリの花まつり	筑波山梅まつりほか3件、表敬訪問・キャンペーン8件	筑波山梅まつりほか3件(筑波山の日等)、表敬訪問・キャンペーン8件	筑波山梅まつりほか4件、表敬訪問・キャンペーン7件	筑波山梅まつりほか4件、表敬訪問・キャンペーン8件
(3)コンベンション事業	会議数401件(うち国際会議63件、国内会議99件、ブロック会議70件その他169件)・参加者数83,289名	会議数424件(うち国際会議45件、国内会議87件、ブロック会議181件その他111件)・参加者数84,423名	会議数455件(うち国際会議56件、国内会議92件、ブロック会議173件その他134件)・参加者数82,802名	会議数417件(うち国際会議63件、国内会議79件、ブロック会議167件その他108件)・参加者数87,109名	会議数474件(うち国際会議45件、国内会議292件、その他137件)・参加者数96,843名
(4)フィルムコミッション事業	問合せ305件、下見108件、撮影71件、撮影日数222日、撮影隊数5,010人	問合せ219件、下見64件、撮影61件、撮影日数116日、撮影隊数3,783人	問合せ229件、下見70件、撮影44件、撮影日数75日、撮影隊数3,156人	問合せ422件、下見38件、撮影62件、撮影日数78日、撮影隊数2,451人	問合せ387件、下見47件、撮影64件、撮影日数94日、撮影隊数3,334人
(5)広報宣伝事業	ホームページ、ホームページでの観光パンフレット電子書籍化、観光大使等によるSNS発信	ホームページ、ホームページでの観光パンフレット電子書籍化、観光大使等によるSNS発信	ホームページ、ホームページでの観光パンフレット電子書籍化、観光大使等によるSNS発信	ホームページ、ホームページでの観光パンフレット電子書籍化、機関誌発行	0
(6)補助金交付額	41,275千円	41,275千円	41,275千円	41,275千円	41,275千円

概要及び成果

2 筑波山麓秋祭り補助事業

【成果】

筑波山麓地域づくり団体連絡協議会主催の筑波山麓5地区(筑波・田井・北条・平沢・小田)に根ざしたイベントに補助金を交付し、地域振興の向上に寄与した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催期間	10/26～11/4のうち5日間	10/20～11/4の8日間	10/28～11/5の9日間	10/29～11/6の9日間	10/31～11/8の9日間
補助金交付額	5,250千円	1,500千円	1,750千円	1,500千円	1,500千円
来場者数	52,000人	68,000人	63,000人	55,000人	52,000人

3 レンタサイクル事業

【成果】

つくば駅と筑波山口において、通年でレンタサイクルを実施した。観光客へ様々な交通手段を提供することで、観光満足度の向上に寄与した。なお令和元年度は、老朽化した自転車の入替を実施した。(つくば駅大人6台、筑波山口大人2台)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
つくば駅(貸出:通年) 所有台数/利用台数	30台/4,260台	30台/4,731台	30台/4,565台	30台/3,931台	30台/3,457台
筑波山口(貸出:通年) 所有台数/利用台数	18台/685台	18台/587台	18台/535台	18台/415台	18台/570台

※筑波山口レンタサイクルの利便性を高めるため、平成30年度より貸出期間を4月～11月から通年に拡大

4 観光案内業務

【成果】

魅力ある市内観光スポットを、観光客のニーズに合わせて紹介することで観光客の満足度を向上した。また、英会話が可能な職員を配置することで外国人観光客の受入れ体制を確保し、幅広い観光客への対応することで観光満足度向上に寄与した。

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
筑波山観光案内所	窓口案内件数	12,437件	7,416件	7,351件	7,004件	6,545件
	(うち外国人)	800件	-	-	-	-
つくば市総合案内所 (つくば駅南北通路内)	窓口案内件数	-	-	-	3,258件	24,783件
	(うち外国人)	-	-	-	217件	1,518件
つくば市総合インフォメーションセンター(BiViつくば1階)	窓口案内件数	19,504件	19,237件	20,157件	16,482件	7,587件
	(うち外国人)	3,280件	3,567件	3,995件	3,505件	1,461件

※つくば市総合インフォメーションセンター(BiViつくば内):平成27年9月4日オープン

※つくば市総合案内所:平成28年5月27日付でつくば市総合インフォメーションセンターに統合

5 MICE支援補助事業

【成果】

市内の会場を主会場として開催された会議及びイベントに対し、開催に要する経費の一部を補助し、国際会議都市の形成及び地域経済の活性化に寄与した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助金申請件数 (うち交付件数)	30件(29件)	19件(18件)	19件(17件)	22件(19件)	13件(10件)
補助金交付額	21,905千円	9,405千円	10,905千円	13,541千円	5,780千円

6 筑波山渋滞緩和対策の実施

【成果】

- (1) GW及び秋の行楽シーズンで茨城県及び関係機関と連携し、迂回誘導看板設置や混雑情報発信、警備員による市営駐車場の交通誘導等を実施することで、観光客の渋滞を緩和することができた。
- (2) 春のGW期間において、茨城県及び関係機関と協力し、臨時駐車場とつつじヶ丘駐車場間のパーク&バスライドを平成29年度から実施し、つつじヶ丘駐車場満車に伴う交通渋滞を緩和することができた。また、渋滞対策の新たな試みとして、沼田のコンビニエンスストア跡地にて臨時的観光案内所を開設し、必要な情報を提供することで、観光客の満足度の向上に寄与した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
パーク&バスライド 実施日数	春:3日間 秋:1日間	春:3日間 秋:3日間	春:3日間 秋:3日間	春:3日間	-
	守谷S.A迂回案内 迂回チラシ配布	春:2日 (72枚配布)	秋:1日間 93部配布	-	-
臨時観光案内所 開設日数	秋:1日	-	-	-	-
つくばセンター⇄つつじヶ丘 筑波山シャトルバス (最大所要時間) ※通常所要時間:55分	春最大:270分 秋最大:150分	春最大:160分 秋最大:150分	春最大:180分 秋最大:120分	春最大:120分 秋最大:240分	春最大:210分 秋最大:300分

※令和元年度秋の筑波山渋滞緩和対策については、雨天の日が続いたため、予定していたパーク&バスライドが実施出来なかった。

7 筑波山ビジターセンターの臨時的開設

【成果】

「つくば市観光基本計画」に基づき、「おもてなし」事業の一環として、平成25年度より筑波山ケーブルカー筑波山頂駅2階休憩所で試験的に開設していたが、令和元年度からは御幸ヶ原にテントを設置し、ネイチャーガイド事業を実施した。登山客や観光客へ筑波山の魅力のある情報を提供することで満足度向上に寄与した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
筑波山ビジターセンター利用者数	—	秋(10/6～14) 9日間で1,380人	春(4/15～23) 9日間で 延べ2,057人 (展示会場1,049人+ 野外解説参加者1,008人)	秋(11/3～13) 11日間で 2,823人	夏(7/18～26) 9日間で1,492人  冬(11/21～29) 9日間で844人
ネイチャーガイド利用者数	秋(11/11～11/21) 平日のみ9日間で延べ651人	—	—	—	—

8 フットパスコースの整備

【成果】

既存コースの道標を点検し、必要に応じて修理した。  
観光客へのマップ提供により周遊観光しやすい環境づくりに寄与した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
道標設置数	新規コース設定なし ※各コース道標点検及びマップ増刷(3,000部)	新規コース設定なし ※各コース道標点検及びマップ修正増刷(10,000部)	小田城跡コース 11本	常陸小田城跡コース ※コース設定のみ設置はH29年度	筑波交流センター～北条商店街～平沢官衙遺跡コース 14本

9 広域レンタサイクル事業

【成果】

平成28年度から茨城県、周辺7市で実行委員会を立ち上げ、平成30年7月から茨城県、国機関、周辺14市町村、関係団体、一般企業によるつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会が設立された。協議会設立により、筑波山・霞ヶ浦エリアの更なる連携が強化され、レンタサイクルによる広域観光の推進が図られた。

令和元年度にはそれまでの活動実績が認められ、つくば霞ヶ浦りんりんロードが日本政府が認定するナショナルサイクリングロードに認定された。

貸出(返却)施設 10箇所

土浦市(3箇所)、つくば市(BiViつくば観光案内所1箇所)、桜川市(1箇所)、潮来市(1箇所)、石岡市(1箇所)、かすみがうら市(1箇所)、行方市(1箇所)、阿見町(1箇所)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
実施時期	4月1日(月)～3月31日(火) (通年実施)	4月1日(日)～3月31日(日) (通年実施)	4月22日(土)～3月31日(土) (12月、1月は休止)
利用実績	利用台数3,115台(うちつくば市貸出台数130台)	利用台数2,594台(うちつくば市貸出台数151台)	利用台数1,643台(うちつくば市75台)
保有台数	ロードバイク10台、クロスバイク68台(うち女性用20台)、ミニベロ18台、キッズバイク10台、電動アシストバイク4台、タンデムバイク3台	ロードバイク10台、クロスバイク68台(うち女性用20台)、ミニベロ14台、キッズバイク10台、電動アシストバイク4台	ロードバイク10台、クロスバイク68台、ミニベロ14台、キッズバイク10台



10 観光パンフレットの作成・配布

【成果】

観光コンベンション協会と連携し、首都圏やTX沿線でのキャンペーン等でパンフレットの配布を実施し、より広域かつ効果的なつくば市のPRを行った。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
発行した観光パンフレット等	市在庫パンフレットを活用。このほか、観光コンベンション協会と連携して作成した観光パンフレットを活用。	平成30年度は、市在庫パンフレットを活用。このほか、観光コンベンション協会と連携して作成している観光パンフレットを活用。	平成29年度は市同時での観光パンフレットの発行は行わず、在庫を活用。	「ことりっふ つくばさんぽ」(英語・簡体語)(発行部数各5,000部)	「ことりっふ つくばさんぽ」(50,000部増刷)

11 観光キャンペーンへの参加

【成果】

観光コンベンション協会や茨城県観光物産課等と連携を図りながら、積極的に観光キャンペーンへ参加し誘客強化を図った。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
キャンペーンの主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波山観光キャンペーン(TX秋葉原駅構内)</li> <li>・茨城県人会賀詞交歓会</li> <li>・都庁キャンペーン</li> <li>・寅さんサミット</li> <li>・筑波山梅まつりキャンペーン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総理大臣表敬</li> <li>・荒川区表敬、キャンペーン</li> <li>・筑波霞ヶ浦広域観光協議会キャンペーン</li> <li>・茨城県人会賀詞交歓会</li> <li>・茨城県知事表敬</li> <li>・みとちゃん誕生会</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーベリーフェスティバルin東京交通会館、いばらき産直市、おもてなし県民大会、都市対抗野球大会物産展、いばらきマルシェつくばフェア等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏及び秋の観光キャンペーン、いばらき産直市in日暮里、秋のうまいもんキャンペーンin銀座、寅さんサミット、梅まつりキャンペーンin圏央道開通式、いばらき県産品まつり等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京シティアイキャンペーン、夏及び秋の観光キャンペーン、つくば産直マルシェin日本橋、いばらき産直市、筑波ブロック広域観光協議会観光キャラバン、梅まつりキャンペーン、都庁キャンペーン等</li> </ul>

12 情報発信

【成果】

- (1)在京レジャー記者会に情報(つくばパンまつり、まつりつくば、筑波山梅まつり)を提供した。
- (2)新聞へ広告を掲出した。
  - ・朝日新聞東京本社版ニッポン2019企画(つくば市観光PR)
  - ・埼玉新聞社 夏の観光(フォレストアドベンチャーPR)
  - ・東京新聞7/14号(まつりつくば)
  - ・東京新聞7/15号(まつりつくば)
  - ・東京新聞7/16号(まつりつくば)
- (3)雑誌へ記事を掲載した。
  - ・メロガイド2019年8月号に「まつりつくば」の情報を掲載した。(約100万部、東京メロ主要駅18駅に設置)
  - ・メロガイド2020年3月号に「筑波山梅まつり」の情報を掲載した。(約100万部、東京メロ主要駅18駅に設置)

13 関係団体との連携

【成果】

- (1)漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会と連携し、広報強化を図った。
- (2)つくばサイエンスツアー実行委員会に参画し、つくばサイエンスツアーオフィスを通じて誘客を図った。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
つくばサイエンスツアー受入人数	11,976人	14,478人	16,209人	16,976人	20,188人
つくばサイエンスツアー受入団体数	225団体	257団体	278団体	284団体	305団体

※令和元年度は3月以降コロナウイルス感染症の影響を受け、3月は実績を算定していない。

事業名：観光客動態調査に要する経費

経済部 観光推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	15	本年	400				400		346	86.6
				前年	349				349		332	95.2
				比較	51				51		14	-
【参考】前々年度					296				296		296	100.0

目的 茨城県からの委託事業により、観光レクリエーション地域における観光客の動態を把握し、観光施策の実施及び推進に必要な基礎資料の収集を行うため。

概要 及び 成果	1 つくば市観光客入込数の調査											
	【成果】											
	年間(1月～12月まで)の観光客動態調査結果をつくば市全体及び筑波山の区分で集計し、県へ報告した。											
	また、各施設、各イベント毎に来場者を集計し、観光施策の基礎資料とした。											
	年集計		令和元年 1月～12月	平成30年 1月～12月	平成29年 1月～12月	平成28年 1月～12月	平成27年 1月～12月					
	つくば市全体		4,254,100人	4,216,900人	3,848,300人	3,700,300人	3,320,400人					
筑波山	登山・ 観光等	2,319,000人	2,304,600人	2,107,900人	2,057,100人	1,807,900人						
	梅まつり	190,000人	170,000人	150,000人	160,000人	160,000人						
宝篋山		94,700人	70,800人	—	—	—						

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	16	本年	16,050		△ 1,811		14,239	4,453	5,550	70.2
				前年	10,149				10,149		5,665	55.8
				比較	5,901		△ 1,811		4,090	4,453	△ 115	-
【参考】前々年度					12,916				12,916		8,421	65.2

目的

筑波山地域の地球科学的に価値の高い地質・地形を含む自然遺産を保全・保護し、教育や防災活動、ツーリズムなどに活用しながら地域の持続可能な発展につなげるため。  
 ※筑波山地域ジオパークは、つくば市、石岡市、笠間市、桜川市、土浦市、かすみがうら市をエリアとして活動。

概要及び成果

1 協議会の運営に関する取組  
**【成果】**  
 ・ 協議会総会(2回)、事務局会議(6回)、構成自治体会議(6回)を適宜開催することで、令和2年度の再認定審査に向けた課題を整理した。  
 ・ 教育・学術部会、市民活動部会、地域振興部会が主体的に、アクションプランに基づいたそれぞれの活動を進めた。

2 アクションプランに基づく主要な取組  
 (1) 学校教育を通じた教育・普及活動  
**【成果】**  
 ・ 筑波山地域内の小学校から大学まで幅広く出前授業を実施し、郷土学習・地学教育の促進を図った。  
 ・ 地域の方々への生涯学習活動として、市民説明会の開催(1回)、公民館講座等の開催(12回)、関係機関による企画展・講演会等の開催(6回)、筑ジオカフェの開催(6回)など様々な活動を実施し、子供たちや地域の方々への普及啓発及び郷土愛の醸成を促すことができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
出前授業	9回	12回	10回	13回	4回
市民説明会	1回	3回	17回	21回	15回
公民館講座 ・ジオツアー	48回	55回	69回	57回	49回
筑ジオカフェ	6回	11回	11回	16回	12回

※令和元年度、平成30年度の「公民館講座・ジオツアー」の回数には、(3)の成果におけるジオツアーの開催数を含む。

(2) ジオサイトの保全体制の強化  
**【成果】**  
 ・ 教育・学術部会では、2019年度学術研究助成金の交付(1件)、「関東平野」をテーマにしたシンポジウムの開催を通じて、筑波山地域ジオパーク内の地域資産の調査を進めた。  
 ・ 教育・学術部会では、ジオサイトに設置する解説看板の設置場所・記載内容を検討し、5つのジオサイトにそれぞれ1基ずつ解説看板を設置した。  
 ・ ジオサイトの清掃や調査を通して、保全意識の向上を図った。

(3) ジオガイドの養成及び体制づくり、ジオツアーの開催  
**【成果】**  
 ・ 認定ジオガイド養成講座(全6回)を開催し、新たに26名のジオガイドを認定した(総勢57名)。  
 ・ 認定ジオガイドを対象としたスキルアップ講座(10回)、フォローアップ講座(2回)を開催し、ガイド技術や知識のさらなる向上を図った。  
 ・ 認定ジオガイドによる会合(3回)を開催し、組織化に向けた体制づくりを開始した。  
 ・ 地域振興部会では、筑波山地域ジオパークの認定商品を募集し、新たに9品を認定した(全22品)。認定商品ガイドブックのリニューアルや、イベントでの販促活動を通じて、普及にも努めた。  
 ・ 有料ツアーを含むジオツアーの開催(8回)や、地質標本館での館内ジオツアーの定期開催(22回)により、ジオツーリズムの充実を図った。

## (4) 他のジオパークとの情報交換及び連携

## 【成果】

- ・ 日本ジオパークネットワーク大会(研修会、全国大会等)への参加や、先進地事例の調査(伊豆半島ジオパーク、栗駒山麓ジオパーク等)などを通して、ジオパークに係る理解を深めると共に、他のジオパークとの連携を深めることができた。
- ・ 筑波山地域内における連携として、NPO法人つむぎつくばが主催する「酒蔵ツーリズム」をテーマにしたシンポジウムに共催した。

## (5) ボトムアップの協議会体制の強化

## 【成果】

- ・ つくば市及び土浦市では、新任職員へジオパーク研修を実施し、協議会体制の強化を図った。
- ・ 6市議会議員連盟協議会総会をかすみがうら市で開催し、ジオパークへの理解を深めた。
- ・ 筑波東中学校跡地の一部教室を活用した中核拠点施設整備を開始し、基本構想及び計画の策定を進めた。

## 中核拠点施設整備スケジュール(予定)

令和元年度	基本構想・基本計画策定
令和2年度	
令和3年度	建築改修及び展示に関わる基本設計・実施設計 管理運営方式調査・検討
令和4年度	建築改修工事 展示制作・設置工事
令和5年度	施設稼働

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
07	01	04	11	本年	43,747				43,747		39,136	89.5	
				前年									
				比較	43,747				43,747		39,136	-	
【参考】前々年度													

目的	<p>豊かな自然と調和した施設の充実及び適切な維持管理を行い、安全かつ安心な滞在型余暇施設としての場を提供するとともに、「牛久沼周辺のアウトドア拠点整備」事業を展開し、魅力的な宿泊空間の向上に寄与するため。</p>																																												
概要及び成果	<p>1 荃崎こもれば六斗の森施設管理運営に関する経費</p> <p><b>【概要】</b> 豊かな自然保全に努めるとともに、各施設(キャビン、バーベキュー場、テントサイト、オートキャンプサイト)の管理運営を行っている。</p> <p><b>【成果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>キャビン利用者の安全を確保するため、老朽化が著しい玄関ポーチ、玄関階段及びベランダの改修を行った。</li> <li>利用者のニーズに応え、チェックイン及びチェックアウト時間の変更及びWi-Fi機器を設置するなど、施設の利便性を向上させた。</li> <li>テントサイト利用者のニーズに応え、サイトの広さを拡張(36㎡から48㎡)するとともに、安全の確保及びプライバシーを保護するため、隣接するテントの間に空地を設けた。</li> <li>雨天時にも利用可能な屋根付きバーベキュー場(3棟)を増設した。</li> </ol> <p><b>【施設利用状況】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャビン</td> <td>1,888人</td> <td>2,179人</td> <td>2,347人</td> <td>2,241人</td> <td>2,472人</td> </tr> <tr> <td>バーベキュー場</td> <td>3,314人</td> <td rowspan="2">12,837人</td> <td rowspan="2">11,942人</td> <td rowspan="2">11,543人</td> <td rowspan="2">11,224人</td> </tr> <tr> <td>テントサイト</td> <td>3,055人</td> </tr> <tr> <td>オートキャンプサイト</td> <td>639人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,896人</td> <td>15,016人</td> <td>14,289人</td> <td>13,784人</td> <td>13,696人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※バーベキュー場については、団体用バーベキュー場の倒壊(平成30年秋の台風による。)に伴う使用不能及び1サイト利用人数の制限、テントサイトについては、1サイト利用人数の制限及びサイトの広さを「制限なし」から、「48㎡」に統一したことによるサイト数の減少が主な要因で、前年比より利用人数が減少となった。</p> <p><b>【年度別収入】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設利用料</td> <td>9,472千円</td> <td>8,904千円</td> <td>8,458千円</td> <td>8,111千円</td> <td>8,638千円</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	キャビン	1,888人	2,179人	2,347人	2,241人	2,472人	バーベキュー場	3,314人	12,837人	11,942人	11,543人	11,224人	テントサイト	3,055人	オートキャンプサイト	639人	—	—	—	—	合計	8,896人	15,016人	14,289人	13,784人	13,696人	施設名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	施設利用料	9,472千円	8,904千円	8,458千円	8,111千円	8,638千円
施設名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																								
キャビン	1,888人	2,179人	2,347人	2,241人	2,472人																																								
バーベキュー場	3,314人	12,837人	11,942人	11,543人	11,224人																																								
テントサイト	3,055人																																												
オートキャンプサイト	639人	—	—	—	—																																								
合計	8,896人	15,016人	14,289人	13,784人	13,696人																																								
施設名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																								
施設利用料	9,472千円	8,904千円	8,458千円	8,111千円	8,638千円																																								

事業名：道路計画事務に要する経費

建設部 道路計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	11	本年	31,684		△ 3,061		28,623	12,551	15,542	98.1
				前年	600				600		533	88.9
				比較	31,084		△ 3,061		28,023	12,551	15,009	-
【参考】前々年度					2,529				2,529		2,455	97.1

目的  
国、県道のバイパス建設及び改良整備等の促進、河川等の治水事業の促進を図るため。  
生活圏形成に重要な役割を果たす市道を整備し、市内の交通渋滞の解消と地域住民の安全と福祉に寄与するため。

概要及び成果

1 道路事業及び河川等治水事業の促進  
茨城県、近隣市町による道路整備・治水事業に関する協議会、期成同盟会等への参加及び要望活動(25団体)

- (1) 国道125号整備促進期成同盟会
- (2) 主要地方道土浦境線整備促進期成同盟会
- (3) 主要地方道つくば野田線整備促進期成同盟会
- (4) 千葉・茨城 都市軸道路整備促進期成同盟会
- (5) つくば市・笠間市間道路整備促進協議会
- (6) 茨城県国道6号整備促進協議会
- (7) 一般国道6号・都市計画道路牛久土浦線等建設促進期成同盟会
- (8) 国道354号整備促進協議会
- (9) 県道土浦坂東線整備促進期成同盟会
- (10) 赤浜上大島・つくば益子・東山田岩瀬線道路整備期成同盟会
- (11) 牛久市・つくば市・つくばみらい市交通体系整備促進連絡協議会
- (12) 茨城県道路整備促進協議会
- (13) 関東国道協会
- (14) 全国高速道路建設協議会
- (15) 茨城県街路事業促進協議会
- (16) 首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会
- (17) 茨城県河川協会
- (18) 茨城県砂防協会
- (19) 小貝川改修促進期成同盟会
- (20) 桜川改修期成同盟会
- (21) 土浦土木協会
- (22) 茨城県用地対策連絡協議会
- (23) 茨城県建設技術管理連絡協議会
- (24) 牛久沼水際線計画研究会
- (25) 鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議

【成果】  
道路整備・治水事業に関する関係機関との調整、国・県等への要望活動等を実施することで、事業の推進が図られた。また、各事業体間での情報共有、意識共有ができ、路線ごとの整備の進捗状況を確認することにより、要望内容の修正を図ることができた。

2 都市計画道路整備プログラム策定支援業務(令和元年度～令和2年度継続事業)  
都市計画道路整備プログラム策定支援業務委託における令和元年度業務として、未事業化及び未整備区間がある都市計画道路の優先度検討を行う。

【成果】  
都市計画道路についての優先度検討の結果を踏まえ、都市計画道路整備プログラムを策定し、今後の整備の考え方を取りまとめることができた。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	12	本年	51,770		63,519		115,289	24,660	87,553	97.3
				前年	52,078		29,229		81,307	71,239	87.6	
				比較	△ 308		34,290		33,982	24,660	16,314	-
【参考】前々年度					52,194				52,194		50,217	96.2

目的

道路法の規定に基づき、道路維持管理の円滑化と充実を図るため。

1 道路の認定・廃止

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
認定	31 路線	100 路線	193 路線	77 路線	99 路線
廃止	5 路線	73 路線	298 路線	3 路線	13 路線

2 道路台帳の整備

【成果】

道路台帳を更新（市道の認定・変更・廃止）を行い、閲覧者に対する確かな道路情報の提供ができた。道路維持管理の基礎資料として有効活用でき、適正な管理を行うことができた。

3 道路占用許可

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	1,448 件	1,473 件	1,348 件	1,383 件	1,260 件

4 道路の承認工事

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	219 件	311 件	266 件	264 件	223 件

5 道路の境界確認

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	526 件	509 件	512 件	523 件	531 件

6 放置車両の撤去

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	0 件	0 件	1 件	0 件	1 件

7 特殊車両の許可申請

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	875 件	789 件	863 件	588 件	733 件

8 法定外公共物の使用届

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	18 件	7 件	10 件	10 件	9 件

9 道路の払下げ

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
筆数	11 筆	14 筆	6 筆	8 筆	1 筆
面積	712.01 m <sup>2</sup>	960.12 m <sup>2</sup>	3,134.87 m <sup>2</sup>	402.24 m <sup>2</sup>	85.54 m <sup>2</sup>

概要及び成果

事業名：登記事務に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	13	本年	9,565				9,565		6,550	68.5
				前年	9,415				9,415		8,911	94.6
				比較	150				150		△ 2,361	-
【参考】前々年度					12,390				12,390		8,916	72.0
目的		道路拡幅事業に伴う用地買収、未登記処理等の様々な登記を行うため。										
概要及び成果		1 本年度用地買収に伴う登記申請及び未登記解消の登記申請件数  【成果】 道路拡幅事業及び未登記処理等の登記申請件数										
				令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度				
		登記件数		488件	471件	407件	298件	305件				



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	01	01	14	本年	2,420				2,420		2,393	98.9
				前年	843				843		838	99.4
				比較	1,577				1,577		1,555	-
【参考】前々年度					2,720				2,720		2,538	93.3

概要及び成果	目的	営繕工事等の発注及び監督業務等に係る業務を一括して行うことで、市有建築物に係る工事の品質を確保するため。																						
	1	設計工事額が130万円を超える新築、改築、増築及び改修工事等の営繕工事の発注及び監督業務を行う。 <b>【成果】</b> (1) 適正かつ円滑な工事監督業務を行い、市有建築物の工事の品質の確保が図られた。 (2) 事業経費の執行については、コストの縮減を念頭に適正な予算執行に努めた。 ● 発注及び監督業務を行った主な工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 31-2市単北条保育所建設工事 <span style="float: right;">239,580千円</span></li> <li>・ 31国補栄児童館児童クラブ専用施設増築工事 <span style="float: right;">83,409千円</span></li> <li>・ 31国補竹園西児童館児童クラブ専用施設増築工事 <span style="float: right;">76,450千円</span></li> <li>・ 31国補吉沼児童館児童クラブ専用施設増築工事 <span style="float: right;">69,993千円</span></li> <li>・ 31国補谷田部児童館児童クラブ専用施設増築工事 <span style="float: right;">64,062千円</span></li> <li>・ その他工事 54件</li> </ul> ● 営繕工事実施件数及び工事額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>59件</td> <td>45件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>工事額</td> <td>1,442,401千円</td> <td>4,044,862千円</td> <td>14,471,924千円</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	件数	59件	45件	20件	工事額	1,442,401千円	4,044,862千円	14,471,924千円
		令和元年度	平成30年度	平成29年度																				
件数	59件	45件	20件																					
工事額	1,442,401千円	4,044,862千円	14,471,924千円																					
2	営繕工事に係る設計業務の発注及び監督業務を行う。(新規事業) <b>【成果】</b> (1) 設計業務において営繕積算システムを導入したことにより、積算の精度向上が図られた。 (2) 積算にあたり、国や県等の単価を採用することによって、工事費のコスト縮減に努めた。 ● 発注及び監督業務を行った主な設計委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 31-2国債(仮称)研究学園小学校・中学校校舎建設基本・実施設計業務委託 <span style="float: right;">175,230千円</span></li> <li>・ 31-2国債(仮称)香取台地区小学校校舎建設基本・実施設計業務委託 <span style="float: right;">128,588千円</span></li> <li>・ 31市単葛城小学校増築校舎建設設計業務委託 <span style="float: right;">31,251千円</span></li> <li>・ その他設計業務 37件</li> </ul> ● 設計業務実施件数及び委託額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>委託額</td> <td>376,252千円</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	件数	40件	委託額	376,252千円							
	令和元年度																							
件数	40件																							
委託額	376,252千円																							
3	おおむね10万円以上から130万円までの修繕工事の発注及び監督業務を行う。(新規事業) <b>【成果】</b> (1) 各施設で発生する修繕事案に対し、主管課からの修繕依頼を受け、迅速な修繕工事を実施することにより、施設利用者等の安全確保と円滑な施設運営に寄与することができた。 ● 修繕工事依頼受理件数及び工事額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>712件</td> </tr> <tr> <td>工事額</td> <td>299,262千円</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	件数	712件	工事額	299,262千円							
	令和元年度																							
件数	712件																							
工事額	299,262千円																							

事業名：道路維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	01	11	本年	1,093,786	140,932	△ 32,800	4,621	1,206,539	119,784	1,056,287	97.5
				前年	1,223,899	177,898	△ 68,210		1,333,587	140,932	1,007,739	86.1
				比較	△ 130,113	△ 36,966	35,410	4,621	△ 127,048	△ 21,148	48,548	-
【参考】前々年度					1,184,203	209,157	11,937	4,703	1,410,000	177,898	1,154,777	94.5

目的 市が管理する道路、管理水路の維持管理を実施し、市民の快適で安定した生活を確保する。また、通学路等の除草により児童生徒の安全を確保するため。

概要 及び 成果	1 道路の維持管理											
	(1) 小規模な道路補修・維持工事											
	(2) 通学路等の除草											
	(3) 舗装打替え工事											
	【成果】											
	舗装補修、側溝の改修、交通安全施設の設置・改修及び通学路等の除草を行い、道路通行上の安全を確保した。											
	(1) 小規模な道路補修・維持工事											
			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度					
	工事件数		338件	287件	406件	447件	377件					
	(2) 通学路等の除草											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
小学校区		21小学校区	21小学校区	27小学校区	27小学校区	27小学校区						
除草面積		607,771 m <sup>2</sup>	529,400 m <sup>2</sup>	521,406 m <sup>2</sup>	491,497 m <sup>2</sup>	460,412 m <sup>2</sup>						
(3) 舗装打替え工事												
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
路線数		18 路線	13 路線	21 路線	20 路線	18 路線						
施工延長		2,960 m	2,589 m	9,337 m	8,774 m	7,426 m						
施工面積		18,078 m <sup>2</sup>	12,576 m <sup>2</sup>	50,096 m <sup>2</sup>	61,788 m <sup>2</sup>	43,949 m <sup>2</sup>						

事業名：橋梁に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
08	02	01	12	本年	262,472		△ 28,672		233,800	210,349	21,960	99.4	
				前年									
				比較	262,472		△ 28,672		233,800	210,349	21,960	-	
【参考】前々年度													

目的 老朽化した橋梁について、橋梁長寿命化修繕計画に基づく長寿命化修繕等を実施することにより、市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図るため。

概要 及び 成果	1 長寿命化修繕・耐震補強工事											
	【成果】											
	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、3橋(堂免橋、下広岡橋、講和橋)の設計を実施した。											

事業名：道路新設改良に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	02	11	本年	1,407,018	343,946	△ 51,200	△ 4,621	1,695,143	377,899	906,585	75.8
				前年	1,400,432	561,684	△ 118,900		1,843,216	343,946	1,006,510	73.3
				比較	6,586	△ 217,738	67,700	△ 4,621	△ 148,073	33,953	△ 99,925	-
【参考】前々年度					1,550,754	405,596	△ 81,200		1,875,150	561,684	1,074,012	87.2

目的

未改良の生活道路を改良し、道路としての機能を高め、道路網の整備を図ることにより、市域の土地利用、経済活動を活性化して、地域社会の環境を改善するため。

概要及び成果

1 道路環境の整備

(1) 道路改良舗装

【成果】

生活道路を効果的に拡幅整備することにより、幅員の狭い道路の解消、雨水の処理が行われ、歩行者及び車輛の安全が確保され、良好な道路環境が確保された。

(1) 道路改良舗装

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
路線数	24 路線	29 路線	29 路線	43 路線	36 路線
施工延長	4,254.3 m	4,712.6 m	5,612.3 m	7,521.0 m	6,246.1 m

事業名：緊急地方道整備に要する経費

建設部 都市計画道路整備推進室／道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	02	03	11	本年	380,069	64,204	△ 194,239		250,034	132,915	102,438	94.1
				前年	176,934	170,695	△ 64,200		283,429	64,204	191,683	90.3
				比較	203,135	△ 106,491	△ 130,039		△ 33,395	68,711	△ 89,245	-
【参考】前々年度				336,082	352,130	△ 122,000		566,212	170,695	329,254	88.3	

目的

国、県の補助事業を導入し市内幹線道路の整備を行い、道路網の確立を図ることで、市全体の経済活動、地域活動を活性化するため。

## 1 市内幹線道路の整備

- (1) 台町萱丸線整備事業(第1工区) (L=940m)
- (2) 台町萱丸線整備事業(第2工区) (L=1,360m)
- (3) 酒丸上沢線(第1期)整備事業(L=1,600m)
- (4) 酒丸上沢線(第2期)整備事業(L=2,500m)
- (5) 市道1-71号線整備事業(L=852m)

## 【成果】

- (1) 台町萱丸線(第1工区)
  - ・道路改良舗装工事L=110.0mを実施した。
- (2) 台町萱丸線(第2工区)
  - ・物件移転補償算定業務を実施した。
- (3) 酒丸上沢線(第2期)
  - ・用地買収476.04㎡を実施し、全体の62%の取得を完了した。
- (4) 市道1-71号線
  - ・道路改良舗装工事L=233.0mを実施した。

概要及び成果

	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	用地取得	工事	用地取得	工事	用地取得	工事
台町萱丸線(第1工区)	- m <sup>2</sup>	110.0 m	- m <sup>2</sup>	158.0 m	524.28 m <sup>2</sup>	94.0 m
台町萱丸線(第2工区)	- m <sup>2</sup>	- m	- m <sup>2</sup>	- m	- m <sup>2</sup>	- m
酒丸上沢線(第1期)	- m <sup>2</sup>	- m	- m <sup>2</sup>	- m	- m <sup>2</sup>	- m
酒丸上沢線(第2期)	476.04 m <sup>2</sup>	- m	1,169.80 m <sup>2</sup>	- m	5,186.85 m <sup>2</sup>	225.2 m
市道1-71号線	- m <sup>2</sup>	233.0 m	- m <sup>2</sup>	108.5 m	- m <sup>2</sup>	344.0 m

	平成28年度		平成27年度	
	用地取得	工事	用地取得	工事
台町萱丸線(第1工区)	542.62 m <sup>2</sup>	- m	1,672.77 m <sup>2</sup>	640.0 m
台町萱丸線(第2工区)	- m <sup>2</sup>	- m	- m <sup>2</sup>	- m
酒丸上沢線(第1期)	- m <sup>2</sup>	93.0 m	129.29 m <sup>2</sup>	281.0 m
酒丸上沢線(第2期)	3,783.39 m <sup>2</sup>	- m	7,605.66 m <sup>2</sup>	- m
市道1-71号線	1,967.63 m <sup>2</sup>	- m	5,720.91 m <sup>2</sup>	- m

事業名：河川維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	03	01	11	本年	4,770				4,770		4,681	98.1
				前年	5,629				5,629		4,312	76.6
				比較	△ 859				△ 859		369	-
【参考】前々年度					4,247				4,247		3,491	82.2
目的		市内主要河川の整備促進を県・近隣市町村とともに図り、また、台風・大雨等による河川の氾濫、土砂崩れを最小限に食い止め、適切な防災対策を行い、住民被害の軽減を図るため。										
概要及び成果		<p>1 河川の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小貝川樋管操作点検委託及び小貝川クリーン大作戦</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小貝川樋管操作点検委託9箇所を適切に管理し、災害予防の維持管理に寄与できた。</li> <li>・小貝川クリーン大作戦(第29回)を国、市及び地元住民が協力して実施したことで河川環境の美化につながった。</li> </ul>										

事業名：河川整備に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)									
08	03	01	12	本年	122,176	50,060	△ 21,500		150,736	59,921	37,441	64.6									
				前年	127,140	20,563			147,703	50,060	70,454	81.6									
				比較	△ 4,964	29,497	△ 21,500		3,033	9,861	△ 33,013	-									
【参考】前々年度					135,000	64,380	△ 106,360		93,020	20,563	58,778	85.3									
目的		台風・大雨等による河川の氾濫、土砂崩れを最小限に食い止めるために、適切な防災対策を行い、住民被害の軽減を図るため。																			
概要及び成果		<p>1 市内の河川整備</p> <p>八幡川河川改修事業(L=1,100m)</p> <p>(1) 委託</p> <p>(2) 用地取得</p> <p>(3) 工事</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川改修工事の橋梁架け替えに伴う予備設計業務委託N=1橋を実施した。</li> </ul> <p>(2) 用地取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川改修工事に伴う、用地買収289.6㎡を実施し、全体の85%の取得を完了した。</li> <li>・物件移転補償1件と補償算定業務委託1件を実施した。</li> </ul> <p>(3) 工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北条地区において、次年度工事の準備工として工事箇所内の竹林等伐採工事をL=170.0mを実施した。</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地取得</td> <td>289.6 m<sup>2</sup></td> <td>7,552.8 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>- m</td> <td>- m</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	用地取得	289.6 m <sup>2</sup>	7,552.8 m <sup>2</sup>	工事	- m	- m
	令和元年度	平成30年度																			
用地取得	289.6 m <sup>2</sup>	7,552.8 m <sup>2</sup>																			
工事	- m	- m																			

事業名：都市計画審議会に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	11	本年	762		△ 417		345		236	68.3
				前年	771		△ 203		568		471	83.0
				比較	△ 9		△ 214		△ 223		△ 235	-
【参考】前々年度					770		△ 170		600		525	87.4

目的	都市計画法第77条の2第1項に基づく都市計画審議会を設置し、都市のあり方を決定する重要事項である都市計画等を決定するにあたり、調査・審議を行うため。
概要及び成果	<p>1 都市計画審議会を開催し、都市計画決定等の案件について審議する。 つくば市都市計画審議会委員:15名（委員は15名以内） （委員の内訳） 学識経験者:9名、市議会議員:2名、関係行政機関の職員:1名、茨城県の職員:1名、市民:2名</p> <p>【成果】 次のとおり2回開催した。</p> <p>(1) 第1回(10月31日)</p> <p>&lt;報告事項&gt; ・都市計画審議会諮問予定案件について ・つくばエクスプレス沿線開発地域の土地利用状況について ・公共施設整備に係る協力金の制度化について</p> <p>(2) 第2回(3月26日)</p> <p>&lt;諮問事項&gt; ①「島名・福田坪地区」の用途地域及び地区計画の変更 事業計画の変更に伴う用途地域及び地区計画の変更について諮問し、可決された。 ②都市計画公園の変更 島名・福田坪2号近隣公園及び3号近隣公園の追加について諮問し、可決された。</p> <p>&lt;報告事項&gt; ・都市計画審議会諮問予定案件について</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	12	本年	19,755		△ 7,736		12,019		11,598	96.5
				前年	120,101		△ 8,526	△ 3,583	107,992		107,092	99.2
				比較	△ 100,346		790	3,583	△ 95,973		△ 95,494	-
【参考】前々年度					15,388		△ 1,594		13,794		13,289	96.3

目的	概要及び成果
つくば市として望ましい都市像に向け都市計画事業の推進を図るため。	
1 都市計画情報システム管理業務	<p>【成果】</p> <p>市ホームページからインターネット配信をしている都市計画マップにおいて、都市計画関連データ(用途地域、地区計画、都市計画施設、屋外広告物、市認定道路、建築基準法指定道路、区域指定対象区域等)の情報提供を行った。また、データの管理業務として、都市計画の変更情報の更新、地番の更新、市の管理施設の名称の更新等を行った。</p>
2 各種都市計画の決定	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「島名・福田坪地区」の用途地域及び地区計画の変更(令和2年3月31日告示)</li> <li>・都市計画公園の変更(島名・福田坪2号近隣公園及び3号近隣公園の追加)(令和2年3月31日告示)</li> <li>・次年度以降に決定(変更)予定の都市計画について、関係機関との協議や、法定手続きを実施した。</li> </ul>
3 都市計画に関連する印刷業務	<p>【成果】</p> <p>(1) 平成30年度に行った基本図修正業務及び用途地域の変更等に伴う地形図・都市計画図の修正及び印刷を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形図(縮尺25,000分の1:300枚、10,000分の1(No.1~No.6):各200枚)</li> <li>・都市計画図(縮尺25,000分の1:400枚、10,000分の1(No.1~No.6):各150枚、55,000分の1:300枚)</li> </ul> <p>(2) 平成30年度に実施したつくば中央IC周辺土地利用転換調査の結果報告書の印刷を行った。(50部)</p> <p>(3) 都市計画マスタープラン本編の残部数不足により、増刷を行った。(200部)</p> <p>(4) 地区計画のパンフレットを改訂し、印刷を行った。(島名・福田坪地区 2,000部)</p> <p>(5) TX沿線地区用途地域等確認図の内容を更新し、印刷を行った。(100部)</p>
4 茨城県都市計画協会への加入	<p>【成果】</p> <p>協会が主催する都市計画に関する先進地視察研修等及び派遣による他団体の研修に参加した。</p>
5 全国地区計画推進協議会への加入	<p>【成果】</p> <p>全国の地方公共団体間の情報交換、制度活用の検討を行うための研究会及び研修会に参加した。</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	13	本年	3,018		△ 396		2,622		2,333	89.0
				前年	2,880				2,880		2,680	93.0
				比較	138		△ 396		△ 258		△ 347	-
【参考】前々年度					2,663		△ 585		2,078		1,987	95.6

目的

屋外広告物法に基づき策定した「つくば市屋外広告物条例」による許可を行うことにより、市内における屋外広告物の適正誘導を図り、良好な景観を形成し、風致を維持し、公衆への危害を防止するため。

概要及び成果

1 つくば市屋外広告物条例に基づく許可

【成果】

条例の適正な運用により、無秩序な広告物の掲出を防止し、街並み景観、道路沿道景観、都市景観等の維持保全が図られた。

申請件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新設	99 件	143 件	103 件	110 件	85 件
継続	144 件	143 件	154 件	115 件	117 件
変更・改造	44 件	50 件	51 件	54 件	29 件

2 違反広告物の撤去

【成果】

職員及び業務委託による違反広告物のパトロール及び地域における除却活動の実施により、市内の景観保全が図られた。

(1) 業務委託等による違反広告物のパトロール

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施回数(※)	52 回	55 回	52 回	23 回	28 回
簡易除却件数	50 件	144 件	346 件	356 件	591 件

※ 平成28年度以前は除却回数。

(2) 茨城県まちの違反広告物追放推進団体(市内11団体)による違反広告物の簡易除却

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
活動日数	76 日	78 日	34 日	33 日	47 日
撤去件数	66 件	123 件	151 件	201 件	145 件

3 違反広告物の是正指導

【成果】

つくば市違反広告物等是正事務処理要領を9月17日に策定・施行した。また、同要領に基づき重点是正地域を指定し、違反広告物35件に対して是正指導を行った。



事業名：下水道事業特別会計繰出金

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	14	本年	3,093,446	47,927	△ 424,000		2,717,373	128,663	2,588,710	100.0
				前年	2,887,049	60,074	△ 378,750		2,568,373	47,927	2,520,445	100.0
				比較	206,397	△ 12,147	△ 45,250		149,000	80,736	68,265	-
【参考】前々年度				2,813,213	166,975	△ 197,302		2,782,886	60,074	2,722,812	100.0	

目的	一般会計から下水道特別会計への繰出しにより、つくば市における下水道事業の推進を図るため。
----	--

概要及び成果	1 一般会計から下水道特別会計への繰出し					
	【成果】					
	一般会計から下水道特別会計への繰出金					
	内 訳	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	一般財源	2,434,646 千円	2,411,327 千円	2,435,911 千円	2,439,013 千円	2,414,147 千円
社会資本整備総合交付金	154,064 千円	109,117 千円	286,901 千円	333,979 千円	228,869 千円	
合 計	2,588,710 千円	2,520,444 千円	2,722,812 千円	2,772,992 千円	2,643,016 千円	

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	15	本年	608,823				608,823		603,236	99.1
				前年	415,900		13,323		429,223		409,343	95.4
				比較	192,923		△ 13,323		179,600		193,893	-
【参考】前々年度					438,422		494	199	439,115		403,964	92.0

目的

つくば市の都市構造とまちづくりの観点から持続可能な公共交通の整備推進を図るため。

概要及び成果

1 公共交通改編を実施

平成31年4月に公共交通を改編した。

【改編内容】

- (1) つくバス
  - ① 7路線から9路線へ増加(新設:上郷シャトル、西部シャトル)
  - ② バス停留所数111箇所から223箇所へ増設
  - ③ バス停圏域(500m)カバー人口率78.4%から83.1%へ増加
- (2) 筑波地区支線型バス(3年間実証実験)  
筑波地区内4コースをワゴン車で運行する支線型バスを導入
- (3) 路線バス実証実験事業(3年間実証実験)
  - ① 荃崎地区を運行する既存の路線バス4路線に対して、ICカード利用時に運賃の補填を行う事業
  - ② 荃崎地区(富士見台～牛久駅西口)に新規路線バスを運行する事業
  - ③ つくばセンター～土浦駅を走る既存路線バスの増便をする事業  
(平日9便から16便へ増、休日5便から13便へ増)
- (4) つくタクの共通ポイント・特例ポイントの見直し  
共通ポイント8箇所から9箇所へ増加、特例ポイント11箇所から15箇所(5増1減)へ増加

2 つくば市公共交通活性化協議会の運営

【内容】

- (1) 協議会開催回数 4回(うち書面協議2回)  
公共交通改編後の運行状況の検証  
つくばエクスプレス時刻表改正に合わせたつくバス時刻表改正を審議

3 公共交通の運行

【成果】

- (1) 公共交通の年間利用者数  
つくバス、つくタクとも年間利用者数は、前年度比較で減少したが、公共交通全体では増加  
(単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
つくバス	994,202	1,052,988	1,037,547	1,004,662	953,837
つくタク	53,887	55,858	54,636	50,811	48,544
支線型バス	5,749	—	—	—	—
荃崎新規	27,075	—	—	—	—
荃崎補填	79,236	—	—	—	—
桜増便	11,960	—	—	—	—
合計	1,172,109	1,108,846	1,092,183	1,055,473	1,002,381

- (2) 公共交通の周知・利用促進活動
  - ① ガイド配布部数:「つくバスガイド」約26,200部、「つくタクガイド」約10,700部
  - ② 広報つくば・区会回覧等での周知、市ホームページ掲載、出前講座におけるPR活動を実施
  - ③ 支線型バスの体験乗車会を実施
  - ④ 地区の区長会に参加し、事業の説明を実施

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	16	本年	2,345		△ 543		1,802		1,134	62.9
				前年	2,339		△ 1,179		1,160		953	82.1
				比較	6		636		642		181	-
【参考】前々年度					2,401				2,401		1,978	82.4

目的

地域の固有の特性を踏まえた良好な景観の形成を促進し、潤いのある豊かな生活環境の創造を図り、地域社会の健全な発展に寄与するため。

概要及び成果

1 景観法及びつくば市景観条例に基づく行為の届出

【成果】

景観法に基づき、「つくば市景観条例」で定める一定規模を超える建築行為等の届出について、「つくば市景観計画」との適合を審査し、周辺の良い景観と調和を図るよう誘導した。

届出件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
建築物	50 件	50 件	50 件	35 件	34 件
工作物	0 件	1 件	7 件	5 件	5 件
開発行為	6 件	4 件	6 件	8 件	2 件

2 つくば市景観審議会の運営

つくば市景観審議会委員:7名(委員は7名以内)

【成果】

(1) 第1回(5月22日)

協議事項 ・ 特例の許可の進め方(事前に委員の意見を反映させる機会の確保)

報告事項 ・ 平成30年度実績報告について

(2) 第2回(8月9日)

諮問事項 ・ つくば市屋外広告物条例第12条第1項に基づく許可について ⇒可決  
(山新グラusstageにおける屋外広告物の設置)

報告事項 ・ バス停上屋添加広告物の新設計画について

・ つくば市屋外広告物条例施行規則の改正について

(3) 第3回(3月18日)

諮問事項 ・ つくば市屋外広告物条例第12条第1項に基づく許可について ⇒可決  
(イオンモールつくばにおける屋外広告物の設置)

報告事項 ・ 特例の許可を受けた屋外広告物の表示の変更について  
(イオンモールつくば、LALAガーデン、デイズタウン、バス停上屋添加広告物)

・ バス停上屋添加広告物の新設計画について

・ 景観法に基づく景観協定の認可について(竹園ガーデンII景観協定の変更、流星台D18、D19、D20街区景観協定、フリージアみどりのノースエリア景観協定)

3 再生可能エネルギー発電設備の届出 ※平成28年度から開始

【成果】

景観や生活環境に影響を与える可能性の高い、一定規模以上の発電設備の設置について、発電設備の適切な設置を誘導した。

届出件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
太陽光発電設備	15 件	10 件	25 件	17 件

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	17	本年	1,082			1,082		822	76.0
			前年	1,093		△ 360	733		297	40.6	
			比較	△ 11		360	349		525	-	
【参考】前々年度				1,199		△ 466		733		560	76.4

目的

無秩序な開発を抑制し、地域の実情に合った公正かつ適正な制度の運用を図るために、都市計画法第78条第1項に基づく開発審査会を設置し、審査等の許可処分についての裁決を行うため。

概要及び成果

1 開発審査会を開催し開発許可処分等の案件について審査する。

【成果】

令和元年度 開催回数:8回(4月、5月、7月、9月、10月、11月、2月、3月)

つくば市開発審査会委員:7名

(委員の内訳)

法律:1名、公衆衛生:1名、都市計画:2名、行政:1名、経済:1名、建築:1名

(1) 審査案件

提案基準1 有料老人ホームの取扱いについて	1 件
提案基準6 既存施設の土地利用変更の取扱いについて	1 件
提案基準9 その他特に定めのないものの取扱いについて	7 件
つくば市開発審査会付議基準の一部改正について	2 件
計	11 件

(2) 報告案件(包括承認基準許可報告)

包括承認基準1 (一身専属的許可を受けて建築した住宅の譲渡)	3 件
包括承認基準4 (運動レジャー施設に付属する管理上必要な施設)	1 件
包括承認基準5 (小規模作業所等)	1 件
包括承認基準8 (社会福祉施設)	1 件
計	6 件

(3) 年度毎の審査案件数等

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催回数	8回	3回	4回	3回	6回
審査案件	9件	4件	3件	2件	9件
報告案件	4件	4件	8件	5件	10件
その他(区域指定等)	146件	135件	117件	138件	148件

事業名：開発指導に要する経費

都市計画部 開発指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	18	本年	1,922				1,922		1,580	82.2
				前年	1,925				1,925		1,606	83.4
				比較	△ 3				△ 3		△ 26	-
【参考】前々年度					7,345	4,428	334		12,107		11,762	97.2

目的	都市計画法、条例、開発指導要綱等に基づき、許可及び指導を行うことにより、無秩序な開発の防止と、良好な自然環境の保全及び都市環境の整備促進を図るため。																								
概要及び成果	<p>1 開発許可等に関する事務 申請のあった審査請求等により、都市計画法第29条、第43条等の許可及び都市計画法施行規則第60条の証明を行った。</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市計画法第29条の許可</td> <td>243件</td> <td>275件</td> <td>209件</td> <td>258件</td> <td>261件</td> </tr> <tr> <td>都市計画法第43条の許可</td> <td>132件</td> <td>101件</td> <td>91件</td> <td>97件</td> <td>110件</td> </tr> <tr> <td>都市計画法施行規則第60条証明</td> <td>98件</td> <td>92件</td> <td>110件</td> <td>90件</td> <td>67件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	都市計画法第29条の許可	243件	275件	209件	258件	261件	都市計画法第43条の許可	132件	101件	91件	97件	110件	都市計画法施行規則第60条証明	98件	92件	110件	90件	67件
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
	都市計画法第29条の許可	243件	275件	209件	258件	261件																			
	都市計画法第43条の許可	132件	101件	91件	97件	110件																			
	都市計画法施行規則第60条証明	98件	92件	110件	90件	67件																			
<p>2 開発許可等に関する県等との調整事務</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県開発許可等連絡調整会議 12回</li> <li>茨城県開発許可等連絡調整会議分科会 12回</li> <li>茨城県開発許可等連絡調整会議ワーキング委員会 4回</li> <li>茨城県宅地開発協議会共同研究事業推進委員会 9回</li> <li>北関東三県・中核市・特例市開発許可連絡協議会(群馬県開催)</li> </ul>																									
<p>3 開発許可等台帳管理システム保守業務</p> <p>【成果】</p> <p>電子データ化した過去の許可案件等を一元管理することにより、データの集積や抽出が正確かつ迅速に行え事務が効率化され、市民サービスの向上が図られた。</p>																									
<p>4 区域指定データ管理作業</p> <p>【成果】</p> <p>ホームページの「都市計画マップ」により、区域指定地域の情報提供を行うことで、市民の利便性の向上が図られた。</p>																									
<p>5 宅地耐震化推進業務</p> <p>【成果】</p> <p>ホームページ掲載の「大規模盛土造成地マップ」により、市民の防災意識を高めることができた。</p>																									

事業名：地域まちづくり支援に要する経費

都市計画部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	19	本年	1,519		△ 894		625		396	63.4
				前年	1,848		△ 1,042		806		746	92.6
				比較	△ 329		148		△ 181		△ 350	-
【参考】前々年度					1,681		△ 1,283		398		366	92.1

目的	<p>「つくば市地域まちづくり活動への支援に関する規則」に基づき、市民等による自発的な地域まちづくり活動に対して支援を行うことで、市民等と行政が相互に補完し合い、連携・協力により「協働による地域まちづくり」を推進し、魅力的な地域社会の構築を図るため。</p>
概要及び成果	<p>1 活動状況を初期段階から4段階に分類し、段階に応じた支援を行い市民協働のまちづくりを推進する。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1)地域まちづくりグループの登録（登録団体数10）。本年度、新規の登録グループが3あった。 地域まちづくりグループ名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 研究学園駅センター地区協議会</li> <li>② 松見商店会</li> <li>③ 研究学園グリーンネックレスカルチャーの会</li> <li>④ 春風台美しい村づくりの会</li> <li>⑤ 桜ニュータウン将来計画検討会(7月18日名称変更)</li> <li>⑥ 圏央道つくば中央インター周辺地域開発協議会</li> <li>⑦ フラワーフィルダーズ(FF会)</li> <li>⑧ 高見原4丁目青年部(令和元年度新規登録)</li> <li>⑨ つくばロケーションヴィレッジ(令和元年度新規登録)</li> <li>⑩ 新しい街・研究学園駅周辺を住みやすくする会(令和元年度新規登録)</li> </ul> <p>(2)地域まちづくり推進団体(認定団体数2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① テクノパーク桜まちづくりを考える会</li> <li>② グリーンフィールド島名</li> </ul> <p>(3)まちづくりアドバイザーの登録及び派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① まちづくりアドバイザー登録者 12名</li> <li>② まちづくりアドバイザーをグループ勉強会へ派遣(2団体へ合計5回)</li> </ul> <p>(4)コンサルタントの登録</p> <p>コンサルタント登録 6社</p> <p>(5)地域まちづくりグループ等との勉強会等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① まちづくり見学会(先進地視察、10月20日実施)参加者12名</li> <li>② 推進団体2団体より助成金の申請があり、交付した。(計202,000円)</li> </ul> <p>(6)事業周知活動</p> <p>市民対象の都市計画講座を開催した。(11月16日実施 参加者13名)</p>

事業名：自転車のまちづくり推進に要する経費

都市計画部 総合交通政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	20	本年	2,261				2,261		1,863	82.4
				前年	2,266				2,266		1,546	68.2
				比較	△ 5				△ 5		317	-
【参考】前々年度					3,123			△ 500	2,623		2,160	82.3

目的	概要及び成果
自動車から自転車へ交通手段の転換と健康増進に寄与する自転車の利用促進を図るとともに、「つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車の安全利用に関する市民の意識醸成を図るため。	<p>1 自転車のまちつくば推進委員会の開催</p> <p><b>【内容】</b> 開催回数：1回(令和元年7月) (1)アクションプランの見直しを議題にあげ、各施策の進捗状況の報告を実施 (2)自転車用ヘルメット購入補助金の導入について</p> <p><b>【成果】</b> (1)つくば市児童自転車用ヘルメット購入補助金交付要綱を策定し、次年度で予算編成した。 (2)つくば総合インフォメーションセンター(BiViつくば内)に自転車組立スペースを設置 (3)つくば駅からりんりんロードまでの路面サイン表示のルートを決め、次年度で予算編成した。</p> <p>2 「つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の普及促進活動</p> <p><b>【内容】</b> 以下の活動を通じて普及促進を行うとともに、自転車安全利用促進条例パンフレットを約32,500部配布 活動回数：6回 概要・成果：イーアスつくば等での交通安全キャンペーン(4回) つくばフェスティバル、環境フェスティバルへのブース出展</p> <p>3 サイクリングマップ配布及び自転車のまちつくば専用Webサイトの運営</p> <p><b>【内容】</b> (1)サイクリングマップ「Tsukuba Bicycle Slow Life」を約450部配布 (2)自転車のまちつくば専用Webサイト「つくば市サイクリングガイド」の情報の充実を図った。 アクセスユーザー数 53,628人</p>

事業名：公有地利活用推進に要する経費

都市計画部 公有地利活用推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	21	本年	16,203		9,609		25,812	5,716	14,564	78.6
				前年	3,976		△ 829	3,244	6,391	6,347	99.3	
				比較	12,227		10,438	△ 3,244	19,421	5,716	8,217	-
【参考】前々年度					5,497		△ 200		5,297		4,640	87.6

目的	未利用の公有地について、つくば市公共施設等総合管理計画に基づき、施設ごとに、これまでの経緯、現状、地域の意向等を踏まえ、公的利活用、地域利活用、民間利活用を検討し、有効な利活用を図るため。										
概要及び成果	1 公有地利活用推進事業 【成果】 (1)筑波地区学校跡地(小学校跡地8校、中学校跡地2校) ・筑波西中学校跡地、山口小学校跡地及び菅間小学校跡地について、利活用事業者からの提案を基に地元説明会を開催して、意見を伺い、また、庁内関係部署と検討・調整を行い、利活用方策を決定した。 ・小田小学校跡地について、地域からの利活用提案を基に地元説明会を開催して、意見を伺い、また、庁内関係部署と検討・調整を行い、利活用方策を決定した。 ・他の学校跡地についても、地元住民、庁内関係部署との協議・検討を進めた。  利活用方策が決定した施設										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">施設名</th> <th style="width: 50%;">利活用方策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>筑波西中学校跡地</td> <td>学校法人による広域通信制高等学校の設置・運営</td> </tr> <tr> <td>山口小学校跡地</td> <td>地元利用、一般財団法人による教職員を対象としたセミナー、研修会</td> </tr> <tr> <td>菅間小学校跡地</td> <td>民間事業者による生活支援ロボットコンテスト会場、チョウザメの飼育</td> </tr> <tr> <td>小田小学校跡地</td> <td>小田地域まちづくり振興会による利活用</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	利活用方策	筑波西中学校跡地	学校法人による広域通信制高等学校の設置・運営	山口小学校跡地	地元利用、一般財団法人による教職員を対象としたセミナー、研修会	菅間小学校跡地	民間事業者による生活支援ロボットコンテスト会場、チョウザメの飼育	小田小学校跡地	小田地域まちづくり振興会による利活用
	施設名	利活用方策									
	筑波西中学校跡地	学校法人による広域通信制高等学校の設置・運営									
	山口小学校跡地	地元利用、一般財団法人による教職員を対象としたセミナー、研修会									
	菅間小学校跡地	民間事業者による生活支援ロボットコンテスト会場、チョウザメの飼育									
	小田小学校跡地	小田地域まちづくり振興会による利活用									
	(2)高エネ研南側未利用地 ・全体利用を前提とした民間主導による土地利用の事業提案を募集し、その結果について、市民説明会を開催し、意見を伺った。 ・市議会において「高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会」が設置され、利活用方策についての調査・研究を行っている。 ・不法投棄された産業廃棄物を撤去し、地歴調査を実施した。										
	(3)春日消防本部跡地 ・筑波大学と市の連携事業について、市民説明会を開催して、意見を伺い、また、庁内関係部署と検討・調整を行い、利活用方策を決定した。 ・跡地の利活用を円滑に進めるため、地歴調査を実施した。										
	(4)上郷高校跡地 陸上競技場の整備検討について、庁内関係部署と検討・調整を行い、地元説明会を開催して、意見を伺った(市民部で検討中)。										
(5)庁舎跡地(谷田部庁舎跡地、荃崎庁舎跡地) ・過去に実施したサウンディング型市場調査や説明会等を踏まえ、庁内関係部署と検討・調整を行い、利活用モデルプランを作成した。 ・跡地の利活用を円滑に進めるため、地歴調査を実施した。											
(6)つくば市公有地利活用方策検討会の開催 多角的な観点から公有地の利活用等について検討するため、つくば市公有地利活用方策検討会開催要項を制定し、当検討会を開催した(令和元年5月9日要項施行)。 開催実績 令和元年6月4日(検討施設:筑波西中学校跡地) 令和元年7月2日(検討施設:山口小学校跡地、菅間小学校跡地、上郷高校跡地) 令和2年3月10日(検討施設:春日消防本部跡地、小田小学校跡地、菅間小学校跡地)											



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	22	本年	6,427		△ 5,873		554		389	70.1
				前年	2,744		△ 240		2,504		1,764	70.5
				比較	3,683		△ 5,633		△ 1,950		△ 1,375	-
【参考】前々年度				2,644	3,780			90	6,514		6,513	100.0

目的	<p>人口減少や少子高齢などの社会情勢等の変化により、つくば市内の土地利用について様々な変化が見られる。こうした状況を踏まえ、「多極ネットワーク型の持続可能でコンパクトなまちづくり」を進めるために、土地利用の動向調査や施策等の適正な進行管理を行い、市街地振興策の事業提案等を検討するため。</p>												
概要及び成果	<p>1 立地適正化計画に関する事業</p> <p>平成30年度に策定した、都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」の届出制度により、立地動向の把握ができ、将来的な人口減少や少子高齢化などに備えたコンパクトなまちづくりの促進を図るため。</p> <p>【成果】</p> <p>立地動向の事前把握ができた。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>届出件数</td> <td>18件</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	届出件数	18件	—	—	—	—
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
	届出件数	18件	—	—	—	—							
<p>2 土地利用政策に関する事業</p> <p>国土利用計画法に基づく土地取引の届出制度等により、総合的かつ計画的な土地利用を図るため。</p> <p>【成果】</p> <p>適正かつ合理的な土地利用の確保が図られた。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>届出件数</td> <td>47件</td> <td>54件</td> <td>65件</td> <td>68件</td> <td>33件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	届出件数	47件	54件	65件	68件	33件	
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度								
届出件数	47件	54件	65件	68件	33件								
<p>3 社会資本総合整備計画及び都市再生整備計画の進行管理</p> <p>社会資本整備総合交付金(国土交通省所管)の内、つくば駅周辺地域のインフラ整備等について都市再生整備計画事業に係る補助交付の活用に向けた総合調整を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>つくば駅周辺を計画区域とし、道路整備、公園整備等の要素事業を実施する都市再生整備計画事業を基幹事業とした社会資本総合整備計画の適正な進行管理を行い、社会資本整備総合交付金の要望等を行った。</p>													

事業名：学園地区市街地振興に要する経費

都市計画部 学園地区市街地振興室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	23	本年	24,517				24,517		22,211	90.6
				前年	23,786	1,456	1,134		26,376		22,735	86.2
				比較	731	△ 1,456	△ 1,134		△ 1,859		△ 524	-
【参考】前々年度					7,198		1,866	4,603	13,667	1,456	11,564	95.3

目的	<p>研究学園地区は、都市の概成から約40年が経過し、大規模店舗の閉店や公共施設等の老朽化、国家公務員宿舎の廃止・売却など様々な課題が健在化していることから、地域の資源や魅力を十分に活かした魅力あるまちづくりを推進するため。</p>
概要及び成果	<p>1 中心市街地再生事業 中心市街地において魅力あるまちづくりを進めるため、「つくば中心市街地まちづくりビジョン」を踏まえ、「つくば中心市街地まちづくり戦略(つくば駅周辺基本方針)」の策定に向けた検討及び、つくばセンタービルリニューアルに向けた検討、エリアマネジメント団体のあり方等の検討等を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)「つくば中心市街地まちづくり戦略(つくば駅周辺基本方針)」の策定に向けた検討 つくば中心市街地まちづくりビジョンを具現化するための戦略案を作成した。 ・パブリックコメントの実施(令和2年2月1日から2月28日、19人48件)</p> <p>(2)つくばセンタービルリニューアルに向けた検討 中心市街地の核となる施設であるつくばセンタービルのリニューアルに向け、区分所有者等の関係者等との意見交換を行った。 ・センタービル区分所有者等との意見交換(15回程度)</p> <p>(3)エリアマネジメント団体のあり方等の検討 つくばならではの資源を活用した取組みなど中心市街地に不足している取組を先導的に担うエリアマネジメント団体のあり方等を検討した。 ・つくば中心市街地エリアマネジメント検討委員会(委員13名、5回開催) ・31中心市街地エリアマネジメント検討業務委託によりあり方等の検討を行った。</p> <p>2 公共空間活用事業 ペDESTリアンデッキや公園、広場等の公共空間を活用し、にぎわい創出や都市に魅力向上を図るため、公共空間活用事業を実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>(1)つくばペデカフェ推進団体に登録している12団体において、24の取組みを実施した。 なお、取組の1つにつくばセンターマルシェについては、289日実施した。</p> <p>(2)つくばセンター広場において、日常的な居場所づくりを検討するため、屋外コワーキングスペースの実験を行った。 ・屋外コワーキングスペース(電源、無料Wifi)(令和元年10月15日から11月15日)</p> <p>(3)中央公園においてにぎわいや憩いの場となるような活用を行った。 ・手ぶらでバーベキュー(令和元年8月3日から10月27日のうち土日17日間)利用者数120組・641人 ・カヌー体験(令和元年8月3日から10月27日のうち土日17日間)利用者数188人</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	01	24	本年	38,328		800		39,128		38,248	97.8
				前年	9,685				9,685		9,613	99.3
				比較	28,643		800		29,443		28,635	-
【参考】前々年度						1,439		1,439		1,352	93.9	

目的 町村合併以前に生活の拠点として形成されてきた周辺市街地において、地域ならではの資源や強み、魅力を引き出しながら、自立的・持続的な地域づくりの推進を図るため。

1 周辺市街地活性化協議会の設立・周辺市街地活性化チャレンジ補助金の創設

【概要】

周辺市街地においてまちづくりのための組織として協議会を市街地毎に設立した。協議会に対し、事業に要する経費の一部として50万円を上限に補助することにより、地域の活性化を推進した。

【成果】

各協議会の周辺市街地活性化チャレンジ補助金を活用した主な事業

※高見原ふれあい会以外の7市街地で補助金を活用

協議会名	令和元年度の主な事業
北条街づくり振興会 青年部会	北条のまちづくりに関するアンケート(北条アンケート)を地域住民を対象に実施し、その結果を踏まえ、今後の地域づくりをテーマとした会議(北条大会議)を開催した。
小田地域 まちづくり振興会	旧小田小学校を活用した小田小交流プラザの管理開始に向け、初期投資として備品等の整備を行った。
大曽根・花畑・筑穂 地域活性化協議会	「大曽根・筑穂・花畑タウンマップ」を制作し、地域住民へ配布した。また、大穂交流センターでタウンマルシェを開催した。
吉沼、元気！協議会	地域の飲食店や酒蔵と連携し、「食と酒の祭in吉沼」を開催し、吉沼をPRした。
上郷市街地 活性化協議会	上郷の自然・歴史・文化を集約した「上郷なるほどMAP」を制作し、地域住民に配布した。また、上郷小学校等と連携し、児童向けに「防災の集い」を開催した。
栄市街地 活性化協議会	地域住民が気軽に集える場所として、地域の店舗の一部を賃貸し、地域の交流拠点として整備した。
谷田部市街地 活性化協議会	地域住民が気軽に集える場所として、商店街の空き店舗の1階部分を地域の交流拠点として整備した。
高見原ふれあい会	協議会設立に向け、発起人会を開催した。令和2年度協議会発足予定。

2 つくばR8地域活性化プランコンペティションの開催

【概要】

周辺市街地の活性化に結びつくプランを市内外から公募し、採択されたプランは市のサポートを受けながら、提案者自身が実施した。

【成果】

応募件数:47件 採択:4件

採択プラン	採択者	プランの概要・実施状況
わわわやたべや ～からくり伊賀七と進める 市街地活性化運動～	わわわやたべや 町民会議	谷田部出身の発明家「からくり伊賀七」を題材とした演劇の公演や地元和菓子店とタイアップし、伊賀七関連商品を販売するなど、伊賀七をテーマに地域活性化を推進した。
小田山を芝桜でキレイに 飾ろうプロジェクト！	小田地域 まちづくり振興会	小田山の登山口付近の耕作放棄地に芝桜を植栽し、景観向上や土砂崩れ・イノシシ被害の防止に繋げるプラン。芝桜の植栽は地域住民や登山客の協力を得て実施した。
旅する大八車と 小さなパレード	studio weekend	地域に眠る大八車を屋台等にリノベーションし、地域のイベント等で活用することで、地域に新たなつながりを生むプラン。大曽根・吉沼のイベントで活用された。また、北条では親子を対象に家具づくりのワークショップを開催した。
R8ロゲイニング	筑波大学芸術系 環境デザイン領域	筑波大学の教員・学生がロゲイニングを企画・運営し、地域を知るきっかけの創出や若者目線で地域の魅力発信を図るプラン。大曽根・吉沼・上郷で実施した。

概要及び成果

3 市街地カルテの作成・更新

【概要】

市街地カルテとは、各周辺市街地の現状や課題等のデータを整理するとともに、GISを活用して資源や魅力等を可視化した地図で、平成29年度に作成し毎年度情報を更新・追加している。

【成果】

令和元年度の更新・追加情報

対象市街地	8市街地(北条・小田・大曾根・吉沼・上郷・栄・谷田部・高見原)
更新した情報	人口・世帯数等の推移・空家の状況・生活利便施設や公共施設等の状況
追加した情報	周辺市街地活性化協議会及びつくばR8地域活性化プランコンペティション採択プランの実施状況

4 旧小田小学校を活用した地域拠点の整備

【概要】

廃校となった旧小田小学校の一部(3教室及び運動場など)を、地域主体で管理・運営していくことで地域コミュニティの拠点化を目指す。

【成果】

管理主体の決定や管理運営方法の検討、活用に向けたプレイベントの実施等を行った。また、活用に必要な最低限の改修工事(2教室にエアコン設置、トイレの改修等)を実施した。

プレイベントの実施状況		
日時	企画名	内容
2019年8月10日	活用報告会&かき氷イベント	活用方法等の検討過程を地域住民に説明するとともに、参加者にかき氷を提供し、交流を促進した。
2019年9月7日	事業創造アイデアソン	アイデアソンを行い、旧小田小を活用したプログラムを地域内外の参加者と共に検討した。
2019年11月9日・ 12月8日・2020年1 月25日	子ども映像教室	小田小学校に縁のある子供たちを対象に、小田をPRする映像を制作するワークショップを開催した。(計3回)
2020年3月21日・ 22日	プレオープニング (場づくりイベント)	交流拠点のオープンに向け、花壇の整備やサイクルスタンド制作をDIYで行った。※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、規模を縮小して実施

事業名：街路整備に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																														
08	04	02	11	本年	707,959	123,800	△ 268,391	△ 3,518	559,850	189,609	353,770	97.1																														
				前年	250,819	168,012	△ 27,900	△ 119	390,812	123,800	200,949	83.1																														
				比較	457,140	△ 44,212	△ 240,491	△ 3,399	169,038	65,809	152,821	-																														
【参考】前々年度					218,504	134,112			352,616	168,012	156,425	92.0																														
目的		筑波研究学園都市地区及びつくばエクスプレス沿線開発地区において、国補事業を有効に活用しながら、街路灯及び自転車レーン等の整備を進めることにより、市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図るため。																																								
概要及び成果		<p>1 街路灯整備工事</p> <p>【成果】</p> <p>街路灯設置及び歩道改修により、歩道の照度及び有効幅員が確保され、歩行者の安全が保たれた。</p> <p>街路整備工事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置数</td> <td>92 基</td> <td>66 基</td> <td>48 基</td> </tr> <tr> <td>施工延長</td> <td>1,387.6 m</td> <td>1,342.2 m</td> <td>694.9 m</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 道路改良舗装工事</p> <p>【成果】</p> <p>蓋無し側溝をボックス型側溝に改修し、路側帯をカラー舗装することで、歩行空間を確保し、通学路の安全が保たれた。</p> <p>道路改良舗装工事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線数</td> <td>9路線</td> <td>15路線</td> <td>2路線</td> <td>0路線</td> <td>3路線</td> </tr> <tr> <td>施工延長</td> <td>1,174.2m</td> <td>2,307.0m</td> <td>1,020.6m</td> <td>0.0m</td> <td>583.0m</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年度までは街路維持管理に要する経費で事業を執行していた。</p>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	設置数	92 基	66 基	48 基	施工延長	1,387.6 m	1,342.2 m	694.9 m		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	路線数	9路線	15路線	2路線	0路線	3路線	施工延長	1,174.2m	2,307.0m	1,020.6m	0.0m	583.0m
	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																							
設置数	92 基	66 基	48 基																																							
施工延長	1,387.6 m	1,342.2 m	694.9 m																																							
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																					
路線数	9路線	15路線	2路線	0路線	3路線																																					
施工延長	1,174.2m	2,307.0m	1,020.6m	0.0m	583.0m																																					

事業名：街路維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
08	04	03	11	本年	581,324	138,868		3,518	723,710		708,525	97.9																								
				前年	1,130,773	101,911	△ 141,200	119	1,091,603	138,868	921,593	97.1																								
				比較	△ 549,449	36,957	141,200	3,399	△ 367,893	△ 138,868	△ 213,068	-																								
【参考】前々年度					1,003,470	192,101	△ 132,487	4,167	1,067,251	101,911	925,590	96.3																								
目的		市が管理する研究学園中心部及びTX沿線地区の道路、水路の維持管理補修を行い、市民生活の安定を図るため。																																		
概要及び成果		<p>1 道路の維持管理</p> <p>(1) 小規模な街路補修・維持工事</p> <p>(2) 街路樹維持管理(剪定・伐採本数)</p> <p>【成果】</p> <p>舗装補修、側溝の改修、交通安全施設の設置・改修及び街路樹維持管理を行い、良好な都市環境を確保し、道路通行上の安全を確保した。</p> <p>(1) 小規模な街路補修・維持工事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事件数</td> <td>55件</td> <td>36件</td> <td>55件</td> <td>42件</td> <td>50件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 街路樹維持管理(剪定・伐採本数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>剪定・伐採本数</td> <td>4,226 本</td> <td>4,635 本</td> <td>3,936 本</td> <td>6,836 本</td> <td>6,836 本</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	工事件数	55件	36件	55件	42件	50件		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	剪定・伐採本数	4,226 本	4,635 本	3,936 本	6,836 本	6,836 本
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
工事件数	55件	36件	55件	42件	50件																															
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
剪定・伐採本数	4,226 本	4,635 本	3,936 本	6,836 本	6,836 本																															

事業名：公園建設に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	04	11	本年	676,685	163,161			839,846	271,851	567,412	99.9
				前年	363,035	159,668	△ 82,737		439,966	163,161	274,080	99.4
				比較	313,650	3,493	82,737		399,880	108,690	293,332	-
【参考】前々年度					325,738		30,560		356,298	159,668	134,994	82.7

目的

公園、緑地等の緑の空間を計画的に整備促進することにより、市民の憩いの場やレクリエーション、健康増進の場の創出を図り、文化的で充実した住環境の街づくりを推進するため。

概要及び成果

- 公園整備事業
  - (1)竹園サンパーク測量・基本・実施設計業務委託（ワークショップ開催）
  - (2)萱丸地区3号近隣公園測量・基本設計業務委託
  - (3)近隣公園用地除草業務委託(萱丸2・3・4号、島名香取台公園、中根・金田地区近隣公園用地)
  - (4)研究学園駅前公園遊具設置工事(大型遊具1基)
  - (5)萱丸源流の森(萱丸トンボ池)用地取得 7,938.88㎡
  - (6)島名・福田坪地区公園整備公共施設管理負担金
  - (7)近隣公園(香取台吉祥公園)、街区公園(春風台北・流星台北・流星台南・さくらの森・いろは公園)供用開始
  - (8)プレイパーク用地整備工事・給水設備設置工事

【成果】

新規公園面積

近隣公園	1 公園	2.0ha
街区公園	5 公園	1.38ha
プレイパーク用地	1 か所	

- 生け垣設置奨励補助金事業

【成果】

交付件数及び設置延長数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付件数	6 件	17 件	25 件	24 件	15 件
設置延長数	63 m	255 m	236 m	138 m	149 m

市民による生垣緑化を推進することで、緑豊かなまちなみづくりを進めることができた。

事業名：中根・金田台地区公園建設に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	04	12	本年	8,500				8,500		7,574	89.1
				前年	900,997		△ 36,272		864,725		864,670	100.0
				比較	△ 892,497		36,272		△ 856,225		△ 857,096	-
【参考】前々年度					996,436				996,436		995,988	100.0

目的

歴史緑空間用地を整備し、TX沿線の魅力ある新しいまちづくりの推進を図るため。

概要及び成果

- 中根・金田台地区公園整備事業
 

中根・金田台地区の歴史緑空間用地44.6ha(購入8.7ha、譲渡36ha)の維持管理及び歴史公園整備を実施する。

【成果】

安全に管理するために除草及び清掃業務を実施した。

事業名：公園維持管理に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	05	11	本年	887,157		2,647		889,804		884,749	99.4
				前年	842,078		△ 1,490		840,588		840,249	100.0
				比較	45,079		4,137		49,216		44,500	-
【参考】前々年度					824,340		21,238		845,578		843,183	99.7

目的

都市公園、その他の公園及びそれらの付帯施設の維持管理や修繕を実施し、景観及び機能を維持するため。

概要及び成果

- 1 公園の維持管理、修繕
- (1) 都市公園及びその他の公園等の維持管理委託 (410件 約646,600千円)
  - (2) 公園設備の保守点検 (18件 約6,400千円)
  - (3) 都市公園等の施設(電気、給排水設備、遊具、運動施設等)の修繕 (203件 約27,700千円)
  - (4) 運動施設及び管理用備品の購入 (19件 約1,000千円)
  - (5) 指定管理者による公園管理 (6公園 約82,000千円)
  - (6) 公園施設改修工事 (80件 約56,700千円)

【成果】

各有料施設の利用状況

施設		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
テニスコート	件数	35,639 件	35,133 件	34,926 件	36,937 件	37,127 件
	人数	177,572 人	175,236 人	185,821 人	198,193 人	200,774 人
野球場	件数	2,265 件	2,075 件	2,307 件	2,295 件	2,580 件
	人数	68,700 人	65,544 人	68,312 人	68,624 人	72,936 人
多目的広場	件数	383 件	348 件	299 件	502 件	312 件
	人数	18,518 人	20,864 人	20,220 人	23,280 人	19,487 人
総合計	件数	38,287 件	37,556 件	37,532 件	39,734 件	40,019 件
	人数	264,790 人	261,644 人	274,353 人	290,097 人	293,197 人

事業名：公園施設長寿命化対策に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	05	12	本年	39,000		△ 8,588		30,412		30,339	99.8
				前年	33,455		△ 7,936		25,519		25,287	99.1
				比較	5,545		△ 652		4,893		5,052	-
【参考】前々年度					74,257		△ 25,914		48,343		47,746	98.8

目的

公園施設長寿命化計画に基づき、市内公園施設及び遊具等について、老朽化に対する安全対策の強化、補修及び更新費用を平準化させて維持管理の縮減を図りながら適正な管理をするため。

概要及び成果

1 公園施設長寿命化対策更新工事

【成果】

地区公園 1公園、近隣公園 5公園

区分	公園名	施設名
地区公園	川口公園	ブランコ
近隣公園	高野台公園	複合遊具
	桜ニュータウン中央公園	滑り台、背伸ばしベンチ
	さくら交通公園	ブランコ
	竹園東公園	四阿
	羽成公園	木製デッキ、スカイロープ

2 公園施設長寿命化対策修繕工事

【成果】

運動公園 1公園、近隣公園 3公園、街区公園 2公園、その他の公園 1公園

区分	公園名	施設名
運動公園	さくら運動公園	給水設備修繕
近隣公園	松見公園	ブランコ修繕
	蓮沼公園	スプリング遊具修繕
	桜南スポーツ公園	四阿撤去
街区公園	春風台南公園	水飲み場修繕
	竹園サンパーク	パーゴラ撤去、遊具撤去
その他の公園	プレイパーク用地	案内看板



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	06	11	本年	34,981				34,981		32,876	94.0
				前年	39,388		△ 4,488		34,900		34,049	97.6
				比較	△ 4,407		4,488		81		△ 1,173	-
【参考】前々年度					35,911				35,911		34,664	96.5

目的

法務局に備え付けられている地図の内、地籍調査を行っていない地区の地図は、明治時代に作成された公図(字限図)に加除訂正を加えたものであり、不完全な箇所が極めて多い。また、当時の測量技術では実際の土地に比べ形などが整合しない欠点がある。国土調査法に基づき事業を実施することにより、これらの解消を図るため。

概要及び成果

1 国土調査法に基づく事業の実施

- (1) 調査区域の一筆地の土地ごとに所有者、地番及び地目の調査・測量を行い地籍簿・地籍図(縮尺500分の1)を作成し、その写しを法務局に送付する。
- (2) 法務局では登記事項の記載の変更を行うとともに新たに地籍図を備え付ける。
  - ①葛城Ⅲ地区(約0.53km<sup>2</sup>) \*成果の認証・登記 事業年度:平成29年度～令和元年度
  - ②葛城Ⅳ地区(約0.45km<sup>2</sup>) \*成果の閲覧 事業年度:平成30年度～令和2年度
  - ③葛城Ⅴ地区(約0.35km<sup>2</sup>) \*一筆地調査・測量 事業年度:令和元年度～令和3年度

【成果】

つくば市地籍調査進捗率

令和2年3月31日現在

地区名	筑波	大穂	豊里	桜	谷田部	荃崎	合計
計画面積(km <sup>2</sup> )(A)	41.51	13.27	15.12	23.10	35.16	17.20	145.36
調査面積(km <sup>2</sup> )(B)	40.42	11.65	15.12	23.10	18.76	17.20	126.25
未調査面積(km <sup>2</sup> )	1.09	1.62	0.00	0.00	16.40	0.00	19.11
進捗率(%) (B/A)	97.37	87.79	100.00	100.00	53.36	100.00	86.85

- (1) 公共事業の円滑化  
精度の高い地籍図に基づき事業計画・設計・用地買収等が円滑に行えた。
- (2) 土地の権利関係の明確化  
一筆地ごとの筆界・面積が登記事務に反映され、所有権が確実に保護された。
- (3) 公租・公課の負担の公平化  
土地の正確な地番・地目・地積の測定が行われ、課税等の公平化が図られた。

過去5年間の完了事業

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
地区名	葛城Ⅲ地区	葛城Ⅱ地区	手代木地区	館野地区	小野川Ⅱ地区
面積	約0.53km <sup>2</sup>	約0.61km <sup>2</sup>	約0.71km <sup>2</sup>	約0.39km <sup>2</sup>	約0.43km <sup>2</sup>
筆数	351筆	591筆	743筆	661筆	656筆
地権者数	約140名	約200名	約230名	約180名	約340名
地籍図	64枚	53枚	66枚	41枚	54枚
地籍簿	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊

事業名：共同溝維持管理に要する経費

建設部 道路管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	07	11	本年	17,673		396		18,069		17,963	99.4
				前年	17,366				17,366		16,941	97.6
				比較	307		396		703		1,022	-
【参考】前々年度					17,106		1,306		18,412		18,021	97.9

目的	研究学園都市に整備されている共同溝の維持管理を行うことにより、良好な都市環境を維持するため。											
概要 及び 成果	1 市中心部に設置されている共同溝の維持管理及び各占用企業者間の調整(占用企業者7者)											
	【成果】 巡視点検を月3回行い、不良個所の修繕を行った。 12月：換気ファン交換、電気設備修繕 2月：躯体維持補修、管理センター建屋修繕、排水ポンプ交換											
	2 年間巡視点検回数											
	【成果】 保守点検を行うことにより、占用物件の安全が確保できた。 年間巡視点検回数											
					令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度			
					点検回数	36回	36回	36回	36回	36回		

(建設部 公園・施設課)

事業名：センター広場・駅前広場維持管理に要する経費

都市計画部 学園地区市街地振興室/建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	08	11	本年	77,874				77,874		75,690	97.2
				前年	59,048			1,183	60,231		58,723	97.5
				比較	18,826			△1,183	17,643		16,967	-
【参考】前々年度					58,767	5,628		686	65,081		62,233	95.6

目的	各広場の機能維持及び環境の整備を図り、市民やつくば市を訪れる人々に憩いと安らぎの空間を提供するため。											
概要 及び 成果	1 センター広場・駅前広場の維持管理											
	(1) つくばセンター広場の設備及び植栽等の維持管理業務委託 ペDESTリアンデッキ、フォーラム、水景施設等のゴミや落ち葉等の清掃、植栽管理、設備の維持管理(保守・点検等)等を実施した。											
	(2) 駅前広場の適正な維持管理や修繕を行い、利用者への快適な環境を提供した。											
	【成果】 各広場の適正な維持管理及び設備の修繕等を行い、快適な環境を提供した。											
	2 センタービル及び地下自由通路負担金											
	(1) つくばセンタービル共用部分管理負担金											
	(2) つくば駅地下自由通路管理者負担金											
	【成果】 負担金の支出によって、関係機関と連携して適正な維持管理ができた。											

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	09	11	本年	9,328				9,328		6,434	69.0
				前年	9,374			429	9,803		7,163	73.1
				比較	△ 46			△ 429	△ 475		△ 729	-
【参考】前々年度					11,448				11,448		8,305	72.5

目的

建築基準法に規定する特定行政庁として、建築物の安全性確保のため、中間・完了検査の受検を誘導するとともに、違反建築物の是正の強化を推進し、建築規制の実効性を確保することにより、きめ細かな建築行政を推進するため。

概要及び成果

1 建築確認等事務事業

【成果】

事業名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
建築確認件数(民間機関)	50(2,243) 件	37(2,418) 件	37(2,360) 件	68(2,171) 件	48(1,966) 件
建築物の完了検査受検件数(民間機関)	41(1898) 件	23(2,139) 件	45(2,079) 件	63(1,869) 件	16(1,839) 件
建築基準法許可件数(48条・43条等)	22 件	28 件	12 件	14 件	26 件
長期優良住宅認定件数	673 件	849 件	875 件	679 件	694 件
中高層建築物協議件数	106 件	164 件	185 件	162 件	125 件
敷地認定件数	4 件	20 件	216 件	221 件	184 件
門塀等撤去補助事業申請(完了件数)	6(6) 件	10(8) 件	3(3) 件	8(8) 件	17(16) 件
建設リサイクル法届出件数(通知件数)	401(148) 件	469(130) 件	460(164) 件	460(45) 件	420(76) 件
ひとにやさしいまちづくり条例届出件数(審査済)	16(14) 件	12(11) 件	9(7) 件	7(5) 件	9(7) 件
バリアフリー法認定件数	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件
建築物省エネルギー法届出件数	144 件	179 件	179 件	201 件	128 件
各種証明書及び概要書の写しの発行件数	3,267 件	3,060 件	2,858 件	2,633 件	2,728 件
地区計画区域内における行為の届出件数	1,257 件	1,536 件	1,531 件	1,266 件	1,223 件
違反建築物調査パトロール回数	3 回	4 回	4 回	4 回	4 回

建築物の中間及び完了検査受検についての周知をはがきで行い、また、違反建築物調査パトロールを実施することにより、建築基準法上の違反建築等を防止するとともに、安心・安全な住環境づくりを推進することができた。

事業名：建築審査会に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
08	04	09	12	本年	846				846		446	52.8																		
				前年	781				781		454	58.1																		
				比較	65				65		△8	-																		
【参考】前々年度					920				920		695	75.5																		
目的				建築基準法に規定する同意や審査請求に基づく審議等を行うため、建築基準法第78条に基づき設置された建築審査会の円滑な運営を図るため。																										
概要及び成果				<p>1 建築審査会の開催</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>建築同意:5件 建築報告:4件</td> <td>建築同意:3件 建築報告:11件 諮問:2件</td> <td>建築同意:4件 建築報告:2件 諮問:1件</td> <td>建築同意:3件 建築報告:5件</td> <td>建築同意:9件 建築報告:9件</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築基準法に規定する委員7名(都市計画・法律・経済・建築・公衆衛生・行政分野)により構成された建築審査会で、建築基準法に規定する同意が得られ、地域の特性を反映した建築行政の役割を果たすことができた。</p>									年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	開催回数	2回	3回	4回	3回	4回	内 容	建築同意:5件 建築報告:4件	建築同意:3件 建築報告:11件 諮問:2件	建築同意:4件 建築報告:2件 諮問:1件	建築同意:3件 建築報告:5件	建築同意:9件 建築報告:9件
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
開催回数	2回	3回	4回	3回	4回																									
内 容	建築同意:5件 建築報告:4件	建築同意:3件 建築報告:11件 諮問:2件	建築同意:4件 建築報告:2件 諮問:1件	建築同意:3件 建築報告:5件	建築同意:9件 建築報告:9件																									

事業名：ホテル等建築審議会に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
08	04	09	13	本年	164				164		72	44.1																		
				前年	164				164		73	44.7																		
				比較							△1	-																		
前々年度					186				186		63	33.7																		
目的				市民の健全な生活環境の保全及び青少年の健全な育成を図ることを目的として制定された、「つくば市ラブホテルの建築等規制条例」第16条に基づいて設置された「つくば市ホテル等建築審議会」の円滑な運営を図るため。																										
概要及び成果				<p>1 ホテル等建築審議会の開催</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>諮問件数:1件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>諮問件数:1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>つくば市ラブホテルの建築等規制条例に規定する委員7名(学識経験者・関係行政機関の職員)により構成されたホテル等建築審議会において、ホテルの建築等に関し審議し、条例の適切な運用を図ることで、健全な生活環境が保たれた。</p>									年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	開催回数	1回	1回	1回	1回	2回	内 容	諮問件数:1件				諮問件数:1件
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
開催回数	1回	1回	1回	1回	2回																									
内 容	諮問件数:1件				諮問件数:1件																									

事業名：建築物の耐震化の促進に要する経費

都市計画部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	09	14	本年	3,305		△ 1,732		1,573		1,573	100.0
				前年	2,934		△ 2,225		709		709	100.0
				比較	371		493		864		864	-
前々年度					4,974		△ 3,138		1,836		1,836	100.0

目的	過去に起きた大規模地震の教訓を踏まえ、建築物の耐震化を推進していくことを目的とした「耐震改修促進計画」を策定し、民間住宅及び市有建築物の耐震化を図るため。																													
概要及び成果	1 建築物の耐震化の促進事業																													
	【成果】																													
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木造住宅耐震診断士派遣事業</td> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>14件</td> <td>20件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修補助事業</td> <td>0棟</td> <td>1棟</td> <td>0棟</td> <td>0棟</td> <td>1棟</td> </tr> </tbody> </table>												年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	木造住宅耐震診断士派遣事業	4件	6件	14件	20件	13件	木造住宅耐震改修補助事業	0棟	1棟	0棟	0棟	1棟
	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																								
	木造住宅耐震診断士派遣事業	4件	6件	14件	20件	13件																								
	木造住宅耐震改修補助事業	0棟	1棟	0棟	0棟	1棟																								
	耐震改修に関する啓発活動及び木造住宅耐震診断士派遣事業などを実施し、市民自らが地震に対する意識を高め、建築物の耐震化の推進に寄与することができた。																													
	2 市有建築物の耐震化事業																													
	【成果】																													
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震診断(学校を除く)</td> <td>0棟</td> <td>0棟</td> <td>0棟</td> <td>0棟</td> <td>0棟</td> </tr> <tr> <td>耐震改修(学校を除く)</td> <td>0棟</td> <td>2棟</td> <td>0棟</td> <td>1棟</td> <td>2棟</td> </tr> </tbody> </table>												年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	耐震診断(学校を除く)	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟	耐震改修(学校を除く)	0棟	2棟	0棟	1棟	2棟
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
耐震診断(学校を除く)	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟																									
耐震改修(学校を除く)	0棟	2棟	0棟	1棟	2棟																									
公共建築物については、平常時の利用者の安全確保だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保の観点から耐震化を図っている。																														

事業名： 駐車場・駐輪場に要する経費

建設部 公園・施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	10	11	本年	76,922		△ 1,216		75,706		74,900	98.9
				前年	72,224	6,404		△ 1,183	77,445	75,156	97.0	
				比較	4,698	△ 6,404	△ 1,216	1,183	△ 1,739	△ 256	-	
【参考】前々年度					70,050		2,900	△ 686	72,264	6,404	63,639	96.9

目的

駐車場及び自転車等駐車場の適正な管理を図り、市民の円滑な利用を促すため。

概要及び成果

1 駐車場及び自転車等駐車場の管理

- (1) つくばセンタービル地下駐車場の維持管理業務委託
- (2) つくば駅・研究学園駅・みどりの駅の駅前駐車場の維持管理業務委託
- (3) つくば駅周辺自転車等駐車場(計17か所)の施設管理、施設清掃、設備保守点検等業務委託
- (4) 研究学園駅・万博記念公園駅・みどりの駅前自転車等駐車場施設管理、施設清掃設備保守点検等業務委託
- (5) 放置自転車等の防止指導及び撤去業務委託
- (6) みどりの駅自転車等駐車場測量設計業務委託

【成果】

駐車場・駐輪場の適正な維持管理及び修繕等を行った。

つくば駅周辺自転車等駐車場利用状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
収容台数	3,395台	3,395台	3,395台	3,545台	3,544台
利用台数	2,885台	2,928台	2,899台	2,905台	2,870台
利用率	85%	86%	85%	82%	81%

放置自転車等の防止指導業務実績

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
警告件数	3,334件	4,013件	7,943件	13,705件	9,048件
口頭指導件数	706件	691件	706件	888件	1,017件

事業名：沿線コミュニティ支援に要する経費

都市計画部 沿線開発整備室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	11	11	本年	2,795				2,795		2,605	93.2
				前年	2,795				2,795		2,674	95.7
				比較							△ 69	-
【参考】前々年度					3,315				3,315		3,039	91.7
目的		まちづくり協議会及びみどりの、万博記念公園、研究学園の各駅前イルミネーション実行委員会の取り組みを支援することにより、地域コミュニティの形成を促進し、安心・安全な地域づくりを図るため。										
概要及び成果		<p>1 沿線コミュニティ支援事業</p> <p>つくばエクスプレス沿線開発区域の地権者や周辺集落の住民が組織するまちづくり協議会に対し、良好なまちづくりに資するための研修や周辺集落環境の保全活動等の支援を行う。</p> <p>また、つくばエクスプレス沿線開発区域内の新たな住民と周辺集落住民のコミュニティ形成と、安心・安全なまちづくりの推進を目的に、駅前イルミネーション事業の支援を行う。</p> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視察研修や周辺集落の美化活動など、住みよいまちづくりに向けたまちづくり協議会の自主的な取り組みを支援することができた。</li> <li>駅前イルミネーション事業の実施により、沿線開発区域内外の住民同士が交流する機会を創出することができた。</li> </ul> <p>イルミネーション実施期間：令和元年11月30日から令和2年2月28日まで 実施場所：研究学園駅前、万博記念公園駅前、みどりの駅前</p>										

事業名：景観緑地のある住宅地に要する経費

都市計画部 沿線開発整備室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)															
08	04	11	12	本年	6,277			2,513	8,790		7,892	89.8															
				前年	2,933				2,933		2,410	82.2															
				比較	3,344			2,513	5,857		5,482	-															
【参考】前々年度					3,080		△ 792		2,288		2,278	99.6															
目的		土地所有者と協働で進めてきた「景観緑地のある住宅地」の実現に向け、住宅地と一体となった緑地について、市と土地所有者とが「地上権設定契約」を締結し、土地所有者等が組織する管理組織が緑地の管理を実施することで、良好な景観形成を図るため。																									
概要及び成果		<p>1 土地所有者等が組織する管理組織が緑地の整備を行い、市はその緑地について、土地所有者と地上権設定契約を締結することで景観緑地を設置し、契約した土地の固定資産税、都市計画税相当額の地代を管理組織に支払う。また、新規契約を進めるため、土地所有者や土地購入予定者へ制度概要などについて説明会を実施する。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>さくらの森地区及び流星台地区において、緑地の所有者と地上権設定契約を進めた。</p> <p>景観緑地契約数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約区画数</td> <td>23</td> <td>76</td> <td>1</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>契約区画数(累計)</td> <td>172</td> <td>149</td> <td>73</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 景観緑地の所有者等からの損害賠償請求事件に対応するため、4月25日に法律事務所と訴訟委任契約を締結した。</p>											年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	契約区画数	23	76	1	72	契約区画数(累計)	172	149	73	72
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度																							
契約区画数	23	76	1	72																							
契約区画数(累計)	172	149	73	72																							

事業名：つくばエクスプレス利用促進に要する経費

都市計画部 総合交通政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	11	13	本年	257				257		155	60.4
				前年	290				290		213	73.6
				比較	△ 33				△ 33		△ 58	-
【参考】前々年度												

目的	つくばエクスプレス利用者の利便性を向上させるため、沿線市区と連携し、要望活動や勉強会等を開催・参加する。																																														
概要及び成果	<p>1 各団体との協議</p> <p>①つくばエクスプレス沿線都市連絡協議会 5月(総会) 11月(第1回幹事会・研修会) 2月(第2回幹事会・勉強会・首都圏新都市鉄道株式会社との意見交換会)</p> <p>②つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会 6月(第1回担当課長会議) 8月(首長懇談会及び意見交換会) 9月(7市首長と首都圏新都市鉄道意見交換会)</p> <p>③茨城県つくばエクスプレス三市推進協議会 5月(幹事会) 7月(総会) 2月(茨城県へ要望活動) 3月(首都圏新都市鉄道株式会社へ要望活動)</p> <p>④茨城県つくばエクスプレス等整備利用促進協議会 11月(国土交通省、つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟参画国会議員への要望活動)</p>																																														
	<p>2 TX利用者推移(駅別一日平均乗車人員)</p> <p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みどりの駅</td> <td>4,900</td> <td>4,700</td> <td>4,300</td> <td>4,000</td> <td>3,700</td> </tr> <tr> <td>万博記念公園駅</td> <td>3,300</td> <td>3,200</td> <td>3,000</td> <td>2,700</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>研究学園駅</td> <td>7,400</td> <td>7,400</td> <td>7,100</td> <td>6,800</td> <td>6,500</td> </tr> <tr> <td>つくば駅</td> <td>18,700</td> <td>18,800</td> <td>18,600</td> <td>18,400</td> <td>17,800</td> </tr> <tr> <td>つくば市内4駅合計</td> <td>34,300</td> <td>34,100</td> <td>33,000</td> <td>31,900</td> <td>30,600</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	みどりの駅	4,900	4,700	4,300	4,000	3,700	万博記念公園駅	3,300	3,200	3,000	2,700	2,600	研究学園駅	7,400	7,400	7,100	6,800	6,500	つくば駅	18,700	18,800	18,600	18,400	17,800	つくば市内4駅合計	34,300	34,100	33,000	31,900
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																										
みどりの駅	4,900	4,700	4,300	4,000	3,700																																										
万博記念公園駅	3,300	3,200	3,000	2,700	2,600																																										
研究学園駅	7,400	7,400	7,100	6,800	6,500																																										
つくば駅	18,700	18,800	18,600	18,400	17,800																																										
つくば市内4駅合計	34,300	34,100	33,000	31,900	30,600																																										



事業名：圏央道推進に要する経費

建設部 道路整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	12	11	本年	72,179	108,123	△ 36,800		143,502	20,200	102,707	85.6
				前年	133,447		△ 2,200		131,247	108,123	23,124	100.0
				比較	△ 61,268	108,123	△ 34,600		12,255	△ 87,923	79,583	-
【参考】前々年度					47				47		47	100.0
目的		圏央道の市内区間にスマートインターチェンジを設置することにより、つくばエクスプレス沿線開発地区への企業進出等による地域や経済の活性化、高速道路の利便性向上、広域的な観光振興への寄与及び災害時における防災機能の強化を図るため。										
概要及び成果		<p>1 (仮称)つくばスマートインターチェンジの整備</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 東日本高速道路(株)は、市と締結した年度契約に基づき、スマートインターチェンジの連絡等施設詳細設計や幅杭設置測量等を実施した。</p> <p>(2) 市は、東日本高速道路(株)との用地事務委託協定に基づき、用地取得に向けた事前準備を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地測量業務、土地評価算定、不動産鑑定及び補償算定業務を実施した。</li> <li>・各地権者に用地測量結果に基づいた土地や物件等の説明を行った。</li> </ul>										

事業名：つくばエクスプレス関連土地区画整理事業に要する経費

都市計画部 沿線開発整備室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																				
08	04	13	11	本年	230,128	92,791			322,919	147,455	175,002	99.9																																				
				前年	147,533	39,087			186,620	92,791	93,554	99.9																																				
				比較	82,595	53,704			136,299	54,664	81,448	-																																				
【参考】前々年度					63,202	58,444			121,646	39,087	82,464	99.9																																				
<p>目的</p> <p>TX沿線土地区画整理事業の施行者が行う、都市計画道路(市道)の整備に要する費用の一部を市が負担することにより、土地区画整理事業の円滑な推進を図るため。</p>																																																
<p>概要及び成果</p> <p>1 茨城県との費用負担協定の締結及び負担金の支払い</p> <p>【成果】</p> <p>都市計画道路の整備に要する費用の一部を負担した結果、土地区画整理事業の円滑な推進が図られた。</p> <p>地区別負担金額 (前年度繰越分を含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>島名・福田坪</td> <td>43,396,000円</td> <td>39,970,500円</td> <td>26,484,930円</td> <td>14,982,210円</td> <td>20,799,900円</td> </tr> <tr> <td>上河原崎・中西</td> <td>131,440,200円</td> <td>53,475,800円</td> <td>55,872,000円</td> <td>26,014,320円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>葛城</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>萱丸</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>中根・金田台</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※葛城地区の負担金の支払いは平成23年度、萱丸地区と中根・金田台地区の支払いは平成26年度に終了。</p> <p>※葛城地区:平成26年6月27日換地処分                  ※萱丸地区:平成28年5月20日換地処分                  ※中根・金田台地区:平成30年11月22日換地処分</p>													地区名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	島名・福田坪	43,396,000円	39,970,500円	26,484,930円	14,982,210円	20,799,900円	上河原崎・中西	131,440,200円	53,475,800円	55,872,000円	26,014,320円	0円	葛城	0円	0円	0円	0円	0円	萱丸	0円	0円	0円	0円	0円	中根・金田台	0円	0円	0円	0円	0円
地区名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																											
島名・福田坪	43,396,000円	39,970,500円	26,484,930円	14,982,210円	20,799,900円																																											
上河原崎・中西	131,440,200円	53,475,800円	55,872,000円	26,014,320円	0円																																											
葛城	0円	0円	0円	0円	0円																																											
萱丸	0円	0円	0円	0円	0円																																											
中根・金田台	0円	0円	0円	0円	0円																																											

事業名：つくば中央インター北土地区画整理に要する経費

建設部 道路計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	04	14	11	本年	51,965		1,888		53,853	53,566	131	99.7
				前年								
				比較	51,965		1,888		53,853	53,566	131	-
【参考】前々年度												
<p>目的</p> <p>つくば中央インター北側の約69haの区域において、土地区画整理事業によるまちづくり事業化を推進し、土地区画整理組合を設立することを目的とした「つくば中央インター北土地区画整理組合設立準備会」が平成30年8月に発足し、つくば市へ届出が提出された。それを受け、早期の土地区画整理組合設立認可を目的として、「つくば市土地区画整理組合助成規則」に基づき助成を行うため。</p>												
<p>概要及び成果</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市土地区画整理組合助成規則第5条に基づき、準備組合運営費や組合の設立認可に必要な図書の作成費及びこれに伴う測量、調査設計費の補助金交付を行う。</li> <li>土地区画整理法第75条第1項に規定する技術的援助を実施する。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>準備組合運営費や組合の設立認可に必要な測量、調査設計費に係る補助金の申請に対し、補助金の交付決定を行った。これにより土地区画整理組合設立に向けた事業の促進が図られた。</li> <li>庁内外の関係機関と協議を実施し、土地区画整理組合設立に必要な行政手続の洗い出しを行うことにより、土地区画整理組合設立の目標年度を設定した。また、これを準備会及び関係機関と共有することにより、今後、円滑な手続が期待できる。</li> </ul>												

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	05	01	11	本年	113,995			1,317	115,312		114,740	99.5
				前年	126,114				126,114		123,064	97.6
				比較	△ 12,119			1,317	△ 10,802		△ 8,324	-
【参考】前々年度					122,770				122,770		120,013	97.8

目的

住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で市営住宅を賃貸し、入居者に良好な住環境を提供するための維持管理を実施することで、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため。

概要及び成果

1 市営住宅の申込みから入居に至るまでの事務全般を、一部民間事業者に業務委託し実施

【成果】

入居申込及び新規入居件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
入居申込件数	73件	69件	81件	82件	227件
新規入居件数	22件	22件	26件	22件	40件

・市営住宅の入居については、年4回の定期募集により申し込みを受け付け、厳正な資格審査を行ったうえで、決定している。ただし、随時募集(平成24年度より募集中止)の待機者については不定期の入居となる。

2 家賃滞納者への徴収に伴う事務を、一部民間事業者に業務委託し実施

【成果】

家賃滞納者対応

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
訪問による滞納家賃納付指導件数	1,288件	1,378件	1,472件	1,566件	1,869件
住宅使用料督促状送付件数	1,295件	1,420件	1,342件	1,529件	1,568件

3 市営住宅及び関連施設等の維持管理業務を実施

【成果】

業務委託による維持管理の実施件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
住宅等の維持管理業務委託件数	24件	22件	22件	26件	23件

4 住宅及び関連施設等の機能回復または維持のための修繕業務を実施

【成果】

修繕件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
住宅等の修繕件数	275件	220件	253件	282件	225件

・令和元年度は、入居住宅の設備等の修繕及び新規入居者向け空室修繕及び罹災者対応住宅としての空室修繕を実施した。

5 市営住宅入居者の退去に伴う事務全般及び現地での退去検査を一部民間事業者に委託し実施

【成果】

退去件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
退去件数	54件	46件	46件	43件	40件

事業名：住宅政策に要する経費

建設部 住宅政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
08	05	02	11	本年	287,560		△ 139,805	△ 1,317	146,438		145,056	99.1
				前年	280,574		△ 171,361		109,213		105,909	97.0
				比較	6,986		31,556	△ 1,317	37,225		39,147	-
【参考】前々年度					185,003	77,566	△ 108,409		154,160		134,766	87.4
目的				「住生活基本計画」(全国計画)及び「茨城県住生活基本計画」に基づき、つくば市における住宅政策に係る現状、課題等を把握し、住宅施策を総合的かつ計画的に推進し、住宅セーフティネットの確保や住生活の質の向上を図るため。								
概要及び成果				<p>1 社会資本整備総合交付金を活用した市営住宅の改修 「つくば市市営住宅長寿命化計画」に基づいて、長寿命化を図り居住性を向上させるため、改修工事を実施した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室改修工事:駒形団地2号棟(32戸)、ひがし谷田川団地1号棟(24戸)</li> <li>・屋根外壁改修工事:戸ノ山団地5号棟</li> </ul> <p>2 つくば市マンション連絡会への協力 平成24年度に発足した、つくば市マンション連絡会へマンション居住者間の情報交換の場を提供し、活動を支援した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月にマンション連絡会と共催でセミナーを実施した(参加者23名)。</li> </ul>								

事業名：消防総務に要する経費

消防本部 消防総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	11	本年	51,456				51,456		45,326	88.1
				前年	52,648				52,648		49,897	94.8
				比較	△ 1,192				△ 1,192		△ 4,571	-
【参考】前々年度					39,740				39,740		38,837	97.7

目的 消防活動や消防事務の円滑な推進と災害の実情に応じた質の高い消防防災能力を有した消防職員を育成し、市民の生命・身体及び財産を守ることを使命とする消防責務の一層の向上を図るため。

1 消防の職務遂行上必要とされる専門的な知識と技術を習得する研修教育の実施

【成果】

研修教育先	科目	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
消防庁消防大学校	幹部科	0人	0人	1人	0人	0人
	警防科	0人	0人	0人	0人	0人
	救助科	0人	0人	0人	1人	0人
	危険物科	1人	0人	0人	0人	0人
	緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース	1人	0人	0人	1人	1人
	緊急消防援助隊教育科NBCコース	1人	0人	0人	1人	1人
	高度救助・特別高度救助コース	0人	1人	1人	0人	0人
	査察マネジメントコース	0人	1人	0人	0人	0人
茨城県立消防学校	初任科	22人	30人	8人	10人	9人
	特殊災害科	3人	2人	1人	1人	1人
	火災調査科	1人	1人	1人	1人	1人
	救助科	3人	2人	2人	2人	1人
	救急科	4人	3人	0人	7人	0人
	予防査察科	1人	0人	1人	0人	1人
	危険物科	0人	1人	0人	1人	0人
	警防科	2人	1人	1人	1人	1人
茨城県救急業務 高度化推進協議会	操法指導者研修会	1人	1人	1人	1人	1人
	処置拡大研修	0人	2人	1人	7人	5人
	気管挿管再教育講習会	5人	1人	5人	6人	7人
救急救命研修所	基本特定行為再講習	2人	4人	1人		
	救急救命士養成研修	1人	1人	1人	0人	0人
	指導的救命士養成研修	1人	1人	1人	1人	0人
地方公務員安全衛生推進協会	処置拡大研修	0人	0人	0人	1人	1人
	消防職員安全衛生研修会	4人	4人	4人	2人	1人
茨城県公安委員会	安全運転管理者講習会	0人	4人	3人	3人	3人
陸上自衛隊化学学校	化学災害担当職員等教育訓練	0人	0人	0人	1人	0人
警察庁科学警察	化学災害研修	0人	0人	1人	1人	0人
茨城県危険物安全協会連合会	危険物取扱保安講習会	3人	3人	3人	3人	0人
筑波大学	惨事ストレス初級研修	2人	2人	0人	0人	0人
計		58人	66人	37人	52人	34人

2 交替制勤務に必要な日用品及び共有消耗品等の計画的な執行

【成果】

物品調達計画に基づき、年度2回の調達事務が効率的かつスムーズに執行でき、また、各所属の消耗品予算執行の明確化及び在庫管理の適正化が図られた。

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	12	本年	5,683				5,683		4,837	85.1
				前年	9,710				9,710		8,796	90.6
				比較	△ 4,027				△ 4,027		△ 3,959	-
【参考】前々年度					5,937				5,937		5,410	91.1

目的	概要及び成果																																				
消防法令等に基づき、消防機関が実施すべき許可、認可、同意、検査等の事務により防火対象物、危険物施設及び火薬類を法令に適合した秩序ある状態に維持管理し、並びに市民に対する火災予防火報等の事業を実施することにより市民生活の安全と安心を確保するため。																																					
1 建築確認申請における建築主事等に対する消防同意事務	【成果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防同意件数</td> <td>409件</td> <td>529件</td> <td>500件</td> <td>518件</td> <td>461件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	消防同意件数	409件	529件	500件	518件	461件																								
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
消防同意件数	409件	529件	500件	518件	461件																																
2 防火対象物への消防用設備等の設置指導及び検査	【成果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防用設備等検査済証交付件数</td> <td>422件</td> <td>389件</td> <td>390件</td> <td>358件</td> <td>325件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	消防用設備等検査済証交付件数	422件	389件	390件	358件	325件																								
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
消防用設備等検査済証交付件数	422件	389件	390件	358件	325件																																
3 危険物施設に対する設置、変更許可及び検査並びに火薬類取締法における許可	【成果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険物施設の許可件数</td> <td>64件</td> <td>66件</td> <td>58件</td> <td>37件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>危険物施設の検査件数</td> <td>76件</td> <td>48件</td> <td>58件</td> <td>39件</td> <td>57件</td> </tr> <tr> <td>火薬類取締法における許可件数</td> <td>22件</td> <td>21件</td> <td>17件</td> <td>22件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	危険物施設の許可件数	64件	66件	58件	37件	39件	危険物施設の検査件数	76件	48件	58件	39件	57件	火薬類取締法における許可件数	22件	21件	17件	22件													
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
危険物施設の許可件数	64件	66件	58件	37件	39件																																
危険物施設の検査件数	76件	48件	58件	39件	57件																																
火薬類取締法における許可件数	22件	21件	17件	22件																																	
4 防火対象物及び危険物施設への立入検査及び違反事項に対する是正指導	【成果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防火対象物立入検査件数</td> <td>423件</td> <td>549件</td> <td>1,027件</td> <td>650件</td> <td>805件</td> </tr> <tr> <td>危険物施設立入検査件数</td> <td>300件</td> <td>338件</td> <td>324件</td> <td>356件</td> <td>331件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	防火対象物立入検査件数	423件	549件	1,027件	650件	805件	危険物施設立入検査件数	300件	338件	324件	356件	331件																		
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
防火対象物立入検査件数	423件	549件	1,027件	650件	805件																																
危険物施設立入検査件数	300件	338件	324件	356件	331件																																
5 防火管理者及び防災管理者の資格取得講習並びに甲種防火管理者及び防災管理者に対する再講習	【成果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲種防火管理者資格取得者</td> <td>173件</td> <td>157件</td> <td>201件</td> <td>246件</td> <td>466件</td> </tr> <tr> <td>乙種防火管理者資格取得者</td> <td>56件</td> <td>47件</td> <td>33件</td> <td>48件</td> <td>52件</td> </tr> <tr> <td>防災管理者資格取得者</td> <td>26件</td> <td>46件</td> <td>37件</td> <td>45件</td> <td>158件</td> </tr> <tr> <td>甲種防火管理者再講習受講者</td> <td>28件</td> <td>32件</td> <td>63件</td> <td>230件</td> <td>54件</td> </tr> <tr> <td>防災管理者再講習受講者</td> <td>30件</td> <td>22件</td> <td>44件</td> <td>30件</td> <td>21件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	甲種防火管理者資格取得者	173件	157件	201件	246件	466件	乙種防火管理者資格取得者	56件	47件	33件	48件	52件	防災管理者資格取得者	26件	46件	37件	45件	158件	甲種防火管理者再講習受講者	28件	32件	63件	230件	54件	防災管理者再講習受講者	30件	22件	44件	30件	21件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
甲種防火管理者資格取得者	173件	157件	201件	246件	466件																																
乙種防火管理者資格取得者	56件	47件	33件	48件	52件																																
防災管理者資格取得者	26件	46件	37件	45件	158件																																
甲種防火管理者再講習受講者	28件	32件	63件	230件	54件																																
防災管理者再講習受講者	30件	22件	44件	30件	21件																																
6 事業所、自治会、区会等に対する防火及び防災指導	【成果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自衛消防訓練、防火講話等出向件数</td> <td>419件</td> <td>459件</td> <td>467件</td> <td>457件</td> <td>454件</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	自衛消防訓練、防火講話等出向件数	419件	459件	467件	457件	454件																								
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
自衛消防訓練、防火講話等出向件数	419件	459件	467件	457件	454件																																
7 各種イベント等による火災予防火報活動	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) つくばフェスティバル、文化祭等における火災予防火報活動</li> <li>(2) イベント出展及び戸建て住宅等戸別訪問による住宅用火災警報器の普及啓発活動</li> <li>(3) 消防車両による火災予防火報、のぼり旗、看板及び横断幕の掲出による火災予防火報活動</li> </ul>																																				

## 8 火災調査、火災統計、り災証明書の交付等の事務

## 【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
火災調査及び火災統計件数(暦年)	66件	76件	74件	65件	78件
り災証明書交付件数	40件	75件	56件	55件	40件

## 9 消防音楽隊の育成及び火災予防広報

## 【成果】

まつりつくば、つくばマラソンその他のイベントで、火災予防PRのための演奏を行い、防火思想の普及啓発に貢献した。

## 10 幼年、少年、婦人防火委員会の運営(事務局)

## 【成果】

- (1) 幼年消防クラブ(全11クラブ)で花火教室を実施するとともに、火災予防啓発用品を配布した。
- (2) まつりつくばに幼年消防クラブ員が参加し、横断幕掲示による防火パレードを実施して、広く市民に対し防火思想の普及が図られた。
- (3) 幼年消防クラブ員が、消防署の見学を通じて消防の仕事に対する理解及び火災予防における知識の習得が図られた。
- (4) 茨城県防火大会において、クラブ及びクラブ指導者が表彰された。  
(クラブ表彰1団体、個人表彰1名)

上記のとおり、消防業務上重要となる防火対象物、危険物施設及び火薬類に対する火災予防に効果が認められたほか、火災予防広報活動により市民の防火・防災意識の高揚を図ることができ、市民に対して安全で安心な生活環境を提供することができた。

事業名：警防業務に要する経費

消防本部 消防救助課/救急課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	13	本年	36,973				36,973		34,595	93.6
				前年	28,583				28,583		25,869	90.5
				比較	8,390				8,390		8,726	-
【参考】前々年度					23,776		3,076		26,852		25,023	93.2

## 目的

消防法に定められている消防活動、救急活動及び救助活動等の業務全般(警防活動)について、人員・施設を効果的に活用し、併せて、火災等の災害防除活動を円滑に実施することにより、災害等から市民を守る消防業務を遂行するため。

## 1 つくば市、常磐道及び圏央道(分担区域)に発生した火災等の災害(救急を含む)出動件数

## 【成果】

年間9,800件を超える災害等に出場し対処することで、市民の安寧秩序の増進に資することができた。

災害等出場状況(4月1日から3月31日)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
火災	61件	76件	71件	80件	72件
救急	9,169件	9,537件	9,196件	8,855件	8,590件
救助	159件	170件	170件	164件	144件
災害	465件	535件	417件	392件	296件
合計	9,854件	10,318件	9,854件	9,491件	9,102件

## 2 応急処置を市民に普及啓発するための救急講習会

## 【成果】

応急手当及び救急処置(心肺停止患者に対する心肺蘇生法、AED操作)要領を習得することにより、市民が積極的に救急車到着前の応急救護にかかわることで、救命率の向上が期待できる。

救急講習会実施状況

種別	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
上級	6件	96人	11件	147人	12件	159人	9件	121人	9件	133人
普通Ⅰ	134件	2,338人	135件	2,472人	146件	2,932人	153件	3,035人	177件	3,966人
普通Ⅱ	0件	0人	2件	24人	3件	54人	1件	17人	0件	0人
普通Ⅲ	40件	790人	39件	744人	42件	713人	36件	604人	20件	364人
その他	100件	1,802人	86件	2,006人	81件	1,974人	86件	2,250人	295件	2,498人
合計	280件	5,026人	273件	5,393人	284件	5,832人	285件	6,027人	501件	6,961人

※上級(8時間講習)、普通Ⅰ(3時間講習)、普通Ⅱ(4時間講習)、普通Ⅲ(小児に対する救急法)

その他とは、上級及び普通講習の修了証を交付できない短時間講習を指す。

## 3 大規模災害対応訓練

## 【成果】

各種災害対応訓練において、実践的訓練、消防応援体制の構築及び関係各機関との連携強化が図られた。

- ・G20茨城つくば貿易デジタル・経済大臣会合に伴うテロ対策訓練(4月4日・5月20日)
- ・土砂災害対応訓練(7月29日)
- ・茨城県消防長会後方支援合同訓練(10月7日)
- ・林野火災対応訓練(12月10日)
- ・航空機事故対応合同訓練(2月23日)

## 概要及び成果



事業名：消防指令業務に要する経費

消防本部 消防指令課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	01	14	本年	180,040		△ 7,974		172,066		170,686	99.2
				前年	64,175				64,175		62,790	97.8
				比較	115,865		△ 7,974		107,891		107,896	-
【参考】前々年度					53,523		△ 6,981		46,542		45,005	96.7

目的 消防指令システムを適正に維持管理・運用することにより、119通報受付・指令管制業務を適正に実施し、災害に強いまちづくりを進めるため。

1 高機能消防指令センター部分更新事業

【成果】

高機能消防指令センターはコンピューター技術と通信技術を駆使し、災害種別や規模に応じた緊急車両の出動および動態管理など、一連の処理を自動化し迅速かつ確実な指令管理能力を備えた装置で、一刻を争う火災、救急、救助等の出場指令までの時間を短縮するなど、最も重要な初動体制を図るシステムである。導入から5年間、24時間365日停止することなく稼働し続け、機器の劣化によるシステムダウンの危険性が高くなったため、構成する206台の装置及び機器等の交換を実施したことにより、指令システムの安定稼働の持続が図れた。

2 消防本部及び各署の通信指令施設の運用並びに保守点検整備事業

【成果】

通信指令施設、無線装置等を保守点検委託することにより、指令管制業務の適正運用が図れた。

119番着信件数

(単位:件)

	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
火災	108	113	125	101	108
救急	9,302	9,316	8,875	8,616	8,203
救助	97	79	73	73	63
災害	123	102	89	128	275
その他	3,333	3,262	2,895	3,433	4,792
計	12,963	12,872	12,057	12,351	13,441

※119番着信件数については、1月1日から12月31日までの期間です。

※通報件数であり、火災・救急・救助・災害件数と異なります。

※その他にあつては、まちがい・同報・問い合わせ・試験等

音声以外の緊急通報および多言語通報件数

(単位:件)

	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
ネット119	2	2			
ファックス119	31	31	34	35	30
多言語通報	17	15			

※ネット119は、平成30年12月1日運用開始

※ファックス119の通報件数は試験通報を含む。

※多言語通報は、平成30年5月14日運用開始した多言語コールサービス(19言語対応)を利用して3者通話した件数

3 署活動系携帯型無線機購入事業

【成果】

署活動系携帯型無線機6台を新規購入し計82台となった。それにより、不足分を補って各隊員に適正配備し、災害活動時の連絡手段、指揮命令の一本化、情報の共有化を図ることができ、有効な災害活動につながった。

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	02	11	本年	177,889		△ 1,645		176,244		157,153	89.2
				前年	177,887		△ 9,207		168,680		151,680	89.9
				比較	2		7,562		7,564		5,473	-
【参考】前々年度					181,411		△ 6,587		174,824		162,017	92.7

目的

消防団員の強固な消防精神を養成し、厳正な規律と旺盛な士気のもとに教育訓練を行い、消防技術の向上と技能の高度化に努め、消防体制を強化するため。また、つくば市消防団の円滑な運営を図り、市民の安全安心に寄与するため。

1 消防技術向上事業

【成果】

実施日	内 容	参加人数
令和元年5月12日(日)	新分団長及び3年未満団員規律訓練	112人
令和元年6月16日(日)	幹部規律訓練(班長以上)	216人
令和元年5月～10月	消防ポンプ操法訓練	延2,923人
令和元年10月20日(日)	消防ポンプ操法県南北部地区大会	6支団
令和元年11月10日(日)	つくば市消防団秋季点検	480人
令和2年1月13日(月)	つくば市消防団出初式	約800人
通年	救急講習会指導(女性消防団)	延278人
通年	幼児防火教室(女性消防団)	延65人

- (1) 新分団長及び入団後3年未満の団員については、規律訓練を実施することにより、消防の基礎となる訓練礼式を習得させ、消防団としての伝達命令等の一元化が図られた。
- (2) 幹部規律訓練については、各分団班長以上の役員に対し、消防団役員及び消防本部職員の指導により通常点検要領等の分団幹部としての技術の習得が図られた。
- (3) 消防ポンプ操法訓練については、消火活動の基本訓練であり、この訓練において分団の組織強化が図れるとともに、有事の際における円滑な消防体制の確立を図ることができた。
- (4) 第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会に「つくば市、つくばみらい市、土浦市、石岡市、かすみがうら市」の14チームが参加し、消防技術の向上が図られた。
- (5) 全国火災予防運動に合わせて、各支団毎に秋季点検を実施し、火災予防の意識高揚を図った。
- (6) 消防団出初式については、永年勤続等の表彰及び車両観閲式を実施し消防体制の強化が図られた。
- (7) 女性消防団員については、年間を通し救命講習会の指導(115回)、幼児防火教室(13回)等を実施し、市民に対し火災予防意識の高揚を図った。

概要及び成果

2 消防団運営事業

【成果】

定数 1,200人

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
分団数	47分団	48分団	48分団	48分団	51分団
団員数	1,048人(33)	1,074人(29)	1,065人(30)	1,095人(32)	1,192人(37)
火災等出動件数	73件	92件	97件	99件	72件
出動人員	2,318人	3,198人	3,436人	3,744人	2,308人
警戒等	695回	554回	482回	482回	494回
出動人員	2,094人	1,706人	1,474人	1,490人	1,526人

( )は女性消防団員数

消防団員報酬については、10月と3月に、出動手当等については、四半期毎に支払いを行い、適正な分団運営に寄与した。

令和元年12月から翌年2月まで、市内全域で夜間警戒パトロールを実施し、火災の未然防止に努めた。

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	02	12	本年	115,783	4,004			119,787	4,935	108,006	94.3
				前年	93,947		3,899		97,846	4,004	85,794	91.8
				比較	21,836	4,004	△ 3,899		21,941	931	22,212	-
【参考】前々年度					74,355	7,009	△ 8,796	498	73,067		69,859	95.6

目的	災害に強いまちづくりを目指す上で必要な、災害備蓄品の確保や関連施設の維持管理を行う。災害発生時の対応について訓練を行うことにより迅速な災害対応や防災意識の向上を図るため。												
概要及び成果	1 災害用備蓄品の購入(2万人、3日間分をH31～R5で備蓄予定。以降毎年更新する) <b>【成果】</b> ・5か年計画で備蓄を進めており、計画どおり備蓄した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>災害用備蓄品</th> <th>令和元年度</th> <th>累計</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラッカー</td> <td>45,024食</td> <td>222,056食</td> <td>210,000食</td> </tr> <tr> <td>保存水500ml</td> <td>620箱(24本入り)</td> <td>3,706箱</td> <td>3,700箱</td> </tr> </tbody> </table> ・茨城県立つくば特別支援学校へ学校防災倉庫設置 1棟 ・令和元年度主な備蓄購入品 幼児用液体ミルク、可搬型発電機、授乳服、救急メンテナンスキット、携帯用トイレ、ブルーシート、土のう袋、LEDランタン、簡易型避難所用テント、アルミロールマット	災害用備蓄品	令和元年度	累計	目標	クラッカー	45,024食	222,056食	210,000食	保存水500ml	620箱(24本入り)	3,706箱	3,700箱
	災害用備蓄品	令和元年度	累計	目標									
	クラッカー	45,024食	222,056食	210,000食									
	保存水500ml	620箱(24本入り)	3,706箱	3,700箱									
	2 市民への啓発活動・活動支援 <b>【成果】</b> ・市総合防災ガイドマップ(ハザードマップ)を8,000部増刷し、転入者、希望者、防災イベント時に配布 ・HPにて市総合防災ガイドマップ(ハザードマップ)や避難勧告等に関するガイドラインの周知 ・自主防災活動促進パンフレット全区会配布 ・防災等番組制作・放送委託(ラヂオつくば) ・出前講座 家庭で始める防災対策 28回 地区防災計画説明会 1回 ・自主防災組織活動育成事業費補助金 運営支援等補助金 2件 資機材等補助金 4件 ・シェイクアウト訓練の実施(令和元年9月) 169団体47,634名参加												
3 防災関連施設の維持管理 <b>【成果】</b> いつ発生するかわからない災害に対して、防災拠点となる施設の維持管理を行ない、災害に備えた。 災害用深井戸電気保安業務委託 災害用深井戸ポンプ点検委託 森の里広場雑草除去委託 防災行政無線保守点検委託(同報系) 災害用深井戸水質検査委託 雨量計(POTEKA)設置 保守点検委託													
4 防災関連施設の整備 <b>【成果】</b> 災害リスクが高い地域に防災行政無線の整備を行った。 防災行政無線設置工事 7基設置													
5 土砂災害防災訓練 <b>【概要】</b> 突発的に発生する土砂災害に備えるため、土砂災害警戒区域内に位置する要配慮者施設利用者の救助訓練及び避難訓練と福祉避難所への受入訓練を実施した。 <b>【成果】</b> 令和元年7月に、社会福祉法人筑峯学園、茨城県立つくば特別支援学校、つくば北警察署、つくば市社会福祉協議会、消防本部、市職員計175名が参加し、要配慮者施設利用者の避難訓練や救助訓練、福祉避難所への受入訓練を実施した。要配慮者施設や福祉避難所、市関係部署間の情報伝達や情報共有、地域防災計画や災害時行動マニュアル、要配慮者施設が作成した避難計画、福祉避難所マニュアル等に則った災害対応、受入に必要な課題について確認できた。													

事業名：国民保護に要する経費

市長公室 危機管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	02	13	本年	476				476		295	61.9
				前年	2,418				2,418		2,203	91.1
				比較	△ 1,942				△ 1,942		△ 1,908	-
【参考】前々年度				10				10		7	71.3	
目的		武力攻撃事態等における有事に対処するため。										
概要及び成果		<p><b>【概要】</b> 国民保護法に基づき、大規模テロや武力攻撃事態等が発生した場合において、国民の生命、身体及び財産を保護するとともに、国民生活に及ぼす影響が最小となるよう万全な態勢を整備し、的確かつ迅速に対応する。</p> <p><b>【成果】</b> 安否情報システム等を用いて、国民保護法及び災害対策基本法に基づく安否情報事務が円滑に出来るよう、システムの理解促進、操作習熟を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安否情報システム全国一斉訓練実施 (令和元年6月、令和2年2月 計2回)</li> <li>・全国瞬時警報システム(Jアラート)全国一斉情報伝達訓練実施 (令和元年5月、12月、令和2年2月 計3回)</li> <li>・Em-Net導通試験実施 (毎月1回 計12回)</li> </ul>										

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	11	本年	105,510				105,510		92,642	87.8
				前年	92,092				92,092		86,446	93.9
				比較	13,418				13,418		6,196	-
【参考】前々年度					67,578				67,578		59,809	88.5

目的

防災拠点となる消防庁舎の施設・設備及び消防事務車両の点検整備を計画的に実施することで、その機能を適正に維持管理し消防業務の円滑な運営を確保するため。

- 1 消防庁舎の床・窓清掃、空調設備、給水設備、電気工作物及び浄化槽の点検を委託し、職場環境保全に努める業務

【成果】

庁舎及び設備の維持管理委託により、効率的で良好な職場環境を保つことができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
床・窓清掃	16件	16件	16件	16件	16件
空調設備点検	16件	16件	16件	16件	16件
給水設備点検	60件	60件	60件	60件	60件
電気工作物点検	36件	30件	30件	36件	36件
浄化槽点検	12件	12件	12件	12件	12件

- 2 建物、設備等の工事・修繕及び機能強化に係る業務

【成果】

防災拠点としての機能及び職場環境を維持する各種工事・修繕を施工し、庁舎の機能維持や建て替え時期の延長を図るなど庁舎施設の機能を強化できた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
工事件数	4件	1件	3件	3件	5件
修繕件数	23件	27件	30件	29件	25件

- 3 消防事務連絡車(バイクを含む)24台の維持管理 (消防バス及び事務連絡車3台廃車、消防総務及び筑波・荻崎分署連絡車を新規リース、市バスを管財課から管理換え)

【成果】

消防事務連絡車の車検整備を行うとともに、各種車両修繕及びリース車両の更新を行い、公用車の安全運行を確保し、業務における公用車の円滑・適正な使用を図れた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
車検件数	5件	9件	6件	9件	6件
修理件数	7件	3件	1件	3件	10件
リース件数	3件	6件	3件	3件	3件

概要及び成果

事業名：常備消防車両に要する経費

消防本部 消防救助課/救急課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	12	本年	123,793				123,793		119,634	96.6
				前年	301,577		△ 1,192	1,241	301,626		300,816	99.7
				比較	△ 177,784		1,192	△ 1,241	△ 177,833		△ 181,182	-
【参考】前々年度					232,493		△ 3,236		229,257		228,010	99.5

目的

市民ニーズ及び各種災害の多様化に対応するために、車両の更新、整備等を年間計画に基づき実施し、整備の充実強化を図るため。

概要及び成果

1 消防車、救急車等の性能を常に最適な状態に保ち、災害発生時にその性能を発揮するために、点検整備(車検を含む)を継続的に実施する。

## 【成果】

緊急自動車の点検整備を継続的に実施することにより、早期に車両の不具合に対応し車両運用の安全確保ができた。更に、災害発生時にその性能を発揮し、火災等の被害軽減、防除につながった。

## 車両整備状況

整備区分	車両区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
車検整備	消防車両	19台	13台	19台	12台	19台
	救急車両	4台	4台	6台	4台	5台
定期点検整備	消防車両	31台	31台	31台	31台	31台
	救急車両	10台	10台	10台	10台	10台
日常点検	消防車両	31台	31台	31台	31台	31台
	救急車両	10台	10台	10台	10台	10台

※ 定期点検整備には、毎月点検整備も含まれる。

## 車両更新状況

年度	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度
台数	2台		2台		2台		2台		1台
配置署	筑波分署	南消防署	中央消防署	並木分署	中央消防署	荃崎分署	豊里分署	筑波分署	桜分署
車両名	筑波1号車	南救急車	中央はしご1号車	並木救急車	中央救助工作車	荃崎1号車	豊里1号車	筑波救急車	桜救急車

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	13	本年	97,973	1,836	△ 8,558		91,251	3,773	72,805	83.9
				前年	107,069	26,203	△ 11,976		121,296	1,836	109,551	91.8
				比較	△ 9,096	△ 24,367	3,418		△ 30,045	1,937	△ 36,746	-
【参考】前々年度					220,311		△ 126,657		93,654	26,203	61,605	93.8

目的 消防組織法及び消防力整備指針の基準に基づく消防施設整備計画により、消防水利及び消防施設を計画的に整備し、必要な管理補修を行い、地域における市民の生命財産を守ることに寄与するため。

概要及び成果

1 消火栓新設及び補修  
【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
消火栓新設	28基	23基	3基	7基	15基
消火栓修繕	13基	8基	18基	22基	15基

消火栓新設箇所・・・玉取①、上郷⑨、百家②、野畑②、木俣②、今鹿島②、館野②、高須賀④、下横場①、大①、北条②

消火栓修繕箇所・・・要、長高野、稲岡、竹園、吾妻、中根、金田、筑波、沼田②、神郡、高見原、富士見台

2 耐震性貯水槽新設(40m³)及び防火水槽改修  
【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
耐震性貯水槽新設	1基	1基	2基	1基	0基
防火水槽改修	6基	13基	13基	14基	11基

耐震性貯水槽新設箇所・・・上郷

防火水槽改修箇所・・・谷田部、羽成、栗原、国松、中菅間、安食

3 消防施設等建築・修繕・撤去

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
詰所建築設計委託	1箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所
詰所建築	0箇所	2箇所	0箇所	1箇所	1箇所
詰所改修	2箇所	6箇所	4箇所	6箇所	7箇所
火の見櫓改修	7箇所	7箇所	7箇所	2箇所	5箇所
詰所撤去	1箇所	1箇所	2箇所	5箇所	3箇所

詰所建築設計委託・・・豊里支団第2分団(上郷)

詰所建築・・・・・・・・なし

詰所改修箇所・・・・・・金田、細見

火の見櫓等改修箇所・大砂、沼崎、大角豆、臼井、小田、田中、駒込

詰所撤去・・・・・・・・樋の沢

事業名：非常備消防車両に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	03	14	本年	47,335				47,335		43,662	92.2
				前年	47,964		△ 1,340		46,624		43,231	92.7
				比較	△ 629		1,340		711		431	-
【参考】前々年度					47,766		△ 1,772		45,994		42,958	93.4

目的

消防団に配備している消防車両及び消防指令車について、既存の車両を点検整備し、また、耐用年数が過ぎた消防車両については新規購入し、円滑な消防団活動を行うとともに、有事の際や災害に備えるため。

概要及び成果

1 消防車両及び消防指令車等の維持管理

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
消防ポンプ自動車	50台	50台	50台	52台	53台
消防可搬ポンプ積載車	3台	3台	6台	8台	14台
消防指令車	2台	2台	2台	2台	2台
ワゴン型貨物車	1台	1台	1台	1台	1台
計	56台	56台	59台	63台	70台
うち車検台数	29台	27台	29台	30台	31台

2 消防ポンプ自動車購入(CD-I型 3.5t未満普通免許対応車両:令和元年度～)

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
消防ポンプ自動車	2台	2台	2台	2台	2台

内訳:桜支団第11分団(金田)、荃崎支団第8分団(細見)へ配車



事業名：水防訓練に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
09	01	04	11	本年	2,493		△ 172		2,321		2,147	92.5
				前年	2,301		△ 137		2,164		1,999	92.4
				比較	192		△ 35		157		148	-
【参考】前々年度					2,939		△ 137		2,802		2,678	95.6

目的

台風やゲリラ豪雨等における河川の氾濫や洪水に備え、水防資機材の備蓄、水防体制の充実強化を図るため。

概要及び成果

1 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催当番	常総市	下妻市	つくばみらい市	八千代町	つくば市
実施日	7月2日(日)	7月1日(日)	7月2日(日)	7月3日(日)	7月5日(日)
実施場所	鬼怒川河川敷	鬼怒川河川敷	小貝川河川敷	鬼怒川河川敷	小貝川河川敷
参加団員数	55人	58人	59人	70人	90人

鬼怒川・小貝川沿岸5市町で構成される「鬼怒・小貝水防連合体」による水防訓練を、年1回市町持ち回りで開催し、水防工法の技術を習得し、有事に備える。

構成市町：つくば市・常総市・下妻市・八千代町・つくばみらい市

2 利根川水系水防訓練

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催当番	稲敷広域	県南水防	稲敷広域	県南水防・稲敷広域・常総広域	県南水防
実施日	5月19日(日)	5月27日(日)	5月21日(日)	5月21日(土)	5月24日(日)
実施場所	小貝川河川敷	小貝川河川敷	小貝川河川敷	利根川河川敷	小貝川河川敷
参加団員数	39人	38人	36人	90人	80人

利根川水系の二組合(利根川水系県南水防事務組合・稲敷地方広域市町村圏事務組合)による水防訓練を実施し、水防工法の技術を習得し、有事に備える。

※令和元年度については、稲敷地方広域市町村圏事務組合が当番であったため、小貝川河川敷「龍ヶ崎市小貝川市民運動公園」で実施した。

利根川水系県南水防事務組合：構成市(つくば市・取手市・龍ヶ崎市・牛久市・つくばみらい市)

事業名：教育委員会に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	01	11	本年	4,867			△ 13	4,854		4,099	84.5
				前年	4,750		△ 634		4,116		3,999	97.2
				比較	117		634	△ 13	738		100	-
【参考】前々年度					4,564				4,564		3,846	84.3

目的

教育委員会の会議等を適切に運営し、教育行政の円滑な推進を図るため。

概要及び成果

1 教育委員会の会議等に関わる事務

定例会を毎月1回開催するほか、必要に応じて臨時会を開催する。

【成果】

- (1) 定例会12回及び臨時会2回を開催した。
- (2) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針や教育委員会規則、規程等の制定を行い、委員会における事務事業の適正化を図った。
- (3) 定例会・臨時会において、議案63件を審議する他、教育行政全般について、その権限に属する事務を行い、つくば市の教育行政の具体的な施策の推進・充実を図った。
- (4) 学校及び教育局の状況等について、教育長から委員会に報告を行い、教育委員との情報共有を図ることができた。

委員会開催数及び案件数

委員会	種類	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
定例	議案(件)	63	60	58	48	53
	報告(件)	32	26	25	27	28
臨時	議案(件)	5	2	2	3	2
	報告(件)	2	0	0	0	2

2 研修会等への参加

【成果】

- (1) 文部科学省を会場とする教育委員研究協議会、茨城県市町村教育委員会研修会等に参加することにより、教育行政の課題や他市町村教育委員会の事例等について理解を深めるとともに、他市町村の教育委員会との情報交換を行うことができた。
- (2) 学校現場での状況を把握するため、学校訪問を行ったほか、教育大綱の作成会議に参加し、教育委員としての意見を反映させることができた。

学校訪問、会議、研究会等	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加回数	45	13	5	5	4

事業名：奨学資金に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	11	本年	1,892				1,892		1,860	98.3
				前年	1,892				1,892		1,728	91.3
				比較							132	-
【参考】前々年度					1,892				1,892		1,882	99.5

目的	高等学校等に在学する者で経済的理由で修学が困難であると認められるものに対して奨学金を支給し、教育の機会均等や有用な人材育成を図るため。											
概要及び成果	1 奨学金の支給決定											
	【成果】											
	つくば市奨学生選考委員会を7月に開催し、奨学金申請者45人の審査を行い、25人を採択した。教育委員会において、奨学生25人を決定した。											
	選考委員の構成:学識経験者8名(議会推薦者2名、学校代表者6名)、民生委員6名、市職員1名											
	2 奨学金の支給											
【成果】												
(1) 支給金額 6,000円×12か月×25人=1,800,000円												
(2) 支給方法 年3回(7月、11月、3月)4か月分ずつ支給。												
(3) 申請及び支給状況												
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	申請者数	45人	34人	65人	58人	58人						
	支給人数	25人	25人※	25人	25人	25人						
	支給額/月	6千円	6千円	6千円	6千円	6千円						
	支給額	1,800千円	1,650千円	1,800千円	1,800千円	1,800千円						
※平成30年度は3名が途中辞退した。												

事業名：英語指導助手に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	12	本年	104,994				104,994		101,101	96.3
				前年	90,234		△ 2,200		88,034		87,486	99.4
				比較	14,760		2,200		16,960		13,615	-
【参考】前々年度					78,464		△ 1,575		76,889		75,912	98.7

目的 外国人の英語指導助手による英語教育を通じて、児童・生徒の語学力と実践的コミュニケーション能力の向上を図るとともに、広い視野を培うことによる国際理解教育を推進するため。

1 英語指導助手の雇用

【成果】

- (1) 英語指導助手を28人雇用し、市内の幼稚園、小学校、中学校にて授業の補助を行い、英語教育、国際理解教育を推進した。
- (2) 子どもたちが身近に生きた英語に接する機会や外国の生活習慣を知る機会等を提供することができた。また、英語を使わなくてはならない環境を作ることで、子どもたちが英語の学習に意欲的に取り組むとともに、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。

英語指導助手雇用人数

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
28人	23人	20人	20人	20人

(参考)

外国語活動と外国語科の年間時数(小学校の1単位時間:45分、中学校の1単位時間:50分)

- ・1～2年生 10時間(15分モジュール×3回×10)
- ・3～4年生 35時間
- ・5～6年生 70時間
- ・7～9年生 140時間

(英語教科のほか、国際理解教育を目的とする学校からの派遣要請にも対応している。)

事業名：教育施設維持管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	13	本年	20,005		△ 6,078		13,927	12,138	1,589	98.6
				前年	1,884				1,884		1,682	89.3
				比較	18,121		△ 6,078		12,043	12,138	△ 93	-
【参考】前々年度					2,009				2,009		1,729	86.1

目的 教育施設を適正に管理するため。

1 研修会

【成果】

施設維持管理に関する研修会に参加し、学校施設の維持管理についてのノウハウを習得できた。

2 学校施設台帳の加除

【成果】

学校施設台帳の加除を委託し、より正確な施設状況把握により施設維持管理上有効に活用することができた。

事業名： 公用車管理に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
10	01	02	14	本年	41,599			291	41,890		40,515	96.7
				前年	8,879				8,879		7,671	86.4
				比較	32,720			291	33,011		32,844	-
【参考】前々年度					8,424			191	8,615		8,251	95.8

目的	<p>学校教育専用バス(大型2台)の運転管理業務を委託し、市内幼・小・中・義務教育学校が行う園外保育や校外学習等体験活動を行う機会を提供し、児童・生徒の豊かな心の成長と多様な教育を受ける機会の充実を図るため。</p>																								
概要及び成果	<p>1 学校教育用バス2台の運転管理業務委託</p> <p>【成果】</p> <p>学校規模や前年度実績を基に配分を行い、学校教育専用バスの円滑な利用と、適正管理を行った。</p> <p>稼働日数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>自動車登録番号</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5298</td> <td>181日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>※廃車</td> <td>168日</td> <td>175日</td> <td>181日</td> <td>188日</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>144日</td> <td>179日</td> <td>196日</td> <td>189日</td> <td>199日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※老朽化のバス(22)を廃車とし、新規車両(5298)に買い換えた。</p>	自動車登録番号	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	5298	181日	—	—	—	—	22	※廃車	168日	175日	181日	188日	20	144日	179日	196日	189日	199日
自動車登録番号	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																				
5298	181日	—	—	—	—																				
22	※廃車	168日	175日	181日	188日																				
20	144日	179日	196日	189日	199日																				

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	15	本年	5,074				5,074		4,743	93.5
				前年	3,354				3,354		3,116	92.9
				比較	1,720				1,720		1,627	-
【参考】前々年度					3,833		1,698		5,531		5,052	91.3

目的	ICT機器やインターネットを活用した効果的な学習を市内の教職員に推進し、児童生徒の学力向上及び情報活用力を高めるため。
概要及び成果	<p>1 学校ICT教育の推進</p> <p>プログラミング教育、グループウェア「スタディノート」、つくばチャレンジングスタディ、テレビ会議、遠隔授業システム、デジタル教科書等を活用し、それらを「学校ICT教育実践事例集」や「プログラミング学習の手引き」としてまとめ、さらに日本教育情報化振興会主催の学校情報化優良校認定に応募するなどして、学校ICT教育の推進を図る。</p> <p><b>【成果】</b> 「未来の学びを実現する先進的ICT教育研究大会および教員研修」で、つくば市の目指す教育の様子を授業公開したり、学校ICT推進委員が本市のICT教育の成果を全国に向け発信。令和2年1月には文部科学省主催の「学校ICT活用フォーラム」東京会場として、つくば市で開催されつくば市先進的ICT教育について文科大臣が視察し、文部科学省の目指す姿として貢献した。市内全小中義務教育学校でスタディノートやつくばチャレンジングスタディ、テレビ会議を実践したり、市内全中学校に電子黒板等を配備するなど、学習に役立てることができた。小学校プログラミング教育を必修化し、学校ICT推進委員を中心に推進することができた。</p>
	<p>2 教員のICT活用指導力向上研修</p> <p>学校ICT教育担当者研修会、学校ICTスキルアップ希望研修講座、学校ICTスキルアップ個別研修講座、学校ICT教育推進委員研修、コンピュータ入替研修、スタディノート活用研修等、学校訪問と各種研修を実施する。</p> <p><b>【成果】</b> 教員の授業でのICT活用率 100% 市内全小・中・義務教育学校ホームページ開設率 100% 市内全小・中・義務教育学校ホームページ毎週更新率 100%</p>
	<p>3 ICT機器・ネットワークの維持管理</p> <p>指導主事と学校ICT指導員3人でICT教育を推進するために、ICT機器を活用した授業支援を行う。また、校内ネットワーク・コンピュータ教室、電子黒板、教育用コンテンツ、つくばチャレンジングスタディ、教育用ホームページを管理運営する。</p> <p><b>【成果】</b> ネットワークやICT機器の不具合の報告に対して、迅速に対応し解決することができた。 市内全小・中・義務教育学校のホームページの定期的な維持管理を行うことができた。 市内全小・中・義務教育学校でスタディノートやつくばチャレンジングスタディを活用し、学習に役立てることができた。</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	16	本年	15,554			△ 142	15,412		12,726	82.6
				前年	15,559		382	1,782	17,723		14,265	80.5
				比較	△ 5		△ 382	△ 1,924	△ 2,311		△ 1,539	-
【参考】前々年度					15,000				15,000		13,304	88.7

目的 児童生徒及び教職員の各種活動を支援・助成することにより、児童生徒の健全な育成を図るため。

概要及び成果

1 支援事業  
【成果】

(1) 小中連携豊かな心育成事業  
学園単位で芸術鑑賞会等を13回実施し、小中連携の推進と情操教育の充実を図った。  
6年生を対象とした劇団四季による演劇鑑賞を市民ホールくさぎさで実施した。

(2) 地域との連携による学校の防災力強化推進  
教育委員会を中心に「学校防災推進委員会」を設置し、組織的に学校及び地域の連携を図り、防災力を強化した。全学校を対象とした学校防災研修会を実施した。  
市内全小中学校に「学校防災連絡会議」を設置し、地域との連携を図り、防災力を強化した。

(3) ボランティア保険加入  
学校支援ボランティアの活動を支援・促進するため、保険に加入し、事故等に備えた。  
加入者数

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
878名	1,157名	1,334名	1,555名	1,526名

(4) ゲストティーチャー事業  
小学校及び義務教育学校前期課程ごとの希望選択制で、つくばFCの日本サッカー協会公認指導者により指導及びトレジムつくばの指導を体育の授業に導入し、子どもたちにスポーツの楽しさを伝える活動を支援した。小学校22校、約4,000人を対象に実施した。  
実施校数

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
22校	25校	24校	24校	20校

2 助成事業  
【成果】

(1) 市小学校体育連盟補助金(700,000円)  
つくば市小学校体育・スポーツの健全な普及発達に資するとともに、学校相互の親睦を深めた。

(2) 市中学校体育連盟補助金(2,087,000円)  
つくば市中学校体育の健全な普及発達に資するとともに、相互の研究と連絡を図った。

(3) 全国大会出場補助金  
つくば市立小中学校の児童生徒が、学校教育の一環として行われる体育・文化などの全国及び関東大会に出場するための交通費・宿泊費を交付した。  
交付件数等

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付件数	36件	45件	30件	34件	27件
支給額	2,412,110円	3,097,513円	2,318,490円	2,307,896円	2,111,578円

(4) 市PTA連絡協議会補助金(400,000円)  
PTA連絡協議会の育成、交流等を行い、当該事業の活性化、円滑化及び会員の資質の向上を図った。

(5) 聴覚障害児童生徒のための講座開催補助金(200,000円)  
パソコン要約筆記者の養成講座を行っている団体に対して補助金を交付し、要約筆記者が学校でボランティア活動を行い、聴覚障害を持つ児童生徒の教育環境が向上した。

(6) 不登校児童生徒教室運営支援補助金(1,486,000円)  
不登校児童生徒のための教室を運営している団体に対して補助金を交付し、専門の知識を有するスタッフが学習支援や体験活動等を行い、児童・生徒の再登校や進学の際の困難の軽減を図った。

## 事業名：指導主事に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	17	本年	97,139				97,139		94,008	96.8
				前年	97,208		△ 1,464	△ 600	95,144		93,218	98.0
				比較	△ 69		1,464	600	1,995		790	-
【参考】前々年度					99,277				99,277		93,481	94.2

## 目的

学園・学校訪問や研修等をととして学校教育に係る指導助言を行い、つくば市学校教育目標「のびのび学べる楽しい学校」の実現を図るため。

## 1 指導主事の配置

学園・学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導を行うため、指導主事を配置し、小中一貫教育をはじめとするつくば市の教育をさらに充実させる。

## 【成果】

## (1) 学び推進課内、総合教育研究所内に指導主事を配置

学び推進課内に指導主事9人、総合教育研究所内に指導主事2人を配置し、市内学校の総括を行い、各学校の教育目標の達成と教育力の向上に向けて指導助言を行うとともに学校教職員の資質向上を目指し各種研修講座を実施した。

## (2) 教育相談センターに指導主事を配置

教育相談センターに指導主事2人を配置し、不登校やいじめ等に悩む子どもや保護者・教員等に対して、電話相談・面接相談・学校訪問相談を実施し、不登校の児童生徒が学校に復帰するための適応指導教室を開催した。

## (3) 学校指導訪問・研修講座

## ① 学校指導訪問

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
訪問回数	年間 355回	年間 357回	年間 345回	年間 345回	年間 340回
訪問種別	管理訪問・計画指導訪問・研究指定校指導訪問・要請指導訪問・生徒指導訪問・不登校対策指導訪問・学校ICT教育推進指導訪問・特別支援教育指導訪問 等				

## ② 研修講座

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
研修回数	61回	50回	58回	58回	49回
研修講座種別	管理職研修講座・学力向上研修講座・各種教育研修講座 等				

## (4) 教員の指導力・授業力向上を目指すための指導・助言を行った。

① 計画指導訪問は、全幼稚園・学校で実施した。

② 要請指導訪問は、各園・学校の要請に応じて実施した。

③ 基礎研修指導訪問は、初任者、2・3年次経験者配置校で実施した。

各園・学校の課題に対して指導助言を行ったことにより、経営の方針を明確にして教育活動を進めることができた。

特に学校においては、学力向上のための3つの方策(①わかる授業・魅力的な授業の展開、②効果的・効率的な授業のための学習習慣の形成、③確かな学力を育む家庭学習の推進)の必要性が浸透してきた。

## 概要及び成果



款	項	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	18	本年	40,140			40,452		40,070	99.1
			前年	32,545			32,545		32,402	99.6	
			比較	7,595		312	7,907		7,668	-	
【参考】前々年度				34,127				34,127		33,737	98.9

目的

つくば市における教育上の諸問題に対する相談・指導・助言等を行うため。

概要及び成果

- 1 教育相談・適応指導教室の運営**  
 所長(兼任)、副所長(兼任)、指導主事1名(兼任)、教育相談員(非常勤)10名で、相談・指導・助言等を行うとともに、適応指導教室「つくしの広場」の通級生に対する援助・指導等を行った。  
**【成果】**  
 相談内容が複雑かつ多様化し、解決困難な相談が増えつつあるが、個々のケースに親身になって相談することができた。適応指導教室と教育相談が連携することで、援助・指導体制の強化が図れた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
面接相談件数(延べ)	1,908件	1,676件	1,566件	1,781件	1,648件
電話相談(延べ)	189件	169件	184件	206件	209件
適応指導教室(通級者数)	11名	12名	13名	13名	8名
つくしの広場(延べ)	783名	605名	353名	651名	547名
- 2 スクールカウンセラー(SC)**  
 県配置事業(市内37小中義務教育学校)及び市独自事業(3中学校・5小学校)でスクールカウンセラーを配置し、児童生徒・保護者・教職員等に対する相談・指導・援助等を行った。  
**【成果】**  
 県配置37校・市配置8校  
 市内の各小中義務教育学校で悩みを持つ児童生徒・保護者・教職員等へのカウンセリングを通じ問題解決に努めた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
相談者数	1,136名	1,289名	1,894名	1,355名	598名
相談回数(延べ)	2,374件	3,056件	3,026件	2,290件	1,413件
- 3 学校生活サポーター(SS) (旧)スクールサポーター**  
 市内の全中学校及び義務教育学校に学校生活サポーター(スクールサポーター)を延べ32名配置し、学校内で苦戦をしている生徒への援助・支援を行い、ストレスの緩和や問題行動の未然防止に努めた。  
**【成果】**  
 市配置12校・4義務教育学校  
 中学校生活における悩み相談・学習支援・学校教育活動等の支援を行い、適応力をサポートした。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
学習支援	2,582件	3,106件	2,903件	2,568件	2,493件
悩み相談	2,903件	1,801件	1,480件	1,063件	1,106件
学校教育活動支援	1,884件	1,928件	1,874件	2,708件	2,498件

概要及び成果	4	<p>スクールソーシャルワーカー（SSW）</p> <p>児童及び生徒の置かれた生活環境に働きかけ、又は福祉・医療関係機関並びに警察・司法関係機関と連携して、児童及び生徒、その保護者並びに教職員に対する支援を行う。</p> <p>県派遣事業のみでは、つくば市の教育現場に対応することが困難なため、令和元年度から、市独自にスクールソーシャルワーカーを秀峰筑波義務教育学校に1名、荃崎中学校に1名配置し、各校からの要請に従い派遣する体制を整備し、児童虐待や貧困・家庭環境など諸問題の更なる改善に努めた。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>市配置2名</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>相談者数(児童生徒)</td> <td>502名</td> </tr> <tr> <td>支援回数</td> <td>2,868件</td> </tr> <tr> <td>連携回数(福祉・医療・教育機関等)</td> <td>492回</td> </tr> <tr> <td>連携職員人数</td> <td>2,288名</td> </tr> </table> <p>※ 令和元年度茨城県スクールソーシャルワーカー派遣事業申請なし</p>		令和元年度	相談者数(児童生徒)	502名	支援回数	2,868件	連携回数(福祉・医療・教育機関等)	492回	連携職員人数	2,288名
		令和元年度										
	相談者数(児童生徒)	502名										
	支援回数	2,868件										
	連携回数(福祉・医療・教育機関等)	492回										
	連携職員人数	2,288名										
	<p>※県派遣事業(国委託事業)の緊急スクールカウンセラー（ESC）は、平成30年度をもって終了となりました。</p> <p>ESCは、東日本大震災に被災した児童生徒等の心のケアや教職員・保護者への助言に対応する事業です。</p>											

事業名：学校災害賠償保険に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	19	本年	6,284				6,284		6,230	99.1
				前年	6,286				6,286		6,040	96.1
				比較	△2				△2		190	-
<b>【参考】前々年度</b>					5,762			272	6,034		6,034	100.0

概要及び成果	目的	<p>市が、園児・児童・生徒または第三者に対し、学校施設の構造上の欠陥や管理上の不備による事故あるいは学校業務を遂行中の不注意による事故に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を保険金により補填するため。また、偶発の事故により学校施設の物件に傷害が生じたとき、その損害を補填するため。</p>																																		
	<p>1 損害賠償保険等の加入事務及び保険金請求事務</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1)学校災害賠償補償保険</p> <p>保険加入状況(前年度5月1日現在児童・生徒数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年祖</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>11,098人</td> <td>12,507人</td> <td>12,359人</td> <td>12,162人</td> <td>12,072人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>4,871人</td> <td>5,434人</td> <td>5,468人</td> <td>5,492人</td> <td>5,463人</td> </tr> <tr> <td>義務教育学校</td> <td>4,407人</td> <td>2,054人</td> <td>1,851人</td> <td>1,611人</td> <td>1,451人</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>893人</td> <td>924人</td> <td>925人</td> <td>1,004人</td> <td>1,095人</td> </tr> <tr> <td>事故件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 令和元年度事故概要</p> <p>市内中学校のグラウンドにおいて、野球部の練習中に打球が校庭東側ネットの破れた部分をすり抜け、校内駐車場に停車していた車両の助手席ドアに当たり、擦り傷とへこみが生じた。学校施設管理上の瑕疵により、車両の修繕に要する経費を支払った。</p> <p>(2)建物総合損害共済保険</p> <p>学校施設の物件が、偶発の事故(災害等)による損害が生じたとき、その損害を補填する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加入施設</li> <li>①小学校37校(廃校分を含む)</li> <li>②中学校14校(廃校分を含む)</li> <li>③幼稚園18園(休園分を含む)</li> <li>④義務教育学校4校</li> <li>⑤その他4施設(総合教育研究所、教育相談センター、教育バス車庫、吾妻教職員住宅)</li> </ul>		令和元年度	平成30年祖	平成29年度	平成28年度	平成27年度	小学校	11,098人	12,507人	12,359人	12,162人	12,072人	中学校	4,871人	5,434人	5,468人	5,492人	5,463人	義務教育学校	4,407人	2,054人	1,851人	1,611人	1,451人	幼稚園	893人	924人	925人	1,004人	1,095人	事故件数	1件	1件	1件	2件
	令和元年度	平成30年祖	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
小学校	11,098人	12,507人	12,359人	12,162人	12,072人																															
中学校	4,871人	5,434人	5,468人	5,492人	5,463人																															
義務教育学校	4,407人	2,054人	1,851人	1,611人	1,451人																															
幼稚園	893人	924人	925人	1,004人	1,095人																															
事故件数	1件	1件	1件	2件	2件																															

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	20	本年	26,712				26,712		26,184	98.0
				前年	26,681		△ 1,000		25,681		25,405	98.9
				比較	31		1,000		1,031		779	-
【参考】前々年度					26,681				26,681		26,274	98.5

目的

児童・生徒一人ひとりの個性や習熟度等に応じたきめ細やかな学習指導を充実させることにより、小中学校における教育内容の多様化・複雑化及び教育上の今日的な問題に対応し、児童・生徒の学力の向上や学級運営の強化を図るため。

概要及び成果

1 非常勤講師の配置(つくば市立学校市費負担非常勤講師)

【成果】

(1) 児童・生徒の学力向上等の観点から、特に強化が必要と考えられる学校に、市が独自に雇用した非常勤講師を配置し、担任教員とのチーム・ティーチングによる学習指導及び学級運営の補助業務等を行ったことにより、児童の学力向上を図るとともに、より円滑に学校生活に適応できるようサポートすることができた。

(2) 市内14の小中学校に市費負担非常勤講師を各1名配置した。

配置校の内訳

柳橋小、九重小、栄小、吉沼小、真瀬小、前野小、要小、荃崎第三小、谷田部南小、栗原小、荃崎第二小、上郷小、今鹿島小、桜南小

配置人員数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
小学校	14人	14人	14人	14人	14人
中学校	0人	0人	0人	0人	0人
合計	14人	14人	14人	14人	14人

(3) 市費負担非常勤講師の配置により、配置校ごとの課題項目を補強し、学習指導面・生活指導面の双方で効果を得ることができた。報告されている主な効果は以下のとおり。

- ① ティームティーチングによるきめ細かい学習指導による学力の向上
- ② 個に応じた学習指導による学習態度の改善
- ③ 学習の習熟度が遅れている児童、つまづきのある児童への素早くきめ細かい対応
- ④ 配慮を要する児童に対するきめ細かい指導・支援
- ⑤ 児童との信頼関係を背景とした生活指導面での効果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	21	本年	344			△ 53	291		135	46.3
				前年	278			△ 83	195		179	91.8
				比較	66			30	96		△ 44	-
【参考】前々年度					71,389				71,389		67,060	93.9

目的

共生社会の形成に向けて、障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒がともに学び合える環境を整え、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加をめざして、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援ができるようにするため。

1 特別支援教育支援員配置事業

小中・義務教育学校において、障害のある児童生徒及び通常の学級に在籍し、特別な支援や配慮を必要とする児童生徒の安全を確保するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じ適切な指導や支援を行うことを目的として、当該児童生徒が在籍する学校に特別支援教育支援員を配置する。

【成果】

各学校からの要望に基づき訪問を行い、各学校に必要な特別支援教育支援員の人数を精査し、年度末までに39校に計134名を配置した。

これにより、学級等を担任する教員の負担が軽減され、児童生徒の安全確保及び学級運営の改善が図られた。また、生活安全の確保に加え、集団への参加や学習への取り組みが増し、円滑な教育活動を推進することができた。

配置校数及び人数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
配置校数	39校	39校	40校	29校	23校
配置人数	134人	123人	106人	63人	61人

概要及び成果

2 障害児介助員配置事業

障害のある幼児及び特別な支援や配慮を必要とする児童生徒の安全を確保するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じ適切な指導や支援を行うことを目的として、当該幼児が在籍する公立幼稚園に障害児介助員を配置する。

【成果】

各幼稚園からの要望に基づき訪問を行い、必要な障害児介助員の人数を精査し、年度末時点において43名を配置した。これにより、特別な支援や配慮を要する幼児に適切な支援が実施できた。

3 特別支援教育教職員研修会事業

管理職及び教務主任、生徒指導主事、特別支援学級担任教諭及び特別支援教育支援員を対象に実践的な研修を行い、発達障害等に関する理解促進を図るとともに、学校全体の支援体制を確立し、授業の質の向上を図る。

【成果】

管理職を含めて研修対象者を広げたことで、特別支援教育推進は全ての教員で取り組むことが理解され、学校全体の支援体制の確立及び授業の質や教員の指導力向上につなげることができた。

教員	対象	校長及び教務主任	教頭等及び生徒指導主事	特別支援学級担任・コーディネーター	通常の学級担任
	内容	特別支援教育の動向 学校の支援に活かす発達障害の理解			わかって活かす WISC-IV

特別支援教育支援員	1回目	2回目	3回目
	特別支援教育支援員の業務と心構え、障害児の理解	特別支援教育に関する講義、演習、情報交換	各学校の課題に応じた研修会及びケース会議への参加

事業名：学校管理に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	22	本年	2,129				2,129		2,128	99.9
				前年	2,115				2,115		2,104	99.5
				比較	14				14		24	-
【参考】前々年度					2,215				2,215		2,208	99.7
目的		行政情報システムにより就学や就学援助に関する事務を迅速かつ正確に遂行するため。										
概要及び成果		<p>1 消耗品一式購入、就学事務電算処理委託、就学援助事務電算処理委託</p> <p>【成果】</p> <p>住民基本台帳・個人住民税のデータとリンクした行政情報システムの使用により、事務を正確かつ効率的に進めることができた。</p>										

事業名：教育総務に要する経費

教育局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	23	本年	9,891			△ 136	9,755		8,718	89.4
				前年	10,263		1,577	△ 336	11,504		10,535	91.6
				比較	△ 372		△ 1,577	200	△ 1,749		△ 1,817	-
【参考】前々年度					15,113		△ 617	△ 463	14,033		11,678	83.2
目的		事務局全般に関する事務を適正に実施するため。										
概要及び成果		<p>1 教育広報「つくばの学び舎」の発行及びつくばの教育概要の編集印刷</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 教育広報『つくばの学び舎』を年2回発行(印刷部数:40,000部/回)し、市立の幼稚園、小・中学校、義務教育学校の教育活動や教育委員会の取組み等の情報を発信した。</p> <p>(2) 行政資料『つくばの教育概要2019』を発行(印刷部数:700冊)し、教育局内の各課、各教育機関、各学校で活用しただけでなく、議会及び庁内各課並びに出先機関、視察者等にも配布し、つくば市の教育行政について周知を図った。</p> <p>2 人権教育の推進</p> <p>【成果】</p> <p>人権教育推進協議会を開催し、前年度の事業報告及び今年度の事業計画を協議し、人権教育の推進を図った。また、人権教育研修会に計画的に参加するなど、正しい知識と理解を深めることができた。</p> <p>3 教育に関する事務の点検及び評価</p> <p>【成果】</p> <p>教育に関し学識経験を有する方々に御意見・御提言をいただき、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を実施した。また、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表した。</p>										

## 事業名：学校教育研究支援に要する経費

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	24	本年	11,678		600	12,278		10,000	81.4
			前年	7,454		△ 149	7,305		5,934	81.2	
			比較	4,224		749	4,973		4,066	-	
【参考】前々年度				6,108		700		6,808		5,444	80.0

目的	概要及び成果
学習指導法や教材の研究開発を行い、その教職員の指導力の向上を図るため。	
1 研究指定校支援事業 教育研究校を指定し、指導法や教材の研究開発を行い、市内幼稚園、小・中学校の指導法の向上を図る。教育委員会主催の各種研修講座に専門家の招聘や視察研修をする。 【成果】 小中一貫教育の指定校を令和元年度には3学園を指定した。指定校訪問と要請訪問を行い、3学園で研究発表会または授業公開を行った。	
2 学びの広場サポーター派遣事業 茨城県からの受託で、市内全小学校・中学校・義務教育学校で年間をとおして実施する学習支援事業である。第4・5学年に学習サポーター(大学生・非常勤講師等)を派遣して算数科の補習を行い、児童の基礎学力の定着を図る。また、中学校第1・2学年を対象に数学科の補習を行う【中学校版】も同受託事業である。なお、学習サポーターの派遣を希望する学校にのみ派遣を行い、それ以外の学校では教員が中心となって補充指導を行っている。 【成果】 算数・数学の学習教材を使用し、補充的な学習の場を充実することにより、知識・技能の定着を図ることができた。また、児童生徒のつまづきが解消され、学習意欲を高めることにつながった。 ・学びの広場サポーターの派遣【小学校版】 市内 小学校26校、義務教育学校2校 4年生62学級、5年生65学級にサポーターを派遣した。 ・学びの広場サポーターの派遣【中学校版】 市内 中学校3校 17学級にサポーターを派遣した。	
3 サイエンスキッズリーグ事業 市内5年生から8年生を対象に科学に関する筆記問題や実技問題の取り組みを通して、相互の親睦を図るとともに、科学のおもしろさや楽しさを体験し、理科好き科学好きの子どもを育てる。 【成果】 1次リーグで小中学生合計で210名が参加した。その1次リーグの結果から、小中各8チーム、合計16チームの決勝リーグ進出を決定し、学園の森義務教育学校理科室において、課題実験等による実技を行い、優秀な結果を収めた児童生徒に対して、賞を贈った。真剣に課題に取り組む姿が見られた。	

## 事業名：国際理解教育推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	25	本年	2,259				2,259		1,976	87.5
				前年	2,248				2,248		1,945	86.5
				比較	11				11		31	-
【参考】前々年度					2,248				2,248		2,028	90.2

目的	地域のボランティア等を活用し、日本語指導を必要とする児童生徒への支援を行うため。各小学校・義務教育学校(前期課程)において、国際理解集会を実施し、異なる文化や考え方を尊重する態度を育むため。											
概要及び成果	<p>1 日本語ボランティア派遣事業</p> <p>日本語の理解が十分でない児童生徒は、通常学級での学習や生活に支障なく取り組むことができるようになるための支援が必要である。日本語力は児童生徒により程度が異なり、個に対応する支援を充実させるため、支援が必要な学校に日本語指導ボランティアの派遣を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>日本語指導ボランティアを市内16校に派遣し、個に応じた支援を継続したことで日本語理解が進んだ。 市内 16校 延べ1,403時間</p>											
	<p>2 国際理解集会</p> <p>児童生徒の多文化理解を促進するために、各校または学園単位で国際理解集会等を計画・実施し、外国の文化や考え方に体験的に触れる機会を設ける。</p> <p>【成果】</p> <p>市内29小学校と義務教育学校4校で国際理解集会を実施し、異文化理解を深めることができた。 主な講師依頼先: 保護者、国際交流協会、国際交流室、AET、ワールドキャラバン、JICA出前講座</p>											

## 事業名：つくばスタイル科振興に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	26	本年	1,936				1,936		1,255	64.8
				前年	3,046				3,046		2,302	75.6
				比較	△ 1,110				△ 1,110		△ 1,047	-
【参考】前々年度					3,055				3,055		2,007	65.7

目的	環境教育、キャリア教育、歴史・文化教育、健康・安全・防災教育、情報教育を柱とし、児童生徒の発達段階に応じたつくばスタイル科を推進し、「知と心の調和とグローバルな視点とを兼ね備えたつくば市民」を育成していくため。											
概要及び成果	<p>1 つくばスタイル科推進事業</p> <p>(1)つくばスタイル科単元プラン集の作成 (2)つくばスタイル科ワーキンググループ研修会の実施 (3)各校でのつくばスタイル科におけるICT機器利活用促進のための学校ICT指導員の派遣</p> <p>【成果】</p> <p>(1)新学習指導要領の理念とつくば市のSDGSの取り組みを反映させるため、つくばスタイル科単元プラン計画や学習内容を見直すとともに、市内すべての児童生徒が学ぶコアカリキュラムの指導方法や学習内容をより具体化することができた。 (2)単元プランにおいて、情報活用能力育成単元のための時数を確保し、単元プランに載せることでスタイル科における課題解決のためのプログラミング活用など、探究的な実践ができた。 (3)各校の要望に応じて学校ICT指導員を派遣しサポートを行ったことで、各校におけるICT機器の利活用が促進された。</p>											

事業名：幼保小連携教育推進に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	27	本年	990				990		951	96.0
				前年	990				990		960	96.9
				比較							△ 9	-
【参考】前々年度					1,020				1,020		893	87.6
目的				幼稚園、保育所及び小学校が連携して交流事業を実施し、幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行を図るため。								
概要及び成果				<p>1 幼稚園、保育所及び小学校が連携して交流事業などを実施する。</p> <p>【成果】</p> <p>幼児が児童や小学校教員と交流することで、小学校入学への不安感が軽減できた。また、幼児施設及び小学校の教員が、相互の課題を共有し検討することによって、幼保小連携に対する意識の高揚が図られた。</p> <p>(1) 実施校:全校で実施した。</p> <p>(2) 小学校の運動会への参加や花壇の整備、音楽鑑賞、餅つき体験等を実施し、幼稚園児・保育所児童と小学生との交流を図ることができた。</p> <p>(3) 幼稚園教諭、保育士、小学校教員間での交流会を実施し、新一年生になる子どもたちの様子を共有することができた。</p>								



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	28	本年	23,088				23,088		20,994	90.9
				前年	21,388				21,388		20,512	95.9
				比較	1,700				1,700		482	-
【参考】前々年度					23,322				23,322		21,583	92.5

目的	<p>つくば市学校教育における諸問題の調査・研究、教職員の研修、教育情報の収集・提供、各学校(園)の課題や要請に対応した的確な助言・指導等を総合的・効果的に推進し、本市学校教育の充実と振興を図るため。</p>																																										
概要及び成果	<p>1 教職員を対象に研修の場の提供、教職員の資質向上、指導力向上のための事業推進</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1)総合教育研究所主催の悉皆及び希望研修講座の実施 受講者のキャリアに応じた研修、子どもたちの抱えている問題の解決のための研修内容としたことで、市内の教職員の資質・能力を高めることに寄与した。</p> <p>(2)教育局各課等主催の研修講座及び市内教職員の研修の場の提供 教育局各課、市学校長会、教頭会、教務主任会、教育研究会等の会議・研修会の場として施設が利用されるなど、研修所としての機能を発揮することができた。</p> <p>(3)教職員研修補助金事業 各種研修会に参加することで、専門的能力の向上が図れた。また、校内研修では、講師を招聘しての研修や、各校それぞれの課題改善に取り組んだことで、指導法・教材活用法・授業力・実践力の向上が図れた。</p> <p>※総合教育研究所主催研修実績</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>9回</td> <td>21回</td> <td>39回</td> <td>31回</td> <td>35回</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>372人</td> <td>563人</td> <td>1,102人</td> <td>1,020人</td> <td>1,182人</td> </tr> <tr> <td>訪問研修</td> <td>488人</td> <td>約900人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※総合教育研究所施設使用実績(平成22年8月開所)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>96回</td> <td>134回</td> <td>99回</td> <td>100回</td> <td>110回</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>3,275人</td> <td>4,871人</td> <td>4,571人</td> <td>4,503人</td> <td>4,887人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	回数	9回	21回	39回	31回	35回	延べ人数	372人	563人	1,102人	1,020人	1,182人	訪問研修	488人	約900人				年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	回数	96回	134回	99回	100回	110回	延べ人数	3,275人	4,871人	4,571人	4,503人	4,887人
	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																					
	回数	9回	21回	39回	31回	35回																																					
延べ人数	372人	563人	1,102人	1,020人	1,182人																																						
訪問研修	488人	約900人																																									
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																						
回数	96回	134回	99回	100回	110回																																						
延べ人数	3,275人	4,871人	4,571人	4,503人	4,887人																																						
	<p>2 教育手法等に関する調査・研究</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>(1)学校教育指導員による学園訪問を実施(16学園) 学園訪問を通じて、小中一貫教育への理念の平準化が図れた。</p> <p>(2)小中一貫教育に関する調査及びプロジェクト・電子黒板に関する調査(児童・生徒及び教職員対象)の実施 費用対効果の高いICT環境整備を推進することにつながった。</p> <p>(3)各種研修後のアンケート調査及びプログラミング教育先行必修化に係る実施状況調査(教職員対象)の実施 先生方の意識調査での意見や結果を研修へフィードバックできた。児童生徒のプログラミング教材の環境整備へのエビデンスにもなった。</p>																																										
	<p>3 総合教育研究所の維持管理</p> <p>施設の修繕、各種業務委託(電気保安業務、消防設備点検業務、夜間・休日警備業務、清掃業務、除草及び植栽維持管理)、駐車場の整備など、研修施設としての環境整備をする。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>各種管理業務や点検、施設修繕(事務室エアコン修繕、体育館トイレ修繕、自家発電設備修繕、屋外フェンス修繕等)を行い、清潔で安全な研修環境の維持に寄与した。</p>																																										

## 事業名：学校教育指導に要する経費

教育局 学び推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																				
10	01	02	29	本年	11,944				11,944		6,035	50.5																				
				前年	4,065				4,065		3,968	97.6																				
				比較	7,879				7,879		2,067	-																				
【参考】前々年度					4,065				4,065		1,982	48.7																				
目的				<p>つくば市学校教育・特別支援教育指導員設置規則に基づき、学校教育に関する豊富な知識及び経験を有する指導員が学校教育に関する専門的、技術的事項に関して教員等への相談並びに指導を実施することで、教育の充実及び振興を図るため。また、保護者からの苦情及びいじめ相談について対応することで教育環境の改善を図るため。</p> <p>つくば市運動部活動指導員配置事業実施要項に基づき、市内各中学校・各義務教育学校における部活動態勢の充実を図るため、必要に応じ部活動指導員を配置する。</p>																												
概要及び成果				<p>1 学校教育・特別支援教育指導員 教育内容・生徒指導・保護者対応など教育現場が抱える多くの問題に関し、電話相談に応じる。また、状況に応じ直接現場での面談や指導助言を行うことで、効果的で迅速な問題解決へ向けた支援となる。また、教員に対して適宜、研修会を開催することで教職員の質のさらなる充実を図った。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>相談回数(述べ)</td> <td>48回</td> <td>50回</td> <td>155回</td> </tr> <tr> <td>研修会実施回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>訪問回数</td> <td>312回</td> <td>300回</td> <td>51回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 運動部活動指導員配置事業 【成果】 国の補助事業として、国1/3、県1/3、市1/3ずつ負担をし、令和元年度から開始となった。当初の運動部活動指導員の配置予定数は24名予定していたが、18名しか配置できなかった。なお、コロナ感染症の影響もあり、十分な活動ができなかった。しかし、教員の働き方改革の一助となり、部活動体制の充実が図れた。</p>										令和元年度	平成30年度	平成29年度	人数	2名	2名	1名	相談回数(述べ)	48回	50回	155回	研修会実施回数	2回	2回	2回	訪問回数	312回	300回	51回
	令和元年度	平成30年度	平成29年度																													
人数	2名	2名	1名																													
相談回数(述べ)	48回	50回	155回																													
研修会実施回数	2回	2回	2回																													
訪問回数	312回	300回	51回																													

## 事業名：学校等適正配置計画に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	02	30	本年		5,684			5,684		4,186	73.7
				前年	6,008	450			6,458	5,684	751	99.6
				比較	△ 6,008	5,234			△ 774	△ 5,684	3,435	-
【参考】前々年度					3,879	2,808	1,415		8,102	450	6,971	91.6
目的				<p>市立の幼稚園、小学校、中学校及び義務教育学校の適正配置を実現し、望ましい学校環境を整備することにより、児童生徒の教育環境の充実を図るため。</p>								
概要及び成果				<p>1 学区審議会の開催 学校等適正配置計画の見直し案について、審議会を5回開催し内容を審議した。</p> <p>2 学校等適正配置計画の見直し 平成26年8月改訂のつくば市学校等適正配置計画について、令和2年3月に改訂した。</p> <p>【成果】 令和20年度までの各学校の児童生徒推計値、今後の方針を記載した、適正配置計画を改訂し公表することができた。</p>								

事業名：特別支援教育に要する経費

教育局 特別支援教育推進室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	01	03	11	本年	16,857			53	16,910		16,170	95.6
				前年	22,474		△ 7,094	83	15,463		15,360	99.3
				比較	△ 5,617		7,094	△ 30	1,447		810	-
【参考】前々年度					10,221		△ 2,668		7,553		7,187	95.2

目的

特別な支援や配慮を必要とする幼児の実態を十分に把握し、つくば市教育支援委員会における審議及び判定を通じて適切な就学につなぐとともに、就学後も指導・支援が適切に行われるよう学校や保護者を支援するため。

概要及び成果

1 特別支援教育相談事業

令和2年度の就学予定者に対して、各幼稚園等に実態調査を行うとともに、特別支援教育指導員による就学相談を実施する。また、小中・義務教育学校及び関係機関を訪問し、よりの確な実態把握に努め、個々に応じた相談及び必要に応じた指導を行う。

【成果】

相談431回、調査・観察訪問496回、電話相談2,828回を通し、幼児及び児童生徒の実態を把握した。これらの活動により得た情報を教育支援委員会に提供し、適切な審議が行われることで、適切な就学につながった。

年間相談回数(延べ回数)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
相談回数	431回	486回	312回	232回	312回
調査・観察訪問回数	496回	530回	405回	452回	476回
電話相談回数	2,828回	1,948回	1,877回	1,028回	907回

2 教育支援委員会運営事業

教育支援委員会を定期的に開催して各専門家の委員により障害のある幼児児童生徒の教育措置に関する審議及び判定を行い、適切な教育措置により児童生徒の個々の力が最大限に伸ばせるようにする。

【成果】

15名の教育支援委員会委員を任命し、年度中10回の委員会開催を実施し、再審議1件を含む延べ272件の就学に係る審議を行った。事前の就学相談や幼稚園等参観を通して資料準備を万全に行ったことに加え、15名の委員の積極的な意見交換や審議を経て、総合的に適切な就学先判定につなげることができた。

事業名：施設整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	11	本年	246,175	11,918	114,398	11,597	384,088	137,759	223,462	94.0
				前年	192,478	38,415	33,404		264,297	11,918	245,070	97.2
				比較	53,697	△ 26,497	80,994	11,597	119,791	125,841	△ 21,608	-
【参考】前々年度					164,951	421,996	3,681		590,628	38,415	419,961	77.6

目的

小学校施設における教育環境の維持・向上を図るため。

概要及び成果

1 小学校施設の整備

- (1) 小学校施設の改修工事、土木、修繕工事の実施
- (2) 改修工事等の設計業務委託

【成果】

- ① 各小学校の修繕工事等を実施したことで教育環境の向上が図られた。

実施件数	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
建築工事、土木工事、修繕工事	54件	56件	56件	47件	78件
工事の設計委託	7件	7件	5件	16件	7件

- ② 竹園西小学校プール改修工事

- ・25mプール改修 A≒325㎡、小プール改修 A≒75㎡
- ・プールサイド床面塗装改修 A≒75㎡

- ③ 竹園東小学校低層棟屋根改修工事

- ・屋根防水改修工事 屋根面積A=840.78㎡

- ④ 荃崎第一小学校トイレ改修工事

- 校舎トイレの改修工事を行ったことで、衛生上良好な環境が図られた。

事業名：学校管理運営に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	12	本年	433,231				433,231		409,921	94.6
				前年	392,190		33,169		425,359		418,320	98.3
				比較	41,041		△ 33,169		7,872		△ 8,399	-
【参考】前々年度					360,570		958		361,528		351,104	97.1

目的	小学校の児童がやさしく、しなやかに、たくましく生きる力を育むことができる学校の教育環境の整備を図るため。
概要 及び 成果	<p>1 学校管理用消耗品、光熱水費等の学校管理費の執行管理</p> <p><b>【成果】</b> 学校管理に必要な経費の支払い及び必要な消耗品等の購入により、より良い環境での学校教育推進に寄与した。</p>
	<p>2 正職員の学校管理員がいない小学校への臨時学校管理員の配置</p> <p><b>【成果】</b> 臨時学校管理員を小学校29校及び義務教育学校1校に配置した。</p>
	<p>3 スクールバスの運行</p> <p><b>【成果】</b> 秀峰筑波義務教育学校スクールバス17台を登下校時に運行し、遠距離児童・生徒の通学手段及び安全を確保することができた。</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	13	本年	64,629				64,629		63,560	98.3
				前年	63,198			285	63,483		62,638	98.7
				比較	1,431			△ 285	1,146		922	-
【参考】前々年度					63,091		1,709		64,800		63,802	98.5

目的	<p>小学校及び義務教育学校前期課程に学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置して定期健康診断等を実施するとともに、災害共済給付制度へ加入することにより、学校管理下における児童の災害に対して治療費などの給付を行うなど、心身ともに健全な児童の育成を図るため。</p>																																				
概要及び成果	<p>1 学校医等の配置 学校医(一般医):54名 学校医(眼科医):33名 学校歯科医:54名 学校薬剤師:33名                      (1)学校医及び学校歯科医による定期健康診断(内科検診、眼科検診、歯科検診)の実施                      (2)就学時健康診断(内科検診、歯科検診、視力検査、聴力検査、面接)の実施                      (3)学校薬剤師による学校環境衛生検査の実施(プール及び飲料水の水質、換気、採光、照明等の検査)</p> <p>【成果】                      学校及び学校医等との連携により児童の健康の保持増進を図ることができた。</p> <p>2 災害共済給付制度への加入及び給付金支給手続き                      【成果】                      災害共済給付制度への加入者及び給付件数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入者</td> <td>14,697人</td> <td>14,420人</td> <td>14,103人</td> <td>13,744人</td> <td>13,463人</td> </tr> <tr> <td>給付件数</td> <td>1,198件</td> <td>1,356件</td> <td>1,163件</td> <td>1,195件</td> <td>1,136件</td> </tr> <tr> <td>給付額</td> <td>6,119,167円</td> <td>6,387,650円</td> <td>6,400,293円</td> <td>5,456,429円</td> <td>5,330,634円</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校管理下における児童の災害に対して、給付金の支給を円滑に進めることができた。                      一人あたりの掛金 935円(うち保護者負担 460円、市負担 475円)</p> <p>3 体力・運動能力調査集計業務電算処理委託                      【成果】                      体力・運動能力調査実施者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査実施者</td> <td>14,683件</td> <td>14,442件</td> <td>14,212人</td> <td>13,853人</td> <td>13,460人</td> </tr> </tbody> </table> <p>集計業務を委託することで、集計作業の迅速化を図ることができた。</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	加入者	14,697人	14,420人	14,103人	13,744人	13,463人	給付件数	1,198件	1,356件	1,163件	1,195件	1,136件	給付額	6,119,167円	6,387,650円	6,400,293円	5,456,429円	5,330,634円		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	調査実施者	14,683件	14,442件	14,212人	13,853人	13,460人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
加入者	14,697人	14,420人	14,103人	13,744人	13,463人																																
給付件数	1,198件	1,356件	1,163件	1,195件	1,136件																																
給付額	6,119,167円	6,387,650円	6,400,293円	5,456,429円	5,330,634円																																
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																
調査実施者	14,683件	14,442件	14,212人	13,853人	13,460人																																

事業名：備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	14	本年	20,642				20,642		20,398	98.8
				前年	18,653		9,830		28,483		26,621	93.5
				比較	1,989		△ 9,830		△ 7,841		△ 6,223	-
【参考】前々年度					17,044				17,044		16,257	95.4
目的				小学校の管理備品を整備することにより、教育環境の充実を図るため。								
概要及び成果				1 各小学校の備品整備 (1) 各小学校の備品の整備及び修繕 【成果】 各小学校の管理備品を整備したことで、教育環境の充実が図られた。 (1) 管理備品の修繕を行った。 (2) 学校管理備品(机・椅子・棚など)を購入(市内全ての小学校及び義務教育学校前期課程33校)した。								

事業名：学校施設取得に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	15	本年	175,274				175,274		175,273	100.0
				前年	176,381				176,381		176,380	100.0
				比較	△ 1,107				△ 1,107		△ 1,107	-
【参考】前々年度					292,243				292,243		292,242	100.0
目的				都市再生機構への償還のため。								
概要及び成果				1 都市再生機構における立替施行分の償還金 【成果】 償還金対象小学校 1. 並木小(増築) 2. 竹園西小 3. 東小(設計) 4. 東小 5. 二の宮小(増築) 6. 大曾根小								

事業名：施設管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	16	本年	121,247			△ 12,462	108,785		106,616	98.0
				前年	126,941				126,941		125,672	99.0
				比較	△ 5,694			△ 12,462	△ 18,156		△ 19,056	-
【参考】前々年度					124,422				124,422		123,646	99.4

目的

法令等に基づく施設の点検等の実施により、安心安全な学校環境を維持するため。また、施設の適切な維持管理を行うことで、教育環境の向上を図るため。

概要及び成果

1 施設管理

- (1) 小学校施設の小規模な修繕や不具合の解消
- (2) 浄化槽法定点検手数料
- (3) 法令に基づく機器点検及び施設の維持管理のための点検等の実施
- (4) 学校用地の借上げ
- (5) 芝管理委託
- (6) 校内植栽の維持管理等

【成果】

各小学校の適切な維持管理を行ったことで教育環境の向上が図られた。

実施件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
(1) 修繕	393件	393件	356件	367件	434件
(2) 浄化槽法定点検	4校	4校	4校	4校	4校
(3) 通常点検委託	48件	48件	52件	69件	57件
(4) 用地借上げ	10校	10校	9校	9校	9校
(5) 芝管理委託	10校	10校	7校	7校	7校
(6) 植栽剪定等	31校	23校	20校	20校	25校

- (1) 小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕
- (2) 施設の防犯対策による機械警備の実施、浄化槽法定検査、飲料水・受水槽の衛生管理
- (3) 消防設備、電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検など
- (4) 学校用地の借上げ・・・前野、栄、北条、谷田部、柳橋、大曾根、吉沼、秀峰、小田、島名
- (5) 植栽の剪定・消毒・伐採
- (6) 芝管理委託・・・吉沼、葛城、上郷、九重、東、春日学園、竹園東、みどりの、学園の森、秀峰



事業名：情報機器整備に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	01	17	本年	58,667		5,624		64,291		62,895	97.8
				前年	55,102				55,102		53,219	96.6
				比較	3,565		5,624		9,189		9,676	-
【参考】前々年度					58,550		977	△ 11	59,516		57,582	96.8

目的	事務機器(校務用パソコン・複合機・印刷機)の賃借により小学校及び義務教育学校前期課程における事務の利便性の向上と効率化を図るため。						
概要及び成果	<p>1 小学校及び義務教育学校前期課程の情報機器の整備                      (1)校務用パソコン、複合機及び印刷機の賃借                      (2)校務用パソコン、複合機及び印刷機のリース期間満了に伴う入替え事業</p> <p>【成果】                      小学校及び義務教育学校前期課程において、校務用パソコン、複合機及び印刷機を賃借し、安定運用・適正管理に努めた。また、リース期間満了に伴う最新機器への入替えにより事務の効率化が図られた。</p> <p>(令和元年度導入) ・印刷機6台(リース期間:令和元年12月～令和6年11月)</p> <p>・設置台数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>校務用パソコン</td> <td>892台</td> </tr> <tr> <td>複合機</td> <td>33台</td> </tr> <tr> <td>印刷機</td> <td>39台</td> </tr> </table>	校務用パソコン	892台	複合機	33台	印刷機	39台
校務用パソコン	892台						
複合機	33台						
印刷機	39台						

事業名：特別支援教育就学奨励に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	11	本年	9,002				9,002		7,534	83.7
				前年	7,101		509		7,610		7,531	99.0
				比較	1,901		△ 509		1,392		3	-
【参考】前々年度					4,431		2,346		6,777		6,592	97.3

目的	小学校及び義務教育学校(前期課程)の特別支援学級及び通常学級で、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童の保護者の経済的な負担を軽減し、児童の就学を奨励するために、特別支援教育就学奨励費を支給し、特別支援教育の振興を図るため。																		
概要及び成果	1 認定児童の保護者に対して、各学期の終了時期に奨励費を支給する。 支給費目:学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費、修学旅行費、学校給食費 <b>【成果】</b> 特別支援教育就学奨励費補助金の支給人数及び支給額 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>240人</td> <td>236人</td> <td>203人</td> <td>165人</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>支給額(円)</td> <td>7,528,608</td> <td>7,531,026</td> <td>6,591,331</td> <td>5,390,572</td> <td>4,921,328</td> </tr> </tbody> </table> 保護者の経済的負担の軽減に寄与した。		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給人数	240人	236人	203人	165人	157人	支給額(円)	7,528,608	7,531,026	6,591,331	5,390,572	4,921,328
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
支給人数	240人	236人	203人	165人	157人														
支給額(円)	7,528,608	7,531,026	6,591,331	5,390,572	4,921,328														

事業名：要保護等児童就学援助に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	12	本年	58,861		8,237		67,098		66,545	99.2
				前年	58,907		3,599		62,506		59,408	95.0
				比較	△ 46		4,638		4,592		7,137	-
【参考】前々年度					53,972		1,064		55,036		54,983	99.9

目的	小学校及び義務教育学校(前期課程)に就学する児童の保護者が、児童への就学義務を最優先に履行していることを前提として、経済的理由により児童の就学に支障をきたしている場合に、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図るため。																								
概要及び成果	1 要保護等児童就学援助 (1) 要保護認定児童(生活保護世帯)の保護者に対して修学旅行費を支給 (2) 準要保護認定児童(要保護に準ずる程度に困窮していると認定された児童)の保護者に対して次の費目を支給 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費、修学旅行費、学校給食費、トレンチャツ費 <b>【成果】</b> 要保護・準要保護認定者の支給人数及び支給額 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要保護支給人数</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>準要保護支給人数</td> <td>949人</td> <td>841人</td> <td>743人</td> <td>729人</td> <td>717人</td> </tr> <tr> <td>支給額(円)</td> <td>66,544,906</td> <td>59,408,193</td> <td>54,983,005</td> <td>52,108,437</td> <td>52,155,573</td> </tr> </tbody> </table> 保護者の経済的負担の軽減に寄与した。		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	要保護支給人数	3人	0人	0人	2人	5人	準要保護支給人数	949人	841人	743人	729人	717人	支給額(円)	66,544,906	59,408,193	54,983,005	52,108,437	52,155,573
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																				
要保護支給人数	3人	0人	0人	2人	5人																				
準要保護支給人数	949人	841人	743人	729人	717人																				
支給額(円)	66,544,906	59,408,193	54,983,005	52,108,437	52,155,573																				

事業名：教材整備に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	13	本年	30,266				30,266		29,997	99.1
				前年	34,101				34,101		33,692	98.8
				比較	△ 3,835				△ 3,835		△ 3,695	-
【参考】前々年度					35,982				35,982		35,048	97.4

目的	市立の小学校及び義務教育学校(前期課程)の教材や図書備品を整備し、一人一人の児童の素質をいかに学習指導を進めるため。
概要及び成果	<p>1 教材整備に要する経費</p> <p>(1)図書の購入(学校教育指導方針、教師用図書、教師用指導書)</p> <p>(2)理科実験用薬品等の購入</p> <p>(3)図書室用図書備品の購入</p> <p>(4)教材用消耗品購入(プリント教材用紙、理科実験用消耗品等)</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>図書備品や教材の購入を行い、個々の児童にあった授業の実施に寄与した。</p>

事業名：特別活動等に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	14	本年	12,643				12,643		8,192	64.8
				前年	12,263				12,263		11,860	96.7
				比較	380				380		△ 3,668	-
【参考】前々年度					13,263				13,263		13,010	98.1

目的	小学校及び義務教育学校(前期課程)における学校行事の活動や陸上記録会等により児童の健全育成を図るため。
概要及び成果	<p>1 特別活動等助成</p> <p>(1)卒業記念品や行事用消耗品の購入</p> <p>(2)陸上競技会、音楽会参加に係るバス等の自動車賃借</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>行事活動や陸上記録会や音楽会を通して、児童の心身の育成が図れた。</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	15	本年	10,315				10,315		8,514	82.5
				前年	13,353				13,353		8,224	61.6
				比較	△ 3,038				△ 3,038		290	-
【参考】前々年度					16,169				16,169		11,401	70.5

目的	小学校及び義務教育学校(前期課程)の児童の学力向上、自転車通学児童の安全確保及び遠距離通学児童の保護者の経済的負担の軽減を図るため。																																		
概要及び成果	1 学力診断テスト用紙の購入 <b>【成果】</b> 児童の学力把握に寄与した。																																		
	2 自転車通学をする新1年生及び転入生に自転車用ヘルメットを配布 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布人数</td> <td>26人</td> <td>5人</td> <td>24人</td> <td>22人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>対象校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> </tr> </tbody> </table> 保護者の経済的負担の軽減に寄与した。													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	配布人数	26人	5人	24人	22人	21人	対象校	2校	2校	2校	2校	2校					
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																													
	配布人数	26人	5人	24人	22人	21人																													
	対象校	2校	2校	2校	2校	2校																													
3 片道の通学距離が4kmを超える遠距離通学児童の保護者に対する通学費の補助 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>76人</td> <td>75人</td> <td>108人</td> <td>133人</td> <td>102人</td> </tr> <tr> <td>対象校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> <td>8校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>支給額(円)</td> <td>2,217,900</td> <td>2,205,000</td> <td>3,240,000</td> <td>1,330,000</td> <td>1,020,000</td> </tr> </tbody> </table> 保護者の経済的負担の軽減に寄与した。													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給人数	76人	75人	108人	133人	102人	対象校	6校	6校	8校	6校	6校	支給額(円)	2,217,900	2,205,000	3,240,000	1,330,000	1,020,000
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																														
支給人数	76人	75人	108人	133人	102人																														
対象校	6校	6校	8校	6校	6校																														
支給額(円)	2,217,900	2,205,000	3,240,000	1,330,000	1,020,000																														
4 片道の通学距離が4km未満で、路線バス又は自転車で通学する児童の保護者に対する通学費の補助 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>262人</td> <td>257人</td> <td>434人</td> </tr> <tr> <td>対象校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>支給額(円)</td> <td>2,589,000</td> <td>2,555,500</td> <td>4,340,000</td> </tr> </tbody> </table> 保護者の経済的負担の軽減に寄与した。													令和元年度	平成30年度	平成29年度	支給人数	262人	257人	434人	対象校	6校	6校	5校	支給額(円)	2,589,000	2,555,500	4,340,000								
	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																
支給人数	262人	257人	434人																																
対象校	6校	6校	5校																																
支給額(円)	2,589,000	2,555,500	4,340,000																																
*当事業については、平成29年度から支給を実施したため、平成28年度以前の実績はなし。																																			

事業名：教材備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	16	本年	20,889			73	20,962		16,906	80.7
				前年	19,089				19,089		18,914	99.1
				比較	1,800			73	1,873		△ 2,008	-
【参考】前々年度					20,990				20,990		20,128	95.9

目的	小学校の教材備品を良好に維持することにより、教育環境の向上を図るため。
概要及び成果	<p>1 教材備品整備に要する経費</p> <p>(1) 教材備品の修繕及び整備</p> <p>(2) 予算は学校に配分し、学校要望に沿って購入する。</p> <p>【成果】</p> <p>各学校の教科用備品を整備したことで、教育環境の向上が図られた。</p> <p>(1) 各小学校の教材備品の修繕</p> <p>(2) 各小学校の教材備品の整備(市内全ての小学校及び義務教育学校前期課程33校) 理科・算数・体育教材など</p>

事業名：ICT教育推進に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	17	本年	139,440		460,374		599,814	460,374	138,753	99.9
				前年	138,251		△ 2,988		135,263		134,602	99.5
				比較	1,189		463,362		464,551	460,374	4,151	-
【参考】前々年度					128,441		6,335	11	134,787		134,672	99.9

目的	CAI教室に導入している教育用パソコンの老朽化及びリース期間満了に伴う入替えを計画的に行い、最新のコンピュータ機器やソフトを導入してICT環境の充実とICTを生かした学力向上を図るため。						
概要及び成果	<p>1 小学校及び義務教育学校前期課程のICT機器の整備</p> <p>(1)教育用パソコン、コンピュータソフト及び電子黒板等の賃借</p> <p>(2)教育用パソコン、コンピュータソフト及び電子黒板等のリース期間満了に伴う入替え事業</p> <p>【成果】</p> <p>児童が、快適に利用できるICT環境を推進するため、計画的に機器の更新を行った。</p> <p>(令和元年度導入) CAI教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校6校及び義務教育学校前期課程2校(リース期間:5年間 令和元年10月～令和6年9月)</li> <li>・ 1校当たりの基本整備内容 児童用パソコン40台、教師用パソコン1台、プリンター1台、電子黒板1～2台、ソフトウェア</li> </ul> <p>普通教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校29校及び義務教育学校前期課程4校(リース期間:5年間 令和元年9月～令和6年8月)</li> <li>・ 1校当たりの基本整備内容 電子黒板2台</li> </ul> <p>・設置台数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>教育用パソコン</td> <td>1,652台</td> </tr> <tr> <td>うちタブレット</td> <td>1,586台</td> </tr> <tr> <td>電子黒板</td> <td>128台</td> </tr> </table>	教育用パソコン	1,652台	うちタブレット	1,586台	電子黒板	128台
教育用パソコン	1,652台						
うちタブレット	1,586台						
電子黒板	128台						

## 事業名：学校図書館司書教諭補助員に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	02	18	本年	143				143		32	22.5
				前年	143		△ 64		79		32	40.3
				比較			64		64		-	
【参考】前々年度					14,787				14,787		14,124	95.5
目的		小学校、及び義務教育学校に学校図書館司書教諭の補助を行う司書教諭補助員を配置して、学校図書館の環境整備や読書活動の推進を図るため。										
概要及び成果		<p>1 小学校図書館の環境整備</p> <p>(1) 学校経営方針に基づき司書教諭の指示により、司書教諭を補助して学校図書館の環境整備を行う。</p> <p>(2) 年度初めの図書館利用のガイダンスや新刊本の紹介や書架の整理、休み時間の図書の貸し出し返却業務を行う。</p> <p>(3) 選書のアドバイスなど、読書好きの児童を育てる活動などを行う。</p> <p>(4) 学校図書館アドバイザーの巡回訪問による研修制度により、学校の実情に合わせた実務研修を行い、学校図書館の充実を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>児童数600人以上の小学校及び義務教育学校11校には週5日、児童数400人以上の小学校5校には週4日、児童数400人未満の小学校17校には週3日配置した。司書教諭補助員は学校図書館内の環境整備や読書活動の推進の補助にあたった結果、学校図書館に対する意識が高まり各学校の教育目標達成に効果を上げた。</p> <p>(1) 学校図書館の環境が整備された。</p> <p>(2) 蔵書の整理が行われ、本を選びやすい環境が整えられた。</p> <p>(3) 読み聞かせなどの活動が行われ、読書意欲が高まった。</p> <p>(4) 授業で活用できる選書のアドバイスなどにより、職員全体に学校図書館の活用に関する意識が高まり、授業での積極的な活用が見られ、児童の読書量が増えている。</p>										

## 事業名：理科支援員等配置に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
10	02	02	19	本年	6,610				6,610		5,844	88.4																								
				前年	6,371				6,371		5,825	91.4																								
				比較	239				239		19	-																								
【参考】前々年度					6,297				6,297		5,706	90.6																								
目的		外部人材を理科支援員として活用することにより、小学校の理科授業における観察・実験活動の充実を図ると共に、教員の資質向上を図り、理科教育の充実に資するため。																																		
概要及び成果		<p>1 理科支援員派遣</p> <p>理科教育の向上という観点から、専門性のある理科支援員を市内全小学校に配置する。理科支援員は理科授業の準備・片づけ・実験の補助等を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>理科支援員の配置により、実験・観察等の体験的な授業が充実し、児童の関心・意欲が向上した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校数</td> <td>33校(全小義務学校)</td> <td>33校(全小義務学校)</td> <td>37校(全小学校)</td> <td>37校(全小学校)</td> <td>37校(全小学校)</td> </tr> <tr> <td>時間数</td> <td>5,155時間</td> <td>5,067時間</td> <td>4,934時間</td> <td>5,115時間</td> <td>5,254時間</td> </tr> <tr> <td>支援員配置人数</td> <td>33名</td> <td>33名</td> <td>37名</td> <td>37名</td> <td>32名</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	小学校数	33校(全小義務学校)	33校(全小義務学校)	37校(全小学校)	37校(全小学校)	37校(全小学校)	時間数	5,155時間	5,067時間	4,934時間	5,115時間	5,254時間	支援員配置人数	33名	33名	37名	37名	32名
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
小学校数	33校(全小義務学校)	33校(全小義務学校)	37校(全小学校)	37校(全小学校)	37校(全小学校)																															
時間数	5,155時間	5,067時間	4,934時間	5,115時間	5,254時間																															
支援員配置人数	33名	33名	37名	37名	32名																															

事業名：小学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	03	11	本年	111,359		1,192,292	792	1,304,443	1,338	1,278,374	98.1
				前年	86,886				86,886	86,884	100.0	
				比較	24,473		1,192,292	792	1,217,557	1,338	1,191,490	-
【参考】前々年度					80,788				80,788		80,788	100.0
目的				児童数増に伴う教室不足を、増設校舎のリースを行う。また、TX沿線開発地区内(葛城地区)の人口増及び児童数増に伴う既存校の過大規模解消のため小学校を建設整備し、教育環境の充実を図るため。								
概要及び成果				<p>1 小学校校舎賃貸借事業(リース校舎)</p> <p>1. 葛城小学校 2. 竹園西小学校 3. 谷田部小学校 4. 春日学園義務教育学校(小学校分)</p> <p>5. 島名小学校 6. 学園の森義務教育学校(小学校分) 7. みどりの学園義務教育学校(小学校分)</p> <p>【成果】</p> <p>生徒数増に伴う教室不足を、増設校舎のリースを行い、教育環境の充実が図られた。</p> <p>2 新設小学校の整備建設事業</p> <p>1. (仮)研究学園小学校整備建設事業</p> <p>【成果】</p> <p>小学校用地の購入、設計業務委託(令和元・2年度継続事業)を実施し、令和5年4月に開校することで教育環境の充実を図る。</p>								

事業名：(仮称)香取台地区小学校建設に要する経費

教育局教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	02	03	12	本年	53,579		△ 10,755		42,824	1,017	41,147	98.5
				前年	676,246				676,246	676,245	100.0	
				比較	△ 622,667		△ 10,755		△ 633,422	1,017	△ 635,098	-
【参考】前々年度												
目的				TX沿線開発地区(島名・福田坪地区)の児童・生徒数増に伴う、既存小学校の過大規模校解消のため、小学校を整備建設し教育環境の充実を図るため。								
概要及び成果				<p>1 (仮称)香取台地区小学校整備建設事業</p> <p>【成果】</p> <p>小学校用地購入</p> <p>所在地:香取台A50街区</p> <p>面積:19,509.7㎡ 単価:34,662円/㎡</p> <p>価格:676,245,221円</p> <p>令和5年4月開校に向けて事業を進行させた。</p>								

事業名：施設整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
10	03	01	11	本年	115,781		71,929		187,710	71,929	107,082	95.4																		
				前年	507,345		△ 41,027	238	466,556		465,897	99.9																		
				比較	△ 391,564		112,956	△ 238	△ 278,846	71,929	△ 358,815	-																		
【参考】前々年度					57,937	103,562	△ 3,153	1,601	159,947		136,938	85.6																		
目的		中学校施設における教育環境の維持・向上を図るため。																												
概要及び成果		<p>1 中学校施設の整備</p> <p>(1) 中学校施設の改修工事、土木、修繕工事の実施</p> <p>(2) 改修工事等の設計業務委託</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 各中学校の修繕工事等を実施したことで教育環境の向上が図られた。</p> <p>実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築工事、土木工事、修繕工事</td> <td>34件</td> <td>23件</td> <td>48件</td> <td>41件</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>工事の設計委託</td> <td>2件</td> <td>4件</td> <td>8件</td> <td>6件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 竹園東中学校プール改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プール本体改修工事(25m×15m)ステンレス鋼内張</li> <li>・プールサイド改修 一式</li> <li>・フェンス改修 一式</li> </ul> <p>(3) 桜中学校の校舎トイレ改修工事</p> <p>校舎トイレの改修工事を行ったことで、衛生上良好な環境が図られた。</p>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	建築工事、土木工事、修繕工事	34件	23件	48件	41件	27件	工事の設計委託	2件	4件	8件	6件	5件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
建築工事、土木工事、修繕工事	34件	23件	48件	41件	27件																									
工事の設計委託	2件	4件	8件	6件	5件																									

事業名：学校管理運営に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	12	本年	185,211				185,211		171,185	92.4
				前年	162,422		23,083		185,505		167,589	90.3
				比較	22,789		△ 23,083		△ 294		3,596	-
【参考】前々年度					150,597		1,578		152,175		150,306	98.8
目的		中学校及び義務教育学校(後期課程)の生徒がやさしく、しなやかに、たくましく生きる力を育むことができる教育環境の整備を図るため。										
概要及び成果		<p>1 光熱水費、消耗品等の学校管理費の執行管理</p> <p>【成果】</p> <p>教育環境を整備し、学校教育の推進に寄与した。</p> <p>2 正職員の学校管理員がいない中学校への臨時学校管理員の配置</p> <p>【成果】</p> <p>臨時学校管理員を中学校12校及び義務教育学校3校に配置した。</p> <p>3 豊里中学校のプール授業実施のための施設使用及び自動車借上</p> <p>【成果】</p> <p>豊里中でプールがないため代替措置として、民営施設を各6回使用し、授業を実施した。</p>										



事業名：学校保健管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	13	本年	28,942				28,942		27,474	94.9
				前年	28,498			△ 285	28,213		27,549	97.6
				比較	444			285	729		△ 75	-
【参考】前々年度					28,192				28,192		27,155	96.3

目的	<p>中学校及び義務教育学校後期課程に学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置して定期健康診断等を実施するとともに、災害共済給付制度へ加入することにより、学校管理下における生徒の災害に対して治療費などの給付を行うなど、心身ともに健全な生徒の育成を図るため。</p>																								
概要及び成果	<p>1 学校医等の配置 学校医(一般医):24名 学校医(眼科医):16名 学校歯科医:24名 学校薬剤師:16名                  (1)学校医及び学校歯科医による定期健康診断(内科検診、眼科検診、歯科検診)の実施                  (2)学校薬剤師による学校環境衛生検査の実施(プール及び飲料水の水質、換気、採光、照明等の検査)  <b>【成果】</b>                  学校及び学校医等との連携により生徒の健康の保持増進を図ることができた。</p>																								
	<p>2 災害共済給付制度への加入及び給付金支給手続き  <b>【成果】</b>                  災害共済給付制度への加入者及び給付件数等</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入者</td> <td>5,859人</td> <td>5,832人</td> <td>5,889人</td> <td>5,815人</td> <td>5,802人</td> </tr> <tr> <td>給付件数</td> <td>1,122件</td> <td>1,123件</td> <td>1,170件</td> <td>1,278件</td> <td>1,150件</td> </tr> <tr> <td>給付額</td> <td>6,258,447円</td> <td>7,397,888円</td> <td>7,730,376円</td> <td>7,475,505円</td> <td>7,379,162円</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校管理下における生徒の災害に対して、給付金の支給を円滑に進めることができた。                  一人あたりの掛金 935円(うち保護者負担 460円、市負担 475円)</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	加入者	5,859人	5,832人	5,889人	5,815人	5,802人	給付件数	1,122件	1,123件	1,170件	1,278件	1,150件	給付額	6,258,447円	7,397,888円	7,730,376円	7,475,505円	7,379,162円
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
加入者	5,859人	5,832人	5,889人	5,815人	5,802人																				
給付件数	1,122件	1,123件	1,170件	1,278件	1,150件																				
給付額	6,258,447円	7,397,888円	7,730,376円	7,475,505円	7,379,162円																				
<p>3 体力・運動能力調査集計業務電算処理委託  <b>【成果】</b>                  体力・運動能力調査実施者数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査実施者</td> <td>5,935人</td> <td>5,937人</td> <td>5,951人</td> <td>5,835人</td> <td>5,802人</td> </tr> </tbody> </table> <p>集計業務を委託することで、集計作業の迅速化を図ることができた。</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	調査実施者	5,935人	5,937人	5,951人	5,835人	5,802人													
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																				
調査実施者	5,935人	5,937人	5,951人	5,835人	5,802人																				

事業名：備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	14	本年	12,847				12,847		11,061	86.1
				前年	12,029		9,830		21,859		20,758	95.0
				比較	818		△ 9,830		△ 9,012		△ 9,697	-
【参考】前々年度					10,735				10,735		10,717	99.8

目的	<p>中学校の管理備品を整備することにより、教育環境の充実を図るため。</p>
概要及び成果	<p>1 各中学校の備品整備                  (1)管理備品の修繕                  (2)学校管理備品の整備  <b>【成果】</b>                  各中学校の管理備品を整備したことで教育環境の充実が図られた。</p>
	<p>(1)管理備品の修繕を行った。                  (2)学校管理備品(机・椅子・棚など)を購入(市内全ての中学校及び義務教育学校後期課程16校)した。</p>

事業名：学校施設取得に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	01	15	本年	23,695				23,695		23,695	100.0
				前年	160,690				160,690		160,689	100.0
				比較	△ 136,995				△ 136,995		△ 136,994	-
【参考】前々年度					190,386				190,386		190,385	100.0
<p>目的</p> <p>都市再生機構への償還のため。</p>												
<p>概要及び成果</p> <p>1 都市再生機構における立替施行分の償還金  <b>【成果】</b>                  償還金対象中学校                  1.谷田部東中、設計(2期)、増築(2期) 2. 手代木中(増築:設計)、増築(校舎)</p>												

事業名：施設管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																				
10	03	01	16	本年	63,800			△ 661	63,139		58,701	93.0																																				
				前年	63,149			△ 238	62,911		61,879	98.4																																				
				比較	651			△ 423	228		△ 3,178	-																																				
【参考】前々年度					60,876			△ 1,601	59,275		58,831	99.3																																				
<p>目的</p> <p>法令等に基づく施設の点検等の実施により、安心安全な学校環境を維持する。また、施設の適切な維持管理を行うことで、教育環境の向上を図るため。</p>																																																
<p>概要及び成果</p> <p>1 施設管理                  (1) 中学校施設の小規模な修繕や不具合の解消                  (2) 浄化槽法定点検手数料                  (3) 法令に基づく機器点検及び施設の維持管理のための点検等の実施                  (4) 学校用地の借上げ                  (5) 校内植栽の維持管理等  <b>【成果】</b>                  各中学校の適切な維持管理を行ったことで教育環境の向上が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施件数</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 修繕</td> <td>176件</td> <td>156件</td> <td>192件</td> <td>174件</td> <td>174件</td> </tr> <tr> <td>(2) 浄化槽法定点検</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>(3) 通常点検委託</td> <td>33件</td> <td>33件</td> <td>41件</td> <td>32件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>(4) 用地借上げ</td> <td>6校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>(5) 植栽剪定等</td> <td>13校</td> <td>14校</td> <td>9校</td> <td>12校</td> <td>12校</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕                  (2) 施設の防犯対策による機械警備の実施、浄化槽法定検査、飲料水・受水槽の衛生管理                  (3) 消防設備、電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検など                  (4) 学校用地の借上げ・・・筑波東、桜、高山、荃崎、高崎、秀峰                  (5) 植栽の剪定・消毒・伐採</p>													実施件数	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	(1) 修繕	176件	156件	192件	174件	174件	(2) 浄化槽法定点検	2校	2校	2校	2校	2校	(3) 通常点検委託	33件	33件	41件	32件	39件	(4) 用地借上げ	6校	6校	6校	6校	6校	(5) 植栽剪定等	13校	14校	9校	12校	12校
実施件数	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																											
(1) 修繕	176件	156件	192件	174件	174件																																											
(2) 浄化槽法定点検	2校	2校	2校	2校	2校																																											
(3) 通常点検委託	33件	33件	41件	32件	39件																																											
(4) 用地借上げ	6校	6校	6校	6校	6校																																											
(5) 植栽剪定等	13校	14校	9校	12校	12校																																											

事業名：情報機器整備に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)						
10	03	01	17	本年	28,678		525		29,203		27,663	94.7						
				前年	25,405				25,405		24,311	95.7						
				比較	3,273		525		3,798		3,352	-						
【参考】前々年度					27,096		977		28,073		27,082	96.5						
目的		事務機器(校務用パソコン・複合機・印刷機)の賃借により中学校及び義務教育学校後期課程における事務の利便性の向上と効率化を図るため。																
概要及び成果		<p>1 中学校及び義務教育学校後期課程の情報機器の整備                      (1)校務用パソコン、複合機及び印刷機の賃借                      (2)校務用パソコン、複合機及び印刷機のリース期間満了に伴う入替え事業</p> <p>【成果】                      中学校及び義務教育学校後期課程において、校務用パソコン、複合機及び印刷機を賃借し、安定運用・適正管理に努めた。また、リース期間満了に伴う最新機器への入替えにより事務の効率化が図られた。</p> <p>(令和元年度導入) ・印刷機10台(リース期間:令和元年12月～令和6年11月)</p> <p>・設置台数</p> <table border="1"> <tr> <td>校務用パソコン</td> <td>457台</td> </tr> <tr> <td>複合機</td> <td>16台</td> </tr> <tr> <td>印刷機</td> <td>27台</td> </tr> </table>											校務用パソコン	457台	複合機	16台	印刷機	27台
校務用パソコン	457台																	
複合機	16台																	
印刷機	27台																	

事業名：特別支援教育就学奨励に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
10	03	02	11	本年	5,007				5,007		3,475	69.4																		
				前年	4,328				4,328		3,605	83.3																		
				比較	679				679		△130	-																		
【参考】前々年度					2,720		1,676		4,396		4,173	94.9																		
目的		中学校及び義務教育学校(後期課程)の特別支援学級及び通常学級で、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者の経済的な負担を軽減し、生徒の就学を奨励するために、特別支援教育就学奨励費を支給することにより、特別支援教育の振興を図るため。																												
概要及び成果		<p>1 認定生徒の保護者に対して、各学期の終了時期に奨励費を支給する。                      支給費目:学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費</p> <p>【成果】                      特別支援教育就学奨励費補助金の支給人数及び支給額</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>平成30年度</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>支給人数</td> <td>71人</td> <td>80人</td> <td>86人</td> <td>72人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>支給額(円)</td> <td>3,475,200</td> <td>3,605,410</td> <td>4,172,593</td> <td>3,494,935</td> <td>2,687,760</td> </tr> </table> <p>保護者の経済的負担の軽減に寄与した。</p>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給人数	71人	80人	86人	72人	57人	支給額(円)	3,475,200	3,605,410	4,172,593	3,494,935	2,687,760
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
支給人数	71人	80人	86人	72人	57人																									
支給額(円)	3,475,200	3,605,410	4,172,593	3,494,935	2,687,760																									

事業名：要保護等生徒就学援助に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
10	03	02	12	本年	60,796		3,182		63,978		63,471	99.2																								
				前年	61,179		3,825		65,004		62,995	96.9																								
				比較	△ 383		△ 643		△ 1,026		476	-																								
【参考】前々年度					56,407		11,626		68,033		67,267	98.9																								
目的				中学校及び義務教育学校(後期課程)に就学する生徒の保護者が、生徒への就学義務を最優先に履行していることを前提として、経済的理由により生徒の就学に支障をきたしている場合に、就学援助費を支給することにより義務教育の円滑な実施を図るため。																																
概要及び成果				1 要保護等生徒就学援助 (1) 要保護認定生徒(生活保護世帯)の保護者に対して修学旅行費を支給 (2) 準要保護認定生徒(要保護に準ずる程度に困窮していると認定された生徒)の保護者に対して次の費目を支給 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費、トレシャツ費 【成果】 要保護・準要保護認定者の支給人数及び支給額 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要保護支給人数</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>準要保護支給人数</td> <td>496人</td> <td>483人</td> <td>495人</td> <td>490人</td> <td>497人</td> </tr> <tr> <td>支給額(円)</td> <td>63,470,664</td> <td>62,995,286</td> <td>67,267,111</td> <td>57,157,359</td> <td>58,543,686</td> </tr> </tbody> </table> 保護者の経済的負担の軽減に寄与した。										令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	要保護支給人数	2人	5人	4人	5人	3人	準要保護支給人数	496人	483人	495人	490人	497人	支給額(円)	63,470,664	62,995,286	67,267,111	57,157,359	58,543,686
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
要保護支給人数	2人	5人	4人	5人	3人																															
準要保護支給人数	496人	483人	495人	490人	497人																															
支給額(円)	63,470,664	62,995,286	67,267,111	57,157,359	58,543,686																															

事業名：教材整備に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	13	本年	21,279				21,279		20,915	98.3
				前年	20,517				20,517		19,692	96.0
				比較	762				762		1,223	-
【参考】前々年度					20,845				20,845		19,950	95.7
目的				市立の中学校及び義務教育学校(後期課程)の教材や図書備品を整備し、一人一人の生徒の素質をいかす学習指導を進めるため。								
概要及び成果				1 教材整備 (1) 図書の購入(学校教育指導方針、教師用図書、教師用指導書) (2) 理科実験用薬品等購入 (3) 図書室用図書備品の購入 (4) 教材用消耗品購入(理科実験用消耗品等) 【成果】 図書備品や教材の購入を行い、個々の生徒にあった授業の実施に寄与した。								

事業名：特別活動等に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	14	本年	38,592				38,592		38,181	98.9
				前年	35,359				35,359		34,818	98.5
				比較	3,233				3,233		3,363	-
【参考】前々年度					33,285				33,285		32,699	98.2
目的		中学校及び義務教育学校(後期課程)における学校行事等を実施するために必要な消耗品等の購入及び部活動に必要な経費を助成し、教育環境の整備に努めるため。										
概要及び成果		1 特別活動等助成 (1) 卒業記念品や行事用消耗品の購入 (2) 市立中学校及び義務教育学校への部活動費の配当(バス賃借料・消耗品費) <b>【成果】</b> 行事活動や部活動を通して、生徒の心身の育成に寄与した。また、保護者の負担軽減を図ることができた。										

事業名：教育振興助成に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	15	本年	11,460				11,460		9,915	86.5
				前年	11,921				11,921		10,820	90.8
				比較	△ 461				△ 461		△ 905	-
【参考】前々年度					11,578				11,578		9,591	82.8

目的	中学校及び義務教育学校(後期課程)の生徒の学力向上、自転車通学生徒の安全確保及び遠距離通学生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため。																																		
概要及び成果	1 学力診断テスト用紙の購入 【成果】 生徒の学力把握に寄与した。																																		
	2 自転車通学をする新1年生及び転入生に自転車用ヘルメットを配布 【成果】																																		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布人数</td> <td>2027人</td> <td>1933人</td> <td>1900人</td> <td>1932人</td> <td>1873人</td> </tr> <tr> <td>対象校</td> <td>16校</td> <td>16校</td> <td>15校</td> <td>15校</td> <td>15校</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	配布人数	2027人	1933人	1900人	1932人	1873人	対象校	16校	16校	15校	15校	15校					
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																													
	配布人数	2027人	1933人	1900人	1932人	1873人																													
対象校	16校	16校	15校	15校	15校																														
保護者の経済的負担の軽減に寄与した。																																			
3 片道の通学距離が6kmを超える遠距離通学生徒の保護者に対する通学費の補助 【成果】																																			
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>66人</td> <td>63人</td> <td>76人</td> <td>91人</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>対象校</td> <td>4校</td> <td>4校</td> <td>5校</td> <td>5校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>支給額(円)</td> <td>803,600</td> <td>937,200</td> <td>1,169,600</td> <td>1,268,400</td> <td>1,216,600</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給人数	66人	63人	76人	91人	94人	対象校	4校	4校	5校	5校	5校	支給額(円)	803,600	937,200	1,169,600	1,268,400	1,216,600
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																														
支給人数	66人	63人	76人	91人	94人																														
対象校	4校	4校	5校	5校	5校																														
支給額(円)	803,600	937,200	1,169,600	1,268,400	1,216,600																														
保護者の経済的負担の軽減に寄与した。																																			

事業名：教材備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	16	本年	11,800				11,800		8,452	71.6
				前年	10,800				10,800		10,020	92.8
				比較	1,000				1,000		△ 1,568	-
【参考】前々年度					12,469				12,469		12,452	99.9

目的	中学校の教材備品を良好に維持することにより、教育環境の向上を図るため。											
概要及び成果	1 教材備品整備に要する経費 (1) 教材備品の修繕及び整備 (2) 予算は学校に配分し、学校要望に沿って購入する。 【成果】 各学校の教科用備品を整備したことで、教育環境の向上が図られた。											
	(1) 各中学校の教材備品の修繕 (2) 各中学校の教材備品の整備(市内全ての中学校及び義務教育学校後期課程16校) 理科・算数・体育教材など											

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	17	本年	70,220		258,961		329,181	258,961	69,830	99.9
				前年	60,281			60,281	59,547	98.8		
				比較	9,939		258,961	268,900	258,961	10,283	-	
【参考】前々年度					49,861		3,201		53,062		53,004	99.9

目的	CAI教室に導入している教育用パソコンの老朽化及びリース期間満了に伴う入替を計画的に行い、最新のコンピュータ機器やソフトを導入してICT環境の充実とICTを生かした学力向上を図るため。						
概要及び成果	<p>1 中学校及び義務教育学校後期課程のICT機器の整備                      (1)教育用パソコン、コンピュータソフト及び電子黒板等の賃借                      (2)教育用パソコン、コンピュータソフト及び電子黒板等のリース期間満了に伴う入替え事業</p> <p>【成果】                      生徒が、快適に利用できるICT環境を推進するため、計画的に機器の更新を行った。</p> <p>(令和元年度導入) CAI教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校2校及び義務教育学校後期課程2校(リース期間:5年間 令和元年10月～令和6年9月)</li> <li>・ 1校当たりの基本整備内容                          生徒用パソコン40台、先生用パソコン1台、プリンター1台、電子黒板1～2台、ソフトウェア</li> </ul> <p>普通教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校12校及び義務教育学校後期課程4校(リース期間:5年間 令和元年9月～令和6年8月)</li> <li>・ 1校当たりの基本整備内容                          電子黒板を普通教室及び特別支援学級に各1台配置</li> </ul> <p>・設置台数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>教育用パソコン</td> <td>880台</td> </tr> <tr> <td>うちタブレット</td> <td>845台</td> </tr> <tr> <td>電子黒板</td> <td>214台</td> </tr> </table>	教育用パソコン	880台	うちタブレット	845台	電子黒板	214台
教育用パソコン	880台						
うちタブレット	845台						
電子黒板	214台						

## 事業名：学校図書館協力員に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	18	本年	900				900		887	98.6
				前年	897				897		884	98.5
				比較	3				3		3	-
【参考】前々年度					840				840		806	96.0

## 目的

全中学校12校、及び義務教育学校4校に学校図書館司書教諭の補助を行う協力員(社会人ボランティア(有償))を配置して、学校図書館の環境整備等に努めるため。

## 概要及び成果

## 1 中学校図書館の環境整備

- (1) 学校経営方針に基づき、司書教諭の指示の下、司書教諭と協力して学校図書館の環境整備を行う。  
(2) 新刊本の紹介や書架の整理、休み時間の図書の貸し出し返却業務を行う。

## 【成果】

全中学校12校、及び義務教育学校4校に協力員を配置したことにより、学校図書館の業務が円滑化され読書活動が推進された。令和2年度より学校図書館司書教諭補助員として全中学校12校、及び義務教育学校4校に配置する。

## 事業名：つくば未来塾に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	03	02	19	本年	4,279				4,279		3,150	73.6
				前年	4,234				4,234		2,964	70.0
				比較	45				45		186	-
【参考】前々年度					3,974				3,974		3,392	85.4

## 目的

学習チューターを市内全中学校及び全義務教育学校に派遣し、中学生の学習支援を行うことで、基礎学力や学習習慣の定着を図るため。また、大学生には学習チューターとして本事業にかかわることにより自己の能力を生かし、キャリアアップを図ってもらうため。さらに、地域人材に積極的に学校の教育活動に参画してもらい、社会に開かれた学校教育の実現を図るため。

## 概要及び成果

## 1 つくば未来塾事業

全国学力学習状況調査等の結果を分析し、各中学校の学習上の課題を明確にした上で、大学生・大学院生(筑波大・筑波学院大と連携)や地域の人材を各中学校・義務教育学校(後期課程)へ派遣し、生徒の学習支援を行う。

## 【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施日数	212日	198日	167日	197日	292日
大学生ボランティア参加人数(延べ)	641人	592人	634人	729人	842人
参加生徒数(延べ)	11,851人	11,793人	12,932人	18,101人	27,282人

参加生徒にとっては学習支援を受けたことにより、基礎学力の定着や学習意欲の向上につながった。また大学生や地域人材が事業に参加・協力し、社会に開かれた教育の実現に結びついた。



事業名： 中学校建設に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
10	03	03	11	本年	79,486		507,902	661	588,049	42,755	529,233	97.3
				前年	27,338				27,338	27,251	99.7	
				比較	52,148		507,902	661	560,711	42,755	501,982	-
【参考】前々年度					32,225		△ 1,916		30,309		30,308	100.0

目的	生徒数増に伴う教室不足解消のため、新設・増設校舎の整備を行う。また、中学校施設の非構造部材を撤去改修することにより教育環境の安全の確保と充実を図るため。
概要及び成果	<p>1 中学校非構造部材耐震改修工事</p> <p>1. 荃崎中学校(体育館)</p> <p>【成果】</p> <p>荃崎中学校体育館非構造部材の撤去改修工事を実施し、教育環境の安全の確保と充実を図れた。</p>
	<p>2 中学校校舎賃貸借事業</p> <p>1. 竹園東中学校</p> <p>【成果】</p> <p>増設校舎のリースを行うことにより、生徒数増に伴う教室不足解消と教育環境の充実が図れた。</p>
	<p>3 新設中学校の整備建設事業</p> <p>1. (仮)研究学園小学校整備建設事業</p> <p>【成果】</p> <p>中学校用地の購入、設計業務委託(令和元・2年度継続事業)を実施し、令和5年4月に開校することで教育環境の充実を図る。</p>

事業名： 施設整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
10	04	01	11	本年	51,957		24,211		76,168	24,211	47,853	94.6
				前年	42,852		△ 6,782	1,510	37,580	37,004	98.5	
				比較	9,105		30,993	△ 1,510	38,588	24,211	10,849	-
【参考】前々年度					65,356	18,857		△ 807	83,406		68,689	82.4

目的	幼稚園施設における教育環境の維持・向上を図るため。																		
概要及び成果	<p>1 幼稚園施設の整備</p> <p>改修工事、土木工事、修繕工事の設計委託及び工事の実施</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 各幼稚園の修繕工事等を実施したことで教育環境の向上が図られた。</p> <p>実施件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築工事、土木工事、修繕工事</td> <td>15件</td> <td>20件</td> <td>21件</td> <td>23件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>工事の設計委託</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 幼稚園保育室エアコン設置工事</p> <p>8園12室にエアコンを設置したことにより、全ての幼稚園16園の保育室にエアコンが設置された。</p> <p>(3) 二の宮幼稚園トイレ改修工事</p> <p>トイレ改修工事を行ったことで、衛生上良好な環境が図られた。</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	建築工事、土木工事、修繕工事	15件	20件	21件	23件	15件	工事の設計委託	2件	1件	2件	4件	1件
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度													
	建築工事、土木工事、修繕工事	15件	20件	21件	23件	15件													
工事の設計委託	2件	1件	2件	4件	1件														

事業名：幼稚園管理運営に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	12	本年	103,310				103,310		91,655	88.7
				前年	79,642				79,642		73,096	91.8
				比較	23,668				23,668		18,559	-
【参考】前々年度					164,412		△ 5,433		158,979		145,324	91.4
目的		幼児期にふさわしい教育環境整備や幼児教育及び保育の充実を図るため。										
概要及び成果		<p>1 幼稚園管理運営</p> <p>(1) 幼稚園管理及び環境整備のための消耗品等の購入</p> <p>(2) 教職員の研修受講のための旅費</p> <p>(3) 通園バス運転業務委託(筑波幼稚園・谷田部幼稚園・上郷幼稚園・島名幼稚園・桜南幼稚園・高崎幼稚園・岩崎幼稚園・大穂幼稚園・桜幼稚園の9園)</p> <p>(4) 幼稚園バスの購入(桜南幼稚園・上郷幼稚園)</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 全16幼稚園で実施している未就園児体験保育は、5,076人の参加があり、子育ての支援と就園への意欲の向上が図られた。</p> <p>(2) 必要に応じた消耗品等を購入し、適切な幼稚園管理ができた。</p>										

事業名：幼稚園保健管理に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
10	04	01	13	本年	8,358				8,358		8,223	98.4																								
				前年	8,364				8,364		8,157	97.5																								
				比較	△ 6				△ 6		66	-																								
【参考】前々年度					8,346				8,346		8,201	98.3																								
目的		幼稚園に幼稚園医、幼稚園歯科医及び幼稚園薬剤師を配置して定期健康診断等を実施するとともに、災害共済給付制度へ加入することにより、幼稚園管理下における園児の災害に対して治療費などの給付を行うなど、心身ともに健全な園児の育成を図るため。																																		
概要及び成果		<p>1 幼稚園医等の配置 幼稚園医(一般医):16名 幼稚園歯科医:16名 幼稚園薬剤師:16名</p> <p>(1) 幼稚園医及び幼稚園歯科医による定期健康診断(内科検診、歯科検診、面接)の実施</p> <p>(2) 幼稚園薬剤師による幼稚園環境衛生検査の実施(飲料水の水質、換気、採光、照明等の検査)</p> <p>(3) 就園児健康診断(内科検診、歯科検診、面接)の実施</p> <p>【成果】</p> <p>幼稚園及び幼稚園医等との連携により園児の健康の保持増進を図ることができた。</p> <p>2 災害共済給付制度への加入及び給付金支給手続き</p> <p>【成果】</p> <p>災害共済給付制度への加入者及び給付件数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入者</td> <td>837人</td> <td>894人</td> <td>961人</td> <td>923人</td> <td>1,136人</td> </tr> <tr> <td>給付件数</td> <td>18件</td> <td>23件</td> <td>16件</td> <td>24件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>給付額</td> <td>72,809円</td> <td>56,066円</td> <td>51,577円</td> <td>68,325円</td> <td>49,786円</td> </tr> </tbody> </table> <p>幼稚園管理下における園児の災害に対して、給付金の支給を円滑に進めることができた。</p> <p>一人あたりの掛金 285円(うち保護者負担 210円)</p>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	加入者	837人	894人	961人	923人	1,136人	給付件数	18件	23件	16件	24件	12件	給付額	72,809円	56,066円	51,577円	68,325円	49,786円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
加入者	837人	894人	961人	923人	1,136人																															
給付件数	18件	23件	16件	24件	12件																															
給付額	72,809円	56,066円	51,577円	68,325円	49,786円																															

事業名：私立幼稚園就園奨励に要する経費

こども部 幼児保育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
10	04	01	14	本年	137,153		△ 66,943		70,210		61,608	87.7																		
				前年	124,050		13,097		137,147		131,877	96.2																		
				比較	13,103		△ 80,040		△ 66,937		△ 70,269	-																		
【参考】前々年度					110,902		13,149		124,051		123,824	99.8																		
目的		つくば市に住所を有し、私立幼稚園に幼児を就園させている保護者に、保護者の所得状況に応じた補助金を交付することにより、保護者の経済的負担の軽減及び公立幼稚園の授業料との格差の是正を図り、幼児教育の振興に資するため。																												
概要及び成果		<p>1 つくば市に住所を有し、県知事による認可を受けた私立幼稚園に通う満3歳以上の園児の保護者に対して、国の定める所得基準(市民税所得割額)に応じて補助金を交付する。(国庫補助事業)</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>① 私立幼稚園に幼児を就園させている保護者902名へ補助金を交付した。</p> <p>② 私立幼稚園に幼児を就園させている保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>該当者及び支給額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>902人</td> <td>912人</td> <td>889人</td> <td>872人</td> <td>827人</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td>60,954千円</td> <td>131,230千円</td> <td>122,991千円</td> <td>118,437千円</td> <td>114,614千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和元年10月1日から幼児教育無償化が開始され、本事業の補助対象が9月分までの授業料になったため、令和元年度の支給額が大きく減少している。</p>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給人数	902人	912人	889人	872人	827人	支給額	60,954千円	131,230千円	122,991千円	118,437千円	114,614千円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
支給人数	902人	912人	889人	872人	827人																									
支給額	60,954千円	131,230千円	122,991千円	118,437千円	114,614千円																									

事業名：幼児教育振興に要する経費

教育局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	15	本年	6,202				6,202		5,267	84.9
				前年	5,836				5,836		5,088	87.2
				比較	366				366		179	-
【参考】前々年度					5,943				5,943		5,167	86.9
目的		幼稚園での教育活動や行事を通して地域に根ざした幼児教育を実践するため。また、研修の機会を充実することにより教職員の資質の向上を図るため。										
概要及び成果		<p>1 教材用消耗品・行事用消耗品購入</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>行事等教育活動の充実</p> <p>2 県国公立幼稚園長会等負担金、各種講習会等の受講料負担</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>各種研修会、講習会等への参加により教職員の資質の向上が図られた。</p>										

事業名：施設管理に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	16	本年	20,250				20,250		18,384	90.8
				前年	19,984			△ 1,510	18,474		17,744	96.0
				比較	266			1,510	1,776		640	-
【参考】前々年度					19,842				19,842		19,437	98.0

目的 法令等に基づく施設の点検等の実施により、安全安心な幼稚園環境を維持するため。また、適正に施設の維持管理を行うことで、教育環境の向上を図るため。

概要及び成果

1 施設管理  
 (1) 幼稚園施設の小規模な修繕や不具合の解消  
 (2) 浄化槽の法定検査の実施  
 (3) 施設の管理委託の実施  
 (4) 幼稚園用地の借上げ  
 (5) 園内植栽の維持管理

【成果】  
 各幼稚園の適切な維持管理を行ったことで教育環境の向上が図られた。

実施件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
(1) 修繕	60件	66件	64件	63件	86件
(2) 浄化槽法定点検検査	2園	2園	2園	2園	2園
(3) 通常点検委託	16件	16件	20件	22件	24件
(4) 用地借上げ	2園	2園	2園	2園	2園
(5) 植栽剪定等	14園	11園	7園	10園	10園

- (1) 小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕
- (2) 施設の防犯対策による機械警備の実施、浄化槽法定検査、飲料水・受水槽の衛生管理
- (3) 消防設備、電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検など
- (4) 幼稚園用地の借上げ・・・高崎、大穂
- (5) 植栽の剪定・消毒・伐採

事業名：幼稚園施設取得に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	17	本年	29,000				29,000		28,999	100.0
				前年	28,986				28,986		28,985	100.0
				比較	14				14		14	-
【参考】前々年度					28,973				28,973		28,972	100.0

目的 都市再生機構への償還のため。

概要及び成果

1 都市再生機構における立替施行分の償還金

【成果】  
 1. 東幼稚園(設計)、(園舎、用地運動場、屋外環境) 2. 松代幼稚園(設計、園舎、用地、運動場、屋外環境)

事業名：備品整備に要する経費

教育局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	18	本年	6,657				6,657		6,013	90.3
				前年	5,012				5,012		5,002	99.8
				比較	1,645				1,645		1,011	-
【参考】前々年度					4,544			807	5,351		5,348	99.9

目的	幼稚園の備品を良好に維持することにより、教育環境の向上を図るため。
概要及び成果	<p>1 幼稚園備品の整備</p> <p>(1) 管理備品の修繕</p> <p>(2) 幼稚園管理備品の整備</p> <p>【成果】</p> <p>各幼稚園の管理備品を整備したことで、教育環境の向上が図られた。</p> <p>(1) 管理備品の修繕を行った。</p> <p>(2) 幼稚園管理備品(机・椅子・棚など)を購入(市内全ての幼稚園16園)した。</p>

事業名：情報機器整備に要する経費

教育局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	04	01	19	本年	3,034				3,034		2,344	77.3
				前年	2,875				2,875		2,509	87.3
				比較	159				159		△ 165	-
【参考】前々年度					3,984				3,984		3,605	90.5

目的	事務機器(複合機・印刷機)の賃借により幼稚園事務の利便性の向上と効率化を図るため。				
概要及び成果	<p>1 幼稚園の複合機・印刷機の賃借及びリース期間満了に伴う入替え事業</p> <p>【成果】</p> <p>幼稚園16園に複写機各1台、印刷機各1台を賃借し、事務の効率化・軽減を図った。</p> <p>(令和元年度導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷機2台(リース期間:令和元年12月～令和6年11月)</li> </ul> <p>・設置台数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>複写機</td> <td>16台</td> </tr> <tr> <td>印刷機</td> <td>16台</td> </tr> </table>	複写機	16台	印刷機	16台
複写機	16台				
印刷機	16台				

事業名：私立幼稚園利用給付に要する経費

こども部 幼児保育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
10	04	01	20	本年			299,742		299,742		202,284	67.5	
				前年									
				比較			299,742		299,742		202,284	-	
【参考】前々年度													

目的	つくば市に住所を有し、幼稚園に幼児を就園させている保護者が負担する副食費、保育料及び預かり保育料について補助を行い、保護者の経済的負担の軽減を図り、幼児教育の振興に資するため。												
概要及び成果	<p>1 私立幼稚園副食費に係る補助金(子ども・子育て新制度移行園は除く)</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 補足給付事業補助金交付決定者数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付決定者数</td> <td>95人</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>2,300千円</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	交付決定者数	95人	交付額	2,300千円						
		令和元年度											
	交付決定者数	95人											
	交付額	2,300千円											
	<p>2 私立幼稚園保育料に係る給付(子ども・子育て新制度移行園は除く)</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 市内私立幼稚園保育料無償化対象園児数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>5箇所</td> </tr> <tr> <td>3月末対象園児数</td> <td>1,104人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市外私立幼稚園保育料無償化対象園児数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>3月末対象園児数</td> <td>294人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	施設数	5箇所	3月末対象園児数	1,104人		令和元年度	施設数	21箇所	3月末対象園児数	294人
		令和元年度											
	施設数	5箇所											
	3月末対象園児数	1,104人											
		令和元年度											
	施設数	21箇所											
3月末対象園児数	294人												
<p>3 幼稚園預かり保育料に係る給付(子ども・子育て新制度移行園を含む)</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 市内幼稚園預かり保育料無償化対象園児数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>18箇所</td> </tr> <tr> <td>3月末対象園児数</td> <td>334人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市外幼稚園預かり保育料無償化対象園児数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>3月末対象園児数</td> <td>103人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	施設数	18箇所	3月末対象園児数	334人		令和元年度	施設数	23箇所	3月末対象園児数	103人	
	令和元年度												
施設数	18箇所												
3月末対象園児数	334人												
	令和元年度												
施設数	23箇所												
3月末対象園児数	103人												

事業名：社会教育振興に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	11	本年	34,655			△ 80	34,575		33,020	95.5
				前年	12,445		171		12,616		12,060	95.6
				比較	22,210		△ 171	△ 80	21,959		20,960	-
【参考】前々年度					12,174		913		13,087		12,418	94.9

目的	社会教育委員の会議を開催し、社会教育に関する諮問を行い、意見および助言を得るため。また、社会教育を振興するため、生涯学習推進課所管の施設の管理運営を行うとともに、団体の育成等を行うため。
概要及び成果	<p>1 社会教育委員会会議の開催 会議において社会教育事業に関する諮問に応じ、意見を述べると共に、社会教育事業の調査・研究を実施する。社会教育委員16名(任期2年)</p> <p>【成果】 会議開催2回(令和元年8月30日、令和2年3月25日、民法改正による成年年齢引下げに伴う「つくば市成人の集い」の対象年齢及び名称の諮問を受け答申内容の協議を行った)</p>
	<p>2 社会教育振興</p> <p>(1) 社会教育施設の火災保険の加入 (2) 上大島集会所の土地賃借料の支払 (3) 環境美化コンクールの実施 (4) 社会教育団体の育成 (5) 市立保育所(3か所)で社会教育講座を実施</p> <p>【成果】 (1) 生涯学習推進課所管の生涯学習施設等を管理し、事業の円滑な運営を図ることができた。 (2) 環境美化及び集団活動に関する関心・意欲を高めることできた。 ・環境美化コンクール実施参加団体数 21団体(昨年度24団体) (3) 市立保育所(3か所)で社会教育講座を実施し、家庭での教育力を高め子供の健全育成に役立てることができた。</p>
	<p>3 社会教育主事の設置 茨城県教育委員会からの派遣により、社会教育に関する専門的・技術的な指導・助言を行う社会教育主事1名を設置した(派遣社会教育主事負担金9,953千円)。</p> <p>【成果】 社会教育主事1名を配置したことにより、社会教育行政体制の強化を図ることができた。</p>

事業名：地域改善対策に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	12	本年	2,688				2,688		2,489	92.6
				前年	2,604				2,604		2,508	96.3
				比較	84				84		△ 19	-
【参考】前々年度					3,618				3,618		3,481	96.2

目的	市民の社会教育活動の充実と発展を図るため、高須賀地区集会所の適正な維持管理と運営を図るため。また、人権教育各種研修会への参加や、市民への人権尊重の啓発・教育活動を行うことにより、差別のない社会づくりの実現を図るため。
概要及び成果	<p>1 各種研修会への参加、啓発活動の実施 地区集会所の維持管理</p> <p>【成果】 高須賀地区集会所の延べ利用人数は2,190人であった。</p>

事業名：家庭教育支援に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	13	本年	5,503			△ 189	5,314		3,218	60.6
				前年	27,017		△ 300		26,717		24,995	93.6
				比較	△ 21,514		300	△ 189	△ 21,403		△ 21,777	-
【参考】前々年度					26,221				26,221		24,997	95.3

目的	保護者への学習の場を提供することで、家庭の教育力の向上を図り、子供の健全な育成に役立てるため。											
概要及び成果	1 社会教育指導員(教育委員会委嘱)13名を配置し、家庭教育学級への指導や助言を行う。											
	【成果】											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	家庭教育学級数	76学級	70学級	77学級	78学級	77学級						
	参加者数(延べ)	13,588人	17,997人	20,243人	23,571人	21,940人						
	学級生数	12,392人	12,158人	12,003人	12,006人	12,501人						
	2 家庭教育セミナー(就学時検診や入学説明会等)の実施、保護者対象の実施											
	【成果】											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	実施回数	60回	57回	55回	59回	57回						
参加者数	4,429人	4,279人	4,176人	4,041人	3,546人							
3 社会教育講演会の開催												
全2回の社会教育講演会(保育付き)を開催した。												
【成果】												
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
実施回数												
参加者数	293人	779人	670人	405人	907人							



事業名：生涯学習推進に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	14	本年	3,181		△ 66		3,115	1	2,541	81.6
				前年	734				734		434	59.2
				比較	2,447		△ 66		2,381	1	2,107	-
【参考】前々年度					734				734		409	55.7

目的

市民が、豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる生涯学習社会を推進するため。

概要及び成果

- 生涯学習審議会  
生涯学習を振興するための施策の総合的な推進に関する事項や、その他生涯学習の推進に必要な事項について調査審議する。委員20名(任期2年)  
**【成果】**  
会議開催2回(令和元年8月23日、令和2年1月23日)。生涯学習を振興するための今後の運営について意見や提言を伺い、施策の総合的な推進ができた。また、(仮称)第3次つくば市生涯学習推進基本計画策定に向けて、市民意識調査の調査項目や設問内容についての検討・調査結果の分析・基本計画案骨子について意見を伺った。
- 出前講座  
市政への理解を深めてもらうために市民の学習会等に市職員を講師として派遣し、出前講座を行った。  
**【成果】**

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催回数	115回	140回	79回	105回	83回
受講者数	4,080人	4,440人	4,106人	3,898人	2,713人
- つくば人間学講座  
市民が実行委員となり様々な分野の講師を招き、人間学講座を開催した。  
**【成果】**

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催回数	4回	4回	4回	4回	4回
受講者数	237人	298人	344人	315人	477人
- 生涯学習指導者情報  
生涯学習に関する指導者の登録と、市民の学習の求めに応じ指導者情報の提供  
**【成果】**

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指導者登録数	237人	223人	232人	291人	129人
新規登録数	19人	32人	36人	80人	17人
情報提供数	64人	79人	72人	84人	62人

事業名：生涯学習施設管理に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	15	本年	29,723	4,514			34,237		33,403	97.6
				前年	92,613		△ 1,500		91,113	4,514	85,098	98.4
				比較	△ 62,890	4,514	1,500		△ 56,876	△ 4,514	△ 51,695	-
【参考】前々年度					82,425				82,425		81,947	99.4

目的

市民に生涯学習を目的とする自主的な活動・交流・憩いの場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。

概要及び成果

1 民家園管理

- (1) 一般開放(通年、平成20年から祝日の開園を開始)
- (2) 施設利用(市民、団体による撮影、歌会、お茶会、展示会等を目的とした施設利用)

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
見学者(年間来場者数)	7,705人	7,009人	6,522人	6,535人	7,047人
施設利用団体(年間利用団体数)	65団体	56団体	35団体	44団体	56団体

2 市民研修センター管理

【成果】

- (1) 施設貸出業務：研修室(ホール、会議室、工作室、和室)、浴室

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
研修室利用件数	1,305 件	1,650 件	1,358 件	1,376 件	1,538 件
研修室利用者数	13,223 人	15,862 人	15,192 人	14,933 人	16,711 人
浴室利用者数	19,980 人	17,810 人	19,545 人	17,617 人	19,509 人

- (2) 自主事業運営業務：各種生涯学習講座及び発表会等の開催

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
講座等開催件数	28 講座	35 講座	33 講座	34 講座	33 講座
延受講者数	3,905 人	3,978 人	3,334 人	3,165 人	3,585 人

- (3) 施設維持管理業務

指定管理者制度の導入

つくば市市民研修センターの管理に関する年度協定書 年額:21,340,000円

事業名：科学教育推進に要する経費

教育局 生涯学習推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	16	本年	11,402				11,402		10,050	88.1
				前年	11,016				11,016		9,780	88.8
				比較	386				386		270	-
【参考】前々年度					11,442				11,442		9,846	86.0

目的	概要及び成果																																										
<p>つくば市は、多くの国等の研究教育機関が立地し、民間の研究所も多数進出しており、我が国を代表する科学技術の拠点となっている。</p> <p>そこで、21世紀を担う子供達が、これらの研究機関等において科学技術に触れることにより、科学技術に対する関心を高め、夢と希望に満ちた未来を考える手がかりになることを目的として科学教育推進事業を実施するため。</p>	<p>1 つくばちびっ子博士</p> <p>参加資格は全国の小中学生で、市内の協力研究機関等を、特製パスポートを持参し、スタンプラリー形式で見学する。見学期間(夏休み)終了後、パスポートを事務局に提出しその内容により、「つくばちびっ子博士」「優秀つくばちびっ子博士」、「最優秀つくばちびっ子博士」に認定し、認定証と記念品を贈呈する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数(延べ)</td> <td>134,506人</td> <td>113,385人</td> <td>106,295人</td> <td>82,471人</td> <td>80,794人</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和元年度の来場者は増加し、過去最高の13万4千人を超えた。貴重な科学技術等の体験を通して、科学への興味や関心を高めることができた。また、市内のある中学校では、夏休みの自由研究に当事業を取り入れた例もあった。</p> <p>2 つくば科学フェスティバル</p> <p>市内の小中学校・高校・大学、研究機関等が科学実験等を出展し、青少年を対象に科学の楽しさや不思議などを体験させ、楽しみながら科学への関心を高めさせるイベントを実施する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数(約)</td> <td>16,808人</td> <td>14,464人</td> <td>12,127人</td> <td>17,000人</td> <td>18,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>市内の小中学校及び高校や大学等の教育関係機関や、研究機関等の53団体が出展し、11月16日・17日の2日間、つくばカピオにおいて開催した。市内外からの来場者数は、2日間で16,808人であった。来場者が、それぞれの出展ブースの企画に参加することにより、科学への興味や関心を高めることができた。</p> <p>3 つくば科学出前レクチャー</p> <p>学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究員等と連絡調整し、講師派遣を行う。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>15回</td> <td>17回</td> <td>23回</td> <td>31回</td> <td>26回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>793人</td> <td>670人</td> <td>1,287人</td> <td>1,466人</td> <td>1,187人</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和元年度の登録講座は、18団体から144講座の登録があった。現役の研究員から最先端の科学技術や環境問題等に関する講義や実験を受講することができ、科学への興味や関心を高めることができた。</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	来場者数(延べ)	134,506人	113,385人	106,295人	82,471人	80,794人		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	来場者数(約)	16,808人	14,464人	12,127人	17,000人	18,000人		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施回数	15回	17回	23回	31回	26回	参加者数	793人	670人	1,287人	1,466人	1,187人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																						
来場者数(延べ)	134,506人	113,385人	106,295人	82,471人	80,794人																																						
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																						
来場者数(約)	16,808人	14,464人	12,127人	17,000人	18,000人																																						
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																						
実施回数	15回	17回	23回	31回	26回																																						
参加者数	793人	670人	1,287人	1,466人	1,187人																																						

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	17	本年	13,559			△ 211	13,348		12,497	93.6
				前年	13,841				13,841		12,318	89.0
				比較	△ 282			△ 211	△ 493		179	-
【参考】前々年度					11,550		3,817		15,367		13,430	87.4

目的

未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるよう、関係団体等と連携しながら各種事業を実施する。また、青少年の自主的な活動や体験を行い、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、学外の体験学習を通して社会力を育成するため。

1 つくばサイエンスラボ事業

つくば市に在住する小・中学生(4年生から9年生)が、つくば市の地域資源を活用した実験教室等で科学や自然環境を体感することで、科学や自然への興味や関心を高める。

【成果】

全3日間(7月27日・7月30日・8月6日の3コース)

期間	内容	参加人数
7月27日	Aコース 夜の観察教室 セミの羽化を観察しよう！ 公園内のセミの幼虫を見つけ、羽化の観察をし、生命の神秘を垣間見る体験ができた。(さくら運動公園)	37人
7月30日	Bコース ロボットを指令どおりに動かそう！ ロボットを操作してロボットの仕組みや作るための考え方、工夫について課題を克服しながら学ぶことができた。(つくば工科高等学校)	72人
8月6日	Cコース チョウザメ&土器に触ろう！ チョウザメの養殖に用いる水を植物栽培委の肥料として使用するアクアポニクスシステムを見学し、循環型の未来の農業の形を学んだ。また、出土文化財管理センターで施設見学をし、土器に触れ、勾玉(まがたま)づくりを体験し昔の暮らしを学ぶことができた。 (飯島アクアポニクス、出土文化財管理センター)	28人

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加者数	137人	78人	142人	177人	139人
市外参加者	-	-	91人	129人	74人
コース数	3	2	4	5	6

- (1) 関係機関の方たちに事業の趣旨を御理解いただき、積極的な協力を得ることができた。
- (2) Cコースについては、申込者数が多数あり、2班(午前・午後)に分けて実施した。

2 この指と一まれ！事業

市内に在住・在学する中学生・高校生の自主企画を募集し、実現に向けて活動の支援を行う。

【成果】

期間	体験等	企画者数	実施場所
10月27日	百人一首の実演・体験 茶道カフェ ロープワーク体験 和太鼓とけん玉、ダンスのパフォーマンス ダンスパフォーマンス みんなでスポーツ	41人	BiViつくば 大清水公園
11月10日	やろうよ！スポーツ	2人	筑波交流センター
11月17日	ロープワーク体験 和太鼓とけん玉、ダンスのパフォーマンス	4人	市民ギャラリー

ボランティア等の協力により、中・高生が自主企画を実現できたことで、企画計画力やチームワークが培われ、社会力の育成につなげることができた。

概要及び成果

## 3 つくば市成人の集い(成人式)

日時：令和2年1月12日(日)

会場：つくばカピオ

次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝い、社会の一員としての自覚と責任感を育成するとともに、日頃学業などでつくば市を離れている新成人全体の交流の機会として、つくば市成人の集いを開催する。

## 【成果】

- (1) 新成人で実行委員会を組織し、企画・運営にあたる成人の集いが開催できた。
- (2) 青少年育成団体・つくば市消防団・つくば中央・北警察署の協力を得て、会場警備、違法車両対策、大清水公園入口信号付近から会場付近までの車両進入禁止等を実施し、安心・安全な式典を実施することができた。

## (3) 参加者

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
対象者数	2,720人	2,764人	2,774人	2,628人	2,490人
参加者数	1,844人	1,777人	1,727人	1,624人	1,538人
参加率	67.7%	64.3%	62.3%	61.8%	61.8%

## (4) 内容

- ①誓いの言葉
- ②新成人に贈る言葉
- ③「斬桐舞」による演舞

## 4 青少年相談員活動

教育委員会が委嘱する青少年相談員(74人)が、青少年を取り巻く社会環境を整備するための活動を、家庭・学校・地域と連携して進めている。

## 【成果】

- (1) 学校訪問(小中学校及び一部高校 33校訪問)
- (2) 巡回パトロール(夏休み期間や夏祭りなどの地域イベント、たまり場等)
- (3) 『青少年の健全育成に協力する店』への登録推進活動(青少年に関わりの深い店舗訪問、72店舗)
- (4) あいさつ声かけ運動(小中学校及び一部の高校)
- (5) 薬物乱用防止キャンペーンでの啓発活動
- (6) 環境健全啓発活動

## 5 青少年育成団体支援事業

青少年健全育成団体に対して補助金を交付し、団体が実施する体験活動や地域との結びつきを強める活動を支援した。

- (1) つくば市子ども会育成連合会に対し補助金を交付し、団体が行う子どもたちへの健全育成活動を支援した。本部と大穂、豊里、桜地区に補助金を交付  
つくば市子ども会育成連合会:会員数 1,312人
- (2) 青少年を育てるつくば市民の会に対し補助金を交付し、団体が行う市民総ぐるみの青少年育成活動を支援した。
- (3) 子どもに対し体験事業を実施している各種団体に対して、補助金を交付した。  
補助金交付団体:21団体(交付件数26件)

## 【成果】

- (1) 異年齢の集団による仲間づくり活動や地域の保護者と共に行う活動を通して、地域コミュニティー構築の一翼を担えた。
- (2) 青少年育成関係諸団体、地域や学校等と協力しながら事業を展開することにより連携が強化され、地域社会で青少年を健全に育成するという機運を高めることができた。
- (3) 青少年の健全育成を図り、子どもたちが生きる力を育むために有益な体験事業への参加を促進でき、社会力を育成することができた。

事業名：放課後子供教室推進に要する経費

こども部 こども育成課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	18	本年	11,158				11,158		8,052	72.2
				前年	7,123				7,123		4,600	64.6
				比較	4,035				4,035		3,452	-
【参考】前々年度					8,552				8,552		7,714	90.2

目的

市内の小学校及び義務教育学校1～6年生の児童を対象に、様々な体験活動や地域の方々との交流活動を行う。保護者をはじめとした地域の方々にスタッフとして協力をいただく中で、地域の子どもたちは地域全体で見守ろうという意識の向上と教育環境の整備を図るため。

1 放課後子供教室推進事業に要する経費

市内の小学校及び義務教育学校の余裕教室、体育館等を活用し、1～6年生の児童を対象にスポーツ・文化活動など様々な体験活動や、地域の方々との交流活動を実施する。地域の方々には、活動の指導を行う教育活動推進員、活動中の安全を見守る教育活動サポーターとして協力をいただき、地域住民を巻き込んだ事業運営をとおして、地域の教育力の向上を図る。

【成果】

市内29校の小学校、4校の義務教育学校及び1校の特別支援学校を含む34校で放課後子供教室を開催した。平成30年度に開設した放課後子供教室専用スペースである「秀峰交流ひろば」に加え、令和元年度は、学園の森児童クラブ施設内において「学園の森交流ひろば」、みどりの学園児童クラブ施設内において「みどりの交流ひろば」を新たに立ち上げ、市内3か所で放課後子供教室の定期的な開催を実施し、実施回数、参加児童数及び協力スタッフ数を大幅に増加することができた。そのほか市内1か所の児童館においても児童クラブとの一体的な放課後子供教室を開催し、学校や各交流ひろばと合わせ、38か所で合計436回の放課後子供教室を実施した。

概要及び成果

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施学校数	34校	34校	38校	38校	38校
実施回数	436回	217回	180回	169回	154回
参加児童数(延べ)	16,967人	11,310人	8,379人	8,531人	6,955人
地域の方々の協力スタッフ数(延べ)	1,804人	1,379人	1,371人	1,298人	1,151人
実施内容	学習支援、交通安全教室、理科実験、バルーン、スポーツ教室、レクリエーション、工作、昔遊び、演奏会、英語レクリエーション、マジック、護身術、箏曲等	交通安全教室、理科実験、バルーン、スポーツ教室、レクリエーション、工作、昔遊び、演奏会、英語レクリエーション、マジック、護身術等	バルーン、スポーツ教室、レクリエーション、工作、昔遊び、音楽教室、演奏会、英語レクリエーション、マジック、護身術等	バルーン、グランドゴルフ、スポーツ、レクリエーション、工作、昔遊び、音楽教室、マジック、護身術等	バルーン、グランドゴルフ、スポーツ、レクリエーション、工作、音楽教室、マジック、護身術等

事業名：ふれあいプラザ維持管理に要する経費

市民部 文化芸術課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	01	19	本年	62,463			481	62,944		62,814	99.8
				前年								
				比較	62,463			481	62,944		62,814	-
【参考】前々年度												

目的

市民に生涯学習を目的とする自主的な活動・交流・憩いの場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。

概要及び成果

- 1 ふれあいプラザ管理  
 ふれあいプラザの施設管理は、平成17年度から指定管理者制度を導入して、管理運営を行っている。平成29年度に4回目の指定管理者の選定を行った。(指定管理期間:H30~R4)
- (1) 施設貸出業務  
 フィットネスプール、多目的ホール、研修室A・B・C、会議室、視聴覚室、軽運動室、調理実習室、市民活動室、保育室、展示コーナー
- (2) 自主事業運営業務
- (3) 施設維持管理業務 指定管理者制度の導入
- 【成果】
- ① 施設利用状況
- |                  |        | 令和元年度   | 平成30年度  | 平成29年度  | 平成28年度  | 平成27年度  |
|------------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 多目的ホール及び<br>研修室等 | 施設利用件数 | 4,933件  | 5,299件  | 4,934件  | 4,886件  | 4,853件  |
|                  | 延利用者数  | 47,589人 | 53,078人 | 53,663人 | 54,825人 | 54,157人 |
| フィットネスプール        | 施設利用件数 | 10,500件 | 11,895件 | 13,700件 | 13,216件 | 12,460件 |
|                  | 延利用者数  | 15,164人 | 16,925人 | 18,009人 | 17,151人 | 16,038人 |
| 合 計              | 施設利用件数 | 15,433件 | 17,194件 | 18,780件 | 18,185件 | 17,410件 |
|                  | 延利用者数  | 62,753人 | 70,003人 | 71,672人 | 71,976人 | 70,195人 |
- ② 自主事業運営業務
- |         |          | 令和元年度    | 平成30年度  | 平成29年度  | 平成28年度  | 平成27年度 |
|---------|----------|----------|---------|---------|---------|--------|
| 自主事業講座数 | 620 講座   | 655 講座   | 388 講座  | 410 講座  | 459 講座  |        |
| 延受講者数   | 10,948 人 | 11,411 人 | 9,792 人 | 9,525 人 | 9,399 人 |        |
- ③ 施設維持管理業務  
 ふれあいプラザ指定管理者年度協定書 57,689,662円

事業名：図書館維持管理に要する経費

教育局 中央図書館

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	02	11	本年	153,791		440		154,231		145,891	94.6
				前年	117,898		3,063		120,961		117,576	97.2
				比較	35,893		△ 2,623		33,270		28,315	-
【参考】前々年度					119,211				119,211		108,733	91.2

目的	施設及び設備の適正な維持管理を図り、安全で利便性の高い図書館として市民の利用に供するため。
概要及び成果	<p>1 図書館の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の施設及び設備に関する修繕及び維持管理業務</li> <li>・図書館情報システムの運用管理</li> <li>・文化会館アルス(共有部分)の修繕及び維持管理業務</li> </ul> <p><b>【成果】</b>                  図書館及び文化会館アルス(共有部分)の環境を充実させ、市民に快適な生涯学習の場を提供した。</p> <p>(1) 図書館関係修繕工事                  アルスエレベーター修繕工事、中央図書館電動書架修繕工事、アルス高圧受変電設備機器(受電盤)更新工事、中央図書館柱照明器具修繕工事、アルス及び中央図書館誘導灯電磁接触器修繕工事、アルス冷凍機2号冷却水系洗浄口及びドレン配管腐食修繕工事、アルス及び中央図書館雨漏り修繕工事</p> <p>(2) 図書館関係修繕                  アルス2F男子トイレ自動水洗装置修繕、中央図書館無停電電源装置修繕、アルス空気調和設備差圧調節器修繕、アルス1階男子トイレ小便器及び手洗い流し台排水不良修繕、アルス電気室エアコン室外機修繕、アルス空気調和設備冷温水ポンプオーバーホール、中央図書館和室畳張替</p> <p>(3) 図書館関係備品購入                  裁断機1台、ブックラック2台、デジタルカメラ1台、CD/DVD確認用兼ボランティア用パソコン1台</p>



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	02	12	本年	64,947				64,947		63,158	97.2
				前年	63,072				63,072		61,544	97.6
				比較	1,875				1,875		1,614	-
【参考】前々年度					74,778				74,778		73,174	97.9

目的 資料の質的充実を図り、市民の多様な情報要求に応えることで、生涯学習を支援する。また、積極的に情報を発信し、図書館機能を更に高めながら、市民サービスの向上に寄与するため。

1 図書館資料・視聴覚資料の受入れ及び貸出し  
資料の充実に努め、自動車図書館運行、予約・リクエスト、インターネットからの照会・検索等のサービスで市民の利便性の向上を図った。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
年間受入資料点数(点)	21,350 (420)	22,036 (487)	20,947 (490)	22,307 (492)	21,126 (568)
年間貸出資料点数(点)	1,031,408	1,035,291	964,123	987,419	994,775
年間貸出人数(人)	243,386	245,768	227,260	235,296	239,077

※年間受入資料点数の( )は、視聴覚資料の点数。年間貸出資料点数は、団体及び自動車図書館を含む。

2 図書館協議会の開催  
【成果】  
図書館事業に関して提案した議題に対し、様々な意見が出され図書館運営に寄与した。  
1回(8月)  
会議の主な内容：令和元年度事業計画について、平成30年度指標に対する実績評価について、平成30年度利用者満足度調査について  
※第2回協議会を3月中に開催することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、開催を見送った。

3 図書館ボランティアの活動支援  
【成果】  
159名の方がボランティア登録をし、9つの分野に分かれて活発な活動が行われた。(おはなし会、地域文化、地域資料、修理、配架、音訳、点訳、国際文化サービス、児童サービス)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ボランティア登録者数(人)	159	142	132	131	143

4 学校図書館支援事業の実施  
【成果】  
学校図書館と連携し、読書推進が図られた。  
(1) 学校訪問ブックトーク 希望する学校に職員が出向き、テーマに沿った図書を紹介する事業

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
小学校	訪問校数	29校	29校	33校	37校
	対象	4年生	4年生	4年生	4年生
	テーマ	「かず」	「家族」	「冒険」	「仕事」
中学校	訪問校数	9校	9校	8校	9校
	対象	7年生	7年生	7年生	7年生
	テーマ	「仕事」	「仕事」	「仕事」	「仕事」

※義務教育学校を含む

(2) 学校図書館司書教諭・司書教諭補助員研修事業  
全体研修会(学校図書館研修講座 4月3日、5月28日開催) 司書教諭・司書教諭補助員180名参加

(3) 学校関係団体貸出実施

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
利用回数(回)	51	57	56	54	52
利用冊数(冊)	6,866	8,499	6,008	6,296	5,117

概要及び成果

## 5 図書館自主事業の開催

## 【成果】

読書推進及び図書館の利用促進が図られた。

(令和元年度開催の主な事業)

- (1) ジュニア図書館員(5、6年生) : 児童に図書館業務を体験してもらおう事業

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加人数(人)	47	51	87	45	25

- (2) 職場体験学習(対象8年生)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加校数(校)	8	7	8	12	10
参加人数(人)	25	23	30	39	36

- (3) 図書リサイクル: 除籍した図書を公共施設や市民等に無償で提供し、活用を図る。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
配布総数(冊)	9,386	10,772	9,321	10,666	10,418
参加人数(人)		985	936	1,018	1,007

※ 令和元年度から実施方法を変更し、リサイクルコーナーを中央図書館エントランスロビーに常設してリサイクル資料を配布することとした。

- (4) 自動車図書館: 地域図書館的役割(2台の自動車図書館で47ステーションを巡回)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
利用者数(人)	12,033	13,279	11,016	12,022	11,312
貸出冊数(冊)	46,887	50,226	44,860	47,889	43,254
運行回数(回) (運行日数×2台)	360	334	324	342	320

- (5) ファーストブック講座: 「赤ちゃん絵本の楽しみ方」 赤ちゃんへの読み聞かせのコツや、赤ちゃん向け絵本の紹介(対象 赤ちゃんの父母等)

※3月に開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症予防のため中止

- (6) その他事業

- ・ ライブラリー・ピクニック 5月11日、11月2日(筑波大学附属図書館との共催)
- ・ 芸術をゲームで遊ぼう 9月23日
- ・ めいぐるみのおとまり会 10月25・26日、12月6・7日
- ・ World week 10月29日～11月3日
- ・ 世界を知るワークショップ 11月2日(協力:JICA筑波)
- ・ 世界のゲームで遊ぼう 11月3日、1月18日

## 6 図書返却事業

## 【成果】

大穂・豊里・並木・広岡交流センター及び市庁舎にブックポストを設置し、図書の返却を可能としている。また、市庁舎のブックポストを22時まで開館しているコミュニティ棟に移設し、利便性が向上した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
大穂(冊)	4,436	4,317	2,909	2,571	2,432
豊里(冊)	1,761	2,020	1,802	1,776	1,312
並木(冊)	6,932	7,586	7,695	7,217	7,308
広岡(冊)	78	50	203	128	153
市庁舎(冊)	20,835	16,525	9,249	8,892	8,255
計(冊)	34,042	30,498	21,858	20,584	19,460

概要及び成果	<p>7 広報活動</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>図書館が実施している各種事業や運営方針などを広報することにより、図書館に対する理解を深め、利用の促進及び、読書活動の推進が図られた。</p> <p>(1) 図書館だより「ヨモッカ」の発行 8月1日第13号、3月1日第14号の2回発行 自治会・区会回覧等</p> <p>(2) 図書館だより「こどもヨモッカ」の発行 夏休み前第12号発行、冬休み前第13号の2回発行 市内3、4年生及び学校図書館等にて配布</p> <p>(3) 自動車図書館のイベント参加 ・ 谷田部市街地オータムフェア 11月3日</p>
	<p>8 図書館懇話会の開催</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>これからのつくば市立図書館のあり方について、広く意見を聴くため開催し、令和2年3月に教育長に提言書を提出した。</p> <p>・令和元年度懇話会開催回数:5回</p>
	<p>9 つくば市域図書館連携協議会</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>つくば市域に所在する各機関の図書館においては、互恵の精神に則り、それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図ることにより、協定館相互の実りある持続可能な発展と充実に資することを目的として「つくば市域図書館連携に関する協定」を締結し、つくば市域図書館連携協議会を設置した。連携事項の円滑な推進を図るため、連携協議会において協議を開始した。</p> <p>・連携協定締結日： 令和元年9月25日</p> <p>・連携協定締結図書館： 筑波大学附属図書館、つくば市立中央図書館</p> <p>・令和元年度連携協議会開催回数： 2回</p>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	02	13	本年	39,289				39,289		39,106	99.5
				前年	34,430				34,430		34,225	99.4
				比較	4,859				4,859		4,881	-
【参考】前々年度					32,312				32,312		32,309	100.0

目的

オンライン化されている4か所の地域交流センター図書室の業務運営について、中央図書館から委託することにより、中央図書館と4交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と地域図書館サービスの向上に資するため。

概要及び成果

1 図書館資料の受入れ及び貸出し

【成果】

中央図書館が業務運営し、資料の充実に努めるとともに、資料の貸出、予約・リクエストの受付及びインターネットからの照会・検索等の図書館サービスを提供し、市民サービスの向上が図れた。

谷田部交流センター図書室	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
年間受入資料冊数	1,739 冊	1,517 冊	1,205 冊	1,354 冊	1,105 冊
年間貸出資料冊数	142,813 冊	131,898 冊	119,356 冊	112,512 冊	110,418 冊
年間貸出人数	31,877 人	28,877 人	25,734 人	24,999 人	24,572 人

筑波交流センター図書室	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
年間受入資料冊数	1,362 冊	1,472 冊	1,125 冊	1,162 冊	1,182 冊
年間貸出資料冊数	59,374 冊	59,699 冊	57,422 冊	59,448 冊	62,225 冊
年間貸出人数	13,800 人	14,229 人	13,277 人	13,778 人	14,152 人

小野川交流センター図書室	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
年間受入資料冊数	1,452 冊	1,458 冊	1,063 冊	1,202 冊	1,080 冊
年間貸出資料冊数	112,063 冊	102,593 冊	97,292 冊	96,202 冊	99,136 冊
年間貸出人数	26,709 人	24,433 人	22,870 人	23,166 人	22,963 人

荃崎交流センター図書室	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
年間受入資料冊数	1,578 冊	1,523 冊	1,086 冊	1,235 冊	1,093 冊
年間貸出資料冊数	93,511 冊	87,287 冊	73,543 冊	81,405 冊	80,806 冊
年間貸出人数	24,428 人	23,330 人	19,828 人	22,410 人	21,605 人

事業名：文化財保護審議会に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	11	本年	228				228		126	55.3
				前年	228				228		164	71.9
				比較							△ 38	-
【参考】前々年度					222				222		108	48.6

目的	教育委員会の諮問などに応じて文化財の保存及び活用に関する最重要事項について調査し、教育委員会に答申などを行うため。
----	---

概要及び成果	<p>1 文化財保護審議会</p> <p>会議・調査等を年2回以上実施。諮問・答申の他、文化財行政に係る重要事項について、協議・検討・報告等を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 7月18日、2月10日の2回、会議を開催した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議開催回数</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 第1回会議では、平成30年度事業の報告、令和元年度事業計画の説明を行い、事業内容について意見を得た。また、H30年度策定の『つくば市文化財保存活用計画』の進捗管理方法について検討した。第2回会議では、令和年度事業報告、その他について説明し、事業内容とH30年度策定の『つくば市文化財保存活用計画』の進捗状況について意見を得た。</p>	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	会議開催回数	2回	3回	2回	3回	2回
	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
会議開催回数	2回	3回	2回	3回	2回								

2 財源	すべて一般財源。
------	----------

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	12	本年	7,838			523	8,361		8,265	98.8
				前年	6,867				6,867		6,588	95.9
				比較	971			523	1,494		1,677	-
【参考】前々年度					6,810				6,810		6,542	96.1

目的 市内に所在する各種文化財(無指定を含む)の基本調査を行うことによって、今後の文化財保存対策を立案する上で必要なデータを収集するため。

1 史跡小田城跡等での個人住宅現状変更申請地や各種開発予定地内での遺跡有無照会への対応  
【成果】

(1) 史跡内現状変更  
小田城跡・平沢官衙遺跡・金田官衙遺跡での現状変更の許可申請手続きや工事立会などを実施し、史跡の保護を適切に行った。また令和元年度は史跡内現状変更に伴う確認調査は発生しなかった。

項 目	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
史跡内現状変更申請数	6 件	8 件	7 件	7 件	6 件
現状変更に伴う確認調査件数	0 か所	0 か所	0 か所	1 か所	2 か所

(2) 開発事業関係

① 埋蔵文化財所在の有無について、各種照会に対応して保存等の諸調整を行った。

② 必要に応じ試掘・確認調査を実施し、各種開発他事業と文化財の保存とを円滑に調整できた。

項 目	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ア埋蔵文化財の有無照会:文書	206 か所	217 か所	128 か所	130 か所	107 か所
同 :窓口・電話・ファックス	2,382 か所	2,241 か所	1,963 か所	2,053 か所	1,684 か所
イ試掘・確認調査(場所数)	35 か所	27 か所	29 か所	34 か所	29 か所
同 (面積)	2,564 m <sup>2</sup>	1,630 m <sup>2</sup>	1,335 m <sup>2</sup>	2,248 m <sup>2</sup>	2,306 m <sup>2</sup>

③ 新たに確認された遺跡の出土品等、市の歴史を知るための学術資料が蓄積された。

④ 開発等と文化財保護の調整は不可欠であるが、業務量は増加している。照会・調整・調査件数は平成24年度に急増(平成23年度までアが80・1000か所未満、イが5か所・410m<sup>2</sup>未満)して以降、高止まりしている。

2 記録保存に伴う本発掘調査、未指定文化財その他各種(悉皆)調査  
【成果】

(1) 本発掘調査

① 非営利の個人住宅建築等において、地下保存等が不可能だった範囲を対象に、止むを得ず、図面や写真による遺跡の記録保存を行った。郷土の歴史における貴重な資料を収集できた。

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
3 か所	2 か所	2 か所	1 か所	5 か所
201 m <sup>2</sup>	220 m <sup>2</sup>	347 m <sup>2</sup>	80 m <sup>2</sup>	504 m <sup>2</sup>

② 営利の開発において、地下保存等が不可能となった範囲を対象に、民間調査組織が記録で遺跡を保存する本発掘調査については令和元年度は発生しなかった。

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
0 か所	2 か所	2 か所	3 か所	0 か所
0 m <sup>2</sup>	1,856 m <sup>2</sup>	599 m <sup>2</sup>	752 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>

(2) 悉皆調査  
平成26年度に開始した巨樹等の調査について、6年目となる令和元年度は筑波山・宝篋山を対象に73件(平成29年度134件)を調査し、全体の現地調査を終了した。総調査件数は496件となった。調査は専門性の高いNPO法人へ委託し、市内に残る巨樹等の詳細なデータが採取できた。

(3) 建造物調査  
建替えが予定されている市内所在の寺院本堂について、未指定物件だが江戸時代初期の古材が多く残るため、現況を記録し改修状況を調査した。調査は古建築を専門とする業者へ委託し、歴史性が高い建造物の詳細な資料を得ることができた。

3 財源(単位:千円)						
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備 考
国 庫 補 助	3,196	2,707	2,666	2,672	2,557	遺跡発掘調査
起債その他特財	0	0	0	0	0	
一 般 財 源	5,069	3,881	3,876	4,307	4,646	

事業名：文化財維持管理に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰越額	支 出 済 額	執行率 (%)
10	05	03	13	本年	8,756			789	9,545		8,973	94.0
				前年	19,483	16,062	△ 105	542	35,982		31,971	88.9
				比較	△ 10,727	△ 16,062	105	247	△ 26,437		△ 22,998	-
【参考】前々年度					21,143		△ 315		20,828	16,062	3,810	95.4

目的

市内に所在する国・県・市指定文化財等の良好な保存・管理及び活用を図るため。

概要及び成果

1 国・県・市の指定文化財等の保存・維持管理業務

民間所有者等が行う指定文化財の保存・修繕・管理に対する補助事業、市が所有・管理する史跡等草刈りその他の維持管理事業、文化財の巡視等を実施した。

【成果】

- (1) 民間所有者等による指定文化財の保存・修繕・管理経費の一部補助や、市管理史跡等の草刈り等維持管理・修繕工事等を実施し、適切な保存・管理ができた。平成29年度から3年計画で実施してきた筑波山神社神橋修理への補助は、11月に完了した。また、台風15号で被害を受けた市指定文化財薬師堂の修理に対して補助した。

事業の種類	件数					R1備考
	R1	H30	H29	H28	H27	
火災報知設備管理事業補助	1	1	1	1	1	大塚家住宅(国指定)
指定文化財修繕事業補助	2	1	1	0	1	筑波山神社神橋(県指定)、薬師堂(市指定)
指定文化財管理事業補助	1	0	0	1	2	大つげ
無形民俗文化財保存事業補助	2	3	3	2	2	市無形民俗文化財保存団体
指定文化財草刈り等業務委託	8	8	8	8	8	小田城跡(国指定)ほか7件
指定文化財管理業務委託	1	1	1	1	1	五角堂(県史定)
指定文化財修繕工事	0	0	0	1	1	
文化財解説板設置工事	2	1	1	0	0	慶長板碑、若森県庁跡(市指定)

- (2) 文化財巡視により保存管理状況を把握し、管理者への適切な指導や国・県への円滑な報告ができた。また、建造物修理について、現地で専門家の助言・指導を得て対策を検討した。

事業の種類	件数					R1備考
	R1	H30	H29	H28	H27	
定期的巡視及び県への報告	26	26	26	26	26	国・県指定文化財、埋蔵文化財
文化財の状況確認・指導	1	2	1	1	2	文化財建造物

※上2表でのR1等は年度。

2 文化財保護の啓発事業

指定文化財管理者へ防火・防犯対策の徹底を周知する。

【成果】

- 1月26日の文化財防火デーにあたり、管理者への防火・防犯の注意喚起をし、関連事業を実施した。

3 財源(単位:千円)

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備 考
国 庫 補 助	0	0	0	0	0	
起債その他特財	18	15	16	16	13	電柱敷地使用料
一 般 財 源	8,955	31,956	3,794	2,972	16,112	

※平成30年度一般財源には前年度からの繰越明許費を含む。

事業名：市史編纂に要する経費

教育局 文化財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	14	本年	686			267	953		943	98.9
				前年	688				688		503	73.1
				比較	△2			267	265		440	-
【参考】前々年度					3,708		△317		3,391		3,364	99.2

目的	歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録し、郷土の歴史を正しく後世へ伝えるため。																																						
概要 及び 成果	1 市史編纂 史料散逸を防ぐための調査・解読等の作業を行い、集まり次第、資料集を刊行する。 (1) 保有及び未発見史・資料の整理、解読作業 (2) 史・資料集の刊行(歳入に利すため有償頒布する。)																																						
	【成果】																																						
	(1) 資料の解読により、今まで不明であった時代の状況が明らかになり、資料集の作成にもつながった。																																						
	(2) 『つくば市史史料集 第十六編 古来村御用留(上)』1冊を刊行した。																																						
	(3) 市に関係した資料4件(島名絵図、上境村古文書、上菅間村古文書、水守村古文書)を購入した。																																						
	(4) 市関連資料の寄贈を5件受けた。																																						
	(5) 既刊も含めた市町村史類を販売した。売上額は、大学等の大口の購入がなく、やや減少している。																																						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町村史等販売額</td> <td>92,700円</td> <td>153,750円</td> <td>166,500円</td> <td>115,850円</td> <td>123,250円</td> </tr> </tbody> </table>												年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	市町村史等販売額	92,700円	153,750円	166,500円	115,850円	123,250円															
	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																	
	市町村史等販売額	92,700円	153,750円	166,500円	115,850円	123,250円																																	
2 財源(単位:千円)																																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫補助</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>起債その他特財</td> <td>93</td> <td>154</td> <td>167</td> <td>116</td> <td>123</td> <td>市町村史売上料</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>850</td> <td>349</td> <td>3,197</td> <td>3,136</td> <td>3,314</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備 考	国庫補助	0	0	0	0	0		起債その他特財	93	154	167	116	123	市町村史売上料	一般財源	850	349	3,197	3,136	3,314	
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備 考																																	
国庫補助	0	0	0	0	0																																		
起債その他特財	93	154	167	116	123	市町村史売上料																																	
一般財源	850	349	3,197	3,136	3,314																																		
※平成30年度以降は、国補事業を除く臨時職員賃金の人事課移管により事業費・一般財源とも大幅減となった。																																							



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	15	本年	35,192		△ 5,229		29,963		29,625	98.9
				前年	7,183		32,105		39,288		38,210	97.3
				比較	28,009		△ 37,334		△ 9,325		△ 8,585	-
【参考】前々年度					25,758		△ 1,560		24,198		23,934	98.9

目的	中世(鎌倉・室町時代)に常陸南部の中心であった国指定史跡「小田城跡」について、土地の公有化や発掘調査を行ったうえで、全国的に珍しい平城形式の中世城郭を体感できるように復元整備し、平沢官衙遺跡に続く文化財保護の拠点とすることで、史跡の保存と活用を積極的に推進するため。																																						
概要 及び 成果	<p>1 保存整備委員会 委員会及び専門部会の組織において、以下の各事業についての協議等を行う。 ①土地公有化 ②発掘調査 ③復元整備事業 ④管理・活用 ⑤その他保存整備に必要な事業</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 委員会会議 整備・発掘調査ともに終了したため、実施せず(30年度会議と現地視察、29年度会議と現地視察、28年度開園式典への出席、27年度現地視察)。</p> <p>(2) 専門部会会議 ① 1月24日に1回開催した。(30年度2回、29年度2回、28年度3回、27年度3回)。 ② 整理調査の内容や整備完了後の保存・活用について、指導を得た。</p>																																						
	<p>2 史跡内容確認(発掘)調査 遺構保全ゾーン(整備地周辺の保存地区)の確認・整理調査を実施する(平成21～令和2年度予定)。</p> <p>【成果】</p> <p>報告書刊行に向けて、平成26年度～30年度の現地調査基礎整理を完了させ、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができた。また出土品を恒久的に保存するため、木製品3点に保存処理を行った。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査面積(m<sup>2</sup>)</td> <td>0</td> <td>393</td> <td>292</td> <td>228</td> <td>348</td> </tr> <tr> <td>調査面積累計(m<sup>2</sup>)</td> <td>0</td> <td>5,035</td> <td>4,642</td> <td>4,350</td> <td>4,122</td> </tr> <tr> <td>現地説明会人数(人)</td> <td>0</td> <td>161</td> <td>102</td> <td>206</td> <td>146</td> </tr> </tbody> </table>												年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	調査面積(m <sup>2</sup> )	0	393	292	228	348	調査面積累計(m <sup>2</sup> )	0	5,035	4,642	4,350	4,122	現地説明会人数(人)	0	161	102	206	146			
	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																	
	調査面積(m <sup>2</sup> )	0	393	292	228	348																																	
調査面積累計(m <sup>2</sup> )	0	5,035	4,642	4,350	4,122																																		
現地説明会人数(人)	0	161	102	206	146																																		
<p>3 土地公有化 文化庁長官に厳しく現状変更を制限される土地を公有化することで、史跡の保存・活用等の円滑化を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>管理区分C地区に該当している1筆。C地区は地下に影響を及ぼさない限り現状変更を認めているが、復元整備した本丸跡の北隣接地であり、整備の点からも重要な場所であることから買収し、史跡を現状保存することができた。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公有化面積(m<sup>2</sup>)</td> <td>2,135</td> <td>748</td> <td>987</td> <td>453.5</td> <td>1,422.45</td> </tr> </tbody> </table>												年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	公有化面積(m <sup>2</sup> )	2,135	748	987	453.5	1,422.45																
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																		
公有化面積(m <sup>2</sup> )	2,135	748	987	453.5	1,422.45																																		
<p>4 財源(単位:千円)</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫補助</td> <td>23,263</td> <td>28,964</td> <td>17,428</td> <td>29,761</td> <td>117,860</td> <td>買上・調査・整備</td> </tr> <tr> <td>起債その他特財</td> <td>4,130</td> <td>5,487</td> <td>0</td> <td>8,262</td> <td>63,800</td> <td>買上・整備</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,232</td> <td>3,759</td> <td>6,506</td> <td>15,570</td> <td>45,148</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備 考	国庫補助	23,263	28,964	17,428	29,761	117,860	買上・調査・整備	起債その他特財	4,130	5,487	0	8,262	63,800	買上・整備	一般財源	2,232	3,759	6,506	15,570	45,148	
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備 考																																	
国庫補助	23,263	28,964	17,428	29,761	117,860	買上・調査・整備																																	
起債その他特財	4,130	5,487	0	8,262	63,800	買上・整備																																	
一般財源	2,232	3,759	6,506	15,570	45,148																																		

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	16	本年	54,566		△ 495	△ 1,579	52,492		51,270	97.7
				前年	107,089		△ 1,399	△ 542	105,148		103,713	98.6
				比較	△ 52,523		904	△ 1,037	△ 52,656		△ 52,443	-
【参考】前々年度					38,496		1,238		39,734		38,383	96.6

目的 下記の文化財展示施設4館の施設及び谷田部郷土資料館を含めた5館の展示・収蔵資料について、適切に管理しその活用を図り、来訪者に郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める機会を提供するため。

1 施設や資料の管理・整理、案内・清掃業務

【成果】

施設は、定期的な清掃・点検等や植栽維持管理、修繕等により、良好な維持管理ができた。また、見学等利用者数は、つくばちびっ子博士事業実施の影響もあり、平成30年度以降増加傾向にある。

- (1) 桜歴史民俗資料館(旧桜村の歴史・産業・生活文化関係資料の保存、整理、展示)
  - ① 引き続き、節電等への配慮から当面の開館日を月・火・金・土曜日の週4日に行っている。
  - ② パネル用スイッチ交換、展示室の引戸、出入口付近の雨樋の修繕をした。
- (2) 出土文化財管理センター(市内出土文化財の保存、整理、展示や受贈図書等の管理)
  - ① 市内遺跡発掘調査資料等の展示管理、整理作業等を実施した。
  - ② 照明器具、エアコンの修繕をした。
- (3) 平沢官衙遺跡歴史ひろば(古代の郡役所跡を復元した建物等の展示)
  - ① 文化財の学習機会の提供のほか、市や民間団体によるイベント会場としても活用された。
  - ② 注意看板の交換、案内所の土間修繕をした。
- (4) 谷田部郷土資料館(交流センター3階。旧谷田部町の歴史・生活文化関係資料の保存、展示)
  - ① 展示・収蔵資料の保存管理を継続し、展示資料の追加を実施した。
  - ② 監視カメラ分割器、同軸ケーブルの交換をした。
- (5) 小田城跡歴史ひろば(小田城跡の発掘調査の成果や小田氏の歴史を紹介した体験型展示施設)
  - ① 通常の展示・公開のほか、地元団体による写真展や催事の会場としても活用された。
  - ② 浸水対策のため、案内所の土間修繕をした。
- (6) 各展示施設の見学等利用者数(単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ア 桜歴史民俗資料館	8,064	7,809	3,204	3,621	2,780
イ 出土文化財管理センター	58	126	119	107	231
ウ 平沢官衙遺跡歴史ひろば	50,689	46,508	52,478	51,346	55,051
エ 谷田部郷土資料館	3,948	4,591	1,031	1,597	1,661
オ 小田城跡歴史ひろば	19,853	21,204	17,479	17,170	-
計	82,612	80,238	74,311	73,841	59,723

※エは谷田部窓口センターが移動した平成26年5月以降、オは開館した平成28年5月以降の集計。

2 施設見学時の市文化財専門員による解説、収蔵資料や施設の利用申込みに対する許認可事務

【成果】

学校や一般団体からの解説等の依頼には、文化財専門員が対応した。所蔵資料・施設の利用許可申請等には適切に事務処理したほか、所蔵資料は出前講座等の教材としても有効活用した。

依頼・申請件数(単位:件)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ア 講師派遣・解説依頼等	60(29)	57(27)	73(32)	50(25)	48(30)
イ 所蔵資料利用許可申請	48	35	56	41	33
ウ 施設利用許可申請	24(1)	21(4)	21(9)	12(2)	11(5)

※アの()内は小中義務教育学校、ウの()内は行政財産使用料の件数。

3 財源(単位:千円)

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備考
国庫補助	0	0	0	0	0	
起債その他特財	87	75	50	64	98	電気料、使用料等
一般財源	51,183	103,638	38,333	29,502	16,521	

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																												
10	05	03	17	本年	193,096		△ 9,750		183,346		183,344	100.0																												
				前年	193,539				193,539		193,463	100.0																												
				比較	△ 443		△ 9,750		△ 10,193		△ 10,119	-																												
【参考】前々年度					194,963		△ 914		194,049		194,048	100.0																												
目的		独立行政法人都市再生機構(以下、UR)が平成30年度までに施行・完了する中根・金田台特定土地区画整理事業地内に所在する、奈良・平安時代の河内郡役所跡、国指定史跡「金田官衙遺跡」を公有化して保存し、将来的な活用を検討するため。																																						
概要及び成果		1 金田官衙遺跡保存・活用用地の買収 平成21年度に市とURとで締結した協定書及び29年度に締結した変更協定書に基づき、平成22年度(2010年度)～令和3年度(2021年度)に、市立桜中学校敷地を除く史跡指定地に追加指定見込地を加えた約7.3haを、URから計画的に買収する。土地買収は国庫補助事業として実施する。 <b>【成果】</b> 令和元年度は保存・活用用地としての買収10年目で、9月に2筆、6,500.04㎡の保存ができた。22年度からの累計面積は50,946.17㎡、買収率は70.0%となった。また、史跡未指定地である3筆、1,285.48㎡について、1月に国へ追加指定の意見具申をした。																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>買収面積</td> <td>6,500.04㎡</td> <td>6,773.77㎡</td> <td>6,774.21㎡</td> <td>6,504.09㎡</td> <td>4,121.20㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>累計買収面積</td> <td>50,946.17㎡</td> <td>44,446.13㎡</td> <td>37,672.36㎡</td> <td>30,898.15㎡</td> <td>24,394.06㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>買収率</td> <td>70.0%</td> <td>61.1%</td> <td>51.8%</td> <td>42.5%</td> <td>33.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度		買収面積	6,500.04㎡	6,773.77㎡	6,774.21㎡	6,504.09㎡	4,121.20㎡		累計買収面積	50,946.17㎡	44,446.13㎡	37,672.36㎡	30,898.15㎡	24,394.06㎡		買収率	70.0%	61.1%	51.8%	42.5%	33.5%	
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																			
買収面積	6,500.04㎡	6,773.77㎡	6,774.21㎡	6,504.09㎡	4,121.20㎡																																			
累計買収面積	50,946.17㎡	44,446.13㎡	37,672.36㎡	30,898.15㎡	24,394.06㎡																																			
買収率	70.0%	61.1%	51.8%	42.5%	33.5%																																			
		2 財源(単位:千円)																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫補助</td> <td>146,675</td> <td>154,770</td> <td>155,238</td> <td>156,256</td> <td>98,991</td> <td>史跡買上</td> </tr> <tr> <td>起債その他特財</td> <td>33,000</td> <td>29,000</td> <td>29,100</td> <td>29,200</td> <td>0</td> <td>用地取得事業債</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,669</td> <td>9,693</td> <td>9,710</td> <td>9,865</td> <td>24,748</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備考	国庫補助	146,675	154,770	155,238	156,256	98,991	史跡買上	起債その他特財	33,000	29,000	29,100	29,200	0	用地取得事業債	一般財源	3,669	9,693	9,710	9,865	24,748	
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備考																																		
国庫補助	146,675	154,770	155,238	156,256	98,991	史跡買上																																		
起債その他特財	33,000	29,000	29,100	29,200	0	用地取得事業債																																		
一般財源	3,669	9,693	9,710	9,865	24,748																																			

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	05	03	18	本年	6,096				6,096		5,663	92.9
				前年	4,005				4,005		3,944	98.5
				比較	2,091				2,091		1,719	-
【参考】前々年度					3,644				3,644		3,547	97.3

目的

県内有数の内容を誇る市の歴史や文化財を、学校での歴史文化教育や社会教育・観光等に活用するため。

概要及び成果

1 企画展示・講演会等の開催  
年1回程度、企画展や講演会、体験学習等を開催、内容により埋蔵文化財活用の国庫補助を導入する。

【成果】

(1) 巡回企画展「万葉の時代のつくば」を、10月から2月まで小田城跡歴史ひろばと谷田部郷土資料館で開催し、2会場合わせて1,467人が来場した。23年度から継続してきた事業形態がマンネリ化したことや市内巡回施設が2箇所にとどまったこと、また期間内の学校見学数が減少したことも影響して来場者数は半減したが、アンケートの結果から満足度の高さを窺い知ることができた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
企画展来場者数	1,467人	2,769人	2,358人	1,108人	1,524人

(2) 企画展と関連する講演会「遺跡から見る万葉のころのつくば」を開催、83人が参加した。昨年度までとは異なり、市民団体と共催する形態の催事ではなくなったため参加者数は減少したが、アンケートでは高い満足度が得られた。また「平沢官衙遺跡周辺歴史ウォーキング」を10月26日に開催、14人が参加した。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
講演会参加者数	83人	295人	216人	215人	95人
関連行事参加者数	14人	6人	13人	48人	19人

2 学校への歴史・文化教育の支援

学校教育での歴史や文化財の活用について、資料の作成・提供、市内の学校教諭を対象とする市の歴史・文化財の説明(研修講座)、学校見学向けの展示施設の内容改善等を通じて、支援する。

【成果】

(1) 教諭向けの研修講座を8月に開催した。(※平成30年度は台風のため中止。)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
回数	1回	0回	1回	1回	2回

(2) 谷田部小・葛城小・上郷小・真瀬小・大曾根小・竹園東小・島名小・二の宮小・松代小・秀峰筑波義務教育学校・筑波高校と連携してつくばスタイル科等の出前授業を行い、郷土の歴史・文化財をより深く学ぶ機会を提供できた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
回数	11回	4回	4回	2回	5回

(3) 児童・生徒向けの小田城跡パンフレット「小田氏と小田城」を作成、15,000部印刷し、まず教員への周知のため市内各小・中・義務教育学校へ2部ずつ配布した。また前年度に印刷した市域歴史年表と文化財展示施設の学校向けパンフレットは、つくばスタイル科での出前講座で配布した。いずれも分かりやすいとの評価を得た。

3 古文書講座

収集した史料を利用し、古文書講座を開催する。

【成果】

前期(6~9月)8回・後期(12~3月)6回開催した。参加者は前期26人、後期28人であった。各期とも20名程度の定員を上回る応募があり、13年目になるものの講座内容も依然として好評である。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
講座参加者人数	54人	55人	48人	47人	58人

## 4 文化財展示施設催事

平沢官衙遺跡歴史ひろば等の文化財展示施設を利用して、催事を開催する。

## 【成果】

- (1) 平沢官衙遺跡歴史ひろばでは、昨年までと同様、春に「特別開扉」、夏に「ライトアップ」、秋に「ミニコンサート」での歓待事業(昨年度まで開催していた「つくば物語」は、主管課の観光推進課が開催しなくなったため)、冬に「文化財防火デーと新春芝文字」と四季の催事を開催した。
- (2) 小田城跡歴史ひろば及び案内所では、「写真展」、「キャンドルナイトin小田城」、「小田の火祭りとお田城秋の陣」、「どんど焼きとお田城冬の陣」を、四季の催事として地域と共催・協力した。

## 5 文化財サポーター

市民がボランティア等として市の文化財行政に参加することで、歴史や文化財に触れる機会を作る。

## 【成果】

- (1) 昨年度策定した『つくば市文化財保存活用計画』にに基づき、解説ボランティア制度を新設し、養成講座の修了者のうち10名が登録、展示解説への参加を開始した。
- (2) 民間ボランティア団体「常陸小田城親衛隊の会」と連携し、小田城跡の解説や会員への研修等を実施した。

## 6 つくば市遺跡地図の改訂

平成13年度版の遺跡地図を最新の内容に更新し、5,000部刊行する。国庫補助事業として実施。

## 【成果】

開発等事業者だけではなく一般市民に向けた内容として作成したことで、来年度以降において利活用が図れる資料を充実させることができた。

## 7 財源(単位:千円)

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備 考
国庫補助	2,162	1,000	1,000	0	1,015	埋文公開活用
起債その他特財	127	160	136	136	169	講座納付金
一般財源	3,374	2,784	2,411	1,613	1,940	

事業名：スポーツ振興に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	11	本年	30,021		11,901		41,922	9,687	27,954	89.8
				前年	30,546		7,575		38,121		34,217	89.8
				比較	△ 525		4,326		3,801	9,687	△ 6,263	-
【参考】前々年度					29,298		3,560		32,858		30,403	92.5

目的	すべての市民がいつでも、どこでも、スポーツに親しみ、スポーツを通して市民がつながり合い、交流が活発になるようなまちづくりを推進するため。												
概要及び成果	<p>1 スポーツ推進審議会委員</p> <p>スポーツの推進に関する事項について調査審議し、審議会委員の提言、助言を施策の参考とする。</p> <p>【成果】</p> <p>スポーツ推進審議会を開催(2回)し、つくば市スポーツ推進計画に掲げた各施策の進捗状況やスポーツ事業について審議し、意見を伺い、市のスポーツ政策の参考とした。</p>												
	<p>2 スポーツ推進委員</p> <p>市が開催するスポーツイベント等の企画、助言、協力をする。また、つくば市体育協会が行うスポーツ事業等の助言、指導を行い、つくば市のスポーツ振興に貢献する。</p> <p>【成果】</p> <p>市が主催する各種大会等に協力し、大会運営の円滑化に貢献した。また、研修に参加し、各委員の活動の促進と資質の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ推進委員 事業等参加者数 (のべ)</td> <td>312人</td> <td>304人</td> <td>346人</td> <td>269人</td> <td>247人</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	スポーツ推進委員 事業等参加者数 (のべ)	312人	304人	346人	269人	247人
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
	スポーツ推進委員 事業等参加者数 (のべ)	312人	304人	346人	269人	247人							
<p>3 つくば市スポーツ推進計画の実施に向けた取組</p> <p>つくば市スポーツ推進計画の「施策の推進のために取り組む事項」の実現を目指すため、様々な取組(陸上競技場整備検討、障害者のためのスポーツの推進に関する事業、ランニングなどの普及啓発と環境整備等)を実施する。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場整備基本構想策定支援業務の契約を締結し、業務を開始することができた。</li> <li>障害者スポーツサポーター養成講座を初心者向けに実施したことにより、実際の障害者スポーツイベント等に参加しやすい環境づくりができた。</li> <li>ランニングマップを作成して公共施設やイベント等で配布し、広く周知することができた。</li> </ul>													
<p>4 つくば市体育協会補助</p> <p>つくば市体育協会が行うスポーツ・レクリエーション活動事業を支援するため、年間19,000千円の補助金を交付する。</p> <p>【成果】</p> <p>体育協会の活動をとおり、各団体が行う地域や市民スポーツ、レクリエーション活動を推進することができた。</p>													

事業名：スポーツ教室開催に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	12	本年	6,544				6,544		2,007	30.7
				前年	6,542				6,542		5,388	82.4
				比較	2				2		△ 3,381	-
【参考】前々年度					7,044				7,044		5,752	81.7

目的 スポーツ教室の開催を通じて、スポーツの楽しさや健康の維持管理方法を学び、市民のスポーツ活動の促進を図るため。

1 開催しているスポーツ教室

- |             |               |              |
|-------------|---------------|--------------|
| (1)トレイルラン   | (2)体幹トレーニング   | (3)ストリートダンス  |
| (4)スポーツ鬼ごっこ | (5)ウエイトトレーニング | (6)ラート       |
| (7)アーチェリー   | (8)バレーボール     | (9)リズムトレーニング |
| (10)ランニング   | (11)車いすバスケット  | (12)子どものスキー  |

各教室とも初心者及び中級者の方を対象に、基本的な技術を中心とした指導を行う。また、各教室とも終了後、小グループで継続的に活動ができるよう助言・指導等も行っている。

【成果】

10種目の教室を実施し、スポーツを始めるきっかけやスポーツを楽しみ、親しむ機会を提供できた。ラート(大人)、車いすバスケット、子どものスキー教室は新型コロナウイルス感染症等の影響により中止した。

実績:参加者延べ人数(※参加者数)

	スポーツ教室名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備考
1	トレイルラン	123名	119名	110名	87名	69名	
2	体幹トレーニング	386名	326名	111名	-	-	
3	ストリートダンス	68名	60名	75名	-	-	
4	スポーツ鬼ごっこ	35名	37名	※22名	-	-	
5	ウエイトトレーニング	35名	33名	32名	-	-	
6	ラート(子ども)※	9名	10名	12名	10名	16名	
7	アーチェリー	41名	51名	101名	82名	-	
8	バレーボール	60名	157名	103名	121名	102名	
9	リズムトレーニング	36名	-	-	-	-	R1新規
10	ランニング	103名	73名	97名	-	-	
11	ラート(大人)	中止	71名	60名	62名	44名	
12	車いすバスケット	中止	6名	-	-	-	
13	子どものスキー※	中止	122名	120名	141名	127名	

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	13	本年	25,002				25,002		23,304	93.2
				前年	25,081				25,081		23,237	92.6
				比較	△ 79				△ 79		67	-
【参考】前々年度					26,249				26,249		24,472	93.2

目的

市民が気軽に参加できるスポーツイベントや大会を開催し、市民がスポーツに参加する機会を提供するため。

1 各種スポーツ大会の開催

【成果】

様々な種目のスポーツ大会を開催し、市民のスポーツ活動の促進、競技力、技術レベルの向上、スポーツを通じた交流の場を提供できた。

主な大会等

(1) つくば学園ウォークラリー大会:5月11日開催

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
申込者数	539人(154組)	526人(149組)	553人(161組)	545人(160組)	467人(134組)
参加者数	403人(121組)	398人(119組)	257人(78組)	416人(124組)	371人(111組)

(2) つくばスポーツフェスティバル:7月20日開催

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加者数	805人	1,212人	1,107人	882人	560人

(3) つくばマラソン:11月24日開催

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
申込数	42.195km	15,327人	15,270人	14,958人	14,949人	14,950人
	10km	2,785人	2,843人	3,094人	3,226人	3,295人
	合計	18,112人	18,113人	18,052人	18,175人	18,245人
出走者	42.195km	12,353人	13,002人	12,547人	12,759人	12,936人
	10km	2,009人	2,353人	2,511人	2,667人	2,792人
	合計	14,362人	15,355人	15,058人	15,426人	15,728人

※フルマラソンに、ふるさと納税エントリー枠(50,000円以上の寄付対象)で、179名の申し込みがあった。

(4) 健康マラソン大会:2月1日開催

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
申込者数	1,930人	1,960人	1,973人	1,997人	1,798人
参加者数	1,708人	1,645人	1,526人	1,687人	1,394人

(5) U-18つくば市長杯サッカー大会

U-18:4月開催(2日間6チームが参加)

(6) 茨城オープンつくば市長杯テニス大会

6月22日～6月30日開催(プロ及び県内トップ選手)

(7) スポーツ鬼ごっこ大会(キッズの部)

8月24日開催(3チーム、29名が参加)

(8) 荒川区とのスポーツ交流

サッカー交流試合(中学生):2月8日開催(3チーム、荒川区・守谷市・つくば市各1チーム)

野球交流試合(小学生):3月8日開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

概要及び成果



款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	14	本年	42,834				42,834		42,393	99.0
				前年	40,926			△ 396	40,530		39,584	97.7
				比較	1,908			396	2,304		2,809	-
【参考】前々年度					35,561				35,561		33,398	93.9

目的

学校保健安全法に基づく各種検診を実施することで、教職員・児童生徒等の健康管理、健康増進を図るため。

概要及び成果

1 園児、児童、生徒及び教職員に対する各種検診の実施

学校保健安全法に基づく各種検診を実施することで、園児・児童・生徒及び教職員の健康管理と疾病異常の早期発見に努めた。

【成果】

必要な検診を実施することで、疾病異常の早期発見に努め、園児・児童・生徒及び教職員の健康の保持増進を図ることができた。

(1) 園児・児童・生徒を対象とした受診者数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
尿検査(対象:全園児、全児童生徒)	21,687人	21,386人	21,127人	20,698人	20,460人
寄生虫検査(対象:全園児) (※H27年度までは全園児、1～3年生)	844人	902人	936人	937人	7,921人
心臓病検診(対象:1年生、4年生、7年生)	一次	7,055人	6,816人	6,615人	6,403人
	二次	300人	352人	373人	295人
結核検診(対象:全児童生徒のうち精密検査受診者)	35人	37人	41人	40人	33人

(2) 教職員の定期健康診断受診者数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
受診者	426人	394人	391人	399人	399人

定期健康診断の内容:尿、胸部X線、胃がん、血圧、心電図等

2 教職員安全衛生管理業務の実施

つくば市立学校に勤務する教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進するため、学校衛生委員会の開催及び産業医を配置した。また、教職員のメンタルヘルスケアを図るためストレスチェックを実施した。

【成果】

教職員が安心して職務に専念できるよう職場環境の改善や、メンタルヘルス対策に取り組んだ。

(1) 産業医の配置(4名)

(2) ストレスチェック実施校(全校:45校) ※平成28年度は50人以上の学校で実施(2校)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
対象者	1,275人	1,245人	1,290人	136人	/
受験者数	1,258人	1,218人	1,222人	135人	
受験率	98.60%	97.80%	94.72%	99.26%	
高ストレス者率	10.96%	12.80%	7.03%	8.14%	

高ストレス者のうち面接希望者に対して産業医による面談を実施し、高ストレス者に対するフォローを行った。

事業名：いきいき茨城ゆめ国体に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	01	15	本年	145,504				145,504		145,468	100.0
				前年	97,839				97,839		97,459	99.6
				比較	47,665				47,665		48,009	-
【参考】前々年度					8,576				8,576		8,078	94.2

目的	平成31年に開催する「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」に向け、先催県の情報収集を行いながら準備を進め、大会を成功に導くため。
概要及び成果	<p>1 つくば市実行委員会等の開催</p> <p>【成果】</p> <p>大会の開催に向けて、関係者による実行委員会を開催し、大会運営に必要な計画を作成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内推進本部会議幹事会(4月)</li> <li>・ 実行委員会第3回総会(5月)</li> <li>・ 実行委員会第4回常任委員会(5月)</li> <li>・ 実行委員会第4回総会(2月)</li> <li>・ 後催県市町村に対する事業概要説明会(1月)</li> </ul>
	<p>2 国体PR活動の実施</p> <p>【成果】</p> <p>イベント等へのブース出展及びFacebook等を活用した広報活動を通して、市民に大会開催の周知を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つくば防犯フェア・つくばフェスティバル・筑波山ガマまつり等での特設PRブース出展</li> <li>・ 炬火イベント:採火式「筑波山の火」・「科学の火」・集火式「つくば市炬火集火式」の実施</li> <li>・ PR活動に必要な各種ノベルティグッズの作成・大会記念品等の作成</li> <li>・ つくば市大会報告書の作成</li> </ul>
	<p>3 第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会の実施</p> <p>【成果】</p> <p>国体の競技については、全国から多くの選手・監督・大会関係者の皆様をお迎えし、全競技を予定通り盛会のうちに終了することができたが、障害者スポーツ大会の競技については、台風の影響により全種目中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第74回国民体育大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>正式競技:自転車ロード・レース(9月)、アーチェリー(10月)</li> <li>公開競技:パワーリフティング(9月)</li> <li>デモンストラーションスポーツ競技:ダンス&amp;パフォーマンス(9月)、スポーツ鬼ごっこ(10月)</li> </ul> </li> <li>・ 第19回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>正式競技:車いすバスケットボール(身)(5月)、アーチェリー(身)(5月)</li> </ul> </li> </ul> <p>本大会中止</p>
	<p>4 国体開催気運の醸成</p> <p>【成果】</p> <p>競技会の円滑な運営を図るために、参加する選手、監督、大会関係者などの識別用品の整備、学校や市民ボランティアに協力を呼びかけ、大会の準備を進め、当日は市民一丸となって大会を盛り上げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 服飾(識別IDカード、ジャンパー、帽子)の作成及び支給</li> <li>・ 花いっぱい運動の展開</li> <li>・ 市内各小中学校生徒による手作り応援のぼり旗第2期作成</li> <li>・ 歓迎装飾、のぼり旗、横断幕、大型看板作成及びTXつくば駅総合案内所設置</li> </ul>

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	02	11	本年	307,051				307,051		289,853	94.4
				前年	419,196			△ 3,000	416,196		384,929	92.5
				比較	△ 112,145			3,000	△ 109,145		△ 95,076	-
【参考】前々年度					288,592	15,002			303,594		295,150	97.2

概要及び成果	目的	利用者の利便性及び安全性を確保し、利用促進に努めるため。																																										
	1	体育施設管理・清掃委託	52,654千円																																									
		【主な管理・清掃委託内容】																																										
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">施設名</th> <th>委託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>谷田部総合体育館、谷田部多目的広場、谷田部野球場、谷田部テニスコート</td> <td>18,148,500円</td> </tr> <tr> <td>桜総合体育館</td> <td>12,306,100円</td> </tr> <tr> <td>筑波総合体育館</td> <td>3,825,900円</td> </tr> <tr> <td>高崎サッカー場、高見原ソフトボール場、あしび野多目的広場</td> <td>360,800円</td> </tr> <tr> <td>東光台体育館</td> <td>3,278,720円</td> </tr> <tr> <td>吉沼体育館、吉沼野球場、豊里体育館、豊里多目的広場、豊里テニスコート、豊里柔剣道場</td> <td>14,733,530円</td> </tr> </tbody> </table>											施設名	委託金額	谷田部総合体育館、谷田部多目的広場、谷田部野球場、谷田部テニスコート	18,148,500円	桜総合体育館	12,306,100円	筑波総合体育館	3,825,900円	高崎サッカー場、高見原ソフトボール場、あしび野多目的広場	360,800円	東光台体育館	3,278,720円	吉沼体育館、吉沼野球場、豊里体育館、豊里多目的広場、豊里テニスコート、豊里柔剣道場	14,733,530円																		
	施設名	委託金額																																										
谷田部総合体育館、谷田部多目的広場、谷田部野球場、谷田部テニスコート	18,148,500円																																											
桜総合体育館	12,306,100円																																											
筑波総合体育館	3,825,900円																																											
高崎サッカー場、高見原ソフトボール場、あしび野多目的広場	360,800円																																											
東光台体育館	3,278,720円																																											
吉沼体育館、吉沼野球場、豊里体育館、豊里多目的広場、豊里テニスコート、豊里柔剣道場	14,733,530円																																											
2	植栽維持管理委託	39,663千円																																										
	【主な植栽維持管理内容】																																											
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">施設名</th> <th>委託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>谷田部総合体育館、谷田部多目的広場、谷田部野球場、谷田部テニスコート</td> <td>8,688,100円</td> </tr> <tr> <td>豊里多目的広場</td> <td>6,512,300円</td> </tr> <tr> <td>吉沼野球場</td> <td>7,192,600円</td> </tr> <tr> <td>高崎サッカー場</td> <td>9,955,200円</td> </tr> <tr> <td>高見原ソフトボール場、あしび野多目的広場</td> <td>5,626,900円</td> </tr> </tbody> </table>											施設名	委託金額	谷田部総合体育館、谷田部多目的広場、谷田部野球場、谷田部テニスコート	8,688,100円	豊里多目的広場	6,512,300円	吉沼野球場	7,192,600円	高崎サッカー場	9,955,200円	高見原ソフトボール場、あしび野多目的広場	5,626,900円																					
施設名	委託金額																																											
谷田部総合体育館、谷田部多目的広場、谷田部野球場、谷田部テニスコート	8,688,100円																																											
豊里多目的広場	6,512,300円																																											
吉沼野球場	7,192,600円																																											
高崎サッカー場	9,955,200円																																											
高見原ソフトボール場、あしび野多目的広場	5,626,900円																																											
3	指定管理委託料	74,000千円																																										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">施設名</th> <th>委託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つくばウェルネスパーク</td> <td>74,000,000円</td> </tr> </tbody> </table>											施設名	委託金額	つくばウェルネスパーク	74,000,000円																													
施設名	委託金額																																											
つくばウェルネスパーク	74,000,000円																																											
4	修繕	8,377千円																																										
	14施設48件の修繕を行った。																																											
	【主な修繕内容】																																											
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">施設名</th> <th style="width: 33%;">修繕名</th> <th>修繕金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>筑波総合体育館</td> <td>屋根修繕</td> <td>660,000円</td> </tr> <tr> <td>豊里体育館</td> <td>照明設備修繕</td> <td>649,000円</td> </tr> <tr> <td>つくばウェルネスパーク</td> <td>ろ過装置ろ材交換</td> <td>489,500円</td> </tr> <tr> <td>谷田部総合体育館</td> <td>カーテンレール等修繕</td> <td>361,800円</td> </tr> <tr> <td>谷田部野球場</td> <td>照明機器修繕</td> <td>327,800円</td> </tr> <tr> <td>吉沼体育館</td> <td>アリーナ床外修繕</td> <td>319,000円</td> </tr> <tr> <td>東光台体育館</td> <td>排煙窓修繕</td> <td>291,600円</td> </tr> <tr> <td>フットボールスタジアムつくば</td> <td>人工芝修繕</td> <td>280,800円</td> </tr> <tr> <td>豊里多目的広場</td> <td>ダッグアウト修繕</td> <td>237,600円</td> </tr> <tr> <td>谷田部テニスコート</td> <td>フェンス修繕</td> <td>177,100円</td> </tr> </tbody> </table>											施設名	修繕名	修繕金額	筑波総合体育館	屋根修繕	660,000円	豊里体育館	照明設備修繕	649,000円	つくばウェルネスパーク	ろ過装置ろ材交換	489,500円	谷田部総合体育館	カーテンレール等修繕	361,800円	谷田部野球場	照明機器修繕	327,800円	吉沼体育館	アリーナ床外修繕	319,000円	東光台体育館	排煙窓修繕	291,600円	フットボールスタジアムつくば	人工芝修繕	280,800円	豊里多目的広場	ダッグアウト修繕	237,600円	谷田部テニスコート	フェンス修繕	177,100円
施設名	修繕名	修繕金額																																										
筑波総合体育館	屋根修繕	660,000円																																										
豊里体育館	照明設備修繕	649,000円																																										
つくばウェルネスパーク	ろ過装置ろ材交換	489,500円																																										
谷田部総合体育館	カーテンレール等修繕	361,800円																																										
谷田部野球場	照明機器修繕	327,800円																																										
吉沼体育館	アリーナ床外修繕	319,000円																																										
東光台体育館	排煙窓修繕	291,600円																																										
フットボールスタジアムつくば	人工芝修繕	280,800円																																										
豊里多目的広場	ダッグアウト修繕	237,600円																																										
谷田部テニスコート	フェンス修繕	177,100円																																										

5 工事請負 60,550千円

2施設2件の解体・撤去工事及び9施設13件の修繕工事を行った。

【主な修繕工事内容】

施設名	工事名	工事金額
豊里テニスコート	テニスコート改修工事	30,115,800円
豊里多目的広場	屋外トイレ改築工事	11,413,600円
筑波総合体育館	トイレ改修工事	4,673,900円
東光台体育館	トイレ改修工事	3,096,360円
谷田部体育館	柔剣道照明器具更新工事	2,226,000円
つくばウェルネスパーク	蒸気配管修繕工事	1,287,000円
谷田部体育館	アリーナ排煙窓等修繕工事	1,276,000円
東光台体育館	天井照明器具交換工事	1,263,600円
谷田部野球場	屋外時計交換工事	1,023,000円
桜総合体育館	排煙窓他修繕工事	990,000円

6 市内20か所の体育施設(グラウンド9、テニスコート2、体育館7、柔剣道場1、ヘルスプラザ1)の維持管理

【成果】

利用者数(下表は有料施設のみ)

(単位:人)

施設名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
吉沼野球場	14,989	8,853	4,861	6,751	5,543
谷田部野球場	9,909	10,717	8,687	10,453	9,833
豊里多目的広場	4,312	4,890	3,266	7,926	5,178
高崎サッカー場	15,178	17,035	13,537	19,558	22,130
高見原ソフトボール場	10,498	10,865	13,289	7,756	7,109
フットボールスタジアムつくば	45,133	49,073	57,360	55,752	61,175
スポーツフィールド	8,365	7,907	8,836	9,072	8,914
谷田部テニスコート	30,743	27,960	25,727	24,019	26,499
豊里テニスコート	15,676	14,840	15,189	13,566	16,696
屋外施設計	154,803	152,140	150,752	154,853	163,077
筑波総合体育館	28,027	30,123	28,532	28,860	29,400
桜総合体育館	79,845	88,527	96,514	117,116	120,300
谷田部総合体育館	81,574	75,396	67,998	74,563	61,793
大穂体育館	15,266	16,164	16,363	13,961	14,804
吉沼体育館	40,380	30,433	25,365	23,121	24,551
東光台体育館	20,334	20,109	22,124	20,016	20,976
豊里体育館	16,277	18,026	19,451	15,442	16,581
体育館計	281,703	278,778	276,347	293,079	288,405
豊里柔剣道場	7,719	8,720	8,781	7,419	13,177
柔剣道場計	7,719	8,720	8,781	7,419	13,177
つくばウェルネスパークヘルスプラザ	149,974	164,792	173,809	177,164	187,047
つくばウェルネスパークヘルスプラザ計	149,974	164,792	173,809	177,164	187,047
総合計	594,199	604,430	609,689	632,515	651,706

※上記以外に、谷田部多目的広場とあしび野多目的広場(ともに無料施設)

7 公共施設予約システムを利用し体育施設及び公園スポーツ施設の予約をする際に必要となるIDカードの発行業務

事務補助員数:1名

【成果】

(単位:人)

登録発行件数	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
新規	2,922	2,663	2,562	2,780	2,777
更新(再発行含む)	986	587	586	910	532
計	3,908	3,250	3,148	3,690	3,309

※IDカードの有効期間は、発行日から3年間となっている。

事業名：給食センター運営審議会に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	11	本年	279				279		2	0.8
				前年	279				279		80	28.7
				比較							△78	-
【参考】前々年度					279				279		64	23.0
目的		つくば市立学校給食センター条例に基づき、教育委員会の諮問に応じ学校給食の運営に関する重要事項について審議・助言を行うことで、学校給食の適切かつ円滑な運営を図るため。										
概要及び成果		1 給食センター運営審議会 委員16名(市議会議員1名、学校長3名、学校医1名、学校薬剤師1名、学校歯科医1名、保健所長1名、保護者代表4名、学識経験者4名) <b>【成果】</b> 令和元年度については、開催実績なし。										

事業名：給食センター管理運営に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	12	本年	1,766,630		12,173		1,778,803		1,710,324	96.2
				前年	1,698,228		23,513	△ 20,157	1,701,584		1,684,480	99.0
				比較	68,402		△ 11,340	20,157	77,219		25,844	-
【参考】前々年度					1,749,996		3,784	15,504	1,769,284		1,760,153	99.5

目的

学校給食施設の適切な管理運営を実施することにより、成長段階にある子供たちに、安全で栄養バランスがとれた給食を安定して提供するため。

概要及び成果

1 給食センター5施設において、1日当たり23,901食(平成31年4月1日現在の児童等数)の給食を実施

【成果】

安心安全な学校給食を安定して提供することができた。

(1)内訳

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	備考
幼稚園16園 838名	幼稚園16園 861名	幼稚園16園 880名	幼稚園17園 922名	幼稚園17園 1,108名	中学校には県立並木中等教育学校を含む
小学校29校14,800名	小学校29校14,326名	小学校37校13,929名	小学校37校13,822名	小学校37校13,415名	
中学校13校 6,382名	中学校13校 6,317名	中学校16校 6,318名	中学校16校 6,327名	中学校16校 6,514名	
教職員等 1,881名	教職員等 1,868名	教職員等 1,807名	教職員等 1,800名	教職員等 1,509名	
計 23,901名	計 23,372名	計 22,934名	計 22,871名	計 22,546名	

(2)給食の年間実施回数

小・中学校で194回の給食を実施した。

(3)ご飯・パン・麺及び牛乳などは、(公財)茨城県学校給食会と契約し、各学校に直接配達した。

2 給食センターの施設管理等の委託

【成果】

建物の法的な点検やボイラー等の日常点検を実施することにより、安定したセンター運営を行うことができた。

警備委託・消防設備点検委託

給食廃棄物収集運搬処理委託

ボイラー保守管理委託 など

3 給食センターの厨房備品修繕、施設修繕

【成果】

不具合のある厨房施設・備品を随時修繕することにより、年間実施回数のとおり安定した給食提供を実施することができた。

筑波学校給食センター備品修繕(消毒保管庫その他)

大穂学校給食センター施設修繕(調理室電気設備修繕その他)

桜学校給食センター備品修繕(煮炊釜修繕その他)

荃崎学校給食センター施設修繕(調理室漏水修繕その他)

すこやか給食センター備品修繕(フライヤー修繕その他)

4 給食の放射能測定の実施

【成果】

食品放射能測定システム機器(Naシンチレーション測定器)及びゲルマニウム半導体測定器により、給食食材の放射性物質の測定を実施し、その結果を市ホームページに掲載し公表した。学校給食における放射性物質に対する不安を払拭することができた。

5 給食食材の地産地消の実施

【成果】

JAと連携し、地場産野菜の長ねぎ、にんじん、キャベツ、きのこ類等を使用した給食を提供した。

(つくば市産野菜購入の割合17.2%)

事業名：給食配送業務に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	13	本年	198,228		361		198,589		198,588	100.0
				前年	190,383			△ 1,600	188,783		188,783	100.0
				比較	7,845		361	1,600	9,806		9,805	-
【参考】前々年度					178,455			△ 3,136	175,319		175,289	100.0

目的

給食センターで調理した給食を遅滞なく各学校等に配送するとともに、給食後の食器等の回収を行うため。

概要及び成果

1 給食配送業務

【成果】

各学校への配送時間を設定し、給食配膳に必要な時間までに、安全で安定した学校給食の配送業務を実施することができた。

(1) 配送事業内訳(平成31年4月1日現在の配送台数等)

	配送台数(2t車)	配送学校等数	給食対象人員
大穂学校給食センター	2台	6施設	1,850人
つくばすこやか給食センター豊里	11台	19施設	9,438人
桜学校給食センター	7台	19施設	6,185人
筑波学校給食センター	3台	6施設	2,513人
茎崎学校給食センター	4台	12施設	3,915人
合計	27台	62施設	23,901人

(2) 年間配送回数

幼稚園:170回

小・中学校:194回

事業名：給食センター建設に要する経費

教育局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
10	06	03	14	本年	1,771,644	1			1,771,645		1,767,534	99.8
				前年	1,215,052	48,712	△ 123,553	25,153	1,165,364	1	1,160,666	99.6
				比較	556,592	△ 48,711	123,553	△ 25,153	606,281	△ 1	606,868	-
【参考】前々年度					76,506	4,329	80,852	△ 422	161,265	48,712	101,562	93.2

目的	調理能力不足、既存給食センターの老朽化等に対応する新しい学校給食センターを建設するため。											
概要 及び 成果	<p>1 (仮称)新谷田部学校給食センター建設工事 【成果】 (仮称)新谷田部学校給食センター建設工事を実施した。 ・施設概要 食数 12,000食/日 3献立 アレルギー対応除去食 令和元年11月29日完成</p>											
	<p>2 供用開始にむけた備品及び消耗品の購入 【成果】 厨房用備品、厨房用消耗品及び事務用備品等を購入することにより、令和2年度からの供用開始のための準備をすることができた。 (仮称)新谷田部学校給食センター厨房用消耗品購入(食器、食缶その他):37,266千円 (仮称)新谷田部学校給食センター厨房用備品購入(スライサー、フードプロセッサーその他):27,728千円 (仮称)新谷田部学校給食センター食器用カゴ購入:54,462千円 (仮称)新谷田部学校給食センター事務用備品購入(事務用机、事務用イスその他):5,985千円</p>											



事業名：災害復旧に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
11	01	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較							-	
【参考】前々年度					1				1			
目的		自然災害や異常気象現象により、道路、橋梁等の公共土木施設が被災した場合に、早急に被災施設を復旧させるため。										
概要及び成果		1 被災した公共施設の復旧に係る予算措置  【成果】 災害が発生しなかったため、執行しなかった。										

事業名：元金の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)										
12	01	01	11	本年	5,960,524		△ 36,397		5,924,127		5,924,124	100.0										
				前年	5,720,545		2,151		5,722,696		5,722,693	100.0										
				比較	239,979		△ 38,548		201,431		201,431	-										
【参考】前々年度					5,652,782		4,132		5,656,914		5,656,909	100.0										
目的		道路・義務教育施設・消防施設などの社会資本の整備に充てるために、借り入れた市債の元金を償還するため。																				
概要及び成果		1 市債発行時の約定に従い、令和元年度の所要額を全額償還する。 【成果】 (1) 平成11年度に発行した常磐新線整備主体出資事業債の償還が平成30年度で終了したが、平成29年度に発行した(仮称)みどりの学園建設事業債や(仮称)葛城北部学園建設事業債等の据置期間が終了し、元金の償還が開始したため償還額が増大した。  市債残高 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>令和元年度末</td> <td>平成30年度末</td> <td>平成29年度末</td> <td>平成28年度末</td> <td>平成27年度末</td> </tr> <tr> <td>53,970,037千円</td> <td>53,912,029千円</td> <td>54,528,977千円</td> <td>52,560,546千円</td> <td>52,266,311千円</td> </tr> </table>											令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末	53,970,037千円	53,912,029千円	54,528,977千円	52,560,546千円	52,266,311千円
令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末																		
53,970,037千円	53,912,029千円	54,528,977千円	52,560,546千円	52,266,311千円																		

事業名：利子の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)										
12	01	02	11	本年	314,801		△ 13,202		301,599		300,594	99.7										
				前年	361,674		△ 15,868		345,806		344,977	99.8										
				比較	△ 46,873		2,666		△ 44,207		△ 44,383	-										
【参考】前々年度					406,750		△ 27,300		379,450		378,445	99.7										
目的		道路・義務教育施設・消防施設などの社会資本の整備に充てるために借り入れた市債の利子を償還するため。																				
概要及び成果		1 市債利子の支払い <b>【成果】</b> (1) 令和元年度に償還した利子の総額は、臨時財政対策債の利率見直し(1.2%→0.1%)による減に加え、近年1%を下回る低金利で市債を発行していることから、前年比44,383千円減少した。  (2) 利子支払予定額(各年度末の時点から、全額償還するまでの利子の支払総額) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>令和元年度末</th> <th>平成30年度末</th> <th>平成29年度末</th> <th>平成28年度末</th> <th>平成27年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,467,186千円</td> <td>1,831,296千円</td> <td>2,185,612千円</td> <td>2,460,100千円</td> <td>2,771,874千円</td> </tr> </tbody> </table>											令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末	1,467,186千円	1,831,296千円	2,185,612千円	2,460,100千円	2,771,874千円
令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末																		
1,467,186千円	1,831,296千円	2,185,612千円	2,460,100千円	2,771,874千円																		

事業名：土地取得に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	01	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
目的		普通財産の取得(土地の購入)のため。										
概要及び成果		1 普通財産の取得に関すること  <b>【成果】</b> 普通財産の取得がなかったため、執行しなかった。										

事業名：財政調整基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	01	11	本年	444		1,914,861		1,915,305		1,915,305	100.0
				前年	387		1,704,249		1,704,636		1,704,636	100.0
				比較	57		210,612		210,669		210,669	-
【参考】前々年度					305		536		841		839	99.8
目的				災害により生じた経費、市債の繰上償還に要する経費又は緊急に実施することが必要となった大規模な建設事業の経費、その他やむを得ない理由により生じた経費の財源に充てることで、市財政の健全な運営に資することを目的として設置された、つくば市財政調整基金へ積み立てるため。								
概要及び成果				1 財政調整基金への積立て <b>【成果】</b> (1) 安定的な財政運営に資するため、剰余金1,914,587千円及び預金利子718千円を積み立てた。 (2) 基金を2,161,013千円取り崩し、社会福祉費、総務管理費等の予算の財源として充当した。 (3) 令和元年度末基金残高は、4,625,972千円。								

事業名：減債基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	02	11	本年	217		111		328		328	100.0
				前年	277		80		357		357	100.0
				比較	△ 60		31		△ 29		△ 29	-
【参考】前々年度					335		7		342		342	100.0
目的				市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資するために設置されたつくば市減債基金へ積み立てるため。								
概要及び成果				1 減債基金への積立て <b>【成果】</b> (1) 預金利子328千円積み立てた。 (2) 基金を528,344千円取り崩し、つくばエクスプレス関連土地地区画整理基本事業のための茨城県無利子貸付金の償還に充当した。 (3) 令和元年度末基金残高は、1,637,061千円。								

事業名：土地開発基金繰出金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	03	11	本年	19		△ 1		18		18	100.0
				前年	19		△ 1		18		18	100.0
				比較							-	
【参考】前々年度					19				19		19	100.0
目的		公用若しくは公共用に供する土地、又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るために設置されたつくば市土地開発基金へ積み立てるため。										
概要及び成果		1 土地開発基金への積立て <b>【成果】</b> (1) 預金利子18千円積み立てた。 (2) 令和元年度末基金残高は、土地24,706千円、預金180,127千円。										

事業名：奨学資金給付基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	04	11	本年	1				1		1	100.0
				前年	2,017		6,999		9,016		9,016	100.0
				比較	△ 2,016		△ 6,999		△ 9,015		△ 9,015	-
【参考】前々年度					1				1		1	100.0
目的		高等学校に在籍する者で経済的理由により就学が困難であると認められる者に奨学金を給付するため設置された、つくば市奨学金基金へ積み立てるため。										
概要及び成果		1 奨学資金給付基金への積立て <b>【成果】</b> (1) 寄付金1千円積み立てた。 (2) 基金を1,800千円取り崩し、奨学資金給付事業の財源として充当した。 (3) 令和元年度末基金残高は、5,417千円。										

事業名：公共施設整備基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	05	11	本年	176		88		264		264	100.0
				前年	176				176		176	100.0
				比較			88		88		88	-
【参考】前々年度					106		36		142		142	100.0
目的		公共施設整備資金に充てるため設置された、つくば市公共施設整備基金へ積み立てるため。										
概要及び成果		1 公共施設整備基金への積立て <b>【成果】</b> (1) 預金利子264千円積み立てた。 (2) 基金を114,320千円取り崩し、北条保育所建設事業の財源として充当した。 (3) 令和元年度末基金残高は、1,642,075千円。										

事業名：国際交流基金積立金

市民部 国際交流室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	06	11	本年	2				2		2	100.0
				前年	2				2	2	100.0	
				比較						-		
【参考】前々年度					3		△1		2		2	100.0
目的		国際交流事業に要する経費の財源に充てるために設置された、つくば市国際交流基金へ積み立てるため。										
概要及び成果		1 国際交流基金への積立て 【成果】 (1) 預金利子2千円を積み立てた。 (2) 令和元年度末基金残高は、11,845千円。										

事業名：つくばエクスプレス対策基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	07	11	本年	7				7		7	100.0
				前年	7				7	7	100.0	
				比較						-		
【参考】前々年度					7				7		7	100.0
目的		つくばエクスプレスの建設促進及びこれに係る地域整備に要する経費の財源に充てるために設置された、つくば市つくばエクスプレス対策基金へ積み立てるため。										
概要及び成果		1 つくばエクスプレス対策基金への積立て 【成果】 (1) 預金利子7千円積み立てた。 (2) 令和元年度末基金残高は、63,436千円。										

事業名：福祉振興基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	08	11	本年	29				29		29	100.0
				前年	29				29	29	100.0	
				比較						-		
【参考】前々年度					29				29		29	100.0
目的		福祉事業を推進し、快適な生活環境の形成を図るために設置された、つくば市福祉振興基金へ積み立てるため。										
概要及び成果		1 福祉振興基金への積立て 【成果】 (1) 預金利子29千円積み立てた。 (2) 平成30年度末基金残高は、282,985千円。										

事業名：ふるさと創生基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	09	11	本年	1				1		1	100.0
				前年	1				1	1	100.0	
				比較						-		
【参考】前々年度					1				1		1	100.0
目的		つくば市が自ら考え自ら実践する地域づくり事業に要する経費の財源に充てるために設置された、つくば市ふるさと創生基金へ積み立てるため。										
概要及び成果		1 ふるさと創生基金への積立て 【成果】 (1) 預金利子1千円積み立てた。 (2) 令和元年度末基金残高は、2,540千円。										

事業名：まちづくり事業基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	10	11	本年	75		370		445		445	100.0
				前年	75		631		706	706	100.0	
				比較			△ 261		△ 261	△ 261	-	
【参考】前々年度					75		667		742		742	100.0
目的		合併まちづくり計画に定められた事業に要する経費の財源に充てるために設置されたつくば市まちづくり事業基金へ積み立てるため。										
概要及び成果		1 まちづくり事業基金への積立て 【成果】 (1) 預金利子445千円積み立てた。 (2) 令和元年度末で基金廃止。										

事業名：学校教育施設整備基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	11	11	本年	148		53		201		201	100.0
				前年	97		51		148	148	100.0	
				比較	51		2		53	53	-	
【参考】前々年度					131		885,599		885,730		885,730	100.0
目的		学校教育施設の整備の財源に充てるために設置された、つくば市学校教育施設整備基金へ積み立てるため。										
概要及び成果		1 学校教育施設整備基金への積立て 【成果】 (1) 預金利子201千円積み立てた。 (2) 令和元年度末基金残高は、1,470,801千円。										

事業名：アイラブつくばまちづくり寄附基金積立金

政策イノベーション部 持続可能都市戦略室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	12	11	本年	47,862		55,184	4,409	107,455		107,455	100.0
				前年	64,001		2,000		66,001	47,554	72.1	
				比較	△ 16,139		53,184	4,409	41,454	59,901	-	
【参考】前々年度					182,784		△ 133,925	4,207	53,066		53,066	100.0

目的 つくば市を応援するための寄附金を適正に管理し、市民団体の活動資金及び市が行う事業に財源を充当するために設置した、アイラブつくばまちづくり寄附基金へ積み立てるため。

概要及び成果 1 アイラブつくばまちづくり寄附基金への積立て  
アイラブつくばまちづくり寄附基金条例に基づき基金へ積み立て、適正に管理し、アイラブつくばまちづくり活動支援事業及び市が行う事業の財源として充当する。

【成果】

(1) アイラブつくばまちづくり寄附金を積み立てた。

アイラブつくばまちづくり寄附基金推移

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
積立額	107,455,133円	47,554,441円	53,065,568円	13,269,866円	7,504,080円	15,102,810円
取崩額	42,527,000円	57,274,000円	29,190,000円	14,170,000円	4,182,000円	30,595,840円
残高	116,719,292円	51,791,159円	61,510,718円	37,635,150円	38,535,284円	35,213,204円

(2) 基金を42,527千円取り崩し、主にアイラブつくばまちづくり活動支援事業、LED防犯灯整備等の財源に充当した。

(3) 令和元年度末基金残高は、116,719千円。

事業名：地域雇用創出推進基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	13	11	本年	22		△ 1		21		21	100.0
				前年	23				23	23	100.0	
				比較	△ 1		△ 1	△ 2	△ 2	-		
【参考】前々年度					23		1		24		24	100.0

目的 地域における雇用の創出を推進するための事業の財源に充てるために設置した、つくば市地域雇用創出推進基金へ積み立てるため。

概要及び成果 1 地域雇用創出推進基金への積立て

【成果】

(1) 預金利子21千円積み立てた。

(2) 基金を10,578千円取り崩し、産業活性化促進奨励金の財源として充当した。

(3) 令和元年度末基金残高は、199,610千円。

事業名：医療環境整備基金積立金

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	14	11	本年	18				18		18	100.0
				前年	22		△ 4		18		18	100.0
				比較	△ 4		4				-	
【参考】前々年度					55		△ 33		22		22	100.0

目的	つくば市の周産期医療体制の充実を図り、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するために設置した、医療環境整備基金へ積み立てるため。
概要及び成果	<p>1 医療環境整備基金の設置</p> <p>筑波大学との「寄附講座の設置に係る協定」に基づき、寄附講座の開設と附属病院内につくば市バースセンターを整備するための基金を積立てる。</p> <p>この取組により、実際の診療を通じた研修教育等を行い、周産期医療を担う産科医、助産師の人材育成を図るとともに、市民の安全で安心な出産の場を確保し、安定的な周産期医療体制を構築する。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 預金利子18千円積み立てた。</p> <p>(2) 令和元年度末基金残高は、177,843千円。</p>

事業名：環境都市推進基金積立金

生活環境部 環境政策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
13	02	15	11	本年	10,003		15,001		25,004		25,004	100.0
				前年	10,007		1		10,008		10,008	100.0
				比較	△ 4		15,000		14,996		14,996	-
【参考】前々年度					10,008		4		10,012		10,012	100.0

目的	低炭素な街づくりを推進し、持続可能な都市の実現に向けた事業予算の財源に充てるため。
概要及び成果	<p>1 環境都市推進基金への積立て</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 政策的な積立金25,000千円と預金利子4千円を積み立てた。</p> <p>(2) 基金を28,690千円取りくずし、クリーンエネルギー機器等購入補助事業等の財源として充当した。</p> <p>(3) 令和元年度末基金残高は、28,813千円。</p>



事業名：つくばこどもの青い羽根基金積立金

保健福祉部 こども未来室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)	
13	02	16	11	本年	1		6,999	181	7,181		7,181	100.0	
				前年									
				比較	1		6,999	181	7,181		7,181	-	
【参考】前々年度													
目的				子どもの未来支援のために寄付された寄付金を、つくばこどもの青い羽根寄付基金に積み立てを行うため。									
概要及び成果				1.つくばこどもの青い羽根基金への積み立て 【成果】 (1)つくばこどもの青い羽根基金として7,181千円を積み立てた。									

(経済部 農業政策課)

事業名：森林環境譲与税基金積立金

経済部 鳥獣対策・森林保全室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)						
13	02	17	11	本年			11,100		11,100		11,089	99.9						
				前年														
				比較			11,100		11,100		11,089	-						
【参考】前々年度																		
目的				市町村が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充て、森林の保全を促進するため。														
概要及び成果				1 森林環境譲与税基金への積立 【成果】 ・ 森林環境譲与税基金を設立し、11,089千円を積み立てた。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積立額</td> <td>11,089千円</td> </tr> <tr> <td>残高</td> <td>11,089千円</td> </tr> </tbody> </table>									令和元年度		積立額	11,089千円	残高	11,089千円
令和元年度																		
積立額	11,089千円																	
残高	11,089千円																	

事業名：予備費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
14	01	01	11	本年	100,000			△ 27,847	72,153			
				前年	100,000			△ 32,567	67,433			
				比較				4,720	4,720			-
【参考】前々年度					100,000			△ 59,662	40,338			

目的

当初予測していない予算外の支出が生じた時や、歳出予算計上額が不足した時に充用するため。

概要及び成果

1 必要が生じた事業への充用

【成果】

予備費を下記の通り充用した。

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
充用額	27,847千円	32,567千円	59,662千円	47,649千円	43,692千円
主な事業	生活保護対策に要する経費、景観緑地のある住宅地に要する経費、アイラブつくばまちづくり寄附基金積立金等	障害福祉サービスに要する経費、庁舎維持管理に要する経費、資産税賦課に要する経費等	市税徴収に要する経費、給食センター管理運営に要する経費、道路の除雪費等	まち・ひと・しごと創生事業に要する経費、生活保護対策に要する経費、給食センター管理運営に要する経費等	徴収に要する経費、水害救助に要する経費等

# 国民健康保険特別会計



## 主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和元年度つくば市国民健康保険特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和2年8月27日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和元年度国民健康保険特別会計予算執行の概要について

国民健康保険制度は、国民皆保険制度の中核として国民生活を支える重要な役割を担い、加速する高齢化や医療技術の高度化に加え、生活習慣病の増加等に伴う医療費の増大により、大変厳しい財政運営を強いられています。平成30年度からは、都道府県が国保の財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営を確保し、制度の安定化を図るべく広域化が開始されました。市区町村においては、地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担っています。

このような中で、収納率の向上や資格及び医療費の適正化について、積極的に取り組み、国保財政の健全化に努めました。

また、健康寿命を延ばすための健康づくりの推進、特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上に取り組むとともに、生活習慣病の早期発見や糖尿病重症化予防などを重要課題と位置づけ、レセプトデータの分析により効果的・効率的な保健事業の実施に向け、第2期データヘルス計画に基づき各種保健事業を実施しました。

- 対象者 0歳から74歳までの方
- 医療費の負担 原則3割  
義務教育就学前の方は2割  
70歳から74歳までの方は2割（現役並み所得者は3割）
- 保険税 国民健康保険税は、被保険者の人数と前年の課税対象額をもとに、世帯単位で計算します。
- 被保険者数 44,451名（令和2年3月31日現在） 前年度比1,350人減

令和元年度国民健康保険特別会計の歳入は前年度比807,069千円減（△4.04%）の19,172,540千円、歳出は前年度比967,767千円減（△4.87%）の18,890,194千円となりました。

決算規模	歳入総額	19,172,540千円
	歳出総額	18,890,194千円
	歳入歳出差引額	282,346千円

以上、令和元年度つくば市国民健康保険特別会計決算の概要ですが、主要施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
01				国民健康保険	19,363,625		195,321	19,558,946	20,719,544	19,172,540	98.0
				国民健康保険税	4,612,511		△4,349	4,608,162	6,280,102	4,743,971	102.9
	01			国民健康保険税	4,612,511		△4,349	4,608,162	6,280,102	4,743,971	102.9
		01		一般被保険者国民健康保険税	4,603,029			4,603,029	6,268,109	4,739,255	103.0
			01	医療給付費分現年課税分	本年度 3,004,529 前年度 3,162,836 比較 △158,307		△66,543 66,543	3,004,529 3,096,293 △91,764	3,316,580 3,409,256 △92,676	3,051,845 3,125,666 △73,821	101.6 100.9
			02	後期高齢者支援金分現年課税分	本年度 992,529 前年度 1,055,531 比較 △63,002		△32,586 32,586	992,529 1,022,945 △30,416	1,086,883 1,122,608 △35,725	998,670 1,028,370 △29,700	100.6 100.5
			03	介護納付金分現年課税分	本年度 338,917 前年度 338,004 比較 913		7,910 △7,910	338,917 345,914 △6,997	364,018 381,604 △17,586	325,982 340,714 △14,732	96.2 98.5
			04	医療給付費分滞納繰越分	本年度 195,727 前年度 268,086 比較 △72,359		△39,054 39,054	195,727 229,032 △33,305	1,079,296 1,268,569 △189,273	258,316 244,086 14,230	132.0 106.6
			05	後期高齢者支援金分滞納繰越分	本年度 45,768 前年度 58,493 比較 △12,725		6,751 6,751	45,768 51,742 △5,974	275,582 286,679 △11,097	69,299 56,865 12,434	151.4 109.9
			06	介護納付金分滞納繰越分	本年度 25,559 前年度 34,304 比較 △8,745		4,692 4,692	25,559 29,612 △4,053	145,750 164,078 △18,328	35,143 30,628 4,515	137.5 103.4
		02		退職被保険者等国民健康保険税	9,482		△4,349	5,133	11,993	4,716	91.9
			01	医療給付費分現年課税分	本年度 4,386 前年度 24,854 比較 △20,468		△2,527 8,790	1,859 13,537 △11,678	1,640 12,835 △11,195	1,620 12,217 △10,597	87.1 90.2
			02	後期高齢者支援金分現年課税分	本年度 1,456 前年度 8,371 比較 △6,915		△843 3,024	613 4,504 △3,891	533 4,266 △3,733	527 4,059 △3,532	86.0 90.1
			03	介護納付金分現年課税分	本年度 1,397 前年度 9,001 比較 △7,604		△979 4,507	418 3,515 △3,097	461 3,638 △3,177	456 3,460 △3,004	109.1 98.4
			04	医療給付費分滞納繰越分	本年度 1,520 前年度 3,352 比較 △1,832		△1,094 1,094	1,520 2,258 △738	6,453 12,508 △6,055	1,392 3,243 △1,851	91.6 143.6
			05	後期高齢者支援金分滞納繰越分	本年度 343 前年度 732 比較 △389		232 232	343 500 △157	1,423 2,771 △1,348	343 776 △433	100.0 155.2
			06	介護納付金滞納繰越分	本年度 380 前年度 795 比較 △415		246 246	380 549 △169	1,482 3,038 △1,556	377 844 △467	99.2 153.7
02				使用料及び手数料	3,938			3,938	3,608	3,608	91.6
	01			手数料	3,938			3,938	3,608	3,608	91.6
		01		督促手数料	3,938			3,938	3,608	3,608	91.6
			01	督促手数料	本年度 3,938 前年度 3,968 比較 △30			3,938 3,968 △30	3,608 3,517 91	3,608 3,517 91	91.6 88.6
03				国庫支出金	1			1	1,025	1,025	102500.0
	01			国庫補助金	1			1	1,025	1,025	102500.0
		02		国庫補助金	1			1	1,025	1,025	102500.0
			01	国庫補助金	本年度 1 前年度 1 比較		2,150 △2,150	1 2,151 △2,150	1,025 1,832 △807	1,025 1,832 △807	102500.0 85.2
04				県支出金	12,877,319		68,888	12,946,207	12,407,387	12,403,161	95.8
	01			県補助金	12,877,319		68,888	12,946,207	12,407,387	12,403,161	95.8
		01		県補助金	12,877,319		68,888	12,946,207	12,407,387	12,403,161	95.8
			01	保険給付費等交付金(普通交付金)	本年度 12,641,350 前年度 12,913,735 比較 △272,385		62,609 △117,677 180,286	12,703,959 12,796,058 △92,099	12,117,755 11,987,286 130,469	12,117,755 11,987,286 130,469	95.4 93.7
			02	保険給付費等交付金(特別交付金)	本年度 235,969 前年度 335,158 比較 △99,189		6,279 270 6,009	242,248 335,428 △93,180	289,632 307,851 △18,219	285,406 307,851 △22,445	117.8 91.8
05				財産収入	10		△7	3	2	2	66.7
	01			財産運用収入	10		△7	3	2	2	66.7
		01		利子及び配当金	10		△7	3	2	2	66.7
			01	利子及び配当金	本年度 10 前年度 10 比較		△7 △6 △1	3 4 △1	2 4 △2	2 4 △2	66.7 100.0

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
06			繰入金	1,784,558		9,141	1,793,699	1,793,699	1,793,699	100.0
	01		他会計繰入金	1,784,558		9,141	1,793,699	1,793,699	1,793,699	100.0
		01	一般会計繰入金	1,784,558		9,141	1,793,699	1,793,699	1,793,699	100.0
			一般会計繰入金	本年度 792,983		△22,831	770,152	770,152	770,152	100.0
				前年度 900,676		119,425	1,020,101	1,020,101	1,020,101	100.0
				比較 △107,693		△142,256	△249,949	△249,949	△249,949	
		02	保険基盤安定繰入金	本年度 991,575		31,972	1,023,547	1,023,547	1,023,547	100.0
				前年度 1,033,027		△2,926	1,030,101	1,030,101	1,030,101	100.0
				比較 △41,452		34,898	△6,554	△6,554	△6,554	
07			繰越金	2		121,648	121,650	121,648	121,648	100.0
	01		繰越金	2		121,648	121,650	121,648	121,648	100.0
		01	療養給付費交付金	1			1			
			療養給付費交付金	本年度 1			1			
			繰越金	前年度 1		116,172	116,173	116,173	116,173	100.0
				比較		△116,172	△116,172	△116,173	△116,173	
		02	その他の繰越金	1		121,648	121,649	121,648	121,648	100.0
			その他の繰越金	本年度 1		121,648	121,649	121,648	121,648	100.0
				前年度 1		544,558	544,559	544,559	544,559	100.0
				比較		△422,910	△422,910	△422,911	△422,911	
08			諸収入	85,286			85,286	112,072	105,426	123.6
	01		延滞金加算金及び過料	53,309			53,309	46,515	46,515	87.3
		01	一般被保険者延滞金	53,133			53,133	46,487	46,487	87.5
			一般被保険者延滞金	本年度 53,133			53,133	46,487	46,487	87.5
				前年度 40,187			40,187	42,514	42,514	105.8
				比較 12,946			12,946	3,973	3,973	
		02	退職被保険者等延滞金	176			176	29	29	16.5
			退職被保険者等延滞金	本年度 176			176	29	29	16.5
				前年度 488			488	277	277	56.8
				比較 △312			△312	△248	△248	
		02	雑入	31,977			31,977	65,557	58,911	184.2
		01	一般被保険者第三者納付金	9,695			9,695	34,598	29,951	308.9
			一般被保険者第三者納付金現物分	本年度 9,500			9,500	29,660	29,660	312.2
				前年度 19,650			19,650	9,594	9,594	48.8
				比較 △10,150			△10,150	20,066	20,066	
		02	一般被保険者第三者納付金現金分	本年度 195			195	4,937	291	149.2
				前年度 350			350	5,204	267	76.3
				比較 △155			△155	△267	24	
		02	退職被保険者等第三者納付金	102			102			
			退職被保険者等第三者納付金現物分	本年度 100			100			
				前年度 148			148			
				比較 △48			△48			
		02	退職被保険者等第三者納付金現金分	本年度 2			2			
				前年度 2			2			
				比較						
		03	一般被保険者返納金	16,135			16,135	24,947	22,948	142.2
			一般被保険者返納金現物分	本年度 14,500			14,500	18,162	18,162	125.3
				前年度 12,000			12,000	10,486	10,154	84.6
				比較 2,500			2,500	7,676	8,008	
		02	一般被保険者返納金現金分	本年度 1,635			1,635	6,785	4,786	292.7
				前年度 1,600			1,600	2,786	276	17.3
				比較 35			35	3,999	4,510	
		04	退職被保険者等返納金	5			5			
			退職被保険者等返納金現物分	本年度 3			3			
				前年度 6			6			
				比較 △3			△3			
		02	退職被保険者等返納金現金分	本年度 2			2			
				前年度 2			2			
				比較						
		05	特定健診納付金	6,000			6,000	5,886	5,886	98.1
			特定健診納付金	本年度 6,000			6,000	5,886	5,886	98.1
				前年度 5,985			5,985	5,888	5,888	98.4
				比較 15			15	△2	△2	
		06	指定公費交付金	40			40	126	126	315.0
			指定公費交付金	本年度 40			40	126	126	315.0
				前年度 820			820	410	410	50.0
				比較 △780			△780	△284	△284	

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。



令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
×	×	×		雑入							
			×	雑入							
				本年度			47,877	47,877	47,878	47,878	100.0
				前年度							
				比較			△47,877	△47,877	△47,878	△47,878	

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

事業名：国民健康保険事務に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	59,227				59,227		56,186	94.9
				前年	48,170		2,396		50,566		48,220	95.4
				比較	11,057		△ 2,396		8,661		7,966	-
【参考】前々年度					57,025		558		57,583		53,156	92.3

目的	国民健康保険事業に係る事務を円滑に執行するため。																					
概要及び成果	<p>1 事務内容</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(1) 国民健康保険資格の得喪</td> <td style="width: 50%;">(6) 各種受給者証の認定交付</td> </tr> <tr> <td>(2) 保険給付費の支給事務</td> <td>(7) 療養給付費負担金の実績報告</td> </tr> <tr> <td>(3) 貸付金の貸付</td> <td>(8) 事業報告</td> </tr> <tr> <td>(4) 調整交付金申請</td> <td>(9) 国民健康保険事務補助員に係る賃金</td> </tr> <tr> <td>(5) 被保険者証の交付・更新</td> <td>(10) その他国民健康保険資格取得・給付に係る事務</td> </tr> </table> <p>【成果】 国民健康保険に関する事務を円滑に処理することができた。</p>												(1) 国民健康保険資格の得喪	(6) 各種受給者証の認定交付	(2) 保険給付費の支給事務	(7) 療養給付費負担金の実績報告	(3) 貸付金の貸付	(8) 事業報告	(4) 調整交付金申請	(9) 国民健康保険事務補助員に係る賃金	(5) 被保険者証の交付・更新	(10) その他国民健康保険資格取得・給付に係る事務
(1) 国民健康保険資格の得喪	(6) 各種受給者証の認定交付																					
(2) 保険給付費の支給事務	(7) 療養給付費負担金の実績報告																					
(3) 貸付金の貸付	(8) 事業報告																					
(4) 調整交付金申請	(9) 国民健康保険事務補助員に係る賃金																					
(5) 被保険者証の交付・更新	(10) その他国民健康保険資格取得・給付に係る事務																					

事業名：レセプト点検整理に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流 充 用 額	予 算 現 額	次 年 度 繰 越 額	支 出 済 額	執行率 (%)
01	01	01	12	本年	10,605				10,605		10,265	96.8
				前年	10,753				10,753		10,391	96.6
				比較	△ 148				△ 148		△ 126	-
【参考】前々年度					10,729				10,729		10,599	98.8

目的	診療報酬明細書(レセプト)の内容点検及び資格点検を行うことで医療費の適正化を図るため。																													
概要及び成果	<p>1 レセプト点検員:嘱託員として4名雇用</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レセプト点検件数</td> <td>684,327件</td> <td>706,846件</td> <td>716,672件</td> <td>739,478件</td> <td>746,884件</td> </tr> <tr> <td>レセプト点検による財政効果額</td> <td>73,614,729円</td> <td>85,488,609円</td> <td>72,969,248円</td> <td>89,600,256円</td> <td>84,963,909円</td> </tr> </tbody> </table> <p>レセプト点検により医療費を削減し、医療費の適正化を図った。</p>												年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	レセプト点検件数	684,327件	706,846件	716,672件	739,478件	746,884件	レセプト点検による財政効果額	73,614,729円	85,488,609円	72,969,248円	89,600,256円	84,963,909円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
レセプト点検件数	684,327件	706,846件	716,672件	739,478件	746,884件																									
レセプト点検による財政効果額	73,614,729円	85,488,609円	72,969,248円	89,600,256円	84,963,909円																									

事業名：徴税総務に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	01	11	本年	6,598				6,598		6,436	97.5
				前年	7,493				7,493		6,352	84.8
				比較	△ 895				△ 895		84	-
【参考】前々年度					7,296				7,296		6,307	86.4

目的

国民健康保険税を効率的に徴収するため。

概要及び成果

1 国民健康保険税の徴収事務

【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
口座振替納付件数	55,264件	57,351件	58,448件	61,124件	62,229件
口座振替納付額	1,601,184,900円	1,670,687,700円	1,649,238,800円	1,728,386,100円	1,776,458,900円
コンビニ利用による納付件数	93,380件	90,808件	89,914件	83,338件	89,892件
コンビニ利用による納付額	1,311,096,170円	1,302,651,284円	1,289,981,175円	1,260,426,844円	1,292,462,022円

口座振替納付等の勧奨により、国民健康保険税収納率が向上した。

事業名：賦課徴収事務に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	02	11	本年	22,834				22,834		21,211	92.9
				前年	23,205				23,205		20,722	89.3
				比較	△ 371				△ 371		489	-
【参考】前々年度					22,240		784		23,024		19,097	82.9

目的

国民健康保険税の賦課徴収事務を円滑に執行するため。

概要及び成果

1 国民健康保険税の賦課徴収事務

【成果】

(1) 国民健康保険税納税通知件数

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
普通徴収分	38,817件	39,377件	37,521件	37,042件	38,399件
特別徴収分	4,433件	4,589件	5,231件	5,244件	6,798件

(2) 国民健康保険税収納額

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
現年度分	4,379,100,550円	4,514,485,288円	4,548,131,121円	4,702,287,590円	4,795,661,817円
滞納繰越分	364,870,347円	336,442,723円	381,564,479円	426,328,589円	458,317,916円

(3) 国民健康保険税収納率

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
現年度課税分	91.56%	91.31%	91.29%	91.07%	90.67%
滞納繰越分	24.13%	19.33%	18.74%	18.17%	17.58%

国民健康保険税の賦課を適正に行い、国民健康保険税収納率が向上した。

事業名：運営協議会に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	03	01	11	本年	803				803		310	38.6
				前年	803				803		302	37.6
				比較							8	-
【参考】前々年度					803				803		653	81.4

目的

国民健康保険運営協議会において、必要な意見の交換や審議、諮問に対する答申を行うことで、国民健康保険制度の安定的な運営を図るため。

概要及び成果

- 国民健康保険運営協議会の開催  
運営協議会委員:被保険者代表4名、保険医・薬剤師代表4名、公益代表4名、被用者保険代表2名  
【成果】  
国民健康保険の運営に関し必要な意見の交換や審議等を行い、国民健康保険制度の安定的な運営が図られた。  
国民健康保険運営協議会開催回数:2回(令和元年7月11日、令和2年1月28日)  
令和元年7月11日開催時議題  
1)平成30年度国民健康保険特別会計の決算について(報告)  
2)平成30年度国民健康保険税の収納状況について(報告)  
3)令和元年度国民健康保険税の賦課について(報告)  
4)つくば市国民健康保険データヘルズ計画に基づく平成30年度保健事業の検証について  
令和2年1月28日開催時議題  
1)令和2年度国民健康保険特別会計予算(案)について  
2)令和2年度国保事業費納付金の算定結果について  
3)令和2年度国民健康保険事業計画(案)について  
4)令和2年度の保健事業計画(案)について

事業名：一般被保険者療養給付費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	11,098,209				11,098,209		10,548,317	95.0
				前年	11,108,544				11,108,544		10,391,950	93.5
				比較	△ 10,335				△ 10,335		156,367	-
【参考】前々年度					10,862,412				10,862,412		10,532,588	97.0

目的

一般被保険者が疾病や負傷により保険医療機関で受診した場合、国民健康保険法第36条第1項の規定に基づいて療養の給付を行うため。

概要及び成果

- 医療機関を通して請求のあった一般被保険者に係る疾病や負傷等の診療に対する医療費の給付事務  
【成果】
- | 年 度           | 令和元年度           | 平成30年度          | 平成29年度          | 平成28年度          | 平成27年度          |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 一般被保険者数(年間平均) | 45,611人         | 47,149人         | 48,310人         | 49,467人         | 49,890人         |
| 一般被保険者受診件数    | 685,916件        | 697,139件        | 695,165件        | 706,207件        | 706,560件        |
| 一般被保険者費用額     | 14,479,697,703円 | 14,301,014,918円 | 14,521,395,853円 | 14,491,498,111円 | 14,353,020,174円 |
| 一般被保険者一部負担金等  | 3,931,381,188円  | 3,909,065,042円  | 3,983,968,954円  | 3,990,063,872円  | 3,933,439,957円  |

事業名：退職被保険者等療養給付費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	11	本年	33,138		△ 20,000		13,138		11,712	89.1
				前年	133,759		△ 66,475		67,284		60,818	90.4
				比較	△ 100,621		46,475		△ 54,146		△ 49,106	-
【参考】前々年度					424,838				424,838		193,361	45.5

目的	退職被保険者等が疾病や負傷により保険医療機関で受診した場合、国民健康保険法第36条第1項の規定に基づいて療養の給付を行うため。																														
概要及び成果	1 医療機関を通して請求のあった退職被保険者に係る疾病や負傷等の診療に対する医療費の給付事務 【成果】																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退職被保険者等数(年間平均)</td> <td>39人</td> <td>220人</td> <td>604人</td> <td>1,201人</td> <td>1,982人</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等受診件数</td> <td>756件</td> <td>3,878件</td> <td>11,143件</td> <td>21,592件</td> <td>34,964件</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等費用額</td> <td>17,044,842円</td> <td>87,384,652円</td> <td>269,865,918円</td> <td>510,374,877円</td> <td>833,115,368円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等一部負担金等</td> <td>5,332,761円</td> <td>26,567,063円</td> <td>50,343,554円</td> <td>153,599,609円</td> <td>250,463,673円</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	退職被保険者等数(年間平均)	39人	220人	604人	1,201人	1,982人	退職被保険者等受診件数	756件	3,878件	11,143件	21,592件	34,964件	退職被保険者等費用額	17,044,842円	87,384,652円	269,865,918円	510,374,877円	833,115,368円	退職被保険者等一部負担金等	5,332,761円	26,567,063円	50,343,554円	153,599,609円	250,463,673円
	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
	退職被保険者等数(年間平均)	39人	220人	604人	1,201人	1,982人																									
	退職被保険者等受診件数	756件	3,878件	11,143件	21,592件	34,964件																									
	退職被保険者等費用額	17,044,842円	87,384,652円	269,865,918円	510,374,877円	833,115,368円																									
退職被保険者等一部負担金等	5,332,761円	26,567,063円	50,343,554円	153,599,609円	250,463,673円																										
平成27年4月から退職者医療制度の廃止により新規適用なし。また、65歳に達した方は、一般被保険者に移行することにより、退職被保険者が減少。																															

事業名：一般被保険者療養費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	03	11	本年	92,485				92,485		85,757	92.7
				前年	104,632				104,632		97,875	93.5
				比較	△ 12,147				△ 12,147		△ 12,118	-
【参考】前々年度					100,980		3,652		104,632		100,077	95.6

目的	一般被保険者が国民健康保険法第54条第1項及び第2項の規定に基づき治療等を行った場合は、柔道整復・鍼灸・補装具などの療養費に関する費用を被保険者に給付し、負担の軽減を図るため。																								
概要及び成果	1 一般被保険者に係る柔道整復、鍼灸、補装具などの療養費相当額を茨城県国民健康保険団体連合会や柔道整復師会、被保険者へ支出する。 【成果】																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者療養費支給件数</td> <td>12,558件</td> <td>13,131件</td> <td>14,241件</td> <td>15,374件</td> <td>15,768件</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者療養費費用額</td> <td>116,492,957円</td> <td>131,313,133円</td> <td>138,396,248円</td> <td>136,075,808円</td> <td>146,633,109円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者療養費一部負担金等</td> <td>32,017,341円</td> <td>33,438,612円</td> <td>38,318,858円</td> <td>37,417,326円</td> <td>40,429,989円</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	一般被保険者療養費支給件数	12,558件	13,131件	14,241件	15,374件	15,768件	一般被保険者療養費費用額	116,492,957円	131,313,133円	138,396,248円	136,075,808円	146,633,109円	一般被保険者療養費一部負担金等	32,017,341円	33,438,612円	38,318,858円	37,417,326円	40,429,989円
	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
	一般被保険者療養費支給件数	12,558件	13,131件	14,241件	15,374件	15,768件																			
	一般被保険者療養費費用額	116,492,957円	131,313,133円	138,396,248円	136,075,808円	146,633,109円																			
	一般被保険者療養費一部負担金等	32,017,341円	33,438,612円	38,318,858円	37,417,326円	40,429,989円																			
給付により一般被保険者の負担の軽減を図った。																									

事業名：退職被保険者等療養費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
02	01	04	11	本年	315				315		81	25.7																								
				前年	1,065		△ 770		295		251	84.9																								
				比較	△ 750		770		20		△ 170	-																								
【参考】前々年度					2,956				2,956		1,404	47.5																								
<p>目的 退職被保険者等が国民健康保険法第54条第1項及び第2項の規定に基づき治療等を行った場合は、柔道整復・鍼灸・補装具などの療養費に関する費用を被保険者に給付し、負担の軽減を図るため。</p>																																				
<p>概要及び成果 1 退職被保険者等に係る柔道整復、鍼灸、補装具などの療養費相当額を茨城県国民健康保険団体連合会や柔道整復師会、被保険者へ支出する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退職被保険者等療養費支給件数</td> <td>8件</td> <td>47件</td> <td>235件</td> <td>336件</td> <td>670件</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養費費用額</td> <td>115,486円</td> <td>357,988円</td> <td>1,985,975円</td> <td>3,433,716円</td> <td>7,833,278円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養費一部負担金等</td> <td>34,647円</td> <td>107,405円</td> <td>582,299円</td> <td>1,030,144円</td> <td>2,350,051円</td> </tr> </tbody> </table> <p>給付により退職被保険者等の負担の軽減を図った。 平成27年4月から退職者医療制度の廃止により新規適用なし。また、65歳に達した方は、一般被保険者に移行することにより、退職被保険者が減少。</p>													年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	退職被保険者等療養費支給件数	8件	47件	235件	336件	670件	退職被保険者等療養費費用額	115,486円	357,988円	1,985,975円	3,433,716円	7,833,278円	退職被保険者等療養費一部負担金等	34,647円	107,405円	582,299円	1,030,144円	2,350,051円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
退職被保険者等療養費支給件数	8件	47件	235件	336件	670件																															
退職被保険者等療養費費用額	115,486円	357,988円	1,985,975円	3,433,716円	7,833,278円																															
退職被保険者等療養費一部負担金等	34,647円	107,405円	582,299円	1,030,144円	2,350,051円																															

事業名：審査支払に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																																				
02	01	05	11	本年	35,213				35,213		34,822	98.9																																																																				
				前年	37,911				37,911		35,505	93.7																																																																				
				比較	△ 2,698				△ 2,698		△ 683	-																																																																				
【参考】前々年度					39,431				39,431		35,833	90.9																																																																				
<p>目的 診療報酬明細書(レセプト)の審査及び支払事務を円滑に処理するため。</p>																																																																																
<p>概要及び成果 1 診療報酬明細書の審査及び支払事務に関する国保連合会への手数料事務</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>手数料</th> <th>件数</th> <th>手数料</th> <th>件数</th> <th>手数料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養給付費審査</td> <td>688,691件</td> <td>33,745,859円</td> <td>701,934件</td> <td>34,394,766円</td> <td>707,170件</td> <td>34,651,330円</td> </tr> <tr> <td>療養費審査</td> <td>12,408件</td> <td>607,992円</td> <td>12,909件</td> <td>632,541円</td> <td>14,310件</td> <td>701,190円</td> </tr> <tr> <td>レセプト電算処理</td> <td>688,691件</td> <td>468,305円</td> <td>701,934件</td> <td>477,310円</td> <td>707,170件</td> <td>480,871円</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>手数料</th> <th>件数</th> <th>手数料</th> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>療養給付費審査</td> <td>732,901件</td> <td>35,912,149円</td> <td>737,442件</td> <td>32,153,252円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>療養費審査</td> <td>15,601件</td> <td>764,449円</td> <td>16,400件</td> <td>803,600円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>レセプト電算処理</td> <td>732,901件</td> <td>498,366円</td> <td>737,442件</td> <td>501,461円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>診療報酬明細書の審査及び支払事務を円滑に処理することができた。 (平成27年度の療養給付費審査手数料は、過年度の剰余金分の控除による減額調整あり)</p>													年 度	令和元年度		平成30年度		平成29年度		件数	手数料	件数	手数料	件数	手数料	療養給付費審査	688,691件	33,745,859円	701,934件	34,394,766円	707,170件	34,651,330円	療養費審査	12,408件	607,992円	12,909件	632,541円	14,310件	701,190円	レセプト電算処理	688,691件	468,305円	701,934件	477,310円	707,170件	480,871円	年 度	平成28年度		平成27年度				件数	手数料	件数	手数料			療養給付費審査	732,901件	35,912,149円	737,442件	32,153,252円			療養費審査	15,601件	764,449円	16,400件	803,600円			レセプト電算処理	732,901件	498,366円	737,442件	501,461円		
年 度	令和元年度		平成30年度		平成29年度																																																																											
	件数	手数料	件数	手数料	件数	手数料																																																																										
療養給付費審査	688,691件	33,745,859円	701,934件	34,394,766円	707,170件	34,651,330円																																																																										
療養費審査	12,408件	607,992円	12,909件	632,541円	14,310件	701,190円																																																																										
レセプト電算処理	688,691件	468,305円	701,934件	477,310円	707,170件	480,871円																																																																										
年 度	平成28年度		平成27年度																																																																													
	件数	手数料	件数	手数料																																																																												
療養給付費審査	732,901件	35,912,149円	737,442件	32,153,252円																																																																												
療養費審査	15,601件	764,449円	16,400件	803,600円																																																																												
レセプト電算処理	732,901件	498,366円	737,442件	501,461円																																																																												

事業名：一般被保険者高額療養費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
02	02	01	11	本年	1,398,956		91,609		1,490,565		1,476,297	99.0																								
				前年	1,499,702				1,499,702		1,401,692	93.5																								
				比較	△ 100,746		91,609		△ 9,137		74,605	-																								
【参考】前々年度					1,553,209				1,553,209		1,327,657	85.5																								
目的		一般被保険者が支払った医療費が自己負担限度額を超えた場合、超えた分を高額療養費として支給するため。																																		
概要及び成果		<p>1 一般被保険者が同一月に同一の診療科目を受診し限度額を超えて医療費を負担した場合、超えた分を高額療養費として支給する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者高額療養費支給件数</td> <td>22,819件</td> <td>21,806件</td> <td>20,340件</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者高額療養費支給額</td> <td>1,476,297,089円</td> <td>1,401,692,076円</td> <td>1,327,657,165円</td> </tr> <tr> <th>年 度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> <td></td> </tr> <tr> <td>一般被保険者高額療養費支給件数</td> <td>21,438件</td> <td>19,981件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般被保険者高額療養費支給額</td> <td>1,417,739,673円</td> <td>1,329,904,988円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>一般被保険者の高額な一部負担金の軽減を図った。</p>											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	一般被保険者高額療養費支給件数	22,819件	21,806件	20,340件	一般被保険者高額療養費支給額	1,476,297,089円	1,401,692,076円	1,327,657,165円	年 度	平成28年度	平成27年度		一般被保険者高額療養費支給件数	21,438件	19,981件		一般被保険者高額療養費支給額	1,417,739,673円	1,329,904,988円	
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																	
一般被保険者高額療養費支給件数	22,819件	21,806件	20,340件																																	
一般被保険者高額療養費支給額	1,476,297,089円	1,401,692,076円	1,327,657,165円																																	
年 度	平成28年度	平成27年度																																		
一般被保険者高額療養費支給件数	21,438件	19,981件																																		
一般被保険者高額療養費支給額	1,417,739,673円	1,329,904,988円																																		

事業名：退職被保険者等高額療養費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
02	02	02	11	本年	9,516		△ 9,000	810	1,326		1,326	100.0																								
				前年	27,969		△ 15,867		12,102		9,996	82.6																								
				比較	△ 18,453		6,867	810	△ 10,776		△ 8,670	-																								
【参考】前々年度					98,263				98,263		34,131	34.7																								
目的		退職被保険者等が支払った医療費が自己負担限度額を超えた場合、超えた分を高額療養費として支給し、負担の軽減を図るため。																																		
概要及び成果		<p>1 退職被保険者等が同一月に同一の診療科目を受診し限度額を超えて医療費を負担した場合、超えた分を高額療養費として支給する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退職被保険者等高額療養費支給件数</td> <td>22件</td> <td>133件</td> <td>370件</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等高額療養費支給額</td> <td>1,325,891円</td> <td>9,996,287円</td> <td>34,130,837円</td> </tr> <tr> <th>年 度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> <td></td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等高額療養費支給件数</td> <td>677件</td> <td>952件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等高額療養費支給額</td> <td>64,638,166円</td> <td>98,262,562円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>退職被保険者等の高額な一部負担金の軽減を図った。 平成27年4月から退職者医療制度の廃止により新規適用なし。また、65歳に達した方は、一般被保険者に移行することにより、退職被保険者が減少。</p>											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	退職被保険者等高額療養費支給件数	22件	133件	370件	退職被保険者等高額療養費支給額	1,325,891円	9,996,287円	34,130,837円	年 度	平成28年度	平成27年度		退職被保険者等高額療養費支給件数	677件	952件		退職被保険者等高額療養費支給額	64,638,166円	98,262,562円	
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																	
退職被保険者等高額療養費支給件数	22件	133件	370件																																	
退職被保険者等高額療養費支給額	1,325,891円	9,996,287円	34,130,837円																																	
年 度	平成28年度	平成27年度																																		
退職被保険者等高額療養費支給件数	677件	952件																																		
退職被保険者等高額療養費支給額	64,638,166円	98,262,562円																																		

事業名：一般被保険者高額介護合算療養費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	03	11	本年	650				650		516	79.4
				前年	650				650		117	18.1
				比較							399	-
【参考】前々年度					650				650		283	43.5

目的	一般被保険者の世帯で、国民健康保険と介護保険の自己負担額の合算金が年額の限度額を超えた場合に、超えた分を高額介護合算療養費として支給し、被保険者の負担軽減を図るため。																		
概要及び成果	<p>1 医療費が高額になった一般被保険者の世帯に介護保険の受給者がいる場合、国民健康保険と介護保険の自己負担限度額を適用後に、合算して年額の限度額を超えた場合に、超えた分を国民健康保険・介護保険で按分して高額介護合算療養費として支給する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者高額介護合算療養費支給件数</td> <td>32件</td> <td>6件</td> <td>14件</td> <td>28件</td> <td>45件</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者高額介護合算療養費支給額</td> <td>515,893円</td> <td>117,432円</td> <td>282,573円</td> <td>551,175円</td> <td>1,138,696円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一般被保険者の高額な一部負担金の軽減を図った。</p>	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	一般被保険者高額介護合算療養費支給件数	32件	6件	14件	28件	45件	一般被保険者高額介護合算療養費支給額	515,893円	117,432円	282,573円	551,175円	1,138,696円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
一般被保険者高額介護合算療養費支給件数	32件	6件	14件	28件	45件														
一般被保険者高額介護合算療養費支給額	515,893円	117,432円	282,573円	551,175円	1,138,696円														

事業名：退職被保険者等高額介護合算療養費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	04	11	本年	10				10			
				前年	10				10			
				比較								-
【参考】前々年度					80				80			

目的	退職被保険者の世帯で、国民健康保険と介護保険の自己負担額の合算金が年額の限度額を超えた場合に、超えた分を高額介護合算療養費として支給し、被保険者の負担軽減を図るため。																		
概要及び成果	<p>1 医療費が高額になった退職被保険者の世帯に介護保険の受給者がいる場合、国民健康保険と介護保険の自己負担限度額を適用後に、合算して年額の限度額を超えた場合に、超えた分を国民健康保険・介護保険で按分して高額介護合算療養費として支給する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退職被保険者等高額介護合算療養費支給件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等高額介護合算療養費支給額</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>189,324円</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成28・29・30年度、令和元年度の支給該当者なし。</p>	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	退職被保険者等高額介護合算療養費支給件数	0件	0件	0件	0件	5件	退職被保険者等高額介護合算療養費支給額	0円	0円	0円	0円	189,324円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
退職被保険者等高額介護合算療養費支給件数	0件	0件	0件	0件	5件														
退職被保険者等高額介護合算療養費支給額	0円	0円	0円	0円	189,324円														



事業名：一般被保険者移送に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
02	03	01	11	本年	1				1																					
				前年	1				1																					
				比較						-																				
【参考】前々年度					1				1																					
目的		一般被保険者が医療目的で病院等へ移送された場合などは、国民健康保険法第54条の4の規定に基づき、移送費を支給するため。																												
概要及び成果		1 一般被保険者の移送費の支給事務  【成果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者移送件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者移送費</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>163,800円</td> </tr> </tbody> </table> 平成28・29・30年度、令和元年度の支給該当者なし。											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	一般被保険者移送件数	0件	0件	0件	0件	1件	一般被保険者移送費	0円	0円	0円	0円	163,800円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
一般被保険者移送件数	0件	0件	0件	0件	1件																									
一般被保険者移送費	0円	0円	0円	0円	163,800円																									

事業名：退職被保険者等移送に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	02	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較						-		
【参考】前々年度					1				1			
目的		退職被保険者等が医療目的で病院等へ移送された場合などは、国民健康保険法第54条の4の規定に基づき、移送費を支給するため。										
概要及び成果		1 退職被保険者等の移送費の支給事務  【成果】 平成27・28・29・30年度、令和元年度における退職被保険者等の移送費の給付実績はなかった。										

事業名：葬祭に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
02	04	01	11	本年	10,700		1,050	50	11,800		11,050	93.6																		
				前年	11,500		△ 1,800	200	9,900	9,900	100.0																			
				比較	△ 800		2,850	△ 150	1,900	1,150	-																			
【参考】前々年度					11,500				11,500	11,150	97.0																			
目的		国民健康保険被保険者が死亡した場合、国民健康保険法第58条第1項の規定に基づき葬祭費を支給し、葬祭を行った方の負担を軽減するため。																												
概要及び成果		1 被保険者が死亡した場合に喪主へ葬祭費を補助する。 【成果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>葬祭費支給件数</td> <td>221件</td> <td>198件</td> <td>223件</td> <td>220件</td> <td>213件</td> </tr> <tr> <td>葬祭費支給額</td> <td>11,050,000円</td> <td>9,900,000円</td> <td>11,150,000円</td> <td>11,000,000円</td> <td>10,650,000円</td> </tr> </tbody> </table> 葬祭費の支給により、葬祭を行った方の経済的負担軽減を図った。											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	葬祭費支給件数	221件	198件	223件	220件	213件	葬祭費支給額	11,050,000円	9,900,000円	11,150,000円	11,000,000円	10,650,000円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
葬祭費支給件数	221件	198件	223件	220件	213件																									
葬祭費支給額	11,050,000円	9,900,000円	11,150,000円	11,000,000円	10,650,000円																									

事業名： 出産育児一時金に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	05	01	11	本年	97,297				97,297		79,345	81.5
				前年	113,073		△ 24,860		88,213		83,288	94.4
				比較	△ 15,776		24,860		9,084		△ 3,943	-
【参考】前々年度					125,775				125,775		107,289	85.3

目的 国民健康保険被保険者が出産した場合、国民健康保険法第58条第1項の規定に基づき、出生児一人ごとに  
出産育児一時金を支給し、世帯の負担の軽減を図るため。

概要及び成果 1 国民健康保険被保険者の出産に伴う出産育児一時金の支給事務  
補助額:出生児1名当たり, 404,000円  
※産科医療保障制度加入医療機関での出産は, 16,000円加算  
【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
出産育児一時金支給件数	189件	197件	274件	277件	270件
出産育児一時金支給額	79,307,960円	83,248,472円	107,240,028円	110,063,545円	103,689,315円
支払業務手数料	37,170円	39,060円	49,140円	52,710円	48,300円

出産育児一時金の支給により、世帯の負担軽減を図った。

事業名： 一般被保険者医療給付費分

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	4,177,806		1		4,177,807		4,177,805	100.0
				前年	4,747,915				4,747,915		4,747,914	100.0
				比較	△ 570,109		1		△ 570,108		△ 570,109	-
【参考】前々年度												

目的 国民健康保険一般被保険者医療給付費の安定的な財政運営を図るため。

概要及び成果 1 県から通知される一般被保険者医療費分の納付事務  
【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度
一般被保険者医療給付費	4,177,805,016円	4,747,914,381円

事業名： 退職被保険者医療給付費分

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	1,451				1,451		1,450	100.0
				前年	14,339				14,339		14,339	100.0
				比較	△ 12,888				△ 12,888		△ 12,889	-
【参考】前々年度												

目的 県から通知される退職被保険者医療費分の納付事務を行うため。

概要及び成果 1 県から通知される退職被保険者医療費分の納付事務  
【成果】

年 度	令和元年度	平成30年度
退職被保険者医療給付費	1,450,278円	14,338,993円

事業名：一般被保険者後期高齢者支援金等分

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)						
03	02	01	11	本年	1,438,348				1,438,348		1,438,348	100.0						
				前年	1,482,457				1,482,457		1,482,457	100.0						
				比較	△ 44,109				△ 44,109		△ 44,109	-						
【参考】前々年度																		
目的				高齢者の医療の確保に関する法律に基づき一般被保険者後期高齢者支援金を納付し、後期高齢者医療制度の維持を図るため。														
概要及び成果				1 県から通知される一般被保険者後期高齢者支援金等分の納付事務  【成果】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者後期高齢者支援金等分</td> <td>1,438,347,895円</td> <td>1,482,456,719円</td> </tr> </tbody> </table>									年 度	令和元年度	平成30年度	一般被保険者後期高齢者支援金等分	1,438,347,895円	1,482,456,719円
年 度	令和元年度	平成30年度																
一般被保険者後期高齢者支援金等分	1,438,347,895円	1,482,456,719円																

事業名：退職被保険者後期高齢者支援金等分

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)						
03	02	02	11	本年	535				535		535	99.9						
				前年	3,553				3,553		3,552	100.0						
				比較	△ 3,018				△ 3,018		△ 3,017	-						
【参考】前々年度																		
目的				高齢者の医療の確保に関する法律に基づき退職被保険者後期高齢者支援金を納付し、後期高齢者医療制度の維持を図るため。														
概要及び成果				1 県から通知される退職被保険者後期高齢者支援金等分の納付事務  【成果】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退職被保険者後期高齢者支援金等分</td> <td>534,583円</td> <td>3,552,453円</td> </tr> </tbody> </table>									年 度	令和元年度	平成30年度	退職被保険者後期高齢者支援金等分	534,583円	3,552,453円
年 度	令和元年度	平成30年度																
退職被保険者後期高齢者支援金等分	534,583円	3,552,453円																

事業名：介護納付金分

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)						
03	03	01	11	本年	504,926				504,926		504,926	100.0						
				前年	482,501				482,501		482,500	100.0						
				比較	22,425				22,425		22,426	-						
【参考】前々年度																		
目的				介護保険制度に基づき介護納付金を納付し、制度の維持を図るため。														
概要及び成果				1 県から通知される介護納付金分の納付事務  【成果】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護納付金分</td> <td>504,925,800円</td> <td>482,500,164円</td> </tr> </tbody> </table>									年 度	令和元年度	平成30年度	介護納付金分	504,925,800円	482,500,164円
年 度	令和元年度	平成30年度																
介護納付金分	504,925,800円	482,500,164円																

事業名：共同事業拠出金

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
04	01	01	11	本年	10				10		2	23.0												
				前年	10				10		2	23.7												
				比較								-												
【参考】前々年度																								
目的		退職医療制度に該当する年金受給者を確認するために、年金受給者一覧表の作成費を保険者が共同で拠出するため。																						
概要及び成果		1 年金受給者の中から退職者医療制度に該当する被保険者を抽出する一覧表作成に要する拠出金 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>その他共同事業拠出金</td> <td>2,300円</td> <td>2,373円</td> <td>2,492円</td> <td>3,360円</td> <td>4,229円</td> </tr> </tbody> </table>											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	その他共同事業拠出金	2,300円	2,373円	2,492円	3,360円	4,229円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
その他共同事業拠出金	2,300円	2,373円	2,492円	3,360円	4,229円																			

事業名：保健事業に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																										
05	01	01	11	本年	16,654				16,654		13,056	78.4																																										
				前年	17,055				17,055		12,344	72.4																																										
				比較	△ 401				△ 401		712	-																																										
【参考】前々年度					18,251		1,128		19,379		17,783	91.8																																										
目的		国保加入者をはじめ、広く市民の健康の保持増進を図り、医療費の適正化を推進するため。																																																				
概要及び成果		1 保健事業 (1) 人間ドック助成(30歳以上40歳未満の被保険者)を行った。 (2) 医療費通知:保険診療を受けた国保被保険者へ医療費の内訳を年6回通知し、医療費の抑制を図った。 (3) 冊子配布:国保制度及び健康の保持増進の啓発を図った。 (4) 食生活改善推進員による健康教室の支援を行った。 (5) インストラクター・歯科衛生士・管理栄養士等による講話や運動指導等を実施した。 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック助成件数</td> <td>31件</td> <td>43件</td> <td>59件</td> <td>57件</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>人間ドック助成額</td> <td>542,500円</td> <td>752,500円</td> <td>1,032,500円</td> <td>997,500円</td> <td>790,000円</td> </tr> <tr> <td>医療費通知発送件数</td> <td>121,020件</td> <td>123,120件</td> <td>124,927件</td> <td>128,040件</td> <td>128,823件</td> </tr> <tr> <td>企画教室・企業連携教室団体数</td> <td>9団体</td> <td>14団体</td> <td>15団体</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画教室実施回数</td> <td>63回</td> <td>86回</td> <td>202回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画教室参加延べ人数</td> <td>1,160人</td> <td>1,681人</td> <td>3,686人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 国民健康保険被保険者をはじめ広く市民の健康の保持増進を図った。 平成28年度は、健康増進課(健康長寿推進に要する経費(一般会計))参照											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	人間ドック助成件数	31件	43件	59件	57件	44件	人間ドック助成額	542,500円	752,500円	1,032,500円	997,500円	790,000円	医療費通知発送件数	121,020件	123,120件	124,927件	128,040件	128,823件	企画教室・企業連携教室団体数	9団体	14団体	15団体			企画教室実施回数	63回	86回	202回			企画教室参加延べ人数	1,160人	1,681人	3,686人		
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																	
人間ドック助成件数	31件	43件	59件	57件	44件																																																	
人間ドック助成額	542,500円	752,500円	1,032,500円	997,500円	790,000円																																																	
医療費通知発送件数	121,020件	123,120件	124,927件	128,040件	128,823件																																																	
企画教室・企業連携教室団体数	9団体	14団体	15団体																																																			
企画教室実施回数	63回	86回	202回																																																			
企画教室参加延べ人数	1,160人	1,681人	3,686人																																																			

事業名：特定健診事業に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																																						
05	01	01	12	本年	154,044				154,044		140,342	91.1																																																						
				前年	152,047		△ 4,963		147,084		138,107	93.9																																																						
				比較	1,997		4,963		6,960		2,235	-																																																						
【参考】前々年度					152,241				152,241		133,964	88.0																																																						
目的		40歳以上75歳未満の被保険者を対象に特定健診等を実施し、生活習慣病の早期発見や重症化予防に努めることで、将来の医療費抑制につなげるため。																																																																
概要及び成果		<p>1 実施項目</p> <p>(1) 特定健康診査受診</p> <p>(2) 特定保健指導</p> <p>(3) 人間ドック等助成(40歳以上75歳未満の被保険者)</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診受診者数</td> <td>10,909人</td> <td>10,701人</td> <td>10,443人</td> <td>10,378人</td> <td>10,382人</td> </tr> <tr> <td>特定健診受診率</td> <td>39.0%</td> <td>37.2%</td> <td>35.2%</td> <td>34.5%</td> <td>33.4%</td> </tr> <tr> <td>特定健診委託料</td> <td>78,934,448円</td> <td>77,805,982円</td> <td>64,358,868円</td> <td>75,131,709円</td> <td>73,143,903円</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導受診者数</td> <td>269人</td> <td>393人</td> <td>399人</td> <td>400人</td> <td>388人</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td>19.2%</td> <td>28.9%</td> <td>32.2%</td> <td>32.7%</td> <td>33.5%</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導委託料</td> <td>1,170,562円</td> <td>899,196円</td> <td>778,344円</td> <td>633,120円</td> <td>704,700円</td> </tr> <tr> <td>人間ドック等助成件数</td> <td>2,252件</td> <td>2,249件</td> <td>2,147件</td> <td>2,104件</td> <td>1,957件</td> </tr> <tr> <td>人間ドック等助成額</td> <td>43,437,500円</td> <td>43,625,000円</td> <td>41,825,000円</td> <td>41,102,500円</td> <td>38,962,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度の特定健診受診率、特定保健指導実施率は令和2年5月末日現在の速報値</p>											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	特定健診受診者数	10,909人	10,701人	10,443人	10,378人	10,382人	特定健診受診率	39.0%	37.2%	35.2%	34.5%	33.4%	特定健診委託料	78,934,448円	77,805,982円	64,358,868円	75,131,709円	73,143,903円	特定保健指導受診者数	269人	393人	399人	400人	388人	特定保健指導実施率	19.2%	28.9%	32.2%	32.7%	33.5%	特定保健指導委託料	1,170,562円	899,196円	778,344円	633,120円	704,700円	人間ドック等助成件数	2,252件	2,249件	2,147件	2,104件	1,957件	人間ドック等助成額	43,437,500円	43,625,000円	41,825,000円	41,102,500円	38,962,500円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																													
特定健診受診者数	10,909人	10,701人	10,443人	10,378人	10,382人																																																													
特定健診受診率	39.0%	37.2%	35.2%	34.5%	33.4%																																																													
特定健診委託料	78,934,448円	77,805,982円	64,358,868円	75,131,709円	73,143,903円																																																													
特定保健指導受診者数	269人	393人	399人	400人	388人																																																													
特定保健指導実施率	19.2%	28.9%	32.2%	32.7%	33.5%																																																													
特定保健指導委託料	1,170,562円	899,196円	778,344円	633,120円	704,700円																																																													
人間ドック等助成件数	2,252件	2,249件	2,147件	2,104件	1,957件																																																													
人間ドック等助成額	43,437,500円	43,625,000円	41,825,000円	41,102,500円	38,962,500円																																																													

事業名：基金積立金

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
06	01	01	11	本年	10		△ 7		3		3	100.0																		
				前年	10		△ 6		4		4	100.0																		
				比較			△ 1		△ 1		△ 1	-																		
【参考】前々年度					10		△ 5		5		5	100.0																		
目的		余剰金又は積立基金利子等が生じた場合、国民健康保険支払準備基金へ積み立てるため。																												
概要及び成果		<p>1 国民健康保険支払準備基金への積立て</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金積立金</td> <td>3,000円</td> <td>4,000円</td> <td>5,000円</td> <td>6,000円</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>年度末基金現在高</td> <td>18,546,091円</td> <td>18,543,091円</td> <td>18,539,091円</td> <td>18,534,091円</td> <td>18,528,091円</td> </tr> </tbody> </table>											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	基金積立金	3,000円	4,000円	5,000円	6,000円	10,000円	年度末基金現在高	18,546,091円	18,543,091円	18,539,091円	18,534,091円	18,528,091円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
基金積立金	3,000円	4,000円	5,000円	6,000円	10,000円																									
年度末基金現在高	18,546,091円	18,543,091円	18,539,091円	18,534,091円	18,528,091円																									

事業名：一般被保険者保険税還付金

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	01	11	本年	21,310				21,310		21,201	99.5
				前年	23,434				23,434		19,559	83.5
				比較	△ 2,124				△ 2,124		1,642	-
【参考】前々年度					21,662		7,620		29,282		26,854	91.7

目的	納付された一般被保険者国民健康保険税に還付の事由が生じた場合、還付し、適正な賦課徴収を図るため。																		
概要及び成果	<p>1 納付された一般被保険者国民健康保険税に還付の事由が生じた場合の還付事務</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>還付件数</td> <td>716件</td> <td>621件</td> <td>963件</td> <td>691件</td> <td>829件</td> </tr> <tr> <td>還付金額</td> <td>20,968,351円</td> <td>19,385,676円</td> <td>25,838,300円</td> <td>16,885,312円</td> <td>21,980,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一般被保険者国民健康保険税の適正な賦課徴収が図られた。 ※還付金額には、還付加算金は含まず。</p>	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	還付件数	716件	621件	963件	691件	829件	還付金額	20,968,351円	19,385,676円	25,838,300円	16,885,312円	21,980,500円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
還付件数	716件	621件	963件	691件	829件														
還付金額	20,968,351円	19,385,676円	25,838,300円	16,885,312円	21,980,500円														

事業名：退職被保険者等保険税還付金

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	02	11	本年	70				70			
				前年	71				71	70	98.9	
				比較	△ 1				△ 1	△ 70	-	
【参考】前々年度					161			△ 3	158		25	15.5

目的	納付された退職被保険者等国民健康保険税に還付の事由が生じた場合、還付し、適正な賦課徴収を図るため。																		
概要及び成果	<p>1 納付された退職被保険者等国民健康保険税に還付の事由が生じた場合の還付事務</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>還付件数</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>6件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>還付金額</td> <td>0円</td> <td>70,200円</td> <td>24,500円</td> <td>110,800円</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table> <p>退職被保険者等国民健康保険税の適正な賦課徴収が図られた。 ※還付金額には、還付加算金は含まず。</p>	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	還付件数	0件	1件	2件	6件	0件	還付金額	0円	70,200円	24,500円	110,800円	0円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
還付件数	0件	1件	2件	6件	0件														
還付金額	0円	70,200円	24,500円	110,800円	0円														

事業名：特定健診返還金に要する経費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	03	11	本年	1				1			
				前年			1,736		1,736	1,736	100.0	
				比較	1		△ 1,736		△ 1,735	△ 1,736	-	
【参考】前々年度					1				1			

目的	特定健診事業に充てる特定健診実施補助金に返還の事由が生じた場合、返還し精算するため。												
概要及び成果	<p>1 特定健診実施補助金は概算で交付され、実績に基づいて翌年度精算する。補助金に超過交付があった場合の精算事務</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精算額</td> <td>0円</td> <td>1,736,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	精算額	0円	1,736,000円	0円	0円	0円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度								
精算額	0円	1,736,000円	0円	0円	0円								

事業名：一般会計繰出金

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
07	02	01	11	本年	1		121,648		121,649		121,648	100.0												
				前年	1		385,949		385,950		385,950	100.0												
				比較			△ 264,301		△ 264,301		△ 264,302	-												
【参考】前々年度					1		369,277		369,278		369,277	100.0												
目的		国民健康保険特別会計において繰越金が生じた場合、一般会計からの繰入金の範囲内で一般会計へ繰り出すため。																						
概要及び成果		1 国民健康保険特別会計において繰越金が生じた場合、一般会計からの繰入金の範囲内で一般会計へ繰り出す事務 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精 算 額</td> <td>121,648,119円</td> <td>385,950,000円</td> <td>369,277,000円</td> <td>350,463,000円</td> <td>177,813,000円</td> </tr> </tbody> </table>											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	精 算 額	121,648,119円	385,950,000円	369,277,000円	350,463,000円	177,813,000円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
精 算 額	121,648,119円	385,950,000円	369,277,000円	350,463,000円	177,813,000円																			

事業名：指定公費支出金

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
07	03	01	11	本年	40			35	75		75	100.0																		
				前年	820				820		450	54.9																		
				比較	△ 780			35	△ 745		△ 375	-																		
【参考】前々年度					1,254				1,254		782	62.4																		
目的		70歳以上75歳未満の被保険者の療養に係る一部負担金の割合については、平成20年4月以降1割から2割に見直されたが、経過措置により昭和19年4月1日以前生まれの方は引き続き1割負担とし、残り1割を国による指定公費で賄うことで被保険者の軽減を図るため。																												
概要及び成果		1 療養費のうち、市に直接施術院から請求された療養費については、指定公費支出金で支出する。 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>112件</td> <td>377件</td> <td>691件</td> <td>1,916件</td> <td>2,402件</td> </tr> <tr> <td>指定公費負担金</td> <td>75,066円</td> <td>449,815円</td> <td>781,901円</td> <td>1,345,557円</td> <td>1,724,054円</td> </tr> </tbody> </table> 70歳から74歳までの被保険者の療養費一部負担金の軽減を図った。											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	件数	112件	377件	691件	1,916件	2,402件	指定公費負担金	75,066円	449,815円	781,901円	1,345,557円	1,724,054円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
件数	112件	377件	691件	1,916件	2,402件																									
指定公費負担金	75,066円	449,815円	781,901円	1,345,557円	1,724,054円																									

事業名：予備費

保健福祉部 国民健康保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
08	01	01	11	本年	50,000			△ 895	49,105															
				前年	50,000			△ 200	49,800															
				比較				△ 695	△ 695			-												
【参考】前々年度					50,000			△ 2,223	47,777															
目的		保険給付費等の予測しがたい支出の増加に備えるため。																						
概要及び成果		1 流行性疾患などの予測しがたい給付費等の増加に対応する。 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精 算 額</td> <td>894,957円</td> <td>200,000円</td> <td>2,223,255円</td> <td>11,993,000円</td> <td>265,530円</td> </tr> </tbody> </table> 平成28年度は、高額医療共同事業医療費拠出金に充用した。 平成29年度は、前期高齢者納付金の単価変更により拠出した。 平成30年度は、葬祭費に充用した。 令和元年度は、退職被保険者等高額療養費、葬祭費、指定公費負担金に充用した。											年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	精 算 額	894,957円	200,000円	2,223,255円	11,993,000円	265,530円
年 度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
精 算 額	894,957円	200,000円	2,223,255円	11,993,000円	265,530円																			





# 下水道事業特別会計



## 主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和元年度つくば市下水道事業特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和2年8月27日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和元年度つくば市下水道事業特別会計予算執行の概要について

本年度決算については、歳入が8,298,590千円、歳出が7,164,436千円、歳入歳出差引残金は1,134,154千円となります。歳入歳出差引額は、令和2年度から地方公営企業法が適用されたことに伴い、つくば市下水道特別会計からつくば市下水道事業会計へ引き継ぎました。

本年度も厳しい財政状況ではありましたが、昨年度に引き続き下水管きよの整備を図り、供用区域の拡大を行うとともに、中継ポンプ場の維持管理や汚水管きよの修繕工事に加え、ストックマネジメント計画に基づき、汚水管きよ及びポンプ場の改築更新事業を実施しました。

また、令和2年度に移行する企業会計の導入に向け、資産調査、財務会計導入準備及び移行支援等の業務委託を実施しました。

決算規模	歳入総額	8,298,590千円
	歳出総額	7,164,436千円
	歳入歳出差引額	1,134,154千円
	繰り越すべき財源 (繰越明許費)	120,393千円
	実質収支額	1,013,761千円

※ 企業会計移行に伴い、令和2年3月31日現在の決算になります。

以上、令和元年度つくば市下水道事業特別会計決算の概要ですが、主要な施策の成果その他予算執行の実績の主なもの、次のとおりです。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
01				下水道	10,045,932	1,153,570	△989,008	10,210,494	9,490,348	8,298,590	81.3
01				分担金及び負担金	856,576	58,579	△518,222	396,933	434,587	64,732	16.3
01	01			分担金	1,827			1,827	2,550	2,463	134.8
01	01	01		下水道費分担金	1,827			1,827	2,550	2,463	134.8
01	01	01	01	公共下水道事業分 担金	本年度 1,606 前年度 549 比較 1,057			1,606 549 1,057	2,197 860 1,337	2,110 860 1,250	131.4 156.6
01	01	02		公共下水道事業分 担金滞納繰越分	本年度 1 前年度 1 比較			1 1			
01	01	03		特定環境保全公共 下水道事業分担金	本年度 219 前年度 450 比較 △231			219 450 △231	353 684 △331	353 684 △331	161.2 152.0
01	01	04		特定環境保全公共 下水道事業分担金 滞納繰越分	本年度 1 前年度 1 比較			1 1			
02				負担金	854,749	58,579	△518,222	395,106	432,037	62,269	15.8
02	01			下水道費負担金	49,549			49,549	86,480	62,269	125.7
02	01	01		公共下水道事業負 担金	本年度 19,763 前年度 14,240 比較 5,523			19,763 14,240 5,523	31,826 11,202 20,624	30,385 10,783 19,602	153.7 75.7
02	01	02		公共下水道事業負 担金滞納繰越分	本年度 460 前年度 560 比較 △100			460 560 △100	5,336 6,339 △1,003	569 1,108 △539	123.7 197.9
02	01	03		特定環境保全公共 下水道事業負担金	本年度 28,159 前年度 95,578 比較 △67,419			28,159 95,578 △67,419	34,251 103,477 △69,226	28,377 99,223 △70,846	100.8 103.8
02	01	04		特定環境保全公共 下水道負担金滞納 繰越分	本年度 1,167 前年度 1,120 比較 47			1,167 1,120 47	15,067 13,919 1,148	2,939 2,249 690	251.8 200.8
02	02			下水道建設負担金	805,200	58,579	△518,222	345,557	345,557		
02	02	01		つくばエクスプレ ス関連公共下水道 負担金	本年度 805,200 前年度 548,900 比較 256,300	58,579 73,424 △14,845	△518,222 △430,379 △87,843	345,557 191,945 153,612	345,557 191,945 153,612	133,366 △133,366	69.5
02				使用料及び手数料	4,045,289			4,045,289	4,191,592	3,715,636	91.9
02	01			使用料	4,045,182			4,045,182	4,191,312	3,715,356	91.8
02	01	01		下水道使用料	4,045,182			4,045,182	4,191,312	3,715,356	91.8
02	01	01	01	下水道使用料	本年度 4,000,100 前年度 3,854,650 比較 145,450			4,000,100 3,854,650 145,450	4,101,767 3,969,716 132,051	3,658,219 3,909,150 △250,931	91.5 101.4
02	01	02		下水道使用料滞納 繰越分	本年度 45,000 前年度 40,000 比較 5,000			45,000 40,000 5,000	89,465 79,262 10,203	57,057 61,008 △3,951	126.8 152.5
02	01	03		行政財産使用料	本年度 82 前年度 82 比較			82 82	80 83 △3	80 83 △3	97.6 101.2
02	02			手数料	107			107	280	280	261.7
02	02	01		下水道手数料	107			107	280	280	261.7
02	02	01	01	下水道手数料	本年度 105 前年度 360 比較 △255			105 360 △255	234 375 △141	234 375 △141	222.9 104.2
02	02	02		督促手数料	本年度 2 前年度 2 比較			2 2	46 58 △12	46 58 △12	2300.0 2900.0
03				国庫支出金	539,136	359,790	7,501	906,427	895,663	567,577	62.6
03	01			国庫補助金	539,136	359,790	7,501	906,427	895,663	567,577	62.6
03	01	01		下水道費国庫補助金	539,136	359,790	7,501	906,427	895,663	567,577	62.6
03	01	01	01	公共下水道費国庫 補助金	本年度 409,636 前年度 893,400 比較 △483,764	322,588 186,488 136,100	1,277 △72,400 73,677	733,501 1,007,488 △273,987	722,737 1,007,488 △284,751	479,949 684,900 △204,951	65.4 68.0
03	01	02		特定環境保全公共 下水道費国庫補助 金	本年度 129,500 前年度 113,500 比較 16,000	37,202 58,227 △21,025	6,224 6,224	172,926 171,727 1,199	172,925 171,727 1,198	87,628 134,525 △46,897	50.7 78.3

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
04				県支出金	30,600			30,600	17,862		
	01			県補助金	30,600			30,600	17,862		
		01		下水道費県補助金	30,600			30,600	17,862		
			01	下水道費県補助金	30,600			30,600	17,862		
				本年度	30,600			30,600	17,862		
				前年度	10,440		2,970	13,410	10,402	10,402	77.6
				比較	20,160		△2,970	17,190	7,460	△10,402	
05				財産収入	82		△3	79	78	78	98.7
	01			財産運用収入	82		△3	79	78	78	98.7
		01		利子及び配当金	82		△3	79	78	78	98.7
			01	利子及び配当金	82		△3	79	78	78	98.7
				本年度	82		△3	79	78	78	98.7
				前年度	84		7	91	91	91	100.0
				比較	△2		△10	△12	△13	△13	
06				繰入金	3,314,546	47,927	△645,100	2,717,373	2,588,710	2,588,710	95.3
	01			一般会計繰入金	3,093,446	47,927	△424,000	2,717,373	2,588,710	2,588,710	95.3
		01		一般会計繰入金	3,093,446	47,927	△424,000	2,717,373	2,588,710	2,588,710	95.3
			01	一般会計繰入金	3,093,446	47,927	△424,000	2,717,373	2,588,710	2,588,710	95.3
				本年度	3,093,446	47,927	△424,000	2,717,373	2,588,710	2,588,710	95.3
				前年度	2,887,049	60,074	△378,750	2,568,373	2,520,445	2,520,445	98.1
				比較	206,397	△12,147	△45,250	149,000	68,265	68,265	
	02			基金繰入金	221,100		△221,100				
		01		下水道事業基金繰入金	221,100		△221,100				
			01	下水道事業基金繰入金	221,100		△221,100				
				本年度	221,100						
				前年度	160,000		535	160,535	160,535	160,535	100.0
				比較	61,100		△221,635	△160,535	△160,535	△160,535	
07				繰越金	100,000	131,554	139,516	371,070	371,071	371,071	100.0
	01			繰越金	100,000	131,554	139,516	371,070	371,071	371,071	100.0
		01		繰越金	100,000	131,554	139,516	371,070	371,071	371,071	100.0
			01	繰越金	100,000	131,554	139,516	371,070	371,071	371,071	100.0
				本年度	100,000	131,554	139,516	371,070	371,071	371,071	100.0
				前年度	100,000	201,294	165,462	466,756	466,756	466,756	100.0
				比較		△69,740	△25,946	△95,686	△95,685	△95,685	
08				諸収入	3			3	986	986	32866.7
	01			延滞金加算金及び過料	1			1	843	843	84300.0
		01		延滞金	1			1	843	843	84300.0
			01	延滞金	1			1	843	843	84300.0
				本年度	1			1	843	843	84300.0
				前年度	1			1	874	874	87400.0
				比較					△31	△31	
	02			雑入	2			2	143	143	7150.0
		01		雑入	2			2	143	143	7150.0
			01	雑入	2			2	143	143	7150.0
				本年度	1			1	143	143	14300.0
				前年度	1			1	144	144	14400.0
				比較					△1	△1	
	02			下水道事業消費税還付金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							
09				市債	1,159,700	555,720	27,300	1,742,720	989,800	989,800	56.8
	01			市債	1,159,700	555,720	27,300	1,742,720	989,800	989,800	56.8
		01		下水道債	1,159,700	555,720	27,300	1,742,720	989,800	989,800	56.8
			01	公共下水道事業債	439,000	326,820	14,900	780,720	520,500	520,500	66.7
				本年度	439,000	326,820	14,900	780,720	520,500	520,500	66.7
				前年度	896,700	279,685	△65,600	1,110,785	731,400	731,400	65.8
				比較	△457,700	47,135	80,500	△330,065	△210,900	△210,900	
			02	特定環境保全公共下水道事業債	662,700	218,700	△40,600	840,800	428,000	428,000	50.9
				本年度	662,700	218,700	△40,600	840,800	428,000	428,000	50.9
				前年度	745,200	303,200	△5,700	1,042,700	803,800	803,800	77.1
				比較	△82,500	△84,500	△34,900	△201,900	△375,800	△375,800	
			03	流域下水道事業債	58,000	10,200	53,000	121,200	41,300	41,300	34.1
				本年度	58,000	10,200	53,000	121,200	41,300	41,300	34.1
				前年度	26,300	27,500	△2,400	51,400	41,200	41,200	80.2
				比較	31,700	△17,300	55,400	69,800	100	100	

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

## 事業名：下水道総合調整に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	72,866	10,388	162,913		246,167		242,551	98.5
				前年	86,300	42,787	231,487		360,574	10,388	348,945	99.7
				比較	△ 13,434	△ 32,399	△ 68,574		△ 114,407	△ 10,388	△ 106,394	-
【参考】前々年度					120,698		370,777		491,475	42,787	448,517	100.0

目的	下水道事業の総合調整に関する事務を行うため。											
概要及び成果	1 下水道事業の総合調整に関する事務を行う。											
	【成果】											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	通信運搬費	361千円	387千円	421千円	465千円	414千円						
	企業会計移行準備委託料	38,576千円	77,733千円	19,000千円	3,294千円	-						
	各種団体負担金	987千円	983千円	977千円	865千円	858千円						
	基金積立	119,056千円	154,637千円	328,263千円	175,090千円	32,434千円						
消費税納付	83,351千円	115,165千円	99,805千円	154,417千円	85,414千円							
	円滑に各種団体と連携し、下水道事業推進を行った。会議・研修等を通じ職員の知識の向上を図り、企業会計移行のための業務を行った。											

## 事業名：上下水道審議会に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	12	本年	150		△ 150					
				前年	300		△ 300					
				比較	△ 150		150				-	
【参考】前々年度					150		△ 150					

目的	上下水道審議会(下水道に関することに限る。)を開催し、下水道事業の円滑な運営を図るため。											
概要及び成果	1 上下水道審議会の開催											
	【成果】 令和元年度は開催していない。											

## 事業名：使用料賦課徴収事務に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	13	本年	204,194				204,194		121,570	59.5
				前年	178,141				178,141		162,224	91.1
				比較	26,053				26,053		△ 40,654	-
【参考】前々年度					155,307		600	933	156,840		141,572	90.3
目的		使用料を徴収することにより、下水道施設の維持管理及び修繕等に要する経費並びに資本費の一部に充当する財源を確保するため。										
概要 及び 成果	1 平成17年度から組織の効率化及び下水道使用料の収納率向上を図るため、料金徴収業務を水道事業へ事務委任を行っている。											
	【成果】											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	現年度分	3,658,218,978円	3,909,149,567円	3,878,343,965円	3,852,543,667円	3,778,811,430円						
	収納率	89.19%	98.47%	98.41%	98.89%	98.88%						
	滞納繰越分	57,056,773円	61,007,696円	43,757,658円	42,221,918円	42,096,668円						
	収納率	63.78%	76.97%	65.23%	56.18%	51.06%						
	※ 収納率の減少については、企業会計移行に伴う打切決算により、下水道特別会計としての出納整理期間の適用がなかったため。											
	2 過誤納還付											
	【成果】											
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
過誤納還付金	48件 969,644円	32件 1,326,795円	9件 1,795,758円	19件 881,425円	19件 881,425円							
還付加算金	0件 0円	0件 0円	1件 25,000円	2件 31,000円	2件 31,000円							
過誤納返還金	0件 0円	0件 0円	1件 165,312円	1件 114,954円	1件 114,954円							
返還加算金	0件 0円	0件 0円	1件 27,000円	1件 27,000円	1件 27,000円							



事業名：受益者負担金賦課徴収事務に要する経費

生活環境部 下水道課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	14	本年	14,640			1,120	15,760		5,681	36.0
				前年	18,720				18,720		18,277	97.6
				比較	△ 4,080			1,120	△ 2,960		△ 12,596	-
【参考】前々年度					18,210				18,210		17,302	95.0

目的

新たに供用を開始する公共下水道排水区域について、受益者負担金を賦課、徴収し、公共下水道建設に要する費用の一部に充てるため。

## 1 公共下水道事業受益者負担金賦課区域の決定

## 【成果】

賦課年度実績(賦課当初)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
主な区域	赤塚、北中島、 谷田部の各一部	沼田、手代木、 上横場の各一部	寺具、上里、酒 丸、土田、市之 台の各一部	安食、島、山 中、真瀬、上萱 丸、下萱丸、赤 塚、東丸山の 各一部	下横場、今鹿 島の各一部
受益者数	544人	597人	612人	933人	544人
地積	261,997㎡	604,318㎡	718,104㎡	726,296㎡	498,864㎡
筆数	798筆	1,354筆	1,142筆	1,580筆	923筆
賦課決定額	49,431千円	120,196千円	131,701千円	125,781千円	70,576千円

供用を開始した区域において、土地面積に対して300円/㎡を賦課した。(猶予、減免制度あり)

## 2 受益者負担金の収納

## 【成果】

(1) 収納年度実績(現年度分)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
調定額	66,077千円	116,221千円	116,016千円	110,664千円	76,178千円
収入額	58,761千円	111,548千円	111,705千円	106,509千円	71,859千円
収納率	88.9%	96.0%	96.3%	96.2%	94.3%

※企業会計移行に伴う、3月打ち切り決算による収納率の減

地区説明会の開催やパンフレットを個別に送付するなど、受益者負担金制度の理解を求めた。  
また、未納者に対しては、各期別毎に督促状を発送し、納付を促した。

(2) 収納年度実績(滞納繰越分)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
調定額	20,402千円	20,257千円	24,044千円	27,142千円	40,185千円
収入額	3,507千円	3,357千円	4,856千円	4,014千円	3,541千円
収納率	17.2%	16.6%	20.2%	14.8%	8.8%

滞納整理の実施や、納付相談を受けるなどで、高い徴収率を維持した。

## 3 一括納付報奨金(前納報奨金)の交付

## 【成果】

交付年度実績

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
交付額	3,839千円	7,990千円	7,854千円	7,767千円	4,677千円
件数	577件	603件	494件	695件	448件

分割納付(4期/年×5年)を基本とするが、全額、年額納付者に対し一括納付報奨金を交付した。

概要及び成果

## 事業名：下水道維持管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	02	11	本年	2,917,780	454,549	△ 304,813		3,067,516	268,956	2,279,059	83.1
				前年	3,003,639	369,286	△ 188,866		3,184,059	454,549	2,619,153	96.5
				比較	△ 85,859	85,263	△ 115,947		△ 116,543	△ 185,593	△ 340,094	-
【参考】前々年度				2,557,420	296,579	△ 135,193		2,718,806	369,286	2,291,490	97.9	

## 目的

下水道施設及び管渠の適切な維持管理、修繕により、運転の安全性を確保するため。

## 概要及び成果

## 1 中継ポンプ場29か所、汚水マンホールポンプ等304か所、流量計34か所の維持管理委託

## 【成果】

施設の適切な維持管理を行い、運転の安全性を確保した。

維持管理委託費(ポンプ場等維持管理、管渠清掃、電気保安・消防設備点検・植栽管理)

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
295,614千円	316,499千円	316,843千円	287,387千円	298,095千円

※企業会計移行に伴う、3月打ち切り決算によるポンプ場等維持管理費の減

(令和元年度内訳) ポンプ場等維持管理 251,745千円  
管渠清掃 23,607千円  
電気保安・消防設備・植栽管理 20,262千円

## 2 管渠及び施設維持修繕工事、旧汚水処理施設撤去工事

## 【成果】

道路パトロール及び調査により、補修箇所の早期発見に努め、補修工事を行った。

老朽化した旧汚水処理施設の撤去工事を行った。

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
282,267千円	577,042千円	434,014千円	349,556千円	238,596千円
管渠54件/施設70件	管渠71件/施設58件	管渠82件/施設62件	管渠46件/施設43件	管渠45件/施設59件

※企業会計移行に伴う、3月打ち切り決算による工事費の減及びポンプ場施設改築・更新工事の減

## 3 流域下水道維持管理負担金

## 【成果】 流域負担金(霞ヶ浦常南、小貝川東部)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
霞ヶ浦常南	1,209,361千円	1,161,468千円	1,062,350千円	1,137,806千円	1,158,577千円
小貝川東部	73,667千円	68,609千円	74,542千円	68,753千円	129,870千円

## 事業名：雨水管理に要する経費

生活環境部 下水道課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	03	11	本年	82,423	9,803			92,226	19,310	40,177	64.5
				前年	100,512		△ 31,320		69,192	9,803	26,357	52.3
				比較	△ 18,089	9,803	31,320		23,034	9,507	13,820	-
【参考】前々年度					45,448	9,170			54,618		43,687	80.0

目的		都市下水路及び調整池の適切な維持管理、修繕により、安全性を確保するため。											
概要 及び 成果	1	豊里の杜雨水排水施設の維持管理 <b>【成果】</b> 施設の適切な維持管理を行い、運転の安全性を確保した。 維持管理委託費(電気保安業務委託、維持管理委託)											
		令和元年度				平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
		74千円				558千円		558千円		569千円		569千円	
		※企業会計移行に伴う、3月打切り決算による維持管理費の減											
	2	全5路線(花室川及び支線、蓮沼川、小野川、池作)の都市下水路で総延長約12km及び調整池12か所の維持管理 <b>【成果】</b> 各都市下水路等施設の適切な維持管理を行い、安全性を確保した。 除草作業委託費(都市下水路 22,686㎡、調整池 41,500㎡(前年度比18,973㎡の増))											
		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度			
		10,215千円		5,821千円		4,298千円		4,417千円		3,996千円			
	3	都市下水路及び調整池の実施設計委託及び工事 <b>【成果】</b> 老朽化等による破損箇所の修繕工事等を行った。											
		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度			
		29,568千円		18,650千円		31,158千円		7,627千円		3,380千円			

## 事業名：下水道整備計画に要する経費

生活環境部 下水道課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	01	11	本年	17,610		△ 12,943		4,667		4,607	98.7
				前年	11,378	7,539			18,917	18,852	99.7	
				比較	6,232	△ 7,539	△ 12,943		△ 14,250	△ 14,245	-	
【参考】前々年度					8,170		△ 561		7,609	7,539	66	99.9

## 目的

市民の安全で快適な生活環境の確保と、河川や湖沼等の公共用水域の水質保全を図るため。

## 概要及び成果

- 1 下水道整備計画  
 (1) 下水道事業計画にかかる関係機関との連絡調整。  
 (2) 下水道事業広域化・共同化基礎検討。

## 【成果】

霞ヶ浦常南及び小貝川東部流域

	令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末
全体計画面積	9,856.3ha	9,856.3ha	9,856.3ha	9,856.3ha	9,856.3ha
事業計画面積	8,800.5ha	8,800.5ha	8,653.4ha	8,653.4ha	8,653.4ha
整備面積	8,209.7ha	8,147.3ha	8,075.5ha	8,024.1ha	7,921.5ha
整備率	93.3%	92.6%	93.3%	92.7%	91.5%

※整備率＝整備面積／事業計画面積

## 事業名：公共下水道建設に要する経費

生活環境部 下水道課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	02	11	本年	74,555				74,555	7,010	64,460	95.9
				前年	30,518	63,996			94,514	76,114	80.5	
				比較	44,037	△ 63,996			△ 19,959	7,010	△ 11,654	-
【参考】前々年度					211,792	151,397		△ 988	362,201	63,996	289,545	97.6

## 目的

普及率の向上を目指し、市街地隣接区域の整備を重点的に推進することにより、市民の安全で快適な生活環境を確保し、公共水域の水質汚濁を防止するため。

## 概要及び成果

- 1 下水道管布設  
 【成果】  
 下水道管布設 346.2m (整備面積1.8ha)

## 整備済面積

	令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末
霞ヶ浦常南流域	2,519.5ha	2,517.7ha	2,502.7ha	2,502.7ha	2,501.6ha
小貝川東部流域	51.8ha	51.8ha	51.8ha	51.8ha	51.8ha
合計	2,571.3ha	2,569.5ha	2,554.5ha	2,554.5ha	2,553.4ha
整備率	95.1%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%

※事業計画面積： 2,704.0ha

※整備率＝整備済面積(合計)／事業計画面積

## 事業名：特定環境保全公共下水道建設に要する経費

生活環境部 下水道課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	03	11	本年	865,422	269,771	△ 36,000		1,099,193	481,878	573,319	96.0
				前年	935,359	380,600	△ 5,900		1,310,059	269,771	1,020,329	98.5
				比較	△ 69,937	△ 110,829	△ 30,100		△ 210,866	212,107	△ 447,010	-
【参考】前々年度					796,910	375,084	△ 13,000		1,158,994	380,600	755,964	98.1

## 目的

下水道整備の遅れている既存集落において、地区状況をふまえ区域拡大を図り整備を推進し、農業環境や生活環境を保全するための事業を推進することにより、市民の安全で快適な生活環境を確保し、公共水域の水質汚濁を防止するため。

## 概要及び成果

## 1 下水道管布設

## 【成果】

下水道管布設 5,352.4m(整備面積15.9ha)

## 整備済面積

	令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末
霞ヶ浦常南流域	1,638.6ha	1,629.5ha	1,595.7ha	1,582.3ha	1,563.9ha
小貝川東部流域	111.0ha	104.2ha	97.5ha	94.7ha	77.1ha
合計	1,749.6ha	1,733.7ha	1,693.2ha	1,677.0ha	1,641.0ha
整備率	83.6%	82.9%	86.4%	85.6%	83.7%

※事業計画面積：2,092.1ha

※整備率＝整備済面積(合計)／事業計画面積

## 事業名：霞ヶ浦常南流域下水道に要する経費

生活環境部 下水道課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	04	11	本年	58,116	12,940	53,704		124,760	80,853	43,907	100.0
				前年	37,604	28,410	△ 10,874		55,140	12,940	42,200	100.0
				比較	20,512	△ 15,470	64,578		69,620	67,913	1,707	-
【参考】前々年度					122,788	61,623	△ 24,670		159,741	28,410	131,331	100.0

## 目的

県が行う流域下水道幹線、ポンプ場、処理場建設及び更新事業における国からの補助金、県の負担金を除いた金額に対し、関連市町のアロケーション(管きょ延長、計画汚水量)により事業費負担を行うため。

## 概要及び成果

## 1 流域下水道建設事業に伴う負担金の納入

## 【成果】

処理場：汚泥処理中央監視制御設備改築工事、急速ろ過池外電気設備改築工事、  
水処理監視制御設備改築工事、汚泥脱水機棟受変電設備改築工事、

広域化共同化計画策定業務 外

管きょ：管路施設改築工事 外

(生活環境部 下水道整備課)

## 事業名：小貝川東部流域下水道に要する経費

生活環境部 下水道課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	04	12	本年	1,951	1,399	49		3,399	1,292	1,911	94.2
				前年	2,679	490	△ 1,257		1,912	1,399	513	100.0
				比較	△ 728	909	1,306		1,487	△ 107	1,398	-
【参考】前々年度					3,261	2,450	△ 733		4,978	490	4,488	100.0
目的		県が行う流域下水道幹線、ポンプ場、処理場建設及び更新事業における国からの補助金、県の負担金を除いた金額に対し、関連市町のアロケーション(管きょ延長、計画汚水量)により事業費負担を行うため。										
概要及び成果		1 流域下水道建設事業に伴う負担金の納入 <b>【成果】</b> 処理場：監視制御設備改築工事、広域化共同化計画策定業務 外 管きょ：ポンプ場自家発電電気設置工事、管渠人孔改築工事 外										

(生活環境部 下水道整備課)

## 事業名：つくばエクスプレス関連公共下水道に要する経費

生活環境部 下水道課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
01	02	05	11	本年	1,931,000	394,721	△ 852,222		1,473,499	562,299		38.2																								
				前年	2,068,200	296,784	△ 782,507		1,582,477	394,721	1,187,720	100.0																								
				比較	△ 137,200	97,937	△ 69,715		△ 108,978	167,578	△ 1,187,720	-																								
【参考】前々年度					1,167,000	1,498,695	△ 438,000	988	2,228,683	296,784	1,931,644	100.0																								
目的		市民の安全で快適な生活環境の確保と、河川や湖沼等の公共用水域の水質保全を図るため。																																		
概要及び成果		1 つくばエクスプレス関連地区の事業推進 島名福田坪及び上河原崎中西地区に関連する公共下水道施設設置事業の茨城県との委託契約  <b>【成果】</b> TX沿線開発5地区(葛城、萱丸、島名・福田坪、上河原崎・中西、中根・金田台地区)の下水道整備済面積 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度末</th> <th>平成30年度末</th> <th>平成29年度末</th> <th>平成28年度末</th> <th>平成27年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備計画面積</td> <td>1,308.4ha</td> <td>1,308.4ha</td> <td>1,308.4ha</td> <td>1,308.4ha</td> <td>1,308.4ha</td> </tr> <tr> <td>整備面積</td> <td>1,192.8ha</td> <td>1,148.1ha</td> <td>1,131.8ha</td> <td>1,096.6ha</td> <td>1,031.1ha</td> </tr> <tr> <td>整備率</td> <td>91.2%</td> <td>87.7%</td> <td>86.5%</td> <td>83.8%</td> <td>78.8%</td> </tr> </tbody> </table> ※整備率＝整備面積／整備計画面積												令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末	整備計画面積	1,308.4ha	1,308.4ha	1,308.4ha	1,308.4ha	1,308.4ha	整備面積	1,192.8ha	1,148.1ha	1,131.8ha	1,096.6ha	1,031.1ha	整備率	91.2%	87.7%	86.5%	83.8%	78.8%
	令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末																															
整備計画面積	1,308.4ha	1,308.4ha	1,308.4ha	1,308.4ha	1,308.4ha																															
整備面積	1,192.8ha	1,148.1ha	1,131.8ha	1,096.6ha	1,031.1ha																															
整備率	91.2%	87.7%	86.5%	83.8%	78.8%																															

(生活環境部 下水道整備課)

## 事業名：元金の償還に要する経費

生活環境部 下水道経営室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)										
02	01	01	11	本年	2,866,229				2,866,229		2,866,226	100.0										
				前年	2,927,678				2,927,678		2,927,676	100.0										
				比較	△ 61,449				△ 61,449		△ 61,450	-										
【参考】前々年度					2,943,575				2,943,575		2,943,573	100.0										
目的		下水道施設整備の社会資本整備に充てるために借り入れた市債の元金を償還するため。																				
概要及び成果		1 借入契約に従い、令和元年度の所要額を全額返済する。 <b>【成果】</b> 令和元年度中に償還した元金の総額は、前年度に比べ61,450千円ほど減少した。 市債残高 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>令和元年度末</th> <th>平成30年度末</th> <th>平成29年度末</th> <th>平成28年度末</th> <th>平成27年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37,644,020千円</td> <td>39,520,447千円</td> <td>40,871,723千円</td> <td>42,196,196千円</td> <td>43,293,417千円</td> </tr> </tbody> </table>											令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末	37,644,020千円	39,520,447千円	40,871,723千円	42,196,196千円	43,293,417千円
令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末																		
37,644,020千円	39,520,447千円	40,871,723千円	42,196,196千円	43,293,417千円																		

(生活環境部 下水道整備課)

## 事業名：利子の償還に要する経費

生活環境部 下水道経営室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	11	本年	732,894		△ 14,966		717,928		717,924	100.0
				前年	786,807				786,807		777,587	98.8
				比較	△ 53,913		△ 14,966		△ 68,879		△ 59,663	-
【参考】前々年度					840,118				840,118		835,022	99.4
目的		下水道施設整備の社会資本整備に充てるために借入れた、市債の利子を償還するため。										
概要及び成果		1 借入契約に従い、令和元年度の所要額を全額支出する。 <b>【成果】</b> 令和元年度中に償還した利子の総額は、前年度に比べ59,663千円ほど減少した。										

(生活環境部 下水道管理課)

## 事業名：予備費

生活環境部 下水道経営室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																		
03	01	01	11	本年	10,000			△ 1,120	8,880																					
				前年	10,000				10,000																					
				比較				△ 1,120	△ 1,120			-																		
【参考】前々年度					10,000			△ 933	9,067																					
目的		緊急の支出に充用するため。																												
概要及び成果		1 必要が生じた事業への充用 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充用額</td> <td>1,120千円</td> <td>-</td> <td>933千円</td> <td>-</td> <td>1,028千円</td> </tr> <tr> <td>充当先</td> <td>受益者負担金一括納付報奨金に充当</td> <td>なし</td> <td>下水道使用料の漏水および誤賦課分の過誤納付還付金に充当</td> <td>なし</td> <td>消費税支払い平成26年前納分の不足分に充当</td> </tr> </tbody> </table>											年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	充用額	1,120千円	-	933千円	-	1,028千円	充当先	受益者負担金一括納付報奨金に充当	なし	下水道使用料の漏水および誤賦課分の過誤納付還付金に充当	なし	消費税支払い平成26年前納分の不足分に充当
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
充用額	1,120千円	-	933千円	-	1,028千円																									
充当先	受益者負担金一括納付報奨金に充当	なし	下水道使用料の漏水および誤賦課分の過誤納付還付金に充当	なし	消費税支払い平成26年前納分の不足分に充当																									

## 地方債元利償還状況

(単位:千円)

区 分	平成30年度末 現在高	令和元年度 発行額	令和元年度償還額		令和元年度末 現在高
			元 金	利 子	
公共下水道事業債	22,791,739	520,500	1,652,125	407,900	21,660,114
特定環境保全公共 下水道事業債	14,246,960	428,000	1,043,114	265,638	13,631,846
流域下水道事業債	2,481,748	41,300	170,988	44,386	2,352,060
計	39,520,447	989,800	2,866,227	717,924	37,644,020

※令和元年度発行額には、財政融資資金起債前貸等借入金を含む。



# 後期高齢者医療特別会計



## 主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和元年度つくば市後期高齢者医療特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和2年8月27日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和元年度後期高齢者医療特別会計予算執行の概要について

後期高齢者医療制度は、急速に少子高齢化が進み高齢者の医療費が増大したことから、現役世代と高齢者世代の医療費負担の明確化と制度運営を県単位で行うことにより財政の安定化を図るため、平成20年4月に創設されました。

制度の運営は、県内の全市町村が加入する茨城県後期高齢者医療広域連合が保険料の算定や賦課、被保険者の資格管理、給付等の審査支払いを行い、市は保険料徴収、被保険者証の交付及び各種申請や届出の受付事務を行っています。

医療給付の財源は、公費（国・県・市町村の定率負担等）、現役世代が負担する後期高齢者支援金、被保険者からの保険料によって賄われています。

- 対 象 者      ①75歳以上の方  
                  ②一定の障害がある65歳以上75歳未満の方
- 医療費の負担      原則として1割（現役並み所得者は3割負担）
- 保 險 料      茨城県後期高齢者医療広域連合が決定し、県内は同一の保険料率となり、財政均衡を保つため2年毎に設定される。
- 被 保 険 者 数      21,882人（令和2年3月31日現在） 前年度比661人増

令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入総額は1,906,016千円、歳出総額は1,897,375千円となりました。

決算規模	歳 入 総 額	1,906,016千円
	歳 出 総 額	1,897,375千円
	歳入歳出差引額	8,641千円

以上、令和元年度つくば市後期高齢者医療特別会計決算の概要ですが、主要施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率			
01	01	01	後期高齢者医療	1,853,716		59,334	1,913,050	1,934,718	1,906,017	99.6			
			後期高齢者医療保険料	1,497,936		59,677	1,557,613	1,580,682	1,552,001	99.6			
			後期高齢者医療保険料	1,497,936		59,677	1,557,613	1,580,682	1,552,001	99.6			
			特別徴収保険料	736,033		5,242	741,275	738,894	742,783	100.2			
			01	01	現年度分特別徴収保険料	本年度	736,033		5,242	741,275	738,894	742,783	100.2
						前年度	650,724		24,850	675,574	672,821	675,955	100.1
					比較	85,309		△19,608	65,701	66,073	66,828		
			02	普通徴収保険料	761,903		54,435	816,338	841,788	809,218	99.1		
			01	01	現年度分普通徴収保険料	本年度	754,583		52,763	807,346	811,815	800,190	99.1
						前年度	694,376		45,619	739,995	752,575	741,425	100.2
					比較	60,207		7,144	67,351	59,240	58,765		
			02	滞納繰越分普通徴収保険料	7,320		1,672	8,992	29,973	9,028	100.4		
		前年度	6,101			6,101	28,423	10,440	171.1				
		比較	1,219		1,672	2,891	1,550	△1,412					
02	01	01	使用料及び手数料	400			400	333	333	83.3			
			手数料	400			400	333	333	83.3			
			督促手数料	400			400	333	333	83.3			
			01	01	督促手数料	本年度	400			400	333	333	83.3
前年度	400						400	325	325	81.3			
		比較					8	8					
03	01	01	繰入金	349,743		△12,095	337,648	337,648	337,648	100.0			
			他会計繰入金	349,743		△12,095	337,648	337,648	337,648	100.0			
			01	01	一般会計繰入金	本年度	64,452		4,340	68,792	68,792	68,792	100.0
						前年度	62,137		3,850	65,987	65,987	65,987	100.0
					比較	2,315		490	2,805	2,805			
			02	保険基盤安定繰入金	285,291		△16,435	268,856	268,856	268,856	100.0		
		前年度	276,682		8,609	285,291	285,291	285,291	100.0				
		比較	8,609		△25,044	△16,435	△16,435	△16,435					
04	01	01	繰越金	1		11,752	11,753	11,752	11,752	100.0			
			繰越金	1		11,752	11,753	11,752	11,752	100.0			
			01	01	繰越金	本年度	1		11,752	11,753	11,752	100.0	
						前年度	1		11,752	11,753	11,752	11,752	100.0
		比較					27,163	27,163	100.0				
		比較					△15,410	△15,410	△15,411	△15,411			
05	01	01	諸収入	5,636			5,636	4,303	4,283	76.0			
			延滞金、加算金及び過料	500			500	265	265	53.0			
			01	01	延滞金	本年度	500			500	265	265	53.0
						前年度	500			500	240	240	48.0
					比較					25	25		
			02	雑入	1			1					
			01	01	雑入	本年度	1			1			
						前年度	1			1			
					比較								
			03	01	01	償還金及び還付加算金	5,135			5,135	4,038	4,017	78.2
						保険料還付金	5,000			5,000	4,022	4,001	80.0
						01	01	保険料還付金	本年度	5,000			5,000
前年度	5,000									5,000	2,875	2,875	57.5
		比較					1,147	1,126					
02	還付加算金	135			135	16	16	11.9					
01	01	還付加算金	本年度	135			135	16	16	11.9			
			前年度	135			135	37	37	27.4			
		比較					△21	△21					

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

事業名：後期高齢者医療事務に要する経費

保健福祉部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	18,114				18,114		17,452	96.3
				前年	17,744				17,744		17,539	98.8
				比較	370				370		△ 87	-
【参考】前々年度					16,652				16,652		15,127	90.8

目的

後期高齢者の適切な医療の給付を確保するため。

- 1 後期高齢者医療に関する資格の取得・喪失や給付申請の窓口業務、保険料の徴収業務等を行う。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
被保険者数	21,882 人	21,221 人	20,337 人	19,599 人	18,812 人

概要及び成果

【成果】

(1)資格関係の主な申請等件数

	令和元年度
資格取得・変更・喪失	371 件
限度額適用認定	506 件
標準負担額減額認定	1,122 件
基準収入額適用	236 件
被保険者証等再交付申請	807 件

(2)給付関係の主な申請等件数

	令和元年度
療養費	494 件
高額療養費	1,350 件
高額介護合算療養費	684 件
葬祭費	1,280 件
第三者による被害届	57 件

※資格取得・変更・喪失は、年齢到達・更新・死亡を含まない

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	1,783,728		43,242		1,826,970		1,820,140	99.6
				前年	1,628,384		97,844	3,678	1,729,906		1,729,906	100.0
				比較	155,344		△ 54,602	△ 3,678	97,064		90,234	-
【参考】前々年度					1,479,706		93,023		1,572,729		1,552,298	98.7

目的

被保険者が納付した保険料等及び市・県が負担する保険基盤安定負担金を、運営主体である茨城県後期高齢者医療広域連合へ納付することにより、後期高齢者医療制度の適正な運営に寄与するため。

1 後期高齢者医療広域連合への各負担金納付事務

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
保険料負担金	1,551,043千円	1,425,602千円	1,271,957千円	1,185,416千円	1,105,858千円
延滞金分負担金	241千円	247千円	141千円	280千円	469千円
保険基盤安定負担金	268,856千円	285,291千円	276,682千円	270,348千円	264,863千円
保険料負担金前年度精算分	0千円	18,767千円	3,520千円	0千円	0千円

(1) 保険料負担金は、保険料軽減の見直しにより前年度比125,441千円の増であった。

(2) 保険基盤安定負担金は、保険料軽減の見直しが行われたため、16,435千円の減となった。

(負担割合:県3/4・市1/4)

保険料の収納状況

(1) 保険料の収納状況

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
現年度分	99.12%	99.10%	99.00%	99.10%	98.96%
滞納繰越分	29.96%	36.70%	19.23%	31.67%	30.36%

(2) 納付方法別の収納割合

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
特別徴収	構成比	65.32%	65.77%	66.97%	66.87%	67.91%
	収納率	98.41%	98.52%	98.87%	99.00%	97.94%
口座振替	構成比	10.71%	10.22%	9.42%	8.53%	8.53%
	収納率	98.41%	98.52%	98.87%	99.00%	97.94%
自主納付	構成比	23.97%	24.01%	23.61%	24.60%	23.56%
	収納率	95.21%	95.20%	95.18%	95.43%	97.43%

(3) 徴収員による訪問等の状況

	令和元年度	平成30年度
訪問	829件	577件
徴収	312件	183件

概要及び成果

事業名：保険料返還に要する経費

保健福祉部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	5,000				5,000		4,048	81.0
				前年	5,000				5,000		2,877	57.5
				比較							1,171	-
【参考】前々年度					5,000				5,000		3,968	79.4

目的	過年度に納付された後期高齢者医療保険料に過誤納金が生じた場合、当該過誤納金を返還することにより適正な保険料を確保するため。																		
概要及び成果	<p>1 死亡、二重納付等により生じた保険料、延滞金、督促手数料の過誤納分の被保険者または相続権者への返還</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>還付件数</td> <td>488 件</td> <td>304 件</td> <td>437 件</td> <td>400 件</td> <td>408 件</td> </tr> <tr> <td>還付金額</td> <td>4,000 千円</td> <td>2,877 千円</td> <td>3,965 千円</td> <td>2,930 千円</td> <td>4,420 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>還付件数は前年度比184件の増、還付金額は前年度比1,123千円の増であった。</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	還付件数	488 件	304 件	437 件	400 件	408 件	還付金額	4,000 千円	2,877 千円	3,965 千円	2,930 千円	4,420 千円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
還付件数	488 件	304 件	437 件	400 件	408 件														
還付金額	4,000 千円	2,877 千円	3,965 千円	2,930 千円	4,420 千円														

事業名：還付加算金に要する経費

保健福祉部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	135				135		20	14.6
				前年	135				135		37	27.4
				比較							△ 17	-
【参考】前々年度					135				135		95	70.4

目的	保険料の過誤納金に加算金が生じた場合、保険料に付加し還付することにより適正な賦課徴収を図るため。																		
概要及び成果	<p>1 後期高齢者医療保険料の過誤納金に生じた加算金</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>還付件数</td> <td>10 件</td> <td>16 件</td> <td>35 件</td> <td>15 件</td> <td>48 件</td> </tr> <tr> <td>還付金額</td> <td>20 千円</td> <td>37 千円</td> <td>96 千円</td> <td>28 千円</td> <td>248 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>還付件数は前年度比6件の減、還付金額は前年度比17千円の減であった。</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	還付件数	10 件	16 件	35 件	15 件	48 件	還付金額	20 千円	37 千円	96 千円	28 千円	248 千円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
還付件数	10 件	16 件	35 件	15 件	48 件														
還付金額	20 千円	37 千円	96 千円	28 千円	248 千円														



事業名：一般会計繰出金に要する経費

保健福祉部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
03	02	01	11	本年	1		11,752		11,753		11,753	100.0												
				前年	1		8,396		8,397		8,397	100.0												
				比較			3,356		3,356		3,356	-												
【参考】前々年度					1		9,996		9,997		9,997	100.0												
目的		後期高齢者医療特別会計の前年度繰越金を一般会計へ繰り出すため。																						
概要及び成果		1 前年度の後期高齢者医療特別会計の精算金を一般会計へ繰出し 【成果】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰出金</td> <td>11,753 千円</td> <td>8,937 千円</td> <td>9,997 千円</td> <td>7,710 千円</td> <td>9,970 千円</td> </tr> </tbody> </table> 繰出金額は前年度比2,816千円の増であった。												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	繰出金	11,753 千円	8,937 千円	9,997 千円	7,710 千円	9,970 千円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
繰出金	11,753 千円	8,937 千円	9,997 千円	7,710 千円	9,970 千円																			

事業名：予備費

保健福祉部 医療年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
04	01	01	11	本年	5,000				5,000															
				前年	5,000			△ 3,678	1,322															
				比較				3,678	3,678			-												
【参考】前々年度					5,000				5,000															
目的		後期高齢者医療事務において、予算額を超過する支出があった場合に備えるため。																						
概要及び成果		1 後期高齢者医療制度の予測しがたい支出の増加に備える。 【成果】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予備費</td> <td>0 千円</td> <td>3,679 千円</td> <td>0 円</td> <td>0 円</td> <td>0 円</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	予備費	0 千円	3,679 千円	0 円	0 円	0 円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
予備費	0 千円	3,679 千円	0 円	0 円	0 円																			



# 作岡財産区特別会計



主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和元年度つくば市作岡財産区特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和2年8月27日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和元年度つくば市作岡財産区特別会計予算執行の概要について

令和元年度決算につきましては、歳入総額120千円、歳出総額44千円であり、歳入歳出差引額は、76千円となりました。

主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
			作岡財産区	114			114	120	120	105.3
01			財産収入	1			1			
	01		財産運用収入	1			1			
		01	利子及び配当金	1			1			
			利子及び配当金	本年度			1			
				前年度			1			
				比較						
02			繰越金	12			12	19	19	158.3
	01		繰越金	12			12	19	19	158.3
		01	繰越金	12			12	19	19	158.3
			繰越金	本年度			12	19	19	158.3
				前年度			69	69	69	100.0
				比較			△57	△50	△50	
03			繰入金	101			101	101	101	100.0
	03		基金繰入金	101			101	101	101	100.0
		01	基金繰入金	101			101	101	101	100.0
			基金繰入金	本年度			101	101	101	100.0
				前年度			44	44	44	100.0
				比較			57	57	57	

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

事業名：財産区管理に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	103				103		43	41.7
				前年	103				103		93	90.3
				比較							△ 50	-
【参考】前々年度					103				103		50	48.5
目的		作岡財産区の管理及び運営のため。										
概要及び成果		1 作岡財産区管理会(委員7名)の開催 <b>【成果】</b> 作岡財産区管理会を1回開催した。  (1) 第1回財産区管理会(令和2年1月29日開催) ・委員6名の出席を得て、前年度決算、次年度予算及び財産の管理行為(敷地内の芝の管理)について審議した。										

事業名：作岡財産区基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	1				1		1	100.0
				前年	1				1		1	100.0
				比較								-
【参考】前々年度					1				1		1	100.0
目的		地方自治法第294条に基づき、作岡地区の財産を管理するために設けられた特別会計において、同会計が管理する基金への積立てのため。										
概要及び成果		1 作岡財産区基金への積立て <b>【成果】</b> (1) 預金利子1千円積み立てた。 (2) 基金を101千円取り崩し、作岡財産区管理会の運営費の財源として充当した。 (3) 令和元年度末の基金残高は、2,618千円。										

事業名：予備費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	10				10			
				前年	10				10			
				比較								-
【参考】前々年度					18				18			
目的		当初予定していない予算外の支出が生じたときや、歳出予算計上額が不足したときに充用するため。										
概要及び成果		1 必要が生じた事業へ充用する。  <b>【成果】</b> 予備費の充用は生じなかった。										



# つくば市等公平委員会特別会計



## 令和元年度つくば市等公平委員会特別会計予算執行の概要について

令和元年度決算につきましては、歳入総額1,232千円、歳出総額919千円であり、歳入歳出差引額は、313千円となりました。

主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

## 令和元年度つくば市等公平委員会特別会計予算執行の概要について

令和元年度決算につきましては、歳入総額1,232千円、歳出総額919千円であり、歳入歳出差引額は、313千円となりました。

主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

令和元年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
			公平委員会	1,045		253	1,298	1,231	1,231	94.8
01			分担金及び負担金	793			793	794	794	100.1
	01		負担金	793			793	794	794	100.1
		01	総務費負担金	793			793	794	794	100.1
			総務管理費負担金	793			793	794	794	100.1
				本年度						
				前年度	762		762	762	762	100.0
				比較	31		31	32	32	
02			財産収入	1			1			
	01		財産運用収入	1			1			
		01	利子及び配当金	1			1			
			利子及び配当金	1			1			
				本年度	1		1			
				前年度	5		5			
				比較	△4		△4			
03			繰入金	65			65			
	01		基金繰入金	65			65			
		01	公平委員会基金繰入金	65			65			
			公平委員会基金繰入金	65			65			
				本年度	65		65			
				前年度	77		77			
				比較	△12		△12			
04			繰越金	185		253	438	437	437	99.8
	01		繰越金	185		253	438	437	437	99.8
		01	繰越金	185		253	438	437	437	99.8
			前年度繰越金	185		253	438	437	437	99.8
				本年度	185		438	437	437	99.8
				前年度	185	165	350	350	350	100.0
				比較		88	88	87	87	
05			諸収入	1			1			
	01		預金利子	1			1			
		01	預金利子	1			1			
			預金利子	1			1			
				本年度	1		1			
				前年度	1		1			
				比較						

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

事業名：公平委員会に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	1,010		253		1,263		919	72.7
				前年	995		165		1,160		675	58.2
				比較	15		88		103		244	-
【参考】前々年度					984		449		1,433		1,038	72.4
目的		職員の審査請求、措置要求、苦情相談等に対し、適切に対処することにより、公平公正な人事行政の確立に資するため。										
概要及び成果		1 職員の勤務条件に関する措置要求の審査及び不利益処分についての審査請求の審査並びに職員の苦情相談 【成果】 措置要求 0件、審査請求 1件、苦情相談 1件										
		2 会議の開催 【成果】 つくば市等公平委員会(委員3名)を9回開催 つくば市等公平委員会共同設置団体担当者会議を1回開催										
		3 研究会等への公平委員会委員の参加 【成果】 研究会等に7回(延べ8日間)参加										
		研究会等						開催				
全国公平委員会連合会通常総会・研究会						令和元年7月・10月						
全国公平委員会連合会関東支部定期総会・研究会						令和元年5月・10月						
茨城県公平委員会連合会定期総会・研究会						令和元年5月・11月、令和2年2月						

事業名：予備費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	35				35			
				前年	35				35			
				比較								-
【参考】前々年度					35				35			
目的		予想し難い支出の増加に備えるため。										
概要及び成果		1 必要が生じた場合に充用する。 【成果】 令和元年度の充用なし。										

# 介護保険事業特別会計





## 主要な施策の成果及び予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和元年度つくば市介護保険事業特別会計における主要な施策の成果及び予算執行の実績について報告いたします。

令和2年8月27日

つくば市長 五十嵐立青

## 令和元年度つくば市介護保険事業特別会計予算執行の概要について

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支えあう仕組みとして2000年に創設され、支援の必要な高齢者に対するサービスを適正に提供する制度として定着してきました。

今後、高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズがますます増大する中、医療や介護が必要な状態になっても、できるだけ住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組を進めています。

令和元年度は、介護予防と孤立の防止に資する地域の憩いの場を提供する団体への助成の拡充、高齢者の支援や相談を行う地域包括支援センターを新たに2か所開設等、第7期高齢者福祉計画の推進に取り組みました。

また、公費による所得の低い高齢者の介護保険料の軽減を強化するとともに、安定した財源を確保するため、収納率の向上に努めました。

このような状況の中で運営された、令和元年度つくば市介護保険事業特別会計決算は以下のとおりとなり、歳入歳出差引額 309,247 千円は、令和2年度つくば市介護保険事業特別会計に繰越いたします。

決算規模	歳入総額	13,704,748 千円
	歳出総額	13,395,501 千円
	歳入歳出差引額	309,247 千円

以上、令和元年度つくば市介護保険事業特別会計の概要ですが、主要な施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
01	01	01	01	介護保険	13,480,197		222,635	13,702,832	13,854,426	13,704,748	100.0
				保険料	3,460,325		△56,625	3,403,700	3,594,678	3,446,412	101.3
				介護保険料	3,460,325		△56,625	3,403,700	3,594,678	3,446,412	101.3
				第1号被保険者保険料	3,460,325		△56,625	3,403,700	3,594,678	3,446,412	101.3
				現年度分特別徴収保険料	本年度 3,123,774		△50,606	3,073,168	3,108,116	3,114,128	101.3
				前年度 3,253,477		△191,616	3,061,861	3,089,850	3,095,825	101.1	
				比較 △129,703		141,010	11,307	18,266	18,303		
				現年度分普通徴収保険料	本年度 320,332		△6,019	314,313	349,456	309,391	98.4
				前年度 351,325		△20,692	330,633	338,327	295,280	89.3	
				比較 △30,993		14,673	△16,320	11,129	14,111		
03	滞納繰越分普通徴収保険料	本年度 16,219			16,219	137,105	22,892	141.1			
前年度 15,015			15,015	127,591	17,360	115.6					
比較 1,204			1,204	9,514	5,532						
02	01	01	01	使用料及び手数料	400			400	409	409	102.3
				手数料	400			400	409	409	102.3
				督促手数料	400			400	408	408	102.0
				督促手数料	本年度 400			400	408	408	102.0
				前年度 400			400	360	360	90.0	
				比較				48	48		
				総務手数料					1	1	
				総務手数料	本年度				1	1	
				前年度							
				比較					1	1	
03	01	01	01	国庫支出金	2,736,058		31,590	2,767,648	2,771,613	2,771,613	100.1
				国庫負担金	2,268,625			2,268,625	2,304,332	2,304,332	101.6
				介護給付費負担金	2,268,625			2,268,625	2,304,332	2,304,332	101.6
				現年度分	本年度 2,268,625			2,268,625	2,304,332	2,304,332	101.6
				前年度 2,207,271			2,207,271	2,171,100	2,171,100	98.4	
				比較 61,354			61,354	133,232	133,232		
				国庫補助金	467,433		31,590	499,023	467,281	467,281	93.6
				調整交付金	277,671		441	278,112	248,469	248,469	89.3
				現年度分調整交付金	本年度 277,671		441	278,112	248,469	248,469	89.3
				前年度 307,144		△17	307,127	247,398	247,398	80.6	
				比較 △29,473		458	△29,015	1,071	1,071		
				地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	55,440		4,075	59,515	61,382	61,382	103.1
				現年度	本年度 55,440		4,075	59,515	61,382	61,382	103.1
				前年度 59,053		△176	58,877	60,686	60,686	103.1	
				比較 △3,613		4,251	638	696	696		
				地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	130,688		△1,402	129,286	128,145	128,145	99.1
				現年度	本年度 130,688		△1,402	129,286	128,145	128,145	99.1
				前年度 114,399		△5,263	109,136	115,115	115,115	105.5	
				比較 16,289		3,861	20,150	13,030	13,030		
				介護保険災害臨時特例補助金	3,633			3,633	700	700	19.3
介護保険災害臨時特例補助金	本年度 3,633			3,633	700	700	19.3				
前年度 3,730			3,730	1,365	1,365	36.6					
比較 △97			△97	△665	△665						
保険者機能強化推進交付金	1		28,368	28,369	28,369	28,369	100.0				
保険者機能強化推進交付金	本年度 1		28,368	28,369	28,369	28,369	100.0				
前年度			18,833	18,833	18,833	18,833	100.0				
比較 1		9,535	9,536	9,536	9,536						
介護保険事業費補助金			108	108	216	216	200.0				
介護保険事業費補助金	本年度 108		108	108	216	216	200.0				
前年度											
比較			108	108	216	216					
04	01	01	01	支払基金交付金	3,443,598		9,139	3,452,737	3,372,131	3,372,131	97.7
				支払基金交付金	3,443,598		9,139	3,452,737	3,372,131	3,372,131	97.7
				介護給付費交付金	3,368,754		2,372	3,371,126	3,296,591	3,296,591	97.8
				現年度分	本年度 3,368,754			3,368,754	3,294,218	3,294,218	97.8
				前年度 3,277,739			3,277,739	3,196,028	3,196,028	97.5	
				比較 91,015			91,015	98,190	98,190		
				過年度分	本年度		2,372	2,372	2,373	2,373	100.0
				前年度							
				比較			2,372	2,372	2,373	2,373	
				地域支援事業支援	74,844		6,767	81,611	75,541	75,541	92.6
現年度分	本年度 74,844		5,501	80,345	74,274	74,274	92.4				
前年度 79,721		△238	79,483	69,559	69,559	87.5					
比較 △4,877		5,739	862	4,715	4,715						

注)本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度 歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
04	01	02	02	過年度分			1,266	1,266	1,267	1,267	100.1
				本年度			776	776	777	777	100.1
				前年度			490	490	490	490	
05	01	01	01	県支出金	1,886,350		1,843	1,888,193	1,920,606	1,920,606	101.7
				県負担金	1,786,356			1,786,356	1,821,883	1,821,883	102.0
				介護給付費負担金	1,786,356			1,786,356	1,821,883	1,821,883	102.0
				現年度分	1,786,356			1,786,356	1,821,883	1,821,883	102.0
				前年度	1,738,155			1,738,155	1,713,440	1,713,440	98.6
				比較	48,201			48,201	108,443	108,443	
				県補助金	99,994		1,843	101,837	98,723	98,723	96.9
				地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	34,650		2,546	37,196	34,651	34,651	93.2
				現年度分	34,650		2,546	37,196	34,651	34,651	93.2
				前年度	36,908		△110	36,798	34,532	34,532	93.8
				比較	△2,258		2,656	398	119	119	
				地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	65,344		△703	64,641	64,072	64,072	99.1
現年度分	65,344		△703	64,641	64,072	64,072	99.1				
前年度	57,200		△2,632	54,568	57,557	57,557	105.5				
比較	8,144		1,929	10,073	6,515	6,515					
06	01	01	01	財産収入	93		67	160	159	159	99.4
				財産運用収入	93		67	160	159	159	99.4
				利子及び配当金	93		67	160	159	159	99.4
				利子及び配当金	93		67	160	159	159	99.4
				前年度	61		32	93	93	93	100.0
比較	32		35	67	66	66					
07	01	01	01	繰入金	1,930,805		67,307	1,998,112	1,998,112	1,998,112	100.0
				一般会計繰入金	1,930,805		67,174	1,997,979	1,997,979	1,997,979	100.0
				介護給付費繰入金	1,559,608			1,559,608	1,559,608	1,559,608	100.0
				現年度分	1,559,608			1,559,608	1,559,608	1,559,608	100.0
				前年度	1,517,471			1,517,471	1,517,471	1,517,471	100.0
				比較	42,137			42,137	42,137	42,137	
				その他一般会計繰入金	247,392		8,705	256,097	256,097	256,097	100.0
				職員給与費等繰入金	111,910		5,190	117,100	117,100	117,100	100.0
				前年度	113,395		400	113,795	113,795	113,795	100.0
				比較	△1,485		4,790	3,305	3,305	3,305	
				事務費繰入金	127,141		2,865	130,006	130,006	130,006	100.0
				前年度	130,307			130,307	130,307	130,307	100.0
				比較	△3,166		2,865	△301	△301	△301	
				指定介護予防支援職員関係経費繰入金	8,341		650	8,991	8,991	8,991	100.0
				前年度	10,055		750	10,805	10,805	10,805	100.0
				比較	△1,714		△100	△1,814	△1,814	△1,814	
				地域支援事業繰入金(介護予防・日常生活支援総合事業)	34,650		2,547	37,197	37,197	37,197	100.0
				現年度分	34,650		2,547	37,197	37,197	37,197	100.0
				前年度	36,909		△110	36,799	36,799	36,799	100.0
				比較	△2,259		2,657	398	398	398	
				地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)	65,794		△703	65,091	65,091	65,091	100.0
				現年度分	65,794		△703	65,091	65,091	65,091	100.0
前年度	58,201		△2,632	55,569	55,569	55,569	100.0				
比較	7,593		1,929	9,522	9,522	9,522					
低所得者保険料軽減繰入金	23,361		56,625	79,986	79,986	79,986	100.0				
現年度分	23,361		56,625	79,986	79,986	79,986	100.0				
前年度	24,746		△2,235	22,511	22,511	22,511	100.0				
比較	△1,385		58,860	57,475	57,475	57,475					
基金繰入金			133	133	133	133	100.0				
介護給付費準備基金繰入金			133	133	133	133	100.0				
介護給付費準備基金繰入金			133	133	133	133	100.0				
前年度			1,296	1,296	1,296	1,296	100.0				
比較			△1,163	△1,163	△1,163	△1,163					
08	01	01	01	繰越金	1		169,314	169,315	169,315	169,315	100.0
				繰越金	1		169,314	169,315	169,315	169,315	100.0
				繰越金	1		169,314	169,315	169,315	169,315	100.0
				繰越金	1		169,314	169,315	169,315	169,315	100.0
				前年度	1		234,246	234,247	234,247	234,247	100.0
比較			△64,932	△64,932	△64,932	△64,932					

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

令和元年度歳入予算執行状況

(単位:千円、%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
09			諸収入	3,592			3,592	9,124	7,712	214.7
	01		雑入	3,028			3,028	8,444	7,032	232.2
		01	第三者納付金	1			1	3,129	3,129	312900.0
			01 第三者納付金	本年度 前年度 比較	1 1 比較		1 1 比較	3,129 3,460 △331	3,129 3,460 △331	312900.0 346000.0 比較
		02	雑入	3,026			3,026	5,265	3,862	127.6
			01 雑入	本年度 前年度 比較	406 3,884 △3,478		406 3,884 △3,478	2,441 580 1,861	1,038 580 458	255.7 14.9 比較
			02 一般介護予防事業 参加費	本年度 前年度 比較	2,620 100 2,520		2,620 100 2,520	2,824 2,914 △90	2,824 2,914 △90	107.8 2914.0 比較
		03	成年後見申立費用納付金	1			1	50	40	4000.0
			01 成年後見申立費用 納付金	本年度 前年度 比較	1 1 比較		1 1 比較	50 30 20	40 30 10	4000.0 3000.0 比較
		02	延滞金、加算金及び過料	564			564	680	680	120.6
			01 第1号被保険者延滞金	564			564	680	680	120.6
			01 第1号被保険者延 滞金	本年度 前年度 比較	564 451 113		564 451 113	680 454 226	680 454 226	120.6 100.7 比較
10			介護サービス収入	18,975			18,975	18,280	18,280	96.3
	01		介護予防支援費収入	18,975			18,975	18,280	18,280	96.3
		01	介護予防支援費収入	18,975			18,975	18,280	18,280	96.3
			01 現年度分	本年度 前年度 比較	18,975 33,178 △14,203		18,975 33,178 △14,203	18,280 30,432 △12,152	18,280 30,432 △12,152	96.3 91.7 比較

注) 本表中の金額、割合は、原則として表示単位未満で四捨五入しています。このため、各種表類の端数処理後の数値及び表内の合計額が異なる場合があります。

事業名：介護保険事務に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	01	01	11	本年	18,465		222		18,687		17,109	91.6
				前年	18,493			216	18,709		16,499	88.2
				比較	△ 28		222	△ 216	△ 22		610	-
【参考】前々年度					20,175		3,414	201	23,790		21,344	89.7
目的				介護保険事務を円滑に執り行うため。								
概要及び成果				1 介護保険事務 (1)居宅サービス計画作成依頼(変更)届出書等給付様式各種印刷業務 (2)介護サービスマップ作成 <b>【成果】</b> 介護保険事務を円滑に実施することができた。								

事業名：資格管理に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																								
01	01	01	12	本年	752				752		724	96.3																								
				前年	1,226				1,226		762	62.2																								
				比較	△ 474				△ 474		△ 38	-																								
【参考】前々年度					1,226				1,226		772	63.0																								
目的				介護保険被保険者の資格管理を適正に行うため。																																
概要及び成果				1 被保険者の資格取得に伴う被保険者証の発行 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転入、65歳到達者への新規被保険者証交付</td> <td>2,760 人</td> <td>2,584 人</td> <td>2,744 人</td> <td>3,367 人</td> <td>3,078 人</td> </tr> <tr> <td>転居・紛失等による被保険者証交付・再交付等</td> <td>279 人</td> <td>237 人</td> <td>258 人</td> <td>196 人</td> <td>200 人</td> </tr> <tr> <td>被保険者証の要介護認定交付</td> <td>6,483 人</td> <td>5,923 人</td> <td>6,470 人</td> <td>6,346 人</td> <td>6,069 人</td> </tr> </tbody> </table>										令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	転入、65歳到達者への新規被保険者証交付	2,760 人	2,584 人	2,744 人	3,367 人	3,078 人	転居・紛失等による被保険者証交付・再交付等	279 人	237 人	258 人	196 人	200 人	被保険者証の要介護認定交付	6,483 人	5,923 人	6,470 人	6,346 人	6,069 人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
転入、65歳到達者への新規被保険者証交付	2,760 人	2,584 人	2,744 人	3,367 人	3,078 人																															
転居・紛失等による被保険者証交付・再交付等	279 人	237 人	258 人	196 人	200 人																															
被保険者証の要介護認定交付	6,483 人	5,923 人	6,470 人	6,346 人	6,069 人																															
				2 住所地特例被保険者台帳の管理(市町村及び事業所からの各種異動連絡票処理) <b>【成果】</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>住所地特例施設入・退所連絡票</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>497 人</td> <td>643 人</td> <td>635 人</td> <td>639 人</td> <td>474 人</td> </tr> </tbody> </table>									住所地特例施設入・退所連絡票	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度		497 人	643 人	635 人	639 人	474 人												
住所地特例施設入・退所連絡票	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
	497 人	643 人	635 人	639 人	474 人																															

事業名：介護台帳システムに要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)				
01	01	01	13	本年	1,283				1,283		1,135	88.5				
				前年												
				比較	1,283				1,283		1,135	-				
【参考】前々年度																
目的		介護サービス事業者の新規指定や変更届出などの基本情報や、介護報酬体制などの情報を、茨城県及び県内市町村共通の電子データとして連携、共有し使用するため。														
概要及び成果		<p>介護サービス事業者の変更届出などは頻繁に提出されるものであり、システムを利用して適正かつ迅速な審査事務を行っている。情報管理を安定して行うために、平成31年4月から5年間の保守付きリースを行っている。</p> <p>【成果】 支出</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>912千円</td> </tr> </table> <p>このほか、データ連携の際に必要な消耗品費・郵送料、介護報酬改定に伴うシステム改修委託料、計223千円を支出した。</p>												令和元年度	賃借料	912千円
	令和元年度															
賃借料	912千円															

事業名：賦課徴収に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
01	02	01	11	本年	13,323		1,429		14,752		14,272	96.7
				前年	12,906		1,296		14,202		12,376	87.1
				比較	417		133		550		1,896	-
【参考】前々年度					12,482				12,482		11,311	90.6

目的

介護保険第1号被保険者の賦課徴収を適正に行うため。

概要及び成果

1 介護保険料の賦課を適正に行うために所得調査をし、賦課決定後は納付書を送付

【成果】

	令和元度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
所得照会件数	1,576 件	1,578 件	1,615 件	1,414 件	1,561 件
介護保険料納付書発送件数	9,935 件	9,782 件	10,601 件	10,628 件	10,626 件

2 介護保険料の収納率向上のための口座振替の推進

【成果】

	令和元度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
口座振替依頼件数	5,320 件	5,054 件	5,177 件	4,494 件	4,860 件

3 介護保険料滞納者に対する徴収

【成果】

(1) 徴収嘱託員による訪問徴収(平成28年度まで)

滞納整理(延べ)	平成28年度	平成27年度	平成26年度
訪問日数	245 日	241 日	245 日
従事職員数	521 人	508 人	534 人
訪問件数	4,650 件	4,781 件	5,102 件
収納額	7,610,000 円	7,947,600 円	8,901,000 円

※ 平成29年度は、徴収嘱託員が廃止となったため、訪問徴収は行っておりません。

(2) 滞納整理・電話催告等(平成29年度から)

滞納整理(延べ)	令和元度	平成30年度	平成29年度
従事職員数	349 人	378 人	468 人
滞納整理件数	1,593 件	1,327 件	420 件
電話発信数	1,582 発信	1,656 発信	1,398 発信
収納額	29,130,300 円	18,060,825 円	9,929,700 円

※ 平成29年度に業務を見直し、平成30年度から徴収嘱託員による滞納整理を再開した。



事業名：介護認定審査会に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																				
01	03	01	11	本年	62,105				62,105		57,562	92.7																																				
				前年	61,462				61,462		54,988	89.5																																				
				比較	643				643		2,574	-																																				
【参考】前々年度					58,960				58,960		55,261	93.7																																				
目的		年々増加傾向にある要介護、要支援認定申請について、審査会を開催し、介護保険におけるサービス利用に必要な要介護度を判定するため。																																														
概要及び成果		<p>1 介護認定審査会の開催</p> <p>要介護認定申請に基づき、審査会8合議体(1合議体委員5名)により、1開催あたり30～38件の審査を行う。審査会資料は、開催1週間前に各委員に事前配布する。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 審査会の実施</p> <p>委員40名 報酬 1回当たり20,000円 費用弁償 1回当たり2,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査会開催回数</td> <td>184回</td> <td>188回</td> <td>188回</td> <td>192回</td> <td>185回</td> </tr> <tr> <td>審査会処理件数</td> <td>6,483件</td> <td>5,923件</td> <td>6,470件</td> <td>6,204件</td> <td>6,069件</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和元年度審査会処理件数:6,483件の内訳(新規:1,871件 更新:4,112件 区分変更:500件)</p> <p>(2) 審査会資料に必要な主治医意見書の作成依頼及び作成手数料の支払い (在宅新規5,400円、更新4,320円・施設新規4,320円、更新3,240円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意見書入手件数</td> <td>6,647件</td> <td>6,126件</td> <td>6,376件</td> <td>6,434件</td> <td>6,226件</td> </tr> <tr> <td>意見書作成手数料</td> <td>30,160千円</td> <td>28,185千円</td> <td>28,982千円</td> <td>29,022千円</td> <td>28,262千円</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	審査会開催回数	184回	188回	188回	192回	185回	審査会処理件数	6,483件	5,923件	6,470件	6,204件	6,069件		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	意見書入手件数	6,647件	6,126件	6,376件	6,434件	6,226件	意見書作成手数料	30,160千円	28,185千円	28,982千円	29,022千円	28,262千円
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																											
審査会開催回数	184回	188回	188回	192回	185回																																											
審査会処理件数	6,483件	5,923件	6,470件	6,204件	6,069件																																											
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																											
意見書入手件数	6,647件	6,126件	6,376件	6,434件	6,226件																																											
意見書作成手数料	30,160千円	28,185千円	28,982千円	29,022千円	28,262千円																																											

事業名：認定調査等に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
01	03	02	11	本年	39,230		1,322		40,552		34,959	86.2												
				前年	38,390				38,390		32,465	84.6												
				比較	840		1,322		2,162		2,494	-												
【参考】前々年度					34,788				34,788		31,853	91.6												
目的		要介護、要支援認定申請について、市嘱託職員又は指定居宅介護支援事業所(51事業所)への委託により、公正かつ的確な認定調査を実施するため。																						
概要及び成果		<p>1 認定調査等</p> <p>(1) 介護保険認定調査員の任用 (2) 指定居宅介護支援事業所、介護保険施設との認定調査委託契約 (3) 認定申請に基づき、認定調査の市職員又は指定居宅介護支援事業所等への割り振り (4) 認定調査終了後、提出された調査票の点検等 (5) 調査票を機器に入力、一次判定 (6) 介護保険認定調査員研修</p> <p>【成果】</p> <p>認定調査件数 6,409件(うち市職員調査3,557件 55.5% 委託調査2,852件 44.5%) 調査員の県主催新規・現任研修等への参加、また、日々調査票の点検等を行い、正確な審査会資料の作成に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定調査件数</td> <td>6,409件</td> <td>5,927件</td> <td>6,329件</td> <td>6,265件</td> <td>6,135件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	認定調査件数	6,409件	5,927件	6,329件	6,265件	6,135件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
認定調査件数	6,409件	5,927件	6,329件	6,265件	6,135件																			

事業名：居宅介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	01	11	本年	4,858,576				4,858,576		4,839,460	99.6
				前年	4,757,549			△ 4,676	4,752,873		4,632,012	97.5
				比較	101,027			4,676	105,703		207,448	-
【参考】前々年度					4,620,189				4,620,189		4,527,773	98.0

目的	要介護被保険者が、指定居宅サービス事業者から指定居宅サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。											
概要及び成果	1 居宅介護サービス給付費 要介護被保険者が、都道府県等の指定を受けた指定居宅サービス事業者から、居宅介護サービス(訪問介護、訪問入浴介護、通所介護、通所リハビリテーション及び短期入所生活介護等)を受けた場合に行われる保険給付。											
	【成果】 居宅介護サービスにより要介護被保険者の居宅生活を支援した。											
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	受給者数	46,101 人	44,924 人	42,486 人	41,227 人	40,361 人						

事業名：特例居宅介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	02	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			

目的	要介護被保険者が、特例的に居宅サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。											
概要及び成果	1 特例居宅介護サービス給付費 以下4つの場合に行われる保険給付で原則として「償還払い」の方式で給付する。 (1) 要介護認定の申請前に緊急その他やむを得ない理由により、指定居宅サービスを受けた場合 (2) 基準該当居宅サービスを受けた場合 (3) 離島等で相当サービスを受けた場合 (4) その他法令で定める場合											
	【成果】 特例居宅介護サービス給付費の請求はなかった。											

事業名：施設介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	01	03	11	本年	3,971,238			△ 2,697	3,968,541		3,905,076	98.4												
				前年	3,873,266				3,873,266		3,820,763	98.6												
				比較	97,972			△ 2,697	95,275		84,313	-												
【参考】前々年度					3,667,411			29,233	3,696,644		3,696,644	100.0												
<p>目的</p> <p>要介護被保険者が、指定施設サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。</p>																								
<p>概要及び成果</p> <p>1 施設介護サービス費</p> <p>要介護被保険者が、都道府県等の指定を受けた指定介護保険施設から施設サービスを受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】</p> <p>要介護被保険者に対して、身体介護、食事の提供等の施設介護サービスを提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>1,204 人</td> <td>1,196 人</td> <td>1,167 人</td> <td>1,147 人</td> <td>1,131 人</td> </tr> </tbody> </table>														令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	受給者数	1,204 人	1,196 人	1,167 人	1,147 人	1,131 人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
受給者数	1,204 人	1,196 人	1,167 人	1,147 人	1,131 人																			

事業名：特例施設介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	04	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
<p>目的</p> <p>要介護被保険者が、緊急その他やむを得ない理由により、指定施設サービス等を受けたとき、それらに要する費用について支給するため。</p>												
<p>概要及び成果</p> <p>1 特例施設介護サービス費</p> <p>緊急その他やむを得ない理由により、要介護認定の申請前に指定施設サービス等を受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】</p> <p>特例施設介護サービス給付費の請求はなかった。</p>												

事業名：居宅介護福祉用具購入に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	01	05	11	本年	11,952				11,952		10,062	84.2												
				前年	12,144				12,144		9,849	81.1												
				比較	△ 192				△ 192		213	-												
【参考】前々年度					9,913			514	10,427		10,427	100.0												
目的		要介護被保険者が、入浴又は排泄の用に供する福祉用具その他厚生労働大臣が定める福祉用具(「特定福祉用具」)を購入した場合に費用の一部を支給するため。																						
概要及び成果		<p>1 居宅介護福祉用具購入費                      入浴又は排泄の用に供する福祉用具その他厚生労働大臣が定める福祉用具を購入した場合に行われる保険給付。</p> <p>(1)「特定福祉用具」:腰掛便座・自動排泄処理装置の交換可能部分・入浴補助用具・簡易浴槽・移動用リフトの吊り具部分</p> <p>(2)利用限度額=100,000円(毎年4月1日から1年間)</p> <p>【成果】                      居宅介護福祉用具購入により、要介護被保険者の居宅生活を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>389件</td> <td>388件</td> <td>388件</td> <td>353件</td> <td>338件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給件数	389件	388件	388件	353件	338件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
支給件数	389件	388件	388件	353件	338件																			

事業名：居宅介護住宅改修に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	01	06	11	本年	25,698				25,698		25,146	97.9												
				前年	28,962				28,962		24,813	85.7												
				比較	△ 3,264				△ 3,264		333	-												
【参考】前々年度					27,167				27,167		26,930	99.1												
目的		要介護被保険者が、手すりの取付けその他の厚生労働大臣が定める種類の住宅改修を行った場合に費用の一部を支給するため。																						
概要及び成果		<p>1 手すりの取付けその他の厚生労働大臣が定める種類の住宅改修を行った場合に行われる保険給付。                      ・利用限度額=200,000円まで(原則1回限り) ・工事着工前の事前申請が必要</p> <p>【成果】                      居宅介護住宅改修により、要介護被保険者の居宅生活を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>265件</td> <td>269件</td> <td>270件</td> <td>256件</td> <td>280件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給件数	265件	269件	270件	256件	280件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
支給件数	265件	269件	270件	256件	280件																			

事業名：居宅介護サービス計画給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)		
02	01	07	11	本年	646,254				646,254		636,864	98.5		
				前年	617,112				617,112		608,719	98.6		
				比較	29,142				29,142		28,145	-		
【参考】前々年度					594,827				594,827		573,978	96.5		
目的				要介護被保険者が、都道府県等の指定を受けた指定居宅介護支援事業者から居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、事業者との連絡調整等の指定居宅介護支援を受けたとき、それらに要する費用について支給するため。										
概要及び成果				1 要介護被保険者が、都道府県等の指定を受けた指定居宅介護支援事業者から居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等、指定居宅介護支援を受けた場合に行われる保険給付。 本給付は10割給付であり利用者負担はない。 <b>【成果】</b> 居宅介護サービスにより要介護被保険者の居宅生活を支援した。										
					令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
受給者数					46,101 人		44,924 人		42,486 人		41,227 人		40,361 人	

事業名：特例居宅介護サービス計画給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	08	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
目的				要介護被保険者が、指定居宅介護支援以外の居宅介護支援又はこれに相当するサービス(基準該当介護支援)、又は離島等において相当するサービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。								
概要及び成果				1 要介護被保険者が、指定居宅介護支援以外の居宅介護支援又はこれに相当するサービス(基準該当介護支援)、又は離島等において相当するサービスを受けた場合について行われる保険給付。 <b>【成果】</b> 特例居宅介護サービス計画給付費の請求はなかった。								

事業名：地域密着型介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	01	09	11	本年	2,038,786			△ 41,084	1,997,702		1,879,284	94.1												
				前年	1,921,743				1,921,743		1,860,829	96.8												
				比較	117,043			△ 41,084	75,959		18,455	-												
【参考】前々年度					2,006,769			△ 35,784	1,970,985		1,778,121	90.2												
目的		要介護被保険者が、指定地域密着型サービス事業者から地域密着型サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。																						
概要及び成果		<p>1 要介護被保険者が、つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所(認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護・認知症対応型通所介護等の各事業所)から、地域密着型サービスを受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 つくば市が指定した事業所において、地域に必要な介護サービスを提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>9,732 人</td> <td>9,739 人</td> <td>9,136 人</td> <td>8,930 人</td> <td>5,806 人</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	受給者数	9,732 人	9,739 人	9,136 人	8,930 人	5,806 人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
受給者数	9,732 人	9,739 人	9,136 人	8,930 人	5,806 人																			

事業名：特例地域密着型介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	01	10	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
目的		要介護被保険者が、特例的に地域密着型サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。										
概要及び成果		<p>1 つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所から行われる保険給付、「償還払い」の方式で給付する。</p> <p>【成果】 特例地域密着型介護サービス給付費の請求はなかった。</p>										

事業名：高額介護サービスに要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	02	01	11	本年	282,124			36,651	318,775		318,585	99.9												
				前年	294,325			△ 11	294,314		279,904	95.1												
				比較	△ 12,201			36,662	24,461		38,681	-												
【参考】前々年度					305,134			△ 40	305,094		251,991	82.6												
目的		要介護被保険者の自己負担が高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るため。																						
概要及び成果		<p>1 自己負担が高額となった場合に、要介護被保険者の負担軽減を図るために行う保険給付。所得によって上限が異なる。</p> <p>自己負担の上限額(世帯合算)</p> <p>(1)現役並み所得者:44,400円</p> <p>(2)一般:44,400円</p> <p>(3)市町村民税世帯非課税:24,600円</p> <p>(4)生活保護受給者等:15,000円</p> <p>【成果】</p> <p>自己負担額が高額になった要介護被保険者の負担軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>23,502 件</td> <td>19,971 件</td> <td>19,702 件</td> <td>19,335 件</td> <td>17,967 件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給件数	23,502 件	19,971 件	19,702 件	19,335 件	17,967 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
支給件数	23,502 件	19,971 件	19,702 件	19,335 件	17,967 件																			

事業名：高額介護予防サービスに要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	02	02	11	本年	205				205		194	94.6												
				前年	155			11	166		166	100.0												
				比較	50			△ 11	39		28	-												
【参考】前々年度					162			40	202		202	100.0												
目的		要支援被保険者の自己負担が高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るため。																						
概要及び成果		<p>1 自己負担が高額となった場合に、要支援被保険者の負担軽減を図るために行う保険給付。所得によって上限が異なる。</p> <p>自己負担の上限額(世帯合算)</p> <p>(1)現役並み所得者:44,400円</p> <p>(2)一般:44,400円</p> <p>(3)市町村民税世帯非課税:24,600円</p> <p>(4)生活保護受給者等:15,000円</p> <p>【成果】</p> <p>自己負担が高額になった要支援被保険者の負担軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>191 件</td> <td>136 件</td> <td>199 件</td> <td>247 件</td> <td>156 件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給件数	191 件	136 件	199 件	247 件	156 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
支給件数	191 件	136 件	199 件	247 件	156 件																			

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	03	11	本年	36,354			1,487	37,841		37,841	100.0
				前年	38,946			△ 51	38,895		30,950	79.6
				比較	△ 2,592			1,538	△ 1,054		6,891	-
【参考】前々年度					25,314		6,984	5,754	38,052		31,329	82.3

目的	要介護被保険者の介護サービス費と医療費の合算額が高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るため。																																									
概要及び成果	1 当該負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るために行う保険給付。また、所得によって上限が異なる。 <医療と介護の自己負担合算後の上限額(年額)>計算期間は毎年8月から翌年7月までの12か月間																																									
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>所得 (基礎控除後総所得金額等)</th> <th>70歳未満の人</th> <th>所得区分</th> <th>70歳から74歳</th> <th>後期高齢者医療制度で医療を受ける人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>901万円超</td> <td>212 万円</td> <td>現役並み所得者</td> <td>67 万円</td> <td>67 万円</td> </tr> <tr> <td>600万円超901万円以下</td> <td>141 万円</td> <td>一般</td> <td>56 万円</td> <td>56 万円</td> </tr> <tr> <td>210万円超600万円以下</td> <td>67 万円</td> <td>低所得者Ⅱ</td> <td>31 万円</td> <td>31 万円</td> </tr> <tr> <td>210万円以下</td> <td>60 万円</td> <td>低所得者Ⅰ</td> <td>19 万円</td> <td>19 万円</td> </tr> <tr> <td>住民税非課税世帯</td> <td>34 万円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				所得 (基礎控除後総所得金額等)	70歳未満の人	所得区分	70歳から74歳	後期高齢者医療制度で医療を受ける人	901万円超	212 万円	現役並み所得者	67 万円	67 万円	600万円超901万円以下	141 万円	一般	56 万円	56 万円	210万円超600万円以下	67 万円	低所得者Ⅱ	31 万円	31 万円	210万円以下	60 万円	低所得者Ⅰ	19 万円	19 万円	住民税非課税世帯	34 万円											
	所得 (基礎控除後総所得金額等)	70歳未満の人	所得区分	70歳から74歳	後期高齢者医療制度で医療を受ける人																																					
	901万円超	212 万円	現役並み所得者	67 万円	67 万円																																					
	600万円超901万円以下	141 万円	一般	56 万円	56 万円																																					
	210万円超600万円以下	67 万円	低所得者Ⅱ	31 万円	31 万円																																					
	210万円以下	60 万円	低所得者Ⅰ	19 万円	19 万円																																					
	住民税非課税世帯	34 万円																																								
	※ (1)現役並み所得者(課税所得145万円以上) (2)一般(市町村民税課税世帯) (3)低所得者Ⅱ(市町村民税非課税世帯) (4)低所得者Ⅰ(世帯の各収入から必要経費・控除を差し引いたときに所得が0円の方)																																									
	【成果】 介護サービス費と医療費の合算額が高額になった要介護被保険者の負担軽減が図られた。																																									
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>1,176 件</td> <td>1,063 件</td> <td>1,048 件</td> <td>870 件</td> <td>733 件</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給件数	1,176 件	1,063 件	1,048 件	870 件	733 件																			
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																					
支給件数	1,176 件	1,063 件	1,048 件	870 件	733 件																																					



事業名：高額医療合算介護予防サービス費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	02	04	11	本年	256			△ 118	138		107	78.0
				前年	100			51	151		151	100.0
				比較	156			△ 169	△ 13		△ 44	-
【参考】前々年度					100				100		77	76.8

目的

要支援被保険者の介護サービス費と医療費の合算額が高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るため。

概要及び成果

- 1 当該負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るために行う保険給付。また、所得によって上限が異なる。  
 <医療と介護の自己負担合算後の上限額(年額)>計算期間は毎年8月から翌年7月までの12か月間

所得 (基礎控除後総所得金額等)	70歳未満の人	所得区分	70歳から74歳	後期高齢者医療制度で医療を受ける人
901万円超	212 万円	現役並み所得者	67 万円	67 万円
600万円超901万円以下	141 万円	一般	56 万円	56 万円
210万円超600万円以下	67 万円	低所得者Ⅱ	31 万円	31 万円
210万円以下	60 万円	低所得者Ⅰ	19 万円	19 万円
住民税非課税世帯	34 万円			

- ※ (1)現役並み所得者(課税所得145万円以上)  
 (2)一般(市町村民税課税世帯)  
 (3)低所得者Ⅱ(市町村民税非課税世帯)  
 (4)低所得者Ⅰ(世帯の各収入から必要経費・控除を差し引いたときに所得が0円の方)

【成果】

介護サービス費と医療費の合算額が高額になった要支援被保険者の負担軽減が図られた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
支給件数	16 件	18 件	19 件	9 件	4 件

事業名：特定入所者介護サービス費に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	01	11	本年	424,299				424,299		424,236	100.0
				前年	417,375				417,375		412,844	98.9
				比較	6,924				6,924		11,392	-
【参考】前々年度					479,526				479,526		411,258	85.8

目的

要介護被保険者の居住費(滞在費)・食費の負担が過重とならないよう、所得に応じた低額の負担限度額を設けることにより、負担軽減を図るため。

概要及び成果

- 1 施設入所者・短期入所サービス利用者の食費と居住費(滞在費)について、低所得者の自己負担を軽減するため基準費用額(食事の提供等に要する平均的な費用の額を勘案して、厚生労働大臣が定める費用の額)から負担限度額(低所得者が最低限負担する額)を控除した額を保険給付する。

【成果】

施設入所・短期入所に係る費用の負担軽減が図られた。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
認定件数	1,517 件	1,402 件	1,408 件	1,364 件	1,460 件

事業名：特例特定入所者介護サービス費に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	02	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較							-	
【参考】前々年度					1				1			
目的		要介護被保険者が、指定居宅介護サービス以外の居宅介護サービス事業所またはこれに相当するサービス事業所(基準該当介護支援サービス事業所)、又は離島等において相当するサービス事業所からサービスを受けた場合に給付し、居住費(滞在費)・食費の負担が過重にならないよう、所得に応じた低額の負担限度額を設けることにより、負担軽減を図るため。										
概要及び成果		1 施設入所者・短期入所サービス利用者の食費と居住費(滞在費)について、低所得者の自己負担を軽減するため基準費用額(食事の提供等に要する平均的な費用の額を勘案して、厚生労働大臣が定める費用の額)から負担限度額(低所得者が最低限負担する額)を控除した額を保険給付する。  <b>【成果】</b> 特例特定入所者介護サービス費の請求はなかった。										

事業名：特定入所者介護予防サービス費に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	03	03	11	本年	287				287		77	26.7												
				前年	100				100	46	45.9													
				比較	187				187	31	-													
【参考】前々年度					100				100	63	62.8													
目的		要支援被保険者の滞在費・食費の負担が過重とならないよう、所得に応じた低額の負担限度額を設けることにより、負担軽減を図るため。																						
概要及び成果		1 短期入所サービス利用者の食費と滞在費について、低所得者の自己負担を軽減するため基準費用額(食事の提供等に要する平均的な費用の額を勘案して、厚生労働大臣が定める費用の額)から負担限度額(低所得者が最低限負担する額)を控除した額を保険給付する。  <b>【成果】</b> 短期入所に係る費用の負担軽減が図られた。																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定件数</td> <td>11件</td> <td>14件</td> <td>8件</td> <td>10件</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	認定件数	11件	14件	8件	10件	7件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
認定件数	11件	14件	8件	10件	7件																			

事業名：特例特定入所者介護予防サービス費に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	03	04	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較						-		
【参考】前々年度					1				1			
目的		要支援被保険者が、指定介護予防サービス以外の介護予防支援サービス事業所またはこれに相当するサービス事業所(基準該当介護予防支援サービス事業所)、又は離島等において相当するサービス事業所からサービスを受けた場合に給付し、滞在費・食費の負担が過重にならないよう、所得に応じた低額の負担限度額を設けることにより、負担軽減を図るため。										
概要及び成果		1 短期入所サービス利用者の食費と滞在費について、低所得者の自己負担を軽減するため基準費用額(食事の提供等に要する平均的な費用の額を勘案して、厚生労働大臣が定める費用の額)から負担限度額(低所得者が最低限負担する額)を控除した額を保険給付する。  <b>【成果】</b> 特例特定入所者介護予防サービス費の請求はなかった。										

事業名：介護予防サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	04	01	11	本年	117,728			3,406	121,134		121,134	100.0												
				前年	108,396			4,676	113,072		113,072	100.0												
				比較	9,332			△ 1,270	8,062		8,062	-												
【参考】前々年度					224,322				224,322		213,253	95.1												
目的		要支援被保険者が、指定介護予防サービス事業者から指定介護予防サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。																						
概要及び成果		1 要支援被保険者に対して行う法定の保険給付。介護予防給付の内容は介護給付に準じている。ただし介護予防給付には、施設給付が含まれていない。  <b>【成果】</b> 介護予防サービスにより要支援被保険者の居宅生活を支援した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>5,749 件</td> <td>5,100 件</td> <td>7,686 件</td> <td>9,583 件</td> <td>9,238 件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	受給者数	5,749 件	5,100 件	7,686 件	9,583 件	9,238 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
受給者数	5,749 件	5,100 件	7,686 件	9,583 件	9,238 件																			

事業名：特例介護予防サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	02	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較						-		
【参考】前々年度					1				1			
目的		要支援被保険者が、特例的に介護予防サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。										
概要及び成果		1 特例介護予防サービス給付 特例居宅介護サービス給付に要する経費と同様、緊急その他やむを得ない理由により、指定介護予防サービス等を受けた場合に行われる保険給付。 <b>【成果】</b> 特例介護予防サービス給付費の請求はなかった。										

事業名：地域密着型介護予防サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	04	03	11	本年	15,434				15,434		8,589	55.6												
				前年	15,434			△ 38	15,396		10,983	71.3												
				比較				38	38		△ 2,394	-												
【参考】前々年度					12,434				12,434		6,659	53.6												
目的		要支援被保険者が、指定地域密着型サービス事業者から地域密着型サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。																						
概要及び成果		1 要支援被保険者が、つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所(介護予防認知症対応型共同生活介護・介護予防小規模多機能型居宅介護・介護予防認知症対応型通所介護等の各事業所。介護予防認知症対応型共同生活介護は要支援2のみ)から、地域密着型介護予防サービスを受けた場合に行われる保険給付。 <b>【成果】</b> つくば市が指定した事業所において、地域に必要な介護サービスを提供した。																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>119 人</td> <td>134 人</td> <td>112 人</td> <td>144 人</td> <td>160 人</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	受給者数	119 人	134 人	112 人	144 人	160 人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
受給者数	119 人	134 人	112 人	144 人	160 人																			

事業名：特例地域密着型介護予防サービス給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	04	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較						-		
【参考】前々年度					1				1			
目的		要支援被保険者が、特例的に指定地域密着型サービス事業者から地域密着型サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。										
概要及び成果		<p>1 緊急その他やむを得ない理由により、指定地域密着型介護予防サービス等を受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 特例地域密着型介護予防サービス給付費の請求はなかった。</p>										

事業名：介護予防福祉用具購入に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	04	05	11	本年	2,279				2,279		1,708	74.9												
				前年	2,203				2,203	1,670	75.8													
				比較	76			76	38	-														
【参考】前々年度					1,299		1,081	242	2,622		2,076	79.2												
目的		要支援被保険者が、入浴又は排泄の用に供する福祉用具その他厚生労働大臣が定める福祉用具(「特定福祉用具」)を指定事業所から購入した場合に費用の一部を給付するため。																						
概要及び成果		<p>1 介護予防福祉用具購入費 特定福祉用具(入浴・排泄等の用に供する福祉用具)を購入した場合 「特定福祉用具」:腰掛便座・自動排泄処理装置の交換可能部分・入浴補助用具・簡易浴槽・移動用リフトの吊り具</p> <p>【成果】 介護予防福祉用具購入により、要支援被保険者の居宅生活を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>72件</td> <td>73件</td> <td>89件</td> <td>65件</td> <td>77件</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給件数	72件	73件	89件	65件	77件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
支給件数	72件	73件	89件	65件	77件																			

事業名：介護予防住宅改修に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	04	06	11	本年	9,695			1,329	11,024		11,024	100.0												
				前年	10,151			38	10,189		10,189	100.0												
				比較	△ 456			1,291	835		835	-												
【参考】前々年度					9,439				9,439		8,913	94.4												
目的				要支援被保険者が、手すりの取付けその他の厚生労働大臣が定める種類の住宅改修を行った場合に費用の一部を支給するため。																				
概要及び成果				<p>1 介護予防住宅改修費 手すりの取付け等の一定の住宅改修を行った場合に行われる。(工事着工前の事前申請が必要) 利用限度額=200,000円まで(原則1回限り)</p> <p>【成果】 介護予防住宅改修により、要支援被保険者の居宅生活を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給件数</td> <td>104 件</td> <td>96 件</td> <td>100 件</td> <td>81 件</td> <td>92 件</td> </tr> </tbody> </table>										令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給件数	104 件	96 件	100 件	81 件	92 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
支給件数	104 件	96 件	100 件	81 件	92 件																			

事業名：介護予防サービス計画給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	04	07	11	本年	25,433			1,028	26,461		26,461	100.0												
				前年	31,953				31,953		22,929	71.8												
				比較	△ 6,520			1,028	△ 5,492		3,532	-												
【参考】前々年度					37,368				37,368		35,708	95.6												
目的				要支援被保険者が、都道府県知事等の指定を受けた地域包括支援センターから介護予防サービス計画(ケアプラン)の作成、事業者との連絡調整等の指定介護予防支援を受けたとき、それらに要する費用について支給するため。																				
概要及び成果				<p>1 要支援被保険者が、地域包括支援センターから介護予防サービス計画(ケアプラン)の作成等、指定介護予防支援を受けた場合に行われる保険給付。この給付は10割給付であり、利用者負担はない。</p> <p>【成果】 介護予防サービスにより要支援被保険者の居宅生活を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>5,749 件</td> <td>5,100 件</td> <td>7,686 件</td> <td>9,583 件</td> <td>9,238 件</td> </tr> </tbody> </table>										令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	受給者数	5,749 件	5,100 件	7,686 件	9,583 件	9,238 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
受給者数	5,749 件	5,100 件	7,686 件	9,583 件	9,238 件																			

事業名：特例介護予防サービス計画給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
02	04	08	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較						-		
【参考】前々年度					1				1			
目的				要支援被保険者が、指定介護予防支援以外の介護予防支援またはこれに相当する介護予防支援(基準該当介護予防支援)、又は離島等において相当する介護予防支援を受けたとき、それらに要する費用について支給するため。								
概要及び成果				1 要支援被保険者が、指定介護予防支援以外の介護予防支援またはこれに相当する介護予防支援、又は離島等において相当する介護予防支援を受けた場合に行われる保険給付。  <b>【成果】</b> 特例介護予防サービス計画給付費の請求はなかった。								

事業名：審査支払手数料に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
02	05	01	11	本年	10,261				10,261		10,194	99.4												
				前年	9,852				9,852		9,724	98.7												
				比較	409				409		470	-												
【参考】前々年度					10,495				10,495		9,602	91.5												
目的				介護サービス事業者及び介護予防サービス事業者の給付費の請求及び償還払い事務に対する審査を茨城県国民健康保険団体連合会に委託し、事業の円滑な推進を図るため。																				
概要及び成果				1 介護サービス事業者及び介護予防サービス事業者の給付費の請求及び償還払い事務に対する審査の手数料を支払う。  <b>【成果】</b> 給付費の請求に対する審査支払により、各種介護サービス費に係る費用支給事務の円滑化が図られた。																				
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査件数</td> <td>178,849 件</td> <td>170,598 件</td> <td>168,462 件</td> <td>167,880 件</td> <td>163,296 件</td> </tr> </tbody> </table>									令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	審査件数	178,849 件	170,598 件	168,462 件	167,880 件	163,296 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
審査件数	178,849 件	170,598 件	168,462 件	167,880 件	163,296 件																			

事業名：災害臨時特例給付に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																	
02	05	02	11	本年	3,970				3,970		781	19.7																																	
				前年	3,730				3,730		893	23.9																																	
				比較	240				240		△ 112	-																																	
【参考】前々年度					507		299	41	847		847	100.0																																	
目的		東日本大震災により被害を受けた方や水害被害を受けた方等の介護サービスの利用料負担を軽減するため。																																											
概要及び成果		<p>1 被災者の介護保険サービス自己負担分の減免 東日本大震災に係る原子力発電所事故によって避難した方や水害等によって被害を受けた方が、介護サービスを利用した場合の自己負担額分を減免する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東日本大震災</td> <td>対象件数</td> <td>125 件</td> <td>117 件</td> <td>121 件</td> <td>123 件</td> <td>33 件</td> </tr> <tr> <td>減免額</td> <td>780,911 円</td> <td>893,310 円</td> <td>847,318 円</td> <td>965,860 円</td> <td>83,147 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水害</td> <td>対象件数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>24 件</td> <td>10 件</td> </tr> <tr> <td>減免額</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>150,807 円</td> <td>119,492 円</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	東日本大震災	対象件数	125 件	117 件	121 件	123 件	33 件	減免額	780,911 円	893,310 円	847,318 円	965,860 円	83,147 円	水害	対象件数	-	-	-	24 件	10 件	減免額	-	-	-	150,807 円	119,492 円
		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																							
東日本大震災	対象件数	125 件	117 件	121 件	123 件	33 件																																							
	減免額	780,911 円	893,310 円	847,318 円	965,860 円	83,147 円																																							
水害	対象件数	-	-	-	24 件	10 件																																							
	減免額	-	-	-	150,807 円	119,492 円																																							

事業名：介護予防・生活支援サービス事業に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	11	本年	202,339		22,224	1,388	225,951		222,825	98.6
				前年	226,158			△ 2,491	223,667		197,174	88.2
				比較	△ 23,819		22,224	3,879	2,284		25,651	-
【参考】前々年度					89,822				89,822		82,345	91.7
目的		要支援被保険者及びチェックリスト該当者が、指定サービス事業者から介護予防・生活支援サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。										
概要及び成果		<p>1 要支援被保険者等が、市の指定を受けたサービス事業者から、介護予防・生活支援サービスを受けた場合に行われる保険給付。</p> <p>【成果】 介護予防・生活支援サービスにより、要支援被保険者等の居宅生活を支援した。</p>										



事業名：高額介護予防・生活支援サービスに要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	12	本年	274			172	446		446	100.0
				前年	105			137	242		242	100.0
				比較	169			35	204		204	-
【参考】前々年度					197				197		75	38.2
目的		自己負担が高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るため。										
概要及び成果		1 自己負担が高額となった場合に、要支援被保険者等の負担軽減を図るために行う保険給付。所得によって上限が異なる。 <b>【成果】</b> 総合事業費負担が高額になった要支援被保険者等の負担軽減が図られた。										

事業名：高額医療合算介護予防・生活支援サービスに要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	01	13	本年	256			△ 36	220		171	77.9
				前年	100				100		20	19.9
				比較	156			△ 36	120		151	-
【参考】前々年度												
目的		要支援被保険者及びチェックリスト該当者のサービス費と医療費の合算額が高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るため。										
概要及び成果		1 当該負担が一定額を上回らないよう負担軽減を図るために行う保険給付。また、所得によって上限が異なる。 <医療と介護の自己負担合算後の上限額(年額)> 計算期間は毎年8月から翌年7月までの12か月間 <b>【成果】</b> 総合事業費と医療費の合算額が高額になった要支援被保険者等の負担軽減が図られた。										

事業名：短期集中予防サービスに要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)								
03	01	01	14	本年	1,920		△ 1,300		620		496	80.0								
				前年	2,880		△ 2,000		880		320	36.4								
				比較	△ 960		700		△ 260		176	-								
【参考】前々年度							1,440		1,440		320	22.2								
目的		身体や認知などの生活機能の低下が認められる者に対し、リハビリテーション専門職が適切な助言や指導を行い、高齢者の心身機能の改善、生活行為の工場、社会参加を促進し、自立した生活を送ることができるよう適切な支援をしていくため。																		
概要及び成果		1 介護支援専門員による介護予防ケアプランに沿って、リハビリテーション専門職が利用者の自宅に伺い、3ヶ月間の短期集中で、個々の状態に合わせた自宅で行える自主トレーニングの提案、生活動作の改善や工夫に関する相談・指導・助言を行う。 対象者 要支援1・2の認定者及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者。 【実績】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用前後の体力測定の結果から対象者の上下肢の筋力やバランス能力に向上がみられた。</li> <li>・利用者が自宅で行える運動の見直しを行い、運動習慣を身につけることができた。</li> <li>・不安定だった歩容が安定し、身体が楽に動くようになった。</li> </ul> 利用最終日に利用者に対してアンケートを実施。利用者から上記の感想が得られ、利用者の自立した生活の継続につながった。												令和元年度	平成30年度	平成29年度	参加人数	6人	5人	5人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度																	
参加人数	6人	5人	5人																	

事業名：介護予防ケアマネジメント事業に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	01	02	11	本年	26,860			△ 1,523	25,337		24,927	98.4
				前年	21,516			2,354	23,870		23,870	100.0
				比較	5,344			△ 3,877	1,467		1,057	-
【参考】前々年度							12,917		12,917		10,715	83.0
目的		要支援被保険者及びチェックリスト該当者が、地域包括支援センターから介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成、事業者との連絡調整等の介護予防ケアマネジメントを受けたとき、それらに要する費用について支給するため。										
概要及び成果		1 要支援被保険者等が、地域包括支援センターから介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成等、介護予防ケアマネジメントを受けた場合に行われる保険給付。この給付は10割給付であり、利用者負担はない。 【成果】                     介護予防・生活支援サービスにより、要支援被保険者等の居宅生活を支援した。										

事業名：ICT高齢者いきいき健康アップ事業に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	11	本年	6,673				6,673		5,182	77.7
				前年	6,744				6,744		5,633	83.5
				比較	△ 71				△ 71		△ 451	-
【参考】前々年度					6,681				6,681		5,507	82.4

目的	ICTを効果的に活用して高齢者が日々の健康データを管理し、継続的かつ主体的な運動を促進するため。市民の主体的な介護予防や健康増進活動及び行動変容を基盤にして、介護費及び医療費の抑制や適正化を推進するため。																							
概要及び成果	<p>65歳以上の参加者が高機能万歩計を持ち、日常的に健康データ(歩数等)をタブレット端末から送信し、そのデータを健康管理システムで管理することで、健康データの「見える化」に取り組み、行動変容を促進する。</p> <p>タブレット端末設置場所(市内8か所) 健康増進施設いきいきプラザ、筑波交流センター、豊里交流センター、桜保健センター、吉沼交流センター、谷田部保健センター、荃崎交流センター、市役所庁舎1階(高齢福祉課前)</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>412人</td> <td>413人</td> <td>404人</td> <td>363人</td> <td>354人</td> </tr> </tbody> </table>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加者数	412人	413人	404人	363人	354人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
参加者数	412人	413人	404人	363人	354人																			

事業名：こころとからだの健康教室事業に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	12	本年	7,029				7,029		6,216	88.4
				前年	11,284				11,284		10,479	92.9
				比較	△ 4,255				△ 4,255		△ 4,263	-
【参考】前々年度					12,815				12,815		11,557	90.2

目的	65歳以上の高齢者を対象者に「こころとからだの健康教室」を実施し、多くの高齢者の方が教室に参加することで、介護予防、健康の維持・増進、認知症予防を図るため。																									
概要及び成果	<p>1 介護予防事業：こころとからだの健康教室として、2つの内容の教室を実施した。</p> <p>①筋力バランスアップ教室(運動機能向上) 筋力向上や柔軟性を高める運動、運動レクリエーションを通し、自宅でも運動習慣を身に付け介護予防に資することを目的とする。</p> <p>②脳元気アップ教室(認知症予防) 認知症予防のための講話と実践を通して、自分に合った認知症の予防方法を生活に取り入れ認知症予防に資することを目的とする。</p> <p>【成果】</p> <p>①筋力バランスアップ教室(運動機能向上) 前期・後期の2期間において1教室(全10回)×5地区×2期間 合計 実157人、延1,888人</p> <p>②脳元気アップ教室(認知症予防)1教室(全6回)×3会場 合計 実68人、延346人 認知症予防講演会 実159人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教室参加者数</td> <td>225人</td> <td>594人</td> <td>327人</td> <td>244人</td> <td>260人</td> <td>209人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参加者数は実数の合計</p>													令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	教室参加者数	225人	594人	327人	244人	260人	209人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度																				
教室参加者数	225人	594人	327人	244人	260人	209人																				

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	13	本年	21,545				21,545		15,714	72.9
				前年	19,669				19,669		17,838	90.7
				比較	1,876				1,876		△ 2,124	-
【参考】前々年度					37,354		△ 8,486		28,868		26,084	90.4

目的

高齢者が住み慣れた地域で、健康でいきいきとした生活を送れるようにするため。

- 1 多世代交流出前教室(65歳以上の市民を対象)  
65歳以上の市民を対象とし、地域に出向き介護予防のための健康講話や運動を中心とした健康づくり教室を展開する。

【成果】

- (1) 多世代交流出前教室(65歳以上)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
団体数	81 団体	83 団体	71 団体	70 団体	— 団体
実施回数	641 回	586 回	709 回	630 回	— 回
参加者延人数	6,576 人	6,151 人	7,615 人	6,586 人	— 人

- 1) 健康運動指導士・リハビリ専門職・歯科衛生士・管理栄養士等による講話や運動指導等を実施。  
2) 地区活動により、12の新規団体獲得につながった。  
3) 3月は新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小して実施した。

- (2) 運動普及推進員養成講座実施(年1回:7回コース 令和元年度は6回コース) ※概ね2年に1回実施

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
養成人数	23 人	— 人	13 人	22 人	27 人

- (3) 運動普及推進員継続講座実施(年5回 令和元年度は1回中止のため年4回)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加延人数	187 人	267 人	342 人	337 人	323 人

- 2 シルバーリハビリ体操の普及活動

地域にシルバーリハビリ指導士が3人程度出向いて体操指導を行う。

- (1) シルバーリハビリ出前体操教室

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施団体数(実)	178 団体	174 団体	156 団体	142 団体	127 団体
実施回数(延べ)	2,950 回	3,096 回	2,665 回	2,415 回	1,914 回
参加実人数	2,288 人	2,360 人	1,904 人	2,330 人	2,171 人
参加延べ人数	25,180 人	27,505 人	24,015 人	24,013 人	19,999 人

・啓発活動により、4団体の新規獲得につながった。

- (2) 啓発活動

参加団体募集のための、区会チラシ回覧や市ホームページ掲載

- (3) シルバーリハビリ体操指導士3級養成講座の実施

地域開催として7月に養成講座を実施。(6回1コース)

- 1) 令和元年度修了者数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
人数	15人	23人	33人	31人

・養成講習会を開催し、会員を増やしたことで活動の活性化ができた。

概要及び成果

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	14	本年	7,512				7,512		6,965	92.7
				前年	7,268				7,268		6,903	95.0
				比較	244				244		62	-
【参考】前々年度					5,141				5,141		4,881	94.9

目的	<p>前期高齢者、後期高齢者が運動習慣を身につけることにより、運動能力を高め、身体機能の改善、生活習慣病、転倒予防、ひいては寝たきり予防ができるようにするため。また、定期的に外出することで閉じこもりを予防し、心身共に充実した生活ができるようにするため。</p>																																																
概要及び成果	<p>1 いきいき運動教室(65歳から74歳対象) (3コース・各コース年43回、運動指導士等による運動指導・健康相談・栄養相談・体力測定等)</p> <p><b>【成果】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>129 回</td> <td>129 回</td> <td>210 回</td> <td>210 回</td> <td>210 回</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>119 人</td> <td>128 人</td> <td>205 人</td> <td>209 人</td> <td>195 人</td> </tr> <tr> <td>参加延人数</td> <td>3,824 人</td> <td>4,099 人</td> <td>6,187 人</td> <td>5,799 人</td> <td>5,607 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度まで4コース。平成30年度より3コース。                      (1) 参加者募集のため、区会チラシ回覧、市報掲載、市交流センターチラシ配置。                      (2) 令和元年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加延べ人数が減った。</p> <p>2 元気はつらつ運動教室(75歳以上対象) (4コース・各コース年43回、健康運動指導士等による運動指導・健康相談・栄養相談・体力測定等)</p> <p><b>【成果】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>172 回</td> <td>171 回</td> <td>126 回</td> <td>126 回</td> <td>126 回</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>124 人</td> <td>127 人</td> <td>122 人</td> <td>111 人</td> <td>120 人</td> </tr> <tr> <td>参加延人数</td> <td>4,050 人</td> <td>4,133 人</td> <td>3,318 人</td> <td>3,338 人</td> <td>2,970 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度まで3コース。平成30年度より4コース。                      (1) 参加者募集のため、区会チラシ回覧、市報掲載、市交流センターチラシ配置                      (2) 令和元年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加延べ人数が減った。</p>		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施回数	129 回	129 回	210 回	210 回	210 回	実人数	119 人	128 人	205 人	209 人	195 人	参加延人数	3,824 人	4,099 人	6,187 人	5,799 人	5,607 人		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施回数	172 回	171 回	126 回	126 回	126 回	実人数	124 人	127 人	122 人	111 人	120 人	参加延人数	4,050 人	4,133 人	3,318 人	3,338 人	2,970 人
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																												
実施回数	129 回	129 回	210 回	210 回	210 回																																												
実人数	119 人	128 人	205 人	209 人	195 人																																												
参加延人数	3,824 人	4,099 人	6,187 人	5,799 人	5,607 人																																												
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																												
実施回数	172 回	171 回	126 回	126 回	126 回																																												
実人数	124 人	127 人	122 人	111 人	120 人																																												
参加延人数	4,050 人	4,133 人	3,318 人	3,338 人	2,970 人																																												

事業名：介護支援ボランティア事業に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	15	本年	2,079				2,079		1,762	84.7
				前年	2,132				2,132		1,780	83.5
				比較	△ 53				△ 53		△ 18	-
【参考】前々年度					2,236				2,236		1,699	76.0

目的

高齢者の介護支援ボランティア活動を奨励し、地域貢献や社会活動を通して高齢者の生きがいに寄与するとともに、高齢者の健康増進(介護予防)を図るため。

概要及び成果

1 介護支援ボランティア事業  
市内に住所を有する65歳以上で要支援・要介護認定を受けていない方が、介護支援ボランティアの登録を行う。その方が、市が指定した介護支援ボランティア受入施設でボランティア活動を行い、活動実績に応じてポイントを付与し、登録者からの申出によりポイントに応じた交付金を年度内1万円を限度に交付する。

【成果】

(介護支援ボランティア)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
登録者数	163 人	146 人	123 人	172 人	149 人
受入施設数	55か所	54か所	53か所	48か所	33か所
活動実人数	67 人	77 人	55 人	72 人	70 人
交付金申請者数	58 人	59 人	47 人	58 人	52 人
支払額(交付金)	233,000 円	204,000 円	165,000 円	187,000 円	171,000 円

事業名：高齢者地域ふれあいサロンに要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	02	01	16	本年	2,300				2,300		1,625	70.7
				前年	600				600		600	100.0
				比較	1,700				1,700		1,025	-
【参考】前々年度												

目的

介護予防・日常生活支援総合事業により、体操、運動の活動など自主的な通いの場提供のための支援を行うため。

概要及び成果

週1回以上、高齢者を中心とした地域住民が気軽に通うことができ、高齢者の介護予防及び孤立化防止のための活動を行う団体へ補助金を交付する。

前年度に桜ニュータウンにおいてモデル事業を行い、本年度は事業の実施・拡大を図った。

【成果】

活動開始準備費(初年度のみ)、活動費補助金を交付した。

	令和元年度	平成30年度
団体数	6団体	1団体

事業名：地域リハビリテーション活動支援事業

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)										
03	02	01	17	本年	693		△ 600		93		42	44.9										
				前年																		
				比較	693		△ 600		93		42	-										
【参考】前々年度																						
目的		リハビリテーションに関する専門的知見を有する者が高齢者に有する能力を評価し、改善の可能性を助言する等、地域包括支援センターと連携しながら、通所系サービス、訪問系サービス、サービス担当者会議、住民主体の通いの場等の介護予防の取り組みを総合的に支援する。																				
概要及び成果		<p>① 介護予防活動普及促進支援 団体等による住民への介護予防に関する運動機能維持・向上、口腔ケア及び認知症予防への取組に関する技術的助言・指導</p> <p>② ケアマネジメント支援 ・サービス担当者会議におけるケアマネジメント支援 ・アセスメント、モニタリング等への同行訪問</p> <p>③ 福祉環境コーディネーター支援 福祉用具選定及び住環境整備に関する同行訪問による技術的助言・指導</p> <p>④ 介護予防ケア向上支援 介護保険サービス事業所職員等への介護予防に関する技術的助言・指導</p> <p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 介護予防活動普及促進支援</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>② ケアマネジメント支援</td> <td>6 回</td> </tr> <tr> <td>③ 福祉環境コーディネーター支援</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>④ 介護予防ケア向上支援</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	① 介護予防活動普及促進支援	1 回	② ケアマネジメント支援	6 回	③ 福祉環境コーディネーター支援	1 回	④ 介護予防ケア向上支援	2 回
	令和元年度																					
① 介護予防活動普及促進支援	1 回																					
② ケアマネジメント支援	6 回																					
③ 福祉環境コーディネーター支援	1 回																					
④ 介護予防ケア向上支援	2 回																					

事業名：包括的支援事業総務に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																																
03	03	01	11	本年	141,332				141,332		136,373	96.5																																
				前年	99,530		△ 1,920		97,610		94,159	96.5																																
				比較	41,802		1,920		43,722		42,214	-																																
【参考】前々年度					103,356		△ 16,527		86,829		82,939	95.5																																
目的		医療や介護、行政など関係機関と連携し、あらゆる社会資源(制度・サービス等)を適切に活用して、高齢者が要介護状態となった場合においても、可能な限り地域で、自立した日常生活を営むことができるよう支援するため。																																										
概要及び成果		<p>1 相談・情報提供・関係機関の後方支援など、高齢者や地域住民の生活を支援する。</p> <p>(1) 総合相談支援業務：高齢者の総合相談対応及び継続的支援</p> <p>(2) 権利擁護業務：認知症高齢者支援及び高齢者虐待防止等の対応</p> <p>(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務：介護支援専門員に対する指導や相談支援</p> <p>【成果】 (利用者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 総合相談支援(延べ相談人数)</td> <td>2,003 人</td> <td>2,196 人</td> <td>1,895 人</td> </tr> <tr> <td>(2) 権利擁護支援(延べ相談人数)</td> <td>172 人</td> <td>170 人</td> <td>145 人</td> </tr> <tr> <td>(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援(延べ相談人数)</td> <td>868 人</td> <td>234 人</td> <td>288 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,245 人</td> <td>2,222 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>281 人</td> <td>257 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>356 人</td> <td>370 人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											業務名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	(1) 総合相談支援(延べ相談人数)	2,003 人	2,196 人	1,895 人	(2) 権利擁護支援(延べ相談人数)	172 人	170 人	145 人	(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援(延べ相談人数)	868 人	234 人	288 人		平成28年度	平成27年度			2,245 人	2,222 人			281 人	257 人			356 人	370 人	
業務名	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																									
(1) 総合相談支援(延べ相談人数)	2,003 人	2,196 人	1,895 人																																									
(2) 権利擁護支援(延べ相談人数)	172 人	170 人	145 人																																									
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援(延べ相談人数)	868 人	234 人	288 人																																									
	平成28年度	平成27年度																																										
	2,245 人	2,222 人																																										
	281 人	257 人																																										
	356 人	370 人																																										

事業名：在宅医療・介護連携推進に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	12	本年	8,394		△ 3,685		4,709		3,449	73.2
				前年	5,307				5,307		3,121	58.8
				比較	3,087		△ 3,685		△ 598		328	-
【参考】前々年度					4,525				4,525		2,894	63.9

目的	医療及び介護の関係機関の調整並びに連携の強化を図り、在宅医療・介護連携を推進する体制を整備し、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるようにするため。											
概要及び成果	1 つくば市在宅医療・介護連携推進協議会の開催											
	第1回在宅医療・介護連携推進協議会						令和元年6月20日					
	第2回在宅医療・介護連携推進協議会						令和元年11月18日					
	第3回在宅医療・介護連携推進協議会						令和2年3月11日					
	2 つくば市在宅医療・介護連携推進事業											
	事業名				日時				参加者数			
	第1回多職種連携のための意見交換会				令和元年8月23日				96名			
	ケアマネージャー向け勉強会				令和元年11月26日				44名			
	健康フォーラム				令和2年2月8日				78名			
	地域リーダー研修				令和2年2月23日				20名			
	第2回多職種連携のための意見交換会				令和2年3月12日				24名			
	在宅医療啓発講座 (谷田部地区)				令和元年9月22日				28名			
	在宅医療啓発講座 (茎崎地区)				令和元年11月17日				39名			
	在宅医療啓発講座 (桜地区)				令和元年12月8日				24名			
	在宅医療啓発講座 (豊里地区)				令和元年12月15日				13名			
在宅医療啓発講座 (筑波地区)				令和2年1月18日				10名				
在宅医療啓発講座 (大穂地区)				令和2年2月9日				9名				



事業名：認知症総合支援に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	13	本年	9,168				9,168		7,917	86.4
				前年	4,521				4,521		3,211	71.0
				比較	4,647				4,647		4,706	-
【参考】前々年度					1,070				1,070		674	63.0

目的	認知症初期集中支援チームによる複数の専門職が、認知症が疑われる人や認知症の人とその家族を訪問し、初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活に向けたサポートを行うため。											
概要 及び 成果	1 認知症初期集中支援チーム											
	・認知症初期集中支援チームとは、40歳以上で在宅生活をしている認知症が疑われる方、または認知症の方で医療や介護サービスを適切に受けていない方に対して、認知症サポート医と連携しながら支援を行う。											
	認知症初期集中チーム員会議開催数			(北部)	9回開催	※認知症疾患医療センターとよさと病院に委託						
				(南部)	8回開催	※つくば市地域包括支援センター直営						
	認知症初期集中支援チーム対応数			(北部)	新規16件							
				(南部)	新規10件							
	認知症初期集中支援チーム検討委員会				2回開催							
	2 認知症カフェ											
	・認知症の人やその家族が、地域の人や専門職と相互の情報を共有し、お互いを理解し合う場。 (認知症カフェ)											
			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度					
開催数		43回	37回	12回	11回	2回						
参加者数		766人	672人	280人	251人	79人						
※平成29年度までは市内1か所、平成30年度から4か所で開催												

事業名：地域ケア会議推進に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	14	本年	466				466		344	73.9
				前年	278				278		155	55.7
				比較	188				188		189	-
【参考】前々年度					6,179				6,179		6,095	98.6

目的	高齢者をめぐる支援困難事例について、医療職や介護職など多職種協働による検討を行い、適切な支援と多職種の地域ネットワークの構築を図るため。																																								
概要及び成果	<p>1 地域ケアコーディネーターの配置(1名)と役割 個別ケース(困難事例等)の支援について、多職種の協働による協議開催のための連絡調整から、課題解決に向けた支援を検討する中で見つかる地域課題の抽出まで、一連の流れをコーディネートする。</p>																																								
	<p>2 つくば市地域ケア会議の開催</p> <p>(1) つくば市地域ケア会議 生活支援体制整備推進会議と合同で、医療・介護・保健・福祉・法律等の各分野の専門職をメンバーとし、多職種によるより困難な個別課題の検討を行う。</p> <p>(2) 圏域別会議 各日常生活圏域ごとの医療機関や介護保険関係事業所など多職種協働による、個別事例の検討を通じたケアマネジメント支援を行う。</p> <p>(3) 自立支援型ケア会議 介護サービス利用者で、更新認定等の際に状態像が悪化した者について、自立支援・重度化予防の観点に基いた検討を中心に開催する。</p> <p>【成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">会議名</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つくば市地域ケア会議</td> <td>3回</td> <td>48人</td> <td>3回</td> <td>46人</td> <td>2回</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>圏域別会議</td> <td>33回</td> <td>674人</td> <td>36回</td> <td>603人</td> <td>36回</td> <td>568人</td> </tr> <tr> <td>自立支援型ケア会議</td> <td>10回</td> <td>89人</td> <td>-回</td> <td>-人</td> <td>-回</td> <td>-人</td> </tr> <tr> <td>在宅療養困難事例検討会</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">医師会にて開催</td> </tr> </tbody> </table>	会議名	令和元年度		平成30年度		平成29年度		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	つくば市地域ケア会議	3回	48人	3回	46人	2回	30人	圏域別会議	33回	674人	36回	603人	36回	568人	自立支援型ケア会議	10回	89人	-回	-人	-回	-人	在宅療養困難事例検討会	医師会にて開催				
会議名	令和元年度		平成30年度		平成29年度																																				
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数																																			
つくば市地域ケア会議	3回	48人	3回	46人	2回	30人																																			
圏域別会議	33回	674人	36回	603人	36回	568人																																			
自立支援型ケア会議	10回	89人	-回	-人	-回	-人																																			
在宅療養困難事例検討会	医師会にて開催																																								

事業名：生活支援体制整備に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	01	15	本年	5,482				5,482		4,879	89.0
				前年	2,485		△ 1,500		985		509	51.7
				比較	2,997		1,500		4,497		4,370	-
【参考】前々年度												

目的	高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する住民主体の活動や、NPOや地縁組織などの多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築すること、そして互助を基本とした高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進するため。					
概要及び成果	1 つくば市生活支援体制整備推進会議(第1層)					
		第1回生活支援体制整備推進会議		令和元年5月16日		
		第2回生活支援体制整備推進会議		令和元年9月26日		
		第3回生活支援体制整備推進会議		令和2年1月23日		
	2 第2層協議体会議					
		地区	日時	参加者数	日時	参加者数
		荃崎地区	令和元年7月2日	39名	令和元年10月10日	17名
			令和元年12月25日	20名	令和2年3月25日	-
		筑波地区	令和元年5月31日	40名	令和元年10月2日	46名
			令和元年12月18日	35名	令和2年3月11日	-
		大穂地区	令和元年5月29日	15名	令和元年9月27日	16名
			令和元年12月26日	18名	令和2年3月18日	-
		豊里地区	令和元年6月21日	29名	令和元年10月29日	22名
			令和2年2月4日	16名		
		谷田部西地区	令和元年11月8日	30名	令和2年2月3日	42名
	谷田部東地区	令和元年11月8日	30名	令和2年2月18日	26名	
	桜地区	令和元年12月20日	34名	令和2年3月10日	-	

事業名：介護保険適正化に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	02	11	本年	5,448				5,448		4,906	90.1
				前年	5,361				5,361		4,807	89.7
				比較	87				87		99	-
【参考】前々年度					6,144				6,144		5,127	83.5

目的	介護保険利用者に対する給付費通知の送付、事業所からの請求内容点検等により、介護給付等に要する費用の適正化を図るため。										
概要及び成果	<p>1 給付費通知発送 介護保険利用者に対して、年2回、給付費通知を発送し、利用者がサービスの内容を確認することで、不正請求の抑制につながる。</p> <p>【成果】 通知発送件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13,692 件</td> <td>12,967 件</td> <td>12,759 件</td> <td>12,520 件</td> <td>12,210 件</td> </tr> </tbody> </table>	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	13,692 件	12,967 件	12,759 件	12,520 件	12,210 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
	13,692 件	12,967 件	12,759 件	12,520 件	12,210 件						
<p>2 介護保険適正化指導員(ケアマネ資格所有者) 介護保険適正化指導員による事業所の保険請求内容チェックや適正なケアプランの作成を推進することを目的としたケアプラン点検を行う。</p> <p>【成果】 ケアプラン点検件数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53 件</td> <td>54 件</td> <td>57 件</td> <td>51 件</td> <td>10 件</td> </tr> </tbody> </table>	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	53 件	54 件	57 件	51 件	10 件	
令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度							
53 件	54 件	57 件	51 件	10 件							

事業名：高齢者生活支援に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	02	12	本年	46,525		1,677		48,202		48,064	99.7
				前年	47,242				47,242		44,868	95.0
				比較	△ 717		1,677		960		3,196	-
【参考】前々年度					45,922				45,922		42,231	92.0

目的 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を継続していくことができるよう、高齢者及び介護者に対して、必要な支援を行うため。

概要及び成果

1 はいかい高齢者家族支援サービス事業  
はいかい行動の見られる認知症の高齢者を介護している家族に対し、位置情報端末機等を貸与し、介護負担の軽減を図る。

【成果】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
利用者数	8 人	9 人	5 人	2 人	2 人

2 在宅要介護高齢者等紙おむつ購入費助成事業  
在宅の65歳以上の要介護1～5認定者で、常時紙おむつを使用している方に年間24,000円(1,000円券×24枚)を限度に助成。要介護4又は5の認定者で市民税非課税世帯に属する方には、年間48,000円(1,000円×48枚)を限度に助成。

【成果】

交付者数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
要介護1	839 人	820 人	766 人	706 人	634 人
要介護2	912 人	818 人	776 人	755 人	720 人
要介護3	497 人	508 人	459 人	456 人	449 人
要介護4	275 人	302 人	251 人	288 人	274 人
要介護5	147 人	163 人	153 人	152 人	173 人
合計	2,670 人	2,611 人	2,405 人	2,357 人	2,250 人
金額	48,039,247 円	44,830,260 円	42,174,202 円	41,157,258 円	40,079,524 円

事業名：介護相談員派遣事業に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
03	03	02	13	本年	989				989		740	74.8												
				前年	736				736		630	85.6												
				比較	253				253		110	-												
【参考】前々年度																								
目的		介護サービスを提供している事業所に介護サービス相談員を派遣し、利用者からの介護サービスに関する疑問や不安などの相談に応じて、問題の改善や介護サービスの質の向上を図るため。																						
概要及び成果		<p>1 相談員派遣 介護サービス相談員を介護サービス提供事業所に派遣し、より多くの利用者の相談に応じることにより、利用者の抱える疑問や不安の解消を図り、安心して介護サービスを利用できるように支援する。</p> <p>【成果】 相談員訪問回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>143 回</td> <td>159 回</td> <td>142 回</td> <td>168 回</td> <td>166 回</td> </tr> </tbody> </table>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度		143 回	159 回	142 回	168 回	166 回
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
	143 回	159 回	142 回	168 回	166 回																			

事業名：成年後見制度利用支援事業に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)																														
03	03	02	14	本年	1,434				1,434		100	7.0																														
				前年	1,185			△ 159	1,026		14	1.4																														
				比較	249			159	408		86	-																														
【参考】前々年度																																										
目的		高齢者の権利擁護として成年後見制度の利用促進を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を継続できるようにするため。																																								
概要及び成果		<p>1 要介護高齢者を抱える家族を支援し、地域において自立した生活を維持するための事業</p> <p>(1) 成年後見制度利用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法定後見及び任意後見制度に関する相談や助言、制度利用の促進を図る。</li> <li>・身寄りがなく、成年後見申立て費用や成年後見人等への報酬を負担することが困難な方に対し、市長が申立人となりなり、かかる費用を市が負担する。</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>(成年後見人市長申立て件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申立て件数</td> <td>7 件</td> <td>6 件</td> <td>1 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成年後見制度 相談件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談実件数</td> <td>49 件</td> <td>59 件</td> <td>43 件</td> <td>41 件</td> <td>28 件</td> </tr> <tr> <td>相談延べ件数</td> <td>67 件</td> <td>82 件</td> <td>60 件</td> <td>57 件</td> <td>35 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度は、任意事業に要する経費</p>												令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	申立て件数	7 件	6 件	1 件	0 件	0 件		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	相談実件数	49 件	59 件	43 件	41 件	28 件	相談延べ件数	67 件	82 件	60 件	57 件	35 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																					
申立て件数	7 件	6 件	1 件	0 件	0 件																																					
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																					
相談実件数	49 件	59 件	43 件	41 件	28 件																																					
相談延べ件数	67 件	82 件	60 件	57 件	35 件																																					

事業名：認知症サポーター養成事業に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	03	02	15	本年	3,503				3,503		3,244	92.6
				前年	5,042		△ 2,050	159	3,151		2,872	91.1
				比較	△ 1,539		2,050	△ 159	352		372	-
【参考】前々年度												

目的 認知症サポーター養成講座の実施による認知症の理解、地域の見守りなど認知症施策を推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を継続できるようにするため。

概要及び成果

1 要介護高齢者を抱える家族を支援し、地域において自立した生活を維持するための事業

(1) 認知症施策の推進

- ・認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の人の理解・見守り活動を行う認知症サポーターを養成する。
- ・認知症声かけ模擬訓練を開催し、地域の方が認知症役の人に声掛けをする訓練を行う。
- ・認知症の人に対し、状態に応じたサービスが提供されるよう関係機関や関係者の連携を図る。
- ・認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトの連絡会の活動支援、スキルアップ研修、認知症に関する啓発活動などを行う。
- ・キャラバンメイトや認知症サポーターと共に認知症啓発活動などを行う。

【成果】

(認知症サポーター養成講座開催数)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開催回数	54回	77回	43回	59回	37回
養成人数	3,082人	3,079人	1,426人	2,231人	850人

(キャラバン・メイト養成研修)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
養成人数	0人	31人	0人	0人	32人

(認知症声かけ模擬訓練)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
参加区会数	18区会	6区会	15区会	14区会	11区会
参加人数	88人	92人	191人	198人	117人
参加区会数		30区会	6区会	平成29・30年度は2区会で実施。	
参加人数		284人	176人		

※平成29年度は、任意事業に要する経費

事業名：審査支払手数料に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
03	04	01	11	本年	749		51		800		785	98.1
				前年	800				800		727	90.8
				比較	△ 51		51				58	-
【参考】前々年度					364				364		306	84.2
目的				介護予防・生活支援サービス事業者のサービス事業費の請求に対する審査を茨城県国民健康保険団体連合会に委託し、事業の円滑な推進を図るため。								
概要及び成果				1 介護予防・生活支援サービス事業者のサービス事業費の請求に対する審査の手数料を支払う。  <b>【成果】</b> サービス事業費の請求に対する審査支払により、費用支給事務の円滑化が図られた。								

事業名：財政安定化基金拠出金に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								-
【参考】前々年度					1				1			
目的				基金への拠出により、介護保険財政の安定化を図るため。								
概要及び成果				1 財政安定化基金への拠出 (1) 基金の財源は国・県の負担、市の拠出金(財源は第1号被保険者の保険料)それぞれ1/3ずつ負担する。基金から市には交付又は貸付けを行うこととなる。 (2) 交付は保険料の収納率の悪化により、介護保険財政に不足が生じる場合であり、貸付けは給付の見込み誤り、収納率の悪化等を理由として財政収支の不均衡が生じた時に行われる。  <b>【成果】</b> 財政安定化基金制度(介護保険法第147条)により積立てるが、今年度の支出はなかった。								



事業名：指定介護予防支援事業に要する経費

保健福祉部 地域包括支援課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
05	01	01	11	本年	18,975				18,975		16,984	89.5												
				前年	33,178				33,178		30,504	91.9												
				比較	△ 14,203				△ 14,203		△ 13,520	-												
【参考】前々年度					43,626		△ 6,385		37,241		34,735	93.3												
目的				介護認定審査会において要支援1及び要支援2と認定された方が、介護を要する状態となってもできる限り自宅で自立した生活を継続できるよう、適切なサービスを提供するため。																				
概要及び成果				<p>1 介護予防ケアマネジメント、介護予防支援</p> <p>(1)介護予防サービス計画(要支援認定者に対し、公的サービスや民間等のサービスを適切に利用する計画を作成し、達成状況を評価して必要に応じて計画の見直しを行う)作成のため居宅介護支援事業所と委託契約を締結</p> <p>(2)委託している居宅介護支援事業所の介護支援専門員から提出されたケアプラン等の確認・審査</p> <p>(3)居宅介護支援事業所への介護予防ケアマネジメント業務委託料支払事務及び国民健康保険団体連合会への介護報酬請求事務</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防ケアプランが利用者の自立した生活を支援し、その人らしい生活を送るためのものになっているか確認、評価し、適切なサービス提供に努めた。</li> </ul> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(直営分)介護予防給付件数</td> <td>※ 3,526 件</td> <td>※ 6,405 件</td> <td>※ 7,995 件</td> <td>9,446 件</td> <td>9,296 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成29年10月より筑波地域包括支援センター、荃崎地域包括支援センター、平成31年4月より大穂豊里地域包括支援センター、谷田部西地域包括支援センターに業務を委託したため減となった。</p>										令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	(直営分)介護予防給付件数	※ 3,526 件	※ 6,405 件	※ 7,995 件	9,446 件	9,296 件
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
(直営分)介護予防給付件数	※ 3,526 件	※ 6,405 件	※ 7,995 件	9,446 件	9,296 件																			

事業名：介護給付費準備基金積立金に要する経費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
06	01	01	11	本年	74,850		68,924		143,774		143,774	100.0
				前年	397,284		△ 121,659		275,625		275,625	100.0
				比較	△ 322,434		190,583		△ 131,851		△ 131,851	-
【参考】前々年度					187,105		122,169		309,274		309,274	100.0
目的				介護保険財政については、中期財政運営を行うため、余剰金を財源にして給付金に当てることになり、この余剰金を適正に管理するために設置する介護給付費準備基金への積立のため。								
概要及び成果				<p>1 余剰金の積立を行う。</p> <p>【成果】</p> <p>介護保険財政を適正に運営し、余剰金を積立てた。</p>								

事業名：一般会計繰出金

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	01	01	11	本年	1		66,896		66,897		66,897	100.0
				前年	1		81,302		81,303		81,302	100.0
				比較			△ 14,406		△ 14,406		△ 14,405	-
【参考】前々年度					1		96,668		96,669		96,669	100.0
目的				介護給付費等の実績に基づき過年度の精算返還分を一般会計へ繰出すため。								
概要及び成果				1 介護給付費、職員給与等の過年度分精算返還金を繰出す。 <b>【成果】</b> 介護給付費実績等に基づき、精算返還分を一般会計に繰出した。								

事業名：国庫支出金等返還金

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
07	02	01	11	本年	1		61,265		61,266		61,264	100.0
				前年	1		83,071		83,072		83,071	100.0
				比較			△ 21,806		△ 21,806		△ 21,807	-
【参考】前々年度					1		129,304		129,305		129,303	100.0
目的				介護給付費等の精算により、国や茨城県、社会保険診療報酬支払基金へ負担金等の返還を行うため。								
概要及び成果				1 実績に基づき、国や茨城県及び社会保険診療報酬支払基金へ負担金等の返還を行う。 <b>【成果】</b> 介護給付費実績等に基づき、国や茨城県、社会保険診療報酬支払基金へ過年度分交付金を返還した。								

事業名：予備費

保健福祉部 介護保険課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)												
08	01	01	11	本年	30,000				30,000															
				前年	3,000			△ 216	2,784															
				比較	27,000			216	27,216			-												
【参考】前々年度					3,000			△ 201	2,799															
目的				予測しがたい支出の増加に備えるため。																				
概要及び成果				1 予算外の支出や予算超過の支出に充てる。 <b>【成果】</b> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充用額</td> <td>0 円</td> <td>216,000 円</td> <td>201,360 円</td> <td>0 円</td> <td>704,700 円</td> </tr> </tbody> </table>									年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	充用額	0 円	216,000 円	201,360 円	0 円	704,700 円
年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
充用額	0 円	216,000 円	201,360 円	0 円	704,700 円																			

# 附 表



基金の状況について

(単位:千円)

基金名	平成30年度末 現在高	積立て及び取崩し状況				令和元年度末 現在高	
		積立て	取崩し	当初予算額	補正予算額		予算現額
財政調整基金	4,871,680	積立て	444	1,914,861	1,915,305	1,915,305	4,625,972
		取崩し	1,946,390	214,623	2,161,013	2,161,013	
減債基金	2,165,077	積立て	217	111	328	328	1,637,061
		取崩し	528,344	0	528,344	528,344	
奨学金基金	7,216	積立て	1	0	1	1	5,417
		取崩し	1,800	0	1,800	1,800	
公共施設整備基金	1,756,131	積立て	176	88	264	264	1,642,075
		取崩し	120,000	0	120,000	114,320	
国際交流基金	11,843	積立て	2	0	2	2	11,845
		取崩し	0	0	0	0	
つくばエクスプレス対策 基金	63,429	積立て	7	0	7	7	63,436
		取崩し	0	0	0	0	
福祉振興基金	282,956	積立て	29	0	29	29	282,985
		取崩し	0	0	0	0	
ふるさと創生基金	2,539	積立て	1	0	1	1	2,540
		取崩し	0	0	0	0	
まちづくり事業基金	743,267	積立て	75	370	445	445	0
		取崩し	0	743,712	743,712	743,712	
学校教育施設整備基金	1,470,600	積立て	148	53	201	201	1,470,801
		取崩し	0	0	0	0	
アイラブつくばまちづくり 寄附基金	51,791	積立て	47,862	55,184	103,046	107,455	116,719
		取崩し	44,340	0	44,340	42,527	
地域雇用創出推進基金	210,167	積立て	22	△ 1	21	21	199,610
		取崩し	48,456	△ 37,878	10,578	10,578	
医療環境整備基金	177,825	積立て	18	0	18	18	177,843
		取崩し	50,000	0	50,000	0	
環境都市推進基金	32,499	積立て	10,003	15,001	25,004	25,004	28,813
		取崩し	28,800	0	28,800	28,690	
つくばこどもの青い羽根 基金	0	積立て	1	6,999	7,000	7,181	7,181
		取崩し	0	0	0	0	
森林環境譲与税基金	0	積立て	0	11,100	11,100	11,089	11,089
		取崩し	0	0	0	0	
小計	11,847,020	積立て	59,006	2,003,766	2,062,772	2,067,351	10,283,387
取崩し		2,768,130	920,457	3,688,587	3,630,984		
国民健康保険支払準備 基金	18,543	積立て	10	△ 7	3	3	18,546
		取崩し	0	0	0	0	
下水道事業基金	618,211	積立て	82	118,974	119,056	119,056	737,267
		取崩し	221,100	△ 221,100	0	0	
作岡財産区基金	2,718	積立て	1	0	1	1	2,618
		取崩し	101	0	101	101	
公平委員会基金	4,569	積立て	1	253	254	253	4,822
		取崩し	65	0	65	0	
介護給付費準備基金	1,199,985	積立て	74,850	68,924	143,774	143,774	1,343,626
		取崩し	0	133	133	133	
小計	1,844,026	積立て	74,944	188,144	263,088	263,087	2,106,879
取崩し		221,266	△ 220,967	299	234		
(預金) 土地開発基金 (土地) (計)	180,109	積立て	19	△ 1	18	18	180,127
	24,706	—	—	—	—	—	24,706
高額療養費貸付基金	25,000	積立て	0	0	0	0	25,000
高額介護サービス費貸 付基金	3,000	積立て	0	0	0	0	3,000
出産費資金貸付基金	5,000	積立て	0	0	0	0	5,000
取崩し		0	0	0	0		
小計	237,815	積立て	19	△ 1	18	18	237,833
取崩し		0	0	0	0		
合計	13,928,861	積立て	133,969	2,191,909	2,325,878	2,330,456	12,628,099
取崩し		2,989,396	699,490	3,688,886	3,631,218		

## 常勤特別職員給与関係経費明細

### 1 一般会計

区 分	職員数 (人)	給 与 費							共 済 費 (千円)	合 計 (千円)
		給 料 (千円)	期末手当 (千円)	期末手当 年間支給率 (月分)	地域手当 (千円)	寒冷地 手 当 (千円)	その他 の 手 当 (千円)	計 (千円)		
令和元年度	4	37,572	12,243	3.40			5,164	54,979	7,246	62,225
平成30年度	4	37,572	12,062	3.35			5,072	54,706	6,923	61,629
比較			181	0.05			92	273	323	596

## 一 般 職 員 給 与 関 係 経 費 明 細

### 1 一般会計

区 分	職員数 (人)	給 与 費			共済費等 (千円)	合 計 (千円)
		給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)		
令和元年度	1,819 (89)	6,601,540	6,555,755	13,157,295	2,455,771	15,613,066
平成30年度	1,806 (104)	6,631,572	6,515,764	13,147,336	2,446,726	15,594,062
比較	13 (△15)	△ 30,032	39,991	9,959	9,045	19,004

※職員数欄の( )内は、再任用職員数を内書き。

(単位:千円)

(職員手当の内訳)	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	時間外 勤務手当	日直手当	管理職 手 当	児童手当
	令和元年度	166,023	117,556	189,706	28,503	400,955	425	233,125	82,315
	平成30年度	178,796	105,324	188,569	28,457	383,788	337	232,839	83,685
	比較	△ 12,773	12,232	1,137	46	17,167	88	286	△ 1,370
(職員手当の内訳)	区 分	期末手当	勤勉手当	退職手当 負担金	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当	管理職員特 別勤務手当	地域手当	単身赴任 手 当
	令和元年度	1,732,740	1,288,899	1,046,133	123,879	20,626	5,471	1,119,399	
	平成30年度	1,721,625	1,254,396	1,156,677	103,917	21,127	255	1,055,612	360
	比較	11,115	34,503	△ 110,544	19,962	△ 501	5,216	63,787	△ 360

2 国民健康保険特別会計

区 分	職員数 (人)	給 与 費			共済費等 (千円)	合 計 (千円)
		給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)		
令和元年度	16	54,299	52,136	106,435	20,739	127,174
平成30年度	15	50,123	49,058	99,181	19,371	118,552
比 較	1	4,176	3,078	7,254	1,368	8,622

(単位:千円)

（職員手当の内訳）	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	日直手当	管理職手当	児童手当
	令和元年度	996	2,414	1,333		4,208		1,260	515
	平成30年度	756	1,870	1,555		6,291		1,260	320
	比 較	240	544	△ 222		△ 2,083			195
	区 分	期末手当	勤勉手当	退職手当負担金	休日勤務手当	夜間勤務手当	管理職員特別勤務手当	地域手当	単身赴任手当
	令和元年度	14,312	10,685	7,364				9,049	
	平成30年度	12,754	9,597	6,834				7,821	
	比 較	1,558	1,088	530				1,228	

3 下水道事業特別会計

区 分	職員数 (人)	給 与 費			共済費等 (千円)	合 計 (千円)
		給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)		
令和元年度	23	83,054	88,352	171,406	31,638	203,044
平成30年度	20	76,807	71,525	148,332	28,667	176,999
比 較	3	6,247	16,827	23,074	2,971	26,045

(単位:千円)

（職員手当の内訳）	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	日直手当	管理職手当	児童手当
	令和元年度	2,921	1,530	2,009		12,379		3,840	1,040
	平成30年度	2,184	1,013	1,817		4,331		3,840	775
	比 較	737	517	192		8,048			265
	区 分	期末手当	勤勉手当	退職手当負担金	休日勤務手当	夜間勤務手当	管理職員特別勤務手当	地域手当	単身赴任手当
	令和元年度	22,100	16,884	11,279				14,370	
	平成30年度	19,729	15,015	10,396				12,425	
	比 較	2,371	1,869	883				1,945	

4 後期高齢者医療特別会計

区 分	職員数 (人)	給 与 費			共済費等 (千円)	合 計 (千円)
		給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)		
令和元年度	6	18,886	18,171	37,057	6,906	43,963
平成30年度	5	17,545	15,402	32,947	6,283	39,230
比 較	1	1,341	2,769	4,110	623	4,733

(単位:千円)

（職員手当の内訳）	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	日直手当	管理職手当	児童手当
	令和元年度	360	324	1,237		1,753			
	平成30年度	480	324	934		763			120
	比 較	△ 120		303		990			△ 120
（職員手当の内訳）	区 分	期末手当	勤勉手当	退職手当負担金	休日勤務手当	夜間勤務手当	管理職員特別勤務手当	地域手当	単身赴任手当
	令和元年度	5,064	3,805	2,549				3,079	
	平成30年度	4,566	3,142	2,369				2,704	
	比 較	498	663	180				375	

5 介護保険事業特別会計

区 分	職員数 (人)	給 与 費			共済費等 (千円)	合 計 (千円)
		給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)		
令和元年度	30	98,430	93,024	191,454	35,375	226,829
平成30年度	30	100,453	92,073	192,526	36,102	228,628
比 較		△ 2,023	951	△ 1,072	△ 727	△ 1,799

(単位:千円)

（職員手当の内訳）	区 分	扶養手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	日直手当	管理職手当	児童手当
	令和元年度	2,052	948	2,739		6,323		2,520	1,425
	平成30年度	2,199	1,269	3,366		6,598		2,520	1,505
	比 較	△ 147	△ 321	△ 627		△ 275			△ 80
（職員手当の内訳）	区 分	期末手当	勤勉手当	退職手当負担金	休日勤務手当	夜間勤務手当	管理職員特別勤務手当	地域手当	単身赴任手当
	令和元年度	26,859	19,650	14,027				16,481	
	平成30年度	25,995	19,194	13,651				15,776	
	比 較	864	456	376				705	



## 臨時職員・嘱託員経費明細

### 1 一般会計

区 分	職員数 (人)	賃金・報酬 (千円)	社会保険料 (千円)	合 計 (千円)
令和元年度	1,551	1,797,611	219,003	2,016,614
平成30年度	1,462	1,742,002	209,848	1,951,850
比 較	89	55,609	9,155	64,764

※ 人数は4月1日現在の臨時職員・嘱託員延べ人数。(特別会計も同様)

※ 金額は、目単位で集約して予算計上されている経費と、事業単位で個別に予算計上されている経費を合算している。

※ 賃金・報酬には通勤に要する経費・割増賃金を含む。(特別会計も同様)

※ 社会保険料には特別会計分も含む。

### 2 国民健康保険特別会計

区 分	職員数 (人)	賃金・報酬 (千円)	社会保険料 (千円)	合 計 (千円)
令和元年度	42	41,809		41,809
平成30年度	54	38,782		38,782
比 較	△ 12	3,027		3,027

※ 社会保険料は一般会計に一括計上。

### 3 後期高齢者医療特別会計

区 分	職員数 (人)	賃金・報酬 (千円)	社会保険料 (千円)	合 計 (千円)
令和元年度	2	3,836		3,836
平成30年度	2	3,790		3,790
比 較		46		46

※ 社会保険料は一般会計に一括計上。

### 4 介護保険事業特別会計

区 分	職員数 (人)	賃金・報酬 (千円)	社会保険料 (千円)	合 計 (千円)
令和元年度	47	65,338		65,338
平成30年度	44	57,514		57,514
比 較	3	7,824		7,824

※ 社会保険料は一般会計に一括計上。